別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　コクサイイリョウフクシダイガク 学校法人　国際医療福祉大学								
フリガナ 大学の名称	コクサイイリョウフクシダイガク 国際医療福祉大学　　(International University of Health and Welfare)								
大学本部の位置	栃木県大田原市北金丸2600-1								
大学の目的	国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断を培い、豊かな人間性を涵養し保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 医学検査学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する臨床検査技師の育成を目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
	保健医療学部 看護学科	4	115	－	460	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成7年4月 第1年次	栃木県大田原市北金丸2600-1	
	理学療法学科	4	100	－	400	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次		
	作業療法学科	4	80	－	320	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次		
	言語聴覚学科	4	80	－	320	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次		
	視機能療法学科	4	50	－	200	学士 (視機能療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成14年4月 第1年次		
	放射線・情報科学科	4	110	－	440	学士 (放射線・情報科学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	平成7年4月 第1年次		
	医学検査学科	4	80 (0)	－	320 (0)	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	令和7年4月 第1年次		※令和6年4月設置届出予定
	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4	140	3年次 5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	社会学・社会福祉学関係 経済学関係	平成21年4月 第1年次 平成23年4月 第3年次	同上	
	薬学部 薬学科	6	180	－	1,080	学士 (薬学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要（つづき）

医学部 医学科	6	140	―	840	学士 (医学)	医学関係	平成29年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-2
成田薬学部 薬学科	6	120	―	720	学士 (薬学)	薬学関係	令和6年4月 第1年次	同上
成田看護学部 看護学科	4	100	―	400	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成28年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-3
成田保健医療学部 理学療法学科	4	80	―	320	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成28年4月 第1年次	
作業療法学科	4	40	―	160	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成28年4月 第1年次	
言語聴覚学科	4	40	―	160	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成28年4月 第1年次	同上
医学検査学科	4	80	―	320	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	平成28年4月 第1年次	
放射線・情報科学科	4	50	―	200	学士 (放射線・情報科学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	令和2年4月 第1年次	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科	4	60	―	240	学士 (心理学)	文学関係	平成30年4月 第1年次	東京都港区 赤坂4-1-26
医療マネジメント学科	4	60	―	240	学士 (医療マネジメント学)	経済学関係	平成30年4月 第1年次	
小田原保健医療学部 看護学科	4	80	―	320	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成18年4月 第1年次	
理学療法学科	4	80	―	320	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成18年4月 第1年次	神奈川県 小田原市 城山1-2-25
作業療法学科	4	40	―	160	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成18年4月 第1年次	
福岡保健医療学部 看護学科	4	60	―	240	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	令和5年4月 第1年次	
理学療法学科	4	50	―	200	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成17年4月 第1年次	
作業療法学科	4	30	―	120	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成17年4月 第1年次	福岡県 大川市榎津137-1
言語聴覚学科	4	0	―	0	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成19年4月 第1年次	
医学検査学科	4	80	―	320	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	平成25年4月 第1年次	
福岡薬学部 薬学科	6	120	―	720	学士 (薬学)	薬学関係	令和2年4月 第1年次	同上
計		2,245 (2,165)	3年次 5	10,110 (9,790)				

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	学科の届出設置 保健医療学部　医学検査学科（入学定員80人）　令和6年4月届出予定

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	－	－	－	－	－	－

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設分	保健医療学部　看護学科	7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)	0 (0)	60 (60)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 １０人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)			
	保健医療学部　理学療法学科	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	63 (63)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ７人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			
	保健医療学部　作業療法学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	66 (66)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			

新設分（つづき）

保健医療学部　言語聴覚学科	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	79 (79)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)			
保健医療学部　放射線・情報科学科	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	58 (58)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ７人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)			
保健医療学部　視機能療法学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)	1 (2)	64 (64)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)			

新設分（つづき）

保健医療学部　医学検査学科	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)	0 (0)	68 (68)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)			
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)	1 (1)	47 (47)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 １２人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)			
薬学部　薬学科	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)	1 (1)	53 (53)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ２５人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)			

新設分（つづき）

医学部　医学科	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)	10 (10)	225 (225)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 １２０人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)			
成田看護学部　看護学科	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)	1 (1)	66 (66)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ８人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)			
成田保健医療学部　理学療法学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)	0 (0)	70 (70)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)			

新設分（つづき）

成田保健医療学部　作業療法学科	4 (4)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	9 (9)	1 (1)	71 (71)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	8 (8)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	8 (8)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	9 (9)			
成田保健医療学部　言語聴覚学科	4 (4)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	80 (80)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	3 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	9 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	3 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	9 (9)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
計（a～d）	4 (4)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	10 (10)			
成田保健医療学部　放射線・情報科学科	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	70 (70)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			

新設分（つづき）

成田保健医療学部　医学検査学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)	0 (0)	69 (69)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			
成田薬学部　薬学科	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)	0 (0)	56 (56)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ２３人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)			
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	28 (28)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			

新設分（つづき）

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	32 (32)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 １１人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)			
小計（a～b）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)			
小田原保健医療学部　看護学科	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)	1 (1)	62 (62)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ９人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)			
小田原保健医療学部　理学療法学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)	0 (0)	65 (65)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)			

新設分（つづき）

小田原保健医療学部　作業療法学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	56 (56)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)			
福岡保健医療学部　看護学科	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)	0 (0)	51 (51)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ９人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)			
福岡保健医療学部　理学療法学科	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)	0 (0)	45 (45)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)			

新設分（つづき）

福岡保健医療学部　作業療法学科	4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	47 (47)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)			
福岡保健医療学部　医学検査学科	4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	41 (41)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)			
福岡薬学部　薬学科	15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)	0 (0)	39 (39)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ２３人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)			
計	342 (340)	113 (109)	113 (110)	96 (93)	664 (652)	16 (17)	— (—)	

既設分	なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ○○人
		b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
		小計（ａ～ｂ）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
		c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
		d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
		計（ａ～ｄ）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
合　　計			342 (340)	113 (109)	113 (110)	96 (93)	664 (652)	16 (17)	— (—)	

職種	専属	その他	計	大学全体
事務職員	960人 (955)	290人 (280)	1250人 (1235)	
技術職員	12人 (10)	0人 (0)	12人 (10)	
図書館職員	16人 (15)	25人 (23)	41人 (38)	
その他の職員	3720人 (3372)	280人 (270)	4000人 (3642)	
指導補助者	0人 (0)	30人 (30)	30人 (30)	
計	4708人 (4352)	625人 (603)	5333人 (4955)	

	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
校地等	校舎敷地	373,252㎡	— ㎡	— ㎡	373,252㎡	■校舎敷地:借用面積58,854㎡、期間30年 ■運動場用地:①借用面積3,557㎡、期間5年間(道路占用許可。その後、順次更新)②借用面積5,659㎡、期間30年③借用面積11,944㎡、期間30年
	その他	114,126㎡	— ㎡	— ㎡	114,126㎡	
	合計	487,378㎡	— ㎡	— ㎡	487,378㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	228,213㎡ (219,567㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	228,213㎡ (219,567㎡)	■借用面積14,691㎡、期間20年

教室・教員研究室	教室	812 室	教員研究室	438 室	大学全体

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点
	大学全体	271,934〔34,034〕 271,434〔34,034〕	37,251[33,297] (36,751[33,197])	20,288〔15,476〕 20,288〔15,476〕	16,347〔14,736〕 16,347〔14,736〕	135,124 (134,142)	2,715 (2,709)
	計	271,934〔34,034〕 271,434〔34,034〕	37,251[33,297] (36,751[33,197])	20,288〔15,476〕 20,288〔15,476〕	16,347〔14,736〕 16,347〔14,736〕	135,124 (134,142)	2,715 (2,709)

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	大学全体
	8,317㎡	— ㎡	7,465㎡	

経費の見積及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	大学全体
		教員１人当り研究費等		500千円	500千円	500千円	500千円			
		共同研究費等		5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円			
		図書購入費	70,000千円	59,000千円	59,000千円	59,000千円	59,000千円	55,000千円	55,000千円	
		設備購入費	2,692,000千円	2,863,000千円	2,475,000千円	2,475,000千円	2,475,000千円	2,467,000千円	2,467,000千円	
	学生１人当り納付金			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
		保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科） 成田保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科） 小田原保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科）		1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	― 千円	― 千円	
		保健医療学部（看護学科、放射線･情報科学科、医学検査学科） 成田看護学部 成田保健医療学部（放射線･情報科学科、医学検査学科） 小田原保健医療学部（看護学科）		1,610千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	― 千円	― 千円	
		福岡保健医療学部（看護学科）		1,410千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	― 千円	― 千円	
		福岡保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、医学検査学科）		1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	― 千円	― 千円	
		医療福祉学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部		1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	― 千円	― 千円	
		医療福祉学部（医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース）		960千円	920千円	920千円	920千円	― 千円	― 千円	
		薬学部 成田薬学部 福岡薬学部		1,750千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	
		医学部		4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入　等						

既設大学等の状況

大学等の名称	国際医療福祉大学							
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
保健医療学部						1.02		栃木県
看護学科	4	115	-	460	学士（看護学）	1.00	平成７年度	大田原市北金丸2600-1
理学療法学科	4	100	-	400	学士（理学療法学）	1.02	平成７年度	
作業療法学科	4	80	-	320	学士（作業療法学）	1.03	平成７年度	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士（言語聴覚学）	1.00	平成７年度	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士（視機能療法学）	1.04	平成14年度	
放射線・情報科学科	4	110	-	440	学士（放射線・情報科学）	1.06	平成７年度	
医療福祉学部			3年次			0.99		
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士（医療福祉学）（医療マネジメント学）	0.99	平成21年度	
薬学部						0.98		
薬学科	6	180	-	1080	学士（薬学）	0.98	平成18年度	
医学部						0.98		千葉県成田市
医学科	6	140	-	840	学士（医学）	0.98	平成29年度	公津の杜4-2
成田看護学部						1.06		千葉県成田市
看護学科	4	100	-	400	学士（看護学）	1.06	平成28年度	公津の杜4-3
成田保健医療学部						1.04		
理学療法学科	4	80	-	320	学士（理学療法学）	1.05	平成28年度	
作業療法学科	4	40	-	160	学士（作業療法学）	1.04	平成28年度	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士（言語聴覚学）	1.04	平成28年度	
医学検査学科	4	80	-	320	学士（医学検査学）	1.05	平成28年度	
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士（放射線・情報科学）	1.03	令和2年度	
成田薬学部						-		千葉県成田市
薬学科	6	120	-	120	学士（薬学）	-	令和6年度	公津の杜4-2
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部						0.98		東京都港区赤坂4-1-26
心理学科	4	60	-	240	学士（心理学）	1.03	平成30年度	
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士（医療マネジメント学）	0.94	平成30年度	
小田原保健医療学部						1.06		神奈川県
看護学科	4	80	-	320	学士（看護学）	1.04	平成18年度	小田原市城山1-2-25
理学療法学科	4	80	-	320	学士（理学療法学）	1.09	平成18年度	
作業療法学科	4	40	-	160	学士（作業療法学）	1.06	平成18年度	

既設大学等の状況	福岡保健医療学部						1.05		福岡県大川市	
	看護学科	4	60	−	120	学士 （看護学）	1.03	令和5年度	榎津137-1	
	理学療法学科	4	50	−	220	学士 （理学療法学）	1.10	平成17年度		※令和5年度入学定員減（△10人）
	作業療法学科	4	30	−	140	学士 （作業療法学）	0.92	平成17年度		※令和5年度入学定員減（△10人）
	言語聴覚学科	4	−	−	−	学士 （言語聴覚学）	−	平成19年度		※令和5年度学生募集停止
	医学検査学科	4	80	−	320	学士 （医学検査学）	1.08	平成25年度		
	福岡薬学部						1.01			
	薬学科	6	120	−	600	学士 （薬学）	1.01	令和2年度		
	医療福祉学研究科								栃木県	
	保健医療学専攻	2	200	−	400	修士 （保健医療学） （看護学） （助産学） （言語聴覚学） （生殖補助医療学） （医療福祉教育・管理学） （臨床検査学） （災害医療学） （遺伝ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ学）	1.01	平成11年度	大田原市 北金丸2600-1	
	医療福祉学研究科									
	保健医療学専攻	3	80	−	240	博士 （保健医療学） （看護学） （助産学） （言語聴覚学） （生殖補助医療学） （医療福祉教育・管理学） （臨床検査学） （災害医療学） （医療遺伝学） （医療福祉経営学） （医療福祉学） （診療情報管理学） （医療福祉国際協力学） （介護福祉・ケアマネジメント学） （臨床心理学） （医療福祉ジャーナリズム学）	0.96	平成13年度		※令和4年度入学定員増（10人）

既設大学等の状況	医療福祉経営専攻	2	50	－	100	修士 （医療福祉学） （診療情報管理学） （医療ビジネス経営学） （医療福祉管理学） （医療福祉国際協力学） （介護福祉・ケアマネジメント学） （自立支援介護学） （自立支援実践ケアマネジメント学） （医療福祉ジャーナリズム学） （医療通訳・国際医療マネジメント学）	1.07	平成13年度		
	臨床心理学専攻	2	35	－	70	修士 （臨床心理学）	1.00	平成19年度	東京都港区 赤坂4-1-26	
	薬科学研究科 生命薬科学専攻	2	5	－	10	修士 （薬科学）	0.00	平成22年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1	
	薬学研究科 医療･生命薬学専攻	4	5	－	20	博士 （薬学）	0.75	平成24年度		
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	－	－	－	修士 （公衆衛生学） （医科学）	0.87	平成30年度	千葉県成田市 公津の杜4-2 東京都港区 赤坂4-1-26	※令和6年度より学生募集停止
	医学専攻	4	20	－	80	博士 （医学）	1.02	平成30年度		
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	20	－	20	公衆衛生学修士 （専門職）	－	令和6年度		
附属施設の概要	名　　称：国際医療福祉大学病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：栃木県那須塩原市井口537-3 設置年月：平成19年2月 規 模 等：建物39,437㎡　408床 名　　称：国際医療福祉大学塩谷病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成21年4月 規 模 等：建物17,022㎡　240床										

附属施設の概要	名　　称：国際医療福祉大学成田病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：千葉県成田市畑ヶ田852 設置年月：令和2年3月 規 模 等：建物91,000㎡　642床 名　　称：国際医療福祉大学市川病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：千葉県市川市国府台6-1-14 設置年月：平成29年9月 規 模 等：建物16,811㎡　260床 名　　称：国際医療福祉大学三田病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：東京都港区三田1-4-3 設置年月：平成17年3月 規 模 等：建物35,504㎡　291床 名　　称：国際医療福祉大学熱海病院 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：静岡県熱海市東海岸町13-1 設置年月：平成14年7月 規 模 等：建物23,257㎡　269床 名　　称：国際医療福祉大学クリニック 目　　的：診療及び臨床実習 所 在 地：栃木県大田原市北金丸2600-6 設置年月：平成9年5月 規 模 等：建物3,574㎡ 名　　称：国際医療福祉大学　介護老人保健施設マロニエ苑 目　　的：介護老人保健施設及び臨床実習 所 在 地：栃木県那須塩原市井口533-4 設置年月：平成19年2月 規 模 等：建物7,052㎡　定員200名（ショートステイ含む） 名　　称：国際医療福祉大学　にしなすの総合在宅ケアセンター 目　　的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所 在 地：栃木県那須塩原市井口533-11 設置年月：平成19年2月 規 模 等：建物850㎡ 名称：国際医療福祉大学　しおや総合在宅ケアセンター 目　　的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所 在 地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成26年4月 規 模 等：999㎡	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健医療学部　医学検査学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
総合教育科目	人間系	文学論	1・2・3・4前			2		○								1	
		演劇論	1・2・3・4後			1		○								1	
		心理学	1・2・3・4前			2		○								1	
		哲学	1・2・3・4前			2		○								1	
		コミュニケーション概論	1・2・3・4後			2		○								1	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1・2・3・4前			2		○								1	メディア
		人間学	1・2・3・4後			2		○								1	
		歴史学	1・2・3・4後			2		○								1	
		倫理学	1・2・3・4後			2		○								1	
		宗教学	1・2・3・4後			2		○								1	メディア
		日本近現代史	1・2・3・4後			2		○								1	
		文化人類学	1・2・3・4前			2		○								1	
		教育学	1・2・3・4後			2		○								1	
		教育方法論	1・2・3・4前			2		○								1	
		死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4前			2		○								1	メディア
		生きがい論	1・2・3・4後			2		○								1	
		人間系 小計（16科目）	－	－	0	31	0	－			0	0	0	0	0	11	－
	社会系	法学	1・2・3・4後			2		○								1	
		日本国憲法	1・2・3・4前			2		○								1	
		法と道徳・倫理	1・2・3・4後			2		○								1	
		社会学	1・2・3・4前			2		○								1	
		日本政治経済論	1・2・3・4前			2		○								1	
		マスメディア論	1・2・3・4前			2		○								1	
		福祉経済学	1・2・3・4後			2		○								1	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4後			2		○								1	
		国際関係論	1・2・3・4前			2		○								1	
		世界の経済	1・2・3・4前			2		○								1	
		国際医療福祉論	1・2・3・4前			2		○								1	
		組織運営管理論	1・2・3・4前			2		○								1	
		海外保健福祉事情	2・3・4後	○		2				○		1				1	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1後	○	1			○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前			2		○								1	
		ボランティア論	1・2・3・4後			2		○								1	
		ボランティアコーディネート論	1・2・3・4後			2		○								1	
		手話入門	1・2・3・4前			2		○								2	共同
		経済の仕組み	1・2・3・4前			2		○								1	
		経済の歴史	1・2・3・4後			2		○								1	
		社会系 小計（20科目）	－	－	1	38	0	－			0	1	0	0	0	13	－
	自然・情報系	統計学	1・2・3・4後			2		○								1	
		疫学・保健医療統計学	1後			2		○								1	
		数学	1・2・3・4前			2		○								1	
		物理学	1・2・3・4前			2		○								1	
		化学	1後	○	2			○								1	
		生物学	1・2・3・4前			2		○								1	
		コンピュータの基礎	1・2・3・4後			2		○								1	
		データリテラシー	1前	○	1				○							1	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2・3・4前			1			○							1	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2・3・4後			1			○							1	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1後	○	1			○								1	
		医学／医療史	1・2・3・4後			2		○								1	メディア
		人間工学	1・2・3・4後			2		○								1	
		自然・情報系 小計（13科目）	－	－	4	18	0	－			0	0	0	0	0	9	－

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
総合教育科目	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1前	○	1			○								1	
		郷土論～栃木学～	1・2・3・4前			1		○								1	
		医療福祉教養講義	1・2・3・4後			1		○								1	
		メディカルマナー入門	1・2・3・4後			2		○								1	メディア
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う	1・2・3・4後			1		○								1	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1・2・3・4後			1		○								1	
		食と人間	1・2後			1		○								1	
		持続可能な発展	1・2・3・4前			2		○								1	
		ボランティア実践	1・2・3・4後			1		○								1	
		総合系 小計（9科目）	－	－	1	10	0	－			0	0	0	0	0	6	－
	外国語系	英語講読１（Primary）	1前	○	1			○								1	
		英語講読２（Basic）	1後	○	1			○								1	
		英語講読３（Intermediate）	2・3・4前			1		○								1	
		英語講読４（Advanced）	2・3・4後			1		○								1	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1前	○	1			○								1	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1後	○	1			○								1	
		英語会話１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		英語会話２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		英語会話３（Intermediate）	2・3・4前			1		○								1	
		英語会話４（Advanced）	2・3・4後			1		○								1	
		聖書英語１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		聖書英語２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		医学英語１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		医学英語２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		英語リスニング１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		英語リスニング２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		英語ライティング１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		英語ライティング２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		英語医療通訳入門１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		英語医療通訳入門２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		資格英語１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		資格英語２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		基礎英文法１（Primary）	1・2・3・4前			1		○								1	
		基礎英文法２（Basic）	1・2・3・4後			1		○								1	
		上級英語会話１（発展）	1・2・3・4前			1		○								1	
		上級英語会話２（総合）	1・2・3・4後			1		○								1	
		フランス語入門	1・2・3・4前			1		○								1	
		フランス語基礎	1・2・3・4後			1		○								1	
		ドイツ語入門	1・2・3・4前			1		○								1	
		ドイツ語基礎	1・2・3・4後			1		○								1	
		スペイン語入門	1・2・3・4前			1		○								1	
		スペイン語基礎	1・2・3・4後			1		○								1	
		中国語入門	1・2・3・4前			1		○								1	
		中国語基礎	1・2・3・4後			1		○								1	
		韓国語入門	1・2・3・4前			1		○								1	
		韓国語基礎	1・2・3・4後			1		○								1	
	留学生の日本語科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1・2・3・4前			1		○								1	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1・2・3・4前後			1		○								1	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1・2・3・4後			1		○								1	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1・2・3・4前			1		○								1	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1・2・3・4前後			1		○								1	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1・2・3・4後			1		○								1	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1・2・3・4前後			1		○								1	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1・2・3・4後			1		○								1	
		医療福祉専門漢字	1・2・3・4前後			1		○								1	
		医療福祉専門語彙	1・2・3・4前後			1		○								1	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1・2前後				3	○								1	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1・2前後				3	○								1	
		外国語系 小計（48科目（留学生12科目含））	－	－	4	42	6	－			0	0	0	0	0	10	－

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
総合教育科目	体育系保健		健康科学理論	1・2・3・4後			1		○								1	メディア
			健康科学実践	1・2・3・4前			1				○						1	
			保健体育系 小計（2科目）	－	－	0	2	0	－			0	0	0	0	0	2	－
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学	2前	○	2			○								1	
			救急医学	2・3後			1		○								1	
			微生物と病気	1・2後			2		○								1	
			リハビリテーション概論	1・2前			2		○								1	
			関連職種連携論	2後	○	2			○			1					1	
			看護論	1後			2		○								1	
			ケアマネジメント論	1・2前			1		○								1	
			ケースワーク論	1・2後			1		○								1	
			医療管理学	1・2前			2		○								1	
			保健医療福祉制度論	1前	○	2			○								1	
			社会福祉学	1・2前			2		○								1	
			臨床心理学概論	1・2後			2		○								1	
			福祉支援工学概論	1・2前			2		○								1	
			関連職種連携ワーク	3前	○	1				○				1			1	
			関連職種連携実習	4前	○		1				○	1					1	
			リスクマネジメント論	2後			2		○								1	メディア
			電子カルテシステム入門	2後			1		○								1	
			レクリエーション概論	2後			1		○								1	
		医学検査学科	解剖学Ⅰ（総論）	1前	○	2			○								1	
			解剖学Ⅱ（各論）	1後	○	2			○								1	
			組織学演習	2前	○	1				○			2		1			共同
			生理学	1後	○	1			○								1	
			病理学	1後	○	2			○			1						
			臨床医学概論	2後	○	1			○								1	
			内科学	2前	○	1			○								1	
			臨床神経学	1・2・3後			1		○								1	
			精神医学	1・2・3後			1		○								1	
			リハビリテーション医学	1後	○	1			○								1	
			小児科学	1・2・3後			1		○								1	
			老年学	1前	○	1			○								1	
			病態薬理学	1後	○	1			○								1	
			臨床栄養学	1後	○	1			○								1	
			遺伝学	1前	○	1			○			1						
			分析化学	1後	○	1			○								1	
			生化学	1前	○	1			○								1	
			生化学実習	1後	○	1					○	1			1			共同
			医用工学・情報概論	1前	○	2			○			1						
			医用工学・情報実習	1後	○	1					○	1			1			共同
			検査機器学・情報システム学総論	2前	○	2			○				1					
			専門基礎科目 小計（39科目）	－	－	30	25	0	－			4	3	1	1	0	25	－
専門教育科目	専門科目		病理検査学	2前	○	2			○			1						
			病理検査学実習	3前	○	2					○	1	2		1			共同
			細胞診断学	2前	○	1			○				1					
			細胞診断学実習	2後	○	1					○	1	2		1			共同
			血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2前	○	2			○			1						
			血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2後	○	2			○					1				
			血液検査学実習	3前	○	2					○	1		1	1			共同
			一般検査学	1後	○	2			○					1				
			一般検査学実習	2前	○	1					○			1	1			共同
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	1後	○	2			○								2	
			臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2前	○	2			○								2	
			臨床化学検査学実習	2後	○	2					○	1			1			共同
			遺伝子検査学	1後	○	2			○			1						
			遺伝子検査学実習	2前	○	1					○	1	1		1			共同
			微生物検査学Ⅰ（細菌）	2前	○	2			○				1					
			微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2後	○	2			○				1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門教育科目	専門科目	微生物検査学実習	3前	○	2					○	1	1	1	1			共同
		医動物学演習	2前	○	1				○					1			
		免疫検査学	2前	○	1			○					1				
		免疫検査学実習	2後	○	1					○		1	1	1			共同
		輸血・移植検査学	2後	○	2			○								1	
		輸血・移植検査学実習	3前	○	2					○				1		1	共同
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2前	○	2			○				1					
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2後	○	2			○				1					
		生理検査学実習	3前	○	3					○		1		1			共同
		超音波・MRI検査学	2後	○	2			○			1						
		超音波・MRI検査学実習	2後	○	1					○	1			1			共同
		先進臨床検査技術学	3前			2		○				1					
		臨床検査統計学	2前	○	2			○								1	
		医療安全管理学演習	2後	○	2				○		2			1			共同
		精度管理学	3前	○	1			○			1						
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3後	○	2			○			1						
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4前	○	4			○				1					
		臨地実習	3後	○	11					○	4	4	1	2			共同
		卒業研究	4前	○	4				○		4	4	1				共同
		医科分子生物学	1・2・3後			1		○			1						
		臨床検査研究論	3前	○	2			○			1						
		循環動態画像診断学	3前	○	1			○								1	
		臨床検査管理総論	1前	○	2			○			1						
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3前	○	1			○			1						
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	4前	○	2			○			1						
		臨床検査基礎演習	1後	○	1				○				1	1			共同
		客観的臨床能力試験	3後	○	1					○	3	4	1				共同
		入門細胞診断学演習	1後	○		1			○		1	1		1			共同
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2前	○		1			○		1	2		1			共同
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2後	○		1			○		1	2		1			共同
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3前	○		1			○		1	2		1			共同
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3後	○		1			○		1	2		1			共同
		臨床検査質量分析学演習	4前	○		1			○		1			1			共同
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3後	○		1			○		1	1		1			共同
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4前	○		1			○		1	1		1			共同
		生殖補助医療胚培養学	2後	○		1		○								1	
		生殖補助医療胚培養学演習	4前	○		1			○					1		1	共同
		専門科目 小計（53科目）	－	－	83	13	0	－			4	4	1	2	0	5	－
合計（200科目（留学生12科目含））			－	－	123	179	6	－			4	4	1	2	0	65	－

学位又は称号	学士(医学検査学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係以外)

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
卒業単位数 卒業要件128単位以上 ・総合教育:12単位 ［社会系:必修1単位、自然・情報系:必修4単位、総合系:必修1単位、外国語系:必修4単位/選択2単位以上］ ・専門教育:116単位 ［専門基礎:必修30単位、専門:必修83単位、これ以外に専門教育（専門基礎と専門）から選択3単位以上］ 【留学生】卒業要件130単位以上または132単位以上 ・総合教育:14単位または16単位 ［社会系:必修1単位、自然・情報系:必修4単位、総合系:必修1単位、外国語系:必修5単位/選択3単位以上または5単位以上］ ・専門教育:116単位 ［専門基礎:必修30単位、専門:必修83単位、これ以外に専門教育（専門基礎と専門）から選択3単位以上］	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業の標準時間	90分

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（保健医療学部　医学検査学科等）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	人間系	文学論		文学、個々の作品を歴史的・社会的背景と関連付けつつ概観する。	
		演劇論		演劇作品および舞台芸術について、歴史的背景や社会的文脈に位置付けつつ概観する。	
		心理学		心理学の様々な領域の基本的な知識を幅広く学ぶことで、人間の心に対する理解を深める。認知・学習・動機づけなどの基礎的な心の仕組みから、発達、個人差、心理臨床、社会と関わりといった人間の全体像の理解につながる領域までを扱う。誰もが経験する心の動きや働きを、科学的な視点で見つめ直す。それぞれのトピックで紹介される知識を吸収するだけでなく、心理学という学問に特徴的なものの見方や考え方を深く理解し、自分を含めた人間の心を客観的に理解・判断する能力を養うことが目標。	
		哲学		「哲学とは何か」という哲学の概念から始めて、西洋近代哲学の完成期である１９世紀までの代表的な哲学・思想を概観する。特に、古代から中世、中世から近世への大転換期に生じたパラダイム・チェンジに焦点を当てて、人類の世界観的変遷をたどる。西洋哲学はあらゆる学問の基礎に内在するもっとも本質的なものである。講義はできる限りわかりやすく、映像資料等を利用し、身近なエピソード・時事的なテーマも材料にして、個々の哲学・思想の本質に迫って理解を促す。	
		コミュニケーション概論		コミュニケーションには様々な現象が含まれるが、社会科学の研究対象として特に注目されてきたのが「マス・コミュニケーション」である。送り手による情報の操作、擬似的な現実の発生、受け手への直接的な影響の可能性など、この分野の議論を歴史的に整理してみたい。二つ目のテーマとして「対人的なコミュニケーション」を取り上げる。ことばのやりとりを通じて相手の意見や行動に影響を与えるという相互行為である。この分野の研究には、セールスのテクニックや上手な説得の方法など、実用的な意味をもつものが多い。もうひとつ、コミュニケーションには人格的な存在としての「自己」を作り上げるという重要な側面がある。日常生活のなかで「あたりまえ」となった現実を、様々な視点から、改めて反省していきたい。	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		医療・福祉の現場で働くにあたり求められる、「話す力」と「訊く力」を養い、現場で実践できるコミュニケーションスキルを習得する。	
		人間学		人間学とは何か。ヒトは精神・心と身体を有し、生物であると同時に創造的存在である。また、普遍的共通性を持つと同時に唯一独自個別性を持つ。ヒトの持つ様々な側面を多面的に考察し、ヒトの持つ奥深さ、不可思議さを考える。	
		歴史学		本講義の目的は、歴史認識の基本問題、歴史研究の構造と方法、時代区分論など、歴史研究の基本問題および歴史教育論について、日本史・世界史に分けて論ずるところにある。	
		倫理学		本講義は学生が主体的に参加する＜討論＞を中心とした講義である。教師による壇上からの一方的講義を行わず、履修者が主体的に討論に参加する学生参加型の講義とする。参加者は与えられたテーマについて討論し、その際に司会者、および、討論内容を記録して発表する書記も経験する。各テーマに関連する思想的背景を講義形式で補足し、討論の材料とする。応用倫理学的な側面とともに、思考実験的要素を含むため、履修者は討論に参加して積極的に発言することが求められる。下に記したテーマは昨年度のもので、履修者の希望や討論の進行状況に応じて変更することが可能である。討論の参考として、ドキュメンタリーなどの映像資料を積極的に用いる。	
		宗教学		日本ではなじみのうすい「宗教」だが、海外でのグローバルな活動を目指すにあたっては様々な場面で宗教に関する知識が必要となる。多種多様な宗教の概要を理解するとともに、「無宗教」と言われながら多数の寺社仏閣を抱える日本社会の実情にも触れていく。また、古くから深い関連がある、宗教と医療の関係性についてもふれていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	人間系	日本近現代史		戦後70年近くを経ても、未だに日本と近隣諸国との間で軋轢が絶えないのはなぜだろうか。私たちの生きる現代日本社会の歩んできた過程について、近現代に絞ってその意味と捉え方について学んでいく。	
		文化人類学		「文化」を手がかりに、人間の考え方、ものの見方、ふるまい方の多様性と、その根底にある普遍性を理解する。私たちが普段あたり前のこととして受けとめ、判断していることが、時を越え国を超えた人々にとっては異質に受け止められることもある。文化人類学的な視点と方法は、これからの地球化する社会に生きる人々にとっての、ひとつの手がかりになる。本講義は、医療福祉の専門職をめざす本学の学生に対して、「異文化」として「医療・福祉」を問い直すことを求めている。文化人類学的な「ものの見方」を身につけることで、専門職の側の前提やイデオロギーに気づき、ケア提供者と病者との新たな関係性を問い直すことができると考える。	
		教育学		この授業では、まず「教育」という言葉の発生的意味を考え、それに基づいてこれまでの西洋と日本との教育の歴史的展開を概観し、「人間のための教育」という視点から、そこに見られる主な問題、とりわけ現代の子どもたちをめぐる諸問題（いじめ、虐待、不登校、院内学級、子育て問題など）について検討していく。その上で、今後どのように教育の意識改革とシステム改革を図っていくかについて、「学び」と「援助」をキーワードとして、さまざまな具体的な教育思想や実践事例などを紹介しながら受講者と共に考えていく。	
		教育方法論		現代の教育に関わる問題の検討を通して、教育の意義・機能を理解する。さらに教育活動の根幹をなす教授・学習行為、学力の捉え方と教育方法の関係について理解を深める。それらの知識を活用し、学習者の発達段階を考慮した学習指導案を作成し、発表する。	
		死生学−死を通して生を考える−		本講座では、ひとが生きる上で避けることが出来ない大きな課題である「死」について、「生きること」との対比を行うことで、より深く具体的に考える姿勢を獲得することを目標とする。特に、医療や福祉の様々な現場で遭遇する「生と死の課題」にプロフェッショナルとして、どのように立ち向かうのかと言う視点から、具体的な事象やテーマを取り上げて、具体的な行動につなげるための基盤形成を行うための知識とコミュニケーションスキルに焦点を当てる。	
		生きがい論		人間は、〈何か〉に影響されて心の波紋が広がり、自身を形成していく。ところが、現在はこのことを知りながら、その〈何か〉を見過ごし、或いは見極める現状があるにもかかわらず放棄しているように思えるのです。つまり、日常的に付き合う人間関係のなかで心のヒダも稀薄になってしまうことは、生きることへの損失です。こうした中で〈自分で自分を見つける〉ことが大切なのです。毎回授業で映画・映像を使いながら、人間として生きることの本質を学んでゆきたいと考えます。日常生活の考え方の中で〈生きがい〉についての判断は自分で決めることです。その基本になる精神を学生のうちにつくっておきたいものです。〈豊かな生き方〉への入門です。	
	社会系	法学		法学は、日常生活における様々なトラブルや問題を解決するための考え方を学ぶものです。授業では、社会で起きている具体的な問題を取り上げます。それら問題を、自分の頭で考えて、一つの解答を導き出してみましょう。社会に出て、新たな問題にぶつかったとき、きっと役に立つはずです。	
		日本国憲法		憲法を学ぶ理由の一つは、近い将来、選挙権・被選挙権をもつようになり、労働者となり、あるいは、結婚して新たな家族ができていく中で、憲法がより一層具体的で密接な存在となるからです。また、憲法は各種の人権を規定しますが、その考え方は質の高い医療・福祉の提供のため必要です。	
		法と道徳・倫理		法は、人類の長きにわたる歴史の中で、人権の思想や、道徳・倫理的価値も取り入れつつ発展してきた行為規範です。法は万能ではなく、法のみでは判断し得ない道徳・倫理的問題もあります。人権の理念や法と道徳・倫理の関係を学習し、将来医療福祉の現場に立つ者としてのたくましい道徳感・倫理感を涵養する土台を築いていきます。	
		社会学		社会学が対象とするのは私達が身を置き、生活し、人々と接する社会そのものです。社会学はそれに対し日常的に経験する方法とは違った独自の視点から理解しようとする試みと言えるでしょう。本講は初めて社会学に接する受講者に社会学とはいかなる学問であるかを紹介することを主眼とします。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	社会系	日本政治経済論		日本は経済の繁栄を中心に豊かな社会の建設を目指して平和裏のうちに戦後半世紀以上を過ごしてきました。今グローバリゼーションの中で世界中が豊かになりつつあり、日本も新しい生き方が求められています。社会福祉の充実、政府の国債依存体質、地方社会の人口減少、いろいろな格差問題など解決しなければいけない課題が増えています。モノ不足の社会から過剰社会へと進んできた歴史と今後のあり方を、一体化した政治と経済の両面から探って考えていきます。	
		マスメディア論		メディアの発達は、私たちの感覚や認識を時間的、空間的に大きく広げました。マスメディアは一部の人が独占していた情報を大衆のものにし、自由と民主主義の発展を促してもきました。しかしあまりにも大きくなったその影響力ゆえに、いま、さまざまな問題が起きています。そのマスメディアについて知り、考えるのが、この講義の目的です。	
		福祉経済学		ヘルス・エコノミックス（The Economics of Health and Health Care）に焦点を当てた講義とする。主な項目は次の通りである。（1）ヘルス経済学とは・正統派経済学との比較、（2）ヘルス生産の問題、（3）ヘルス資本の需要・その投資と均衡の問題、（4）消費者選択、ヘルス・ケア測定の諸問題、（5）医療情報・代理人と供給誘導、需要の関係、（6）保険制度の経済学、（7）ヘルス・プロバイダーの産業組織、（8）医療技術・技術変化と費用の諸問題、(9)公共政策改革と評価の課題。教科書、論文などの参考文献は講義の際にとりあげる。現実の医療の動きに関する図表も多用して講義の生産性が上がるように工夫したい。	
		アジア諸国の経済・社会・文化		アジアは近年、急速な発展、変貌を見せております。日本とアジアの歴史、各国の政治経済文化を学び、どう付き合い、向き合っていったらいいかを考える。欧米との比較も忘れずに。	
		国際関係論		国際関係論とはどのような学科であるかをとりあげた後、医療福祉分野の国際関係論を勉強していく。主要な項目は、①WHO（国際保健機関）の国際関係論、②先進国の発展途上国への医療援助の問題、③先進国間の医療研究の国際交流、④各国の医療ルールの調整問題。特に先進国、発展途上国間の国際協力の問題と先進国間の国際交流の問題を事例研究によって明らかにしていくことに心がける。参考文献は各講義においてとりあげていく。	
		世界の経済		国際経済学とは複数国にまたがる経済現象を対象とし、各国経済の相互依存関係を明らかにし、その成果を個人や企業や政府の意志決定に資する学科である。講義では医療福祉の国際化に関連した動きに焦点を当てる。主な項目は、(1)世界の人口爆発と新移民時代、(2)地球温暖化の問題、(3)インターネットとサイバー・コーポレーションの問題、(4)経済援助の問題、(5)機関投資家と新しい国際経済学、(6)各国ルールのハーモナイゼイションの課題、(7)日本の医療福祉産業の国際化。参考文献は各講義においてとりあげる。幅広い医療経済の国際化への動きを現実の統計によっても明らかにしていきたい。	
		国際医療福祉論		医療福祉に関わる制度やサービスの提供方法は国によって大きく異なる。そうした諸外国の状況を知ることは、わが国の医療福祉制度やサービス提供方法の長所や問題点をよりよく知ることにもつながる。授業では、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、北欧の先進国と中国、韓国、フィリピン、タイ、ミャンマー等について具体的に各国の状況を紹介していく。	
		組織運営管理論		現代は組織の時代と呼ばれ、現代社会は組織によって構成されているともいわれる。政府、企業、学校、病院、ＮＰＯなど様々な組織に満ちあふれ、仕事でも生活でも何らかの組織と関わらずに過ごすことはない。個人では達成できない高度で複雑な仕事も、複数の人々が集まって組織を作り、分業と協働のしくみを築いて的確に運用・管理すれば実行可能となる。本講義では、組織とそのマネジメントに関する知識を概説する。	
		海外保健福祉事情	○	夏休みを利用し、海外の医療・福祉機関において現地スタッフの指導の下で、各施設利用者のケアやスタッフの手伝いを通じて、医療・福祉の現場に触れると共に、語学も磨きつつ国際感覚を涵養する。	主要授業科目
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	○	1）我が国の置かれている社会・経済状況、2）現在わが国で行われている種々の社会福祉政策と制度、3）医療保険制度と医療供給体制、4）高齢者医療と介護保険制度、5）地域医療制度、6）医療者の知っておくべき法律・法規、7）薬事行政、8）医療経済と医療データ管理などを学修することにより、医療系大学生としての必要な我が国の社会福祉・医療保障政策への理解を深め、将来、各専門分野で活躍するに必要な基礎的な知識と能力を高める。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	社会系	地球環境論		環境問題が社会問題化して久しい。「おじいさんは山に芝刈りに、おばあさんは川に洗濯に」の世界は単に御伽噺に過ぎないのだろうか？洗濯した川の下流の住民が同じ川で炊事をしても問題はなかった。 「環境」と「健康」は密接に関連する。さらに「栄養」「経済」も重要な因子として介在する。公共の交通手段が発達し、その速度は早くなり、航空機が普及し、遠隔地からの人の移動が容易になった。このことは感染症の伝播と関係する。「環境」と「健康」について学ぶ。	
		ボランティア論		21世紀はボランティアの時代といわれるように、近年、ボランティアに対する関心が急速に高まっており、様々な分野、様々な場面で実践が広がっている。本科目は、①講義によってボランティアについての理念や社会的意義等の基礎的な知識を理解するとともに、②受講生の主体的な学習および受講生同士の討議を通して、受講生一人ひとりのボランティア観を形成する。③そして、最終的には、受講生が具体的な自分自身のボランティア計画を策定し、ボランティア活動を実践するための具体的知識や方法を身につけ、さらにボランティア活動を行う主体的態度を形成することが目標である。	
		ボランティアコーディネート論		ボランティア活動は、医療・福祉分野をはじめ、環境分野、教育分野、災害支援分野など、多様な分野でその意義が高まっている。そのような中、ボランティア活動をより効果的なものにするための方法として、ボランティアコーディネートが注目されている。人々の主体的な活動を引出し、社会のニーズに適切に結び付け、ボランティアの力を最大化させるボランティアコーディネートの理論と手法について、演習、実践などを通して学ぶことが本講義の目的である。	
		手話入門		聴覚障害者にとってのバリアフリーとは情報保障の充実に他ならないが、その一つとして手話がある。本科目では、聴覚障害者との共生に関する理解を深める目的で日本や世界における手話の歴史的背景を学習し、さらに簡単な日常会話が手話で表現できることを目標にする。また、ろう講師と通訳者が共同して、すべての授業を行う。	共同
		経済の仕組み		「経済学って、なんだか難しそうだ」「経済は複雑で、よく分からない」という声を、しばしば耳にします。しかし、そんなに難しいものではありません。たしかに、いまの経済学の専門書には、難しい数式が並んでいます。しかしそれは、経済学者が、より精緻に経済現象を分析しようと試みているためで、経済学者や経済分析の専門家になろうという人以外には、そんな難しい数式は要りません。そもそも人類は、地球上に現れたときから経済活動を営んでいたわけだし、人間はだれでも赤ん坊の時から何がしかの経済活動に参加しているのです。経済は生きる営みそのもの。難しいなどと言ってはいられません。最も身近な、したがってだれにとっても必要な、勉強の対象です。いろいろな経済学がありますが、「現実の、生きた経済の仕組みを知るための経済学」が、この講義の狙いです。	
		経済の歴史		この講義では、「現実の生きた経済の仕組み」を知ることを目的とする。そのうえで、①私たちが現に生きている資本主義経済（市場経済）が、どのように生まれ、どのように発展、あるいは 変質してきたか、②その時々の経済社会を、「世俗の思想家」と呼ばれる経済学者たちが、どのように認識し、どのように改革すべきだと提案してきたか、を学ぶ方法をとります。 つまり、近現代の経済社会と経済思想の歴史を概観します。自然科学と違って社会科学は“実験”ができません。歴史に学ぶ以外にないのです。歴史に照らして、現在の経済社会が抱えている問題の本質をできるだけ明らかにするのが、この講義の狙いです。	
	自然・情報系	統計学		医療福祉系のための統計学の基礎。調査・実験のあり方および分析の手順など、ＥＢＰの観点から、検定よりも「群間比較の妥当性」、「無作為割付の重要性」を重視しています。ＥＢＰの観点から、有意差の有無よりも「相関比イータηによる群間差の大きさ」を重視しています。	
		疫学・保健医療統計学		国民の健康を取り巻く背景は大きく変化しており、保健医療の重点が治療優先から予防優先へと転換しつつあります。　効果的な予防を実践するには、各分野の専門職がチームワークを通じて専門的機能を発揮することが必要です。疫学・保健医療統計学はこうした専門的機能に対する科学的な評価にとって不可欠な知識や方法論であり、その基本の理解と実践への応用をみなさんとともに考えることを目標に講義を行います。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	自然・情報系	数学		数学の基本から始めて、初等関数の性質、関数の極限値、微分係数、導関数の意味、種々の関数の導関数の計算法、特に指数関数および対数関数の導関数、および導関数の簡単な応用を学習する。次に不定積分の意味と不定積分の計算法、特に置換積分法や部分積分法を学習した後、定積分の計算法、および定積分の簡単な応用を学習する。そして最後に、反応速度式などの微分方程式の解法を学習し、反応速度の微分型速度式および積分型速度式を理解して、微分方程式を自在に操れるようになることを目標とする。	
		物理学		物理学の基礎として、運動とエネルギー、運動量、いろいろな運動、気体分子運動を学習し、波動の基礎として、波の性質、音波、光波を学習し、電磁気学の基礎として、電界、電流、電流と磁界、電磁誘導と交流を学習し、そして量子化学の基礎としての、電子と光、原子、原子核を学習する。これらの学習をとおして薬学を学ぶ上で必要な物理的な考え方を修得することを目標とする。	
		化学	○	化学の基礎力を身に付けるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。まずモルの概念を明確にした後、化学反応を定量的に探り、モル濃度や反応の化学量論、さらに酸－塩基平衡についても演習を行う。次いで原子、分子、イオンの基本構造を学び、原子の電子配置を周期表に関連付けて理解する。これらに基づき化学結合へ発展させ、混成軌道、共鳴などを理解する。	主要授業科目
		生物学		生物学講義では生命の基礎となる「細胞の構造と機能」と「それらを構成する物質（核酸と タンパク質）」を解説します。さらに、ゲノムと遺伝子について説明し、ゲノムに刻まれたヒトの歴史をたどり、ゲノムの多様性の意味とヒトの未来を考えます。	
		コンピュータの基礎		人の情報や知識の習得方法を理解し、情報や知識の伝達媒体としてのコンピュータ活用の理解を深め、看護知識の蓄積である文献を効果的に活用するため、データベース検索の演習を行なう。また看護を行う上で必要な医療情報の運用とコンピュータ関連知識を学び、その例として電子カルテについて理解する。	
		データリテラシー	○	本科目では、数理・データサイエンス・AI（人工知能）への関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。このために、「社会におけるデータ・AI利活用」（導入：社会で起きている変化／データ・AI利活用の最新動向）および「データリテラシー」（基礎：データを読む／データを説明する／データを扱う）の二分野について、演習を通じて実践的に学習していく。「データを読む」では文章作成、「データを説明する」「データを扱う」では表計算の演習も同時に行う。	主要授業科目
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		本科目では、「データリテラシー」で学習した内容を深化させることを目的とし、「データ駆動型社会とデータサイエンス」「分析設計」「データ観察・分析・可視化」「ビックデータとデータエンジニアリング」および「データ表現・収集・加工」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習する。あわせて、これらの学習内容の基盤である「数学基礎」「アルゴリズム」および「プログラミング基礎」についても、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		本科目では、「データリテラシー」や「医療データサイエンスI」の学習内容を踏まえて、AI（人工知能）の基礎について、「歴史と応用分野」「AI と社会」「機械学習の基礎と展望」「深層学習の基礎と展望」「認識」「予測・判断」「言語・知識」「身体・運動」および「AIの構築と運用」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	○	1）疾病への様々な基本的な医学的・保健学的アプローチ 2）倫理の基本となる規範 3）医の倫理・生命倫理をめぐる様々な規制や問題 4）医療プロフェッショナリズム 5）医療安全・医薬品安全 6）医療事故・介護事故の事例とその法律解釈 などを学修できる授業を提供する。さらに医療情報に関する今日的・基本的な知識と扱い方を学習することにより、医療系学生として、将来、各専門分野で活躍するために必要な医療情報リテラシー、および医療データリテラシーに関する能力を高める。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	自然・情報系	医学／医療史		医療は医学の社会的適用とされているように、医学と医療は表裏一体のものである。その医療と医学の起源から今日までの歴史を、社会的・文化的な考察を交えながら、先人たちのあとをたどることを目的とする。	
		人間工学		人間工学の概要について学ぶ。人間工学は非常に幅広い学問分野なので、その中から福祉・リハビリテーション現場の状況、あるいは福祉用具などと関連づけたテーマを取り上げ、それを介して工学的な論理展開などについても学ぶ。座学のみでなく、実験的な内容をテーマ毎に設ける。	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	○	新入生を対象に、１）本学建学の精神と教育理念・ポリシー、２）学習地域の特性の理解と社会的貢献、３）大学の意義と自主的な学びの必要性とその方略、４）大学生活上の注意点、５）社会人としてのマナーや医療人としてのコミュニケーション能力の向上、６）関連医療職種の理解とチーム医療の必要性などを学ぶことにより、医療系大学生としての基礎的能力を高め、より良い医療人・社会人として成長するために必要な素養を涵養する。	主要授業科目
		郷土論～栃木学～		栃木県、特に県北地域の文化背景・歴史背景にスポットを当て、これから学び、生活をしていく栃木県への理解を深めていく。	
		医療福祉教養講義		医療福祉の道を志す学生に必要な基礎的素養として、①社会の発展の歴史に即して医療・福祉の発達との関連を学ぶ。②医療・福祉に関連する国際的な基準を学び、その決定過程の概要を知る。③医療人口の変動を巡る諸問題を探り、医療・福祉の世界との関わりを考える。合わせて、有限な資源についての現状や、利害の調整などについて理解する。④医療・福祉に関連した芸術作品を鑑賞し、医療・福祉に対する様々な見方を知る。	
		メディカルマナー入門		医療機関における基本的な接遇に加え、さらに患者様に好印象を与える対応とクレームの対応を学習していく。	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う		この講義は本学の総合教育科目の教師が中心となって、入学したばかりの学生諸君に学問とは何か、学ぶことの意味、学問の方法等を学生諸君に伝えることを目的としている。本年度のテーマは「学問の愉しみ」で、人文･社会･自然科学･語学・医学の各分野の講師陣が、自らの専門分野における学問と人間・自然・社会との関わりなどについて語る。同時に、自らの学問との出会い、専門とする学問領域・分野、現在の研究テーマ等についても語る。講義に臨む心構えや態度、他の科目も含めたレポートの書き方なども講義の題材となる。	
		総合講義（現代社会をどう見るか）		いまこの時代に生きる私たちは、どのような生き方や在り方が求められているのか。高度専門的知見を通して、どのように世界を見て、世界から日本を見るとどう見えるのか、広い視野から多角的多面的に物事を考えようとする姿勢や正しく判断する力、客観的に分析する力を学び修めることに主眼を置く。	
		食と人間		人は日々食事という形で栄養素を体内に取り込み、生命の維持を図っている。この取り込み方如何によっては健康にも病気にもなる。正しい食事の取り方について学ぶ。また、食事は人と人とのコミュニケーションの一つとして共食が行われる。さらに、食事は生命の維持だけでなく、食文化として世界中で色々な食事が行われている。昨今「食育」が注目されている。それは、現在の人々の食事が色々な問題を含んでいることがその背景としてある。食と人間との関わりについても講義する。	
		持続可能な発展		持続可能な発展(Sustainable Development)に向けて、環境と経済の両立のための社会的責任経営について解説するとともに、国際規格、エコビジネス、再生可能エネルギー等についても言及し、医療福祉関係機関等における将来の経営の参考に資する。	
		ボランティア実践		ボランティア活動の実践を通じて、ボランティア活動の実際を学び、ボランティアについて理解を深めることを目的とするので、ボランティア活動への参加を必須とする。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	○	本学教員が開発した本学独自の講読テキストにそって、建学の精神や保健医療の基本的な英語表現が学べるように、丁寧に読み進めていく。そのために、まず英語の基本的な構造を理解し、活用できるように訓練をする。また語彙力をつけることも目指す。	主要授業科目
		英語講読２（Basic）	○	「英語講読１」で学習したことを土台に、正確に英文の内容を把握する力、論理的に英文を理解する力を養う。読みのストラテジーを駆使しつつ、英語を英語のまま読解できるようになることを目指す。	主要授業科目
		英語講読３（Intermediate）		「英語講読１」「英語講読２」で学習した英文読解力をさらに深化させるべく、より内容の高度な英文を読み、語彙力、文法力、文の構造を把握する力などを身につける。また、各学科の専門分野の英文を読めるよう訓練する。	
		英語講読４（Advanced）		「英語講読」のまとめとして、正確にかつ素早く英文の内容を把握する力を養う。最終的には、自ら選んだ専門分野の英文の文献を自力で読み進めていくことができるようになることを目指す。	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	○	発音・聴解練習と口答練習をすることにより、英語の４技能をバランスよく習得し、実用に適う運用能力を身につける。各自にあったペースで、納得のいくよう自主的に学ぶことを奨励する。ビデオ教材の聞取り練習とともに、本学独自の教材で医療関連の専門的な英語を幅広く学ぶ。	主要授業科目
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	○	「英語ＣＡＬＬ１」に引き続き、発音・聴解練習と口答練習をすることにより、英語の４技能をバランスよく習得し、実用に適う運用能力を身につける。各自にあったペースで、納得のいくまで自主的に学ぶことを奨励する。ビデオ教材の聞取り練習とともに、本学独自の教材で医療関連の専門的な英語を幅広く学ぶ。	主要授業科目
		英語会話１（Primary）		This is a primary English conversation class that aims to improve students' introductory-level conversation skills. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、初級レベルの英語会話力を身に付ける(高める)ことを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話２（Basic）		This is a basic English conversation class that aims to improve students' basic conversation skills. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、基礎的な英語会話力を身に付ける(高める)ことを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話３（Intermediate）		This is an intermediate English conversation class that aims to improve students' knowledge of healthcare/hospital English and introductory-level conversation skills in these settings. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、医療英語の知識を深め、医療現場を想定した場面において初級レベルの英語会話力を身に付けることを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話４（Advanced）		This is an advanced English conversation class that aims to improve students' knowledge of healthcare/hospital English and basic conversation skills in these settings. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、医療英語の知識を深め、医療現場を想定した場面において基礎的な英語会話力を身に付けることを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	聖書英語１（Primary）		聖書は、西欧の歴史や文化を理解するための書物としても、また文学書としても、名言集・格言集としても読むことができますが、この授業では、身につけておくべき教養の一つとして聖書の中の有名なエピソードを英語で読んでいきます。英文読解力を高め、語彙力を増強することも同時に目指します。	
		聖書英語２（Basic）		「聖書英語１」に引き続き、聖書の中の有名なエピソードを英語で読んでいきます。1年間で流れが大体分かるように読み進めていきます。英文読解力を高め、語彙力を増強することも同時に目指します。	
		医学英語１（Primary）		医療系の英文を読み解くには、英語の"Grammar"や"Structure"、"Vocabulary "の基本が非常に大切である。この授業では、身についているようで曖昧な文法の知識や構造上の主語の把握、文の論理的な展開に必要な語句などを確認しつつ、医療系英文の読解力向上を目指す。	
		医学英語２（Basic）		「医学英語１」に引き続き、英語の文法の知識や構造上の主語の把握、文の論理的な展開に必要な語句などを確認しつつ、医療系英文のさらなる読解力向上を目指す。	
		英語リスニング１（Primary）		英語の映画を教材に用いて、英語のリスニング力を養う。英語独特の音、音変化を体系的に学び、基礎固めをする。	
		英語リスニング２（Basic）		英語の映画を教材として使用し、リスニング力を養う。「英語リスニング１」で身につけた英語の音変化の基礎知識を土台に、より高度な英語の映画を使用する。	
		英語ライティング１（Primary）		幅広いテーマ（社会問題、ニュース、学校生活など）に対する自分の考えを、英語で論理的に書く力の育成を目指す。さらに、ディスカッションやプレゼンテーションの機会を積極的に導入し、英語を「書く」のみならず、「読む・聞く・話す」活動を通して総合的な英語力の向上を目指す。	
		英語ライティング２（Basic）		「英語ライティング１」に引き続き、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイライティングを通して、総合的な英語力の育成を図る。より高度なテーマについて、自分の考えを論理的かつ説得力のある仕方で表現する力を強化する。	
		英語医療通訳入門１（Primary）		本授業では、患者のプロフィールや病歴の聞き方、薬剤投与や手術、入院、インフォームドコンセントなど、実際の医療現場で役立つ英語表現を幅広く学習する。また、学生が医療従事者・患者・通訳者の役に扮したロールプレイを数多く行うことで、外国人患者に英語で対応できる医療人の育成を目指す。	
		英語医療通訳入門２（Basic）		「英語医療通訳入門１」に引き続き、ロールプレイを通して実際の医療現場で役立つ英語表現を幅広く学習する（「英語医療通訳入門１」を修了していない場合でも履修可能）。さらに、現役の医療通訳者が直面している現状と課題、全国の医療通訳ボランティア団体の取り組み、アメリカやオーストラリアなど諸外国における医療通訳者の育成・教育システムについても考察する。	
		資格英語１（Primary）		入門編として英語の基礎力をつけるため、基本的な語彙力、文法力を学習し、リスニングとリーディングの２技能を向上させる。	
		資格英語２（Basic）		「資格英語１」で学んだ語彙力、文法力のさらなる向上をはかり、リスニングとリーディングにおける理解力を強化する。	
		基礎英文法１（Primary）		英語表現力の基礎となる英文法を、これまでに学習した内容を再確認しながら、学習者が自分なりの文法分析力を構築し、英語運用能力の土台を作っていく。授業内で演習、小テストなどを行っていく。	
		基礎英文法２（Basic）		「基礎英文法１」で学んだ英文法に加え、学習者自身が、有効な道具として使えるように、文法力に磨きをかけていく。それぞれの学生の理解度を考慮した授業展開をしていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	上級英語会話１（発展）		This is an advanced English conversation class that aims to improve students' discussion and language skills. Utilizing textbook-based discussion topics, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、語学力とディスカッションスキルを高めることを目的とする。教科書をもとにしたディスカッショントピック、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		上級英語会話２（総合）		This is a continuing advanced English conversation class that aims to improve students' discussion and language skills. Utilizing textbook-based discussion topics, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 「上級英語会話1」に引き続き、本授業においても語学力とディスカッションスキルを高めることを目的とする。教科書をもとにしたディスカッショントピック、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		フランス語入門		オーラル・プラクティスを中心とした初級フランス語の習得を学びます。	
		フランス語基礎		世界一正確で美しいフランス語を学びます。名詞句から始まり、"avoir"や"etre"の動詞、第一・第二群規則動詞と進み、複合過去形までいきますが、覚えた範囲内で聞き取りと発話を必ず交ぜ合わせ、頻繁な応答によって会話の次元を欠かさないようにして進みます。単純な、平易な文は聞いて分かり、ある程度要望する事項が口に出せるようにします。	
		ドイツ語入門		平易なドイツ語の文章が読め、旅行で使える簡単な会話が理解できることが目標である。本講義は単に外国語学習にとどまることなく、広くドイツ語文化圏、さらにヨーロッパ文化全般に関わる教養を身につけることを目的としている。従って、講義時間の三分の一程度を映像資料やビデオ等を用いてドイツ語文化圏の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		ドイツ語基礎		平易なドイツ語の文章が読め、旅行で使える簡単な会話が理解できることが目標である。本講義は単に外国語学習にとどまることなく、広くドイツ語文化圏、さらにヨーロッパ文化全般に関わる教養を身につけることを目的としている。従って、講義時間の三分の一程度を映像資料やビデオ等を用いてドイツ語文化圏の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		スペイン語入門		スペイン語は、ラテン諸語に共通した現象として、動詞の変化がちょっと複雑になっているのが特徴です。したがって、スペイン語の学習は、通常、学生たちが動詞の変化を順に修得できるように編成されています。当授業は、動詞の使い方を理解し修得していくことを中心においた文法・講読の授業です。それに加えて、スペイン語特有の音色とその思考様式を体得できるよう、視聴覚教材も活用していきます。	
		スペイン語基礎		最初は、発音と動詞の現在形変化を再確認することから始めます。さらに、より進んだ表現を目指して、動詞の過去形の学習へと進んでいきます。言うまでもなく、外国語の授業は文法事項を記憶することにのみあるのではなく、表現を耳から理解すること、声に出して自己表現することなどが大切です。この点を考慮して、視聴覚教材も数回利用する予定です。	
		中国語入門		中国語について「説／聴／読／写」の四技能の修得を目指す。講義形態としては、文法説明、発音・会話練習、および多様なメディアを用いた中国の生活文化の一部分を紹介する中から、生きた中国語を学習する。	
		中国語基礎		「中国語入門」で修得した四技能「説／聴／読／写」を、文法説明、発音・会話練習などの演習をとおして、さらに向上させることを目指す。また、多様なメディアを用いて、中国の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		韓国語入門		韓国語について「説／聴／読／写」の四技能の習得を目指す。講義形態としては、文法説明、発音・会話練習、および多様なメディアを用いて、生きた韓国語を学習する。	
		韓国語基礎		「韓国語入門」で修得した四技能「説／聴／読／写」を、文法説明、発音・会話練習などの演習をとおして、さらに向上させることを目指す。また、多様なメディアを用いて、韓国の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	保健体育系	健康科学理論		学生諸君の健康管理対策の一環ともなるよう、最新のデータも交えながら大学生活に必要な事項を講義する。	
		健康科学実践		身体活動により、心身とも健康で社会生活を豊かにする。内容は、卓球、バレーボール、テニス、サッカー、バスケットボールである。	
専門教育科目	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	○	社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的知識を学ぶ。また、公衆衛生の向上に貢献するために必要な保健制度についての知識を習得する。	主要授業科目
		救急医学		この講義では、必要と思われる救急医療に関する内容をわかりやすく解説する。基本的項目としては、外傷、ショック、気道確保と呼吸管理、意識障害、消化器救急、救急蘇生法などを取り上げる。なお救急医療の現場からの症例紹介や救急にまつわる時事情報も随時組み込んでゆくこととする。救急医学の基礎知識を学ぶだけでなく、実際に医療の現場で救急救命処置が出来るように、またその救急蘇生法の基本を学ぶことができる。	
		微生物と病気		微生物が病気を起こす仕組みを学ぶ。	
		リハビリテーション概論		リハビリテーションの概念、障害者心理、高齢者の特質、リハビリテーションの内容と方法（医学的、社会的、職業的、教育的）、リハビリテーション関連法、リハビリテーション関連職種、チーム医療、リハビリテーションの流れ、地域保健と福祉などについて基本的な概念を習得する。 高齢化が進み続ける社会の医療、保健、福祉の向上に寄与するには「地域包括ケアシステム」の基本理念および内容を理解し、理学療法士や作業療法士が中心的に関わる「自立支援」「就労支援」の現状および支援方法について講義する。	
		関連職種連携論	○	保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあって、その現場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し利用者に総合的支援をすることが求められている。全人間的支援を行うには職種間連携が不可欠であり、それを行えるようになるには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携のあり方について理解することが必要である。本講義では、保健・医療・福祉に携わる職種への理解を深めると共に、職種間の連携のあり方について学ぶ。	主要授業科目
		看護論		看護はあらゆる健康レベルや成長発達段階にある人を対象とする。また、集団的視点と個別的視点から看護実践していく。すなわち看護職である保健師・助産師・看護師は、ヘルスプロモーション、またチーム医療の一員として健康支援に重要な役割を担う職種である。本科目では、他職種の連携や協働という観点から、看護とはどのような機能・役割をもつのか、専門分化された領域や分野（公衆衛生看護学・基礎看護学・小児看護学・成人看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学等）から学習する。	
		ケアマネジメント論		施設福祉から地域福祉へ移行するなかで、援助対象者を地域社会の中で支えてゆく方法であるケアマネジメントの考え方や具体的な実践方法について講義する。ここでは地域での相談援助だけでなく、病院等の退院時における退院計画についても言及する。	
		ケースワーク論		医療福祉分野で展開される実践事例をとりあげながら、ケースワークを中心とした社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）の理論と技法を学ぶ。	
		医療管理学		医療施設がどのような仕組みで活動しているか、またその活動が円滑に進められるためには、どのような点に注意して管理運営(マネジメント)していくべきかを理解する。医療活動の主要な現場となる病院医療の仕組みを理解し、包括的な視点を養い、将来的なマネジメントの感覚を身につけることを目標とする。	
		保健医療福祉制度論	○	わが国の保健医療福祉の制度の意義、変遷、あり方を概観、今日的な問題について考える。医療福祉分野の専門職として必要な法律的知識の基礎を説明する。	主要授業科目
		社会福祉学		福祉と密接に関係する保健・医療関係専門職を志す学生が社会福祉の基礎を理解することを目的とする。具体的には①各福祉領域における動向、②相談機関への理解、③福祉サービスの概要等について専門講師によるオムニバス形式で進めていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門基礎／学部共通	臨床心理学概論		臨床心理学とは、心に問題や葛藤をもつ人たちを対象とした心理学的援助の実践である。講義では臨床心理学の基礎的な考え方をもとに、アセスメント・心理療法・地域援助について概説する。また、医療・看護・福祉など実践の場における心の不適用の問題とその支援について具体例をもとに説明する。	
		福祉支援工学概論		福祉援助工学は、高齢者・障害者の生活を援助することに幅広く工学的技術やその他の技術を応用しようとする学問分野である。その中心には運動機能障害者が用いる福祉用具への評価手法や評価理論への工学技術の応用がある。概論においては、バリアフリー環境、福祉用具、ユニバーサルデザインの概念と概略について学ぶ。また、各種福祉用具の評価手法について、定性的な側面から学ぶ。	
		関連職種連携ワーク	○	関連職種連携ワークは、演習形式によるＩＰＥ教育（関連職種連携教育）の実践カリキュラムである。本学が養成する様々な医療福祉の専門職を目指す学生が多数のグループ（およそ100グループ程度）に分かれてグループ学習を展開しながら、ひとつの症例と向かい合い、医療福祉連携、チーム医療についての理解を深める。	主要授業科目
		関連職種連携実習	○	それぞれ異なる専門職を目指す各学科学生が、同一の臨床現場において協働して実習を行うことを通じて関連職種連携のあり方を学ぶ。	主要授業科目
		リスクマネジメント論		病院経営安定のための財務的・法的リスクマネジメントの手法。危険情報の収集方法およびヒューマンエラーとシステムエラーの原因の分析と事故防止へのつなげ方。紛争発生からのクライシスマネジメントとしての対応処理の実践方法とリスクファイナンシングについて、法的責任の判断、賠償責任保険の利用、交渉術の手法という面から講義する。	
		電子カルテシステム入門		電子カルテシステムを使って、チーム医療で重要な職種間の情報共有を実際に体験する。電子カルテシステムの諸機能、診療情報の電子化の利点、個人情報保護、情報セキュリティなどを学ぶ。模擬患者診療記録をもとに、患者登録、各科受付、診察、各種オーダー、実施、所見などの入力、処方、会計等について、診療情報の流れを把握する。	
		レクリエーション概論		レクリェーションはレクリアーレ（新しく生まれる）という語から発しており、遊びを通して、精神的・肉体的に回復することである。レクリエーション種目の実技と指導法について学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（保健医療学部　医学検査学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門基礎／医学検査学科	解剖学Ⅰ（総論）	○	解剖学Ⅰ（総論）では、医学・医療の基礎となる人体の構造と機能に関する知識を学ぶことで、医療を学び実践する基礎を理解する。人体の構成の軸となる骨格系を学んだ後、内臓系（循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系）および神経系・感覚器系について学ぶ。	主要授業科目
		解剖学Ⅱ（各論）	○	解剖学Ⅰ（総論）で学んだ知識を基に、人体の骨格系、内臓系、神経系・感覚器系などの器官構造を機能と関連付けて系統別に学ぶ。また、それらの構造がどのように組み合わさって人体を構築しているのか理解する。加えて、本講義は採血、検体採取（経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査によるものも含む）及び生理学的検査に対応する。	主要授業科目
		組織学演習	○	解剖学Ⅰ（総論）、Ⅱ（各論）で学んだ知識を基に、講義と鏡検実習から人体組織における各臓器の機能と組織学的な特徴を学ぶ。病理検査学、病理検査学実習、細胞診断学、細胞診断学実習の基本となる知識を習得するため、各臓器における組織構造の詳細を教授する。	共同 主要授業科目
		生理学	○	医療を学び実践する上でもっとも基礎をなす学問である。人体の器官がどのような役割を持ち、どのような調節を受けているのかについて学ぶ。具体的には、生命現象と生体恒常性、細胞･組織･器官の機能、血液、呼吸生理、循環生理、消化と吸収、代謝、排泄、体温、内分泌、生殖について学習し、生理学の基本的な知識を習得することを目的とする。	主要授業科目
		病理学	○	人の疾病理解の基礎となる病因・発生機序・経過・予後など疾病概念の本質を学習する。具体的には、総論として病因を学び、次に代謝異常、循環障害、炎症、腫瘍を中心に理解する。	主要授業科目
		臨床医学概論	○	各疾患の基本的な知識を中心に、その発生機序や臨床症状を生理学、生化学、免疫学、血液学、病理学の側面から追求し、病態の本質を理解する。また、病態の変化が臨床検査データに及ぼす影響を理解し、臨床検査データとの関連性と疾患の鑑別を学ぶ。	主要授業科目
		内科学	○	内科学の疾患には、循環器、呼吸器、腎・泌尿器、消化器、血液、感染症、アレルギー、内分泌、代謝などがある。これらの成因と病態生理、臨床症状、診断・治療、経過・予後について学ぶ。臨床検査技師として必須の知識である内科学の基本と、これらの疾患を理解するために必要な知識を習得することを目標とする。	主要授業科目
		臨床神経学		中枢神経系の構造と機能を学び、生命の維持に必要な中枢神経メカニズムを理解する。中枢神経機能の障害による疾患と症状を理解し、その診断についても学ぶ。	
		精神医学		疾病の結果としての心の障害であれ、非疾病性の心の障害であれ、心の障害（精神障害）を持った人々と接し、治療にかかわるために必要な精神医学の基礎的知識と広汎な精神障害の概要をについて学ぶ。また、症例を通して人生や生活への精神障害の影響を理解する。具体的には、精神障害の経過を通して、障害を持つ患者がどのような生活を強いられるのか、人生の可能性を制限されるのか、どのように症状や障害と付き合っていくのかについて理解を深める。	
		リハビリテーション医学	○	疾患や外傷により生じる障害に重点を置き、診断・治療を行う臨床医学であり、運動障害、廃用症候群、循環・呼吸機能障害、嚥下障害、高次脳機能障害、老年症候群、発達障害などの病態生理・評価やリハビリテーションの注意点について学ぶ。具体的には、運動障害、呼吸・循環障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害などの各障害を理解する。また、障害の評価や治療、リスク管理などについて学ぶ.	主要授業科目
		小児科学		新生児の出生と先天異常疾患、小児の発育・発達を理解する。成長に伴っておこる疾病と小児期に多い疾患を学び、検査、治療や介助法をを理解する。具体的には、小児の成長・発達、栄養・保健を学び、小児期によくみられる新生児・未熟児疾患、先天奇形、アレルギー疾患、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液・造血器、腫瘍性疾患、代謝・内分泌、胃・泌尿器、神経系の疾患を理解する。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門基礎／医学検査学科	老年学	○	“超高齢化社会”を迎え、医療や福祉を含む高齢者対策、諸問題に対処するアプローチ方法は社会的にも急務である。老人の定義、特徴、体分画の変化、老化の機序を学び、神経系･循環器系･呼吸器系などの系統別に老年性症患を理解する。高齢者の機能評価や、高齢者の医療･看護･介護･福祉･保健･リハビリテーションについても学習する。	主要授業科目
		病態薬理学	○	薬理作用の仕組みと薬物の体内動態を学ぶことにより、薬物療法の基礎知識を身につける。具体的には、薬理学の役割、構成、新薬の開発などの基本的知識と、薬物治療に影響を与える生体側、薬物側の因子及び副作用、さらに、薬効及び投与経路と吸収、分布･代謝･排泄のメカニズムを学ぶ。主要な薬物を取り上げてその作用と医療における適用についても学ぶ。	主要授業科目
		臨床栄養学	○	健康を維持あるいは増進して生活する最も大切な栄養について、食物の各栄養素の意義と病態生理を学ぶ。具体的には、食行動、食物の摂取と消化吸収、エネルギー代謝を理解し、臨床病態との関連を学ぶ。また、日本人食事摂取基準について学ぶ。	主要授業科目
		遺伝学	○	生物の個体を構成する細胞の基本構造と、遺伝子や染色体レベルでの遺伝現象を学ぶ。具体的には、ひとつの細胞内で起きている分子レベルでの生命現象について、DNA、 RNA、 タンパク質を中心に理解し、遺伝子や染色体等の基本構造と先天性・後天性遺伝子疾患の発症原因を学ぶ。今後の臨床検査における遺伝子／染色体の重要性を理解する。	主要授業科目
		分析化学	○	臨床検査を実施する上での基本的な事項を学ぶ。まずは、物資の濃度の単位、溶液の性質について学ぶ。次に臨床検査における検査機器を取り扱う上での注意点と心構えについて学び、臨床検査の共通機械器具である化学容量器(ピペット、フラスコ、メスシリンダー等)、天秤、遠心分離機、分光光度計、顕微鏡、pHメーター、純水装置などの原理と構造を理解する。	主要授業科目
		生化学	○	生化学はヒトの生命現象やその病的変化を探索する上での基礎学問である。生体を構成する物質の基本的な構造と機能について学び、次にそれらがどのように代謝されているかを学ぶ。そして生命体を構成する各種器官について学び、それらの各種器官がどのように情報伝達され、制御されているかを理解する。最後に生命体を維持するための栄養とその代謝について学ぶ。以上の生命現象の基本を理解することで、各種臨床検査における検査方法や目的、および各種疾患を理解する上での礎とすることを目的とする。	主要授業科目
		生化学実習	○	生化学的実験法は医学検査や研究を進展させる上での必要不可欠な手段である。そして生化学的基礎技術の習得は医学検査はもとより臨床研究のような応用分野においても非常に重要である。本実習では、生化学の基礎的な実験技術を習得することを目的とする。さらにレポートの作成法の基礎を学び、グラフの作成法や簡単な統計手法を習得する。また各種検出法を通して、糖、蛋白質、酵素の性質を学び、生化学への理解を深めることを目的とする。	共同 主要授業科目
		医用工学・情報概論	○	医療機器を理解するため、正しい取り扱いに必要な電気工学の基礎知識修得および生体計測に関する知識を学ぶ。具体的には、各医用生体工学の概論、電磁気学、電気・電子工学の基礎、生体情報の記録と表示および機器類の安全使用などを学ぶ。また、医療で使用する各種機器の電気的安全性やノイズの混入への対応などを理解する。	主要授業科目
		医用工学・情報実習	○	オームの法則、コンデンサ、コイル、ダイオードなどの素子の性質、フィルタ回路の特性など生体系計測の原理の基礎となる電気電子工学およびオシロスコープやテスタなどの基本的な測定機器の使用法や医療機器に用いられているトランスデューサとその安全性について習得する。また、医療で使用する各種機器の安全性やノイズの混入への対処ができるように、医用電子に関わる計測技術を習得する。	共同 主要授業科目
		検査機器学・情報システム学総論	○	臨床検査において信頼性の高い検査データを提供するためには、臨床検査の中で使用されている機器の基本原理の理解と機器から出力されるデータの解釈が常に要求されることから、多くの臨床検査室で使用される機器について概説する。また、臨床検査の情報は院内のコンピュータを介したネットワーク上に存在しており、検査情報システムを理解することが必須となっている。コンピュータを構成する、ハードウェア、ソフトウェアの 基礎知識から情報セキュリティーに至るまでを学ぶ。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	病理検査学	○	病理検査の意義、臨床現場で用いられる固定、包埋、薄切、各種染色法など病理組織標本作製方法を学ぶ。各種染色法では、ヘマトキシリン・エオジン染色と組織中の目的物質や細胞を選択的に染色して証明する特殊染色や免疫染色の原理や方法、技術を学習し、理解する。	主要授業科目
		病理検査学実習	○	病理組織標本作製過程を理解し、それぞれの過程における知識や技術を実習で習得する。病理検査学で学んだ知識を基に、包埋、薄切、染色の流れを理解するため、臓器のパラフィンブロックからミクロトームを使用してパラフィン包埋標本を作製し、病理組織検査の基本染色であるヘマトキシリン・エオジン染色を行う。さらに、技術力の向上を図るために膠原線維染色、糖原染色等も実践する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学	○	細胞診検査を実施する際の検体採取から診断までの検査の流れ、その意義を学ぶ。 細胞採取法、検体の取り扱い、標本作製法、基本的なPapanicolaou染色やその染色原理について教授する。細胞所見では、特に婦人科、呼吸器、体腔液を中心として、背景所見、出現様式、細胞の詳細所見について講義し、正常細胞から悪性細胞の所見について詳細を学習する。	主要授業科目
		細胞診断学実習	○	細胞診断学で学んだ知識を基にして、婦人科、呼吸器、体腔液細胞診の細胞学的特徴を理解する。また、正常細胞と悪性細胞の形態学的差異を認識し、細胞所見から病変推定ができる知識と習得する。また、細胞標本作製やパパニコロウ染色の技術を教授する。	共同 主要授業科目
		血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	○	血液は生体の維持にきわめて重要な役割を果たし、血液細胞の産生部位である骨髄を含めて造血器という１つの臓器として扱われる。血液検査は血液疾患の診断のみならず各種疾患の病態把握や経過観察にも不可欠であり、さらには術前検査としても必須の検査である。 形態系である血液の各血球系の産生と機能及びそれらの検査法の原理と手技を学ぶ。また、生体にとって極めて重要な機能である止血・凝固・線溶系の各機構及びそれらの検査法の原理と手技について学ぶ。	主要授業科目
		血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	○	血液学的検査は白血病やリンパ腫といった各種血液疾患の鑑別診断に欠くことのできない重要な検査の一つであり、現在の臨床現場での自動分析機器による検査への貢献度は非常に高い。一方、形態学的検査は未だなお技師の目や手を必要とする分野である。 形態系、止血・凝固・線溶系の自動分析機器の原理と応用を学ぶ。また、末梢血及び骨髄の形態学的検査について学ぶ。さらに、血液疾患の病態生理およびそれらの診断や鑑別のための検査法と遺伝子との関連を理解する。	主要授業科目
		血液検査学実習	○	血液の形態学的検査法および凝固系検査法のうち基本となる項目について、用手法による実習を通じ、各種検査の原理及び方法、検査結果の評価・臨床的意義について学び、同時に自動分析器の原理や測定の意義について理解も深める。また、病院検査室での実践に必要な知識、実践能力を身につける。	共同 主要授業科目
		一般検査学	○	尿定性検査法や検査試験紙の検出原理と臨床的意義および腎機能検査について学ぶ。また、尿の有形成分について、沈渣標本の作製方法、一般的性状、顕微鏡的検査やその臨床的意義などについて理解する。さらに、採血について、その方法、血液の保存、ならびに処理方法等について理解する。具体的には、尿の一般性状としての色調・比重、尿蛋白、尿糖の測定について解釈し、顕微鏡的検査（形態学的検査）では、形態学的特徴から各種有形成分を鑑別、同定できる知識を理解する。さらに、糞便、脳脊髄液、精液、体液などの一般的性状および化学的検査法、免疫学的検査法、顕微鏡的検査法についても学ぶ。	主要授業科目
		一般検査学実習	○	臨床検査技師の業務である静脈採血に関して、学生自らが採血者あるいは被検者となりながら、採血手技の習得と、採血を受ける患者への対応、患者心理について学ぶ。尿の生化学的検査では、臨床的意義、基準範囲を理解したうえで、化学的検査法、尿試験紙法の実践的手技の習得と偽陽性、偽陰性を踏まえた病態を理解する。糞便検査では免疫学的検査法、化学的検査法の検査手技を習得し、測定原理を理解したうえで、妨害物質の影響、検出感度、結果の解釈を習得する。形態学的検査である尿沈渣検査法では、標本作製技術を習得し、各種成分の観察から、同定する能力を養う。また、髄液検査法では、擬似検体、計算板を使用した標本作製を行い、細胞数算定に至るまでの一連の検査工程の習得を行う。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	○	臨床化学検査の目的、特徴、単位と標準物質、検査値の管理としての誤差と許容範囲、基準範囲や病態識別値（カットオフ値）についての理解し、生理的変動と測定技術の変動、臨床化学分析の標準体系と国際標準を学ぶ。分析法の基礎としての、分光光度分析、分離分析法、免疫化学分析法、電気化学分析法、酵素的分析法と酵素活性測定法など各種測定法の原理を学ぶ。また、電解質と微量金属、糖質、蛋白、脂質など各種検査法とその臨床的な意義について理解を深める。さらに、持続皮下グルコース測定の原理、手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学修する。	主要授業科目
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	○	臨床化学の分析法として、酵素、金属、ホルモン､ビタミンを理解する。そして臨床化学としての栄養代謝、炎症、腫瘍、薬物毒物と肝胆道系、心循環器系、腎、内分泌系の各種病態を学ぶ。これら臨床化学検査項目について、測定原理、臨床的意義を理解し、各種病態での臨床化学データの読み方と意義について学ぶ。また、各種疾患と検査データの関連性や病態の見方について学ぶ。	主要授業科目
		臨床化学検査学実習	○	臨床化学検査の実習としての基本的な器具や機器の取り扱いとその原理を習得する。生体成分を測定するための化学反応や酵素反応および分離分析法における検査試薬の調製と測定操作法を習得する。各種測定法に用いられる測定原理と測定結果の意義を理解する。具体的には、マイクロピペットの使用法とその精度や正確な操作性を習得する。分光光度計の測定原理や取扱法を学ぶ。また、化学反応では終点分析と速度分析での試薬と生体成分の化学反応の関連性を学ぶ。さらに、有機化学反応を用いた定量法における測定原理と反応メカニズム、同様に錯体反応や色素と蛋白についての測定原理と反応メカニズムについて学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子検査学	○	遺伝学を基礎とする遺伝子・染色体検査学は飛躍的に進歩し、さらに今後の医学・検査学分野への発展に関与していくと考えられる。現行する様々な遺伝子検査の基本となる技術の原理や理論、その応用について理解する。具体的には、核酸の取扱いや抽出法、遺伝子増幅法、遺伝子分析法等における原理の理解と臨床検査への応用に必要な基礎知識を学ぶ。また、遺伝子診断の限界や遺伝子検査に伴う個人情報の保護について理解する。	主要授業科目
		遺伝子検査学実習	○	臨床検査や研究に必要な基礎的な遺伝子検査技術を習得する。具体的には、遺伝子を取り扱う際の基本的な手技であるピペッティングをマスターし、コンタミネーションを防止する。続いてDNA・RNAの抽出及び取り扱い、測定法であるPCR法、nested-PCR法、RT-PCR法、LAMP法、塩基配列決定法(シーケンス解析)などの検査技術と、正確で精度の高い結果を医療の現場に提供できる知識と技術を習得する。	共同 主要授業科目
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	○	微生物検査は感染症の病原体診断に必須であり、主な病原細菌感染症の臨床所見、疫学ならびに検査法について学ぶ。具体的には、細菌、クラミジア、リケッチャ、マイコプラズマなどの基本構造、病原性および抗生物質剤などに関する基礎知識を学び、検査に必要な形態学、培養技術、同定のための生化学的性状、薬剤感受性検査などの知識および技術を理解する。	主要授業科目
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	○	主な病原ウイルス・真菌感染症の臨床所見、疫学ならびに検査法について学ぶ。具体的には、微生物（真菌、ウイルス）の基本構造、病原性および抗ウイルス薬、抗真菌薬などに関する基礎知識を学ぶ。また、ウイルス検査に必要な検査法である遺伝子検査、免疫学的検査や、真菌の培養技術、同定のための形態検査などの知識および技術を理解する。	主要授業科目
		微生物検査学実習	○	感染予防、手指衛生、無菌操作、グラム染色、培地作成、一般細菌および嫌気性菌の同定検査など微生物検査法を習得する。具体的には、細菌・真菌の染色法および染色液の作製、培地の作製法、白金耳、白金線の使用法を学び、微生物検査を実施する上で基本的操作法を習得する。また、滅菌・消毒操作を学び、一般の実験室内感染症の防止に注意を払う必要性を理解する。さらに、検査材料から菌を分離し、菌の同定試験ならびに薬剤感受性試験を実施し、一連の培養同定の実習を通じて、原因菌の鑑別・同定方法を習得する。	共同 主要授業科目
		医動物学演習	○	寄生虫症を起こすヒトに寄生する動物と、種々の感染症を媒介する動物を総称して医動物とよぶ。近年、海外との人的・物質的交流の増加や環境の変化などにより種類が増え、より複雑になっている寄生虫症の状況を概説する。各論として医動物のライフサイクル、罹患時の臨床症状、臨床検査での検出方法を学ぶことにより、寄生虫対策を理解することを目的とする。具体的には、蠕虫をはじめとする線虫類、吸虫類、条虫類、マラリア原虫をはじめとする原虫および衛生動物の分布と疫学を知り、その生活史と感染経路を学ぶ。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	免疫検査学	○	自然環境の中には人体にとって有害な病原性をもたらす微生物やウィルスが存在している。生物は、それら病原体に対して「免疫」という生体防御機構を備えている。 免疫には、自然免疫、液性免疫、細胞性免疫があり、これらに関与する免疫細胞のシステムとメカニズムを理解する。また、免疫が破綻した場合に起こる各種疾患と、診断等に用いられる免疫学的検査を学ぶ。具体的には、抗原抗体反応による中和反応、標識免疫測定法、間接蛍光抗体法、免疫電気泳動法などの原理や手法について理解する。	主要授業科目
		免疫検査学実習	○	抗原抗体反応を利用した検査法は、微量成分の分析に必須であり、免疫学検査手法の基礎的な手技である。各種抗原抗体反応を用いた実習を行い、測定の目的と意義、病態との関連性などについて学ぶ。具体的には、感染症、自己免疫疾患、アレルギーなどの各疾患を診断するための凝集反応、酵素免疫測定法、間接蛍光抗体法、免疫電気泳動法等の実習を行う。	共同 主要授業科目
		輸血・移植検査学	○	輸血は疾患に伴う貧血あるいは外傷や手術に伴う出血等の生命維持にあたり危機的状況を回避するために実施される補充療法の一つであり、全な輸血を行うために必要な正しい知識と各種の検査手技を身につける必要がある。輸血を安全に施行するための成分輸血療法の意義と適応、輸血に伴う副作用・合併症および輸血血液の保存と管理を学ぶ。また、輸血前検査で行われるABO・Rh血液型、不規則抗体検査、抗体同定検査、交差適合試験の検査法について学ぶ。 移植は、疾患や事故などにより臓器の機能が低下したレシピエントに、ドナーの組織や臓器の一部を移し、生存または育成を図る医療行為であり、移植に関わる免疫学、移植の歴史と現状、移植に必要な検査、副作用に関する知識と検査法の原理ならびに手技を学ぶ。	主要授業科目
		輸血・移植検査学実習	○	輸血療法に関する基本的な原理を理解し、輸血前検査において重要なABO・Rh血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験の手技を習得する。また、交差適合試験陽性例における血液製剤の選択方法や各血液製剤の保管方法や取り扱いに関して学び、臨床現場における輸血療法の実践的な知識や技術を身につける。輸血検査の誤りは患者にとって重大な事態を招く可能性が高いことをよく理解し、輸血検査の意義と重要性を十分に理解する。 移植実施にあたっては、ドナーとレシピエントのMHCが適合することが最も重要であり、造血幹細胞採取について、基本的な手技と臨床応用を学ぶ。	共同 主要授業科目
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	○	循環器系、脳・神経系、筋系などの機能的な情報を、生体シグナルとして捉え、生理検査としての基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾患との関連を学ぶ。また、検査機器のメンテナンス及び患者へ接遇や患者急変時の対応などを理解する。具体的には、循環器系の検査（心電図、心音図、脈波）と脳・神経系の検査（脳波、筋電図）について、生理学的基礎事項、波形の成因、結果の解析と評価、測定機器の構造と操作法、検査手技及び患者接遇や患者急変時の対応などについて学ぶ。人体からの生体機能情報を収集するための理論、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査（組織検体の採取手技を含む）を含む手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学修する。また、外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる技術を修得する。検査時の急変の対応についても学ぶ。	主要授業科目
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	○	呼吸器系、感覚器系、体幹四肢の平衡機能、味覚・臭覚機能の基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾患との関連を学ぶ。 具体的には、呼吸器系の検査（換気機能、肺胞機能、血液ガス）や体幹四肢の平衡機能、聴覚機能、味覚・臭覚機能について測定機器の構造、検査手技、結果の解析・判断、臨床的意義などを学ぶ.	主要授業科目
		生理検査学実習	○	生理機能検査学の講義で学んだ循環器系、呼吸器系、神経・筋系、感覚器系及び画像診断検査について、実際に検査機器を用いて被検者を測定する。これらの検査に必要な検査機器の仕様とメンテナンス、検査を実施するための準備や安全対策及び患者への接し方や患者急変時の対応などを習得する。また、検査データの判読法と基準範囲や正常像について理解を深める。人体からの生体機能情報を収集するための理論、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査（組織検体の採取手技を含む）を含む手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学習する。また、外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる技術を修得する。検査時の急変の対応についても学ぶ。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	超音波・MRI検査学	○	超音波検査法、磁気共鳴画像(MRI)検査法により、生体内部の臓器や組織を画像として描出することができる。これら画像検査法の機器の測定原理やアーチファクト等との関連性について学ぶ。具体的には、超音波、MRIの物理的特性、検査に必要な解剖、測定原理、検査法などの基礎的事項を学習するとともに、各種疾患や臨床的意義についても理解を深める。また、超音波検査に関連する造影剤の注入の適応と方法について学ぶ。	主要授業科目
		超音波・MRI検査学実習	○	超音波における画像の解剖所見と磁気共鳴画像(MRI)検査法での基本的な撮像方法（T1強調、T2強調、FKAIR、MRCPなど）を理解する。超音波による心臓、甲状腺、腹部、頸動脈の基本的が画像と解剖を理解し、実際に超音波装置を用いて健常者やファントムを用いて、超音波検査の手技を身につける。	共同 主要授業科目
		先進臨床検査技術学		医療における各種診断法として先進的な科学技術を利用した研究が行われ、新しい技術が次々に開発され応用されている。本講では、検査分野での先進的な研究と検査方法の知識を備えるために、先端的な研究を紹介するとともに、国内外の文献や情報の収集・整理の方法について学ぶ。また、先進技術が医療にどのように貢献しているのかを学び、技術を社会に応用するための探究心と思考力を身に付ける。	
		臨床検査統計学	○	実際の臨床現場で使用、利用、活用するための統計処理を学ぶ。統計の基礎とデータの取り扱いと処理法から、検定方法、データ管理技術、統計処理上の問題点までを理解する。具体的には、コンピューターを使いながら実際のデータを使って解析作業を行い、実践的な統計解析を学ぶ。	主要授業科目
		医療安全管理学演習	○	臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。採血（静脈路確保、電解質輸液の注入を含む）、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、持続皮下グルコース測定、検体採取（経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査による組織検体の採取を含む）が現場で実施できる実践的知識・技術を身につける。	共同 主要授業科目
		精度管理学	○	臨床検査は、根拠に基づいた医療（EBM）を行うために必要な情報を提供する役目を負っている。患者情報を診療に有効利用するために情報科学の基礎を学ぶ。また、情報理論を理解し、ハードウエアについて中央演算処理装置、入出力装置、記憶装置、通信装置の基礎を学ぶ。具体的には、プログラム言語、オペレーティングシステム、ネットワークの概念および構成、通信手順、セキュリティーについて学び、臨床検査の現場で必要な精度管理と情報処理システムを理解する。	主要授業科目
		臨床検査特論Ⅰ(応用)	○	１～3年生で学習した臨床検査に関わる分野を総復習し、臨床化学検査学、免疫検査学、血液検査学、輸血・移植検査学、微生物検査学、病理検査学、生理検査学、超音波・MRI検査学などの分野について確実な知識を習得する。臨床検査学は、幅広い基礎医学の系統的な学問でもあり、履修した専門科目の相互のつながりを理解し、さらに基本的かつ先進的な事項を整理し理解する。	主要授業科目
		臨床検査特論Ⅱ(発展)	○	臨床検査特論Ⅰ（応用）で学んだ専門科目について、各科目の基礎理論と重要ポイントを学び、各科目における横断的な相互理解を行い、臨床検査技師にとって必須となる知識および技術を身に付ける。	主要授業科目
		臨地実習	○	医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで、就職したときの現実的なスキルを身に付ける。授業で学んだことを確認を行い、検査室の臨床検査技師と共に検査業務を行うことにより実際の臨床検査学を学ぶ。 医療施設におけるチーム医療の役割を体験し、多様化するニーズへの臨床検査技師の対応について学ぶ。また、患者との接し方や検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	卒業研究	○	臨床検査の各専門分野の教員の指導を受けて、検査法の技術的な検討や臨床的な検討を行うことで、検査技術の基本的な習得や科学的な研究手法について学ぶ。また実験から得られた結果をまとめ、既知の知見との比較を等して考察し、その内容を論文としてまとめる。また研究内容を発表するためにスライドの作成や発表原稿の作成を等して、研究の内容を的確に発表できる能力を身に付ける。 藤巻　慎一：血液検査学の研究 長田　誠：遺伝子検査学の研究 久保田 紀子：微生物検査学の研究 青木 裕志：病理検査学、細胞診断検査学の研究 岡山 香里：病理検査学、細胞診断検査学の研究 山崎 まどか：生理学検査学の研究 森 幸太郎：遺伝子検査学の研究 小笠原 篤：血液検査学の研究	共同 主要授業科目
		医科分子生物学		ヒトのゲノムが解読され、同定された22、000個余りの遺伝子の情報をもとに、様々な疾患の発症や治療に関する医療研究がなされている。医療研究の基本となるヒトのDNAやRNA、タンパク質を対象とした遺伝子工学について学ぶ。具体的には、微生物などがもつ特殊な酵素類を用いて核酸を人為的に操作し、自然生命現象や疾患発症機構の解明、その治療法の開発について学ぶ。また、ヒトにより異なるゲノム情報をもとに、生まれもった体質や薬剤／疾患への感受性、感染症罹患の有無などを理解する。	
		臨床検査研究論	○	これまでの講義による具体的な事例などを参考にして、臨床検査の技術開発や研究における問題点、医学における疑問点をグループにより調査することで、課題を解決する能力を養う。グループ毎に調査研究をまとめて発表することでコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を高め、質疑応答により問題解決能力も養う。臨床検査技師としての探究心と課題を解決のための能力を身につけることを目的とする。	主要授業科目
		循環動態画像診断学	○	循環動態画像を診断するために、臨床検査技師が知っておくべきモダリテイーの画像診断について学ぶ。生理検査を実施する際に、電子カルテから各種モダリテイーの医療画像情報を閲覧し、循環動態や病態を確認したうえで検査を実施する。そのため、心臓カテ-テル検査・CT・MRIなどの各種モダリテイーの医療画像情報を理解する。具体的には、生理検査業務に関わる放射線科領域のモダリテイーである血管造影、心臓カテーテル検査、心臓カテーテル治療、経食道心エコー、Biopsyによる病理診断などについて知識を習得する。	主要授業科目
		臨床検査管理総論	○	現在の医療情勢ならびに医療施設における臨床検査部門の位置づけと役割を正しく理解する。具体的には、診断・治療に役立つ質の高いデータを提供するために必要な機材・試薬管理、検体管理、安全管理、システム管理、人事・労務管理および人材育成などについて学ぶ。また、臨床検査部門の国際規格であるISO15189の意義やチーム医療の必要性などについても学ぶ	主要授業科目
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	○	臨床検査は患者の診断、病態把握、治療効果の確認に用いられる。各種の臨床検査項目と疾患・病態との関連性を学ぶ。具体的には、各種疾患や病態における臨床検査値の変動を理解し、異常な臨床検査値の組み合わせから疾患・病態を推測できる基礎的な考え方を理解する。	主要授業科目
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	○	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）で学んだ基本を元に、各種の臨床検査項目の臨床的意義をさらに理解し、疾患・病態との関連性を学ぶ。具体的には、各種疾患・病態の臨床検査データから、グループ内で討論し、疾患・病態を推測することで、患者の疾患・病態と臨床検査値の関連について学ぶ。	主要授業科目
		臨床検査基礎演習	○	臨床検査学の各実習を円滑に行うために、各科目の実習に共通する基礎的事項を身につける。具体的には、機器や器具の名称やそれらの適切な使用及び保守の方法について学ぶ。また、薬品の取り扱いや感染予防・感染管理についての実習に必要な考え方などを学ぶ。さらに、実習や科学実験を行っていくうえで必要不可欠な基本的な知識や技術を習得する。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	客観的臨床能力試験	○	客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Exanimation; OSCE）では、臨地実習に必要とされる技能・態度を備えていることを実技試験等により確認する。身なり、挨拶や適切な声かけ、敬語等、安全な医療が遂行できるように心がけて行動できるような基本的接遇マナーや、臨地実習に必要な血液検査学、病理検査学、一般検査学、臨床化学検査学・免疫検査学、遺伝子検査学、輸血・移植検査学、微生物検査学、生理学検査学等の基本的な検査手技の習得と臨床所見や結果を解釈する知識を確認をする。 藤巻　慎一　：血液検査学の技能習得到達度評価 長田　誠　　：遺伝子検査学の技能習得到達度評価 久保田 紀子：微生物検査学の技能習得到達度評価 清宮　正徳　：臨床化学検査学・免疫検査学、輸血・移植検査学の技能習得 到達度評価 青木 裕志　：輸血・移植検査学の技能習得到達度評価 岡山 香里　：病理検査学の技能習得到達度評価 山崎 まどか：生理学検査学の技能習得到達度評価 森 幸太郎　：微生物検査学、遺伝子検査学の技能習得到達度評価 小笠原 篤　：一般検査学、血液検査学の技能習得到達度評価	共同 主要授業科目
		入門細胞診断学演習	○	細胞診検査を実施する際の検体採取から診断までの検査の流れ、その意義を学ぶ。細胞診検査の基本染色であるパパニコロウ染色の原理を理解し、特に婦人科細胞診検査で出現する正常細胞の形態学的特徴を学ぶ。鏡検実習では、婦人科細胞診標本を用いて扁平上皮細胞を中心とした正常細胞のスケッチを行うことにより、細胞質、核、クロマチン、核小体の詳細な所見を理解する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	○	婦人科細胞診検査を理解するため、解剖学Ⅰ（総論）、解剖学Ⅱ（各論）、組織学演習の知識を基に、子宮頸部、膣部の解剖、ホルモンによる影響を学ぶ。また、正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍で出現する細胞所見を理解し、鏡検実習で詳細な所見を学習する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅱ　（婦人科応用）	○	細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）の知識を基に、婦人科細胞診標本を用いてスクリーニングを実施する。正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍の標本を観察して所見を理解し、診断書にコメントを記載して病変判定の知識、技術を習得する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅲ　（呼吸器，体腔液基礎）	○	呼吸器細胞診検査、体腔液細胞診検査の検体採取法、標本作製法を学ぶ。解剖学Ⅰ（総論）、解剖学Ⅱ（各論）、組織学演習の知識を基に呼吸器、体腔の解剖学や出現する正常細胞の形態学的特徴を理解する。また、正常、炎症、感染症、悪性腫瘍で出現する細胞所見を理解し、鏡検実習で詳細な所見を学習する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅳ　（呼吸器，体腔液応用）	○	細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）、細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）、細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器、体腔液基礎）で学んだ知識を基に、呼吸器と体腔駅の細胞診標本を用いてスクリーニングを実施する。正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍の標本を観察し、所見を理解し、診断書にコメントを記載して病変判定の知識、技術を習得する。	共同 主要授業科目
		臨床検査質量分析学演習	○	質量分析技術の進歩によりプロテオーム解析解析が可能となり、生化学、臨床化学、分子生物学や食品関連の研究に必須の手段となっている。質量分析の基礎と医学への応用について学ぶ。具体的には、試料のイオン化の方法や、電場や磁場による質量分離の方法を学び、マススペクトルを確認することでタンパク質などを一斉解析する方法を学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子分析科学演習Ⅰ　（基礎）	○	分子生物学の発展は著しく、遺伝子関連検査の測定法や分析方法も新しい技術が開発されている。遺伝子分析学演習Ⅰ　（基礎）では、遺伝子関連検査に関わる医学および医療の基礎知識を学び、遺伝子の変異と疾患の関連性を理解する。また、機器・検体の取り扱いや精度管理などの基礎知識と遺伝子関連検査の技術や実践について理解する。さらに、染色体検査の技術や実践方法についても理解し、遺伝子分析の専門性を学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子分析科学演習Ⅱ　（実践）	○	専門的知識と高度な技術に対応し、遺伝子検査技術の発展と普及を推進するための実践を学ぶ。具体的には、微量検体を取り扱う際のピペット操作、コンタミネーションを避ける技術、遺伝子・染色体検査に必要な基礎的技術としての原理や方法論、各種検査の実践や結果の評価について学ぶ。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	生殖補助医療胚培養学	○	生殖医療はヒト両配偶子(精子、卵子)に始まり、受精、受精卵(胚)の発生、着床、妊娠、分娩、老化という全生涯過程に関わるものである。ヒトの生殖医療に貢献するために、その基礎となる体外受精、胚移植、顕微授精、クローン、幹細胞、遺伝子操作などを学ぶ。	主要授業科目
		生殖補助医療胚培養学演習	○	両配偶子の発生、受精および受精卵(胚)発生のメカニズムを基礎学問として学び、その学問を臨床に応用するための実践技術を学ぶ。具体的には、両配偶子(精子、卵子)の取り扱い、精液検査（量、運動率、形態評価）、卵子の形態評価と培養法、体外培養技術の実際、顕微授精技術の実際、受精卵（胚）移植の介助等を習得する。	共同 主要授業科目

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（保健医療学部　医学検査学科等）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）		基本的な文法項目を使った作文の練習を行います。短文レベルから始めて、段落構成などについて考え、最終的に2000字程度のレポートを書けるようになることを目指します。学習する項目は、地図などの視覚情報を文章化する、状況を説明する、意見を述べる、引用するなどです。本授業は、正確に日本語を書きたいと思っている方、レポートを書けるようになりたいと思っている方を対象としています。	
		作文・読解Ⅱ（応用）		新聞記事に出現する語彙と内容の要約の仕方を学習します。基本的な要約の仕方を練習した後、新聞記事を読んで、語彙の意味・用法の整理とその内容を要約するトレーニングを行います。本授業は、新聞記事レベルに出現する語彙の学習をしたい人、レポートをうまくまとめたい人、実習の報告書を簡潔に書けるようになりたい人、大学院進学を目指して卒論を書こうと思っている人を想定しています。	
		作文・読解Ⅲ（完成）		日本語能力試験N1レベルの表現文型を正確に書くトレーニングをします。授業では、どのような文脈で学習項目が使われているかを確認した後、例文作成を繰り返します。このような作業を通し、学習項目を適切な場面で使用できるようになることを目指します。本授業は、上級レベルの文型を使いこなせるようになりたいと思っている人、大学院進学を目指している人などを対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅰ（入門）		日本語の初級文法と中級レベルの語彙の総復習を通し、正確な日本語の運用能力の養成を目指します。取り扱う項目は基礎的なものですが、これらを正しく使いこなすためのトレーニングを行います。本授業は、基礎的な項目を復習したい人、日本語の基礎に不安がある人、正確な日本語を話したり書いたりすることができるようになりたい人を対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅱ（応用）		中級レベルにおいて留学生が間違えやすい文法と学習しにくい語彙を学習します。本授業は、日本語の中級から上級レベルの文法や語彙に自信がなく、書いたり話したりすることに不安のある人、もう一度、基礎から日本語力を固めたい人を対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅲ（完成）		雑誌記事を使用し、語彙の増加を目指します。授業では、雑誌「Newton」連載のコラムを使用し、内容理解、語彙の意味用法の確認した後、作文やスピーチ等において学習した語彙を実際に使いこなすためのトレーニングを行います。	
		発表・討論Ⅰ（応用）		典型的な論文の構成に従って口頭発表する際の表現を学ぶ。授業では、発表の例を聞いてメモを取り、口頭発表の流れを把握する。さらに、そこで使われる表現に注目して、どのように日本語で発表を展開させていくか学んだ後、実際に発表の練習をする。	
		発表・討論Ⅱ（完成）		大学における発表場面での効果的・効率的な話の進め方を学ぶ。社会の状況や制度などについて、内容を整理してわかりやすい談話構成（話の流れ）で述べる練習をする。さらに、その練習を通して、そのような話題や談話構成で話す場合に役立つ表現を身につける。	
		医療福祉専門漢字		医療福祉分野の専門用語で使われる漢字の中で、読み書きの難しい約300字について学習します。漢字のレベルは日本語能力試験1級以上の漢字約229字を含みます。	
		医療福祉専門語彙		医療従事者の国家試験過去問題を使用し、専門領域の語彙に関する日本語面からの支援を実施します。 １．出現頻度順の学習：国家試験における出現頻度を調査し、多く使われる用語から学習します。２．語彙の難易順の学習：語彙に対するなじみの程度をもとに難易度別に用語を学習します。 本クラスは、日本語面の支援になります。専門領域の概念に関しては、各専門科目の内容も参照しながら学習を進めていってください。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	日本語基礎Ⅰ（初級）		初歩的な文法・漢字・語彙を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできるようになることを目標とします。具体的な技能別目標は次の通りです。 （1）日常生活：簡単な文型を使って、「あいさつ」「買い物」「郵便局で」などの日常会話ができるようになる。（2）言語知識：日本語能力試験４級程度（280点）以上の日本語能力。（3）話す：簡単な日常会話ができるようになる。（4）聞く：簡単な質問を聞き取り、それに答えられるようになる。（5）読む：日常目にする短い文章を読んで理解することができるようになる。（6）書く：簡単な文型を使って、自分のことが表現できるようになる。	
		日本語基礎Ⅱ（初級）		基本的な文法・漢字・語彙を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできるようになることを目標とします。具体的な技能別目標は次の通りです。 （1）日常生活：基本的な文型を使って場面に応じた簡単な会話ができるようになる。（2）言語知識：日本語能力試験３級程度（240点以上）の日本語能力。（3）話す：基本文型を使い、場面に応じた適切な会話ができるようになる。（4）聞く：「買い物」「役所」「旅行先」などで簡単な説明が聞き取れるようになる。（5）読む：パンフレットなど簡単な説明文を読んで理解することができるようになる。（6）書く：役所や銀行などの申し込み書に必要事項が記入できるようになる。簡単な手紙が書けるようになる。	

学校法人国際医療福祉大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和 6年度	入学定員	編入学定員	収容定員		令和 7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
国際医療福祉大学					国際医療福祉大学				
保健医療学部					保健医療学部				
看護学科	115	-	460		看護学科	115	-	460	
理学療法学科	100	-	400		理学療法学科	100	-	400	
作業療法学科	80	-	320		作業療法学科	80	-	320	
言語聴覚学科	80	-	320		言語聴覚学科	80	-	320	
視機能療法学科	50	-	200		視機能療法学科	50	-	200	
放射線・情報科学科	110	-	440		放射線・情報科学科	110	-	440	
					医学検査学科	80	-	320	学部の学科の設置（届出）
医療福祉学部		3年次		→	医療福祉学部		3年次		
医療福祉・マネジメント学科	140	5	570		医療福祉・マネジメント学科	140	5	570	
薬学部					薬学部				
薬学科	180	-	1080		薬学科	180	-	1080	
医学部					医学部				
医学科	140	－	840		医学科	140	－	840	
成田看護学部				→	成田看護学部				
看護学科	100	－	400		看護学科	100	－	400	
成田保健医療学部					成田保健医療学部				
理学療法学科	80	－	320		理学療法学科	80	－	320	
作業療法学科	40	－	160		作業療法学科	40	－	160	
言語聴覚学科	40	－	160		言語聴覚学科	40	－	160	
医学検査学科	80	－	320		医学検査学科	80	－	320	
放射線・情報科学科	50	－	200		放射線・情報科学科	50	－	200	
成田薬学部					成田薬学部				
薬学科	120	－	720		薬学科	120	－	720	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部					赤坂心理・医療福祉マネジメント学部				
心理学科	60	－	240		心理学科	60	－	240	
医療マネジメント学科	60	－	240		医療マネジメント学科	60	－	240	
小田原保健医療学部					小田原保健医療学部				
看護学科	80	－	320		看護学科	80	－	320	
理学療法学科	80	－	320		理学療法学科	80	－	320	
作業療法学科	40	－	160		作業療法学科	40	－	160	
福岡保健医療学部					福岡保健医療学部				
看護学科	60	－	240		看護学科	60	－	240	
理学療法学科	50	－	200		理学療法学科	50	－	200	
作業療法学科	30	－	120		作業療法学科	30	－	120	
医学検査学科	80	－	320		医学検査学科	80	－	320	
福岡薬学部		－			福岡薬学部		－		
薬学科	120	－	720		薬学科	120	－	720	
計	2,165	3年次 5	9,790		計	2,245	3年次 5	10,110	
国際医療福祉大学大学院					国際医療福祉大学大学院				
医学研究科					医学研究科				
公衆衛生学専攻(M)	0	－	0			0	－	0	令和6年4月学生募集停止
公衆衛生学専攻(P)	20	－	40		公衆衛生学専攻(P)	20	－	40	
医学専攻(D)	20	－	80		医学専攻(D)	20	－	80	
医療福祉学研究科				→	医療福祉学研究科				
保健医療学専攻(M)	200	－	400		保健医療学専攻(M)	200	－	400	
医療福祉経営専攻(M)	50	－	100		医療福祉経営専攻(M)	50	－	100	
臨床心理学専攻(M)	35	－	70		臨床心理学専攻(M)	35	－	70	
保健医療学専攻(D)	80	－	230		保健医療学専攻(D)	80	－	230	
薬科学研究科					薬科学研究科				
生命薬科学専攻(M)	5	－	10		生命薬科学専攻(M)	5	－	10	
薬学研究科					薬学研究科				
医療・生命薬学専攻(D)	5	－	20		医療・生命薬学専攻(D)	5	－	20	
計	415		950		計	415		950	
国際医療福祉大学塩谷看護専門学校					国際医療福祉大学塩谷看護専門学校				
医療専門課程					医療専門課程				
看護学科	40	－	120		看護学科	40	－	120	
計	40		120		計	40	－	120	

（１）都道府県内における位置関係の図面

1）関東における栃木県の位置



2）栃木県内における大田原市の位置



（２）最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図



那須塩原駅と大学間にスクールバスを運行しています（所要時間 約 20 分）。

※約 10 ㎞

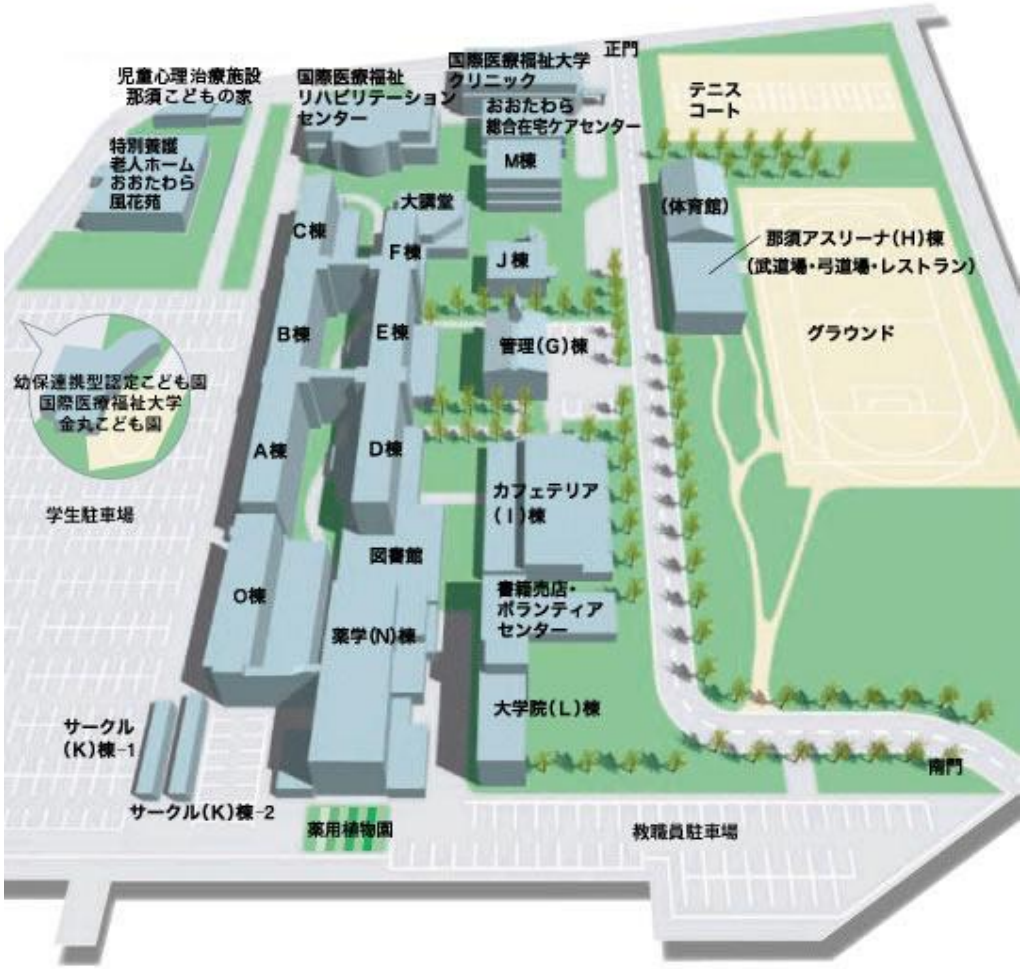
在学生をはじめ、お客様や受験生も利用いただけるほか、教職員も利用している。

〈運行区間〉 那須塩原駅東口⇔国際医療福祉大学 大田原キャンパス

〈運行日〉 毎日（土日も運行。但し 12/28～1/3 を除く）

〈料金〉 無料

（３）校舎・運動上等の配置図



①校地　　867,678 ㎡

②校舎　　213,195 ㎡

③屋外運動場　88,802 ㎡

国際医療福祉大学学則（案）

第１章　総　則

第１節　目的

（目的）

第１条　国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第１条の２　本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

２　点検及び評価については、別に定める。

３　本学は、第１項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（情報の公開）

第１条の３　本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第１条の４　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第１条の５　本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

（研修の機会等）

第１条の６　本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得・向上させるための研修の機会を設けることとその他の必要な取組を行う。

第２節　組織

（学部）

第２条　本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

一　保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

二　医療福祉学部

医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各

分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の人材を育成する。

三　薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

四　福岡保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学及び医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び臨床検査技師等の人材を育成する。

五　小田原保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等の人材を育成する。

六　成田看護学部

看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師等の人材を育成する。

七　成田保健医療学部

理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学及び放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

八　医学部

医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

九　赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

心理学、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援もしくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成する。

十　福岡薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

十一　成田薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

２　前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。

（大学院）

第２条の２　本学に、大学院を置く。

２　大学院に関する学則は、別に定める。

（別科）

第２条の３　本学に留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科を置く。

２　留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

（図書館）

第３条　本学に、図書館を置く。

２　図書館に関する事項は、別に定める。

（附属施設）

第３条の２　本学に、次の附属施設を置く。

国際医療福祉大学病院
国際医療福祉大学熱海病院
国際医療福祉大学三田病院
国際医療福祉大学塩谷病院
国際医療福祉大学市川病院
国際医療福祉大学成田病院
国際医療福祉大学クリニック
国際医療福祉大学健康管理センター
国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑
国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンター
国際医療福祉大学社会保障政策研究所
国際医療福祉大学人口戦略研究所
国際医療福祉大学ゲノム医学研究所
国際医療福祉大学トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター
国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンター

２　附属施設に関する事項は、別に定める。

第３条の３　本学に、総合教育、情報教育、臨床教育等の教育研究に関するセンターを置くことができる。

２　センターに関する事項は、別に定める。

（事務局）

第４条　本学に、事務局を置く。

第３節　職員組織

（職員）

第５条　本学に、学長を置く。学長は、校務をつかさどり所属職員を統督する。

２　本学に、学長を補佐するため、副学長を置くことができる。

3　本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。
4　本学に、特任教授、客員教授、非常勤講師及びその他必要な職員を置くことができる。
5　本学に、名誉教授を置くことができる。
（職員組織）
第6条　学部に、学部長を置く。学部長は、学長の指示を受けて、学部に関する校務を掌理する。
2　学部の学科に、学科長を置く。学科長は、学部長を補佐し、学科の校務を掌理する。
3　学部に、副学部長、学科に副学科長を置くことができる。
4　図書館に、図書館長を置く。
5　国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学熱海病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院及び国際医療福祉大学成田病院に、それぞれ病院長を置く。
6　国際医療福祉大学クリニックに院長を、国際医療福祉大学健康管理センターにセンター長を置く。
7　国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑、国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンターにそれぞれ施設長を置く。
8　研究所に、研究所長を置く。
9　事務局に、事務局長を置く。

第4節　管理運営委員会、学部長・学科長会議、教授会及び学科会
（管理運営委員会）
第7条　本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、本学に管理運営委員会を置く。
2　管理運営委員会は、学長、総長、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、顧問、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。
3　管理運営委員会は、学長が招集し、その議長となる。
学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
4　管理運営委員会は、次の事項を審議する。
一　学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
二　大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
三　本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
四　教員人事の基準及び調整に関する事項
五　学生の定員に関する事項
六　学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
七　理事会の諮問事項
八　附属病院の運営に関する重要事項
九　その他、本学の運営に関する重要事項
5　学長は、管理運営委員会において審議された重要事項を常任理事会に報告する。
（学部長・学科長会議）
第8条　学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にまたがって学部長・学科長会議を置く。

2　学部長・学科長会議は、学長、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任教員をもって構成する。ただし、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長、学科長をもって構成することができる。
3　学部長・学科長会議は、学長が招集し、その議長となる。ただし、学長が認めた場合には、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長が招集し、その議長となることができる。
4　学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名する副学長がこれに代わるものとする。

（教授会）

第９条　本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。
2　教授会は、学長、副学長、学部長、副学部長及び学部の専任教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の教員を加えることができる。
3　教授会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長を務めることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
4　教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
　一　学生の入学、卒業及び課程の修了
　二　学位の授与
　三　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの。
5　教授会は、前項に規定するものの他、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
6　教授会に関する事項は、別に定める。

（学科会）

第１０条　学科内の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置く。
2　学科会は、学科の専任教員をもって構成する。

（委員会）

第１１条　本学に、学長の諮問機関として委員会を置くことができる。

第５節　学年、学期及び休業日

（学年）

第１２条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学期）

第１３条　学年を分けて、次の２学期とする。
　前　期　　４月１日から９月３０日まで
　後　期　１０月１日から３月３１日まで
2　前項の規定にかかわらず、医学部医学科については、次の３学期とする。
　１学期　４月１日から８月３１日まで
　２学期　９月１日から１２月３１日まで
　３学期　１月１日から３月３１日まで

（休業日）

第１４条　休業日は、次のとおりとする。

一　日曜日

二　国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律１７８号）に定める休日

三　本学創立記念日（　５月１日）

四　春期休業日（　３月　１日から　３月３１日まで）

五　夏期休業日（　８月　１日から　９月２０日まで）

六　冬期休業日（１２月２５日から　１月　６日まで）

２　学長は、学部の教育上の必要に応じ、前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を定めることができる。

第２章　学部通則

第１節　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第１５条　保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、４年とする。ただし、第２２条に規定する場合を除く。

２　薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、６年とする。ただし、第２２条に規定する場合を除く。

（在学年限）

第１６条　学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては８年を、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては１２年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第２２条第１項の規定により入学した学生は、同条第２項により定められた在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

２　薬学部、成田薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を２年とする。ただし、５年次及び６年次については、通算で４年とする。

３　医学部においては、第１項のほか、同一年次における在学年限を２年とする。ただし、４年次及び５年次については、通算で４年とする。

第２節　入学

（入学の時期）

第１７条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別な場合は、学期の始めに入学を許可することがある。

（入学の資格）

第１８条　各学科第１学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

一　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者

三　外国において学校教育による１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学

大臣の指定したもの

四　文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六　文部科学大臣の指定した者

七　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

八　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

（入学の出願）

第１９条　入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて、指定期日までに本学に願い出なければならない。

（入学者の選考）

第２０条　入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。

２　選考の方法は、別に定める。

（入学手続及び入学許可）

第２１条　前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続を完了しなければならない。

２　学長は、前項の入学手続を完了した者について、入学を許可する。

（編入学、転入学、再入学）

第２２条　次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

一　大学を卒業した者又は退学した者

二　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三　学校教育法施行規則第９２条の３（昭和２２年文部省令第１１号）に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

２　前項の規定にかかわらず、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科においては、前項第一号、第二号及び別に定める入学資格に該当する者で、第３年次に入学を志願するものがあるときは、選考のうえ、入学を許可する。

３　前２項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

第３節　教育課程、単位及び履修方法等

（教育課程）

第２３条　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを、各学年次に配当して編成するものとする。

（授業科目の区分）

第２４条　授業科目を分けて、総合教育科目、専門教育科目とする。

（授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数）
第２５条　授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数は、別に定める。
（授業の方法）
第２６条　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技等により行うものとする。
（単位計算方法）
第２７条　授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。
一　講義については、１５時間をもって１単位とする。ただし、外国語科目の講義については、３０時間をもって１単位とする。
二　演習については、３０時間をもって１単位とする。
三　実験、実習、体育実技等については、４５時間をもって１単位とする。
四　教育上必要があるときは、講義については３０時間の講義、演習については１５時間の演習、実験・実習・体育実技については３０時間の実験・実習・体育実技をもって１単位とすることができる。
五　卒業論文、卒業研究等の授業科目については、単位を授与する。
単位数は、学科ごとに別に定める。
（単位の認定、科目の修得及び評価）
第２８条　授業科目を履修し、その試験、又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。
２　前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験に代えることを認められた科目については、この限りでない。
３　試験に関する事項は、別に定める。
（成績の評価）
第２９条　成績の評価は、秀（Ｓ）、優（Ａ）、良（Ｂ）、可（Ｃ）、不可（Ｄ）の５種とし、秀（Ｓ）、優（Ａ）、良（Ｂ）、可（Ｃ）を合格、不可（Ｄ）を不合格とする。
（授業日数）
第３０条　毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め、３５週以上とする。
（履修方法）
第３１条　学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に４年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に６年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。
２　前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。
（メディアを利用して行う授業）
第３１条の２　メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。
２　前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。
（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第３２条　学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、３０単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

（大学以外の教育施設における学修）

第３３条　学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

２　前項により与えることができる単位数は、前条第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて３０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第３４条　学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第２９条第１項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位（第５１条の規定により修得した単位を含む）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

３　前２項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第３２条第１項及び第２項並びに前条第１項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。

第４節　休学、転学、留学、除籍及び退学

（休学）

第３５条　病気その他やむを得ない事由により、引き続き３か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

２　病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第３６条　休学の期間は１年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に１年以内に限り、期間を延長することができる。

２　休学の期間は、通算して、４年を超えることはできない。

３　休学の期間は、第１６条の在学年限に算入しない。

４　休学期間中にその理由が消滅した場合は、所定の手続により、学長の許可を得て復学することができる。

（転学）

第３７条　本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。

（転学部、転学科）

第３８条　本学内において、他の学部、学科への転学部、転学科を志願する者があるときは、教授会において選考のうえ、学長が転学部、転学科を許可することがある。

２　転学部、転学科の許可を受けた者の修業年限及び既に取得した単位の取扱は、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

（留学）

第３９条　外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

２　前項の許可を得て留学した期間は、第４２条に定める在学期間に含めることができる。
３　留学に関する事項は、別に定める。
（退学）
第４０条　退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。
（除籍）
第４１条　次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。
一　学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
二　第１６条に定める在学年限を超えた者
三　長期間にわたり行方不明の者
四　第３６条第２項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者
五　死亡した者

第５節　卒業及び学士の学位
（卒業）
第４２条　保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に４年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に６年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。
２　学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。
（学士の学位）
第４３条　学士の学位については、別に定める。
（教育職員免許状）
第４３条の２　教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
２　前項の規定により所要の単位を修得した者が教育職員免許状を取得できる学部学科、教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学部学科	教育職員免許状の種類
小田原保健医療学部看護学科	養護教諭１種免許状

第６節　賞罰
（表彰）
第４４条　学生として表彰に値する行為があった者には、学長は、教授会の意見を聴いて、表彰することができる。
（懲戒）
第４５条　本学の諸規程に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴いて、学長がこれを懲戒する。
２　懲戒は、情状により退学、停学、譴責及び戒告とする。
３　前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
一　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
二　学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

三　正当の理由なくして出席常でない者
四　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　停学期間は在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が３か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

第７節　厚生補導
（学生指導）
第４６条　本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。
２　前項に関する事項は別に定める。
（保健管理）
第４７条　本学に保健室を置き、学生の保健管理を行う。

第８節　施設利用及び寄宿舎
（施設利用）
第４８条　本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。
（寄宿舎）
第４８条の２　本学に寄宿舎を置くことができる。
２　前項に関する事項は別に定める。

第９節　研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生
（研究生）
第４９条　本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。
２　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
３　研究期間は、１年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
（聴講生）
第５０条　本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生は学期ごとに許可する。
（科目等履修生）
第５１条　本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、教育・研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、入学を許可することがある。
２　前項の科目等履修生に対し単位を与えることができる。
３　科目等履修生に対する単位の授与については、第２８条の規定を準用する。
（外国人留学生）
第５２条　外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者がある

ときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

第１０節　入学検定料及び学生納付金

（入学検定料及び学生納付金）

第５３条　入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

第５４条　　削除

（免除等）

第５５条　学業優秀である者若しくは経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。

２　休学期間中及び留学期間中は、授業料の３分の２を免除する。

（退学等の場合の学生納付金）

第５６条　学年の中途において退学し、転学し、又は停学若しくは退学を命ぜられた者もその学年の学生納付金を納めなければならない。

（研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金）

第５７条　研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

（返還）

第５８条　納付した入学検定料及び学生納付金は、返還しない。

第１１節　奨学金

（奨学金）

第５９条　本学に奨学金の制度を設けることができる。

２　奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

第１２節　公開講座及び各種講習会等

（公開講座、各種講習会等）

第６０条　社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座、各種講習会を開設することができる。

２　社会人の再教育及び教育研究活動に資するため、特別講座等を開設することができる。

第３章　補　則

（補則）

第６１条　この学則の実施に関し必要な細目は、別に定める。

附　則

１　この学則は、平成７年４月１日から施行する。

２　第２条第２項に規定する収容定員は、同条にかかわらず、平成７年度から平成１０年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成７年度	平成８年度	平成９年度	平成 10 年度
保健学部				
看護学科	100 名	200 名	300 名	400 名

理学療法学科	80 名	160 名	240 名	320 名
作業療法学科	80 名	160 名	240 名	320 名
言語聴覚障害学科	80 名	160 名	240 名	320 名
放射線・情報科学科	100 名	200 名	300 名	400 名
合　計	440 名	880 名	1320 名	1760 名

附　則

1　この学則は、平成９年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する医療福祉学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成９年度から平成１１年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成９年度	平成 10 年度	平成 11 年度
医療福祉学部			
医療経営管理学科	100 名	200 名	300 名
医療福祉学科	100 名	200 名	300 名
合　計	200 名	400 名	600 名

附　則

この学則は、平成１０年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成１４年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する保健学部視機能療法学科及び医療福祉学部医療福祉学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成１４年度から平成１６年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
視機能療法学科	40 名	80 名	120 名
医療福祉学科	440 名	480 名	520 名

附　則

この学則は、平成１５年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。

2　第５３条の規定（入学検定料、授業料等）は、平成１５年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成１７年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する薬学部及びリハビリテーション学部の収容定員は、同条にかかわら

ず、平成１７年度から平成１９年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
薬学部			
薬学科	150 名	300 名	450 名
合　計	150 名	300 名	450 名
リハビリテーション学部			
理学療法学科	40 名	80 名	120 名
作業療法学科	40 名	80 名	120 名
合　計	80 名	160 名	240 名

3　第５３条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成１６年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成１８年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する薬学部及び小田原保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成１８年度から平成２２年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
薬学部					
薬学科	330 名	510 名	690 名	720 名	900 名
合　計	330 名	510 名	690 名	720 名	900 名
小田原保健医療学部					
看護学科	50 名	100 名	150 名		
理学療法学科	40 名	80 名	120 名		
作業療法学科	40 名	80 名	120 名		
合　計	130 名	260 名	390 名		

3　第１５条第２項の規定にかかわらず、平成１７年度薬学部入学者については、なお従前の例による。

4　薬学部（４年制）は、平成１８年度から学生募集を停止する。ただし、薬学部（４年制）の平成１８年度から平成２０年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
薬学部			
薬学科	150 名	150 名	150 名

5　第２５条（授業科目等）の規定は、平成１７年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する福岡リハビリテーション学部理学療法学科、言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成１９年度から平成２１年度までは、次のとおりとする。

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
福岡リハビリテーション学部			

理学療法学科	160 名	240 名	280 名
言語聴覚学科	40 名	80 名	120 名

3　第２５条（授業科目等）の規定は、平成１８年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。

2　第２５条（授業科目等）の規定は、平成１９年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

2　第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科及び福岡看護学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成２１年度から平成２３年度までは、次のとおりとする。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
医療福祉学部			
医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	160 名	320 名	485 名
福岡看護学部			
看護学科	80 名	160 名	240 名

3　医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科は、平成２１年度から学生募集を停止する。ただし、医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科の平成２１年度から平成２３年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
医療経営管理学科	300 名	200 名	100 名
医療福祉学科	425 名	280 名	140 名

4　第２５条（授業科目等）の規定は、平成２０年度以前の入学者については、なお従前の例による。

5　第５３条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成２０年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２２年４月１日から施行する。

2　第２５条（授業科目等）の規定は、平成２１年度以前の入学者については、なお従前の例による。

3　第５３条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成２１年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

2　第２５条（授業科目等）の規定は、平成２２年度以前の入学者については、なお従前の例による。

3　第５３条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成２２年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

2　第２５条（授業科目等）の規定は、平成２３年度以前の入学者については、なお従前の例による。

3　第５３条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成２３年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附　則

1　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

2　第2条第2項に規定する福岡保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成２５年度から平成２７年度までは、次のとおりとする。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
福岡保健医療学部			
医学検査学科	80 名	160 名	240 名

附　則

1　医療福祉学部医療経営管理学科及び医療福祉学科については平成２６年３月３１日をもって廃止する。

附　則

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する小田原保健医療学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成２７年度から平成２９年度までは、次のとおりとする。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
小田原保健医療学部			
看護学科	230 名	260 名	290 名

附　則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成２８年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する福岡看護学部、成田看護学部及び成田保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成２８年度から平成３０年度までは、次のとおりとする。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
福岡看護学部			
看護学科	340 名	360 名	380 名
合　計	340 名	360 名	380 名

成田看護学部			
看護学科	100名	200名	300名
合　計	100名	200名	300名
成田保健医療学部			
理学療法学科	80名	160名	240名
作業療法学科	40名	80名	120名
言語聴覚学科	40名	80名	120名
医学検査学科	80名	160名	240名
合　計	240名	480名	720名

附　則

この学則は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２８年５月２３日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する保健医療学部看護学科、保健医療学部理学療法学科、保健医療学部視機能療法学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科及び医学部医学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成２９年度から平成３３年度までは、次のとおりとする。

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
保健医療学部			
看護学科	415名	430名	445名
理学療法学科	340名	360名	380名
視機能療法学科	170名	180名	190名
放射線・情報科学科	420名	440名	460名
小田原保健医療学部			
理学療法学科	200名	240名	280名

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
医学部					
医学科	140名	280名	420名	560名	700名
合　計	140名	280名	420名	560名	700名

附　則

この学則は、平成２９年９月１日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科及び医療マネジメント学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成３０年度から平成３２年度までは、次のとおりとする。

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
医療福祉学部			
医療福祉・マネジメント学科	630 人	610 人	590 人
合計	630 人	610 人	590 人
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			
心理学科	60 人	120 人	180 人
医療マネジメント学科	60 人	120 人	180 人
合計	120 人	240 人	360 人

附　則

1　この学則は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する福岡保健医療学部理学療法学科、福岡薬学部薬学科、保健医療学部放射線・情報科学科及び成田保健医療学部放射線・情報科学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和２年度から令和６年度までは、次のとおりとする。

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
福岡保健医療学部			
理学療法学科	300 名	280 名	260 名

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
福岡薬学部					
薬学科	120 名	240 名	360 名	480 名	600 名

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
保健医療学部			
放射線・情報科学科	470 名	460 名	450 名

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
成田保健医療学部			
放射線・情報科学科	50 名	100 名	150 名

附　則

この学則は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は、令和５（２０２３）年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する福岡保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和５年度から令和７年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
福岡保健医療学部			
看護学科	60名	120名	180名
理学療法学科	230名	220名	210名
作業療法学科	150名	140名	130名
言語聴覚学科	120名	80名	40名

附　則

この学則は、令和５（２０２３）年５月２３日から施行する。

附　則

1　この学則は、令和６（２０２４）年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する成田薬学部薬学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和６年度から令和１０年度までは、次のとおりとする。

	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
成田薬学部					
薬学科	120名	240名	360名	480名	600名

附　則

1　この学則は、令和７（２０２５）年４月１日から施行する。

2　第２条第２項に規定する保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和７年度から令和９年度までは、次のとおりとする。

	令和７年度	令和８年度	令和９年度
保健医療学部			
医学検査学科	80名	160名	240名

別 表

学部名	学科等名	入学定員	３年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	－	460
	理学療法学科	100	－	400
	作業療法学科	80	－	320
	言語聴覚学科	80	－	320
	視機能療法学科	50	－	200
	放射線・情報科学科	110	－	440
	医学検査学科	80	－	320
	合　　計	615	－	2,460
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科 （うち　介護福祉コース）	140 (40)	5 (―)	570 (160)
	合　　計	140	5	570
薬学部	薬学科	180	－	1,080
	合　　計	180	－	1,080
医学部	医学科	140	－	840
	合　　計	140	－	840
成田看護学部	看護学科	100	－	400
	合　　計	100	－	400
成田保健医療学部	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	言語聴覚学科	40	－	160
	医学検査学科	80	－	320
	放射線・情報科学科	50	－	200
	合　　計	290	－	1,160
成田薬学部	薬学科	120	－	720
	合　　計	120	－	720
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	心理学科	60	－	240
	医療マネジメント学科	60	－	240
	合　　計	120	－	480
小田原保健医療学部	看護学科	80	－	320
	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	合　　計	200	－	800
福岡保健医療学部	看護学科	60	－	240
	理学療法学科	50	－	200
	作業療法学科	30	－	120
	言語聴覚学科	0	－	0
	医学検査学科	80	－	320
	合　　計	220	－	880
福岡薬学部	薬学科	120	－	720
	合　　計	120	－	720

国際医療福祉大学学位規程（案）

（目的）
第１条　この規程は、学位規則（昭和２８年文部省令第９号）、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第４３条及び国際医療福祉大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第１０条第２項に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。
（学位）
第２条　本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び修士（専門職）とする。
２　学士の学位は、別表１のとおりとする。
３　修士の学位は、別表２のとおりとする。
４　博士の学位は、別表３のとおりとする。
５　修士（専門職）の学位は、別表４のとおりとする。
（学士の学位授与の要件）
第３条　学士の学位は、大学学則第４２条により本学を卒業した者に授与する。
（修士の学位授与の要件）
第４条　修士の学位は、大学院学則第８条第１項及び第３項により修士課程を修了した者に授与する。
（博士の学位授与の要件）
第５条　博士の学位は、大学院学則第８条第４項、第５項、第６項及び第７項により博士課程を修了した者には、甲種の学位を授与する。
２　前項に定める者のほか、学位は、別に定める資格を持ち、本学に学位論文を提出して、その審査に合格した者には、乙種の学位を授与することができる。
３　前２項の規定にかかわらず、本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学した日から３年以内に学位論文を提出し、その審査に合格した場合には、第１項によるものと同様に甲種の学位を授与する。
（修士（専門職）の学位授与の要件）
第６条　修士（専門職）の学位は、大学院学則第８条第２項及び第３項により修士課程（専門職学位課程）を修了した者に授与する。
（学位論文の提出）
第７条　第４条及び前条第１項による者の学位論文は、研究科長に提出するものとする。
２　前条第２項及び第３項の規定により、学位の授与を申請する者は、学位申請書に学位論文、論文要旨、履歴書及び別に定める学位論文審査料を添え、研究科長に提出しなければならない。
（学位論文）
第８条　博士及び修士の学位論文は、１篇に限る。ただし、参考として、他の論文を添付することができる。
２　受理した学位論文等及び既に納付された学位論文審査料は、返還しない。
３　審査のため必要があるときは、学位論文の副本、訳文、模型又は標本等の資料を提出させることがある。
（審査員）
第９条　研究科会議は、第７条第２項の規定により、学位論文が審査に付されたときは、当該研究科の教員のうちから、３人以上の審査員を選任し、学位論文の審査及び試験を委託しなければならない。
２　研究科会議が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、本学の教員又は教

員であった者を学位論文の審査及び試験の審査員に委嘱することができる。
３　研究科会議は必要と認めたときは、第１項の規定にかかわらず、他の大学院又は研究所等の教員等に学位論文の審査を委嘱することができる。
４　研究科会議は、第１項の審査員のうち１人を主任審査員として指名しなければならない。
（審査期間）
第１０条　修士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後２か月以内に、また、博士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後１年以内に終了しなければならない。
（試験）
第１１条　修士の学位又は博士の学位の授与を申請した者については、学位論文の審査のほか、面接試験を行う。この試験の方法は研究科会議において定める。
（審査結果の報告）
第１２条　修士の学位又は博士の学位に関する審査が終了したときは、審査員はすみやかに審査の結果及び評価に関する意見を記載した審査報告書を研究科会議に提出しなければならない。
（学位論文の判定）
第１３条　大学院長は、前条の審査の報告に基づき、研究科会議の審議を経て、学位授与の可否を決定する。
２　前項の判定を行う研究科会議には、構成員の過半数の出席を要し、合格の判定については、出席した構成員の３分の２以上の賛成がなければならない。この場合の定足数の算定に当たっては、外国出張中の者、休職中の者及び所属長の許可を得て出張中の者は、当該研究科会議の構成員の数に算入しない。
３　研究科会議が第１項の合否を決定したときは、大学院長はこれを学長に報告しなければならない。
（学位の授与）
第１４条　学長は、前条第３項の規定による報告に基づいて学位を授与し、学位記を交付する。
２　学位を授与できない者には、その旨通知する。
（専門職学位の授与）
第１４条の２　専門職学位の授与に関して必要な事項は、専門職学位課程を置く医学研究科において別に定める。
（論文要旨等の公表）
第１５条　博士の学位を授与したときは、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査結果の要旨は、インターネットの利用により、当該博士の学位を授与した日から３か月以内にこれを公表する。
（学位論文の公表）
第１６条　博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から１年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文をインターネットの利用により、公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に、既に公表されているときは、この限りではない。
２　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない理由がある場合には、研究科会議の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものをインターネットの利用により、公表することができる。この場合、本学はその論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
３　第１項の規定により公表する場合は、当該論文に「国際医療福祉大学審査学位論

文（博士）」と、また前項の規定により公表する場合は、当該論文の要旨に、「国際医療福祉大学審査学位論文（博士）の要旨」と明記しなければならない。

（学位の名称）

第１７条　本学の授与する学位には、国際医療福祉大学と付記するものとする。

（学位授与の取消）

第１８条　本学において博士、修士又は修士（専門職）の学位を授与された者につき、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、当該研究科会議の議を経て、すでに授与した学位を取り消し、学位記を返還させるものとする。

２　研究科会議において、前項の議決を行う場合は、第１３条第２項の規定を準用する。

附　則

この規程は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

１　この規程は、平成２５年５月２７日から施行する。

２　第８条及び第９条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

附　則

この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和４（２０２２）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和５（２０２３）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６（２０２４）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和７（２０２５）年４月１日から施行する。

別表1（第2条第2項関係）

学 部	学 科	学 位（専攻分野）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	視機能療法学科	学士（視機能療法学）
	医学検査学科	学士（医学検査学）
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士（医療福祉学）、学士（医療マネジメント学）
薬学部	薬学科	学士（薬学）
医学部	医学科	学士（医学）
成田看護学部	看護学科	学士（看護学）
成田保健医療学部	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	医学検査学科	学士（医学検査学）
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
成田薬学部	薬学科	学士（薬学）
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	心理学科	学士（心理学）
	医療マネジメント学科	学士（医療マネジメント学）
小田原保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
福岡保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	医学検査学科	学士（医学検査学）
福岡薬学部	薬学科	学士（薬学）

別表2（第2条第3項関係）

研究科	専 攻	学 位（専攻分野）
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	修士（保健医療学）、修士（看護学）、修士（助産学）、 修士（言語聴覚学）、修士（生殖補助医療学）、 修士（医療福祉教育・管理学）、修士（臨床検査学）、修士（災害医療学）、 修士（遺伝カウンセリング学）
	医療福祉経営専攻	修士（医療福祉学）、修士（診療情報管理学）、 修士（医療ビジネス経営学）、修士（医療福祉管理学）、 修士（介護福祉・ケアマネジメント学）、 修士（自立支援介護学）、 修士（自立支援実践ケアマネジメント学）、 修士（医療福祉ジャーナリズム学） 修士（医療通訳・国際医療マネジメント学）
	臨床心理学専攻	修士（臨床心理学）
薬科学研究科	生命薬科学専攻	修士（薬科学）
医学研究科	公衆衛生学専攻	修士（公衆衛生学）、修士（医科学）

別表3（第2条第4項関係）

研究科	専　攻	学　位（専攻分野）
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	博士（保健医療学）、博士（看護学）、 博士（助産学）、博士（言語聴覚学）、 博士（生殖補助医療学）、博士（医療福祉教育・管理学）、 博士（臨床検査学）、博士（災害医療学）、博士（医療遺伝学）、 博士（医療福祉経営学）、博士（医療福祉学）、 博士（診療情報管理学）、博士（医療福祉国際協力学）、 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）、 博士（臨床心理学）、博士（医療福祉ジャーナリズム学）
薬学研究科	医療・生命薬学専攻	博士（薬学）
医学研究科	医学専攻	博士（医学）

別表4（第2条第5項関係）

研究科	専　攻	学　位
医学研究科	公衆衛生学専攻	公衆衛生学修士（専門職）

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程（案）

（目的）

第１条　この規程は、国際医療福祉大学学則第２５条に基づき、各学部学科の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定めることを目的とする。

（授業科目等）

第２条　各学部学科の授業科目及び単位数は、別表１のとおりとする。

（卒業に必要な単位数）

第３条　各学部学科の卒業に必要な単位数は、別表２のとおりとする。

２　前項において、国際医療福祉大学学則第３１条の２第２項に定める授業科目により修得する単位数は、６０単位を超えないものとする。

附　則

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和４（２０２２）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和５（２０２３）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６（２０２４）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和７（２０２５）年４月１日から施行する。

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法 ※	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	2	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	2	2		30	
		疫学・保健医療統計学	3	2		30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1（Primary）	1	1		30	
		英語講読2（Basic）	1	1		30	
		英語講読3（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読4（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語CALL1（Primary）	1	1		30	
		英語CALL2（Basic）	1	1		30	
		英語会話1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話4（Advanced）	2 3 4		1	30	
		聖書英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1（発展）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2（総合）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論 ※	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践 ※	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	生体形態論Ⅰ（運動器系・循環器系）	1	1		30	
		生体形態論Ⅱ（内臓学・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生体機能論Ⅰ（循環・呼吸・消化・腎臓）	1	1		30	
		生体機能論Ⅱ（神経・運動・感覚）	1	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	1	1		30	
		薬理学	2	1		30	
		老年学	2		1	30	
		機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	2	1		30	
		機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	2	1		30	
		機能障害論Ⅲ（生殖・腎泌尿器・運動・免疫）	2	1		30	
		機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	基礎看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護方法論（看護過程）	2	1		30	
		日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1	1		30	
		日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	1	1		30	
		看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	1	1		30	
		基礎看護学実践演習	2	1		30	
		看護管理学	3	2		30	
		基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2	2		90	
		成人看護学概論	2	1		15	
		急性期看護学方法論	2	1		30	
		慢性期・回復期看護学方法論	2	1		30	
		がん・緩和ケア看護学方法論	2	1		30	
		急性期看護学演習	3	1		30	
		慢性期・回復期看護学演習	3	1		30	
		救急医療とクリティカルケア看護	3		1	15	
		高齢者看護学概論	2	1		15	
		高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）	2	1		30	
		高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）	3	1		15	
		高齢者看護学演習	3	1		30	
		小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		生活療養支援実習Ⅰ(介護予防・生活支援実習)	2	1		45	
		生活療養支援実習Ⅱ(周手術期・クリティカルケア看護学実習)	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅲ(慢性・回復期看護学実習)	3	3		135	
		生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）	3	1		45	
		小児看護学実習	3	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	1	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（生活を支える看護）	2	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（対象別看護）	3	1		15	
		地域・在宅看護学演習	3	1		15	
		看護研究	3	2		30	
		看護研究ゼミⅠ（ベーシック）	4	1		30	
		看護研究ゼミⅡ（アドバンス）	4		1	30	
		看護学統合特論	4	1		45	
		看護管理学演習	4		1	30	
		国際看護学	4		1	15	
		家族看護学	2	1		15	
		看護倫理学	2		1	15	
		災害看護学	4		2	30	
		地域・在宅看護学実習	3	2		90	
		地域統合看護学実習(地域包括生活療養支援実習)	4	3		135	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2		30	
		公衆衛生看護方法論	4	2		30	
		対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）※	4		2	30	
		対象別保健活動論Ⅱ（障害別）　※	4		1	15	
		地域診断論　※	3		1	30	
		健康教育論	3	2		30	
		産業保健論	2	1		15	
		学校保健論	2	1		15	
		健康危機管理論　※	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論　※	4		2	30	
		公衆衛生看護特論　※	4		1	30	
		公衆衛生看護学実習　※	4		4	180	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　理学療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3	1		15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	2		30	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		運動学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		人間発達学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2 3 4		1	30	
		神経心理学概論	2 3 4		2	30	
		臨床薬理学概論	2 3 4	1		15	
		スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
		外科学	2 3 4		1	15	
		栄養学	2 3 4		1	15	
	専門	バルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1	2		30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）	3	1		30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3	2		60	
		病態運動学	3	2		30	
		運動解剖学	2	2		30	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	1		15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2 3 4	1		15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		運動療法学総論	2	1		30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		装具学	3	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		呼吸器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促通治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	3 4		1	15	
		基礎実習	1	1		45	
		検査実習	2	2		90	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		評価実習	3	4		180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2		30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法	4		1	15	
		理学療法管理学	2 3 4	2		30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究	4		4	180	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　作業療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4	2		30	
		救急医学	2 3 4	1		15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	3	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	3	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病態生理学	2		1	15	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2		1	15	
		外科学	2		1	15	
		脳神経外科学	2		1	15	
		神経心理学概論	2		1	15	
		対人援助論	2 3 4		1	15	
	専門	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	1	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	2 3 4		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		1	30	
		作業療法管理学（倫理・管理）	4	1		15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能論	2	1		30	
		上肢機能評価法	2		1	15	
		日常生活活動評価法	2		1	15	
		認知機能評価法	3		1	15	
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		認知症作業療法特論	3		1	15	
		作業療法適用学特論	3		1	15	
		作業療法応用学概論	4	1		15	
		就学・就労支援論	4	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	2	1		30	
		職業関連技術学	3	1		30	
		作業療法の諸外国事情	2 3 4		1	15	
		地域生活作業療法論	4	1		30	
		地域ケアシステム論	3 4		1	15	
		生活支援計画論	3 4		1	15	
		障害代償学概論	2	1		15	
		義肢適用論	3	1		15	
		装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		15	
		バリアフリー論	2 3 4		1	15	
		臨床実習特論Ⅰ（OSCE）	3		1	15	
		臨床実習特論Ⅱ（OSCE）	4		1	15	
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45	
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45	
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	3		135	
		臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	3	5		225	
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	6		270	
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270	
		地域リハビリテーション実習	4	1		45	
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1		1	15	
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2		1	15	
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3		1	15	
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4	2		30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学	1	2		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	1	1		15	
		医学概論	1	1		15	
		内科学	3	1		30	
		精神医学	3	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	3	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	3	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	3	1		15	
		音声言語医学	2	1		30	
		中枢神経機能学	2	1		30	
		聴覚医学	2	1		30	
		児童精神医学	1 2 3 4		1	15	
		老年学	1 2 3 4		1	30	
		遺伝学	1 2 3 4		1	15	
		脳神経外科学	1 2 3 4		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		30	
		神経心理学	1	1		30	
		認知心理学	2	1		30	
		心理測定法	2	1		30	
		心理測定法演習	2	1		30	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	2	1		30	
		言語発達学	2	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		コミュニケーション技能演習	1	1		30	
		コミュニケーション障害演習	2	1		15	
		言語聴覚障害診断学	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価･診断)	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ(評価･診断)	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		45	
		流暢性障害学	2	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3		2	30	
		言語聴覚障害基礎演習	3	1		15	
		言語聴覚療法特論	4	1		15	
		言語聴覚障害学特論(総括)	4	1		15	
		卒業研究	4		4	60	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
		臨床実習Ⅱ（総合）	4	10		450	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　視機能療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4	2		30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4	2		30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4	2		30	
		数学	1 2 3 4	2		30	
		物理学	1 2 3 4	2		30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4	2		30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2		2	30	
		社会福祉学	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病理学	2		1	30	
		関係法規・医学概論	2	1		15	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30	
		神経学	2		1	30	
		精神衛生	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2		1	30	
		神経心理学概論	2		2	30	
		薬理学	2	1		30	
		外科学	2		1	15	
		栄養学	2		1	15	
		保育	2	1		15	
		視能学概論	1	2		30	
		視器解剖生理学	1	2		30	
		視器解剖病態学	2	2		30	
		視覚運動生理学	2	2		30	
		生理光学Ⅰ（基礎）	1	2		30	
		視覚臨床生理学	3	2		30	
		高次脳機能障害	3	1		30	
専門教育	専門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2		30	
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2		30	
		生理光学実習	2	2		90	
		臨床屈折矯正学演習	3	1		30	
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2		30	
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2		30	
		神経眼科学	3	2		30	
		視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	1	2		30	
		視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	2	2		30	
		視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	2	2		30	
		視能矯正学実習	2	2		90	
		視能検査学Ⅰ（機能検査）	3	2		30	
		視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	3	2		30	
		視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	3	3		135	
		視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	3	3		135	
		視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2		30	
		視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）	3	2		30	
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2		30	
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1		30	
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2		60	
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1		45	
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1		45	
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12		540	
		視能学評価実習	4	1		45	
		保健福祉実習	3	1		45	
		視覚リハビリテーション	3	1		30	
		視覚リハビリテーション演習	3	1		30	
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1		15	
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1		15	
		卒業研究	4		2	60	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　放射線・情報科学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	基礎数学	1	1		30	
		基礎統計学	2	1		30	
		自然科学概論	1	2		30	
		基礎物理学	1	1		30	
		基礎化学	1	1		30	
		基礎生物学	1	1		30	
		自然科学実験	1	1		45	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	2	2		30	
		病態生理学	2	1		15	
		臨床解剖学	3	1		30	
		医学概論	1	2		30	
		看護概論	3	1		15	
	専門	応用数学	1		1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）	2	1		30	
		放射化学	2	1		30	
		放射線生物学	2	1		30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学	2	1		30	
		放射線計測学実験	2	1		45	
		放射線管理学	2	2		30	
		放射線管理学実験	4	1		45	
		放射線関係法規	3	1		15	
		画像情報学Ⅰ（感光理論・処理）	1	2		30	
		画像情報学Ⅱ（画質評価）	1	2		30	
		画像情報学実験	1	1		45	
		画像情報学特論	4		1	30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
		医療情報システム論	3	1		15	
		医用工学	1	1		30	
		医用工学演習	2	1		30	
		Ｘ線機器工学	1	2		30	
		診療画像機器工学	2	1		30	
		X線機器工学実験	2	1		45	
		診療画像機器工学実験	2	1		45	
		診療放射線概論	1	1		15	
		診療画像検査学概論	1	1		15	
		Ｘ線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2	1		30	
		Ｘ線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2	1		30	
		Ｘ線ＣＴ検査学	2	2		30	
		ＭＲＩ検査学	2	2		30	
		ＭＲＩ特論	4		1	30	
		超音波検査学	2	2		30	
		診療画像学実験Ⅰ（X線検査・他）	2	1		45	
		診療画像学実験Ⅱ（CT・MRI・超音波検査・他）	2	1		45	
		核医学Ⅰ（基礎）	2	2		30	
		核医学Ⅱ（臨床）	3	2		30	
		核医学実験	3	2		60	
		核医学特論	4		1	30	
		放射線治療学Ⅰ（物理・技術）	2	2		30	
		放射線治療学Ⅱ（臨床）	3	2		30	
		放射線治療機器工学	2	1		15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	放射線治療学実験	3	2		60	
		放射線腫瘍特論	4		1	30	
		画像解剖学	2	1		30	
		画像診断学	4	1		30	
		画像診断学演習	4		1	30	
		死亡時画像診断学	4		1	30	
		臨床医学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		臨床医学Ⅱ（発展）	4	1		30	
		臨床薬理学	3	1		15	
		放射線救急医学	3	2		30	
		医療安全概論	3	1		30	
		医療安全管理学	4	1		30	
		臨床画像学演習	3	2		60	
		診療画像臨床実習	3	8		360	
		核医学検査臨床実習	3	2		90	
		放射線治療臨床実習	3	2		90	
		診療放射線特論	4	1		30	
		放射線学演習Ⅰ（基礎）	4	1		30	
		放射線学演習Ⅱ（総合）	4	1		30	
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45	
		卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45	

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　医学検査学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4	2		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		聖書英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１（発展）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２（総合）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		組織学演習	2	1		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3	1		30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3	1		30	
		病態薬理学	1	1		15	
		臨床栄養学	1	1		15	
		遺伝学	1	1		15	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
	専門	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習	3	2		60	
		細胞診断学	2	1		30	
		細胞診断学実習	2	1		30	
		血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	2		30	
		血液検査学実習	3	2		60	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	1	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	2	2		60	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		30	
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	2		30	
		微生物検査学実習	3	2		60	
		医動物学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	1		30	
		免疫検査学実習	2	1		30	
		輸血・移植検査学	2	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	2		60	
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	2		30	
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	2		30	
		生理検査学実習	3	3		90	
		超音波・MRI検査学	2	2		30	
		超音波・MRI検査学実習	2	1		45	
		先進臨床検査技術学	3		2	30	
		臨床検査統計学	2	2		30	
		医療安全管理学演習	2	2		60	
		精度管理学	3	1		15	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	4		60	
		臨地実習	3	11		330	
		卒業研究	4	4		120	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床検査研究論	3	2		30	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	4	2		30	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		入門細胞診断学演習	1		1	30	
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3		1	30	
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3		1	30	
		臨床検査質量分析学演習	4		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4		1	30	
		生殖補助医療胚培養学	2		1	15	
		生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	

別表1　授業科目の名称及び単位数
医療福祉学部　医療福祉・マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門	入門ゼミ	1 2	1		30	
		こころとからだのしくみⅠ（身体）	1 2		2	30	
		こころとからだのしくみⅡ（精神）	1 2		2	30	
		医学概論	1		2	30	
		医療概論	1		2	30	
		社会福祉の原理と政策	1 2		4	60	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1		2	30	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1		2	30	
		介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）	1 2		4	60	
		生活支援技術Ⅰ（生活支援）	1 2		2	30	
		人間関係とチームケア	1 2		2	30	
		医療管理総論	1		2	30	
		経営学	1		4	60	
		簿記論Ⅰ（基礎）	1		4	60	
		臨床医学総論	1		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1	30	
		診療情報・マネジメント基礎演習	1		1	30	
		簿記演習Ⅰ（基礎）	1 2		2	60	
		レクリエーション指導法	1 2 3 4		4	60	
		こころとからだのしくみⅢ（生活支援）	2		4	60	
		コミュニケーション技術	2		4	60	
		介護の基本Ⅱ（自立に向けた介護等）	2		4	60	
		介護過程Ⅰ（介護過程の意義・展開）	2		4	60	
		障害の理解	2		4	60	
		生活支援技術Ⅱ（身支度・移動の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅲ（入浴・排泄・食事の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅳ（住環境・家事）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅴ（睡眠・終末期の介護）	2		2	30	
		医療的ケア論Ⅰ	2		1	15	
		介護実習Ⅰ（多様な施設における実習）	2 3		2	90	
		介護総合演習Ⅰ（基礎）	2 3		2	60	
		医療福祉関連法規	2		2	30	
		医療管理各論Ⅰ（病院管理）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	2		2	30	
		保健医療情報学	2		2	30	
		医療統計Ⅰ（統計理論）	2		2	30	
		医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）	2		2	30	
		医療情報統計演習	2 3		1	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30	
		ゼミナールⅠ（基礎）	2		2	60	
		経営学演習	2		2	60	
		診療報酬請求論Ⅰ（初級）	2		2	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育	専門	簿記論Ⅱ（商業簿記）	2 3		2	30	
		簿記論Ⅲ（工業簿記）	2 3		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		2	60	
		認知症の理解	2		4	60	
		発達と老化の理解	2		4	60	
		社会保障	2 3 4		4	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2 3 4		4	60	
		児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	
		子ども家庭援助論	2 3 4		2	30	
		障害者福祉	2 3 4		2	30	
		地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	
		高齢者福祉	2 3 4		2	30	
		精神医学と精神医療	2 3 4		4	60	
		現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60	
		精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60	
		高齢者援助論	2 3 4		2	30	
		障害者援助論	2 3 4		2	30	
		心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	
		カウンセリング論	2 3 4		2	30	
		医学・医療用語	1 2 3 4		2	30	
		薬学概論	2 3 4		2	30	
		医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30	
		医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30	
		会計学	2 3 4		2	30	
		経営戦略論	3 4		2	30	
		人事労務管理論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		2	90	
		介護の基本Ⅲ（ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・連携等）	3		4	60	
		介護過程Ⅱ（介護過程の実践的展開）	3		4	60	
		介護過程Ⅲ（介護過程とﾁｰﾑｱﾌﾟﾛｰﾁ）	3		2	30	
		介護総合演習Ⅱ（応用）	3		2	60	
		生活支援技術Ⅵ（形態別に応じた介護）	3		4	60	
		医療的ケア論Ⅱ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅲ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅳ（演習）	3		1	30	
		介護実習Ⅱ（ケアプラン作成）	3		4	180	
		介護実習Ⅲ（ケアプラン実施）	3		4	180	
		ゼミナールⅡ（応用）	3		2	60	
		診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	3		2	30	
		診療報酬請求演習	3		1	30	
		診療報酬請求論Ⅱ（中級）	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ（上級）	3		2	30	
		病院原価計算概論	3		2	30	
		病院施設管理論	3		2	30	
		病院管理演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		病院管理演習Ⅱ（応用）	3		1	30	
		病院実習	3		4	180	
		簿記演習Ⅱ（応用）	2 3		2	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	
		医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30	
		権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	
		貧困に対する支援	3 4		2	30	
		刑事司法と福祉	3 4		2	30	
		社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	
		福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60	
		精神保健福祉制度論	3 4		2	30	
		精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	
		保健医療と福祉	3 4		2	30	
		マーケティング論	3 4		2	30	
		マネジメント論	3 4		2	30	
		経営分析論	3 4		2	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育	専門	財務管理論	3　4		2	30	
		国際統計分類Ⅰ（国際疾病分類）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ（分類コードの実際）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅰ特別講義（基礎）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ特別講義（応用）	3		2	30	
		診療情報管理演習Ⅰ（基礎）	3　4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅱ（専門）	3　4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅲ（分類法）	3　4		1	30	
		医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60	
		医療ソーシャルワーク実習	4		4	180	
		医療福祉実習指導	4		1	30	
		医療福祉実習	4		2	90	
		介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅰ（人と社会）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅱ（相談援助）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅲ（地域福祉）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅳ（福祉とサービスの知識）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅴ（関連サービスの知識）	4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習A	4		4	180	SW実習ⅠⅡの履修者はA、それ以外はBを選択
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習B	4		5	225	
		精神保健福祉特別講義Ⅰ（基礎）	4		2	30	
		精神保健福祉特別講義Ⅱ（応用）	4		2	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅰ（基礎）	4		1	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅱ（応用）	4		1	30	
		卒業研究	4		4	180	

別表1　授業科目の名称及び単位数
薬学部　薬学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		演劇論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		心理学	1	2		30	
		哲学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2	30	
		人間学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		歴史学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		倫理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		宗教学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		教育学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会系	法学	1	2		30	
		日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4 5 6		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4 5 6		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4 5 6	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		手話入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	自然・情報系	統計学	1		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		数学	1	2		30	
		物理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		化学	1	2		30	
		生物学	1	2		30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4 5 6		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2	30	
		人間工学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4 5 6		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4 5 6		1	15	
		食と人間	1 2 3 4 5 6		1	15	
		人間と性	1 2 3 4 5 6		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4 5 6		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4 5 6		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4 5 6		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4 5 6		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	2	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	2	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

授業科目の名称			配当年次						単位数		時間	備考
									必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学			3					2	30	
		救急医学			3	4				1	15	
		微生物と病気	1	2	3	4	5	6		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		関連職種連携論		2					2		30	
		看護論	1							2	30	
		ケアマネジメント論		2	3	4	5	6		1	15	
		ケースワーク論	1	2	3	4	5	6		1	15	
		医療管理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		社会福祉学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		臨床心理学概論	1						2		30	
		福祉支援工学概論	1	2	3	4				2	30	
		関連職種連携ワーク			3				1		30	
		関連職種連携実習					5			1	45	
		リスクマネジメント論			3	4	5	6		2	30	
		電子カルテシステム入門		2	3	4	5	6		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4	5	6		1	15	
		レクリエーション概論		2	3	4	5	6		1	15	
	専門基礎	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）			3				1		15	
		医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）				4			1		15	
		薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）		2					1		30	
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）			3				1		30	
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）			3				1		30	
		病原微生物学		2					2		30	
		コミュニケーション実習		2					1		45	
		基礎薬学実習	1						1		45	
		公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）		2					2		30	
		公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）			3				1		15	
	専門	薬学概論	1						2		30	
		基礎統計学	1						1		15	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1						2		30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）		2					2		30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）		2					2		30	
		生物有機化学			3				1		15	
		生薬学		2					2		30	
		天然物化学		2					1		15	
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）				4			1		15	
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）						6	1		15	
		医薬品構造解析演習		2					1		30	
		有機化学演習	1							1	30	
		分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1						2		30	
		分析化学Ⅱ（機器分析）		2					2		30	
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）			3				2		30	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1						2		30	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）		2					2		30	
		放射化学		2					2		30	
		生化学Ⅰ（生体分子）	1						2		30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）		2					2		30	
		分子生物学		2					2		30	
		細胞生物学		2					1		15	
		解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1						2		30	
		解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）		2					2		30	
		がん薬物療法学			3				2		30	
		ゲノム医療			3				1		15	
		化学療法学			3				2		30	
		免疫学			3				2		30	
		疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）		2					2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）		2					2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）		2					1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）		2					2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）			3				2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）			3				1		15	
		医薬品安全性学				4			2		30	
		臨床検査医学				4			2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）				4			2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）				4			2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）						6	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15	
		薬物動態学	3	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		医療データサイエンス概論	4	1		15	
		医療データサイエンス演習	6	1		30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1		15	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
		物理系薬学実習	2	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		分子生物学実習	3	1		45	
		免疫微生物学実習	3	1		45	
		薬剤学実習	4	1		45	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		早期体験実習	1	1		45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（実務実習で必要な基本的技能）	4	1		45	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		薬局実務実習	5 6	10		450	
		病院実務実習	5 6	10		450	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30	
		卒業研究	5 6	8		360	
		先進臨床薬学実習	6		1	45	

別表1　授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(保健医療学部･医療福祉学部･薬学部　共通)

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備　考
				必修	選択	自由		
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			30	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2			3	90	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2			3	90	

別表1　授業科目の名称及び単位数
医学部　医学科

授業科目の名称			配当年次	履修区分・単位数			時間	備考
				必修	選択	自由		
総合教育科目	人間系	大学入門講座 - 医療人・社会人として成長するために -	1　2	1			30	
		死生学	1		1		15	
		医学史	1		1		15	
		芸術政策論	1		1		15	
		日本の近現代史	1		1		15	
		医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）	1	2			60	
		医療プロフェッショナリズムⅡ（応用）	2	1			30	
		医療プロフェッショナリズムⅢ（発展）	3	1			30	
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1　2	1			30	
		法と医療	1　2	1			15	
		英字新聞で読む社会学・政治学	1			1	15	
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1			1	15	
		海外保健福祉事情	2			2	90	
	全地球的な課題	国際機関論	1		1		15	
		持続可能な発展	1		1		15	
		異文化コミュニケーション	1		1		15	
		国際関係論	1		1		15	
		経済成長をめぐる世界の諸問題	1		1		15	
		国際医療保健学Ⅰ（入門）	1	1			15	
		国際医療保健学Ⅱ（応用）	2	1			15	
		国際医療保健学Ⅲ（発展）	3	1			30	
	数学・自然科学系	医療必修 - 医療の倫理とプロ意識・医療情報 -	1　2	1			30	
		データリテラシー	1	1			15	
		数学	1			1	15	
		生物学	1			1	15	
		化学	1			1	15	
		物理学	1			1	15	
		医療生物学	1	1			15	
		医療化学	1	1			15	
		医療物理学・医用工学	1	1			15	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	3		1		30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	3		1		30	
	外国語系	英語ⅠA（入門）	1	2			60	
		英語ⅠB（初級）	1	1			30	
		英語Ⅱ（中級）	2	1			30	
		英語Ⅲ（上級）	3	1			30	
		英語コミュニケーションA（入門）	1　2　3			2.5	75	
		英語コミュニケーションB（実践）	1　2　3			2.5	75	
		英語コミュニケーションC（発展）	1　2　3			2.5	75	
		ドイツ語入門(会話含む)	1			1	30	
		中国語入門(会話含む)	1			1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1			1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1			1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ドイツ語応用(会話含む)	1			1	30	
		中国語応用(会話含む)	1			1	30	
		韓国語応用(会話含む)	1			1	30	
		フランス語応用(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語応用(会話含む)	1			1	30	
		タイ語応用(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語応用(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語応用(会話含む)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1			1	30	
		医療福祉専門漢字	1			1	30	
		医療福祉専門語彙	1			1	30	
		日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2　3			1	30	
		日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2　3			1	30	
		日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2　3			1	30	
		日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2　3			1	30	

授業科目の名称			配当年次	履修区分・単位数			時間	備考
				必修	選択	自由		
専門教育科目	専門基礎科目	医学英語Ⅰ（基礎）	1	2			60	
		医学英語Ⅱ（臨床英語の基本）	2	1			30	
		医学英語Ⅲ（臨床英語の応用）	3	1			30	
		医学英語Ⅳ（医学英語の実践：基本）	4	1			30	
		医学英語Ⅴ（医学英語の実践：応用）	5	1			30	
		医学英語Ⅵ（医学英語の総括）	6	1			30	
		骨学・神経解剖学	2	1			30	
		医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	1	1			30	
		医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	2	1			30	
		基礎医学総論Ⅰ（生化学）	1	3			45	
		基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅲ（免疫学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅳ（生理学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅴ（薬理学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅵ（組織学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	1	1			30	
		基礎医学総論Ⅷ（病理学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	1	1			30	
		人体発生学	1	1			15	
		生殖・妊娠・分娩	1	1			15	
		器官別統合講義Ⅰ（循環器系）	1	5			75	
		器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）	2	5			75	
		器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	2	5			75	
		器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）	2	3			45	
		器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	2	6			90	
		器官別統合講義Ⅸ（感覚器系）	3	3			45	
		器官別統合講義Ⅹ（血液系）	3	3			45	
		人体解剖学実習	2	3			135	
		早期体験実習Ⅰ（基礎）	1	0.5			15	
		早期体験実習Ⅱ（応用）	2	0.5			15	
		早期体験実習Ⅲ（発展）	3	0.5			15	
		関連職種連携ワーク	3	1			30	
		関連職種連携実習	5			1	45	
	専門科目	胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）	3	2			30	
		感染症	1	3			45	
		腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）	3	3			45	
		救急と集中治療	3	1			15	
		麻酔	3	1			15	
		予防医学・行動科学	3	1			15	
		老年医学	3	1			15	
		社会医学Ⅰ（医療管理学）	3	1			15	
		社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	3	3			45	
		社会医学Ⅲ（法医学）	3	1.5			23	
		社会医学Ⅳ（臨床疫学・ＥＢＭ）	3	1.5			23	
		総合臨床医学	3 4	11			165	
		臨床診断入門	3 4	9.5			285	
		症候と臨床推論	3 4	8			240	
		総括講義	6		8		120	
		医学研究	6		8		360	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	4	20			900	
		臨床実習Ⅱ（発展）	5	20			900	
		臨床実習Ⅲ（専門）	5	20			900	
		臨床実習Ⅳ（実践）	6	16			720	
		臨床実習Ⅴ（発展）	6		8		360	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田看護学部　看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1	2		30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	保健統計	1		2	30	
		疫学	1		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１（発展）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２（総合）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称				配当年次	単位数		時間	備　考
					必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	1	2		30	
			救急医学	1 2 3 4		1	15	
			感染と免疫	1	2		30	
			リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
			関連職種連携論	2	2		30	
			ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
			ケースワーク論	2 3 4		1	15	
			医療管理学	1 2 3 4		2	30	
			保健医療福祉制度論	1	2		30	
			社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
			臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
			医療情報学概論	2 3 4		2	30	
			福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
			関連職種連携ワーク	3	1		30	
			関連職種連携実習	4		1	45	
			リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
			電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
			エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	4		1	15	
			レクリエーション概論	1 2 3 4		1	15	
			国際保健医療学	1	1		15	
			異文化体験実習	1 2 3 4		1	45	
		学部設置科目	行動科学とモチベーション	1 2		1	15	
			キャリアデザイン	1		1	15	
			からだの構造	1	1		30	
			からだの機能	1	1		30	
			疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	1	2		30	
			疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅳ（小児、感覚器）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	2	2		30	
			人間と栄養	1	1		15	
			薬理学	2	2		30	
			人間発達学	1	1		15	
			先端医療とヘルスケアテクノロジー	4		1	15	
			遺伝と医療	1	1		15	

授業科目の名称				配当年次			単位数		時間	備　考
							必修	選択		
専門教育科目	専門科目	基礎看護学	看護学概論	1			2		30	
			看護理論	1			1		15	
			基礎看護学方法論Ⅰ（看護コミュニケーション）	1			1		15	
			基礎看護学方法論Ⅱ（看護過程）		2		2		30	
			基礎看護学演習Ⅰ（日常生活援助技術）	1			2		60	
			基礎看護学演習Ⅱ（ヘルスアセスメント）	1			1		30	
			基礎看護学演習Ⅲ（医療支援技術）		2		1		30	
			基礎看護学実習Ⅰ（入門）	1			1		45	
			基礎看護学実習Ⅱ（基礎）		2		2		90	
		看護管理学	看護情報リテラシー	1			1		15	
			看護管理学概論			4	1		15	
			看護管理学演習			4		1	30	
			保健事業戦略とマネジメント			4		1	15	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学概論	1			1		15	
			リプロダクティブヘルス看護学方法論		2		2		30	
			リプロダクティブヘルス看護学演習			3	1		30	
			リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（病院・施設実習）		2		1		45	
			リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（産科病棟外来実習）			3	1		45	
		小児看護学	小児看護学概論		2		1		15	
			小児看護学方法論			3	2		30	
			小児看護学演習			3	1		30	
			小児看護学実習			3	2		90	
		成人看護学	成人看護学概論		2		1		15	
			成人看護学方法論Ⅰ			3	2		60	
			成人看護学方法論Ⅱ			3	2		60	
			成人看護学方法論Ⅲ			3	1		30	
			成人看護学実習Ⅰ			3	2		90	
			成人看護学実習Ⅱ			3	2		90	
			成人看護学実習Ⅲ			3	1		45	
		老年看護学	老年看護学概論		2		1		15	
			老年看護学方法論			3	2		30	
			老年看護学演習			3	1		30	
			老年看護学実習			3	2		90	
		精神看護学	精神看護学概論		2		1		15	
			精神看護学方法論			3	2		30	
			精神看護学演習			3	1		30	
			精神看護学実習			3	2		90	
		国際看護学	国際看護学Ⅰ（異文化と看護）		2		1		15	
			国際看護学Ⅱ（活動の実際）		2	3 4		1	15	
			国際看護研修（途上国）			3 4		2	90	
		災害・感染看護学	感染看護論		2		1		15	
			災害関連健康危機管理論			4	1		15	
			国際検疫看護論			4		1	15	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論		2		2		30	
			産業・学校保健		2			2	30	
			公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（公衆衛生看護技術）		2			2	30	
			公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地域アセスメント）			3		2	30	
			公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（発達段階別保健活動）		2			2	30	
			公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（健康課題別保健活動）			3		2	30	
			公衆衛生看護活動対象論Ⅲ(地域包括ケア等)			4		1	15	
			家族看護論		2			1	15	
			公衆衛生看護活動展開論			4		2	30	
			公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）			4		4	180	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）			4		1	45	
		地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論		2		1		15	
			地域・在宅看護学方法論Ⅰ			3	2		30	
			地域・在宅看護学方法論Ⅱ			3	2		30	
			地域・在宅看護学演習			3	1		30	
			地域・在宅看護学実習			3	2		90	
		統合分野	看護総合実習			4	5		225	
			看護倫理学			4	1		15	
			看護研究			4	2		30	
			研究ゼミナール			4	1		30	
			海外看護研修			4		2	90	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部　理学療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1	2		30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳･倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１(発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２(総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	公衆衛生学	1　2		2	30	
		救急医学	2	1		15	
		感染と免疫	1　2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	1		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2　3		1	15	
		ケースワーク論	1　2		1	15	
		医療管理学	1　2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1　2		2	30	
		社会福祉学	1　2		2	30	
		臨床心理学概論	2		2	30	
		医療情報学概論	2　3		2	30	
		福祉支援工学概論	1　2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3　4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2　3		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2　3		1	15	
		レクリエーション概論	3		1	15	
		災害保健学	1　2　3		1	15	
		予防保健学	1　2　3		1	15	
		国際医療保健学	1　2　3　4		1	15	
		異文化体験実習	1　2　3　4		1	45	
	専門基礎科目	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2　3		1	30	
		運動学特論	2	2		60	
		人間発達学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2　3		1	30	
		神経心理学概論	2　3		2	30	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		スポーツ傷害学	2　3		1	15	
		外科学	2　3		1	15	
		栄養学	2　3		1	15	
		国際医療保健学演習	2　3　4		1	15	
		国際医療保健学実習	2　3　4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	理学療法概論	1	2		30	
		機能解剖学	2	1		30	
		病態運動学	3	1		30	
		物理療法Ⅰ(理論)	1	1		30	
		物理療法Ⅱ(実践)	2	1		30	
		PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習(検査・測定)	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習 (専門知識の確認)	3	2		60	
		PTスキルⅣ演習(臨床PBL)	3	2		60	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ(基礎)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)	2	1		30	
		スポーツバイオメカニクス	2		1	15	
		動作分析学	2	1		15	
		運動処方理論	2		1	15	
		運動療法学総論	3	1		30	
		理学療法治療学総論	3	1		30	
		メディカルイングリッシュボキャブラリー	2		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	3		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	3		1	15	
		運動系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		内科系理学療法学Ⅰ (評価)	2	1		30	
		内科系理学療法学Ⅱ (治療)	3	1		30	
		高齢者理学療法学	3		1	15	
		装具学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		地域理学療法学演習(在宅・地域)	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	3		1	30	
		理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	3		1	30	
		先端機能解剖学	3 4		1	15	
		先端運動系理学療法学	3 4		1	15	
		先端神経系理学療法学	3 4		1	15	
		先端内科系理学療法学	3 4		1	15	
		先端スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
		先端予防理学療法学	3 4		1	15	
		テーピング治療学	3		1	15	
		クリニカルリーズニング	3	1		30	
		リハビリテーション栄養学	3		1	15	
		運動心理学	3		1	15	
		理学療法管理学	3	2		30	
		ウィメンズヘルス理学療法学	3		1	15	
		理学療法国際実習	4		1	45	
		障がい者スポーツ概論	3		1	15	
		理学療法特論	4	1		30	
		基礎実習	1	1		45	
		地域リハビリテーション実習 (訪問・通所)	2	1		45	
		検査実習	2	2		90	
		評価実習	3	4		180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法研究のデザイン	3	1		30	
		卒業研究	4	2		60	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部　作業療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳･倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１(発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２(総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	3 4		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
		予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1 2		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病態生理学	2 3		1	15	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2 3		1	15	
		外科学	2 3		1	15	
		脳神経外科学	2 3		1	15	
		神経心理学概論	2 3		1	15	
		対人援助論	1 2		1	15	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	3	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	2 3		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		1	30	
		作業療法管理学Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		作業療法管理学Ⅱ（応用）	4	1		15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能論	2	1		15	
		基礎精神機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2 3		1	15	
		日常生活活動評価法	2 3		1	15	
		高次脳機能評価法	2 3		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		老年作業療法学	3	1		30	
		作業療法諸理論	4		1	15	
		作業療法応用学概論	3	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	1 2		1	30	
		職業関連技術学	3	1		30	
		地域生活作業療法論	3	1		30	
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	2 3		1	15	
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	2 3		1	15	
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15	
		認知症作業療法特論	3 4		1	15	
		先端作業療法特論	1 2		1	15	
		地域生活支援論	3 4		1	15	
		障害代償学概論	3	1		15	
		住環境整備論	3	1		15	
		義肢・装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具･福祉機器適用論	3	1		30	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45	
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45	
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	2		90	
		臨床実習Ⅳ（臨床推論）	3	5		225	
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	7		315	
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270	
		地域リハビリテーション実習	3	1		45	
		地域生活支援システム実習	4	1		45	
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1 2		1	15	
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2 3		1	15	
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3 4		1	15	
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15	
		臨床実習特論	3		1	15	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部　言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3		2	30	
		演劇論	1 2 3		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3		2	30	
		心理学	1 2		2	30	
		哲学	1 2 3		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3		2	30	
		人間学	1 2		2	30	
		歴史学	1 2		2	30	
		倫理学	1 2		2	30	
		宗教学	1 2		2	30	
		日本近現代史	1 2		2	30	
		文化人類学	1 2 3		2	30	
		教育学	1 2		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2		2	30	
	社会系	法学	1 2		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2		2	30	
		医療関連法規	1 2 3		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3		2	30	
		経済の歴史	1 2		2	30	
		世界の経済	1 2 3		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3		2	30	
		マスメディア論	1 2		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3		2	30	
		国際関係論	1 2 3		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2		2	30	
		手話入門	1 2 3		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2		30	
		疫学・保健医療統計学	1 2		2	30	
		数学	1 2 3		2	30	
		物理学	1 2 3		2	30	
		化学	1 2 3		2	30	
		生物学	1 2 3		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2		2	30	
		人間工学	1 2		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2		2	30	
		食と人間	1 2		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3		1	30	
		基礎英文法２(Basic)	1 2		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3		1	30	
		上級英語会話１(発展)	1 2 3		1	30	
		上級英語会話２(総合)	1 2		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1	1		15	
		健康科学実践	1	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	3		2	30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	1 2		1	15	
		災害保健学	1 2 3		1	15	
		予防保健学	1 2 3		1	15	
		国際医療保健学	1 2 3		1	15	
		教職教養	2 3		1	30	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学	1	2		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	1	1		15	
		医学概論	1	1		15	
		内科学	1	1		30	
		精神医学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	2	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	2	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	2	1		15	
		音声言語医学	1	1		30	
		中枢神経機能学	1	1		30	
		聴覚医学	1	1		30	
		小児神経学	1 2		1	15	
		老年学	1 2		1	15	
		遺伝学	1 2		1	15	
		脳神経外科学	1 2		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		15	
		神経心理学	2	1		30	
		認知心理学	1	1		30	
		心理測定法Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		心理測定法Ⅱ（応用）	3	1		15	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	3	1		30	
		言語発達学	1	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		言語聴覚障害診断学	3	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅱ（発展）	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価･診断)	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ(評価･診断)	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		30	
		流暢性障害学	3	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	2	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3	1		30	
		英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1　2		1	15	
		言語聴覚療法英語論文抄読	3　4		1	15	
		特別支援教育	3		1	30	
		日本語教授法	1　2		1	15	
		基礎ゼミナールⅠ	1		1	30	
		基礎ゼミナールⅡ	1		1	30	
		言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）	4	1		30	
		言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		卒業研究	4		4	60	
		コミュニケーション技能実習	1	1		45	
		コミュニケーション障害実習	2	1		45	
		言語聴覚障害基礎実習	3	2		90	
		言語聴覚療法総合実習	4		1	45	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
		臨床実習Ⅱ（応用）	4	4		180	
		臨床実習Ⅲ（総合）	4	6		270	
		災害リハビリテーション学	3　4		1	15	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部　放射線・情報科学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳･倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１（発展）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２（総合）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎（会話含む）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備考
							必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	統計学		2			1		30	
		公衆衛生学		2			2		30	
		救急医学		2				1	15	
		感染と免疫			2	3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2	3	4		2	30	
		関連職種連携論		2			2		30	
		ケアマネジメント論			2	3 4		1	15	
		ケースワーク論	1	2	3	4		1	15	
		医療管理学	1	2	3	4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30	
		社会福祉学	1	2	3	4		2	30	
		臨床心理学概論	1	2	3	4		2	30	
		医療情報学概論			2	3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1	2	3	4		2	30	
		関連職種連携ワーク			3		1		30	
		関連職種連携実習				4		1	45	
		リスクマネジメント論			2	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門			2	3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)			2	3 4		1	15	
		レクリエーション概論			2	3 4		1	15	
		災害保健学			2	3 4		1	15	
		予防保健学			2	3 4		1	15	
		国際医療保健学			2	3 4		1	15	
		異文化体験実習			2	3 4		1	45	
	専門基礎科目	基礎数学	1				1		30	
		自然科学概論	1				2		30	
		基礎物理学	1				1		30	
		基礎化学	1				1		30	
		基礎生物学	1				1		30	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1				1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1				1		30	
		生理学	1				2		30	
		病理学		2			2		30	
		病態生理学		2			1		15	
		医学概論	1				2		30	
		看護概論			3		1		15	
		自然科学実験	1				1		45	
	専門科目	応用数学	1					1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1				1		30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）		2			1		30	
		放射線計測学		2			1		30	
		放射線科学演習		2				1	30	
		放射線計測学実験		2			1		45	
		放射化学		2			1		30	
		放射線生物学		2			1		30	
		画像解剖学		2			2		30	
		医療画像基礎論	1				2		30	
		画像情報学	1				2		30	
		画像情報学実験	1				1		45	
		医用工学	1				1		30	
		医用工学演習		2			1		30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1					1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）		2				1	30	
		医療情報システム論			3		1		15	
		Ｘ線機器工学	1				2		30	
		医療安全管理学				4	1		30	
		診療放射線概論	1				1		15	
		診療画像検査学概論	1				1		15	
		Ｘ線検査学Ⅰ		2			1		30	
		Ｘ線検査学Ⅱ		2			1		30	
		Ｘ線ＣＴ検査学		2			2		30	
		診療画像機器工学		2			1		15	
		ＭＲＩ検査学		2			2		30	
		超音波検査学		2			2		30	
		診療画像学実験Ⅰ		2			2		90	
		診療画像学実験Ⅱ		2			2		90	
		核医学検査技術学		2			2		30	
		核医学			3		2		30	
		核医学検査技術学実験			3		2		60	
		放射線治療機器工学		2			1		15	
		放射線治療技術学		2			2		30	
		放射線腫瘍学			3		2		30	
		放射線治療技術学実験			3		2		60	
		臨床医学概論			3		1		30	
		臨床医学				4	1		30	
		放射線管理学		2			2		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	放射線管理学実験	4	1		45	
		放射線関係法規	3	1		15	
		画像診断学	4	1		30	
		画像診断学演習	4		1	30	
		臨床薬理学	4	1		15	
		放射線救急医学	3	2		30	
		医療安全学概論	3	1		30	
		臨床画像学演習	3	2		60	
		診療画像検査学臨床実習	3	8		360	
		核医学検査技術学臨床実習	3	2		90	
		放射線治療技術学臨床実習	3	2		90	
		診療放射線特論	4	1		30	
		放射線学演習Ⅰ（基礎）	4	2		60	
		放射線学演習Ⅱ(総合)	4	2		60	
		放射線腫瘍学特論	4		1	30	
		核医学特論	4		1	30	
		ＭＲＩ検査学特論	4		1	30	
		画像情報学特論	4		1	30	
		死亡時画像診断学	4		1	15	
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45	
		卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部　医学検査学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳･倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4	2		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１(発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２(総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	公衆衛生学	2	1		30	
		救急医学	2　3		1	15	
		感染と免疫	1　2		2	30	
		リハビリテーション概論	1　2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	1　2		1	15	
		ケースワーク論	1　2		1	15	
		医療管理学	1　2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1　2		2	30	
		臨床心理学概論	1　2		2	30	
		医療情報学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1　2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
		災害保健学	1　2		1	15	
		予防保健学	1　2		1	15	
		国際医療保健学	1		1	15	
		異文化体験実習	1　2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学	1	2		30	
		肉眼解剖学実習	1	1		45	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	1	1		30	
		臨床神経学	1　2　3		1	30	
		精神医学	1　2　3		1	30	
		リハビリテーション医学	1　2　3		1	30	
		小児科学	1　2　3		1	30	
		老年学	1　2　3		1	30	
		薬理学	1	1		15	
		栄養学	1　2　3		1	15	
		遺伝学	1	1		15	
		微生物学	1	2		30	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
		保健機能食品学	2　3		1	30	
		食の安全管理学	2　3		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	病理検査学演習	2	1		30	
		病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		細胞診断検査学	3	2		30	
		細胞診断検査学実習	3	1		45	
		血液検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		45	
		医科分子生物学	1　2　3		1	15	
		微生物検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		微生物検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		医動物検査学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	2		30	
		免疫検査学実習	2	1		45	
		移植検査学	2	1		15	
		輸血・移植検査学	3	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	1		45	
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		超音波検査学	3	2		30	
		超音波検査学実習	3	1		45	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		精度保証学	3	1		15	
		臨床検査診断学	3	1		15	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		先進臨床検査技術学	3		1	15	
		臨床検査統計学	3	1		30	
		医療安全管理学	2	2		30	
		臨床検査研究論	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	4	1		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		臨地実習	4	11		330	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		卒業研究	4	4		120	

別表1　授業科目の名称及び単位数
成田薬学部　薬学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		演劇論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		心理学	1	2		30	
		哲学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2	30	
		人間学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		歴史学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		倫理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		宗教学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		教育学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会系	法学	1	2		30	
		法と道徳･倫理	1 2 3 4 5 6		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4 5 6		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4 5 6		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4 5 6		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4 5 6		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4 5 6		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		手話入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4 5 6		2	30	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		数学	1	2		30	
		物理学	1		2	30	
		化学	1	2		30	
		生物学	1	2		30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4 5 6		2	30	
		人間工学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
		食と人間	1 2 3 4 5 6		1	15	
	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	2	1		30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	2	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4 5 6		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法１(Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法２(Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話１(発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話２(総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育科目	外国語系	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-B（記述）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-C（読解）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-D（会話）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-B（記述）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-C（読解）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-D（会話）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-B（記述）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-C（読解）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-D（会話）	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	救急医学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		感染と免疫	1 2 3 4 5 6		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		臨床心理学概論	1	2		30	
		医療情報学概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	5		1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4 5 6		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1 2 3 4 5 6		1	15	
		レクリエーション概論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1		15	
		医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4	1		15	
		災害保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		予防保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		国際医療保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		異文化体験実習	1 2 3 4 5 6		1	45	
	専門基礎科目	公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2	2		30	
		公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3	1		15	
		薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1		30	
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1		30	
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3	1		30	
		病原微生物学	2	2		30	
		コミュニケーション実習	2	1		45	
		基礎薬学実習	1	1		45	
	専門科目	薬学概論	1	2		30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1		15	
		医療データサイエンス概論	4	1		15	
		医療データサイエンス演習	6	1		30	
		早期体験実習	1	1		45	
		分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2		30	
		分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2		30	
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2		30	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2		30	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2		30	
		放射化学	2	2		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
		物理系薬学実習	2	1		45	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
		生薬学	2	2		30	
		天然物化学	2	1		15	
		生物有機化学	3	1		15	
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1		15	
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1		15	
		医薬品構造解析演習	2	1		30	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
		有機化学演習	1		1	30	
		免疫学	3	2		30	
		生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
		分子生物学	2	2		30	
		細胞生物学	2	1		15	
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1	2		30	
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2	2		30	
		分子生物学実習	3	1		45	
		免疫微生物学実習	3	1		45	
		基礎統計学	1	1		15	
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		臨床検査医学	4	2		30	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		薬物動態学	4	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		薬剤学実習	3	1		45	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4	1		15	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4	1		45	
		薬局実務実習	5　6	10		450	
		病院実務実習	5　6	10		450	
		卒業研究	5　6	8		360	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30	

別表1　授業科目の名称及び単位数
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部　心理学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴	1	2		30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1	2		30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1		2	30	
		医療必修―医療の倫理とプロ意識・医療情報―	1	1		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座―医療人・社会人として成長するために―	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語講読Ⅰ（Primary）	1	1		30	
		英語講読Ⅱ（Basic）	1	1		30	
		英語CALLⅠ（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅡ（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ（Primary）	1	1		30	
		英語会話Ⅱ（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ（応用）	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	心理学史	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		知覚・認知心理学	1	2		30	
		学習・言語心理学	1	2		30	
		感情・人格心理学	3	2		30	
		神経・生理心理学	3	2		30	
		人体の構造と機能及び疾病	1	2		30	
		精神疾患とその治療	3	2		30	
		心身医学	3		2	30	
		社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）	3	2		30	
		心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義・データリテラシー)	1	2		30	
		心理学統計法Ⅱ（単変量解析演習）	1	1		30	
		心理学実験Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		心理学実験Ⅱ（応用）	2	1		45	
		発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）	2	2		30	
		発達心理学Ⅱ（成人期から高齢期）	2	2		30	
		心理学研究法Ⅰ（量的研究法）	1	2		30	
		心理学研究法Ⅱ（質的研究法）	2	2		30	
		障害者・障害児心理学	2	2		30	
		教育・学校心理学	2	2		30	
		心理学入門演習	1	2		60	
		心理学初級演習	2	2		60	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	公認心理師の職責	3	2		30	
		心理学的支援法	3	2		30	
		心理学中級演習	3	2		60	
		心理学上級演習	4	2		60	
		心理的アセスメントⅠ（講義）	2	2		30	
		心理的アセスメントⅡ（演習）	3	2		60	
		心理演習Ⅰ（人間理解）	3	1		30	
		心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	3	1		30	
		心理演習Ⅲ（事例検討）	4		1	30	
		社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	3	2		30	
		家族援助技法講義	3		2	30	
		家族援助技法演習	4		1	30	
		福祉心理学	4	2		30	
		健康・医療心理学	2	2		30	
		精神保健学	3	2		30	
		産業・組織心理学	4	2		30	
		司法・犯罪心理学	3	2		30	
		心理実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		心理実習Ⅱ（福祉領域）	3		1	45	
		心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	3	1		45	
		心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	3		1	45	
		心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	3		1	45	
		関係行政論	3	2		30	
		メンタルヘルスチェック制度演習	3		1	30	
		メンタルヘルス支援演習	4		1	30	

別表1　授業科目の名称及び単位数
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部　医療マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療必修―医療の倫理とプロ意識・医療情報―	1	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座―医療人・社会人として成長するために―	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2		30	
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅠ (Primary)	1	1		30	
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	医療概論	1	2		30	
		経営学	1	2		30	
		会計学	1	2		30	
		医療管理総論	1	2		30	
		保健医療情報学	2	2		30	
		医療福祉関連法規	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅰ(外部・内部環境分析)	2	2		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	人体構造・機能論	1	2		30	
		臨床医学総論	1	2		30	
		医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー)	1	2		30	
		医療統計Ⅱ (病院統計・疾病統計)	2	2		30	
		経営学演習	1		1	30	
		簿記論Ⅰ(初級)	1	2		30	
		簿記論Ⅱ(応用)	2		2	30	
		簿記演習	2		1	30	
		医療財務会計論	2		2	30	
		医学・医療用語	1		2	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2		2	30	
		データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)	1	2		30	
		データ処理Ⅱ(中級)	3		2	30	
		データ処理Ⅲ(上級)	3		2	30	
		ゼミナールⅠ(入門)	1	2		60	
		ゼミナールⅡ(基礎)	2	2		60	
		ゼミナールⅢ(応用)	3	2		60	
		ゼミナールⅣ(発展)	4	2		60	
		診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2	2		30	
		診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3		2	30	
		医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2	2		30	
		地域包括ケア論	2		2	30	
		医療マネジメント論Ⅱ(業務・物流の改善)	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3	2		30	
		医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3	2		30	
		人的資源管理論	2		2	30	
		診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2		2	30	
		診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	1		2	30	
		診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅰ(基礎)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅱ(応用)	3		2	30	
		国際統計分類特別講義	3		2	30	
		薬学概論	2		2	30	
		医療福祉施設実習	3	4		180	
		病院施設管理論	3	2		30	
		病院管理演習Ⅰ (基礎)	3	1		30	
		病院管理演習Ⅱ (応用)	3	1		30	
		経営戦略論	3		2	30	
		経営組織論	3		2	30	
		医療管理会計論	3		2	30	
		経営分析論	3		2	30	
		マーケティング論	3	2		30	
		病院原価計算論	3		2	30	
		社会福祉運営管理論	3		2	30	
		地域医療計画論	3		2	30	
		医療福祉マーケティング論	3	2		30	
		診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅱ(基礎科目B)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅲ(専門科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅳ(専門科目B)	3		1	45	
		介護システム論	3		2	30	
		ケア・マネジメント論	3		2	30	
		保健医療制度論	3		2	30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4		2	30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4		2	30	

別表1　授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部　看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	養護教諭一種に必要
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	養護教諭一種、ニ種に必要
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		データサイエンスとAIの基礎	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修―医療の倫理とプロ意識・医療情報―	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座―医療人・社会人として成長するために―	1	1		30	
		総合講義	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1	1		30	
		英語A-2（講読応用）	1	1		30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1		30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1		30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4		1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4		1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4		1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4		1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
	体保育健系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	養護教諭一種、ニ種に必要
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	養護教諭一種、ニ種に必要

		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備　　考
専門教育	専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4		1	15	養護教諭一種に必要
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		ケアマネジメント論	2		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1	1		30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		生体情報処理概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	教職入門	1		2	30	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		教育課程論	1 2		2	30	
		道徳教育の理論と実践	2 3		1	15	
		特別活動及び総合的な学習の時間の基礎	2 3		1	15	
		教育方法論	2 3		2	30	
		発達心理学	1 2		1	15	
		特別支援教育概論	1 2		1	15	
		教育相談の基礎と方法	2 3		1	15	
		生徒指導論	2 3		1	15	
		教職実践演習（養護教諭）	4		2	30	
		養護概説	2 3		2	30	
		疫学	2	2		30	
		保健統計学Ⅰ（基礎）	2	1		15	
		保健統計学Ⅱ（発展）	3		1	15	保健師履修者以外は選択不可
		解剖学Ⅰ（運動器系・内臓学・循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学・神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能、内分泌）	1	1		30	
		解剖学・生理学演習	2	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
		薬理学	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	
		看護英語Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		看護英語Ⅱ（発展）	3		1	30	
	専門	看護学原論	1	1		30	
		看護コミュニケーション論	1	1		15	
		看護援助論Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		30	
		看護援助論Ⅱ（生活援助）	1	2		60	
		看護援助論Ⅲ（診療援助）	2	2		60	
		看護過程展開論	1	1		30	
		看護過程演習	2	1		30	
		フィールド体験実習	1	1		45	
		フィジカルアセスメントⅠ（基礎）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（発展）	2	1		15	
		基礎看護学実習Ⅰ（基礎）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（発展）	2	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	3	2		60	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	3	2		60	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習	3	2		90	
		成人看護学概論	2	1		15	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期､周手術期看護）	2	2		60	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	3	2		60	
		成人看護学方法論Ⅲ（がん看護､終末期看護）	3	1		30	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	3	2		60	
		老年看護学演習	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備　　考
				必修	選択		
専門教育	専門	成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者の理解）	3	1		45	
		成人・老年看護学実習Ⅳ（健康障害のある高齢者の看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅴ（認知症を有する高齢者の看護）	4	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		60	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	2	1		15	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（地域生活の理解）	2	2		60	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（地域療養の支援）	3	2		60	
		地域・在宅看護学演習	4	1		30	
		地域・在宅看護学実習	4	2		90	
		国際看護論	4		1	15	
		災害看護論	3	1		15	
		家族看護論	2		1	15	
		バリアティブケア	3 4		1	15	
		統合看護演習	4		1	30	
		統合技術演習	4		1	30	
		看護研究法概説	3	1		15	
		看護研究	4	2		60	
		看護倫理学	2 3 4		1	15	
		看護管理論	3	1		15	
		看護マネジメント実習	4	1		45	
		統合看護実習	4	2		90	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	3		2	90	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	4		2	90	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	4		1	45	保健師履修者以外は選択不可
		健康危機管理論	4		1	15	
		保健医療福祉行政論	4		2	30	
		公衆衛生看護学概論	1	2		30	
		健康教育・保健指導論	2	1		30	
		公衆衛生看護学対象別活動論	3		2	30	保健師履修者以外は選択不可
		コミュニティアセスメント論	3		1	30	養護教諭一種に必要
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ（発展）	4		1	30	
		産業における看護活動	4		1	15	保健師履修者以外は選択不可
		学校における看護活動	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論	4		1	15	
		養護実習	4		5	150	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		学校看護学実習	3 4		1	45	

別表1　授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部　理学療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		データサイエンスとAIの基礎	1 2 3		1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修―医療の倫理とプロ意識・医療情報―	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座―医療人・社会人として成長するために―	1	1		30	
		総合講義	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1	1		30	
		英語A-2（講読応用）	1	1		30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1		30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1		30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4		1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4		1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4		1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4		1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	1	1		15	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		生体情報処理概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学	2		2	30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	2		30	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		運動学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		人間発達学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2 3 4		1	30	
		神経心理学概論	2 3 4		2	30	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
		外科学	2 3 4		1	15	
		脳神経外科学	2 3 4		1	30	
		栄養学	2 3 4		1	15	
	専門	パルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1	2		30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）	3	1		30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3	2		60	
		病態運動学	3	2		30	
		運動解剖学	2	2		30	
		理学療法用語論	1 2 3 4		1	15	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	1		15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	
		臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2	1		15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	運動療法学総論	2	1		30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		呼吸管理	2 3		1	15	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		装具学	3	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		呼吸器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	
		老人理学療法学	2 3 4		1	15	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		精神科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促通治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		基礎実習	1	1		45	
		検査実習	2	2		90	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		評価実習	3	4		180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2		30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法	4		1	15	
		理学療法管理学	2	2		30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究	4		4	180	

別表1　授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部　作業療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1	2		30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4		2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		データサイエンスとAIの基礎	1 2 3		1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修―医療の倫理とプロ意識・医療情報―	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座―医療人・社会人として成長するために―	1	1		30	
		総合講義	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1	1		30	
		英語A-2（講読応用）	1	1		30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1		30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1		30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4		1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4		1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4		1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4		1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
	健康体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		ケアマネジメント論	2		1	15	
		ケースワーク論	1		1	15	
		医療管理学	1		2	30	
		保健医療福祉制度論	1		2	30	
		社会福祉学	1		2	30	
		臨床心理学概論	1	2		30	
		医療情報学概論	2		2	30	
		生体情報処理概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1		2	30	
		リスクマネジメント論	3		2	30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学	2		2	30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	1	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		人間発達学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2		1	15	
		外科学	2		1	15	
		脳神経外科学	2		1	30	
		神経心理学概論	2		1	30	
		レクリエーション概論	3		1	15	
		対人援助論	2		1	15	
	専門	専門英語	3	1		30	
		作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	3	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	3		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		1	30	
		作業療法倫理・管理	4	2		30	
		作業療法評価学概論	2	1		30	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2		1	15	
		日常生活活動評価法	2		1	15	
		認知機能評価法	3		1	15	
		作業療法諸理論	4		1	15	
		作業療法適用学概論	3	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		作業療法適用学特論	4		1	15	
		作業療法応用学概論	3		1	15	
		就学・就労支援論	3		1	15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	2	1		30	
		職業関連技術学	3	1		30	
		作業療法の諸外国事情	3		1	15	
		地域生活作業療法論	3	1		30	
		地域ケアシステム論	3		1	15	
		障害代償学概論	3	1		30	
		義肢適用論	3		1	15	
		装具・副子適用論	3		1	30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		30	
		バリアフリー論	3		1	15	
		臨床実習特論	3	1		15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		基礎実習	1	1		45	
		検査実習	2	2		90	
		評価実習	3	5		225	
		総合実習Ⅰ（基礎的介入）	4	7		315	
		総合実習Ⅱ（応用的介入）	4	7		315	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	3		1	15	
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	3		1	15	

別表1　授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(小田原保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	日本語Ⅰ－A(作文)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ－B(文法・語彙)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ－A(作文)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ－B(文法・語彙)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ－C(発表討論)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ－D(専門日本語)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ－A(作文)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ－B(文法・語彙)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ－C(発表討論)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ－D(専門日本語)	1 2 3 4		1	30	

別表1　授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部　看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学－死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴～話す力と訊く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
	社会科学系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1		15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1		45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1	2		30	
	自然・情報系	物理学	1 2 3 4		2	30	
		情報処理Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		情報処理Ⅱ（応用）	1 2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		郷土論-大川学	1 2 3 4		1	15	
	外国語系	英語講読1（Primary）	1	1		30	
		英語講読2（Basic）	1	1		30	
		英語CALL1（Primary）	1	1		30	
		英語CALL2（Basic）	1	1		30	
		英会話	1 2 3 4		1	30	
		実用英会話	2 3 4		1	30	
		中国語	1 2 3 4		2	60	
		実用中国語会話	2 3 4		1	30	
		韓国語	1 2 3 4		2	60	
		実用韓国語会話	2 3 4		1	30	
		資格英語１(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２(Basic)	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1	2		30	
		生化学	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		保健医療福祉行政論	2		1	15	
		保健統計学	2	2		30	
		疫学	3		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		国際医療保健学	1 2 3 4		1	15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		からだの構造	1	2		30	
		からだの機能	1	2		30	
		臨床薬理学	2	2		30	
		栄養と健康	2	1		15	
		遺伝と医療	1	1		15	
		放射線科学概論	1 2 3 4		1	15	
		疾病の成り立ち（病理学）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護コミュニケーション	1	1		15	
		看護技術論Ⅰ（共通基本技術）	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）	1	2		60	
		看護技術論Ⅲ（医療支援技術）	2	1		30	
		看護過程展開論	2	1		30	
		フィジカルアセスメントⅠ（概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覚器系）	2	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ（生活支援）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	2	2		90	
		地域・在宅看護論Ⅰ（地域での暮らしと健康）	1	1		15	
		地域・在宅看護論Ⅱ（地域での療養支援）	2	2		30	
		地域・在宅看護方法論	3	2		30	
		地域・在宅看護論演習	3	1		30	
		地域・在宅看護論実習Ⅰ（対象理解）	1	1		45	
		地域・在宅看護論実習Ⅱ（地域療養支援）	3	2		90	
		地域・在宅看護論実習Ⅲ（継続看護）	4	1		45	
		成人看護学概論	2	2		30	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期・回復期）	3	2		45	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	2	2		45	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	2	2		30	
		老年看護学演習	3	1		30	
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者施設）	3	1		45	
		小児看護学概論	1	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習Ⅰ（保育所）	1	1		45	
		小児看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（地域育児支援）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	3	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		感染看護論	2	1		15	
		国際看護論	4		1	15	
		看護管理論	4		1	15	
		看護倫理学	2	1		15	
		看護教育学	4		1	15	
		家族看護論	2	1		15	
		災害看護論	4	2		30	
		看護学特論	4	1		15	
		看護研究Ⅰ（研究方法）	3	2		30	
		看護研究Ⅱ（卒業論文）	4	2		60	
		看護統合実習	4	3		135	
		公衆衛生看護学概論	2	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（母子・成人・高齢者保健）	3		2	30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（難病・精神・障害等保健活動）	3		2	30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（家庭訪問・健康診査等）	4		1	30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地区踏査・地域診断）	4		1	30	
		公衆衛生看護活動展開論	4		2	30	
		産業保健	2		1	15	
		学校保健	2		1	15	
		健康教育・保健指導論	2		2	30	
		公衆衛生看護管理論	4		1	15	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	4		4	180	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	4		1	45	

別表1　授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部　理学療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1	2		30	
		教育方法論	3 4		2	30	
	社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1		15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1		45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
	自然・情報系	統計学	2	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		郷土論－大川学	1 2 3 4		1	15	
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1	1		30	
		医学英語Ⅱ（応用）	1	1		30	
		英会話	1	1		30	
		中国語　※1	1 2 3 4		2	60	※1から2単位以上選択必修
		韓国語　※1	1 2 3 4		2	60	
		実用英会話　※2	2		1	30	※2から1単位以上選択必修
		実用中国語会話　※2	2		1	30	
		実用韓国語会話　※2	2		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	1	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	1	1		15	
		栄養学	1 2 3 4		1	15	
		人間発達学	1	1		30	
		カウンセリング論	1 2 3 4		1	15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	2		30	
		運動学演習Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		運動学演習Ⅱ（応用）	2	1		30	
	専門	理学療法概論	1	2		30	
		PTスキルⅠ演習	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習	3	2		60	
		PTスキルⅣ演習	4	1		30	
		病態運動学	3	2		30	
		運動解剖学	1	2		30	
		理学療法用語論	1	1		15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	バイオメカニクス	1	1		15	
		理学療法評価学	1	1		30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	2		60	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		運動療法学総論	2	1		30	
		生活技術学	2	1		30	
		生活環境学	2	1		30	
		義肢学	2	1		30	
		装具学	2	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	2	1		30	
		呼吸器系理学療法学	3	2		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	2		30	
		老人理学療法学	2	1		15	
		スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
		障害者スポーツⅠ(入門)	1 2 3 4		1	15	
		障害者スポーツⅡ(応用)	3 4		1	45	
		癌のリハビリテーション	2 3 4		1	15	
		福祉住環境論	2 3		1	15	
		理学療法技術学	3 4		1	30	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	1		30	
		理学療法特論Ⅱ（総合）	4	2		30	
		理学療法管理学	3	2		30	
		卒業研究	4		4	120	
		基礎実習	1	1		45	
		検査実習	2 3	1		45	
		評価実習	3	1		45	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		臨床実習Ⅰ(入門)	3 4	8		360	
		臨床実習Ⅱ(応用)	4	8		360	

別表1　授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部　作業療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	3 4		2	30	
	社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1		15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1		45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
	自然・情報系	統計学	2	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		郷土論－大川学	1 2 3 4		1	15	
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1	1		30	
		医学英語Ⅱ（応用）	1	1		30	
		英会話	1	1		30	
		中国語　※1	1 2 3 4		2	60	※1から2単位以上選択必修
		韓国語　※1	1 2 3 4		2	60	
		実用英会話　※2	2		1	30	※2から1単位以上選択必修
		実用中国語会話　※2	2		1	30	
		実用韓国語会話　※2	2		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		病理学	1	1		30	
		臨床医学概論	1 2 3 4		1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2 3		1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		リハビリテーション医学	1	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	1	1		15	
		栄養学	1 2 3 4		1	15	
		人間発達学	1	1		30	
		カウンセリング論	1 2 3 4		1	15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	2	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
	専門科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学	1	1		45	
		作業分析学	2	1		45	
		作業応用論	2 3 4		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		4	120	
		作業療法管理学	4	1		15	
		作業療法教育学	3	1		15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2	1		15	
		高次脳機能評価法	2	1		15	
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		作業療法応用学概論	4	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	3	1		30	
		職業関連技術学	3 4		1	15	
		地域生活作業療法論	3	1		15	
		地域ケアシステム論	3	1		15	
		地域生活支援論	3	1		15	
		地域生活支援演習	3	1		30	
		障害代償学概論	2	1		15	
		義肢適用論	3	1		15	
		装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		15	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		基礎実習	1	1		45	臨床実習
		検査実習	2	1		45	臨床実習
		地域作業療法実習	3	1		45	臨床実習
		評価実習	3	3		135	臨床実習
		総合実習	4	18		810	臨床実習

別表1　授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部　医学検査学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1		15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1		45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
	自然・情報系	統計学	2	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		基礎生物学	1		2	30	
		基礎化学	1		1	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		郷土論－大川学	1 2 3 4		1	15	
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1	1		30	
		医学英語Ⅱ（応用）	1	1		30	
		英会話	1	1		30	
		中国語　※3	1 2 3 4		2	60	※3から2単位以上選択必修
		韓国語　※3	1 2 3 4		2	60	
		実用英会話　※4	2		1	30	※4から1単位以上選択必修
		実用中国語会話　※4	2		1	30	
		実用韓国語会話　※4	2		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論　※5	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践　※5	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育科目	専門基礎科目	保健医療福祉制度論	1	2		30	
		公衆衛生学	2	1		30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		救急医学	1 2 3 4		1	15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		解剖学Ⅰ（総論）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	1		30	
		解剖組織学実習	1	1		45	
		食品栄養学	4	2		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	1		30	
		臨床医学概論	1	1		30	
		内科学	2	2		30	
		臨床神経学	2		1	30	
		薬理学	1 2 3 4		1	15	
		遺伝学	1	1		30	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	1		30	
		医用工学・情報実習	2	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	3	2		30	
		保健機能食品学	4		1	30	
		食の安全管理学	3		1	30	
	専門科目	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		細胞診断検査学	2	2		30	
		細胞検査学実習	2	1		45	
		血液検査学Ⅰ（基礎）	1	2		30	
		血液検査学Ⅱ（臨床）	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	2	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	2	1		45	
		一般検査学Ⅰ（分析）	1	2		30	
		一般検査学Ⅱ（形態）	2	2		30	
		一般検査学実習Ⅰ（分析）	2	1		45	
		一般検査学実習Ⅱ（形態）	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	2	2		30	
		遺伝子検査学実習	3	1		45	
		分子病態検査学演習	3		1	30	
		微生物検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		微生物学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		微生物学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		医動物検査学演習	3	1		30	
		免疫検査学	2	2		30	
		輸血検査学	2	2		30	
		免疫検査学実習	2	1		45	
		輸血検査学実習	3	1		45	
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		超音波画像検査学	3	2		30	
		超音波検査学実習	3	1		45	
		検査学入門	1	1		30	
		精度管理学	3	2		30	
		検査管理運営学	4	2		30	
		臨床検査統計学	3	2		30	
		臨床検査医学総論	3	2		30	
		医療安全管理学	4	1		15	
		医学検査特論Ⅰ（応用）	4	2		60	
		医学検査特論Ⅱ（発展）	4		1	30	
		臨地実習	3	12		360	
		総合病態学演習	3	2		60	
		卒業研究	4	4		120	
		移植検査学	3	1		15	
		シミュレーション医学検査演習	2	1		30	
		先端臨床検査学	4		1	15	

別表1　授業科目の名称及び単位数
福岡薬学部薬学科

授業科目の名称				配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	備考
総合教育科目	人間系		文学論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			演劇論	1 2 3 4 5 6		1		15	
			心理学	1	2			30	
			哲学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			コミュニケーション概論	1	2			30	
			雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2		30	
			人間学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			倫理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			宗教学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2		30	
			文化人類学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			教育学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2		30	
	社会系		法学	1	2			30	
			日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2		30	
			社会学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			国際関係論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2	1			15	
			海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2	1			45	
			我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1			30	
			ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2		30	
	自然・情報系		数学	1	2			30	
			物理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
			化学	1	2			30	
			生物学	1	2			30	
			データリテラシー	1	1			30	
			医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1		30	
			医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1		30	
			医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1			30	
			医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2		30	
	総合系		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1			30	
			郷土論～大川学～	1 2 3 4 5 6		1		15	
			医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1		15	
			メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2		30	
	外国語系		英語講読1（Primary）	1	1			30	
			英語講読2（Basic）	2	1			30	
			英語CALL1（Primary）	1	1			30	
			英語CALL2（Basic）	2	1			30	
			英会話	1 2 3 4 5 6		1		30	
			実用英会話	2 3 4 5 6		1		30	
			医学英語Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			医学英語Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			資格英語1（Primary）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			資格英語2（Basic）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			中国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
			実用中国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
			韓国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
			実用韓国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
	外国語系	留学生用日本語科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			作文・読解Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
			作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			文法・語彙Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
			文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			発表・討論Ⅰ（応用）	1		1		30	留学生は必修
			発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
			医療福祉専門漢字	1		1		30	留学生は必修
			医療福祉専門語彙	1		1		30	留学生は必修
			日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
			日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
	保健体育系		健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1		15	
			健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1		30	

			授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備　　考
					必修	選択	自由		
		学部共通	救急医学(救命救急を含む)	2 3		1		15	
			リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2		30	
			関連職種連携論	2	2			30	
			ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1		15	
			保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2		30	
			臨床心理学概論	1	2			30	
			関連職種連携ワーク	3	1			30	
			関連職種連携実習	5		1		45	
			リスクマネジメント論	3 4 5 6		2		30	メディア授業
		薬学科	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1			15	
			医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4	1			15	
			薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1			30	
			薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1			30	
			薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3	1			30	
			薬学計算	2		1		30	
			病原微生物学	2	2			30	
			コミュニケーション実習	2	1			45	
			基礎薬学実習	1	1			45	
			公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2	2			30	
			公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3	1			15	
		専門科目	薬学概論	1	2			30	
			基礎統計学	1	1			15	
			有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2			30	
			有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2			30	
			有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2			30	
			生物有機化学	3	1			15	
			生薬学	2	2			30	
			天然物化学	2	1			15	
			医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構））	4	1			15	
			医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1			15	
			医薬品構造解析演習	2	1			30	
			有機化学演習	1		1		30	
			分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2			30	
			分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2			30	
			分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2			30	
			薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2			30	
			薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2			30	
			放射化学	2	2			30	
			生化学Ⅰ（生体分子）	1	2			30	
			生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2			30	
			分子生物学	2	2			30	
			細胞生物学	2	1			15	
			解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1	2			30	
			解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）	2	2			30	
			がん薬物療法学	3	2			30	
			ゲノム医療	3	1			15	
			化学療法学	3	2			30	
			免疫学	3	2			30	
			疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、循環器系疾患等）	2	2			30	
			疾病と病態生理学Ⅱ（代謝系疾患、消化器系疾患等）	2	2			30	
			薬理学Ⅰ（総論）	2	1			15	
			薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2			30	
			薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理等）	3	2			30	
			薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1			15	
			医薬品安全性学	4	2			30	
			臨床検査医学	4	2			30	
			薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2			30	
			薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2			30	
			薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1			30	
			物理薬剤学	3	1			15	
			製剤設計とDDS	3	2			30	
			臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2			30	
			臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2			30	
			臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2			30	
			臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1			15	
			薬物動態学	3	2			30	
			臨床薬物動態学	4	2			30	
			医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2			30	
			医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1			15	
			衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2			30	

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備考
				必修	選択	自由		
専門教育科目	専門科目	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2			30	
		環境衛生学	3	2			30	
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1			15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1			15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2			30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1		15	
		OTC医薬品概論	3	2			30	
		医療データサイエンス概論	4	1			15	
		医療データサイエンス演習	6	1			30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1			15	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1			45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1			45	
		物理系薬学実習	2	1			45	
		生物系薬学実習	3	1			45	
		分子生物学実習	3	1			45	
		免疫・微生物学実習	3	1			45	
		薬剤学実習	4	1			45	
		フィジカルアセスメント実習	4	1			45	
		衛生系薬学実習	3	1			45	
		早期体験実習	1	1			45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1			45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1			45	
		医療系薬学実習Ⅲ（実務実習で必要な基本的技能）	4	1			45	
		実務実習事前演習	4	2			60	
		薬局実務実習	5 6	10			450	
		病院実務実習	5 6	10			450	
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）	6	1			30	
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6	1			30	
		卒業研究	5 6	8			360	

別表1　授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(福岡保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備　考
				必修	選択	自由		
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）	1　2　3　4		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1　2　3　4	1			30	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1　2　3　4		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1　2　3　4		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1　2　3　4	1			30	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1　2　3　4		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1　2　3　4	1			30	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1　2　3　4		1		30	
		医療福祉専門漢字	1　2　3　4	1			30	
		医療福祉専門語彙	1　2　3　4	1			30	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1　2　3　4			3	90	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1　2　3　4			3	90	

別表2 卒業に必要な単位数

区分		保健医療学部																医療福祉学部										薬学部		
		看護学科			理学療法学科			作業療法学科			言語聴覚学科			視機能療法学科			放射線・情報科学科			医学検査学科			医療福祉・マネジメント学科									薬学科		
																							社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース				
		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	4以上	—	4以上	4以上	—	4以上	6以上	—	6以上	4以上	2	—	3以上	—	2以上	5以上	—	—	—	—	14以上	—	14以上	4	4以上	1以上	—	16以上	—	16以上	4	3以上	9以上
	社会系	1	—		1	2以上		1	2以上		1	5以上		1	—		1	2以上		1	—		3		3		3	2以上		1		1	3		
	自然・情報系	8	—		2	2以上		2	—		4	1以上		12	—		4	—		4	—		2		2		2	3以上		2		2	8		
	総合系	1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1		1		1	—		1		1	1		
	外国語系	4	2以上		4	2以上		4	2以上		4	2以上		4	4以上		4	4以上		4	2以上		4		4		4	—		4		4	4		
	保健体育系	—	—		—	—		—	—		2	—	—	—	—		—	—		—	—		—		—		—	—		—		—	—		
専門教育	専門基礎	23	4以上		34	12以上		33	10以上		39	8以上		36	3以上		24	5以上		30	3以上		54	46以上	55	45以上	97	9以上		61	39以上	61	39以上	17	—	
	専門	75			58			61			47			60			76			83													142		
卒業に必要な単位数		114	10以上		100	26以上		102	24以上		98	26以上		116	10以上		110	18以上		123	5以上		64	60以上	65	59以上	111	19以上		69	55以上	69	55以上	179	12以上	
卒業単位数合計		124単位以上			126単位以上			126単位以上			124単位以上			126単位以上			128単位以上			128単位以上			124単位以上		124単位以上		130単位以上			124単位以上		124単位以上		191単位以上	

区分		医学部 医学科 必修	医学部 医学科 選択	区分	成田看護学部 看護学科 必修	成田看護学部 看護学科 選択	成田保健医療学部 理学療法学科 必修	成田保健医療学部 理学療法学科 選択	成田保健医療学部 作業療法学科 必修	成田保健医療学部 作業療法学科 選択	成田保健医療学部 言語聴覚学科 必修	成田保健医療学部 言語聴覚学科 選択	成田保健医療学部 医学検査学科 必修	成田保健医療学部 医学検査学科 選択	成田保健医療学部 放射線・情報科学科 必修	成田保健医療学部 放射線・情報科学科 選択	成田薬学部 薬学科 必修	成田薬学部 薬学科 選択
総合教育	人間系	5	1以上	総合教育 人間系	—	6以上	2	2以上 2以上	—	4以上 2以上	—	6以上 2以上	—	2以上 2以上	—	2 5以上	4	10以上
	社会系	2	—	社会系	5		3	2以上	3	2以上	3	3以上	3	2以上	3	—	5	
	全地球的な課題	3	1以上	自然・情報系	2		2	2以上	2	2以上	4	1以上	4	2以上	2	—	8	
	数学・自然科学系	5	—	総合系	1		1	—	1	— 2以上	1	—	1	— 2以上	1	—	1	
	外国語系	5	—	外国語系	4		4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4	4	
				保健体育系	—		—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	
専門教育	専門基礎	73.5	—	専門教育 専門基礎	27	7以上	30	4以上	33	10以上	39	10以上	26	3以上	23	5以上	17	
	専門	123.5	8以上	専門	72		59	11以上	61		49		77		79		142	
卒業に必要な単位数		217	10以上	卒業に必要な単位数	111	13以上	101	25以上	104	22以上	102	24以上	115	13以上	112	16以上	181	10以上
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計	124単位以上		126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		191単位以上	

区分		赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 必修	心理学科 選択	医療マネジメント学科 必修	医療マネジメント学科 選択
総合教育	人間系	6	13以上	2	12以上
	社会系	3		1	
	自然・情報系	1		3	
	総合系	1		3	
	外国語系	3		2	
	保健体育系	—		—	
専門教育	専門基礎	42	13以上	17	38以上
	専門	30		46	
卒業に必要な単位数		86	38以上	74	50以上
卒業単位数合計		124単位以上		124単位以上	

区分		小田原保健医療学部								福岡保健医療学部										福岡薬学部		
		看護学科			理学療法学科		作業療法学科			看護学科			理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科			薬学科		
		必修	選択		必修	選択	必修	選択		必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	－	7以上	―	4以上	2	4以上	1以上	2	－	4以上	13	8以上（うち3単位は外国語系選択必修）	11	10以上（うち3単位は外国語系選択必修）	11	8以上（うち3単位は外国語系選択必修）		4	3以上	7以上
	社会系	1	－		1	2以上	1	2以上		5	－									5		
	自然・情報系	5	2＊＊		2	2以上	4	1＊＊		2	－									8		
	総合系	1	—		1	—	1	—		1	－									1		
	外国語系	4	2＊＊		4	2以上	4	2以上		4	2									4		
	保健体育系	—	2＊＊		—	—	—	1＊＊		—	－									—		
専門教育	専門基礎	28	2以上		34	12以上	33	12以上		25	5以上		35	5以上	33	7以上	24	4以上		17	―	
	専門	70	2以上		58		59			74			65		65		81			142		
卒業に必要な単位数		111	13以上		100	26以上	104	22以上		113	11以上		113	13以上	109	17以上	116	12以上		181	10以上	
卒業単位数合計		124単位以上			126単位以上		126単位以上			124単位以上			126単位以上		126単位以上		128単位以上			191単位以上		

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の2＊＊は自然・情報系、外国語系、保健体育系から2単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1＊＊は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数(留学生用)

区分		保健医療学部																				医療福祉学部												薬学部		
		看護学科			理学療法学科			作業療法学科			言語聴覚学科			視機能療法学科			放射線・情報科学科			医学検査学科			医療福祉・マネジメント学科												薬学科		
																							社会福祉コース			精神保健福祉コース			介護福祉コース			診療情報管理コース			医療福祉マネジメントコース					
		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	2以上	—	4以上	2以上	—	4以上	4以上	—	6以上	2以上	2	—	3以上	—	2以上	5以上	—	—		—	—	10以上	—	—	10以上	4	4以上	—	—	—	12以上	—	—		4	—	8以上
	社会系	1	—		1	2以上		1	2以上		1	5以上		1	—		1	2以上		1	—		3	—		3	—		3	2以上		1	—		1	—		3	—	
	自然・情報系	8	—		2	2以上		2	—		4	1以上		12	—		4	—		4	—		2	—		2	—		2	3以上		2	—		2	—		8	—	
	総合系	1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—	
	外国語系	5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上	
	保健体育系	—	—		—	—		—	—		2	—	—	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
専門教育	専門基礎	23	4以上		34	12以上		33	10以上		39	8以上		36	3以上		24	5以上		30	3以上		54	46以上		55	45以上		97	9以上		61	39以上		61	39以上		17	—	
	専門	75			58			61			47			60			76			83																	142		
卒業に必要な単位数		115	9以上または11以上		101	25以上または27以上		103	23以上または25以上		99	25以上または27以上		117	9以上または17以上		111	17以上または19以上		124	6以上または8以上		65	59以上または61以上		66	58以上または60以上		112	21以上または23以上		70	54以上または56以上		70	54以上または56以上		180	11以上または13以上	
卒業単位数合計		124単位以上または126単位以上			126単位以上または128単位以上			126単位以上または128単位以上			124単位以上または126単位以上			126単位以上または128単位以上			128単位以上または130単位以上			130単位以上または132単位以上			124単位以上または126単位以上			124単位以上または126単位以上			133単位以上または135単位以上			124単位以上または126単位以上			124単位以上または126単位以上			191単位以上または193単位以上		

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区分		小田原保健医療学部											
		看護学科			理学療法学科			作業療法学科					
		必修	選択		必修	選択		必修	選択				
総合教育	人間系	2	—	3以上	—	—	8以上	2	2以上	1以上			
	社会系	1	—		1	—		1					
	自然・情報系	5	—		2	—		4	1＊＊				
	総合系	1	—		1	—		1	—				
	外国語系	—	10以上		—	10以上		—	10以上				
	保健体育系	—	—		—	—		—	1＊＊				
専門教育	専門基礎	28	2以上		34	12以上		33	12以上				
	専門	70	2以上		58			59					
卒業に必要な単位数		107	17以上		96	30以上		100	26以上				
卒業単位数合計		124単位以上			126単位以上			126単位以上					

区分		福岡保健医療学部										福岡薬学部		
		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科			薬学科		
		必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	2以上	15	6以上（うち5は日本語の選択必修）	13	8以上（うち5は日本語の選択必修）	13	8以上（うち5は日本語の選択必修）	6以上	4	—	6以上
	社会系	5	—									5	—	
	自然・情報系	2	—									8	—	
	総合系	1	—									1	—	
	外国語系	5	5（日本語）									5	3以上または5以上	
	保健体育系	—	—									—	—	
専門教育	専門基礎	25	5以上		35	5以上	33	7以上	24	4以上		17	—	
	専門	74			65		65		81			142		
卒業に必要な単位数		114	12以上		115	11以上	111	15以上	118	12以上		182	9以上または11以上	
卒業単位数合計		126単位以上			126単位以上		126単位以上		130単位以上			191単位以上または193単位以上		

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1＊＊は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程（案）

（目的）

第１条 この規程は、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第５３条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）の学部の入学検定料及び学生納付金について定めることを目的とする。

（定義）

第２条　入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。

２　学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。

一　保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部、成田薬学部

入学金、授業料、実験実習費、施設設備費

二　医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

入学金、授業料、実習・文献費、施設費

３　前項に定めるもののほか、保健医療学部看護学科保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コース、福岡保健医療学部看護学科保健師履修コース、成田看護学部保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程及び「海外保健福祉事情」を履修する者については、別表に定める「履修費」をその学生納付金に含めるものとする。

（入学検定料の額）

第３条　入学検定料の額は、別表１のとおりとする。

（学生納付金の額）

第３条の２　学生納付金の額は、別表２のとおりとする。

（学生納付金の納付）

第４条　学生納付金は、当該学生納付金に係る年度の前年度の３月３１日までに、原則として一括して納付しなければならない。ただし、分割納入（以下「分納」という。）及び納付期限後の納付（以下「延納」という。）を認めることがある。

（学生納付金の分納）

第５条　学生納付金を一括して納付することが困難な場合、その他特別の事情がある場合は、分納の申請により、当該年度の学生納付金を、第１回と第２回の２回に分けて納付することを認めることがある。

２　前項に規定する分納の納付期限は、第１回については、当該年度の前年度の３月３１日、第２回については、当該年度の９月３０日とする。

３　第１項に規定する分納に係る第１回及び第２回の学生納付金の額は、別表３のとおりとする。

（学生納付金の延納）

第６条　経済的理由により学生納付金を第４条又は前条第２項に規定する期限までに納付することが困難な者で、延納を希望するものは、所定の様式により願い出ることにより、３箇月以内の延納を認めることがある。

（分納及び延納の手続き）

第７条　学生納付金の分納又は延納を希望する場合は、所定の様式により、分納申請書又は延納願を、保証人連署のうえ、次の各号に定める期限までに提出しなければならない。

一　分納申請書		当該年度の前年度の３月３１日
二　延納願	一括納付又は第１回分	当該年度の前年度の３月３１日
	第２回分	当該年度の９月３０日

（学生納付金の特例）

第７条の２　所定の修業年限を超えて在学する者が、学年の前期末までに卒業する場合は、第３条の２の規定にかかわらず、第５条第３項に規定する第１回の学生納付金の額をもって当該年度の学生納付金の額とする。

（滞納処分）

第８条　第４条、第６条に規定する手続きを経ることなく、学生納付金を滞納した場合は、次の各号に規定する資格を停止することができる。

一　授業への出席及び定期試験等を受験すること。

二　本学が発行する証明書及び学校学生生徒旅客運賃割引証の発行を受けること。

三　その他学内において、教務事務主管課、学生事務主管課、図書館、大学クリニック等のサービスを受けること。

２　学生納付金の督促を受けた者が、指定された期限までに納付しない場合は、大学学則第４１条の規定により除籍とする。

別表１　入学検定料

別表２　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

別表３　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

附　則

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

１　この規程は、平成２８年４月１日から施行する。

２　第３条（入学検定料の額）に定める別表１の成田看護学部、成田保健医療学部入学検定料につい

ては、平成２８年度入学に係る入学試験から適用する。

附　則

１　この規程は、平成２９年４月１日から施行する。

２　第３条（入学検定料の額）に定める別表１の医学部入学検定料については、平成２９年度入学に係る入学試験から適用する。

附　則

１　この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

２　第３条（入学検定料の額）に定める別表１の医学部入学検定料及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部入学検定料については、平成３０年度入学に係る入学試験から適用する。

附　則

この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和元（２０１９）年５月２７日から施行する。

附　則

１　この規程は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

２　第３条（入学検定料の額）に定める別表１の福岡薬学部入学検定料については、令和２年度入学に係る入学試験から適用する。

附　則

この規程は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和５（２０２３）年４月１日から施行する。

附　則

１　この規程は、令和６（２０２４）年４月１日から施行する。

２　第３条（入学検定料の額）に定める別表１の成田薬学部入学検定料については、令和６年度入学に係る入学試験から適用する。

附　則

この規程は、令和７（２０２５）年４月１日から施行する。

別表１　入学検定料

単位：円

学　部　名	入　学　検　定　料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部 成田薬学部	35,000
医学部	60,000

（※1）　大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料は、各学部20,000円とする。但し、医学部は50,000円とする。
（※2）　特待奨学生特別選抜及び一般選抜前期において、１日の試験で複数学部に出願する場合は、
２学部目を10,000円引き、３学部目以降は１学部に出願するごとに入学検定料を10,000円とする。
（※3）　一般選抜前期 日程Ａ・日程Ｂ・日程Ｃにおいて、同一学部に複数回出願する場合は、2回目を10,000円引き、3回目の入学検定料を10,000円とする。
（成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。）
（※4）　一般選抜前期 日程Ａ・日程Ｂ・日程Ｃにおいて、複数学部に複数回出願する場合は、2学部目の１回目の入学検定料を10,000円引きとし、
2回目以降は１回出願するごとに入学検定料を10,000円とする。また、3学部目以降は１回出願するごとに入学検定料を10,000円とする。
（成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。）
（※5）　一般選抜前期で同一学部に2回以上出願し、さらに同一学部の大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合、
大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料を10,000円引きとする。
（成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料の割引を適用する。）
（※6）　当該年度中に実施された入試で、既に入学手続を行っている者（二段階納入方式の１次手続のみ完了者及び手続見込者も含む）が、
特待奨学生特別選抜で手続済みの学部・学科を第一志望として出願（チャレンジ受験）する場合、入学検定料を10,000円とする。
（※7）　医学部留学生特別選抜の入学検定料は15,000円とする。
但し、政府機関による推薦等、本学が特に認めた場合については、入学検定料を減免することがある。

別表２－１　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 （理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科） 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	300,000	900,000	50,000 (200,000)	300,000	1,550,000 (1,700,000)
	2	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	3	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	4	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
福岡保健医療学部 （医学検査学科）	1	300,000	800,000	50,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,600,000)
	2	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	3	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	4	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
医療福祉学部（※4）	1	250,000	700,000	30,000 (150,000)	100,000	1,080,000 (1,200,000)
	2	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	3	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	4	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
薬学部	1	300,000	1,100,000	50,000 (200,000)	250,000	1,700,000 (1,850,000)
	2	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	3	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	4	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	5	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	6	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、平成28年度入学者について、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。
　　但し、平成27年度以前入学者は、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コースのみ、上記以外に履修費30,000円(4年間総額)を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円（4年間総額)を加える。
(※4)　医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。
(※5)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－２　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習･文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線･情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科（※4） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	250,000	700,000	30,000	130,000	1,110,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

（※1）　医療福祉学部は、「実習･文献費」、「施設費」の納付金。
（※2）　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額) を加える。
（※3）　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円 (4年間総額)を加える。
（※4）　医療福祉学部医療福祉･マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。
（※5）　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－３　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額) を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円 (4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－４　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習･文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線･情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線･情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習･文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額）を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円（4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－５　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習･文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線･情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線･情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額) を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円 (4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－６　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

学　部　名	学年	学　生　納　付　金				合　　計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、
上記以外に履修費50,000円(4年間総額) を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円 (4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表２－７　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

学　部　名	学年	学　生　納　付　金				合　　計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、
上記以外に履修費50,000円(4年間総額) を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円 (4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表３－１　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 （理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科） 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	第1回	300,000	450,000	25,000 (100,000)	300,000	1,075,000 (1,150,000)
		第2回	—	450,000	25,000 (100,000)	—	475,000 (550,000)
	2	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	3	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	4	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
福岡保健医療学部 （医学検査学科）	1	第1回	300,000	400,000	25,000 (100,000)	300,000	1,025,000 (1,100,000)
		第2回	—	400,000	25,000 (100,000)	—	425,000 (500,000)
	2	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	3	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	4	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
医療福祉学部（※4）	1	第1回	250,000	350,000	15,000 (75,000)	100,000	715,000 (775,000)
		第2回	—	350,000	15,000 (75,000)	—	365,000 (425,000)
	2	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	3	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	4	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
薬学部	1	第1回	300,000	550,000	25,000 (100,000)	250,000	1,125,000 (1,200,000)
		第2回	—	550,000	25,000 (100,000)	—	575,000 (650,000)
	2	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	3	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	4	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	5	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	6	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)

（※1）～（※5）　別表2の脚注に同じ。

別表３－２　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科（※4） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	250,000	350,000	15,000	130,000	745,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－２　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000

（※1）～（※5）　別表2の脚注に同じ。

別表３－３　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－３　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・放射線･情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

別表３－４　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－４　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

別表３－５　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－５　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

別表３－６　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習･文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線･情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉･マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－６　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表３－６　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程（案）

（趣旨）

第１条　国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程は、国際医療福祉大学学則第２条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）各学部、各学科の教育研究上の目的について定めるものである。

（学部の教育研究上の目的）

第２条　本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。

一　保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

二　医療福祉学部は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

三　薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成することを目的とする。

四　福岡保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

五　小田原保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

六　成田看護学部は、看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

七　成田保健医療学部は、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことので

きる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

八　医学部は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身に付け医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

九　赤坂心理・医療福祉マネジメント学部は、心理学若しくは医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援若しくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成することを目的とする。

十　福岡薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成することを目的とする。

十一　成田薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

（保健医療学部各学科の教育研究上の目的）

第３条　前条第１項第一号に定める保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一　看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

二　理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

三　作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

四　言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。

五　視機能療法学科は、繊細な目を守るエキスパートとしての質の高い専門知識や技術を幅広く修得し、医療人としての総合力を高め、「見ること」、「見え

ること」の素晴らしさを伝えることのできる視能訓練士の育成を目的とする。

六　放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

七　医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

（医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的）

第４条　第２条第１項第二号に定める医療福祉学部の教育研究上の目的をふまえ、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医療福祉・マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、必要な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

（薬学部薬学科の教育研究上の目的）

第５条　第２条第１項第三号に定める薬学部の教育研究上の目的をふまえ、薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

（福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的）

第６条　第２条第１項第四号に定める福岡保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一　看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

二　理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

三　作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

四　言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に

付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。

五　医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

（小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的）

第７条　第２条第１項第五号に定める小田原保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一　看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

二　理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

三　作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

（成田看護学部看護学科の教育研究上の目的）

第８条　第２条第１項第六号に定める成田看護学部の教育研究上の目的をふまえ、成田看護学部看護学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付け、国内外で活躍できる看護師、保健師の育成を目的とする。

（成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的）

第９条　第２条第１項第七号に定める成田保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一　理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れ、国内外で活躍できる理学療法士の育成を目的とする。

二　作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応し、国内外で活躍できる作業療法士の育成を目的とする。

三　言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職として、国内外で活躍できる言語

聴覚士の育成を目的とする。

四　医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

五　放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

（医学部医学科の教育研究上の目的）

第１０条　第２条第１項第八号に定める医学部の教育研究上の目的をふまえ、医学部医学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医学科は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成することを目的とする。

（赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的）

第１１条　第２条第１項第九号に定める赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の教育研究上の目的をふまえ、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一　心理学科は、心理学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、人のこころの多様な問題の解決に、チームで適切に支援できる人材を育成することを目的とする。

二　医療マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

（福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的）

第１２条　第２条第１項第十号に定める福岡薬学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

（成田薬学部薬学科の教育研究上の目的）

第１３条　第２条第１項第十一号に定める成田薬学部の教育研究上の目的をふまえ、成田薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

附　則

この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則

この規定は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、第５条第１項第４号については、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和２（２０２０）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３（２０２１）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和５（２０２３）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６（２０２４）年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和７（２０２５）年４月１日から施行する。

学則の変更事項を記載した書類

１．変更の事由

国際医療福祉大学に保健医療学部医学検査学科を設置することに伴い、学則の一部を下記のとおり変更する。

２．主な変更点

①国際医療福祉大学学則

（1）第 2 条（学部）第 1 項第一号に、医学検査学、臨床検査技師を追加するとともに、別表に医学検査学科を追加する。

（2）施行日（令和 7（2025）年 4 月 1 日）の附則を追加するとともに、第 2 項に収容定員について追加する。

②国際医療福祉大学学位規程

（1）別表 1 の保健医療学部に医学検査学科の学位［学士（医学検査学)］を追加する。

（2）施行日（令和 7（2025）年 4 月 1 日）の附則を追加する。

③国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程

（1）別表 1（授業科目の名称及び単位数）の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。

（2）別表 2（卒業に必要な単位数）の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。

（3）別表 2-2（卒業に必要な単位数（留学生用））の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。

（4）施行日（令和 7（2025）年 4 月 1 日）の附則を追加する。

④国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程

（1）別表 2-7（学生納付金）の保健医療学部に、医学検査学科を追加する。

（2）別表 3-7（分納に係る学生納付金）の保健医療学部に、医学検査学科を追加する。

（3）施行日（令和 7（2025）年 4 月 1 日）の附則を追加する。

⑤国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程

（1）第 2 条（学部の教育研究上の目的）第 1 項第一号に、医学検査学を追加する。

(2) 第 3 条（保健医療学部各学科の教育研究上の目的）に、医学検査学科の教育研究上の目的を第七号として追加する。
(3) 施行日（令和 7（2025）年 4 月 1 日）の附則を追加する。

以　上

国際医療福祉大学学則新旧対照表（案）

新	旧
第１条　　（略） （学部） 第２条　本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。 一　保健医療学部 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。 二～十一　　（略） ２　前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。 （以下、略） 附　則 １　この学則は、令和７年４月１日から施行する。 ２　第２条第２項に規定する保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和７年度から令和９年度までは、次のとおりとする。 令和７年度　令和８年度　令和９年度 保健医療学部 医学検査学科　80名　160名　240名	第１条　　（略） （学部） 第２条　本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。 一　保健医療学部 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。 二～十一　　（略） ２　前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。 （以下、略）

別　表

学部名	学科名	入学定員	３年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	―	460
	理学療法学科	100	―	400
	作業療法学科	80	―	320
	言語聴覚学科	80	―	320
	視機能療法学科	50	―	200
	医学検査学科	80	―	320
	放射線・情報科学科	110	―	440
	合　計	615	―	2,460
（略）				

別　表

学部名	学科名	入学定員	３年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	―	460
	理学療法学科	100	―	400
	作業療法学科	80	―	320
	言語聴覚学科	80	―	320
	視機能療法学科	50	―	200
	（新設）			
	放射線・情報科学科	110	―	440
	合　計	535	―	2,140
（略）				

国際医療福祉大学学位規程新旧対照表（案）

新	旧
第１条　　（略） （学位） 第２条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び修士（専門職）とする。 ２　学士の学位は、別表１のとおりとする。 ３　修士の学位は、別表２のとおりとする。 ４　博士の学位は、別表３のとおりとする。 ５　修士（専門職）の学位は、別表４のとおりとする。 （以下、略） 附　則 この規程は、令和７年４月１日から施行する。	第１条　　（略） （学位） 第２条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。 ２　学士の学位は、別表１のとおりとする。 ３　修士の学位は、別表２のとおりとする。 ４　博士の学位は、別表３のとおりとする。 ５　修士（専門職）の学位は、別表４のとおりとする。 （以下、略）

別表１（第２条第２項関係）

学　部	学科	学位（専攻分野）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	視機能療法学科	学士（視機能療法学）
	医学検査学科	学士（医学検査学）
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士（医療福祉学）、 学士（医療マネジメント学）

（以下、略）

別表１（第２条第２項関係）

学　部	学科	学位（専攻分野）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	視機能療法学科	学士（視機能療法学）
	（新設）	
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士（医療福祉学）、 学士（医療マネジメント学）

（以下、略）

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
第１条～第３条　　（略） 附　則 この規程は、令和７年４月１日から施行する。 別表１　授業科目の名称及び単位数 （別紙を追加） 別表２　卒業に必要な単位数 （別紙を追加）	第１条～第３条　　（略） 別表１　授業科目の名称及び単位数 （略） 別表２　卒業に必要な単位数 （略）

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案）　別紙

別表1　授業科目の名称及び単位数
保健医療学部　医学検査学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4	2		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
総合教育	外国語系	英語講読１（Primary）	1	1		30	
		英語講読２（Basic）	1	1		30	
		英語講読３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語講読４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		英語ＣＡＬＬ１（Primary）	1	1		30	
		英語ＣＡＬＬ２（Basic）	1	1		30	
		英語会話１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語会話３（Intermediate）	2 3 4		1	30	
		英語会話４（Advanced）	2 3 4		1	30	
		聖書英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		医学英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法１（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法２（Basic）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話１（発展）	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話２（総合）	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	時間	備考
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		組織学演習	2	1		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3	1		30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3	1		30	
		病態薬理学	1	1		15	
		臨床栄養学	1	1		15	
		遺伝学	1	1		15	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
	専門	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習	3	2		60	
		細胞診断学	2	1		30	
		細胞診断学実習	2	1		30	
		血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	2		30	
		血液検査学実習	3	2		60	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	1	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	2	2		60	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		30	
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	2		30	
		微生物検査学実習	3	2		60	
		医動物学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	1		30	
		免疫検査学実習	2	1		30	
		輸血・移植検査学	2	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	2		60	
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	2		30	
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	2		30	
		生理検査学実習	3	3		90	
		超音波・MRI検査学	2	2		30	
		超音波・MRI検査学実習	2	1		45	
		先進臨床検査技術学	3		2	30	
		臨床検査統計学	2	2		30	
		医療安全管理学演習	2	2		60	
		精度管理学	3	1		15	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	4		60	
		臨地実習	3	11		330	
		卒業研究	4	4		120	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床検査研究論	3	2		30	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	4	2		30	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		入門細胞診断学演習	1		1	30	
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3		1	30	
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3		1	30	
		臨床検査質量分析学演習	4		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4		1	30	
		生殖補助医療胚培養学	2		1	15	
		生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	

別表2 卒業に必要な単位数

区分		保健医療学部																医療福祉学部										薬学部		
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		医療福祉・マネジメント学科												薬学科		
																社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース				
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—		—		4	4以上	—		—		4				
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	1	—	3		3		3	2以上	1		1		3				
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	12	—	4	—	4	—	2		2		2	3以上	2		2		8				
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1		1		1	—	1		1		1				
	外国語系	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4以上	4	4以上	4	2以上	4		4		4	—	4		4		4				
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—		—		—	—	—		—		—				
			4以上		4以上		6以上		4以上		3以上		5以上		—		14以上		14以上		1以上		16以上		16以上		3以上		9以上
専門教育	専門基礎	23		34		33		39		36		24		30												17			
	専門	75		58		61		47		60		76		83												142			
			4以上		12以上		10以上		8以上		3以上		5以上		3以上	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上		—			
卒業に必要な単位数		114	10以上	100	26以上	102	24以上	98	26以上	116	10以上	110	18以上	123	5以上	64	60以上	65	59以上	111	19以上	69	55以上	69	55以上	179	12以上			
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		124単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		124単位以上		124単位以上		130単位以上		124単位以上		124単位以上		191単位以上				

区分		医学部 医学科 必修	医学部 医学科 選択	区分	成田看護学部 看護学科 必修	成田看護学部 看護学科 選択	成田保健医療学部 理学療法学科 必修	成田保健医療学部 理学療法学科 選択	成田保健医療学部 作業療法学科 必修	成田保健医療学部 作業療法学科 選択	成田保健医療学部 言語聴覚学科 必修	成田保健医療学部 言語聴覚学科 選択	成田保健医療学部 医学検査学科 必修	成田保健医療学部 医学検査学科 選択	成田保健医療学部 放射線・情報科学科 必修	成田保健医療学部 放射線・情報科学科 選択	成田薬学部 薬学科 必修	成田薬学部 薬学科 選択
総合教育	人間系	5	1以上	総合教育 人間系	—	6以上	2	2以上 2以上	—	4以上 2以上	—	6以上 2以上	—	2以上 2以上	—	2 5以上	4	10以上
	社会系	2	—	社会系	5		3	2以上	3	2以上	3	3以上	3	2以上	3	—	5	
	全地球的な課題	3	1以上	自然・情報系	2		2	2以上	2	2以上	4	1以上	4	2以上	2	—	8	
	数学・自然科学系	5	—	総合系	1		1	—	1	— 2以上	1	—	1	— 2以上	1	—	1	
	外国語系	5	—	外国語系	4		4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4	4	
				保健体育系	—		—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	
専門教育	専門基礎	73.5	—	専門教育 専門基礎	27	7以上	30	4以上	33	10以上	39	10以上	26	3以上	23	5以上	17	
	専門	123.5	8以上	専門	72		59	11以上	61		49		77		79		142	
卒業に必要な単位数		217	10以上	卒業に必要な単位数	111	13以上	101	25以上	104	22以上	102	24以上	115	13以上	112	16以上	181	10以上
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計	124単位以上		126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		191単位以上	

区分		赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 必修	心理学科 選択	医療マネジメント学科 必修	医療マネジメント学科 選択
総合教育	人間系	6	13以上	2	12以上
	社会系	3		1	
	自然・情報系	1		3	
	総合系	1		3	
	外国語系	3		2	
	保健体育系	—		—	
専門教育	専門基礎	42	13以上	17	38以上
	専門	30		46	
卒業に必要な単位数		86	38以上	74	50以上
卒業単位数合計		124単位以上		124単位以上	

区分		小田原保健医療学部								福岡保健医療学部										福岡薬学部		
		看護学科			理学療法学科		作業療法学科			看護学科			理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科			薬学科		
		必修	選択		必修	選択	必修	選択		必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	－	7以上	―	4以上	2	4以上	1以上	2	－	4以上	13	8以上（うち3単位は外国語系選択必修）	11	10以上（うち3単位は外国語系選択必修）	11	8以上（うち3単位は外国語系選択必修）		4	3以上	7以上
	社会系	1	－		1	2以上	1	2以上		5	－									5		
	自然・情報系	5	2＊＊		2	2以上	4	1＊＊		2	－									8		
	総合系	1	—		1	—	1	—		1	－									1		
	外国語系	4	2＊＊		4	2以上	4	2以上		4	2									4		
	保健体育系	—	2＊＊		—	—	—	1＊＊		—	－									—		
専門教育	専門基礎	28	2以上		34	12以上	33	12以上		25	5以上		35	5以上	33	7以上	24	4以上		17	―	
	専門	70	2以上		58		59			74			65		65		81			142		
卒業に必要な単位数		111	13以上		100	26以上	104	22以上		113	11以上		113	13以上	109	17以上	116	12以上		181	10以上	
卒業単位数合計		124単位以上			126単位以上		126単位以上			124単位以上			126単位以上		126単位以上		128単位以上			191単位以上		

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の2＊＊は自然・情報系、外国語系、保健体育系から2単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1＊＊は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数（留学生用）

区分		保健医療学部																		医療福祉学部												薬学部		
		看護学科			理学療法学科			作業療法学科			言語聴覚学科			視機能療法学科			放射線・情報科学科			医学検査学科			医療福祉・マネジメント学科										薬学科		
																							社会福祉コース			精神保健福祉コース			介護福祉コース			診療情報管理コース			医療福祉マネジメントコース					
		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	2以上	—	4以上	2以上	—	4以上	4以上	—	6以上	2以上	2	—	3以上	—	2以上	5以上	—	—	二	—	—	10以上	—	—	10以上	4	4以上	—	—	—	12以上	—	—	12以上	4	—	8以上
	社会系	1	—		1	2以上		1	2以上		1	5以上		1	—		1	2以上		1	一		3	—		3	—		3	2以上		1	—		1	—		3	—	
	自然・情報系	8	—		2	2以上		2	—		4	1以上		12	—		4	—		4	一		2	—		2	—		2	3以上		2	—		2	—		8	—	
	総合系	1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	一		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—		1	—	
	外国語系	5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上	
	保健体育系	—	—		—	—		—	—		2	—	—	—	—		—	—		—	二		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
専門教育	専門基礎	23	4以上		34	12以上		33	10以上		39	8以上		36	3以上		24	5以上		30	3以上		54	46以上		55	45以上		97	9以上		61	39以上		61	39以上		17	—	
	専門	75			58			61			47			60			76			83																142		
卒業に必要な単位数		115	9以上または11以上		101	25以上または27以上		103	23以上または25以上		99	25以上または27以上		117	9以上または17以上		111	17以上または19以上		124	6以上または8以上		65	59以上または61以上		66	58以上または60以上		112	21以上または23以上		70	54以上または56以上		70	54以上または56以上		180	11以上または13以上	
卒業単位数合計		124単位以上または126単位以上			126単位以上または128単位以上			126単位以上または128単位以上			124単位以上または126単位以上			126単位以上または128単位以上			128単位以上または130単位以上			130単位以上または132単位以上			124単位以上または126単位以上			124単位以上または126単位以上			133単位以上または135単位以上			124単位以上または126単位以上			124単位以上または126単位以上			191単位以上または193単位以上		

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区分		小田原保健医療学部							
		看護学科			理学療法学科			作業療法学科		
		必修	選択		必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	3以上	—	—	8以上	2	2以上	1以上
	社会系	1	—		1	—		1		
	自然・情報系	5	—		2	—		4	1＊＊	
	総合系	1	—		1	—		1	—	
	外国語系	—	10以上		—	10以上		—	10以上	
	保健体育系	—	—		—	—		—	1＊＊	
専門教育	専門基礎	28	2以上		34	12以上		33	12以上	
	専門	70	2以上		58			59		
卒業に必要な単位数		107	17以上		96	30以上		100	26以上	
卒業単位数合計		124単位以上			126単位以上			126単位以上		

区分		福岡保健医療学部										福岡薬学部		
		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科			薬学科		
		必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択		必修	選択	
総合教育	人間系	2	—	2以上	15	6以上（うち5は日本語の選択必修）	13	8以上（うち5は日本語の選択必修）	13	8以上（うち5は日本語の選択必修）	6以上	4	—	6以上
	社会系	5	—									5	—	
	自然・情報系	2	—									8	—	
	総合系	1	—									1	—	
	外国語系	5	5（日本語）									5	3以上または5以上	
	保健体育系	—	—									—	—	
専門教育	専門基礎	25	5以上		35	5以上	33	7以上	24	4以上		17	—	
	専門	74			65		65		81			142		
卒業に必要な単位数		114	12以上		115	11以上	111	15以上	118	12以上		182	9以上または11以上	
卒業単位数合計		126単位以上			126単位以上		126単位以上		130単位以上			191単位以上または193単位以上		

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1＊＊は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案）

新	旧
第１条　～　第８条　　（略）	第１条　～　第８条　　（略）
附　則 １　この規程は、令和７年４月１日から施行する。	
別表２－１～６　　（略）	別表２－１～６　　（略）
別表２－７　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設整備費又は施設費） （別紙を追加）	（新設）
別表３－１～６　　（略）	別表３－１～６　　（略）
別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設整備費又は施設費） （別紙を追加）	（新設）

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案）　別紙

別表２－７　学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者　　単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

学　部　名	学年	学　生　納　付　金				合　　計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	―	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	―	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	―	900,000	180,000	250,000	1,330,000
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	―	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1)　医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
(※2)　保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、
　　上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。
(※3)　小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円（4年間総額)を加える。
(※4)　「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表３－７　分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学　部　名	学年	納付時期	学生納付金				合　計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

（※1）～（※4）　別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
第１条　　（略） （学部の教育研究上の目的） 第２条　本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。 一　保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 二～六　　（略） 七　医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。 第３条～第１２条　　（略） 附　則 この規程は、令和７年４月１日から施行する。	第１条　　（略） （学部の教育研究上の目的） 第２条　本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。 一　保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 二～六　　（略） （新設） 第３条～第１２条　　（略）

国際医療福祉大学教授会規程

（目的）

第１条　この規程は、国際医療福祉大学学則第９条第６項に基づき、教授会に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（設置）

第２条　本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

（代表者会議）

第３条　教授会に代表者会議を置くことができる。

２　代表者会議は、当該学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。

３　代表者会議は、学長が招集する。

４　代表者会議に議長を置き、学長をもってこれに充てる。ただし、学長が認めた場合は、学長が指名した副学長又は当該学部の学部長が学長に代わり議長となることができる。

５　代表者会議による議決をもって教授会の議決とすることができる。

（審議事項）

第４条　教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一　学生の入学、卒業及び課程の修了

二　学位の授与

三　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

２　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

（招集通知）

第５条　学長は、教授会の招集に当たり、その日時、場所及び議案をあらかじめ当該構成員に通知しなければならない。

（定足数）

第６条　教授会は、構成員の過半数の出席がなければ議事を開くことはできない。

２　議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（合同教授会）

第７条　本学に合同教授会を置くことができる。

２　合同教授会は、第４条の事項のうち全学的に審議することが必要であると学長が認めたものにつき審議する。

３　合同教授会は、学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。

４　合同教授会の議決をもって教授会の議決とすることができる。

５　合同教授会は学長が招集し、議長は学長をもってこれに充てる。

６　第５条及び第６条の規定は、合同教授会に準用する。

（事務の処理）

第８条　教授会の事務は、各キャンパス教務事務主管課で処理する。

（改廃）
第９条　本規程の改廃は、教授会の意見を聴いて常任理事会が行う。

附　則
この規程は、平成７年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成８年４月１日から適用する。ただし、改正後の第７条の規定は、平成９年４月１日から適用する。
附　則
この規程は、平成１９年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２１年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２６年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２８年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、令和３年４月１日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類（目次）

1. 設置の趣旨及び必要性 ---- P. 2
2. 学部・学科等の特色 ---- P. 17
3. 大学、学部・学科等の名称及び学位の名称 ---- P. 19
4. 教育課程の編成の考え方及び特色 ---- P. 19
5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ---- P. 31
6. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画 ---- P. 38
7. 実習の具体的計画 ---- P. 39
8. 企業実習（インターンシップを含む。）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画 ---- P. 43
9. 取得可能な資格 ---- P. 44
10. 入学者選抜の概要 ---- P. 45
11. 教育研究実施組織等の編成の考え方及び特色 ---- P. 50
12. 研究の実施についての考え方、体制、取組 ---- P. 53
13. 施設、設備等の整備計画 ---- P. 54
14. 管理運営 ---- P. 58
15. 自己点検・評価 ---- P. 59
16. 情報の公表 ---- P. 62
17. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等 ---- P. 65
18. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 ---- P. 66

国際医療福祉大学保健医療学部医学検査学科の設置の趣旨等を記載した書類

１．設置の趣旨及び必要性

(１)本学の沿革

国際医療福祉大学(以下、「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会及び保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的としている。

上記目的を達成するため、本学には保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科及び放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)【以上、栃木県大田原市】、医学部(医学科)、成田看護学部(看護学科)、成田保健医療学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、放射線・情報科学科及び医学検査学科)、成田薬学部(薬学科)【以上、千葉県成田市】、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部(心理学科及び医療マネジメント学科)【東京都港区】、小田原保健医療学部(看護学科、理学療法学科及び作業療法学科)【神奈川県小田原市】、福岡保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科及び医学検査学科)、福岡薬学部(薬学科)【福岡県大川市】を置き、学則に定めている。併せて、国際医療福祉大学大学院(以下、「本大学院」という。)医学研究科、医療福祉学研究科、薬学研究科及び薬科学研究科を設置し、各キャンパスに附属図書館を置く。さらに、国際医療福祉大学社会保障政策研究所、国際医療福祉大学ゲノム医学研究所、国際医療福祉大学トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター及び国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンターを置き、附属施設として国際医療福祉大学病院(栃木県那須塩原市)、国際医療福祉大学塩谷病院(栃木県矢板市)、国際医療福祉大学成田病院(千葉県成田市)、国際医療福祉大学市川病院(千葉県市川市)、国際医療福祉大学三田病院(東京都港区)、国際医療福祉大学熱海病院(静岡県熱海市)、国際医療福祉大学クリニック(栃木県大田原市)、国際医療福祉大学健康管理センター(千葉県成田市)、介護老人保健施設マロニエ苑(栃木県那須塩原市)、にしなすの総合在宅ケアセンター(栃木県那須塩原市)及び塩谷看護専門学校を設け、地域の医療福祉に貢献し、かつ学生の臨地実習の中心として機能している。

本学は、栃木県大田原市に 1995(平成 7)年 4 月、ヘルス・プロフェッションの領域を網羅した 4 年制の総合大学として誕生した大学であり、病める人も障害を持つ人も健常な人も互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、次の 3 つを本学の基本理念としている。

① 人間中心の大学であること
② 社会に開かれた大学であること
③ 国際性を目指した大学であること

また、教育理念として「人格形成」、「専門性」、「学際性」、「情報科学技術」、「国際性」、「自由な発想」、「新しい大学運営」の 7 つを掲げ、21 世紀の高齢化社会を踏まえて、高度で専門的な知識を有し、かつ総合的に医療福祉を把握しうる専門職の育成を目指して開学した。その後、組織を拡充しながら教育研究機能の充実を図ってきたところである。現在、全国 5 つのキャンパスに 11 学部 27 学科と大学院、3 つの別科（留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科）を設置する医療福祉の総合大学として、医療福祉分野の人材育成に努めている。

開学以来、看護師、保健師、助産師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、臨床工学技士、診療情報管理士など約 3 万 2 千人の医療福祉専門職が社会に巣立っている。なお、2023(令和 5)年 3 月からは医師を本学より輩出している。

本学の学部の主な沿革は以下のとおり。

1995(平成 7)年	4 月	国際医療福祉大学開学・保健学部(現：保健医療学部)開設(大田原キャンパス)
1997(平成 9)年	4 月	医療福祉学部開設(大田原キャンパス)
2005(平成 17)年	4 月	薬学部 4 年制開設(大田原キャンパス)
		リハビリテーション学部(現：福岡保健医療学部)開設(大川キャンパス)
2006(平成 18)年	4 月	薬学部を 6 年制に移行
		小田原保健医療学部開設(小田原キャンパス)
2009(平成 21)年	4 月	福岡看護学部開設(福岡天神キャンパス)
		※2021(令和 3)年 4 月に福岡国際医療福祉大学に移管
2016(平成 28)年	4 月	成田看護学部･成田保健医療学部開設(成田キャンパス)
2017(平成 29)年	4 月	医学部開設(成田キャンパス)
2018(平成 30)年	4 月	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部開設(東京赤坂キャンパス)
2020(令和 2)年	4 月	福岡薬学部開設(大川キャンパス)
2024(令和 6)年	4 月	成田薬学部 開設(成田キャンパス)

(大学院)

実践的な教育・研究環境が整った本学は、学部開設から 4 年後の 1999(平成 11)年 4 月に国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻(修士課程)を開設し、2 年後の 2001(平成 13)年 4 月には同研究科保健医療学専攻(博士課程)及び同研究科医療福祉経営専攻(修士課程)を開設し、2007(平成 19)年 4 月には同研究科臨床心理学専攻(修士課程)を開設した。

また、2010(平成 22)年 4 月には大学院薬科学研究科医療・生命薬科学専攻(現生命薬科学専攻)(修士課程)を、2012(平成 24)年 4 月には大学院薬学研究科医療・生命薬学専攻(博士課程・4 年制)を開設した。さらに、2018(平成 30)年 4 月には、大学院の重要性に鑑み、学年進行中の医学部を基礎とする医学研究科公衆衛生学専攻(修士課程)及び医学専攻(博士課程)を開設し、研究力の強化を図った。しかしながら、変革期においてグローバル社会が直面する様々な公衆衛生にかかる課題に取り組む優れた実務家を養成する必要性が高まっていることから、医学研究科公衆衛生学専攻(修士課程)を専門職大学院に改組することとし、2024(令和 6)年 4 月に、より実践的な教育を行うことにより、現代の公衆衛生上のニーズに適合し、国際的に活躍できる公衆衛生の専門家の養成を実現することを目的とした公衆衛生学専攻(専門職学位課程)を開設した。本学大学院は、仕事を持つ社会人にも十分な研究環境を提供できるよう様々な配慮がなされ、主な授業を平日の夜間と土曜日の日中に配置する等、臨床の現場で働きながら学位取得を目指せるように教育運営を行っていることが特長である。

さらに、本学大学院は、多様化する保健医療福祉分野の需要に対応するとともに、国際性を身につけた指導的な専門職業人の養成を実現すべく、年齢を問わず、また学生であるか社会人であるかを問わず生涯にわたって学習の機会を提供し、様々な社会的な要請に応える教育を展開している。

(附属病院・臨床医学研究センター)

一方で、実務経験を積み、技能を向上させるのみならず、医療チームの一員として主体性を持ち積極的に参加することができるよう、本学は医学部を設置する以前から、附属病院を逐次整備している。2002(平成 14) 年の熱海病院を初めとして、2020(令和 2)年 3 月には、千葉県成田市に 6 つ目の附属病院となる高度先進医療を提供できる「世界基準のハブ病院」を目指した国際医療福祉大学成田病院を開設している。

また、6 つの附属病院に加え、臨床医学研究センターとして位置づけている関連医療施設及び福祉施設を数多く配置して学生の早期体験実習や臨地実習を行っている。早期体験実習や臨地実習に当たっては、本学とともにこれらの関連医療機関及び福祉施設も共通の意識を持って「チーム医療・チームケア」の教育を実践するなど、緊密に連携している。つまり、学生が患者に接して臨地実習を行うためには、医療の安全や患者との良好なコミュニケーション能力を含めた必要不可欠な知識・技能・態度が十分に備わっていることが望ましいとされる中で、本学においては従前よりこれらのことを学べる教育環境が整っているといえる。

こうした臨床に則した姿勢が社会から評価され、本学の卒業生の就職率は全学科毎年おおむね 100%である。(資料 1)

（国際活動）

今後の医療人養成において、国際性を涵養し、国際的な動向から医療等の課題を抽出する能力が求められる中で、本学は、国際的センスを備え、いかなる国の人々とも伸び伸びと協働できる真の国際人を育成する「国際性を目指した大学」を基本理念の一つとしており、留学生の積極的な受入れの他、国際貢献できる医療福祉専門職の育成を視野に入れ、韓国・中国・台湾・ベトナム・タイ・オーストラリアなどにおける学生の海外研修を毎年行ってきており、今後もグローバル化に対応できる人材育成を目指していくこととしている。

また、開学以降長年にわたり、東南アジアを中心とした医療福祉分野での人材育成に貢献してきており、中国リハビリテーション研究センターとは本学教員の派遣や留学生の受入れ、ベトナム南部の拠点病院である国立チョーライ病院とは、身体障害者支援センター設立への支援や、研修医の受入れ等を通じて、密接な協力関係を構築してきた。2018(平成 30)年 10 月には、本学とチョーライ病院と共同で、同院の隣接地に、ベトナム初の健診専門施設である「ドック健診センター(HECI)」を開設した。さらに、アジア諸国からフルスカラシップによる奨学生の受入れを毎年実施し、2017(平成 29)年 4 月成田キャンパスに開設した医学部では、定員 140 人のうち 20 人を外国人学生枠とし、アジアを中心とした海外国立医科大学から推薦を受けた者を医学部奨学留学生として受け入れている。これらの医学部奨学留学生には、生活費や授業料など 1 人当たり 6 年間総額 3,000 万円の奨学金を供与しており、将来彼らが医療分野におけるリーダーとして母国に貢献することを期待している。

この他、2016(平成 28)年の国際医療シンポジウムの開催や 2018(平成 30)年及び 2023(令和 5)年の国際医学教育シンポジウムの開催などを通じ医療環境整備や医療福祉分野での人材育成に係る新たな支援等の準備を進めるなど、多彩な活動を展開している。

現在、ASEAN 諸国を中心とした 22 の国や地域の 46 機関の大学や医療福祉施設と学術交流協定を締結している。（資料２）

（２）保健医療学部医学検査学科設置の趣旨及び必要性

（本学の理念と専門職教育の特色）

本学は、開学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認め合う「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、また 21 世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。

この理念・目標は、2015(平成 27)年 9 月 25 日に国連総会で採択された 2030(令和 12)年までに達成すべき国際目標である「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals：SDGs)」の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」という基本理念とも一致するものであり、17 の国際目標の達成にも寄与するものといえる。

本学は、従前より実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学として関連医療施設及び福祉施設を有し、少人数制での細やかな教育を実践している。加えて、語り合う体験を通して、様々な人々が共に生きる社会を学生に実感させること、英語による医療コミュニケーションの実践など大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨地実習を一体化させることなど人として成長を促す教育にも取り組んでいる。

さらには、多職種連携・協働やチーム医療・チームケアの一層の成熟を目指して、本学では従前より関連医療施設等と医学部・看護学部・保健医療学部などと連携した独自のカリキュラムを構築(本学では「関連職種連携教育」と称する)し、教育研究活動に取り組んでいる。具体的には、施設見学、講義、グループワーク、臨地実習を通して学部・学科の垣根を越えたチームで実践しながら学年ごとに学びを深めていくものであり、これらの活動を通してチーム医療の一翼を担える医療人の育成を目指している。

(本学医学検査学科教育の特色及び実績)

本学既設の医学検査学科(福岡保健医療学部医学検査学科(2013 年設置)、成田保健医療学部医学検査学科(2016 年設置))においては、ともに長年の教育実績に基づいた確かな教育成果を有している。両学科では、開設から現在に至るまでの着実な教育実績及び前述の本学の専門職教育の特色を生かしつつ、医学検査の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、関連職種連携ワークや関連職種連携実習等といった本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムを通して対人援助職としての医療人教育を行っている。

さらに、本学の先進設備を備えた関連医療施設及び多彩な福祉施設における臨地実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな臨床検査技師を養成する全人教育を行っている。

本年で 10 年目を迎える本学医学検査学科は、開設から現在に至るまでの間に教育実績を着実に積み上げ、国家試験合格者についても 800 人を超え、就職率も概ね 100%と、これまで多くの質の高い臨床検査技師を輩出している。

また本学は社会的、地域的な人材需要の動向等社会の要請に応え、地域の健康増進に寄与し地域の活性化に貢献することが期待されており、既存の医学検査学科においては、いずれもキャンパスのある福岡県及び千葉県への就職率が 3 割から 4 割程度と高い結果となっており、地域への医療人材の安定供給という点で本学は重要な役割を担っているといえる。(資料 3)

(大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の背景)

令和 4 年度版厚生労働白書において、「2040(令和 22)年に医療・福祉分野の就業者数は 974 万人(総就業者数の 16%)と推計されている。他方、医療・介護サービスの 2018(平成 30)年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた 2040 年

の医療・福祉分野の就業者数は 1,070 万人(総就業者数の 18～20%)が必要となると推計されており、96 万人の差が生じている。」との報告がなされた。この不足する 96 万人の中には医療福祉領域の専門職も含まれており、以前よりこれらの地域偏在、業態偏在が課題とされる中で、地域において地域医療や地域包括ケアシステムを担う人材を養成することは重要であるといえる。

このような中で、厚生労働省の令和 2 (2020)年医療施設(静態・動態)調査(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/20/)によると、大田原キャンパスが所在する栃木県において 2020 年の人口 10 万人あたりの臨床検査技師数は病院で 40.82 人、診療所で 8.79 人であり、全国平均の病院 43.73 人、診療所 9.97 人に比較していずれも低値にとどまっている。とりわけ注目すべきことは、2017 年から 2020 年にかけて、人口 10 万人あたりの医療機関における臨床検査技師数は、全国平均では 52.77 人から 53.71 人とやや増加傾向が見られるに対し、栃木県では 54.71 人から 49.61 人と減少している。このことから、栃木県では臨床検査技師が不足しており、少なくとも近年は減少傾向にあるといえる。(資料 4)

また、少子高齢化の進行と健康志向の高まりから、病気の治療だけでなく、予防医療にも注目が集まっているが、臨床検査は正しい治療のために不可欠なものであるとともに、生活習慣病やがんなどの予防・早期発見のためにも重要な役割を果たしている。さらに、近年、国民の医療へのニーズの増大と多様化、チーム医療の推進による業務の拡大、新たな検査項目の登場、検査機器の高度化など、臨床検査技師を取り巻く環境が変化するとともに、求められる役割や知識等も変化している。

このような中、栃木県内の臨床検査技師の養成施設は、現在、3 年制の栃木県立衛生福祉大学校(専門学校、入学定員 20 名)のみとなっており、臨床検査のニーズの高まりに十分応えきれていない。さらに、東北 6 県においては、私立の 4 年制大学臨床検査技師養成施設が 1 校も設置されていない。門戸が広く、地元への就職率の高い私学の 4 年制大学臨床検査技師養成施設の設置は、東北地方医療機関の人材不足の解消に貢献できうると考えられる。

(大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の意義)

現在の医療は、医師の知識と経験のみに基づき触診・診察を行っていた時代とは異なり、患者の詳細なデータを速やかに取得し、その解析に基づき治療方針を立てることが主流である。したがって、臨床検査等の重要性が高まっており、それを担う臨床検査技師の需要も増すものと考える。そのため、高度専門知識や技術を体系的に学ぶことができる 4 年制臨床検査技師養成の意義及び必要性は大きいものといえる。

大田原キャンパスに新たに設置する保健医療学部医学検査学科は、県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科であるとともに、地域の中核医療を担う国際医療福祉大学病院や学科設置を要望している栃木県臨床検査技師会との緊密な連携を通じて、臨床

検査に関する教育・研究を地域において実践的に推進することとしており、大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の意義は大きい。(資料 5)(資料 6)

一方、臨床検査技師自体の役割についても変化が見られる。近年、医師の働き方改革などとも関連して、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立し、臨床検査技師等の業務範囲の見直しが行われ、厚生労働大臣の指定する適切な研修も指定されている※。すなわち現行制度下で実施可能な範囲における医療行為のタスク・シフト/シェアの推進により、多くの検査行為に関して臨床検査技師が医師や看護師の代わりに医療補助行為を安全・安心に実施できることが求められており、今後、臨床検査技師が診療補助を行う範囲は確実に広がることが想定される。より実践的で高度な教育が必要とされる時代となったといえる。

1995 年に誕生した大田原キャンパスは、保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)の 3 学部 8 学科の教育伝統を有し、約 3900 人の学生が学んでいる。大田原キャンパスでは、医療現場で働く殆どの職種をカバーした学科が設けられており、加えて附属病院等の実習施設も有する大学は数少ない。これまでに、約 2 万人の卒業生が医療福祉の現場を中心に活躍している。本学では大田原キャンパスに限らず全てのキャンパスで、既存学部・学科の垣根を越えた学びの機会(本学教育の特色の一つ：後述)を設けており、これらにより地域医療やチーム医療・チームケアに貢献できる人材養成を行っている。今回の学科設置を通じて高い専門性を身につけ対人援助能力に優れた在宅医療をはじめとする地域医療及び地域包括ケアシステムを支える臨床検査技師を養成することにより、活発な多職種連携を通じて大田原市のみならず隣接した市町村住民の健康増進に寄与し、地域の活性化に貢献することも期待される。

さらに、人生 100 年時代といわれ、社会福祉コストの増大が社会的課題とされる中で、予防医療や健康維持増進などの社会的課題に対する様々な諸施策に対峙するという観点からも臨床検査技師の養成は重要である。それらの役割を果たす臨床検査技師は、我が国が目指すべき未来社会の姿として、2016 年に閣議決定された「第 5 期科学技術基本計画」において内閣府が提唱した経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である“Society 5.0”の実現に寄与するものといえる。

※ 2021 年 10 月施行の「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」には、心臓・血管カテーテル検査装置の操作・持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定、血液製剤の洗浄・分割、血液細胞(幹細胞など)・胚細胞に関する操作、救急救命処置の場における補助行為の実施、細胞診や超音波検査等の検査所見の記載、造影超音波検査のための操作、生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本などの所見報告書の作成、病理診断における手術検体等の切り出しや画像解析システムの操作、誘発電位検査、直腸肛門機能検査などの高度な専門的な知識と技術を要する検査も含まれる

（保健医療学部医学検査学科の特色）

保健医療学部医学検査学科(大田原キャンパス)については、前述の設置の背景や意義を踏まえて次のような特長を有している。

①県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科
②充実した医療福祉施設の併設
③臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアにも対応した先進医療を学べる環境
④チーム医療・チームケアに対応した教育
⑤将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定
⑥専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応

（①県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科）

まず、栃木県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科であるということである。臨床検査技師の国家試験受験資格取得という点においては、専修学校(専門課程)での取得も可能である。しかし、専修学校(専門課程)と 4 年制大学においては、選択科目を含めた多様な科目履修という学びの面や卒業後の選択肢の多さという就職・進学に大きな違いがある。

大学の選択科目の中には、一見すると専門領域とは結び付きにくい科目も含まれる。しかし、そのような学問を修めることは物事の多様な見方を可能にし、患者に接する際には他者の立場になって考えることを可能にする。それは将来、思慮深い人間的な深み厚みとなって現れてくる。また、専門領域に関連する科目や語学などは、臨床検査技師として臨床現場で働く上でも重要となる最新の知識とスキルを学び身につけることができ、国際的な視野を涵養することができる。さらに本学では、社会的ニーズに応じて、数理・データサイエンス・AI 教育やチーム医療・チームケア、臨床検査診断学(Reversed-CPC)に関する科目を必修化している。これらをデータリテラシーや我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、関連職種連携論、疾患・病態を推測できる基礎的な考え方などの授業を通じて学び、実践に役立つ知識、問題解決能力、医療人としての常識や教養を幅広く身につけることが可能である。

また、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」(令和 3 年法律第 49 号)が成立し、臨床検査技師等に関する法律施行令及び施行規則についても改正されたことで臨床検査技師の業務範囲が拡大されており、それらに対応する知識や技術を身につけることが求められている。言い換えれば、タスクシフト・シェアにともない検査に必要な業務を一貫して担える人材が更に求められるようになる。このような臨床検査技師業務の範囲拡大に関する社会的な期待とその責務を踏まえると、系統的かつ実践的な知識、先進かつ発展的な技術力、柔軟なコミュニケーション能力及び高度な問題解決能力を身につけた臨床検査技師の育成が必要である。

(②充実した医療福祉施設の併設)

次に、充実した医療福祉施設を併設しているという点である。

大田原キャンパスに隣接する那須塩原市及び矢板市に大学附属病院として、それぞれ国際医療福祉大学病院及び国際医療福祉大学塩谷病院を有している。このうち国際医療福祉大学病院では、2013 年には、栃木県内で初めて手術支援ロボット「ダビンチ」を、2014 年には栃木県県北地域で初めて PET-CT を導入し、地域中核病院として質の高い医療を提供してきた。栃木県のみならず広く関東地方北部や東北地方南部から、多くの来院者を迎える中核的な総合病院となっている。

また、キャンパス内に障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、栃木県で唯一の児童心理治療施設、認定こども園、アジア有数の言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、多様なミッションを担う医療福祉施設を併設しており、栃木県県北地域の基幹医療施設として地域医療に貢献するとともに保健・医療・福祉の一大ゾーンを形成している。さらに、大田原キャンパス、国際医療福祉大学病院及び国際医療福祉大学塩谷病院を含めて全国に 5 つの大学キャンパス及び 6 つの大学附属病院を有し、関連職種連携を推進し医療に対する社会的ニーズに応える人材の育成と教育を展開している。

このような教育環境は、より実践的な臨床検査技師の育成には、最も適したものであると考える。

2025 年には後期高齢者は 2,200 万人を超えると予想され、国民の 4 人に 1 人が後期高齢者となる超高齢社会が到来する。この状況に対し厚生労働省は住み慣れた環境で療養し、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を推奨している。地域包括ケアシステムではその地域に暮らす人々を多職種協働で支えていくことが重要であるが、その中で臨床検査技師の役割の重要性は益々注目される。すなわち、病院や医療施設での検体検査や生理検査における高齢者への配慮の他に、今後患者が増加することが予想される在宅医療においても多様な本学が有する充実した医療福祉施設での多様な実践経験が十分に生かされると考えられる。

このように大田原キャンパスにおいては、キャンパス内及び近接地に様々な、保健・医療・福祉施設を有し、地域医療や地域包括ケアに必要な知識を実践的に学ぶ教育・医療・福祉一体の理想的な教育環境が長年整備されており、将来の臨床検査技師の活躍の場を具体的にイメージできる環境が整っているといえる。

加えて、医療現場では多くの新規検査が導入されているため、これらに対応できる専門的な知識を持つ臨床検査技師の存在は不可欠である。一方で DX によってマニュアル作業がオートメーションに移行し、細かく煩雑な人為的作業は大きく削減しつつある中、今後、オートメーション作業を管理し、複雑な表現を交えたコミュニケーションが求められる現場においては、専門的知識を有しながらも機械化できない部分も担うことができる臨床検査技師の需要は高まるものと考えられる。近い将

来、オートメーション作業を総合管理するAIの開発と実装及びその管理運用、加えて検査データの価値付与が次世代の臨床検査技師の業務になるともいわれており、AIを活用できるコミュニケーション力が高い臨床検査技師が求められると考えらえる。

このような中にあって、本学には、栃木県内にある国際医療福祉大学附属病院をはじめ6つの附属病院を有し最新の医療機器に接することが可能であり、DXを積極的に取り入れた検査体制を有しており、先進の教育・研究を行っていることから充実した臨地実習を行える環境が整っている。

(③臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアにも対応した先進医療を学べる環境)

臨床検査技師等に関する法律の一部改正が2014年6月に成立し、採血以外の検体採取も臨床検査技師が行うことができるようになった。これにより2020年以降の新型コロナウイルスの流行拡大に対し、PCR検査、抗原検査を導入、鼻咽頭ぬぐい液など臨床検査技師が、検体採取し検査から報告までを連続して担うことにより、迅速で質の高い新型コロナウイルス検査が全国どの医療機関でも実施されたところである。検体採取による病因微生物の分析のみならず、血液や組織中に含まれる酵素、蛋白や脂質、生体活性物質などを正しく分析し、あるいはその遺伝子情報を詳細に分析することは、がんなどの種々の疾患の病態生理の解明に役立つのみならず、成人病や難病に対する予防医学の観点からも貢献が大きい。また近年、内視鏡検査においても臨床検査技師が医師の具体的な指示の許で内視鏡下の生検を担当し検体を採取する行為が実施可能とされている。臨床検査技師の検体採取業務は、単なるタスク・シフトだけでなく、遺伝学的検査や検体検査をはじめとする臨床検査データの品質管理を保証することになり、さらに臨床検査技師の専門能力をチーム医療の中で十分に発揮させることに繋がると考えられる。

「医師の業務のタスク・シフト/シェア」の推進が進められてゆく上で、現行制度の下でも実施可能な業務が厚生労働省の検討会において選定された。更に「法令改正を行いタスク・シフト/シェアを推進する業務」が分別され、前述のように臨床検査技師等の業務を含んだ「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が2021年10月から施行されている。近年では医療現場において最先端技術の導入が急速に進んでおり、新興感染症や再興感染症に対応できる微生物検査の開発が進んでおり、がんや成人病の発病や薬効を左右する個人差を解明してオーダーメイド治療を可能にする遺伝子検査が期待されている。再生・免疫分野の細胞療法や生殖補助療法、あるいは生理検査や生理画像検査においても、より診断・治療の精度を高める工夫が日々なされている。大学教育ではこれらの先進的な内容に、積極的に対応して教育を実施することとしている。

具体的には、本学では臨床検査技師として必要な、最先端の微生物検査、遺伝子検査、病理検査、血液検査、臨床化学・免疫検査、生理機能検査、超音波検査などを実践臨床の現場で系統立てて学べる環境を用意している。本学附属病院や関連医療施設やセンターでは、最先端の医療機器を導入し長年にわたる豊富な診療実績を有している。本学がこれまで設置し発展させてきた福岡保健医療学部医学検査学科(大川キャンパス)、成田保健医療学部医学検査学科(成田キャンパス)との相互的協力関係も構築することとしている。

また、前述のごとく医療福祉の総合大学としての特性を活かし、豊富な多職種との連携が可能である。中でも放射線・情報科学科との連携により、種々な画像診断・治療分野(MRI、超音波、内視鏡など)における最新機器へのアプローチとエキスパートの協力が得られる。

以上のような環境を活かして、教育を行うことにより臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェア等に対応した先進医療を学べ、国内外で活躍できる臨床検査技師の育成が可能である。

(④チーム医療・チームケアに対応した教育)

タスク・シフト/シェアの円滑な実施にあたっては、具体的な役割分担・連携の在り方、導入方法などの個別論点を整理する必要がある。そのため、今まで以上にチーム医療・チームケアの理解が必要であり、大学教育においても重要性が増している。

これらに対応した教育として、本学では従前より独自のカリキュラム「関連職種連携教育(IPE：Interprofessional Education)」で、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の臨床現場に不可欠の「チーム医療・チームケア」を、段階的に学ぶ機会や環境を設けている。これによって、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の現場に不可欠な「チーム医療・チームケア」を段階的に学ぶ機会や環境を整えている。

具体的には、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師といった医療関連職種に加えて、理学療法士、作業療法士、視能訓練士などのリハビリテーション関連職種、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士といった福祉関連職種、診療情報管理士を中心とした事務関連職種を目指す学生らが共に学びあう。このような充実した多職種との連携教育は本学の特長及び伝統であり、全国的にも優れているのではないかと考える。

関連職種連携教育の進め方は、以下のとおりである。

１年次に、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を開講し、本学が養成する医療福祉専門職の職域や職務について、実際に資格を有する教員が授業を行い、チーム医療・チームケアの概要を学修する。

２年次は、「関連職種連携論」により、各職種の共通用語である「国際生活機能分類」の活用方法を始めとした、チーム医療・チームケアの実践に必須となる知識などを学修したうえで、実例をとおして様々な患者に対するチームによる介入方法や自立支援の方法を学ぶ。

３年次は、「関連職種連携ワーク」により、各学科の学生から構成される少人数制グループで、模擬患者に対するアプローチ方法をチューター教員の指導のもと検討する。そして、グループワークの成果を学内報告会で発表し、第三者からの評価や第三者への説明を通じて、学生が主体的に学びや気づきを得る教育を行う。

４年次には、選択科目として「関連職種連携実習」を開講する。本学附属病院や関連施設に加えて、本学のチーム医療・チームケア教育に理解をいただいた地域の基幹病院にて、キャンパスの垣根を越えて 11 学科 11 職種を目指す学生による混成チームを作り、１週間ほどの実習を行う。2022 年度は 13 チーム、127 名の学生が９か所の病院・施設で実習を行い、2023 年度においては更に規模を拡大して、18 チーム、167 名の学生が 14 か所の病院・施設で実習を行っている。

実習では、実際にケースカンファレンスへの参加や、患者に対するアプローチ方法を検討して、チームでアセスメントサマリー・総合サービス計画の作成と評価を実施する。実習後は学内報告会で実習指導者及び教員、他チームの学生を前に発表を行う。

また、関連職種連携教育に関する一連の科目群において、２種類のアンケート(RIPLS：Readiness for Interprofessional Learning Scale／IEPS：Interdisciplinary Education Perception Scale)を他学科と同様に実施する。本アンケートは、受講者に授業の教育効果の認識(前者)、自職種に対する認識(後者)を調査するものであり、これらのアンケート結果をもとに、関連職種連携教育に関する会議体(臨床教育委員会)にて、教育効果が高まるよう議論及び検討を行う。

(⑤将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定)

進路として臨床検査技師の資格取得にとどまらず、卒業後のキャリアアップを目指した、様々な選択科目のオプションを設定している。

すなわち、臨床検査技師国家試験の受験資格に加え、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士など複数の資格取得を学生の希望に応じて目指すことが可能なカリキュラム編成を行うとともに、卒業後の胚培養士資格も視野に入れた幅広い専門的な選択科目、具体的には「細胞診断学演習」、「遺伝子分析科学演習」、あるいは「生殖補助医療胚培養学」などの授業科目を用意している。

近年、我が国は社会的要因による晩婚化・晩産化が進み、少子化が進んでいる。その対策の１つとして不妊治療が保険適用となったことに加え、地方自治体から患者に対して助成金が交付されるなど、以前に比べると治療を受けやすい状況となっている。このような状況では、今後、医療職である臨床検査技師が胚培養士として

不妊治療において各種検査を行うのみならず、胚培養技術を広く普及させることにより、少子化が進む我が国の生殖補助医療に深く貢献できると考えられる。

本学では 2005(平成 17)年に我が国で初めて胚培養士養成のための大学院保健医療学専攻修士課程を開設するとともに、生殖医療分野において豊富な実績を有する関連医療機関を有している。本学が地域において医療の知識や技術、倫理観を備えた胚培養士(エンブリオロジスト)を学部及び大学院での学びをとおして養成することの意義は大きい。さらに、胚培養士となった場合においても、関連施設での就学や大学院進学などキャリアアップを支える環境が整っているといえる。

このような臨床検査技師が卒業後においても社会の変化に対応して自らの能力をアップデートできる体制を整えている点が特長の一つである。

なお、いずれの資格取得も決して容易なものではないが、本学では可能な限り学生の希望に沿った学びを支援する意向である。

(⑥専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応)

資格取得を目指す授業科目だけでなく、特に低学年においては幅広い教養と豊かな人間性を涵養するための多彩な総合教育科目を用意している。約 2 週間海外の医療機関などで実習を行う「海外保健福祉事情」をはじめとして英語のみならず幅広い外国語教育などの選択科目を提供し、国際的なコミュニケーション能力の向上にも注力している。一方、高学年においては、先進臨床検査技術学で先進医学の進歩を学び、「臨床検査研究論」の授業に加え研究室配属や卒業研究を通して、臨床検査を基盤とした基礎及び実践的研究へのモチベーションを高めるプログラムを用意している。本学は、卒業後も大学院への入学を通じて臨床検査学の研鑽に励む学生への対応として、2016(平成 28)年から大学院の医療福祉学研究科に臨床検査学修士課程及び博士課程を開設している。毎年、多数の院生が大学院に入学しており、現在までの修了生も本年 3 月で修士課程 50 名、博士課程 17 名、論文博士 3 名に達する。充実した研究施設を元に充実した研究を継続できる伝統と環境は、生涯にわたる臨床検査技師としてのキャリアアップの醸成に貢献できる。

以上のように、社会的、地域的な課題や人材需要の動向等社会の要請を踏まえ、将来の臨床検査技師像を見据えた教育機関として、地域に根ざした専門職を養成することを目的として、大田原キャンパスに医学検査学科を設置するものである。

(3)保健医療学部医学検査学科において養成する人材

上記のとおり、栃木県内には 4 年制大学の臨床検査技師養成学科が存在せず、東北地区には臨床検査技師養成校が全国的にも数少ない。そこで本学は、栃木県を中心とする北関東及び東北地方に貢献することを主たる目的として、大田原キャンパスに医学検査学科を設置し、本学の教育理念・教育目的に則り、以下のディプロマ・ポリシーを掲げ、

高い倫理観・探究心・向上心を有し、病院や検査センター、研究施設、そして、在宅医療などの大きく変貌する医療現場での多様な変化に応え、実践的に活躍できる臨床検査技師を養成する。

また、地域における医療等の現状と課題について理解し、チーム医療に携わり活躍できる医療人としての見識を早くから身につけるために、医学科、看護学科、薬学科等の学生とともに医療福祉を総合的に学ぶ関連職種連携教育を実施し、チーム医療・チームケアの一翼を担う地域医療を支える人材を養成する。

さらに、自らの世界観を育むとともに広い見識を持つために、海外研修や語学教育を通じて国際性を養い、IoT、ロボット、人工知能（AI)、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼすデータサイエンスの領域の進展にも積極的に対応できる人材を養成する。即ち、いわゆる社会福祉コスト増大が社会的課題とされる中において、Society 5.0の目指す経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会の実現に必要とされる知識や技術、さらに思考力を修得した、将来の臨床検査業界を牽引できる臨床検査技師を養成することを目指す。

豊かな人間性を身につけ、正確かつ高精度な検査情報を提供でき、検査データから疾患・病態を推測できる臨床検査技師を育成する。4つの養成コース（細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士 (初級) コース、胚培養士コース、医用質量分析認定士コース）を設置し、高度な医療専門人材を養成する。

これらにより、栃木県及び隣接する周辺地域や東北地方はもとより、全国あるいは世界において活躍・貢献できる人材の養成を目指すものである。

(教育目的：ディプロマ・ポリシー)

教育理念：

前述のとおり、本学は、「共に生きる社会」の実現を建学の精神とし、次の3つを基本理念として医療福祉専門職の養成を行ってきた。

ア．人間中心の大学であること

イ．社会に開かれた大学であること

ウ．国際性を目指した大学であること

そして、本学は教育理念として「人格形成」、「専門性」、「学際性」、「情報科学技術」、「国際性」、「自由な発想」、「新しい大学運営」の7つを掲げている。この建学の精神・基本理念・教育理念に基づき、地域医療に貢献する臨床検査技師の育成を目指し、7つのディプロマ・ポリシーを教育目的として教育を実施する。

教育目的(ディプロマ・ポリシー)：

DP1： 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。

DP2： 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。

DP3: チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。

DP4： 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。

DP5： 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。

DP6： 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。

DP7： 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。

ここに３つのポリシーとその相関図について資料を提示する。(資料 7)

(４)研究対象とする中心的な学問分野

本学医学検査学科が対象とする中心的な学問分野は、学位の分野からみると「保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)」に属する。医学検査学科の研究対象とする中心的な学問分野は、保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)の中の臨床検査学分野である。本学は大講座制をとっており、本学科においては、大きく「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」に分類され、これをもとに教育・研究体制として置く。

形態検査学は病理組織細胞学、臨床血液学を、生化学分析検査学は、臨床化学、臨床質量分析学を、病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子分析科学を、生理機能検査学は臨床生理学と定める。なお、遺伝子分析科学及び臨床質量分析学は横断的な共同研究の体制をとる。

医学検査学科では細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士（初級）コース、胚培養士コース、医用質量分析認定士コースの 4 つの養成課程を設置し、各コースの分野において研究を発展させることで教育の充実を図る。細胞検査士養成コースでは、形態検査学における内容とし、遺伝子検査学や臨床質量分析学など多角的な視点で研究を実施し、形態検査学を発展させる内容とする。遺伝子分析科学認定士（初級）コ

ースでは、分子生物学的解析技術を用いて臨床診断する手法を研究する。胚培養士コースでは、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供する実践能力を養う内容とし、体外受精を中心とした生殖補助医療に関する広範囲な研究内容を実践する。医用質量分析認定士コースでは、近年急速に進化している医用質量分析学に対応するため、臨床検査法としての質量分析技術を修得する内容の研究とする。

教員各自が専門領域において独自の先進的な研究に取り組むとともに、大講座制とすることにより、各教員の自由度を高めながらも、共同で課題解決に向けた組織が構築可能な体制とする。加えて、本学の強みである国際医療福祉大学病院をはじめとした本学関連の医療福祉施設との連携を生かし、基礎から臨床へ、またその逆に臨床から基礎へと双方向トランスレーショナルリサーチを実施することで、常に大学と臨床現場の課題解決に努め最新の知見が得られるよう課題に合わせた学問分野を組織する。その結果、「エビデンスとなる医療データを創出する」を標榜する医学検査学科としての教育・研究内容を高めていく。

(5)教育研究上の数量的・具体的な到達目標等

臨床検査技師学校養成所指定規則に準拠した臨床検査学教育を中心に、臨床検査技師として必要な資質を養うための一般教養科目、臨床検査学基礎科目、臨床検査学専門科目等を適正に配置し、人間性・社会性・専門性を備えた臨床検査技師を養成する。国家試験では合格率 100%を目指す。

また、臨床検査学の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、チーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな臨床検査技師を養成するために、本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムによる医療人としての教育、本学の関連医療施設及び福祉施設における臨地実習を実施し、いわゆるチーム医療において活躍できる人材育成を目指す。さらに、地域の臨床検査技師会等と密に連携し、情報交換や教育の質向上に向けた意見交換の場を定期的に設けることで、栃木県内への就職比率について、保健医療学部医学検査学科では30%以上を目指す。

グローバル社会におけるコミュニケーション力を涵養するため、多くの外国語科目を設けるとともに、海外研修としての「海外保健福祉事情」への積極的な参加を促すことで、国際的な視野をもつ学生を養成し、外国語が必要とされる医療機関等への就職も実現する。

2．学部・学科等の特色

保健医療学部医学検査学科は、前述のとおり高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる臨床検査技師の養成とともに、先進医療(再生医療、移植医療、生殖

補助医療等)やゲノム医療やオーダーメイド医療にも適応できる高度医療専門人材を養成するという目的に沿い、教育・研究体制を置く。

本学には、大田原キャンパスに近接する地域に不妊治療を行うリプロダクションセンター等を開設している附属病院としての国際医療福祉大学病院、またキャンパス内には障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、児童心理治療施設、認定こども園、言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど6つの医療福祉施設を有しており、教員と臨床現場が緊密に連携できる環境が既に整っている。つまり、本学科の特色の1つとして教員が相互に密接に連携し、1年次より4年次までのカリキュラムを担当することにより、現在医療人としての臨床検査技師に必須な基礎から臨床までの高度な知識と技能を効率よく修得させることがある。加えて、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・診療放射線技師・薬剤師、社会福祉士や精神保健福祉士を目指す学部学科が併設されており、チーム医療・多職種連携を学ぶ環境が整っていることも特色である。

また、未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍する医療人を養成するために全人的教育に力を注ぎ、医療人・社会人として成長するための「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」、医療倫理やプロ意識・医療情報を学ぶ「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」、我が国の社会福祉や医療保障政策を学ぶ「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」を必修科目として設定した。

さらに、数理・データサイエンス・AI教育プログラムとして「データリテラシー」を必修科目、「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)」「医療データサイエンスⅡ(AI基礎)」を選択科目として提供している。

その他、社会系科目の講義「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、国際人を目指した語学力(会話力)向上のための「英語講読1(Primary)」「英語講読2(Basic)」「英語CALL 1 (Primary)」「英語CALL 2 (Basic)」を必修としている。

加えて、卒業後の地域医療、チーム医療・多職種連携に対応できるよう「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」を必修とし、「関連職種連携実習」や「ケアマネジメント論」「ケースワーク論」などの充実した選択科目を提供している。

また、本学は、高度な臨床能力と研究能力を修得した臨床検査学分野の研究者の育成を目的に、大学院医療福祉学研究科臨床検査学分野の修士課程・博士課程を2016(平成28)年4月から開設している。本学大学院は、臨床検査学分野の修士・博士課程において、臨床検査学講義・演習を通じ、最新の検査知識及び技術を学ぶと共に、次世代に必要とされる検査法や機器・試薬の開発など、多方面からの研究を行うことで研究的思考を兼ね備えた人材の育成を目指している。修士課程・博士課程修了生は、豊富な知識と技術及び高度な研究能力を兼ね備えた専門性の高い人材として、多彩な領域で教育者・研究者として活躍している。保健医療学部医学検査学科の卒業生においても本学大学院の修士課程・博士課程進学につながる課題を卒業研究などで学び、積極的に臨床検査学研究に取り組むことができる環境を提供する。

３．大学、学部・学科等の名称及び学位の名称

(１)学部、学科の名称

医学検査学の学問全般に関わる知識、技能、態度を培い、臨床検査技師を養成することを主たる目的とする学部、学科であり、学生や一般の人にも理解しやすい名称であることが好ましいため、学部、学科の名称は以下のとおりとした。

また本学では、既に千葉県成田市及び福岡県大川市の成田保健医療学部、福岡保健医療学部にそれぞれ医学検査学科を設置しており、この2つの学部は設置場所を明確にするため地名を冠することとしているが、開学の地であり、本部を置く大田原キャンパスにおいては次のとおりとする。

○学部の名称　　保健医療学部
○学科の名称　　医学検査学科

(２)学位及び専攻分野の名称

授与する学位の名称は、教育研究分野に基づき、下記のとおりとする。

医学検査学科：学士(医学検査学)

(３)学部、学科及び学位の英訳名称

学部、学科及び学位の英訳名称は、国際的な通用性や成田市や大川市に設置する各保健医療学部医学検査学科の英訳を考慮して下記のとおりとする。

学部名称	保健医療学部	School of Health Sciences
学科名称	医学検査学科	Department of Medical Technology and Sciences
学位名称	学士(医学検査学)	Bachelor of Medical Technology and Sciences

４．教育課程の編成の考え方及び特色

(１)カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

保健医療学部医学検査学科では、以下のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)及び前述のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づいて教育を行う。

CP1：　臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP2： 獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP3： 臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有すると共に、他部門とのチームを構築して問題解決にあたることのできる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP4： 生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

2013(平成 25)年に設置された福岡県大川市にある福岡保健医療学部医学検査学科では、10 年以上教育・研究活動を行い、これまでに多くの有為な人材を輩出してきた。本学では、医療機関・在宅介護等さまざまな局面で多職種と連携してチーム医療に貢献する臨床検査技師の育成を主眼にしており、2016(平成 28)年に設置された成田保健医療学部医学検査学科も同様の教育方針としている。

今回設置を予定している保健医療学部医学検査学科においても基本的に既存の医学検査学科の教育方針を踏襲するとともに、臨床検査技師学校養成所指定規則に準拠した教育を行い、学生は、知識・技能・態度のバランスを保ちながら講義と実習を通して臨床検査学を学ぶ。

（2）教育課程の体系的な編成方針・編成方法

保健医療学部医学検査学科は、既存の医学検査学科同様にチーム医療に貢献する臨床検査技師の育成を主眼として教育を行う。臨床検査技師の活躍する主たる場として医療機関、各種検査機関や在宅などを想定する。そのため臨床検査技師に必要な知識・技能等に加え、関連職種連携やコミュニケーション力涵養のための教育を行う。1 年次では臨床検査学専門科目以外の科目を多く学び、総合教育科目により教養の涵養に努める。1 年次から 3 年次にかけて基礎系科目、検体系検査科目、生理学的検査科目、検査機器管理科目を、科目間の連携を重視しながら学ぶ。3 年次後期に医療機関等で長期臨地実習を行う。4 年次には実習で得られた知識・技術の統合を図る。また 4 年次は、卒業研究を行い、問題発見・解決能力を身につける。

以上のような教育を通して、知識・技能のみならず国際性・倫理感・研究能力を備えた臨床検査技師を育成する。

保健医療学部医学検査学科の各年次の授業科目の履修等の概要については、以下のとおりである。

●1年次

1年次前期は幅広く教養を深めるための学修が中心となるが、それと並行して医療への理解を深める専門基礎科目や、臨床検査への意識を高める専門的な科目を開設する。

1年次前期から必修科目として英語を学ぶ。1年次前期から後期にかけて講読主体の授業と CALL による教室でのコミュニケーション主体の授業を並行して実施して基礎をしっかり学ぶ。いずれの授業も全授業の半分以上は医療英語を扱うものである。英語に関しては、必修科目以外にも「英語会話1 (Primary)、 2 (Basic)、 3 (Intermediate)、4 (Advanced)」、「上級英語会話1(発展)、2(総合)」、「英語医療通訳入門 1、2」など様々な内容の授業を選択科目として用意し、低学年のうちから国際性の涵養に努める。

英語以外にも「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」を選択科目として用意している。なお、語学の選択科目は在学中任意の学年で履修できるようになっている。

「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」など社会科学系科目も必修科目として学ぶ。この他に総合教育科目として「哲学」、「文化人類学」、「死生学-死を通して生を考える-」などの科目も用意しており、人としての知性や倫理観を磨くため学生の興味に応じて科目を自由に選択できる。

1年次前期の必修科目「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」では大学の授業を受けるに当たっての心構えを学ぶ。

また、1年次前期の必修科目「データリテラシー」、1年次後期の必修科目「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」では、医療統計・生物統計の基礎を学び、情報リテラシーの育成に資する。さらに、1年次後期に選択科目「疫学・保健医療統計学」を設け、1年次後期から2年次後期にかけて物理系、化学系、生物系の専門科目を学ぶ。なお、1年次から 4 年次に渡り、配当年次を決めずに選択できる様々な総合教育の選択科目が用意されている。

医療専門職への意識を早期に高めるために1年次に学ぶ専門基礎科目の必修科目として、「保健医療福祉制度論」が設定されている。このほかにも「微生物と病気」「看護論」「ケアマネジメント論」「社会福祉学」「臨床心理学概論」「医療経営管理学」「ケースワーク論」などの専門基礎科目が1年次からの選択科目として用意されている。

また、臨床検査技師専門職への意識を早期に高めるために、1年次後期において学ぶ必修の専門科目として、「一般検査学」「臨床化学検査学 I（糖質,タンパク質,脂

質）」「遺伝子検査学」「臨床検査基礎演習」「入門細胞診断学演習」を履修することになっており、1 年次から 3 年次にかけて配当年次を決めずに選択できる「医科分子生物学」も用意している。

●2 年次

2 年次では、1 年次に引き続き、臨床検査学に関する専門基礎知識と技能について修得するとともに、臨床現場で応用できる専門技能を修得するために、「公衆衛生学」、「組織学演習」、「臨床医学概論」、「内科学」、「検査機器学・情報システム学総論」を必修の専門基礎科目とし、「病理検査学」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、「血液検査学 I（形態系,凝固・線溶系の基礎）」、「血液検査学 II（形態系、凝固・線溶系の応用）」、「一般検査学実習」、「臨床化学検査学 II（酵素、ホルモン、ビタミン）」、「臨床化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」、「遺伝子検査学実習」、「微生物検査学 I（細菌）」「微生物検査学 II（ウイルス、真菌）」、「医動物学演習」、「輸血・移植検査学」、「生理検査学 I（循環器,脳・神経、筋系）」、「生理検査学 II（呼吸器,感覚器、平衡機能）」、「超音波・MRI 検査学」、「超音波・MRI 検査学実習」、「臨床検査統計学」、「医療安全管理学演習」を必修の専門科目として学ぶ。

また、情報・科学技術を生かす能力の向上を目指して、数理・データサイエンス・AI 教育特にビッグデータの適切な活用能力の強化のために 2 年次以降に修得できる「医療データサイエンス I(DS 基礎)」、「医療データサイエンス II(AI 基礎)」を用意している。

特に、3 年次後期に実施する臨地実習に備えて本学独自のカリキュラム関連職種連携教育(IPE ： Interprofessional Education)である「関連職種連携論」を必修科目として学ぶ。

その他にも、「救急医学」「リスクマネジメント論」「電子カルテシステム入門」などを医療に役立つ選択科目として用意している。さらに、細胞検査士資格取得を目指す学生のために、2 年次に「細胞診断学演習 I （婦人科基礎）および II（婦人科応用）」を用意し、胚培養士資格取得を目指す学生のために「生殖補助医療胚培養学」を用意している。

●3 年次

3 年次では、客観的臨床能力試験合格後に実施される臨地実習に参加することとし、それに向けて主に 3 年前期では臨地実習に備えて 2 年次に引き続いて、臨床現場で応用できる臨床検査学のより実践的な専門知識と技能の修得を主目的とし、以下の必修専門科目を学びつつ、関連職種連携教育(IPE：Interprofessional Education)を通じて、現在の医療システムの全体像とその中における臨床検査技師の役割を理解する(「病理検査学実習」、「血液検査学実習」、「微生物検査学実習」、「輸血・移植検査学実習」、「生理検査学実習」、「精度管理学」、「臨床検査特論 I（応用）」、

「臨床検査研究論」、「循環動態画像診断学」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅰ(基礎)」、「関連職種連携ワーク」)。

また、最も重要視される学外臨地実習が後期に実施される。本学外臨地実習では、学外の病院等において、11 週間にわたり、検査受付・採血、一般検査、血液検査、免疫検査、生化学検査、細菌検査、遺伝子検査、病理検査、輸血検査、生理学的検査等を経験する。

3 年次では、それまでの臨床的総括と発展的な内容にふれる「臨床検査特論Ⅰ(応用)」や 4 年次の卒業研究に向けての「臨床検査研究論」も用意されている。さらに、細胞検査士資格取得を目指す学生のために「細胞診断学演習 III (呼吸器,体腔液基礎)および IV(呼吸器,体腔液応用)」を、遺伝子分析科学認定士(初級)資格取得を目指す学生のために「遺伝子分析学演習Ⅰ(基礎)」を用意している。

●4 年次

4 年次には、これまでに修得した臨床検査学専門知識及び医学知識を活用し、さらなる臨床応用力を養うために「臨床検査特論Ⅱ(発展)」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅱ(応用)」を学ぶ。

また、4 年次には「卒業研究」を行う。「卒業研究」 は 、テーマに沿った問題解決能力を養う大切な機会となる。「卒業研究」により、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得する。

前述のように、関連職種連携・チーム医療・チームケアの実践応用として選択科目である「関連職種連携実習」が用意されている。また、低学年で修得できなかった多方面にわたる人文系、自然情報系、外国語系の総合教育科目の選択科目の履修も可能である。さらに、医用質量分析認定士の資格取得を目指す学生のために「臨床検査質量分析学演習」を、遺伝子分析科学認定士(初級)の資格取得を目指す学生のために「遺伝子分析学演習 II(実践)」を、胚培養士資格取得を目指す学生のために「生殖補助医療胚培養学演習」を用意している。

以上のとおり 、保健医療学部医学検査学科の教育課程は、臨床検査学重視、 臨床検査技師国家試験、卒業後の多様性の観点から編成されており、チューター制を活用する等教育上の配慮を十分行うこととしている。4 年間において無理なく「専門性を持ち多様な場で活躍できる臨床検査技師」を養成するため、高度な資格を取って専門性を高めることのできる教育プログラムを編成している。さらに、関連職種連携教育(IPE:Interprofessional Education)を取り入れることで、「総合的に患者・生活者を見る姿勢」及び「情報・科学技術を生かす能力」を養える教育プログラムとなっている。

（3）科目区分の設定及びその目的・内容

本学は、建学の精神、基本理念・教育理念のもと、幅広い教養科目を基礎におき、また専門分野に関する科目については体系的に構成するカリキュラムとなっており、保健医療学部医学検査学科もこれに準ずる。

本学の科目区分の設定とその目的･内容等は以下のとおりである。

本学の授業科目は、大別すると、「総合教育科目」と「専門教育科目」に区分され、「専門教育科目」は、さらに「学部共通専門基礎科目」と「専門基礎科目」、「専門科目」に区分される。

1）「総合教育科目」は人間系、社会系、自然・情報系、総合系、外国語系、保健体育系に区分しており、幅広い視野と豊かな人間性を育むとともに、専門教育を受ける上で必要となる基本的な知識を修得できる多くの選択科目を開講している。保健医療学部医学検査学科は 4 年間にわたり総合教育科目について学ぶ機会を設けている。

2）「専門教育科目」は、「学部共通専門基礎科目」と「専門基礎科目」、「専門科目」から成る。

①学部共通専門基礎科目

学部共通専門基礎科目は、医療福祉に関係する専門的知識と関連した幅広い教養と科学的思考力を身につけられるよう、多数の選択科目を配置している。医療専門職として共通の知識である「公衆衛生学」を必修科目としている。

また、大学全体として、チーム医療・福祉を実現できる専門職の養成を目指したＩＰＥ(Inter Professional Education：関連職種連携)教育を実践する目的で、「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」、「関連職種連携実習」が開設されており、「関連職種連携実習」以外は全学科必修である。

②専門基礎科目

専門基礎科目は、臨床検査学の高度な専門知識を学ぶための前提となる知識および技術を学ぶ科目群で構成している。「解剖学Ⅰ(総論)」「解剖学Ⅱ(各論)」「組織学演習」「生理学」「病理学」「臨床医学概論」「内科学」等の基礎医学系科目、「病態薬理学」「臨床栄養学」「遺伝学」「分析化学」「生化学」「医用工学・情報概論」「検査機器学・情報システム学総論」等の臨床検査学の専門科目を学ぶための前提となる科目で構成し、これらの科目をすべて必修としている。

③専門科目

専門科目は、高度な専門知識や技術を修得するため、「病理検査学」「病理検査学実習」「細胞診断学」「細胞診断学実習」「血液検査学Ⅰ(形態系,凝固・線溶系の基礎)」「血液検査学Ⅱ(形態系,凝固・線溶系の応用)」「臨床化学検査学Ⅰ(糖質,タンパク質,脂質)」「臨床化学検査学Ⅱ(酵素,ホルモン,ビタミン)」等の学科独自に開講する科目となっている。

なお、授業科目の区分については、下表のとおりである。

授業科目の区分		教育目的・内容
総合教育科目	人　間　系	幅広い視野と豊かな人間性を育むとともに、専門教育を受ける上での基本的な知識を修得するための科目
	社　会　系	
	自然・情報系	
	総　合　系	
	外国語系	
	保健体育系	
専門教育科目	学部共通専門基礎科目	医療関連専門職として共通した知識・技術を修得するための科目
	専門基礎科目	高度な専門知識・技術を学ぶための前提となる知識・技術を修得するための科目
	専 門 科 目	高度な専門的知識・技術を修得するための科目

また、国際的な観点として、英語のみならず、第二外国語としてフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語を選択科目として履修できる環境を整備している。

さらに、保健医療学部医学検査学科では、保健医療福祉専門職の国際化に対応できる基礎的な能力を身につけることや、国際人として異文化理解に関連するコミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルを修得することを目的とした総合教育科目である「海外保健福祉事情」も設けている。本科目では、本学が提携する海外の医療機関等において各国の医療福祉の現場に直接触れることで、国際的視野の涵養を図っている。

(4)保健医療学部医学検査学科の教育理念を実現するための主要授業科目の設定

本学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念(人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営)を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行っている。さらに、3ポリシーを踏まえた上で、チーム医療・チームケアに貢献できる優れた人格と国際性を兼ね備えた専門職を育成するため、主に以下の点を踏まえ、主要授業科目を設定する。

1)学科の学位授与の条件となるディプロマ・ポリシーの達成に必要な授業科目は当該学科の主要授業科目である。

2)学科の卒業生の取得する専門医療資格に必要な授業科目(設置基準や指定規則上必要な科目、国家試験出題科目、モデル・コア・カリキュラムにおいて必要な科目など)は当該学科の主要授業科目である。

3)本学の特色及び学科の特色を実現するための授業科目は当該学科の主要授業科目である。

当該学科、主要授業科目について、次のとおり列挙する

上記 1)及び 2)関連の授業科目

【総合教育】

我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、化学、データリテラシー、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-、英語講読 1 (Primary)、英語講読 2 (Basic)、英語ＣＡＬＬ 1 (Primary)、英語ＣＡＬＬ 2 (Basic)

【専門教育】

公衆衛生学、関連職種連携論、関連職種連携ワーク、保健医療福祉制度論、解剖学 I (総論)、解剖学 II (各論)、組織学演習、生理学、病理学、臨床医学概論、内科学、リハビリテーション医学、老年学、病態薬理学、臨床栄養学、遺伝学、分析化学、生化学、生化学実習、医用工学・情報概論、医用工学・情報実習、検査機器学・情報システム学総論、病理検査学、病理検査学実習、細胞診断学、細胞診断学実習、血液検査学 I (形態系,凝固・線溶系の基礎)、血液検査学 II (形態系,凝固・線溶系の応用)、血液検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、臨床化学検査学 I (糖質,タンパク質,脂質)、臨床化学検査学 II (酵素,ホルモン,ビタミン)、臨床化学検査学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習、微生物検査学 I (細菌)、微生物検査学 II (ウイルス,真菌)、微生物検査学実習、医動物学演習、免疫検査学、免疫検査学実習、輸血・移植検査学、輸血・移植検査学実習、生理検査学 I (循環器,脳・神経,筋系)、生理検査学 II (呼吸器,感覚器,平衡機能)、生理検査学実習、超音波・MRI 検査学、超音波・MRI 検査学実習、臨床検査統計学、医療安全管理学演習、精度管理学、臨床検査特論 I (応用)、臨床検査特論 II (発展)、臨地実習、卒業研究、臨床検査研究論、循環動態画像診断学、臨床検査管理総論、臨床検査診断学(Reversed-CPC) I (基礎)、臨床検査診断学(Reversed-CPC) II (応用)、臨床検査基礎演習、客観的臨床能力試験

上記３)関連の授業科目

【総合教育】

海外保健福祉事情、関連職種連携実習

【専門教育】

入門細胞診断学演習、細胞診断学演習 I (婦人科基礎)、細胞診断学演習 II (婦人科応用)、細胞診断学演習III (呼吸器,体腔液基礎)、細胞診断学演習IV(呼吸器,体腔液応用)、臨床検査質量分析学演習、遺伝子分析科学演習 I (基礎)、遺伝子分析科学演習 II (実践)生殖補助医療胚培養学、生殖補助医療胚培養学演習

（５）必修科目・選択科目等の構成について

保健医療学部医学検査学科の必修科目、選択科目等の構成の考え方等は以下のとおりである。

１）必修科目

「臨床検査技師学校養成所指定規則」に係る科目は、すべて必修科目としている。

また、臨床現場においてリーダーとして活躍できる人材の養成を目的として、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」、「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」を必修科目とし、情報・科学技術を生かす能力向上のため「データリテラシー」、「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」にて情報リテラシー教育を行う。

さらに、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いに認め合い共に生きる社会の醸成に貢献し、地域医療を支え人々の健康を守る・生活の質を向上させるという高い志と倫理観をもった臨床検査技師の育成を目的として、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、「保健医療福祉制度論」などの必修科目を設けている。

２）選択科目

医療人としての人間性と専門性を高めることを目的として有益と考えられる科目を選択科目として設けた。

「人間学」、「倫理学」、「宗教学」、「教育学」、「死生学-死を通して生を考える-」などの人間系総合教育科目、「法と道徳・倫理」、「アジア諸国の経済・社会・文化」、「国際医療福祉論」、「組織運営管理論」、「ボランティア論」などの社会系総合教育科目、「疫学・保健医療統計学」、「医療データサイエンスⅠ(DS 基礎)」、「医療データサイエンスⅡ(AI 基礎)」、「人間工学」などの自然・情報系総合教育科目、「リハビリテーション概論」、「関連職種連携実習」、「リスクマネジメント論」などの専門基礎科目という構成になっている。

さらに、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士、胚培養士などを目指す学生のため、「入門細胞診断学演習」、「細胞診断学演習Ⅰ(婦人科基礎)」、「細胞診断学演習Ⅱ(婦人科応用)」、「細胞診断学演習Ⅲ(呼吸器,体腔液基礎)」、「細胞診断学演習Ⅳ(呼吸器,体腔液応用)」、「臨床検査質量分析学演習」、「遺伝子分析科学演習Ⅰ(基礎)」、「遺伝子分析科学演習Ⅱ(実践)」、「生殖補助医療胚培養学」、「生殖補助医療胚培養学演習」を専門科目に設けている。

３）外国語科目

グローバル社会におけるコミュニケーション力の涵養を目的として、基礎的な英語力の向上のために「英語講読 1 (Primary)」、「英語講読 2 (Basic)」、「英語 CALL1 (Primary)」、「英語 CALL2 (Basic)」の 4 科目を必修としている。

また、「英語講読 3(Intermediate)、4(Advanced)」、「英語会話 1(Primary)、2(Basic)、3(Intermediate)、4(Advanced)」、「聖書英語 1(Primary)、2(Basic)」、「医学英語 1(Primary)、2(Basic)」、「英語リスニング 1(Primary)、2(Basic)」、

「英語ライティング 1(Primary)、2(Basic)」、「英語医療通訳入門 1(Primary)、2(Basic)」、「資格英語 1(Primary)、2(Basic)」、「基礎英文法 1(Primary)、2(Basic)」「上級英語会話 1(発展)、2(総合)」「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」といった 32 科目の選択科目を設けている。

(6)履修順序(配当年次)の考え方

既存の保健医療学部医学検査学科(成田キャンパス・大川キャンパス)と同様に本学の教育方針(カリキユラム・ポリシー)の具現化を図るべく、臨床検査技師学校養成所指定規則を基盤とした学年ごとの具体的な教育目標を設定して編成している。詳細を以下に示す。

1 年次：　臨床検査学学修の基礎を固め教養を高める。臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人間性・社会性を育むとともに未来の社会や地域に対応するための学修の充実を図る。

- 臨床検査管理総論や臨床検査基礎演習を通して、将来の臨床検査技師像をイメージする。
- 自然・情報系、外国語系、人間系、社会系、総合系の基礎力(主に知識)を修得する。
- 基礎的な臨床検査学(生化学・分析化学、遺伝子検査学、一般検査学、臨床化学検査学 I(糖質,タンパク質,脂質))の内容を理解し、対応する実習と関連させて技能も修得する。

2 年次：　基礎的な臨床検査学と臨床検査技師の実践に必要な専門的な臨床検査学の知識の修得と、医療現場で応用できる臨床検査の専門知識と技能の修得を図る。すなわち、獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための学修の充実を図る。

- 病理検査学、細胞診断学、血液検査学、一般検査学、臨床化学検査学 II(酵素、ホルモン、ビタミン)、微生物検査学、免疫検査学、生理検査学、輸血・移植検査学、超音波・MRI 検査学の内容を理解し、対応する実習と関連させて技能も修得する。
- 公衆衛生学を通して、社会における手段の健康と疾病の現状とその影響要因を把握し、公衆衛生の向上に必要な制度について学修する。
- 臨床検査統計学を通して、臨床検査データの品質保証やその管理手法の基礎知識を修得する。
- 関連職種連携論、医療安全管理学演習を通して、多職種連携の重要性、実際の関わり方を修得する。
- 海外保健福祉事情を通してグローバルな感覚を養成する。

3 年次：　医療現場で応用できる臨床検査の専門知識と技能の修得を図り、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための学修の充実を図る。さらに、医療現場での体験型実習に臨み、臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段による他者との連携力や医療人としての社会的な対応力を身につけさせる。臨地実習に参加させることを目的に客観的臨床能力試験を実施する。

・病理検査学実習、血液検査学実習、微生物検査学実習、生理検査学実習、輸血・移植検査学実習により、統括的な知識の理解と臨地実習前の技能を修得する。
・精度管理学、臨床検査診断学(Reversed-CPC) Ⅰ、循環動態画診断学の内容を理解し、臨床検査データの品質保証及び、疾患・病態を推測できるような意識と技能を修得する。
・関連職種連携ワークを通して、多職種連携の重要さと実際の関わり方を修得する
・臨床検査特論Ⅰを通じて、1－3 年までの関連科目を総復習し、相互の関連性を理解し、基本的かつ先進的な事項を整理する。
・臨地実習(医療機関)を通して、臨床検査の現場と臨床検査技師(実習生として)を体験することにより、医療人としての態度を身につけ、知識・技能を修得する。
・臨床検査研究論を通して、臨床検査における検査の技術開発や研究による問題点に関してグループワークをして探求心と課題解決能力の基礎を修得する。

4 年次：　卒業研究及び特長的な先進的かつ専門科目の演習により問題解決能力の醸成を図り、生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術をチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を身につけさせる。

・臨床検査診断学(Reversed-CPC) Ⅱ、臨床検査特論Ⅱ(発展)により 4 年間に学んできた基礎的な事項の確認・定着と応用力・問題解決能力の醸成を図る。
・卒業研究を通して、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得する。
・卒業研究発表を通して、内容のまとめ方、プレゼンテーション力を修得する。

・細胞診断学演習、臨床検査質量分析学演習、遺伝子分析科学演習、生殖補助医療胚培養学演習などで、先進的な臨床検査領域で活躍できる臨床検査技師の育成を図る。

(7)教養教育の実施方針・教育課程編成上の具体的工夫

本学では、7つの教育理念の中に「人格形成」、「学際性」及び「国際性」を掲げている。そのため、医療福祉の総合大学であることを活用して、各学部の専門的教育のみならず、他学科の科目についても教養科目として配置し、学生は幅広い知識を修得できるようにしている。この幅広い教養の修得によって、専門的な知識・技能のみに偏しない、知・情・意を兼ね備えた人材を育み、自ら考え、自ら行動する幅広くバランスの取れた人格を形成することを目指している。

本学の教養科目は「総合教育科目」として配置されており、人間系科目、社会系科目、自然・情報系科目、総合系科目、外国語系科目及び保健体育系科目の6つにより構成されている。この分類から、学生が自身の関心及び興味に応じて科目を自由に選択できるように設定している。

人間系科目では、「文学論」、「演劇論」、「心理学」、「哲学」、「コミュニケーション概論」、「雑談と傾聴～話す力と聴く力～」、「人間学」、「歴史学」、「倫理学」、「宗教学」、「文化人類学」、「死生学-死を通して生を考える-」、「生きがい論」などを開設する。

社会系科目では、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」を必修としているほか、「法と道徳･倫理」、「経済の歴史」、「世界の経済」、「アジア諸国の経済・社会・文化」、「社会学」、「ボランティア論」などを開設する。本科目では国際的なセンスを養うため、上記の他に「国際医療福祉論」、「経済の仕組み」など、世界の経済、福祉、環境などを幅広く学修できるような科目も開設する。

自然・情報系科目では、情報・科学技術を生かす能力向上を目指し数理・データサイエンス・AI教育特にビッグデータの適切な活用能力の強化を図っている。薬学系の基礎知識となる「化学」を始め「データリテラシー」、「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」を必修科目としているほか、「疫学・保健医療統計学」、「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、Ⅱ(AI基礎)」を設けている。そのほか、「物理学」、「医学/医療史」などを開設する。

総合系科目では、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を必修科目として設定しており、他に、「医療福祉教養講義」、「メディカルマナー入門」、「総合講義(現代社会をどう見るか)」を開設する。さらに、大学のある地域を理解し貢献できる素地を養うための「郷土論～栃木学～」も開設する。

外国語系科目では、「英語講読1(Primary)、2(Basic)」、「英語CALL1(Primary)、2(Basic)」を必修科目として設定しているが､ほかにも｢英語会話1(Primary)､2(Basic)､3(Intermediate)、4(Advanced)」、「英語医療通訳入門1(Primary)、2(Basic)」、「資

格英語 1(Primary)、2(Basic)」など、様々な場面で必要となる英語に対する教育を手厚く開設する。

また、英語のほか、「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」に対する講義も開設しており、海外拠点での活動も視野に入れた科目を開設する。

保健体育系科目では、「健康科学理論」、「健康科学実践」を開設する。

上記の教養科目は、本学が医療福祉の総合大学であることの強みが生かされており、近年急速に進展する国際化や多様化する社会のニーズに適応可能な人材育成を目指し、幅広い科目を学生に提供する。これらを有効に活用しつつ、保健医療学部医学検査学科の教育目標及び臨床検査技師学校養成所指定規則に合致する科目構成を構築している。

5．教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1)ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

保健医療学部医学検査学科では、既存の医学検査学科(成田キャンパス及び大川キャンパス)と同様の下記のディプロマ・ポリシーを掲げ、卒業認定・学位授与等を行う。

DP1： 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。

DP2： 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。

DP3: チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。

DP4： 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。

DP5： 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。

DP6： 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。

DP7： 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。

なお、学年ごとに進級条件を設定する。

（各年次への進級条件）

ア　1学年から2学年への進級条件

①1学年の必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②1学年の必修の専門教育科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

以上、①②の両方の条件を満たしていること。

イ　2学年から3学年への進級条件

①2学年までの必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②2学年までの必修の専門教育科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

以上、①②の両方の条件を満たしていること。

ウ　3学年から4学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

（2）教育方法、授業の方法、学生数及び配当年次の設定

1）教育方法及び授業の方法

保健医療学部医学検査学科での学修に必要となる知識・技能・態度の修得については、講義、実習、及び演習を組み合わせることで進める。知識の修得は、講義科目を主体として実施し、技能及び態度の修得は、実習及び演習科目を主体として実施する。演習及び実習では、その内容に応じて10名程度の少人数で実施し、各学修領域に適した学修方法を用いる。全体に渡り、個々の学生の能力に合わせたきめ細やかな指導を行い、アクティブラーニングを取り入れた自主性を尊重した評価のフィードバックを行うことで多様性と個性を醸成し、多様な場で活躍できる臨床検査技師の理解を深め育成する。

大田原保健医療学部医学検査学科のカリキュラムでは、卒業に必要な科目128単位のうち、必修科目である講義科目が80単位、演習・実習科目が43単位となっており、適切な学修方法による学修領域間のバランスの取れた教育が行われる。

専門基礎科目群の人体の構造と機能分野では、1年次「解剖学Ⅰ(総論)」、「解剖学Ⅱ(各論)」、「病理学」、「生理学」、「生化学」、2年次「組織学演習」により、医学知識の基礎、疾患の発生機序を中心的に理解する。臨床検査の基礎とその疾病との関連分野では、1年次「臨床栄養学」、「病態薬理学」、1－3年次「老年学」、「内科学」、「リハビリテーション医学」により、疾患と栄養の関わり、疾患に対する薬物療法、疾患の病理生理、診断、治療に加えて高齢者にみられる代表的疾患、臨床検査技師に係る在宅医療に関して理解する。病態学分野では3－4年次「臨床検査特論Ⅰ(応用)」、「臨床検査特論Ⅱ(発展)」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅰ」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅱ」、「臨床検査研究論」により、臨床検査に関わる分野を総復習し、

臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査、輸血・移植検査、微生物検査、病理検査、生理検査、超音波検査などの分野について知識を修得する。保健医療福祉と臨床検査分野では、2 年次「臨床医学概論」、「公衆衛生学」、「関連職種連携論」により、臨床検査技師に求められる保健・医療・福祉の基本的な知識を理解する。医療工学及び医療情報分野では、1 年次「医用工学・情報概論」、「医用工学・情報実習」、2 年次「検査機器学・情報システム学総論」により医療機器の正しい取り扱いに必要な電気工学の基礎知識修得及び生体計測に関する知識を理解する。専門科目群の血液学的検査分野では、2 年次「血液検査学Ⅰ（形態系,凝固・線溶系の基礎)」、「血液検査学Ⅱ（形態系,凝固・線溶系の応用)」、3 年次「血液検査学実習」により血液検査における各種疾患の病態把握に関して理解する。病理学的検査分野では、2 年次「病理検査学」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、3 年次「病理検査学実習」により、病理検査、細胞診検査の意義と各種標本作製技術を修得する。一般検査分野では、1 年次「一般検査学」、2 年次「一般検査学実習」、「医動物学演習」により、尿の生化学的検査、糞便検査、採血手技について理解する。生化学的検査・免疫学的検査分野では 1 年次「臨床化学検査学Ⅰ（糖質,タンパク質,脂質)」、2 年次「臨床化学検査学Ⅱ（酵素,ホルモン,ビタミン)」、「臨床化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」により、臨床化学検査並びに免疫学的検査の目的、特徴、単位と標準物質、検査値の管理としての誤差と許容範囲、基準範囲や病態識別値について理解する。遺伝子関連・染色体検査分野では、1 年次「遺伝子検査学」、2 年次「遺伝子検査学実習」で発展している様々な遺伝子検査の基本となる技術の原理や理論、その応用について理解する。輸血・移植検査分野では、2 年次「輸血・移植検査学」、3 年次「輸血・移植検査学実習」により輸血前検査で行われる ABO・Rh 血液型、不規則抗体検査、抗体同定検査、交差適合試験の検査法について理解する。微生物学的検査分野では、2 年次「微生物検査学Ⅰ（細菌)」、「微生物検査学Ⅱ（ウイルス,真菌)」、3 年次「微生物検査学実習」により、感染症の診断や治療に必要な検体採取から各種検査法、薬剤感受性検査までの知識を理解する。生理学的検査分野では、2 年次「生理検査学Ⅰ（循環器,脳・神経,筋系)」、「生理検査学Ⅱ（呼吸器,感覚器,平衡機能)」」、「超音波・MRI 検査学」、「超音波・MRI 検査学実習」、3 年次「生理検査学実習」により、循環器系の検査(心電図,心音図,脈波)、脳・神経系の検査(脳波、筋電図)、超音波検査や生理学的基礎事項、波形の成因、結果の解析と評価、測定機器の構造と操作法、検査手技及び患者接遇や患者急変時の対応などについて理解する。臨床検査総合管理分野では 1 年次「臨床検査管理総論」、「臨床検査基礎演習」、2 年次「臨床検査統計学」、3 年次「精度管理学」により、診断・治療に役立つ質の高いデータを提供するために必要な機材・試薬管理、検体管理、安全管理、システム管理、人事・労務管理及び人材育成などについて理解する。医療安全管理分野では、2 年次「医療安全管理学演習」により臨床検査技師の責任及びタスク・シフト/シェアを含めた業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取することを理解する。上記のように専門基礎科目群並びに専門科目群の講義と

実習科目の双方が割り当てられるように配慮しつつ、講義と実習が連動する教育を実施する。加えて、前述のように、学修評価に基づいてアクティブラーニングを取り入れた学修者本位の教育をすすめ、無理なく臨床検査学の学力醸成に務める。

2 年次に行う専門科目においては、「病理検査学」、「細胞診断学」、「血液検査学」など形態学を学ぶ科目を中心にアクティブラーニングを積極的に取り入れ能動的に考える力を養う。

また、2 年次に開講する「臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）」、「臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）」、「免疫検査学」、「血液検査学Ⅰ(形態系,凝固・線溶系の基礎)」、「血液検査学Ⅱ(形態系,凝固・線溶系の応用)」で学んだ知識に関して相互理解を深めることを目的とし、3 年次では「臨床検査診断学(Reversed-CPC) Ⅰ(基礎)」､4 年次では「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ(応用)」を開講する。「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ」、「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ」では、臨床現場で問題となる具体的な症例や医療現場での具体例等のケーススタディーを通した講義を実施する。さらに、小グループでアクティブラーニングを実施し、プレゼンテーション形式で発表する講義形式をとる。これにより、検査値から病態を推測するだけでなく、科目間相互理解による多角的な視点を養うことができ、診療支援のできる臨床検査技師の育成に繋げる。

2)配当年次の設定

4 年間で臨床検査学分野の幅広い専門知識及び問題解決能力を効果的に学修できるよう、科目間の関連性を配慮してカリキュラムを編成している。まず、1 年次においては、人体の構造と機能、臨床検査の基礎とその疾患との関連などの講義及び実習を開講し、学修を進める上で必要な基礎知識の補強を図る。特に臨床検査学を学ぶ上で重要な「解剖学Ⅰ（総論)」、「解剖学Ⅱ（各論)」、「病理学」、「生理学」、「生化学」を置くことで、1 年次に基礎学習の効果が高まるようにしている。

2 年次においては、専門基礎科目群の医療工学及び医療情報に加え、専門科目群の血液学的検査、病理学的検査、一般検査、生化学的検査・免疫学的検査、遺伝子関連・染色体検査、輸血・移植検査、微生物学的検査、生理学的検査、検査総合管理学分野の講義を中心に開講し、3 年次に実施する実習に連携した科目を開講する。

また、2 年次に講義を中心として実施することにより、1 年次に開講した専門基礎科目群との相互理解をより深める。これにより、3 年次で実習するために必要な知識の定着を高めていくことを図る。

3 年次においては、2 年次に開講した専門科目群の科目に対応した実習を開講する。臨床検査に関する基本的知識に加え、各種検査法の原理を理解し手技を修得する。集中的に実習を実施することにより、実習から得られた結果を 1 年次、2 年次で得た知識により考察する力を養う。3 年次後期に開講する臨地実習では、医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患

者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで、就職した後の必要とされるスキルを身につける。1 年次から 3 年次までの講義及び実習で学んだ知識を確認し、検査室の臨床検査技師と共に検査業務を行うことにより臨床検査学の理解を深める。また、患者との接し方や検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。

また、保健医療学部医学検査学科では、細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士コース、医用質量分析認定士コース、胚培養士コースの 4 つの特徴あるコースを設定しており、これらの職種を目指す学生の演習を 1～4 年次に開講する。

4 年次においては、卒業研究で学生ごとに研究テーマを設定し、卒業研究指導教員による指導を行う。また上記に示した 4 つのコースに関する講義及び演習を開講し、専門性を高めた臨床検査技師の輩出を目指す。

(3)卒業要件

保健医療学部医学検査学科は、上記のディプロマ・ポリシーを踏まえ、卒業要件として、総合教育科目の必修 10 単位(社会系 1 単位、自然・情報系 4 単位、総合系 1 単位、外国語系 4 単位)、専門基礎科目の必修 30 単位、専門科目の必修 83 単位並びに総合教育科目及び専門教育科目の中から選択 5 単位、計 128 単位を取得することとする。

(4)養成する人材像と履修モデル

本学は、専門的知識や技術を備えた人材であることのみならず、医療全体(チーム医療、地域医療など)を理解し、あらゆる活動において積極的に協働でき、かつ、国際性豊かな人材を養成することを目指している。保健医療学部医学検査学科では、次の 6 つを特に代表的な「養成する人物像」として設定している。

1．細胞検査士として、病理細胞検査領域で活躍できる臨床検査技師
探究心を持ち、問題解決能力に優れた細胞検査士を育成する。これにより、臨床検査学及び細胞診断学を通して、自らが学び、自らが考察することで医学的知識に関する疑問を追究することができ、細胞検査士のリーダーとして臨床現場に貢献できることが見込まれる。

2．遺伝子関連分野で活躍できる臨床検査技師
高度な技術と専門的知識を身につけ、遺伝子検査技術の発展と普及を推進できる遺伝子分析科学認定士を育成する。今後、さらに発展していく遺伝子関連検査とその解析技術を追求し、研究や臨床への応用ができる遺伝子関連検査の専門家なることが見込まれる。

3．生殖医療分野で活躍できる臨床検査技師
不妊症を理解し、倫理観を持って高度な知識と技術を修得した胚培養士を卒業後に目指す人材を育成する。生殖医療技術はもとより遺伝子解析技術を身につ

け、人類の将来のための多様性を模索できる専門家となり、倫理観を持った胚培養士のリーダーとして臨床に貢献できることが見込まれる。

4．質量分析技術の進歩はめざましく、微生物学・臨床化学領域を中心に、臨床応用が進んでいる。タンパク質・生体代謝産物を理解し、プロテオーム・メタボローム解析からアプローチする研究能力に優れた医用質量分析認定士を育成する。質量分析技術の進歩によりプロテオーム解析が可能となり臨床応用が進んでいる。大量のデータを緻密に解析することで新しい知見を得ることができ、研究や臨床に貢献することが見込まれる。

5．疾患・病態を推測できる臨床検査技師
R-CPC(Reversed Clinico-Pathological Conference)を中心に臨床検査データから疾患や病態を推測できる臨床検査技師を育成する。各種疾患や病態における臨床検査値の変動を理解し、異常な臨床検査値の組み合わせから疾患・病態を推測、臨床診断に有用な検査を提案できる臨床検査技師になることが見込まれる。

6．医療を理解して、国内外で活躍できる臨床検査技師
病めるに人も、障害を持つ人も、健康な人も、互いに認め合って暮らせる「共に生きる社会」を実現させ、国内外で活躍する臨床検査技師を育成する。高度な知識と技術を備えた人間性豊かな臨床検査技師になることが見込まれる。

これらの「養成する人物像」については、別紙のような履修モデルを想定している。(資料８)

既述のとおり、これら人材像について、それぞれ履修する科目が少しずつ異なっている。なお、保健医療学部医学検査学科では、すべての学生に対し共通に、医療人としての教養を持ち、幅広い視野と高い人間性を獲得することを求める。「人間学」、「倫理学」や「死生学-死を通して生を考える-」(いずれも選択科目)といった科目が用意されており、履修状況が許す学生については、これら科目を履修することにより、医療従事者としての倫理感、使命感及び責任感を更に身につけることができると考えている。

(５)学位論文の作成に関連する研究活動と単位数

卒業研究は、4 年次の必修科目(4 単位)として設定しており、4 年次 4 月～9 月の半年間を卒業研究の実施期間とする。

卒業研究の単位数は 4 単位であり、時間数(コマ数)にして、120時間(60コマ)を確保する。

また、学生には各自、卒業研究の実施日時及び実施内容の記録(卒業研究記録ノート)を作成することを義務付ける。

卒業研究は、実験研究あるいは調査研究のいずれかを実施する。いずれも、学生個々が指導教員の指導のもと研究目的(テーマ)を設定し、目的を達成するための研究計画の立案、実験あるいは調査の実行、実験あるいは調査結果の整理、結果に対する考察と結論の導出を通じて、問題解決能力の醸成に努める。得られた研究成果は、卒業研究要旨及び卒業論文としてまとめ、9月末に全員が提出する。

卒業研究発表会は、9月末に学生と教員が一同に会し、口頭発表の形式で実施する。

卒業研究の成績評価は、「研究態度・技能(基本事項・研究計画・技能)」、「卒業研究発表会」及び「卒業研究要旨・卒業論文」の 3 つの観点で評価すること、並びに、それぞれの評価の割合は「研究態度・技能 40%」、「卒業研究発表会 30%」及び「卒業研究要旨・卒業論文 30%」とする。

(6)履修科目の年間登録上限単位数

国際医療福祉大学では、履修科目の年間登録上限単位数を設定している(CAP 制)。原則として年間履修登録単位数は 50 単位未満である。直前の学期の GPA が 3.0 以上の場合、54 単位までの履修を認めている。

CAP 制の対象となる単位は「卒業要件単位に含まれる全ての単位」とする。ただし、以下の単位については、CAP 制の上限に含まないものとする。

① 海外保健福祉事情にかかわる授業科目の単位
② 総合講義(現代社会をどう見るか)にかかわる授業科目の単位
③ 本学が認定した単位(他の大学・短期大学等で修得した授業科目の単位認定や、TOEIC・英検による単位認定、外国人のための日本語テストによる日本語科目の単位認定、放送大学・大学コンソーシアムとちぎとの単位互換協定による単位認定、ボランティア実践の単位認定など)
④ 再履修科目の単位
⑤ 卒業単位に含まない科目の単位

(7)他大学における科目等の履修等

他大学における授業科目の履修等については、本学に入学する以前に他の大学、短大、高等専門学校又は大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による専修学校において履修した授業科目の単位及び本学に入学後の放送大学で修得した単位等については、以下のとおり学則で規定している。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 32 条　学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

（大学以外の教育施設における学修）

第 33 条　学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2　前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第 34 条　学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位(第 51 条の規定により修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 32 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

6．多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学は、全国 5 箇所にキャンパスを有しているが、キャンパス間の地理的制約を取り除き、本学学生に対して受講する機会を与えたい科目を中心に、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる授業(以下、「メディア授業」という。)を設定している。すなわち、VOD(Video on Demand)授業や同時双方向 Web 会議システムを活用した授業である。

同時双方向 Web 会議システムによる授業については、全学的に Web 会議方式で教員と学生の端末間でネット環境を経由して双方向性を維持して行う授業形態(Zoom)を導入しており、教育リソースの共有化や教育内容の統一化を図ることが可能である。「Zoom」は、映像や音声の他、スライドなどの教育用コンテンツを高品質に共有できる機能を有しており、2019(平成 31)年度の導入以来 4 年近くの稼働実績によってその品質や動作について確認済みである。

前述しているように、本学の学部キャンパスは栃木県大田原市、千葉県成田市、東京都港区、神奈川県小田原市、福岡県大川市の 5 箇所にあるが、授業ごとの設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導、及び当該授業に関する学生の意見交換の機会の確保については、科目終了後すみやかに定められた書式によって報告される。

また、メディア授業の確実な実施のために必要となる設備(教室 AV 設備、VOD(Video on Demand)システム等)の管理担当教職員と教務担当教職員が連携して実施を支援する体制をとる。メディア授業実施に当たってのノウハウは FD 等によって共有され、メディア授業の更なる質向上に向けた取組を継続的に実施している。以上のことから本学におけるメディアを利用した授業は、文科省告示(平成 13 年告示 51 号、平成 19 年告示第 114 号)の要件を十分満たしている。なお、メディアを利用して行う授業は、本学の学則においては第 31 条の 2 に規定している。

(メディアを利用して行う授業)

第 31 条の 2　メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。

7．実習の具体的計画

(1)実習の目的

1)7 つのディプロマ・ポリシー

保健医療学部医学検査学科で実施する実習は、全て、本学の 3 つの基本理念である「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」に基づき 7 つのディプロマ・ポリシー(「5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」の(1)ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)参照)に則した内容となるように設定している。

(2)実習の計画

1)関連職種連携教育

「コミュニケーション概論」(2 年次)では、チーム医療の一員としての連携能力や患者とのコミュニケーション能力を身につけるため、必要となる知識、態度、技能などの基本を修得する。

本学独自のカリキュラム「関連職種連携論」(2 年次)では、各職種が連携し他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携のあり方について理解する。これにより、保健・医療・福祉に携わる職種への理解を深める。加えて、栃木県内にある臨床検査技師会と連携することで保健・医療・福祉事情を認知し、この地域における臨床検査技師の役割を学ぶ。

「関連職種連携ワーク」(3 年次)では、大田原地区における合同での横断的なチーム編成による問題解決型体験学修を行い、保健・医療・福祉に携わるそれぞれの職種の専門性と関連性、チーム医療・チームケアの理念と実践方法を理解し、医療チームの一員としての臨床検査技師の在り方を理解し、身につける。なお、「関連職種連携ワーク」では、各チームに専任の教員(チューター)が配置され、学生の主体的な学修がスムーズに進むよう側面からの援助を行っている。これらの実習を通して、臨地実習に取り組む上で、また社会で活躍できる臨床検査技師となる上で重要な素地を形成する。したがって、上記の講義並びに実習は、前記の DP 1-4 への到達に寄与する。

2)臨地実習準備教育

臨地実習を行うまでの教育課程において、「病理検査学実習」30 コマ、「細胞診断学実習」30 コマ、「血液検査学実習」30 コマ、「一般検査学実習」15 コマ、「臨床化学検査学実習」30 コマ、「免疫検査学実習」15 コマ、「遺伝子検査学実習」15 コマ、「微生物検査学実習」30 コマ、「輸血・移植検査学実習」30 コマ、「生理検査学実習」45 コマ、「超音波・MRI 検査学実習」22.5 コマ、客観的臨床能力試験 15 コマの合計 307.5 コマと、十分な時間を設けることにより臨床検査技師として必要な技能の修得に十分な実習教育を実施する。特に、各実習は 1 年次、2 年次に開講する科目と連動させて系統的に実施し、この実習により知識と技術の修得の充実を図るだけでなく、臨床検査学における興味・関心を学生から引き出すことができるように、各授業科目が適切な時期に実施されるように設定している。これらの実習は、DP2～DP5 への到達に寄与する。

3)臨地実習

臨地実習の目的は、実践的な臨床対応能力をはじめとした「臨床検査技師として求められる基本的な資質」の修得である。臨地実習では、医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで実際の臨床検査学を学ぶ。加えて、医療施設におけるチーム医療並びに患者との接し方や、検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。臨地実習は DP 1 ～5 のすべての能力の形成に寄与する。なお、臨地実習の具体的計画等の詳細については、《資料 9》にて説明を行う。

4)その他の実習及び演習

1 年次に開講される 2 科目の実習及び、4 年次までに開講される 12 科目の演習により、基礎並びに専門知識を修得する。1)から 3)までの実習を学ぶことにより得た

知識、技術、技能が、科学的思考に裏打ちされるものとなるために重要な実習科目であり、DP 1～DP7 への到達に寄与する。

(3)実習先の確保の状況

実習施設は、実習科目における教育目標の達成に鑑み、主たる実習施設を本学科が所在する栃木県大田原市、栃木県内に所在する本学の医療福祉施設及び本学附属病院(国際医療福祉大学病院、同三田病院、同熱海病院、同塩谷病院、同成田病院)及び関連施設を中心として確保している（資料 10、資料 11)。実習先は自宅から通えるところを原則とし、遠隔地の場合は、実習先の職員寮などを使用して実習を行う。

(4)実習先との契約内容

実習先とは「実習委託契約書」を取り交わすこととする。契約書に定める内容は、実習内容、実習場所、期間、守秘義務、実習中に発生した事故に関する免責、実習施設破損の際の弁済、実習経費、実習経費の支払期限等である(資料 12)。

また、学生に対しては誓約書(資料 13)の提出を義務付け、守秘義務と事故防止を誓約させている。それでも事故が発生した際に備え、大学として賠償保険に加入し、誰が加害者になった場合でも補償できるよう備えている。なお、学生自身が実習通学途上で事故に遭った場合や被害に遭った場合には学生教育研究災害障害保険が適用され、補償の対象となる。

・個人情報保護への対応

平成 17 年 4 月に「個人情報保護に関する法律」が施行されたことを受けて、本学では「臨床実習における個人情報保護に関する教育指針」を策定し、学生及び実習先に配布する「臨地実習の手引」に掲載し、学生指導等に利用している。その内容は、ア)教員の対応、イ)臨地実習指導者の対応、ウ)臨地実習生の対応(原則、情報の収集、情報の匿名化、臨地実習生の個人用パソコンの使用)、エ)その他(個人情報漏洩時の対応)を示している。その外、個人情報の定義や医療機関における個人情報の例、介護保険施設における個人情報の例を参考に記すとともに本学の臨地実習に関する倫理綱領を掲載している。

・実習時の連絡体制

実習期間中、学生は自己を防ぐため最新の注意を怠らぬよう心がけるとともに、不幸にして事故が発生してしまった場合の連絡方法と対応の仕方について、学生や実習先に配布する「臨地実習の手引き」に、明記し迅速な対応が取れるよう指導することとしている。

(5)実習水準の確保の方策

実習水準の確保のため、本学附属病院や 総合病院を中心に臨地実習を依頼する。実習水準の確保のためには実習内容を平準化する必要があるが、そのために社団法人日本

臨床衛生検査技師会が発行した「臨地実習ガイドライン 2021」(資料 14) に基づいて 11 週間の臨地実習に臨む。

(6)実習先との連携体制

実習先との連携体制は、臨地実習指導者会議を開催し、実習の目的と意義、実習方法、学生の教育進度、学生の配置などについて説明を行い、臨地実習指導者と学生が実習前に面談できる機会を設ける。実習に際しては臨地実習指導者と綿密な連絡をとり、11 週間の実習期間の中で双方向のヒアリングを行い、適切に対処する。

また、専門学校の実習との違いは、大学教育としての実習の質を確保するため、本学では教育課程（カリキュラム ）や実習の具体的な目的、到達目標、実習指導方法等の臨地実習指導体制を明確に示した「臨地実習の手引き」を作成する。この「臨地実習の手引き」を用いて、事前に学生及び臨地実習指導者に対して十分に説明し理解を得る。このように、学生、臨地実習指導者（臨地実習施設)、教員（大学)間の共通理解を得ることで、本学での教育の充実と臨地実習の質の確保を図る。

(7)実習前の準備状況(感染予防対策・保険等の加入状況)

実習前の準備のうち予防接種については、本学では学生が入学時に行う血液検査の結果 、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B 型肝炎、の抗体値が低い学生に対し予防接種を受けるように指導している。また実習施設から義務付けられる予防接種については必ず受けさせている。

また、保険については学生教育研究災害障害保険及び国際医療福祉大学賠償保険で被害者、加害者どちらの立場になっても補償が適用できるようにしている。

(8)事前・事後における指導計画

教員はあらかじめ、学生がそれまでに修得した検査技術が身についているか、実際の病院の検査室の機材を使いこなせるか、検査結果を正確に記録し他者に伝達できるかを学生に確認させる。実習中に問題が生じた際は迅速に臨地実習指導者と学生に面接し、適切な処置を行う。実習終了後、学内にて実習発表会を行い、学生の理解度を確認し、実習中の評価を基にして成績を決定する。

(9)教員及び助手の配置並びに巡回指導双方向のヒアリング計画

医学検査学科の専任の教員のうち、臨床検査技師の資格を有する教員全員が臨地実習先の病院ごとの担当となり、各自担当の病院の臨地実習指導者と緊密な連絡を取り合い、11 週間の実習期間中 web ツールを使用して双方向のヒアリングを行い、必要に応じて学生への指導や臨地実習施設への訪問を行う。

(10)実習施設における指導者の配置計画

実習指導は臨床経験 5 年以上の臨床検査技師または医師に依頼する。実習を依頼する施設毎に実習に関する臨地実習指導者を 1 名決めてもらう。臨地実習指導者が各施設の実習の統括を行い、同時に本学との連絡窓口になる。

また(６)でも述べている臨地実習指導者会議に出席してもらい、本学の教育に対する考え方や成績評価等について周知徹底する。

(11)成績評価体制及び単位認定方法

学生の評価方法は、以下の項目について臨地実習指導者が行い、その結果を基に学生が作成する報告書や発表の結果を加味して、最終的に本学医学検査学科の単位認定者が成績評価の原案を作成し決定する。

① 臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等
② 生理学的検査
③ 検体検査：血液学的検査
④ 検体検査：尿・糞便等一般検査
⑤ 検体検査：輸血・移植検査
⑥ 検体検査：微生物学的検査
⑦ 検体検査：病理学的検査
⑧ 検体検査：生化学的検査
⑨ 検体検査：免疫学的検査
⑩ その他：検査前の患者への説明(検査手順含む)
⑪ その他：チーム医療(NST,ICT,糖尿病療養指導)
⑫ その他：検体採取、消化管内視鏡検査、採血業務
⑬ それぞれの検査の詳細な目標への到達度は「臨地実習ガイドライン 2021」(資料 13)に則して臨地実習指導者が行う。

８．企業実習(インターンシップを含む。)や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

(１)海外保健福祉事情(選択２単位、夏季及び冬季集中)

本科目は、渡航前に国際保健や旅行医学の基礎、渡航先の語学や文化を講義形式で学ぶ。渡航後、現地において訪問国の文化、歴史、地理、医療福祉事情を学び、現地スタッフからの指導、施設訪問、文化交流を通し、各国の現状と関連する社会的・文化的背景を学ぶ約２週間の海外研修(語学研修、病院等施設見学、現地での文化交流会等含む)と事後の発表や報告書冊子作成を行う授業である。既存の全ての学部・学科を対象に開講している。

2023(令和 5)年度は、韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム、シンガポール、オーストラリア、ラオス、カンボジア、フィリピン、マレーシア、インドネシア、モンゴル、イギリス、ハンガリー、ポーランドで実施され、計 16 カ国でグループに分かれてそれぞれ研修を行った。なお、2020(令和 2)年度及び 2021(令和 3)年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外研修は中止となってしまった。しかし、協定先の協力を得てオンライン研修を行うなど工夫して文化交流も活発に行っている。

2023 年に外交関係樹立 50 周年を迎えたベトナムの研修先は、本学が 1995(平成 7)年に開学して以来、JICA を通して技術指導を行ってきた経緯があり、極めて良好な関係を構築している。タイではクリスチャン・ユニバーシティ(ナコンパトム市)を中心に、病院・施設等の見学実習を行い、現地での大学のレクチャーや学生との文化交流を行っている。オーストラリアでは、ゴールドコーストの TAFE (Technical and Further Education)やグリフィス大学における語学研修とホームステイを行い、地域の病院や福祉施設の見学、文化交流等を行う。各国の海外研修先とは密接かつ良好な関係を構築している。

また、各国と緊密かつ迅速な連携体制をとれるよう、本学の各キャンパス及び東京事務所には国際部や国際交流センターを置き、韓国語や中国語、英語を話せる国別の担当スタッフを配し、現地と直接交渉を行える体制をとっている。

成績評価体制及び単位認定方法は、単位認定者を国際交流委員会委員長とし、事前学修は外国語担当教員が集約、現地での実習に対する評価は国によって人数は異なるが 2 名～6 名の引率教員が成績評価を行い、最終的に国際交流委員会委員長が情報を集約し、成績評価を行う。

9．取得可能な資格

保健医療学部医学検査学科において、取得可能な資格は、以下のとおりである。

資格名称	資格の種類	取得条件
臨床検査技師	国家資格	保健医療学部医学検査学科の卒業要件に含まれている所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、臨床検査技師国家試験受験資格取得可能
細胞検査士	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、細胞検査士試験受験資格取得可能
遺伝子分析科学認定士（初級）	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、遺伝子分析科学認定士試験受験資格取得可能
医用質量分析認定士	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、医用質量分析認定士試験受験資格取得可能

１０．入学者選抜の概要

本学は、大学及び各学科のアドミッション・ポリシーに沿って入学者選抜を実施している。保健医療学部医学検査学科においても同様とする。

(1)国際医療福祉大学の理念と教育目標について

本学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という 3 つの基本理念と、この理念を実現するための 7 つの教育理念(人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営)を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行う。

(2)国際医療福祉大学のアドミッション・ポリシー

本学は、建学の精神である「共に生きる社会の実現」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、日々進化する保健･医療･福祉分野の需要に対応できる指導的な人材の育成を実現すべく、学生、社会人、留学生、帰国生徒に対して学修の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。本学が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

ア．知識・技能

幅広い教養と視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける人。なお、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し学びを深めるために、入学までに身につけていることが望ましい内容は以下のとおりである。

【国語】

物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語によるコミュニケーション能力

【地理歴史・公民】

多様な文化や歴史、価値観、生活背景を持つ他者を理解するために必要な基礎知識

【数学】

論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能

【理科】

自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学(物理、化学、生物)に関する基礎知識

【英語】

国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション能力

イ．思考力・判断力・表現力

・これからの時代の保健・医療・福祉分野を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲や課題を発見し解決する能力を有していること。

・保健・医療・福祉分野における情報科学技術の高度化、専門化及び国際化に対応するため、幅広い関心と好奇心を持って努力を継続できる人であること。

・学業・社会貢献・技術・文化・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、本学で修得した技術をもとに、将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人であること。

ウ．主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・本学の基本理念及び教育理念を十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を持つ人であること。

・あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる人であること。

・本学での学びを生かし、将来、母国あるいは国際社会において、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人であること。

(3)医学検査学科(保健医療学部)で定めるアドミッション・ポリシー

保健医療学部医学検査学科では、既存の医学検査学科(成田キャンパス及び大川キャンパス)と共通のアドミッション・ポリシーとして、以下を掲げる。

ア．求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人

イ．医学検査学科の入学者に求める要件

1)知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。

2)思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。

3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の

立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志と責任感を有していること。

（4）入学者選抜の概要

保健医療学部医学検査学科では、上記アドミッション・ポリシーに掲げる入学者を選抜するため、学校教育法に定める高等学校における教育目標のひとつである一般的な教養の修得度を評価する学力試験はもとより、面接・小論文や、志願理由書・調査書等の書類審査を併せて行うこととしている。具体的な選抜方法として、総合型選抜、学校推薦型選抜(公募制・指定校制)、特待奨学生特別選抜、一般選抜(前期/後期)、大学入学共通テスト利用選抜、帰国生徒特別選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜を行うこととしており、学力の３要素である知識・技能、思考・判断・表現力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を多角的・総合的に評価・選抜する。

入学者選抜にあたっては、高度先進医療に対応する能力を持ち最先端の検査技術を学び医療の発展に寄与する意志を持つ学生、豊かな人間性とコミュニケーション能力を備えチーム医療・チームケアに貢献できる人間性を備えた学生、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応できる学生を選抜する。

1)入学者選抜方法

① 総合型選抜では、出願書類審査、適性を見るための基礎試験及び個人面接の結果を総合して合否を判定する。本学で学ぶための適性を判断するための基礎試験では、英語・国語・数学・理科の基礎的な問題及びグラフ・統計資料などを読み取って自分の考えを述べる小論文試験を出題し、出願書類と併せて高等学校段階における基礎的な学力を測る。

出願書類に含まれる志願理由書や活動実績報告書、個人面接により、本学への入学意欲、思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れ、高等学校等における正課及び正課外活動への主体的な取組み内容等についても確認する

② 学校推薦型選抜では、公募制及び指定校制での募集を行い、公募制では出願書類審査、学科適性試験(基礎学力試験)、小論文試験及び個人面接の結果を総合して合否を判定する。指定校制では出願書類審査、小論文試験及び個人面接の結果を総合して合否を判定する。

出願書類に含まれる志願理由書や個人面接により、本学への入学意欲、思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れ、高等学校等における正課及び正課外活動への主体的な取組み内容等を確認するとともに、学科適性試験によって高等学校段階における基礎的な学力を測り、小論文試験によって論理的思考力や表現力についても評価する。

③ 特待奨学生特別選抜では、出願書類審査及び学科試験の結果を総合的に判断して合否を判定する。

学科試験では英語と小論文を必修とし、さらに国語、地理歴史、数学、理科から１科目を選択科目とすることで入学後に必要となる学力を測る。

④　一般選抜(前期/後期)では、出願書類審査、学科試験及び個人面接(一般選抜後期のみ)の結果を総合して合否判定する。一般選抜前期においては、③特待奨学生特別選抜と同様の試験科目設定により、入学後に必要となる学力を測る。また、一般選抜後期では、学科試験の科目を英語にしぼり込んで学力検査として実施し、選択科目の代わりに個人面接を実施して思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れについても評価する。

⑤　大学入学共通テスト利用選抜では、出願書類審査及び大学入学共通テストにおいて本学が指定した科目の結果を総合して合否を判定する。③特待奨学生特別選抜及び④一般選抜(前期/後期)同様に、学力を重視した選抜であるが、より多くの科目の中から高得点の科目を合否判定に用いることで、多様な学力をもった学生の受入れを可能とする。また、本学独自の個別学力検査等を課さず、大学入学共通テストの受験のみで出願を可能とすることにより、広範囲な地域からの学生の受入れを可能とする。

⑥　帰国生徒特別選抜では、出願書類審査、学科適性試験(基礎学力試験)、小論文試験及び個人面接の結果を総合して合否を判定する。②学校推薦型選抜の公募制と同様の試験科目とするが、海外の学校で学んだ経験や体験等から得た多様な価値観をもつ学生の受入れを意図して実施するものである。

⑦　留学生特別選抜及び社会人特別選抜では、出願書類審査、小論文試験、個人面接、並びに日本留学試験(留学生のみ)の結果を総合して合否を判定する。留学生特別選抜入試では主として母国や国際社会に貢献したいという強い意志やそれに基づく学修への意欲等を評価し、社会人特別選抜入試では主として英語と化学の基礎学力を測った上で、それまでの社会経験で得られたものやそれに基づく学修への意欲等を評価する。何れも多様な価値観をもった学生の受入れを意図して実施するものである。

なお、入試区分ごとの募集人員並びに③特待奨学生特別選抜、④一般選抜(前期/後期)、⑤大学入学共通テスト利用選抜における学科試験の科目及び本学が指定した科目については(資料 15)で示す。

２)帰国生徒特別選抜の定義等

帰国生徒特別選抜は募集定員を若干名とする。本学では帰国生徒を以下のとおり定義し、出願資格とする(①、②のいずれか該当で出願可)。

①　海外において、外国の教育制度に基づく 12 年の課程、又は文部科学大臣の指定した在外教育施設に２年以上継続して在学し、卒業(修了)及び卒業(修了)見込みの者、又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定したもの(国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格(ドイツ)取得者、バカロレア資格(フランス)取得者等)

② 海外において、外国の教育制度に基づく 12 年の課程、又は文部科学大臣の指定した在外教育施設に中学校・高等学校を通じて 2 年以上継続して在学し、帰国後、日本の高等学校又は中等教育学校を卒業及び卒業見込みの者

3)留学生特別選抜の定義等

留学生特別選抜は募集定員を若干名とする。本学では留学生を以下のとおり定義し、出願資格とする(①～⑤の全てに該当で出願可)。

① 日本国籍を有しない者で、かつ日本国の永住許可を得ていないもの

② 外国において通常の課程による 12 年以上の学校教育を修了した者(見込み者を含む)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

③ 入学時までに出入国管理及び難民認定法において「留学」の在留資格を取得できる者

④ 日本語での授業を受けるのに差し支えない程度の日本語能力を有する者

⑤ 独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」を入学する前々年の 6 月から前年の 11 月の間に受験している者(必ず「日本語」を受験していること)

4)社会人特別選抜の定義等

社会人特別選抜入試は募集定員を若干名とする。本学では社会人を以下のとおり定義し、出願資格とする(①～④のいずれかに該当で出願可)。

① 社会人

(ア)高等学校又は中等教育学校卒業後、保健・医療・福祉分野の施設等において、出願時点で 1 年以上の職務経験(パートタイム・アルバイト等は除く)を有する者

(イ)大学入学資格を有し、入学する年の 4 月 1 日現在で満 25 歳以上であり、かつ出願時点で 2 年以上の職務経験(パートタイム・アルバイト等は除く)を有する者

② 大学卒業(見込み)者

4 年制大学卒業者又は卒業見込みの者及びそれと同等の資格を有する者

③ 国家資格保持者

大学入学資格を有し、次のいずれかの国家資格を有する者

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、医師、歯科医師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、義肢装具士、管理栄養士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師

④ 特殊技能に優れた者

スポーツや芸術等の分野での特殊技能に優れた者で、大学入学資格を有する者(社会人)

5)科目等履修生等の取扱い

科目等履修生、研究生及び聴講生の取扱いについては学則で規定し、それぞれの規程で募集方法、募集の時期、出願資格、検定料等を定めている。いずれも受入人数に

ついては特に定めていない。科目等履修生及び聴講生については、当該科目担当教員の許諾の下、教授会の議を経て承認となる。

また、研究生については通常の授業に支障を来すことはないよう研究生受入教員の許諾の下、教授会の議を経て承認となる。

１１．教育研究実施組織等の編成の考え方及び特色

(1)教員組織の編成

教員編成は、「教育職員の職制及び任免に関する規程」に基づき、人格、学歴・職歴及び学術上、教育上の業績等を考慮して行われている。特に本学は、医療福祉専門職の養成を行っていることから、教育経験のみならず、臨床経験が豊富な人材を積極的に採用している。このことから、保健医療学部医学検査学科の教員は、専門性、総合性、柔軟性、社会性、倫理性そして国際性を備えた各分野の専門職者の養成という目標に沿った教育課程の実現のため、教員は豊かな人間性と専門分野における十分な教育研究業績及び臨床経験を有する教員を配置する。

一般公募等による新規採用教員と本学の附属病院からの異動教員によって行うこととする。学科ごとの新規採用者数、内部異動者数は下記のとおりである。

【教員組織内訳(新規採用、内部異動)】

学部学科名	教員数計	新規採用者数	内部異動者数
保健医療学部医学検査学科	11 名	9 名	2 名

内部異動者の異動元(本学附属病院等)の内訳は、以下のとおりである。

○附属病院からの異動者　合計 2 名

附属病院である国際医療福祉大学病院等から 2 名(教授 1 名､助教 1 名)である。

なお、保健医療学部医学検査学科の職位別の教員組織の状況等は次のとおりである。

○保健医療学部医学検査学科の職位別の基幹教員の配置状況

学部・学科名	教　授	准教授	講　師	助　教	合　計
保健医療学部医学検査学科	4 名	4 名	1 名	2 名	11 名

基幹教員数は 11 名で、うち、教授が 4 名である。収容定員 320 名である保健医療学部医学検査学科について大学設置基準で規定される必要基幹教員数は、8 名(うち教授が 4 名以上)であり、当該基準を満たすよう配置する。

また、原則、教育上主要と認める授業科目については保健医療学部医学検査学科の基幹教員を配置しているが、一部の科目について高い専門性及び教育研究上の観

点から専門知識や経験が豊富な同学部他学科の基幹教員等を中心に配置している。これらの授業科目は、「チーム医療・チームケア」の観点からの平準化、より専門的で質の高い授業とするためのものであり、教育研究上の支障はない。

なお、附属病院からの臨床経験を有する 2 名の異動者については、診断学や実習、臨地実習を中心に担当するため、教育研究上支障はない。

（2）教育研究実施組織

本学は大講座制をとっており、本学科においては、大きく「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」に分類され、これをもとに教育・研究体制として置く。

1）「形態検査学」

形態検査学は病理組織細胞学、臨床血液学を置き、形態検査学における内容を遺伝子検査学や臨床質量分析学など多角的な視点で研究を捉え、形態検査学を発展させる内容とする。

2）「生化学分析検査学」

生化学分析検査学は、臨床化学、臨床質量分析学を置き、生化学的臨床検査値から各種疾患の病態を解析するため、最先端技術を応用する。上記に加え、近年、急速に進化している医用質量分析学に対応するため、臨床検査法としての質量分析技術を高める内容の研究を実施する。

3）「病態生体防御検査学」

病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子分析科学を置き、分子生物学的解析技術を用いて臨床診断を実施する手法を研究する。また、生殖補助医療胚培養学では、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供する実践能力を養う内容とし、体外受精を中心とした生殖補助医療に関する広範囲な研究内容を実践する。

4)「生理機能検査学」

生理機能検査学は臨床生理学を置き、心電図、超音波検査、脳神経・筋機能検査などの生体生理検査を実施し、生活習慣病を含めた各種疾患の病態について解析する内容とする。

教育研究活動等については、学部学科ごとの教務委員会等にて検討を行った上で、全学的な議論を統括する教務統括委員会でも検討を行うなどの体制が確保されている。さらに、学部学科事務室内に学科ごとの事務職員を配置しており、教員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制が確保されているといえる。

（3）教員の年齢構成

保健医療学部医学検査学科就任時の年齢で見ると、60 歳以上 2 名(18%)、50 歳代 3 名(27%)、40 歳代 3 名(27%)、30 歳代以下 3 名(27%)となっており概ねバランスの取れた年齢構成になっており、教育・実習の実施の点からも問題ないと考えられる。

本学の教員については「国際医療福祉大学任期付専任教員規程」(資料 16)より原則全員任期制を採用しているが、この中で、第 4 条第 4 項に「新たに設置する学部、研究科等において、完成年度までの間に任用される者の任期については、別表の規定にかかわらず任用日から完成年度末日までとする。」と規定され、65 歳を超える教員についても少なくとも完成年度までは任用することとしている。なお、完成年度以降新設学部の教員は既存の学部の教員と同じく上記の「任期に関する規程」の適用者となる。

また、本学の教員の定年は、「学校法人国際医療福祉大学教職員定年規程」(資料 17)より 65 歳と定められているが、同規程第 4 条において、「定年時において心身健全であり、かつ代替者を見出し難き者については、定年を延長するか嘱託として引き続き勤務させることがある。」と定められていることから、定年の延長もあり、保健医療学部医学検査学科においては、完成年度前に 65 歳を超える就任予定の教員も含まれているが、教育・研究上問題が生ずることはない。

（4）教員及び事務職員等の協働や組織的な連携体制

保健医療学部医学検査学科のカリキュラムは、学生に対する教育効果という観点から一貫性のある教育を目指したものであり、1 年次から 4 年次へ向けて臨床検査技師に必要とされる知識を基礎から応用まで段階的に身につけることができるように、「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」における各科目の相互の関連が密になるよう構成する。

また、講師が担当する場合も含めて、複数の教員がそれぞれの専門性に対応した分野を担当することで、より充実した内容の講義となるよう配慮する。さらに、講義内容を的確に反映した演習及び実習を行うことにより、自身の知識を実践に応用できる能力を養うようにする。

以下に、専任の教授又は准教授を配置する「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」における主要科目を列記する。

1）「形態検査学」

形態検査学は病理組織細胞学分野、臨床血液学分野を置き、「病理検査学」、「病理検査学実習」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、「血液検査学」、「血液検査学実習」、「一般検査学」、「一般検査学実習」とする。

2）「生化学分析検査学」

生化学分析検査学は、臨床化学分野、臨床質量分析分野を置き、「臨床化学検査学Ⅰ(糖質,タンパク質,脂質)」、「臨床化学検査学Ⅱ(酵素,ホルモン,ビタミン)」、「臨床

化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」とする。

3)「病態生体防御検査学」

病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子検査学を置き、「微生物学検査学Ⅰ(細菌)」、「微生物学検査学Ⅱ(ウイルス)」、「微生物検査学実習」、「輸血・移植検査学」、「輸血・移植検査学実習」、「遺伝子検査学」、「遺伝子検査学実習」とする。

4)「生理機能検査学」

生理機能検査学は臨床生理学分野を置き、「生理検査学Ⅰ(循環器,脳・神経,筋系)」、「生理検査学Ⅱ(呼吸器,感覚器,平衡機能)」、「生理検査学実習」、「超音波・MRI検査学」、「超音波・MRI検査学実習」とする。

１２．研究の実施についての考え方、体制、取組

保健医療学部医学検査学科においては、「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」の各領域に研究推進担当教員を置き、大学附属病院・関連医療機関・医療施設職員との緊密な連携により、医療現場でのニーズに応えられる臨床研究を提案し、推進する。

本学では、「研究力向上に関わる学内推進計画」をとりまとめ、大学のミッション・ビジョンに基づく統一的な研究力強化の取組を大学全体で進めている。学長のリーダーシップの下、副学長、大学院長、事務局長を中心とする「研究推進委員会」を整備し、学校法人執行部と協力しながら研究力強化に努めている。

また、本学では、研究成果を教育だけでなく、地域貢献、社会貢献へと持続していくために教員及び学生に対する組織的な研究支援体制を構築し、全学的に研究力を高めることに努めている。2018(平成30)年に「未来研究支援センター(現 研究支援センター)」を開設し、臨床研究の更なる展開と質向上のための教員・学生を対象とした教育及び個別案件のコンサルテーションを行うとともに、公的研究費獲得支援と研究費に係る事務を担当している。

研究管理室は、外部研究費の取扱に関する規程整備、教職員へのコンプライアンス周知、研究費管理の業務を行っている。利益相反管理委員会を設置し、利益相反に関する情報を管理している。研究管理室の中に産学連携を扱う部門、知財管理を扱う部門(発明委員会)を設け、学内関連部署とともに学外機関や企業との連携活動に従事している。

さらに、医療情報部や図書館は医療機関における情報系全般の管理運営を行っているが、研究支援活動としては診療情報データベースの研究利用の促進を手がけている。

以上のような研究支援・研究管理組織は、各部署の研究推進委員会を介してフィードバックを行い関連する研究者に対し情報を提供している。

本学における研究活動は、全学的な中期目標・中期計画(2021-2027)のもとに目標と実

施計画の具体的方針が提案されており、全学での研究推進委員会における協議、自己点検・自己評価委員会での定期的なチェックを経て、計画的に施行されている。

１３．施設、設備等の整備計画

保健医療学部医学検査学科設置予定の大田原キャンパスは、栃木県大田原市に位置しており、現在、保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)を設置している。2023(令和 5)年度時点での収容定員は 3,790 人で、3,800 人以上の学生が学んでいる。

また、大田原キャンパスでは、キャンパス内に、障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、栃木県で唯一の児童心理治療施設、認定こども園、アジア有数の言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、6 つの医療福祉施設を併設し、学生の医療福祉の実践的な学びを強力にバックアップする環境が整っている。

大田原キャンパスには、既存校舎として、栃木県大田原市北金丸 2600-1 に約 26 万㎡という広大な敷地の中に、学生食堂、学生ラウンジ、売店やレストラン、書店、クリニック、さまざまな学修・研究施設を備えた 15 棟の校舎がある。設置予定の医学検査学科は、これらの校舎のうち、図書館・講堂等の全部と他の校舎の一部を他の保健医療学部の学科、医療福祉学部、薬学部と共用して使用する。

大田原キャンパスの既存の教育環境概要は、以下のとおりである。

【大田原キャンパスの教育環境概要】

名　　称	延床面積(㎡)	階	主要施設
A 棟(実験・実習棟)	3,720.83	5	看護実習室・作業技術室・生活技術室・作業分析室・職業関連技術室・義肢装具室・運動療法室・運動学実習室・音声言語実験室・教員研究室
B 棟(実験・実習棟)	5,177.80	5	基礎医学実習室・母性看護実習室・教材資料作成室・多目的実習室・水治療室・物理療法実習室・電気生理学演習室・観察室・防音室・補聴評価演習室・聴覚検査演習室・教員研究室
C 棟(実験・実習棟)	3,816.33	5 (地下 1 階)	MRI 室・X 線室・放射線計測実験室・CT 室・放射化学実験室・画像工学実験室・高エネルギー室・放射線管理室・体外測定室・高エネルギー室・教員研究室 RI 処理装置室
D棟(講義・実習棟)	4,090.68	5	講義室・看護演習室・教員研究室・実習指導室・CALL 教室・ロッカー室・バーチャル解剖学実習室

E 棟(講義棟)	5,270.57	5	講義室・コンピュータールーム・教員研究室・会議室・印刷室
F 棟(講義棟)	3,886.98	5	講義室・演習室・実習室・実習指導室・教員研究室・大講義室
G 棟(管理棟)	2,960.56	3	学長室・各役員室・事務局(総務課・人事課・教務課・入試課・広報課・経理課・管理課)・学生課・キャリア支援センター・会議室・防災管理センター
H 棟(那須アスリーナ・体育館・武道場)	5,725.78	3	武道場・トレーニング室・学生ホール・レストラン・売店・体育館・弓道場
I 棟(カフェテリア棟)	3,992.73	2	学生食堂・売店
J 棟(研究棟)	1,408.00	2	教員研究室・バーチャルホスピタル室・スタジオ・放射線防災センター・会議室
K 棟(部室棟)	367.52	2	部活動の部室
L 棟(大学院棟)	6,291.55	5	講義室・理学療法研究室・作業療法研究室・分子生物学研究室・動物飼育室・臨床連携研究室・低温室・培養室・形態研究室・機能研究室・組織学研究室・留学生別科室・会議室・教員研究室・多目的ホール・学生相談室・ボランティアセンター・書店・事務局
M 棟(講義・実習棟)	2,688.00	3	講義室・介護実習室・家政実習室・入浴実習室・事務室
N 棟(薬学部棟)	11,623.68	6	講義室・DI 室・治験室・TDM 測定室・TDM 解析室・一般製剤室・調剤室・無菌製剤室・IVH 調製室・バイオハザード室・病室・SS 診察室・院内薬局待合室・保健薬局待合室・保健薬局調剤室・生体成分分析研究室・組織培養室・低温室・薬物動態研究室・薬物動態実験室・分子機能解析研究室・医薬品化学研究室・分子構造解析研究室・物理系機器室・物理系実習室・化学系実習室・生物系実習室・行動解析研究室・薬効解析研究室・顕微鏡室・生体機能解析研究室・分子生物・ゲノ

			ム情報解析研究室・マルチメディア会議室・教員研究室・事務室
O棟(講義・実習棟)	5,615.18	4	講義室・実習室・CBT ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室・ｾﾞﾐ室・医薬品資源情報科学研究室・衛生薬学研究室・医薬品情報評価学研究室・医科学研究室 1.2.3
図書館	2,250.50	1	閲覧スペース・パソコンスペース・学習室・事務室
大学クリニック	3,596.35	3	診察室・薬局・画像検査室・処置室・健康管理室・言語聴覚センター
合　　計	72,483.04		

上記に加えて、体育館等の運動施設も共用する。体育館は、バスケットボールの場合は２面、バレーボールの場合は２面、バドミントンの場合は６面が使用可能である。更に剣道柔道等に利用できる武道場、遠的 60m(１人立)と近的 28m(８人立)の弓道場を整備している。シャワー室、更衣室、部室を備え、部活動やサークル活動で主に使用している。また、運動場(トラック１周 400m)とテニスコート(６面)を設けている。

また、既存校舎等を共用するほか、医学検査校舎棟(仮称)を大田原キャンパス敷地内に新築する。新築する医学検査校舎棟は、４階建で、延床面積　5,900 ㎡である。校舎の中には、講義室、実験・実習室、ゼミ室、研究室、学生ラウンジ、更衣室、事務室等を整備する。

新設の医学検査校舎棟については、2024(令和 6)年度に工事を着工し、2025(令和 7)年８月に竣工･引渡しの予定である。

なお､学生を受け入れる 2025(令和 7)年４月から８月までの間の授業等については既存の研究室及び教室等を使用することとしており、授業等への影響はない。

新築する医学検査校舎棟の各階ごとの延床面積、主な使用用途は、下表のとおり。

	延床面積	主な使用用途
4F	1,279.50 ㎡	教員実験研究室、実験室、準備室・倉庫、研究室（１）～(12)、学科長室、大会議室、応接面接室、講師控室　事務、教材倉庫給湯室、倉庫、ラウンジ
3F	1,279.50 ㎡	細菌・病理・血液検査実習室、形態検査収納倉庫、ＭＳ・フロサイト・液クロ、生理検査実習室、収納、シールドルーム、細胞培養、胚培養、ラウンジ
2F	1,459.50 ㎡	実習室１・２、準備室、講義室（4)、収納倉庫、遺伝子検査実習室１、前室、遺伝子検査実習室、細胞検査士養成コース３年生・４年生、ゼミ室（7)、ラウンジ

1F	1,439.63 ㎡	講義室(1)～(3)、ゼミ室(1)～(6)、ロッカールーム(男女)
ﾋﾟｯﾄ	420 ㎡	
計	5,878.13 ㎡	

医学検査校舎棟の使用計画等について、さらに詳しく述べる。医学検査校舎棟は4階建となるが、1階には洗面台付きの学生用更衣室(男・女)を設ける。1 階、2 階にはゼミ室(7室)を設け、自主学習やグループ教育活動の場としての利用が可能となる。2階、3階、4階には学生ラウンジを設けており、学生の自習及び休憩場所としている。

各フロアの構成として、講義室としては、1階に3室(各 168 席、126 席、126 席)と2階に1室(126 席)を設ける。実習室(一部演習室も兼ねる。)としては、2階に実習室1(96席：生化学・免疫・臨床化学・公衆衛生・遺伝子)、実習室2(32 席)、遺伝子検査実習室1及び遺伝子検査実習室2、細胞検査士養成コース実習／演習室(3年生用、4年生用の2室)を設け、3階に生理検査実習室(96 席)、形態検査／細菌･病理･血液検査実習室(96 席)、質量分析装置・フローサイトメーター・液体クロマトグラフィ等実習室及び細胞培養・胚培養実習／演習室を設ける。

4階には、教員の研究室として、学科長室含めた個室を 13 室確保し、加えて、教員が共同で利用できる教員・実験研究室及び準備室を確保している。

学内での講義、実験、演習、実習等で使用する機械器具，標本、模型等の設備は新たに購入する。整備を予定している主な機械器具、標本等のリストについては、(資料 18)のとおりであり、授業に支障がないよう整備していく。

なお、図書・雑誌等については、大田原キャンパス図書館においてすでに図書 103,360 冊(内洋書 8,518 冊)、電子図書 24,910 誌(内洋書 23,282 誌)、学術雑誌 2,520 誌(内洋雑誌 518 誌)、電子ジャーナル 16,334 誌(内洋書 14,727 誌)を整備している。

これに加え医学検査学科では、専門図書 500 冊、専門電子図書 500 誌(内洋書 100 誌)、専門視聴覚資料 30 本を追加整備することとしている。整備する主な図書等は(資料 19)のとおりである。

さらに、他の大学との協力体制は NACSIS-ILL に加盟しており、全国の図書館との間で相互貸借業務を行っている。

大田原キャンパスにおける図書館の閲覧室／自習室はD棟1階にあり、合わせて 726 席を学生の学修環境として整備している。

文献、資料の検索は学生自身が検索用 PC を使用して行うほか、窓口を設けて司書が相談に応じることとしている。

１４．管理運営

学校教育法第 93 条、学校教育法施行規則第 143 条などに基づいて、教学面の管理運営を行うために管理運営委員会、教授会、学科長会議及び学科会を置いている。組織の機能、構成などについては、以下のとおりであり、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

(1)管理運営委員会

教学面を含む大学全体の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため「管理運営委員会」を置いている。学長が招集し、議長となり、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長等をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。

開催方法は、大田原キャンパス、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパス、附属病院を結んだオンライン会議システムを用いて実施する。審議する事項は以下のとおりであり、開催頻度は原則として毎月 1 回である。

（審議事項）

一 、学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
二 、大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
三 、本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
四 、教員人事の基準及び調整に関する事項
五 、学生の定員に関する事項
六 、学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
七 、理事会の諮問事項
八 、附属病院の運営に関する重要事項
九 、その他、本学の運営に関する重要事項

(2)教授会

管理運営委員会が全学の重要事項を審議するのに対し、学部の教学面に関する重要決定事項は教授会で審議される。教授会規程第 3 条に、教授会に代表者会議を置くことができるものとし、同条第 2 項に、代表者会議は、当該学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成すると規定しており、本学では学部ごと又は複数学部にまたがって「代表者会議」を置いている。

また、同条第 5 項に、「代表者会議の議決をもって教授会の議決とすることができる。」と規定しており、審議する事項は学生の身分に関する事項、卒業及び進級の課程の修了

に関する事項、入学試験に関する事項などであり、代表者会議の開催頻度は原則として毎月１回である。

(3)学部長・学科長会議

学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にまたがって学部長・学科長会議を置いている。学部長・学科長会議は、規定に基づき学長が議長となり、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任の教員をもって構成する。

また、毎年度初めにはすべての学部長・学科長による全学学部長・学科長会議を開催している。なお、学部長・学科長会議は、規定に基づき教育課程の編成、学位の授与などの学部運営について責任を担う会議として位置づけられている。

(4)学科会

学科内の教学に関する事項について、専任の教員による連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置いている。なお、学科会は、規定に基づき教育課程の編成、学位の授与などの学科運営について責任を担う会議として位置づけられている。

(5)各種委員会

教授会の下部組織として下記の各種委員会などを置いている。

＜各種委員会＞

・教務委員会
・FD 委員会
・臨床教育委員会
・学生委員会
・国際交流委員会
・就職委員会
・ハラスメント防止委員会
・学生募集委員会
・教育用機器整備検討委員会
・図書委員会
・奨学金委員会
・倫理審査委員会

１５．自己点検・評価

学校教育法第 109 条、大学設置基準第 2 条などに基づいて、教育研究水準の向上を図り教育目標及び社会的使命を達成するため、教育研究活動や管理運営等の状況につ

いて自己点検・評価を次のとおり実施しており、医学検査学科においても同様に実施する。

(1)実施方法・実施体制

本学の学則第 1 条の 2 に「本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定められており、これを受け、本学では、2000(平成 12)年度に初めて自己点検・自己評価を実施し、報告書にまとめ、「2000 年度国際医療福祉大学自己点検・自己評価報告書」を刊行した。その後、2 年～3 年に 1 度自己点検・自己評価を行い、2007(平成 19)年度及び 2014(平成 26)年度 2021(令和 3)年度には、日本高等教育評価機構による第三者評価を受審し、適格評価を受けた。

また、実施体制であるが、学長を委員長に、副学長、大学院長、副大学院長、学部長、研究科長、副学部長、学科長、大学院専攻主任、学生部長、教務統括委員長、図書館長、常任理事、事務局長などから構成する自己点検・自己評価委員会を置き、「自己点検・自己評価委員会規程」に基づいて意思決定がなされている。委員会の任務を遂行するため、原則として毎月 1 回行われる自己点検・自己評価委員会のもとに、教育研究活動に係る事項は、教務委員会及び学生委員会、管理運営に係る事項は管理運営委員会及び経営会議を置いている。

さらに、各種委員会及び担当部署により教育研究活動に関するデータ収集や種々の点検を行っている。報告書作成に当たっては、各評価基準の担当者(自己点検・評価委員会又は各種委員会委員長)が行い、自己点検・評価委員会で全体の調整を図りながら検討される。

(2)評価項目

これまで本学は、以下の自己点検・評価を行ってきた(※は第三者評価機関)。原則 2 年ごとに本学の理念に沿った評価基準を設定し、全学的な自己点検・評価を行うとともに、本学の運営改善に反映していくこととしている。

＜各年度の評価項目＞

実施年度	評価項目
2000(平成 12)年度	基本理念教育理念、各学科の取組、学生の受入れ、カリキュラム、教育指導等
2002(平成 14)年度	学生生活の実態把握・評価
2004(平成 16)年度	本学卒業生の社会活動
2007(平成 19)年度	大学機関別認証評価　適格　※財団法人日本高等教育評価機構

2008(平成 20)年度	地域連携
2009(平成 21)年度	自己点検 21　※一般社団法人薬学教育評価機構
2010(平成 22)年度	国際交流
2013(平成 25)年度	リハビリテーション教育評価認定審査 ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
2014(平成 26)年度	大学機関別認証評価　適格　※公益財団法人日本高等教育評価機構
2017(平成 29)年度	国際交流の更なる展開
2018(平成 30)年度	リハビリテーション教育評価認定審査(保健医療学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	WFOT 認定等教育水準審査(保健医療学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部) ※一般社団法人日本作業療法士協会
2019(令和元)年度	2014(平成 26)年度から 2020(令和 2)年度までの 7 年間の中長期計画の点検・評価
	リハビリテーション教育評価認定審査(成田保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	WFOT 認定等教育水準審査(成田保健医療学部) ※一般社団法人日本作業療法士協会
	薬学教育評価　評価継続(2023(令和 5)年度再評価受審) ※一般社団法人　薬学教育評価機構
2021(令和 3)年度	大学機関別認証評価　適格　※公益財団法人日本高等教育評価機構
2023(令和 5)年度	医学教育分野別評価 評価基準に適合認定 ※一般社団法人　日本医学教育評価機構（JACME）
	リハビリテーション教育評価認定審査(保健医療学部、小田原保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	薬学教育評価 評価基準に適合評価 ※一般社団法人　薬学教育評価機構

(3)結果の活用と公表

本学の学則第 1 条の 3 に「本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。」と規定されている。自己点検・自己評価報告書が初めて発行された 2000(平成 12)年度からこれまでの報告書は、製本の上、専任教員代表者会議や学部長・学科長会議などの各種会議で学内共有すると同時に教職員に配布し、本学の現状及び課題について再認識を促している。さらに、ホームページに本学の活動を公表し、学外から本学への意見や要望の収集にも努めている。

１６．情報の公表

学校教育法第 113 条、学校教育法施行規則第 172 条の 2 などに基づいて、大学は教育研究究活動等の状況を積極的に社会に公表していくこととされている。大学における教育研究活動等の状況について、次のとおり積極的に情報を提供しており、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

(1)事業報告書の公表

本学では、私立学校法第 47 条に基づき、以下の 5 つの財務諸表及び役員等名簿について、学内での閲覧を可能とするとともに、ホームページで公開している。

・収支計算書
・貸借対照表
・財産目録
・事業報告書
・監事の監査報告書
・役員等名簿

(2)教育情報の公開

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、教育研究活動等に関する以下の情報をホームページで広く社会に公開している。

1)アドレス　https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html
HOME > 大学について>
https://www.iuhw.ac.jp/about/information.html
HOME > 大学について> 情報公開

2)掲載内容
＜教育研究上の基礎的な情報＞
①学則

②学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的
③専任教員数、専任教員の構成
④校地・キャンパス等の施設その他の学生の教育研究環境
⑤授業料、入学料その他大学等が徴収する費用
⑥校舎等の耐震化率及び耐震化完了計画
⑦寄附行為、役員等名簿、役員等報酬基準

＜修学上の情報等＞

① 教員組織、各教員が有する学位及び業績
② 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数
・入学者に関する受入方針「アドミッション・ポリシー」
・入学者数
・収容定員
・在学者数
・卒業(修了)者数
・進学者数、就職者数
③ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の内容)
・教育課程の編成方針「カリキュラム・ポリシー」
・授業科目
・授業の方法及び内容並びに年間の授業計画
④ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)
・学位授与の方針「ディプロマ・ポリシー」
・卒業要件
・学位及び成績評価基準
⑤ 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援
・学生の修学
・進路選択
・心身の健康等
⑥ 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

＜その他の教育研究上の情報＞

① 教育条件
・教員一人当たり学生数、収容定員充足率
② 教育内容
・教員の専任･非常勤数
・学位授与数

・就職先の情報

③ 学生の状況

・入学者推移、社会人学生数、留学生数及び海外派遣学生数

・卒業時・学修行動調査アンケート

④ 国際交流・社会貢献等の概要

・提携大学、社会貢献活動、大学間連携、産官学官連携

(3)年報・広報誌等による教育研究活動の公開

本学では、年報(年 1 回発行)、IUHW 学会誌(年 2 回発行)、広報誌 IUHW(年 4 回発行)、インターネット・ホームページ等を通して、本学の基本理念、組織機構、教育内容、学生活動、委員会報告、研究活動、国際交流等について学内外に提供している。大学のホームページでは、学則や直近の学部・大学院の設置関係資料(設置認可申請書、設置計画履行状況報告書)も公開している。

年報は年 1 回 250 部発行している。掲載内容は、その年度の各種委員会組織・活動、大学行事、受験者・入学者・在籍者・卒業者等の統計データ、学生の部・サークル活動、就職状況、国際交流、附属病院の状況等である。配布先は、各キャンパスの事務局・図書館、附属病院・関連施設、実習施設等である。

IUHW 学会誌は年 2 回 1,200 部発行している。IUHW 学会誌は本学教員の研究成果、国際医療福祉大学学会員である本学の教員・大学院生の研究発表や活動報告の場であり、学会員であれば学外者の投稿も認めている。配布先は、学会員と本学及び附属・関連施設等である。また、博士学位論文、修士学位論文題目は、ホームページ「国際医療福祉大学リポジトリ」で一般に公開している。

広報誌 IUHW は年 4 回発行で、発行部数は毎号 30,000 部である。掲載内容は、大学で開催された行事や学生活動を中心に、附属・関連施設の出来事、役員、新任教員などの紹介、同窓会通信、在学生取材記事等である。配布先は本学の学生、教職員、同窓会会員、教育後援会員(在学生の保護者)、附属・関連施設職員、行政機関等である。

その他、大学のホームページでは社会に向けた情報発信も積極的に行っているが、これら媒体を通した情報提供だけでなく、受験生や医療福祉関係者、一般市民等を対象とした市民公開講座、研修会等も数多く開催しており、生涯学習の拠点としての役割も担っている。

また、運動会等の大学行事に地域の障害者、高齢者を招待するなど、本学の理念である「社会に開かれた大学」の実現に努めている。

(4)その他の情報公開

1)自己点検・評価報告書(https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html)

HOME > 大学について > 自己点検・評価報告

2)大学機関別認証評価結果(https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html)

１７．教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

大学設置基準第 11 条に基づいて、本学の FD(Faculty　Development)活動、SD(Staff Development)活動は、既存の大学院・学部・学科において研修会、講演会、学生による授業評価アンケートなどを次のとおり実施しており、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

（1）FD 活動

本学では、教育及び授業の改善、教員の研修など教員の質を向上させることを目的に各キャンパスに FD 委員会を設置している。FD 委員会では、教育法の改善及び教員の資質の向上など FD に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るためにさまざまな活動に取り組んでいる。取組の代表的なものとして、「5 キャンパス合同教員研修会」を開催している。本研修会では、外部講師を招く講演会を行っている。また、学内研究費を受給した教員の中から「若手研究者奨励賞」の表彰を実施し、受賞者による研究報告を行っている。これらの学内 FD 研修会を通し、教員に対する教育の質の向上、教育力の改善を図っている。

なお、教職員を対象とした研修会や講演会等は、教職員に対する教育の機会として設けているものであり、就業規則第 56 条に「職務に支障を来さない限り出席しなければならない」として出席を義務づけている。

さらに、学内研修の他に外部研修への参加も推奨しており、参加する教員に対しての経費は各学科、センター予算から支出している。

（2）学生による授業評価アンケート

本学では、FD 委員会により、教育・教授方法の改善のため、全キャンパス合同で教員研修会を実施している。その他、学生・教員間の双方向的なシステムとして、年間 2 回(前期・後期)各授業において学生による授業評価アンケートを全学的に行い、その結果を各教員は授業を通して学生にフィードバックしている。

また、各学科・センターにおいても各教員の結果を比較検討しお互いの授業に生かせるよう継続実施し、更なる授業内容・方法の向上に努めている。この授業アンケートは FD 委員会でアンケート項目を検討し、全キャンパス共通アンケートとして実施している。

さらに、学生の成績評価をより厳格に客観的な評価をする GPA(Grade Point Average)の導入により、学生の実力を把握し、全般的な教育方法の改善に役立てている。

(3)学修調査アンケート

シラバスには「準備学修・学修へのアドバイス」の欄を設け担当教員からのアドバイスを記載し、教室外学習を促している。また、学生自身の学習状況については、平成 25 年度から実施している「学修調査アンケート」を行い、適切な学修時間が確保されているかを検証することとする。

(4)グッドティーチング賞制度

教員の「教育力の質」の改善については、2012(平成 24)年度より学長のリーダーシップのもと、「グッドティーチング賞制度」を設け、受賞教員の教授方法を共有情報として公開し、それを参考に各自が教育方法の工夫に努めている。このグッドティーチング賞は、前述の学生による授業アンケートを用いて多くの学生から高い評価を受けている教員を表彰する制度である。グッドティーチング賞制度は、その取組を通じて、教員間の授業形態・運営方法の工夫を共有し改善につなげ、教育の質向上、教育研究活動の活性化に結びつけていくことを目指している。さらに、教員が学生の声に謙虚に耳を傾け、様々な状況を理解し、授業における教員-学生相互のコミュニケーションが活性化されることを意図し、ひいては学生の学ぶ力の向上を目指している。

(5)SD 活動

本学では、従前より関連の医療施設及び福祉施設を含めた事務職員の資質向上を目的として年 2 回の研修会を全法人的に実施している。これに加え、職員を対象とした研修会も SD 研修として別途実施することとしており、オンラインを用いて 5 キャンパス合同の研修会を複数回に渡り開催している。

なお、勤務等の都合によりライブ受講できなかった職員のために、研修の収録動画を学内 e ラーニング(Mediasite)に掲載するとともに積極的な声掛けを行い、研修参加率向上に努めることとする。

１８．社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

本学の多くの学科では卒業時に国家試験受験資格が得られることから、資格取得後の専門職に直結した教育体制が整備されている。

就職及び進学支援については、各学科教員から構成される就職委員会と学生課が連携し、積極的な情報収集ときめ細やかな情報共有を図ることで全学的な就職支援体制を構築している。

各学科の実情にあわせた年次計画をもとに、就職活動を控えた学生及び就職指導を担当する教員に対して「キャリア支援セミナーBasic テキスト」(資料 20)を配付した上で、学生課が主体となり年数回の就職ガイダンスを実施している。特に、就職活動キックオフやガイダンスにおいては、就職活動の心構え、求人情報の収集方法、就職

内定までのスケジュールなどを説明すると共に、マナー講習会を開催するなど、社会人としての成長を見据えた就職活動の在り方を教授している。さらに、学生の保護者に対しても同様の「キャリア支援ハンドブック《保護者編》」(資料 21)を配付し、就職活動情報や依頼(注意)事項を提供している。

大学に届いた求人情報については、求人票を受領した各キャンパスの就職担当者が随時最新の情報へ更新を行っている。その情報は就職支援システム「IUHW キャリアサポート」を通して、どのキャンパスに届いた求人情報であっても学生は閲覧することが可能となっている。

また、パソコン・タブレット・スマートフォンから学内外において随時求人情報を閲覧でき、利便性に配慮している。さらに、卒業時には自分の就職活動における留意点や試験、面接の内容等を報告書にまとめ、それを在学生が閲覧できるように整備している。求人情報以外の病院見学やインターンシップ、募集要項等資料については、紙媒体でも閲覧できるよう各キャンパスで管理されている。

大田原キャンパスでは、就職情報コーナーに情報を集約し、開室時間中は自由に閲覧することできるよう整備している。

学生の求人情報を得るために、毎年全国の医療機関及び福祉施設等に求人票を発送し、情報収集に努めている。加えて、多くの学科において臨地実習が行われていることもあり、教職員が近県の病院や施設を訪問する機会を通じて、教育カリキュラムに対する理解を得ながら、求人や採用についても情報を収集している。

さらに、卒業生及び就職先の管理者に対して就職先アンケートを実施し、就職先の教育の成果や効果を検証し、教育活動等の改善に繋げることにも合わせて取り組んでいる。

(各学科での取組)

医療福祉専門職の国家資格の取得にあわせた教育体制と連動した就職指導は、各学科の就職担当教員が主体となって行っている。国家資格の受験取組時期と就職活動の開始時期が重複することも多く、学科長を中心に就職担当教員及び就職対象学年のゼミナール教員などにおいて連携し、調整を行っている。

就職担当教員は、学科全体の就職活動に向けた取組について計画、実施、評価など一連の運営管理を行っている。同時に、就職委員会の委員として、本学全般の動向を把握しながら、他学科における取組状況を参考にするなど、横の連携を図っている。特に、医療福祉専門職としての就職先は学科横断的な求人が得られることから、一医療機関から複数の職種の求人につながることも多く、就職担当教員は自らの学科の状況だけではなく、他学科を含めた求人動向を把握することも重要な役割となっている。さらに、学生に対しての具体的支援のひとつとして、就職活動を行う学年のゼミナール指導教員からの助言を受けながら個別面談を行い、学生の希望や適性、就職先とのマッチングなど総合的な視野から丁寧な指導を行っている。

また、就職活動の進捗に応じて、就職説明会の開催、履歴書の添削、就職模擬面接の実施などを行い、就職先の決定に向けての助言や方向付けなど個別対応を重視した就職指導を実施している。

(キャリア支援)

大学をあげて学生の就職活動を支援する目的から、本学でも 2009(平成 21)年 4 月より「キャリア支援センター」を開設している。

大田原キャンパス学生課が主体となり、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパスなど 5 キャンパス合同による情報交換を行っている。各キャンパスに開設している同じ学科間の調整は、オンライン会議システムを活用することで情報共有を行い、地理的な課題を解決している。各キャンパスの学科別の求人情報、就職内定情報など、就職担当教職員がお互いの取組状況を話し合える貴重な機会となっている。

キャリア支援センターが置かれている大田原キャンパスでは、キャリアコンサルタントの国家資格を有した職員を配置し、就職支援体制を強化している。予約制の個別相談枠を設定し、対面およびオンラインにて面接指導及び履歴書・エントリーシートの添削指導などを行っている。

設置の趣旨等を記載した書類　資料目次

資料 1　2022年度　就職決定状況・進路状況 ---- P.　2

資料 2　国際交流（海外学術協定締結先リスト） ---- P.　3

資料 3　2018-2022年度　大田原・大川キャンパス地域就職率 ---- P. 127

資料 4　栃木県 医療機関勤務の臨床検査技師数の推移について ---- P. 128

資料 5　栃木県臨床検査技師会　要望書 ---- P. 129

資料 6　栃木県臨床検査技師会　覚書 ---- P. 130

資料 7　DP・AP・CPの相関表 ---- P. 132

資料 8　履修モデル ---- P. 133

資料 9　保健医療学部医学検査学科　臨地実習先の実習計画 ---- P. 139

資料 10　実習施設一覧 ---- P. 140

資料 11　実習施設承諾書 ---- P. 142

資料 12　実習契約書（本学書式） ---- P. 189

資料 13　個人情報に関する誓約書（本学書式） ---- P. 191

資料 14　臨地実習ガイドライン2021 ---- P. 192

資料 15　保健医療学部医学検査学科入試概要（予定） ---- P. 207

資料 16　国際医療福祉大学任期付専任教員規程 ---- P. 208

資料 17　学校法人国際医療福祉大学教職員定年規程 ---- P. 211

資料 18　保健医療学部医学検査学科・機器リスト ---- P. 212

資料 19　保健医療学部医学検査学科・図書リスト ---- P. 217

資料 20　キャリア支援セミナーBasic2024 ---- P. 259

資料 21　キャリア支援ハンドブック2024年度版 ---- P. 262

資料1

2022年度 国際医療福祉大学 就職決定状況・進路状況

2023年 5月1日現在

区分	学部学科	卒業者数 計	卒業者数 男	卒業者数 女	就職希望者数 計	就職希望者数 男	就職希望者数 女	就職決定者数 計	就職決定者数 男	就職決定者数 女	就職率（%）	進路未定者数	備考		
保健医療学部	看護学科	118	14	104	107	14	93	(54) 107	(6) 14	(48) 93	100.0%	0	進学 その他	10 1	
	理学療法学科	97	47	50	97	47	50	(13) 97	(5) 47	(8) 50	100.0%	0	進学 その他	0 0	(6)
	作業療法学科	73	26	47	72	25	47	(11) 72	(3) 25	(8) 47	100.0%	0	進学 その他	0 1	
	言語聴覚学科	62	8	54	62	8	54	(12) 62	(3) 8	(9) 54	100.0%	0	進学 その他	0 0	(1)
	視機能療法学科	49	14	35	45	14	31	(5) 45	(1) 14	(4) 31	100.0%	0	進学 その他	1 3	
	放射線・情報科学科	106	58	48	95	53	42	(9) 95	(5) 53	(4) 42	100.0%	0	進学 その他	1 10	(2)
	計	505	167	338	478	161	317	(104) 478	(23) 161	(81) 317	100.0%	0	進学 その他	12 15	(9)
医療福祉学部	医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科（経営系）	57	22	35	50	17	33	(7) 50	(2) 17	(5) 33	100.0%	0	進学 その他	2 5	(1)
	医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科（福祉系）	89	28	61	83	25	58	(10) 83	(5) 25	(5) 58	100.0%	0	進学 その他	1 5	(1)
	計	146	50	96	133	42	91	(17) 133	(7) 42	(10) 91	100.0%	0	進学 その他	3 10	(2)
薬学部	薬学科（６年制）	121	47	74	109	40	69	(8) 109	(4) 40	(4) 69	100.0%	0	進学 その他	0 12	(1)
	計	121	47	74	109	40	69	(8) 109	(4) 40	(4) 69	100.0%	0	進学 その他	0 12	(1)
大田原キャンパス　合計		772	264	508	720	243	477	(129) 720	(34) 243	(95) 477	100.0%	0	進学 その他	15 37	(12)
医学部	医学科	125	73	52	124	72	52	(40) 124	(22) 72	(18) 52	100.0%	0	進学 その他	0 1	
成田看護学部	看護学科	103	9	94	97	9	88	(52) 97	(4) 9	(48) 88	100.0%	0	進学 その他	5 1	
成田保健医療学部	理学療法学科	82	36	46	79	33	46	(9) 79	(4) 33	(5) 46	100.0%	0	進学 その他	1 2	(10)
	作業療法学科	47	11	36	45	10	35	(9) 45	(1) 10	(8) 35	100.0%	0	進学 その他	0 2	(1)
	言語聴覚学科	38	3	35	38	3	35	(3) 38	(0) 3	(3) 35	100.0%	0	進学 その他	0 0	
	医学検査学科	85	25	60	65	17	48	(18) 65	(5) 17	(13) 48	100.0%	0	進学 その他	11 9	(3)
成田キャンパス合計		480	157	323	448	144	304	(131) 448	(36) 144	(95) 304	100.0%	0	進学 その他	17 15	(14)
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	心理学科	58	10	48	32	8	24	(4) 32	(0) 8	(4) 24	100.0%	0	進学 その他	24 2	
	医療マネジメント科	66	27	39	60	23	37	(6) 60	(4) 23	(2) 37	100.0%	0	進学 その他	2 4	
東京赤坂キャンパス合計		124	37	87	92	31	61	(10) 92	(4) 31	(6) 61	100.0%	0	進学 その他	26 6	(0)
小田原保健医療学部	看護学科	82	13	69	80	13	67	(33) 80	(4) 13	(29) 67	100.0%	0	進学 その他	2 0	
	理学療法学科	79	36	43	78	35	43	(7) 78	(3) 35	(4) 43	100.0%	0	進学 その他	0 1	(1)
	作業療法学科	33	7	26	33	7	26	(3) 33	(1) 7	(2) 26	100.0%	0	進学 その他	0 0	
	小田原キャンパス合計	194	56	138	191	55	136	(43) 191	(8) 55	(35) 136	100.0%	0	進学 その他	2 1	(1)
福岡保健医療学部	理学療法学科	78	43	35	78	43	35	(7) 78	(4) 43	(3) 35	100.0%	0	進学 その他	0 0	(1)
	作業療法学科	32	13	19	32	13	19	(1) 32	(1) 13	 19	100.0%	0	進学 その他	0 0	
	言語聴覚学科	35	3	32	35	3	32	(3) 35	(2) 3	(1) 32	100.0%	0	進学 その他	0 0	
	医学検査学科	65	21	44	56	19	37	(9) 56	(1) 19	(8) 37	100.0%	0	進学 その他	5 4	(1)
	大川キャンパス合計	210	80	130	201	78	123	(20) 201	(8) 78	(12) 123	100.0%	0	進学 その他	5 4	(2)
全キャンパス合計		1,780	594	1,186	1,652	551	1,101	(333) 1,652	(90) 551	(243) 1,101	100.0%	0	進学 その他	65 63	(29)

【注１】就職率は、就職希望者に対する就職決定者の割合
【注２】就職決定者数欄の（ ）内は大学附属及び大学関連施設に就職した人数
【注３】進学（ ）内は就職し、かつ進学する人数
【注４】その他は、就職・進学を希望しない人数

海外学術協定締結先リスト

資料2

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	台湾	元培醫事科技大学 Yuanpei University of Medical Technology	2019.10.28.	40	自動更新	更新手続き必要なし
	タイ	クリスチャン大学 Christian University of Thailand	2023. 8.10.	50	自動更新	更新手続き必要なし
		マヒドン大学（公衆衛生学部） Faculty of Public Health, Mahidol University	2007.7.23 (Renewed 2017.5.3)	5	2017年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	USA	ハワイ大学 カピオラニ校 University of Hawaii Kapiolani Community College	2009.4.2 (Renewed 2014.12.22)	5	2014年から5年、その後さらに5年更新（期限は2024年12月）	2024年12月22日
		ピッツバーグ大学医学部 The University of Pittsburgh School of Medicine	2016.4.1 (Renewed 2021.5.13)	5	2021年から5年(期限は2026年5月)	2026年5月13日
	中国	首都医科大学康復医学院 Capital Medical University, School of Rehabilitation Medicine	2009.3.23	中国リハビリテーション研究センターとセット	-	-
		中国科学院大学 University of Chinise Academy of Sciences	2017.4.28	10	2017年から1年,その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		北京大学医学部 Peking University Health Science Center	2021.7.8	5	2021年から5年(期限は2026年7月)	2026年7月8日
	韓国	建陽大学校 Konyang University	2020. 3.14.	100	自動更新	更新手続き必要なし
		仁済大学校 Inje University	2020. 7.17.	50	自動更新	更新手続き必要なし
		大邱韓医大学校 Daegu Haany University	2020. 3.11.	40	自動更新	更新手続き必要なし
		乙支大学校 Eulji University	2021. 7.29.	30	自動更新	更新手続き必要なし
	ミャンマー	国立ヤンゴン看護大学 University of Nursing, Yangon	2013.10.31 (Renewed 2018.7.12)	20	2018年から1年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		ヤンゴン第一医科大学 University of Medicine 1, Yangon	2013.12.14	10	2013年から1年、その後は1年のみ更新（期限切れ）	更新手続き必要なし
		ヤンゴン第二医科大学 University of Medicine 2, Yangon	2017.7.22	10	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		国立ヤンゴン医療技術大学 University of Medical Technology, Yangon	2020.10.8.		自動更新	更新手続き必要なし

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	ベトナム	ホーチミン市医科薬科大学 University of Medicine and Pharmacy, Ho Chi Minh City	2019.12.13.	チョーライ病院と共同	自動更新	更新手続き必要なし ＊チョーライ病院、IUHW,FIUHWとの4者協定
		国立ハノイ医科大学 Hanoi Medical University	2021. 2.25.	90	自動更新	更新手続き必要なし
		フエ医科薬科大学 Hue University of Medicine and Pharmacy	2017.11.1	30	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		カントー医科薬科大 Can Toh University of Medicine and Pharmacy	2023.9.29		2023年署名日から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	オーストラリア	グリフィス大学 Griffith University	2020. 12. 4	120	2025. 12. 4.	2025年6月4日に更新手続き開始（自動更新検討のこと）
	ニュージーランド	オタゴ大学 The University of Otago	2017.4.4	10	2017年から5年、その後は協議。（期限切れ）	延長交渉中
	シンガポール	シンガポール工科大学 Singapore Institute of Technology	2020. 9. 9.	80	自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	モンゴル国立医科大学 Mongolian National University of Medical Sciences	2020. 2.27.	20	自動更新	更新手続き必要なし
	ラオス	ラオス国立健康科学大学 University of Health Sciences, Lao PDR	2015.11.10	25	2015年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
	インドネシア	ウダヤナ大学 University of Udayana	2024. 2. 1	25	5年間	2028年8月初旬に更新手続き開始（自動更新検討のこと）
	マレーシア	マネージメント&サイエンス大学 Management & Science University	2023. 6. 8	35	自動更新	更新手続き必要なし
	フィリピン	フィリピン大学マニラ校 University of the Philippines Manila	2023.12.12	30	2028. 12. 13	2028年9月初旬に更新手続き開始（自動更新検討のこと）
	スペイン	アルカラ大学 The University of Alcala	2016.5.21	5	2016年から5年、その後は書面による更新依頼に基づく。（期限切れ）	IUHW署名完了 先方署名待ち
	カンボジア	カンボジア国立保健科学大学 University of Health Sciences, Cambodia	2016.07.28	20	2016年から3年、その後は(3年ごとの)自動更新	更新手続き必要なし
	ブータン	ブータン医科大学 Khesar Gyalpo University of Medical Science of Bhutan	2023.07.12		2023年から5年。(期限は2028.7.12)	2028年7月12日
	イギリス	イーストアングリア大学 University of East Anglia	2024.1.24	30	2029年1月8日	2028年中に要更新 2028年7月ごろより手続き開始
	フランス	パリ第 11 大学 Univesite Paris-SUD	2016.11.8	5	2016年から5年(期限切れ)	延長交渉中
	ハンガリー	センメルワイス大学 Semmelweis University	2016.11.7	20	2016年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
	ロシア	モスクワ第一医科大学 I.M.SECHENOV FIRST MOSCOW STATE MEDICAL UNIVERSITY	2017.10.10	5	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	フィンランド	ヘルシンキ大学 University of Helsinki	2018.2.13	5	2018年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	ポーランド	ヴロツワフ医科大学 Wroclaw Medical University	2018.3.15	5	2018年から5年、その後は1年ごとの自動更新(ただし、4年目の最初＝2022年3月に、更新するかのEvaluationを行う)	延長手続き中
	リトアニア	リトアニア健康科学大学 Lithuanian University of Health Sciences	2019.12.13	10	2019年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
機関	中国	中国リハビリテーション研究センター China Rehabilitation Research Center	2022年11月	40	2027年11月	2027年7月初旬に更新手続き開始 (自動更新検討のこと)
	オーストラリア	テイフ　クイーンズランド TAFE Queensland Gold Coast	2024.2.27	240	2022.11.1	
	シンガポール	ナンヤンポリテクニック Nanyang Polytechnic	2020. 7. 13.	60	自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	教育･文化･科学･スポーツ省 Ministry of Education and Science of (Mongolia	2023.12.02	-	2024年から2026年入学奨学生まで有効	
	ベトナム	保健省 The Ministry of Health of The Socialist Republic of Veit Nam	2019.8.13	-	2019年から2024年度奨学生まで有効	2025年度奨学生受入れ手続き開始前までに更新必要(2024年中)
病院	ベトナム	国立チョーライ病院 Cho Ray Hospital	2019.12.13.	UMPと共同	自動更新	更新手続き必要なし ＊ホーチミン医薬大学、IUHW,FIUHWとの4者協定
		国立バックマイ病院 Bach Mai Hospital	2015.3.5		2015年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
		フンブン病院 Hung Vuong Hospital	2019.1.18		2019年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	中国	中日友好病院 China-Japan Friendship Hospital	2019.10.17	5	2019年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	モンゴル日本教育病院 Mongolia-Japan Teaching Hiospital - MNUMS	2019.12.23	5	2019年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし

1,300

ポイント:福岡国際医療福祉大学を入れて締結し直したMOUは別管理で、それ以前のIUHWと先方とのMOUは2者間契約として引き続き有効。

海外学術交流協定締結先一覧
(46 大学/機関/施設、22 国/地域)
(※締結予定機関は含まず) 2023.2.29 現在

資料3

【大田原キャンパス既存学科　地域（栃木県）への就職者数と就職率】（過去５年間分）

本社住所(県)	看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科	
栃木県	245	45.2%	203	44.9%	165	43.0%	96	27.4%	53	25.6%	104	19.6%
	542		**452**		**384**		**351**		**207**		**530**	

医療福祉・マネジメント学科		薬学科		総計	
322	44.7%	170	22.0%	1358	34.3%
720		**773**		**3959**	

【成田キャンパス医学検査学科　地域（千葉県）への就職率】（過去3年間分）

本社住所(県)	医学検査学科	
千葉県	90	36%

【大川キャンパス医学検査学科　地域（福岡県）への就職率】（過去5年間分）

本社住所(県)	医学検査学科	
福岡県	152	40.5%

資料4

医療機関勤務の臨床検査技師数の推移について

臨床検査技師数の推移

	地域	2017	2020
1	全国	54,960	55,170
2	福島	890	873
3	茨城	1,056	1,019
4	栃木	855	789
5	群馬	918	878

人口10万人当たりに臨床検査技師数（病院）

	地域	2017	2020
1	全国	43.38	43.73
2	福島	47.28	47.63
3	茨城	36.51	35.56
4	栃木	43.66	40.82
5	群馬	46.81	45.28

人口10万人当たりに臨床検査技師数（診療所）

	地域	2017	2020
1	全国	9.40	9.97
2	福島	6.57	8.95
3	茨城	6.43	8.88
4	栃木	11.04	8.79
5	群馬	9.39	9.22

人口10万人当たりに臨床検査技師数（医療機関）

	地域	2017	2020
1	全国	52.77	53.71
2	福島	53.85	56.57
3	茨城	42.95	44.44
4	栃木	54.71	49.61
5	群馬	56.20	54.49

出所：医療施設（静態・動態）調査
（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html）
出所：総務省「人口推計（国勢調査）」
（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html）

資料5

栃臨技発第２２号
令和６年２月１４日

学校法人　国際医療福祉大学
理事長　高木　邦格　様

一般社団法人　栃木県臨床検査技師会
会長　内田 雄二

国際医療福祉大学医学検査学科新設について（要望）

日頃より栃木県臨床検査技師会の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、貴学は医療福祉専門職の育成とその地位向上を志し、平成７年度に日本初の医療福祉の総合大学として開設されました。

現在では、栃木県内の大田原キャンパスだけでも保健医療学部及び医療福祉学部、薬学部合わせて3,790名の学生が学ぶキャンパスとなり、さまざまな学修・研究施設の整備に加え、キャンパス内に６つの医療福祉施設を併設するなど教育環境の充実に努め、数多くの医療従事者を栃木県内に輩出されているものと承知しております。

そのような中、今般、貴学におかれましては、大田原キャンパスに栃木県初となる４年制大学臨床検査技師養成学科を令和７年度に新設する構想があると伺いました。

臨床検査技師養成学科の新設により、本会に所属する会員の資質向上につながるだけでなく、この地域における安定的な臨床検査技師の養成等、臨床検査技師を取り巻く様々な課題解決に貢献していただけるものと大いに期待しております。

つきましては、是非とも大田原市での臨床検査技師養成学科新設を実現くださるよう、強く要望いたします。

資料6

国際医療福祉大学と栃木県臨床検査技師会との連携に関する覚書

国際医療福祉大学（以下「甲」という。）と一般社団法人栃木県臨床検査技師会（以下「乙」という。）は、国際医療福祉大学保健医療学部医学検査学科学生（以下「検査学科学生」という。）の教育及び乙に所属する臨床検査技師の職能維持向上等に関して連携するため、以下のとおり覚書を締結する。

（連携）

第１条　甲及び乙は、連携して次に掲げる事項を実施するものとする。

一　検査学科学生の教育プログラムに関する事項

二　医学検査学科の実習に関する事項

三　乙に所属する臨床検査技師の職能維持向上及び生涯学習に関する事項

四　その他連携に関する事項

（協議会）

第２条　甲及び乙は前条各号の実施に関し協議会を設置する。

（実施細目）

第３条　甲及び乙は、第１条各号の実施に当たり必要と認めるときは、個別の活動に関する実施細目について甲及び乙で協議の上、定めるものとする。

（覚書の期間）

第４条　本覚書は、締結の日から効力を発するものとし、その有効期間を令和８年３月31日までとする。

２　有効期間終了の１か月前までに、甲または乙から書面による解除の申し出がない場合は、有効期間満了の日からさらに１年間有効とする。その後においてもまた同様とする。

第５条　この覚書に定めのない事項及びこの覚書に疑義が生じたときは、甲及び乙が別途協議の上決定する。

本覚書の締結を証するため、本覚書２通を作成し、甲及び乙の代表が署名の上、それぞれ１通を保有する。

令和　６年　２月１４日

甲　　栃木県大田原市北金丸２６００－１
学校法人　国際医療福祉大学
学　長　[illegible]　裕

乙　　栃木県宇都宮市若草１丁目10番６号
とちぎ福祉プラザ内
一般社団法人　栃木県臨床検査技師会
会　長　　内　田　雄　二

資料7

DP/AP/CP相関

教育理念		AP		DP		CP	CPと授業科目との対応	
建学の精神：病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指す	（求める学生像に一致）	**求める学生像**：本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・ 医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人	（DP1-DP7のすべてに関連）	**DP1**：臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。		**CP1**：:臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。	総合教育科目（外国語科目を含む）、海外保健福祉事情、専門基礎科目	
3つの基本理念： **「人間中心の大学」** **「社会に開かれた大学」** **「国際性を目指した大学」**	（求める学生像に一致）	**入学者に求める要件1）知識・技能**：高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。		**DP2**：臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。		**CP2**：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。	専門基礎科目、専門科目（検体系検査、生理学的検査、検体機器管理）、客観的能力試験	
7つの教育理念： **人格形成—DP2.3.6.7** **専門性—DP2～7** **学際性—DP1.3.7** **情報科学技術—DP3.5.6** **国際性—DP1.3.5.6** **自由な発想** **新しい大学運営**	（入学者に求める要件1～3）に一致）	**入学者に求める要件2）思考力・判断力・表現力**：保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。		**DP3**：チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。		**CP3**：臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有すると共に、他部門とのチームを構築して問題解決にあたることのできる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。	関連職種連携、データサイエンス、専門科目（検体系検査、生理学的検査、検体機器管理）、客観的能力試験、臨地実習、先端臨床検査学、、臨床検査特論、臨床検査研究論、卒業研究	
		入学者に求める要件3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志と責任感を有していること。		**DP4**：臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。		**CP4**：生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。	総合教育科目、関連職種連携、臨地実習、先端臨床検査学、臨床検査特論、臨床検査研究論、卒業研究	
				DP5：臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。				
				DP6：問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。				
				DP7：医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求（研究活動）に発展させることができる。				

資料8

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	英語講読4（Advanced）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	英語講読3（Intermediate）	1	医学英語2（Basic）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1	医学英語1（Primary）	1										
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	生物学	2	英語CALL2（Basic）	1												
			コミュニケーション概論	2												
			法と道徳・倫理	2												
			統計学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1						
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1										
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2										
	生化学	1	病態薬理学	1												
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2	細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	1				
			入門細胞診断学演習	1	臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2	細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	1						
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								
					細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	1	細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	1								

		1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	2	7	4	4	1	1	0	0
	計	17	31	27	25	17	15	10	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	9		8		2		0	
	計	48		52		32		10	

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	英語講読4（Advanced）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	英語講読3（Intermediate）	1	英語会話2（Basic）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1	英語会話1（Primary）	1										
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	死生学−死を通して生を考える−	2	英語CALL2（Basic）	1												
	生物学	2	コミュニケーション概論	2												
			倫理学	2												
			統計学	2												
			疫学・保健医療統計学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1						
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1	臨床神経学	1								
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2	小児科学	1								
	生化学	1	病態薬理学	1	社会福祉学	2										
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2	遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	1	遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	1		
					臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2								
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								

学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	4	8	5	5	0	1	1	0
	計	19	32	28	26	16	15	11	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	12		10		1		1	
	計	51		54		31		11	

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	英語講読4（Advanced）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	英語講読3（Intermediate）	1	英語会話2（Basic）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1	英語会話1（Primary）	1										
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	死生学−死を通して生を考える−	2	英語CALL2（Basic）	1												
			コミュニケーション概論	2												
			倫理学	2												
			統計学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1			関連職種連携実習	1		
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1										
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2										
	生化学	1	病態薬理学	1												
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
			看護論	2												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2			生殖補助医療胚培養学演習	1		
					臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2								
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								
							生殖補助医療胚培養学	1								

学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	2	8	3	4	0	0	2	0
	計	17	32	26	25	16	14	12	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	10		7		0		2	
	計	49		51		30		12	

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	英語講読4（Advanced）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	英語講読3（Intermediate）	1	英語会話2（Basic）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1	英語会話1（Primary）	1										
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	物理学	2	英語CALL2（Basic）	1												
	生物学	2	コミュニケーション概論	2												
			倫理学	2												
			統計学	2												
			疫学・保健医療統計学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1						
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1										
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2										
	生化学	1	病態薬理学	1												
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2			臨床検査質量分析学演習	1		
					臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2	先進臨床検査技術学	2						
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								

学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	4	8	3	3	2	0	1	0
	計	19	32	26	24	18	14	11	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	12		6		2		1	
	計	51		50		32		11	

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	英語会話2（Basic）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	英語会話1（Primary）	1	医学英語2（Basic）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1	医学英語1（Primary）	1										
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	生物学	2	英語CALL2（Basic）	1												
			コミュニケーション概論	2												
			倫理学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1			関連職種連携実習	1		
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1	救急医学	1								
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2	臨床神経学	1								
	生化学	1	病態薬理学	1			小児科学	1								
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
			看護論	2												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2						
					臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2								
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								

学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	2	6	3	6	0	0	1	0
	計	17	30	26	27	16	14	11	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	8		9		0		1	
	計	47		53		30		11	

保健医療学部医学検査学科　臨床検査技師　履修モデル

科目区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
総合教育科目	データリテラシー	1	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	医学英語1（Primary）	1	医学英語2（Basic）	1								
	大学入門講座−医療人・社会人として成長するために−	1	化学	2	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	1	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	1								
	英語講読1（Primary）	1	医療必修−医療の倫理とプロ意識・医療情報−	1												
	英語CALL1（Primary）	1	英語講読2（Basic）	1												
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2	英語CALL2（Basic）	1												
	生物学	2	コミュニケーション概論	2												
			倫理学	2												
			統計学	2												
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	2	解剖学Ⅱ（各論）	2	公衆衛生学	2	関連職種連携論	2	関連職種連携ワーク	1			関連職種連携実習	1		
	解剖学Ⅰ（総論）	2	生理学	1	組織学演習	1	臨床医学概論	1								
	老年学	1	病理学	2	内科学	1	救急医学	1								
	遺伝学	1	リハビリテーション医学	1	検査機器学・情報システム学総論	2	小児科学	1								
	生化学	1	病態薬理学	1												
	医用工学・情報概論	2	臨床栄養学	1												
			分析化学	1												
			生化学実習	1												
			医用工学・情報実習	1												
専門科目	臨床検査管理総論	2	一般検査学	2	病理検査学	2	細胞診断学実習	1	病理検査学実習	2	臨床検査特論Ⅰ（応用）	2	臨床検査特論Ⅱ（発展）	4		
			臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	2	細胞診断学	1	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	血液検査学実習	2	臨地実習	11	卒業研究	4		
			遺伝子検査学	2	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	臨床化学検査学実習	2	微生物検査学実習	2	客観的臨床能力試験	1	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	2		
			臨床検査基礎演習	1	一般検査学実習	1	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	輸血・移植検査学実習	2						
					臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	免疫検査学実習	1	生理検査学実習	2						
					遺伝子検査学実習	1	輸血・移植検査学	2	精度管理学	1						
					微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	臨床検査研究論	2						
					医動物学演習	1	超音波・MRI検査学	2	循環動態画像診断学	1						
					免疫検査学	1	超音波・MRI検査学実習	2	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	1						
					生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	医療安全管理学演習	2								
					臨床検査統計学	2	医科分子生物学	1								

		1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	必修	15	24	23	21	16	14	10	0
	選択	4	6	2	5	0	0	1	0
	計	19	30	25	26	16	14	11	0
学年	必修	39		44		30		10	
	選択	10		7		0		1	
	計	49		51		30		11	

資料9

保健医療学部医学検査学科　臨地実習先の実習計画

◆実習計画

「臨地実習はすべて病院」(11単位)で行う。

3年後期　10月～12月　10月第1週目の月曜日から実習を開始し、11週間の臨地実習とする。

◆臨地実習先での週間計画

【臨地実習】

病院での臨地実習内容	1週目							2週目							3週目							4週目							5週目							6週目						
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
オリエンテーション (各病院の業務内容や各部門の全体説明等)	■																																									
生化学・免疫検査，採血，検体採取		■	■	■	■			■	■	■	■	■																														
一般検査															■	■	■	■	■																							
輸血検査																						■	■	■	■	■																
微生物・遺伝子検査，チーム医療																													■	■	■	■	■			■	■	■	■	■		

病院での臨地実習内容	7週目							8週目							9週目							10週目							11週目						
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
血液検査	■	■	■	■	■																														
病理・細胞診検査								■	■	■	■	■																							
生理検査，内視鏡，患者への説明															■	■	■	■	■			■	■	■	■	■			■	■	■	■	■		

◆病院での実習の具体的内容

オリエンテーション	検査部の組織と検査室の構成、技師の人数、各検査室の責任者や業務の内容、患者との接し方、医療事故防止などについての説明と実習にあたっての注意事項の説明。 チーム医療、タスクシフトおよび臨床検査技師の新たに業務範囲に追加された行為に関する研修として内視鏡などついて各検査室での実習内容の説明。
採血室	患者の呼び出しと確認方法、採血管と検査法の組合せ、採血上の注意事項、検体の処理方法。他に喀痰検査の採取法、特殊検査における患者の安静方法、患者の緊急時の対応方法。
生化学・免疫検査室	検体の処理法、精度管理、管理血清の取り扱い、検体保存法について。各種生化学、免疫学検査法についての実習とデータの評価。自動分析装置(生化学、免疫学)の取り扱い、その管理方法。 異常データへの対応方法など(検査の再測定、臨床への報告について) 精度管理、メンテナンス作業、検体採取は必ず見学させる。血液ガス分析検査は実施させることが望ましい。
採血、検体採取	採血室業務(採血行為を除く)は実施させることが望ましい。検体採取は必ず見学させる。
一般検査室	尿検査の前処理法と遠心条件、顕微鏡による尿中細胞の判定、尿の定性試験紙法の判定法、髄液検査法の修得、便潜血反応や免疫反応、寄生虫の検出法と顕微鏡による判定などの実習。 尿定性検査は必ず実施させる。精度管理、メンテナンス作業は必ず見学させる。尿沈渣検査は実施させることが望ましい。
輸血検査室	血液型の判定方法、交差試験と輸血、輸血用血液製剤の管理など、更に抗原抗体反応についての実習。 血液型検査は必ず実施させる。精度管理は必ず見学させる。交差適合試験、不規則抗体検査は実施させるのが望ましい。
微生物・遺伝子検査室、チーム医療	検体の取り扱い方法、前処理方法、培養方法(培地の選択、塗抹方法など)滅菌方法、培養結果(コロニーの観察と同定方法)血液培養、薬剤感受性などの実習、各種機器の取り扱い法。 感染対策チームの理解、臨床への報告について。遺伝子検査としては細菌、ウイルスの同定、がん遺伝子パネル検査などについてPCR検査などついて理解する。 培養・Gram 染色検査は必ず実施させる。チーム医療(NST、ICT、糖尿病療養指導)は必ず見学させる。同定・薬剤感受性試験は実施させることが望ましい。
血液検査室	検体の処理法、血液塗抹標本の作製方法と特殊染色および細胞像の読み方。血球計数装置の取り扱い法と機器の管理、結果の解釈と報告方法。 血液凝固検査と線溶系の測定原理と実習、結果の解釈と異常データへの対応方法など(検査の再測定、臨床への報告について) 血球計数検査、血液塗抹標本作成と鏡検は必ず実施させる。精度管理、メンテナンス作業は必ず見学させる。血栓・止血検査は実施させることが望ましい。
病理・細胞診検査室	診断材料の取り扱い(受付、固定、記録)、標本作製方法(薄切、染色)。免疫、遺伝子診断用の材料の取り扱い、組織学的遺伝子診断方法についての実習。細胞診断について(材料の取り扱い方、 固定法、染色法)悪性細胞の同定法、報告書の取り扱い。病理解剖の介助、感染防御、解剖に関する法律の理解、臨床とのカンファレンス。 精度管理、メンテナンス作業、臓器切り出しと臓器写真撮影、迅速標本作成から報告は必ず見学させる。HE 染色や特殊染色検査、病理標本観察、細胞診標本作成と鏡検は、実施させることが望ましい。
生理検査室、内視鏡、患者への説明	患者への医療接遇、緊急時の対応。心電図検査、脳波検査、超音波検査(循環器、深部臓器、表在臓器など)呼吸機能検査、筋電図検査などの実習。各種機器の保守点検、各種検査法の画像解析、検査結果の報告。 標準12 誘導心電図検査、肺機能検査(スパイロメトリー)は必ず実施させる。ホルター心電図検査のための検査器具装着、肺機能検査(スパイロメトリーを除く)、脳波検査、負荷心電図検査、超音波検査(心臓、腹部)、足関節上腕血圧比(ABI)検査、検査前の患者への説明(検査手順を含む)、消化器内視鏡検査は必ず見学させる。運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査は見学させることが望ましい。

※臨地実習前の技能習得到達度評価については、別に「客観的臨床能力試験」(1単位)として実習前に大学において履修する。

資料10

実習施設一覧、配置表

（保健医療学部　医学検査学科）　　臨地実習計画（11単位）：　3年後期　10月～12月　10月第1週目の月曜日から実習を開始し、11週間の臨地実習とする。

種別	No	実習施設名	所在地	授業科目名	授業科目受入可能人数	学生数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	職位	担当教員
附属病院	1	国際医療福祉大学熱海病院	静岡県熱海市東海岸町13-1	臨地実習	5	2																教授	藤巻　慎一
	2	国際医療福祉大学市川病院	千葉県市川市国府台6丁目1番14号	臨地実習	5	2																教授	藤巻　慎一
	3	国際医療福祉大学塩谷病院	栃木県矢板市富田７７	臨地実習	5	2																教授 助教	藤巻　慎一 奥田　亮
	4	国際医療福祉大学成田病院	千葉県成田市畑ヶ田852	臨地実習	5	2																教授	藤巻　慎一
	5	国際医療福祉大学病院	栃木県那須塩原市井口537-3	臨地実習	5	2																教授 教授	藤巻　慎一 中里　宜正
	6	国際医療福祉大学三田病院	東京都港区三田1-4-3	臨地実習	5	2																教授	藤巻　慎一
病院	7	秋田厚生医療センター	秋田県秋田市飯島西袋１－１－１	臨地実習	2	1																教授	長田　誠
	8	秋田大学医学部附属病院	秋田県秋田市広面字蓮沼44-2	臨地実習	2	1																教授	長田　誠
	9	足利赤十字病院	栃木県足利市五十部町284-1	臨地実習	2	2																教授	長田　誠
	10	石巻赤十字病院	宮城県石巻市蛇田字西道下71番地	臨地実習	2	2																教授	長田　誠
	11	いわき市医療センター	福島県いわき市内郷御厩町久世原16番地	臨地実習	1	1																教授	長田　誠
	12	岩手県立中央病院	岩手県盛岡市上田一丁目4番1号	臨地実習	2	1																教授	長田　誠
	13	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院	栃木県宇都宮市南高砂町11番17号	臨地実習	2	2																教授	久保田　紀子
	14	大崎市民病院	宮城県大崎市古川穂波三丁目８番１号	臨地実習	2	2																教授	久保田　紀子
	15	一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院	福島県郡山市西ノ内2-5-20	臨地実習	2	2																教授	久保田　紀子
	16	一般財団法人大原記念財団大原綜合病院	福島県福島市上町6番1号	臨地実習	2	2																教授	久保田　紀子
	17	JA秋田厚生連大曲厚生医療センター	秋田県大仙市大曲通町8-65	臨地実習	2	1																教授	久保田　紀子
	18	上都賀厚生農業協同組合連合会上都賀総合病院	栃木県鹿沼市下田町１丁目1033番地	臨地実習	2	2																教授	久保田　紀子
	19	社会福祉法人恩賜財団群馬県済生会前橋病院	群馬県前橋市上新田町564-1	臨地実習	1	1																准教授	青木　裕志
	20	慶應義塾大学病院	東京都新宿区信濃町35番地	臨地実習	2	2																准教授	青木　裕志
	21	埼玉県立がんセンター	埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780	臨地実習	2	2																准教授	青木　裕志
	22	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	埼玉県和光市諏訪2-1	臨地実習	3	2																准教授	青木　裕志
	23	佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院	栃木県佐野市堀米町1728	臨地実習	4	2																准教授	青木　裕志
	24	自治医科大学附属病院	栃木県下野市薬師寺3311-1	臨地実習	2	2																准教授	青木　裕志
	25	新小山市民病院	栃木県小山市大字神鳥谷2251番地1	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里
	26	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11番12号	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里
	27	一般財団法人竹田健康財団竹田綜合病院	福島県会津若松市山鹿町3番27号	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里
	28	筑波大学附属病院	茨城県つくば市天久保２丁目１番地１	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里
	29	東京大学医学部附属病院	東京都文京区本郷七丁目3番1号	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里
	30	東北医科薬科大学病院	宮城県仙台市宮城野区福室一丁目12番1号	臨地実習	2	2																准教授	岡山　香里

実習施設一覧、実習計画、配置表

（保健医療学部　医学検査学科）　　臨地実習計画（11単位）：　3年後期　10月～12月　10月第1週目の月曜日から実習を開始し、11週間の臨地実習とする。

種別	No	実習施設名	所在地	授業科目名	授業科目 受入可能人数	学生数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	職位	担当教員
病院	31	東北大学病院	宮城県仙台市青葉区星陵町1番地1号	臨地実習	4	2																准教授	山﨑　まどか
	32	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	宮城県仙台市青葉区台原４丁目３番２１号	臨地実習	2	2																准教授	山﨑　まどか
	33	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37	臨地実習	3	2																准教授	山﨑　まどか
	34	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	栃木県宇都宮市竹林町９１１－１	臨地実習	4	2																准教授	山﨑　まどか
	35	地方独立行政法人 栃木県立がんセンター	栃木県宇都宮市陽南4-9-13	臨地実習	2	1																准教授	山﨑　まどか
	36	とちぎメディカルセンターしもつが	栃木県栃木市大平町川連420番地1	臨地実習	2	2																准教授	山﨑　まどか
	37	獨協医科大学病院	栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地	臨地実習	2	2																准教授	森　幸太郎
	38	那須赤十字病院	栃木県大田原市中田原1081-4	臨地実習	2	2																准教授 助教	森　幸太郎 奥田　亮
	39	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	埼玉県所沢市若狭2-1671	臨地実習	3	2																准教授	森　幸太郎
	40	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構　日本海総合病院	山形県酒田市あきほ町30番地	臨地実習	2	1																准教授	森　幸太郎
	41	能代厚生医療センター	秋田県能代市落合字上前田地内	臨地実習	2	1																講師	小笠原　篤
	42	芳賀赤十字病院	栃木県真岡市中郷271	臨地実習	2	2																講師	小笠原　篤
	43	八戸市立市民病院	青森県八戸市田向三丁目1番1号	臨地実習	2	1																講師	小笠原　篤
	44	弘前大学医学部附属病院	青森県弘前市本町53	臨地実習	2	1																講師	小笠原　篤
	45	防衛医科大学校病院	埼玉県所沢市並木３丁目２番地	臨地実習	1	1																助教	細田　裕貴
	46	山形県立中央病院	山形県山形市大字青柳１８００番地	臨地実習	2	1																助教	細田　裕貴
	47	山形市立病院済生館	山形県山形市七日町一丁目３番２６号	臨地実習	2	1																助教	細田　裕貴
				計	118	80																	

資料12

学 生 実 習 契 約 書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（以下「甲」という。）と学校法人 国際医療福祉大学（以下「乙」という。）は、甲が乙の委託を受けて甲の施設において乙の学生（以下、「実習生」という。）の臨地実習（以下、「実習」という。）を実施するにあたり、次の契約を締結する。

第１条　（実習の対象等）
乙は、甲に対し、次の通り実習の実施を委託する。
(1) 実習生氏名
(2) 実習生所属
(3) 実習科目名
(4) 実習期間　　年　月　日から　　年　月　日まで（　週間）
(5) 実習内容

第２条　（実習の実施方法）
甲は、別紙「実習教育方針」に基づいて、実習を実施する。

第３条　（委託費）
乙は、甲に対し、別紙「実習委託費支払規程」に従って実習の実施に関する費用（以下「委託費」という。）を負担するものとする。
2. 乙は、甲に対し、本契約締結後、甲の指定する方法に従って指定期日以内に委託費を支払うものとする。

第４条　（実習生の健康状態）
乙は、甲に対し、甲からの書面による求めがあれば実習開始前に実習生の健康状態を記載した書類を提出する。
2. 甲は、本契約書に定める実習にあたって実習生の健康状態に問題が生じた場合には、乙と協議の上、書面で合意することにより当該実習生の実習を中断又は中止することができる。

第５条　（指導責任）
乙は、甲に対し、実習生が実習を行うにあたり、甲の定める諸規則・心得等を遵守し、実習指導者の指示に従うように実習生を指導する責任を負う。

第６条　（個人情報の保護）
甲乙双方は、実習の実施にあたって、甲の保有する個人情報および実習生の個人情報の漏えいなどが生じないように、個人情報等を適正に管理する。
2. 乙は、実習生に対し、甲の保有する個人情報の漏えいが生じないようにするために、個人情報の取扱いについて周知徹底する。
3. 乙は、実習生に対し、実習終了後も甲の保有する個人情報の漏えいが生じないようにするよう指導監督する責任を負う。
4. 甲は、実習終了後も実習生の個人情報の保護義務を負うものとする。

第７条　（個人情報の保護状況の報告および調査）
甲は、乙に対し、実習中および実習終了後の甲の保有する個人情報の保護状況について、乙の書面による報告を求めることができるものとし、乙は速やかにこれに応じるものとする。

第８条　（法人機密情報の保護）
本契約における「甲の法人機密情報」とは、甲の経営及び事業運営に関する情報をいう。ただし、次の各号の一つにでも該当するときは、本契約における「甲の法人機密情報」には含まれないものとする。
(1) 乙又は実習生が知った時に、既に公知であった情報または既に乙又は実習生が保有していた情報
(2) 乙又は実習生が知った後に、乙又は実習生の責めによらず公知となった情報
(3) 乙又は実習生が、正当な権限を持つ第三者から秘密保持義務を負うことなく入手した情報
(4) 乙又は実習生が、独自に取得したことを証明できる情報
(5) 法令、裁判所の決定・命令、行政庁の命令・指示により開示を求められた情報。ただし、乙又は実習生は、法令に基づき必要かつ相当な範囲内及び方法で当該情報を開示することができるものとし、この場合、当該要求を速やかに甲に通知するものとする。
2. 乙は、実習の実施にあたって、甲の法人機密情報の漏えいなどが生じないように、甲の法人機密情報の適正な管理について実習生に適切な指導をする。

第９条　（実習の中止）
実習生が以下に示す事項に該当すると判断される場合は、甲乙協議の上、書面で合意することにより、当該実習生の実習を中止させることが出来る。なお、実習を中止する場合、既に支払った実習委託費については日割り計算により甲は乙に返還する。
(1) 甲の定める諸規則、心得等に違反した場合
(2) 甲の施設内の秩序あるいは規律を乱す事由があると認めた場合
(3) 個人情報の保護に関して問題があった場合
(4) 甲の法人機密情報の保護に関して問題があった場合
(5) 実習生の実習態度の不良などにより実習の目的を果たし得ないと判断した場合
(6) 甲による実習指導の継続が不可能又は著しく困難となった場合
(7) 甲と実習生との間に解決しがたい問題が発生した場合

第 10 条　（実習生の疾病及び傷害）
実習期間中における実習生の疾病及び傷害、および実習後に生じた実習を原因とする実習生の疾病及び傷害については、甲の故意または重大な過失による場合を除き、乙の責任において対処するものとする。

第 11 条　（危険負担）
実習生の故意又は過失による事故、器物破損又は機密情報の漏えい等により甲に損害を与えた場合は、乙は、甲に対して、実習生と連帯して、実習生の故意又は過失と法的因果関係を有する損害の賠償の責を負うものとする。

第 12 条　（第三者損害賠償）
実習生の故意又は過失により、甲以外の第三者に対し、心身的又は物的損害を与え、当該第三者と甲との間で損害賠償責任を問われる紛争が発生した場合は、甲は、乙に対し、速やかに書面により紛争の内容等につき連絡をするものとする。
2. 甲から前項の連絡があった場合、乙は、甲及び実習生とともに誠意をもってその対応にあたり、実習生の故意又は過失と法的因果関係を有する損害が認められるときには、実習生及び甲と連帯して当該第三者に対する賠償責任を負うものとする。ただし、甲が乙の書面による了解のないままに当該第三者との間で示談等の賠償の合意をした場合は除くものとする。
3. 前項の賠償負担の割合および求償については甲乙協議の上決定するものとする。

第 13 条　（その他の事項）
この契約に定めない事項及び契約条項に疑義が生じた場合又は変更については、甲及び乙で協議の上解決する。

本契約の締結を証すために、本契約書を２通作成し、甲及び乙が記名押印の上、各自その１通を保有するものとする。

年　　月　　日

甲　　先方住所
先方施設名
院　長　　○ ○ ○○　　印

乙　　栃木県大田原市北金丸 2600-1
学校法人 国際医療福祉大学
理 事 長　　高木　邦格　　印

実 習 教 育 方 針

所　　属：国際医療福祉大学　〇〇〇学部　〇〇〇〇学科　〇年
実習科目名：

【実習教育方針】

実 習 委 託 費 支 払 規 程

国際医療福祉大学　〇〇〇学部　〇〇〇〇学科

〇〇〇実習（実習期間：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇〇〇年〇〇月〇〇日）

上記実習につき、以下のように「実習委託費」をお支払いいたします。

1日あたり〇〇〇円×延べ人数（延べ日数）＝　〇〇〇〇円（税込）

貴施設での支払い期日指定が無い場合につきましては、

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日（〇）までに指定口座へお支払いいたします。

【 指 定 口 座 】

施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

銀行名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

銀行名ﾌﾘｶﾞﾅ:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

支店名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

支店名ﾌﾘｶﾞﾅ:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

口座名:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

口座名ﾌﾘｶﾞﾅ:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種別：普通　当座

口座番号:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

資料13

○○○○病院（または施設名）
病院長　殿
（または施設長）

個人情報に関する誓約書

貴施設での実習・見学においては、学校内の個人情報保護に関する諸規定を理解し、それに沿って下記事項を遵守することを誓約いたします。

１．情報漏洩に関すること
　実習中に知り得た情報は、実習期間中及び実習終了後においても他者に漏らす、あるいは無断で使用することはいたしません。
２．情報持ち出しに関すること
　診療記録等閲覧の際は、施設内の決められた場所で行います。許可なく、決められた場所以外への持ち出しはいたしません。
３．個人の匿名化に関すること
　実習記録は、匿名性に配慮し、実習の対象者や家族、施設、地域など個人が特定できるような内容は一切記載いたしません。
４．記録の管理に関すること
　実習中の記録やメモ等を放置・紛失・置き忘れ等をしないように細心の注意をし、責任をもって管理します。
５．実習終了後の記録類の対処・処理に関すること
　実習終了後、実習記録、メモ類は学校の諸規定に沿って、適切な処理を確実に行います。
６．その他
　貴施設での診療記録の取扱い規程を遵守いたします。

令和　　年　　月　　日

学 校 名：
学籍番号：
氏　　名：　　㊞

※氏名は自署に限る

資料14

臨床検査技師教育

臨地実習ガイドライン2021

一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会

一般社団法人　日本臨床検査学教育協議会

２０２２年入学者の臨地実習より適用となります。

日本臨床衛生検査技師会　倫理綱領(会員として)

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会は、「医療人としての臨床（衛生）検査技師の職能意識を高めることにより、国民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与すること」を目的としています。この社会的目的を果たすため、生涯にわたる幅広い教育研修と職場環境の整備に努力しています。

この『倫理綱領』は病院、衛生検査所、教育機関、研究機関、行政機関など、あらゆる場面における臨床（衛生）検査技師の行動指針であり、自己を振り返る際の基本となるものです。

倫　　理　　綱　　領

1. 臨床（衛生）検査技師は、医療人として臨床検査を担い、国民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与する。
1. 臨床（衛生）検査技師は、学問・技能の研鑽に励み、幅広く高い専門性を維持することに努める。
1. 臨床（衛生）検査技師は、精確な臨床検査情報の提供と適切な管理に努め、人権の尊重に徹する。
1. 臨床（衛生）検査技師は、医療人として、医療従事者相互の連携と調和に努め、チーム医療の推進により保健、医療、福祉に貢献する。
1. 臨床（衛生）検査技師は、豊かな人間性と徳性の涵養に努め、人間の尊厳と合わせて社会に貢献し、国民の信望を高める。
1. 臨床（衛生）検査技師は、業務上知り得た情報を適正に取り扱い、守秘義務を厳守する。

臨地実習ガイドライン 2021 発刊に際して

一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長　宮島 喜文

日本臨床衛生検査技師会（以下日臨技）は、臨床検査技師教育の臨地実習マニュアルを2002 年に初版を発刊し、2010 年に「臨地実習ガイドライン」として改名した改訂版の発刊後、医療現場において即戦力となりえる内容を盛り込んだ「臨地実習ガイドライン 2013 を発刊してきました。その後、2015 年に医療・介護総合確保推進法の改正、2017 年には医療法等の一部を改正する法律の改正により、臨床検査技師等に関する法律が改正され、臨床検査技師の業務範囲の拡大、並びに検体検査に対して精度管理が創設され、また、チーム医療の推進による臨床検査技師の役割の拡大や検査機器の高度化など、臨床検査技師を取り巻く環境に対応するため、「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」において、教育内容が見直され、臨床検査技師等に関する法律施行令、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付(令和 3 年 3 月 31 日文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長)並びに臨床検査技師養成所指導ガイドライン(令和 3 年 3 月 31 日、厚生労働省医政局長通知)が発出されたことから、おおよそ 8 年ぶりの改訂となります。

改正臨床検査技師学校養成所指定規則においては、臨地実習を行う学生を指導する臨地実習指導者の要件を設けるとともに、臨床検査技師学校養成所は、当該臨地実習指導者が配置されている施設で臨地実習を行なわせることになります。

改訂ガイドラインは、臨地実習における具体的な行為など、臨床検査の基本的な実践技術を修得させることはもとより、医療チームの一員として臨床検査技師の役割と責任及び医療人としての自覚を持たせ、積極的な役割を果たす医療人としての育成を念頭に改訂しました。

そのため日臨技は日本臨床検査学教育協議会との共催による臨地実習指導者講習会を開催し、全国の臨地実習施設において、この講習会を受講した臨床検査技師を配置する予定としています。

本改訂ガイドラインは、当該臨地実習指導者講習会での講義に使用するほか、実際の臨地実習指導の現場並びに臨床検査技師養成所においても活用いただけるものと確信しています。

最後に、ガイドラインの改訂に当たっては、現に臨地実習の指導者並びに臨床検査技師養成所教育担当者に多大な協力をいただき発行にいたりました。

紙面をもって、本改訂ガイドラインの発刊にご尽力をいただいた関係各位に深謝を申し上げ、発刊に寄せる言葉といたします。

令和 3（2021）年 5 月　吉日

臨地実習ガイドライン 2021 発刊に際して

一般社団法人日本臨床検査学教育協議会
理事長　坂本 秀生

私共、一般社団法人日本臨床検査学教育協議会（以下教育協議会）は、臨床検査技師養成を担っている教育施設及び担当教員が臨床検査教育に関する資質の向上を図るため、情報交換、教育普及並びに調査研究活動等を行い、国民の保健福祉に寄与することを目的とし活動している。

令和２年４月に厚生労働省より発出された「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の報告書の改善内容の最も重要な点は、臨地実習を実質的にすることである。

すなわち、現在の７単位から12単位に増加すること、さらに実習内容については高度・専門化・多様化する保健・医療・福祉・介護等のニーズに対応するため、臨床現場における実践を通じて、救急、病棟、在宅等や健診、衛生検査所等での役割と業務、施設内のチーム（栄養サポートチーム、糖尿病療養指導チーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム等）の役割と実施内容を理解することを必修化するとともに、臨床参加型実習の観点から、学生に必ず実施させる行為、及び必ず見学させる行為と実施させることが望ましい行為が規定された。一方、各養成校においては、学生が臨地実習において上記の行為及び見学を実施するために、実習前に１単位の技能修得到達度評価を行い、臨地実習を行うのに十分な技能・態度を有していることを確認することが求められている。必ず実施させる行為は、標準12誘導心電図検査、肺機能検査（スパイロメトリー）血球計数検査、血液塗抹標本作成と鏡検、尿定性検査、血液型検査、培養・Gram染色検査であり、その評価項目も明示されている。また、臨地実習では技能・態度が不十分な学生については、追加指導を行うことで質の向上を図る必要がある。

今回の改訂でもうひとつ重要な点は、現在の新規臨床検査技師免許取得者の３分の２にあたるいわゆる科目承認校卒業生においては、最低１単位でよい臨地実習を12単位とすることと、実習内容を指定校と同じにすることである。また、全養成校においては「臨地実習調整者」、全臨地実習施設においては「臨地実習指導者」の配置が義務付けられた。

以上の改訂により2022年入学生の臨地実習からは、従来の臨地実習と異なり全国的に学生の臨地実習期間が大幅に増加すること、さらに、実習内容がチーム医療にまで拡大し、検査室での実習も見学型から参加型に変更される。日本臨床衛生検査技師会では臨地実習ガイドラインを2002年、2010年、2013年発刊してきた。今回は大幅な改訂が必要となり、教育協議会も参加して、新たに「臨地実習ガイドライン2021」を発刊することになった。本ガイドラインが臨床検査技師養成校内における技能修得到達度評価と、臨床参加型臨地実習の実施に大きく貢献することを期待するとともに、作成にご尽力をいただいた関係各位に深謝する。

令和 3（2021）年 5 月　吉日

≪ 目 次 ≫

臨地実習ガイドライン 2021 発刊に際して

一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会　代表理事会長　宮島 喜文

一般社団法人　日本臨床検査学教育協議会　理事長　坂本 秀生

Ⅰ　臨地実習の概要 …… 5

１．臨地実習の目的と目標 …… 5

２．臨地実習施設 …… 5

３．臨地実習指導者 …… 6

４．臨地実習調整者 …… 7

５．臨地実習に臨む学生のあり方 …… 7

６．臨地実習前の技能修得到達度評価 …… 8

７．臨地実習単位 …… 8

８．臨地実習評価 …… 8

Ⅱ　実習項目 …… 9

１．必ず実施させる行為 …… 9

２．必ず見学させる行為 …… 9

３．実施させることが望ましい行為 …… 10

４．見学させることが望ましい行為 …… 10

Ⅲ　事故防止対策 …… 10

Ⅳ　各ハラスメント対策 …… 11

あとがき

各種手続き資料等（参考例）

様式１～12

別添１）

【用　　語】

１）臨地実習指導者

医療機関や衛生検査所などで臨地実習における学生の指導にあたる者

２）臨地実習調整者

養成施設の専任教員で臨地実習全般の調整にあたる者

Ⅰ　臨地実習の概要

１．臨地実習の目的と目標

１）臨地実習の目的

講義や実習、演習で学んだ知識や技能をもとに、実際に医療機関や衛生検査所等で経験豊富な臨地実習指導者の指導・助言を受けながら具体的・個別的に臨床検査業務、他職種連携等を実践するものである。現場での学びを通し、養成施設内での学修のみでは修得し得ない医療者としての倫理と責任を修得し、臨床検査技師がどうあるべきかを考察することを目的とする。

２）臨地実習の目標

臨地実習で学生が学ぶべき目標は以下の４つである。

①　将来、社会人として活躍するための良識を身につけるとともに、医療人として倫理観を身につける。

②　臨床検査の現場に身を置き、臨床検査技師として不可欠な臨床検査の基本的な実践技術を修得する。

③　提供する臨床検査情報の意義、精度管理の必要性、そして検査研究の重要さを認識するために、疾患へ興味をもち、検査情報をもとに病態解析のアプローチを身につける。

④　医学・医療の専門職として医療チームの一員として積極的に取組むために、医療における臨床検査及び臨床検査技師の役割と責任を知り、医療人としての自覚を持つ。

２．臨地実習施設

１）臨地実習施設の概要

高度・専門化、多様化する保健・医療・福祉・介護等のニーズに対応するため、臨床現場における実践を通じて、救急、病棟、在宅医療や健診、衛生検査所等での役割と業務を理解する。施設内のチーム医療の役割の理解や、医学の進歩を踏まえた臨床への参加型実習をさらに進めていく観点から、2022 年入学者の臨地実習から、必ず実施させる行為及び必ず見学させる行為について患者の安全を確保しつつ、個々の患者から同意を得た上で実施することを必修化するとともに、学生に実施させることが望ましい行為についても適切に学修できる環境を整える。加えて、臨地実習における教育分野毎の実習時間配分として、学生に実施及び見学させるべき行為の観点から、３単位以上は生理学的検査に関する実習を行うこととする。

また、臨地実習施設には必ず１名以上の厚生労働省が定める臨地実習指導者講習会を修了した臨地実習指導者を配置する必要がある。

２）臨地実習を受け入れるための準備

臨地実習施設と養成施設は連携を図り、臨地実習を受け入れる医療施設や衛生検査所等は以下の６つの準備を行う。

①　厚生労働省が定める臨地実習指導者講習会を修了した臨地実習指導者を１名以上

配置する。

② 養成施設と協議の上（様式１）、受け入れが可能な場合は臨地実習承諾書の提出を行う（様式２）。

③ 養成施設と契約書を取り交わす（様式３）。この際、実習費用については養成施設側と協議を行う。

④ 臨地実習調整者（養成施設）と綿密な協議のもと、実習プログラム（到達目標、実習方法、実習評価など）を作成する。この際、必ず実施させる行為、必ず見学させる行為及び実施させることが望ましい行為、見学させることが望ましい行為について確認しておく。

⑤ 臨地実習に必要な機械器具、図書、雑誌を整備する。

⑥ 業務の安全管理、感染予防を適切に行う。

３．臨地実習指導者

１）臨地実習指導者の要件

臨地実習指導者の要件は、各指導内容に対する専門的な知識に優れ、臨床検査技師として５年以上の実務経験を有し、十分な指導能力を有する者であり、かつ、厚生労働省が定める基準を満たす臨地実習指導者講習会を修了した者である。臨地実習施設には必ず１名以上配置することと規定されている。

ただし、在宅や介護といった訪問医療等では、必ずしも医師が行うわけではなく、看護師だけで行う場面も多いことから、これらにおける実習指導者は医師又は看護師とすることを妨げないこととしている。

２）臨地実習指導者の具体的業務

① 臨地実習を受け入れるにあたって、臨地実習受け入れの是非の確認を行い受入が可能な場合は臨地実習承諾書の提出を行う。

② 養成施設との臨地実習に関する契約書を取り交わす担当者となる。

③ 実習終了時に評価を実施する（様式８）。評価方法については「８．臨地実習評価」を参照のこと。

④ 当該学生の臨地実習が終了した時点で、評価基準書（様式８）、臨地実習出席表（様式４）、欠席・遅刻・早退届（様式５）を養成施設に提出する。

⑤ 養成施設が発行する臨地実習報告書※) を受け取り、次回の臨地実習に活用する。

※養成校が発行する臨地実習報告書の形式は定めず任意のものとする

３）臨地実習指導を行う上での留意点

臨地実習を行う上で指導者としての留意点を以下に示す。

① 患者心理の理解やコミュニケーションのとり方について十分に理解させる。

② 知り得た法人機密情報や患者個人情報等の守秘義務について理解させる（様式６、７）。

③ 各種ハラスメントに関して十分留意し、適切な指導を行う。

④　施設内感染の概念を理解させ、各実習を行う際には手洗いの励行など、感染対策を徹底させる。

⑤　実習では将来活躍する社会人、医療人として節度のある態度と責任ある行動をとるように指導する。

⑥　患者に対する医療行為（生体検査等）を行うにあたっては、指導者が患者へのインフォームド・コンセントをとり、指導者の監督、責任のもとに実施する。

４．臨地実習調整者

臨地実習を行う上で、臨地実習の質の向上を図るため、臨地実習全体の計画の作成、臨地実習施設との調整、臨地実習の進捗管理等を行う。なお、臨地実習調整者は各養成施設の専任教員から１名以上を配置することとする。

１）臨地実習調整者の役割

臨地実習調整者に求められることは、学修のための雰囲気づくりであり、学修が促進されるように関わることである。具体的な役割としては以下の３つである。

①　学生の成長を常に意識し指示する。

②　知識不足の学生、技能の低い学生とは面談をして、改善方法を提示する。

③　適宜評価を行い、フィードバックを行う。

２）臨地実習中の臨地実習調整者のあり方

臨地実習調整者は、実習期間中に最低１回は臨地実習施設を訪問し、臨地実習指導者との意思疎通を図り、臨地実習の進捗を確認する。そして、当該臨地実習の遂行上の問題が発生した場合には、解決策を検討する。

また、今後の臨地実習のあり方について意見交換し、修正が必要な場合は到達目標を設定し直すなどの改善を図る。

５．臨地実習に臨む学生のあり方

１）臨地実習に向けての心構え

①　本ガイドラインの臨地実習の目的と目標を熟読し、意欲をもって臨地実習に臨むため、個別の学修目標を設定すること。（様式９）

②　臨地実習前技能修得到達度評価の結果を振り返り、実習に際して到達目標を設定し、自己評価基準書並びに臨地実習終了時の振り返りを提出すること。（様式 10、11）

③　患者と接するにあたり、患者を不愉快にさせない対応やお年寄りへの声掛けの注意点など、想定できる範囲で練習しておくこと。

④　臨地実習調整者から臨地実習に係る様々な内容が指導されるので、臨地実習当日までに実習予定内容を復習するなどの準備をしておくこと。

⑤　感染症対策として、臨地実習指導者の指示に従い、基本的な予防接種を受けると共に、体調管理に努めること。

２）臨地実習中の留意事項

① あらゆる場面において時間・期限を厳守すること。遅刻や欠席・早退などは速やかに臨地実習指導者へ連絡を入れること（様式５）。

② 実習中に不安、恐怖、迷いなどが生じることや、各種ハラスメントに遭遇する可能性がある。そのような時には迷わず臨地実習調整者に連絡をとり、ともに解決していくこと。

６．臨地実習前の技能修得到達度評価

臨地実習の実施にあたっては、臨地実習前の学修と臨地実習が十分連携できるように学修の進捗状況にあわせて適切な時期に行うこと。また、臨床検査技師の資格のない学生が、一定の資質を備えた上で、臨地実習において行うこととなる行為を実施できるよう養成施設において、臨地実習に必要な技能・態度を備えていることの確認及び必要な指導を目的として、臨地実習前の技能修得到達度評価を行うこととする。技能修得到達度評価は必須授業として行われ、各学校の評価試験に合格した学生には、所属校の申請に基づき、臨地実習前技能修得到達度評価試験合格の認定を記した臨床検査学生名札を協議会から発行する。なお、臨地実習前の技能修得到達度評価について、別添のように参考例を示す（別添１）。

７．臨地実習単位

臨地実習の単位数は 12 単位とし、３単位以上は、生理学的検査に関する実習を行う。また、臨地実習時間の３分の２以上は、病院又は診療所において行うこととする。なお、臨地実習１単位の計算方法については、学内実習と同様に 30 時間から 45 時間の範囲で定めることとする。

８．臨地実習評価

１）評価の基本的な考え方

本ガイドラインでは評価の基本的な考え方を以下に提案する。

① 臨地実習の評価は臨地実習指導者が行い、単位認定は学校長が行う。

② 臨地実習報告書を臨地実習指導者にフィードバックする。

２）評価について

① 臨地実習終了後の評価を基本とする。

② 実習記録を経時的に作成しておくことで評価に役立てる。

３）出席に係る事項

① 全出席をもって評価対象とすることが基本であるが、欠席のある学生の評価は臨地実習調整者と協議して決定する。

② 感染症等の罹患及び何らかの理由で実習先に出向けなかった場合、欠席時間分の扱いは、追実習又は学内の実習等で補うかを臨地実習調整者と協議して決定する。

４）留意事項

① 臨地実習指導者の最終評価（様式８）で総合評価が「E（不可)」とされた実習生の対応

ａ）臨地実習調整者と臨地実習指導者が協議し、実習内容を確認して再実習を課すかを検討する。この最終決定は養成施設学科長の判断とする。

② 実習期間中に臨地実習指導者により実習中止と判断された学生の対応

ａ）臨地実習調整者と臨地実習指導者が協議し、実習内容を確認して再実習を課すかを検討する。この最終決定は養成施設学科長の判断とする。

③ その他

ａ）留意事項①～②以外の案件については、臨地実習調整者が臨地実習指導者と協議する。

ｂ）協議の最終判断は、養成施設長（学校長）又は学科長が行うものとする。

Ⅱ 実習項目

医学の進歩を踏まえた臨床への参加型実習をさらに進めていく観点から、臨床検査技師を目指す学生が臨地実習において実施すべき基本的行為について、経験及び修得すべき技術の範囲を明確化した上で、臨地実習において学生に必ず実施させる行為、必ず見学させる行為、及び実施させることが望ましい行為、見学させることが望ましい行為として以下に臨地実習項目を示す。

なお、臨床検査技師を目指す学生が臨地実習中に実施すべき行為に関して、生理学的検査項目は、各施設による包括同意を得た上で、個々の患者から口頭での個別同意を得て実施することとする。また、すべての検査に関して、学生の実施した検査等の情報をそのまま臨床へ提供することはせず、必ず指導に当たる者が確認、又は再度実施した上で臨床に提供する。

１．必ず実施させる行為

「生理学的検査」

・標準 12 誘導心電図検査
・肺機能検査（スパイロメトリー）

「検体検査」

・血球計数検査
・血液塗抹標本作成と鏡検
・尿定性検査
・血液型検査
・培養・Gram 染色検査

２．必ず見学させる行為

「生理学的検査」

・ホルター心電図検査のための検査器具装着

・肺機能検査（スパイロメトリーを除く）
・脳波検査
・負荷心電図検査
・超音波検査（心臓、腹部）
・足関節上腕血圧比（ABI）検査

「検体検査」

・精度管理（血液学的検査、病理学的検査、尿・糞便等一般検査、生化学的検査、免疫学的検査、輸血・移植検査）
・メンテナンス作業（血液学的検査、尿・糞便等一般検査、免疫学的検査、生化学的検査）
・臓器切り出しと臓器写真撮影
・迅速標本作成から報告

「その他」

・検査前の患者への説明（検査手順を含む）
・チーム医療（NST、ICT、糖尿病療養指導）
・検体採取
・消化管内視鏡検査

３．実施させることが望ましい行為

「検体検査」

・血栓・止血検査
・HE 染色や特殊染色検査
・病理標本観察
・細胞診標本作成と鏡検
・尿沈渣検査
・血液ガス分析検査
・交差適合試験
・不規則抗体検査
・同定・薬剤感受性試験

「その他」

・採血室業務（採血行為を除く）

４．見学させることが望ましい行為

「生理学的検査」

・運動誘発電位検査
・体性感覚誘発電位検査

Ⅲ　事故防止対策

各臨床検査業務には業務手順書、又は医療事故防止として業務マニュアルが存在する。しかし、その手順を理解していてもミスは回避できないのが現状である。発生したインシデント・アクシデントを基に、個々の問題か、システム的なものか、構造的な問題かを分析し、マニュアル等の是正や新たなルールの設定が行われている。臨床検査技師は、業務一つひとつを確実に行うと共に、自己再確認や複数での確認など、事故を未然に防ぐためのハード的あるいはソフト的な手法について、学生に認識させる必要がある。また、医療安全管理に必要な技術と知識、安全推進への取り組み方、医療事故への対応、医療事故調査制度、医療安全と品質管理、緊急災害時の医療安全を学修し、臨床検査技師が医療チームの一員として医療の安全に対し、その職能をどのように生かし、展開していくかを考えさせることが必要である。

なお、学生においてインシデント・アクシデントが発生した場合は、所定の様式に則り適切に対処・報告することとする（様式 12)。

Ⅳ　各ハラスメント対策

１．ハラスメントの定義

ハラスメントとは、相手の意に反する不適切な発言、行為等を行うことによって、相手側に不快感や不利益を与え、又は相手を差別的もしくは不利益な取り扱いをすることによって、相手の人権を侵害し教育・学修及び労働環境を悪化させることをいい、以下のものと定義される。

① セクシャルハラスメント
② アカデミックハラスメント
③ パワーハラスメント

２．ハラスメントの相談

臨地実習に関するハラスメントの相談は、臨地実習調整者が対応することも可能である。ハラスメントの状況は関係者以外には分かりにくい場合があるので、被害にあったと感じたときはできるだけ詳しく記録しておく。また、クラス担任や臨地実習調整者が連携しながら相談に応じる体制も必要である。

あ　と　が　き

臨床検査技師学校養成所指定規則と臨床検査技師養成所指導ガイドラインが改訂となり2022 年 4 月の入学生から適用となる。その中には臨地実習に係る規定も含まれ、従来の臨床検査技師養成指定校と科目承認校において、指定単位数に差があった点も一括して 12 単位と改訂され、足並みを揃えた指導が実現される。さらには、臨地実習指導者の要件・業務、臨地実習調整者の役割も明記され、円滑な実習が期待できるものである。本書には前述指定規則の抜粋や実習項目として「必ず実施させる行為」、「必ず見学させる行為」、「実施させることが望ましい行為」「見学させることが望ましい行為」のそれぞれの行動目標と評価方法を記載し、客観的評価を行えるようにした。その他には、臨地実習に必要と考えられる各種事務文書雛型を掲載し、新たに臨地実習に取り組む養成校や新たに臨地実習を受託する施設が速やかに実習を開始できるように配慮をした。臨地実習に係る皆様が本書を充分に活用していただき、臨地実習の水準の均一化が図られることを願っております。

一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会
臨地実習ガイドライン作成 WG 委員会
委員長 小澤　優
（京都保健衛生専門学校　臨床検査学科）

別添資料　各種手続き資料等（参考例）：日臨技 HP 上にて掲載

様式１　臨地実習の委託について
様式２　臨地実習承諾書
様式３　臨床検査技師の臨地実習に関する契約書
様式４　臨地実習出席表（案）
様式５　欠席届・遅刻届・早退届
様式６　個人情報等および医療機関･衛生検査所等の法人機密情報保護に関する説明文章
様式７　個人情報および医療機関･衛生検査所等の法人機密情報の保護に関する誓約書
様式８　臨地実習評価（臨地実習指導者用）
様式９　個別の学修目標設定
様式１０　臨地実習自己評価（実習生用）
様式１１　臨地実習終了時の振り返り
様式１２　アクシデント・インシデント報告書
別添１）臨地実習前の技能修得到達度評価（案）
臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会報告書（令和 2 年 4 月 8 日厚労省発出）より抜粋

臨床検査技師教育

臨地実習ガイドライン 2021

2021 年 5 月 31 日　初版発行

2023 年 1 月 31 日　第 2 版発行

2023 年 6 月 30 日　第 3 版発行

編　　集　一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会　臨地実習ガイドライン作成WG委員会

発行責任者　一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会

代表理事会長　宮島　喜文

一般社団法人　日本臨床検査学教育協議会

理事長　坂本 秀生

U　R　L ： http://www.jamt.or.jp/data/2021/08/2021.html

メールアドレス:gyomuka@jamt.or.jp

資料15

保健医療学部 医学検査学科　入試概要（予定）

募集人員

学部	学科	入学定員	総合型選抜	学校推薦型選抜［公募制］［指定校制］	特待奨学生特別選抜	一般選抜		大学入学共通テスト利用選抜	帰国生徒社会人留学生特別選抜
						前期	後期		
保健医療学部	医学検査学科	80	10	22	10	28	若干名	10	若干名

※学校推薦型選抜の募集人員数は公募制と指定校制を合わせた人数。

選抜方法

入試区分	試験科目		時間	配点
総合型選抜	必須	●適性をみるための基礎試験	90分	100点
		●個人面接	約10分～20分	段階評価
学校推薦型選抜［公募制］ 帰国生徒特別選抜	必須	●学科適性試験［基礎学力試験］（マークシート方式）	90分	100点
		●小論文（600字以内）	60分	段階評価
		●個人面接	約10分	段階評価
学校推薦型選抜 ［指定校制］	必須	●小論文（600字以内）	60分	段階評価
		●個人面接	約15分	段階評価
特待奨学生特別選抜 一般選抜前期	必須	●英語（マークシート方式） ※英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ，論理・表現Ⅰから出題	120分	各100点 計200点
	選択	次の9科目から1科目を選択（マークシート方式） ○現代の国語・言語文化（古文，漢文除く） ○日本史探求 ○数学Ⅰ・数学A（「場合の数と確率」，「図形の性質」） ○数学Ⅱ・数学B（「数列」）・数学C（「ベクトル」） ○物理基礎・物理（「様々な運動」，「波」，「電気と磁気」） ○化学基礎・化学（「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」，「無機物質の性質」，「有機化合物の性質（高分子化合物を除く）」） ○生物基礎・生物（「生命現象と物質」，「遺伝情報の発現と発生」，「生物の環境応答」） ○物理基礎・化学基礎 ○生物基礎・化学基礎		
	必須	●小論文（600字以内）	60分	段階評価
大学入学共通テスト利用選抜	必須	●英語［リスニングを除く］	－	100点
	選択	次の14科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用する ○国語（近代以降の文章/110点を100点に換算） ○歴史総合，日本史探求 ○歴史総合，世界史探求 ○公共，倫理 ○公共，政治・経済 ○情報Ⅰ ○数学Ⅰ・数学A ○数学Ⅱ・数学B・数学C ○物理 ○化学 ○生物 ◇物理基礎・化学基礎 ◇生物基礎・化学基礎 ◇物理基礎・生物基礎 ※◇の科目は「物理」「化学」「生物」と組み合わせての合否判定はしない	－	各100点 計200点
一般選抜後期	必須	●英語（マークシート方式） ※英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ，論理・表現Ⅰから出題	60分	100点
		●個人面接	約10分	段階評価
社会人特別選抜	必須	●小論文（800字以内）	60分	段階評価
		●個人面接	約15分	段階評価
留学生特別選抜	必須	●小論文（600字以内）	60分	段階評価
		●個人面接	約15分～30分	段階評価

国際医療福祉大学任期付専任教員規程

（目的）

第１条　この規程は、学校法人国際医療福祉大学就業規則（教員）（以下「就業規則」という。）第３条の規定に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）の教員のうち、任期付専任教員に関し、必要な事項を定めるものとする。

（任期付専任教員の定義）

第２条　この規程で任期付専任教員とは、就業規則第３章に定めるところにより採用された教員のうち、大学の教員等の任期に関する法律（平成９年法律第８２号）（以下「法」という。）第５条第２項の規定に基づき、任期を定めて任用される者（ただし、嘱託教員・契約教員・特任教員は除く。）とする。

２　なお、附属病院、臨床医学研究センター及び関連医療福祉施設等（以下「附属・関連施設」という。）に所属する臨床教員及び附属・関連施設から一時的に異動となる者については、本規程を適用しない。

（雇用契約）

第３条　任期付専任教員の任用に当たっては、別に定める任期付専任教員雇用契約を締結するものとする。

（任期）

第４条　任期付専任教員の任期は、別表のとおりとする。ただし、国際医療福祉大学教員定年規程（以下「定年規程」という。）第２条に定める年齢を超えることはできない。

２　任期の単位は１年とし、国際医療福祉大学学則（以下「学則」という。）第１２条に定める学年の期間とする。ただし、学年の途中で任用された者については、任用日から学則第１２条に定める学年の終了日までの期間が６カ月以上の場合は、これを１年とし、６カ月未満の場合は、翌学年の終了日までの期間を１年とする。

３　教授の任期については、別表の規定にかかわらず任用時又は任期途中及び満了時に、人事評価等により継続的在任資格を与えることができる。

４　新たに設置する学部、研究科等において、完成年度までの間に任用される者の任期については、別表の規定にかかわらず任用日から完成年度末日までとする。ただし、人事委員会において特に必要と認めた場合はこの限りではない。

（再任）

第５条　前条に定める任期を満了した者の契約の更新（以下「再任」という。）については、当該教員の教育・研究に関する勤務評価、当該業務の必要性及び大学の経営状況その他諸般の事情を総合的に勘案し判断する。

２　再任は、別表に定める通算の任用年数又は再任の回数を限度とする。ただし、学部長又は学科長の職にある者、及び人事委員会の審査を経て且つ理事長が認めた者にあっては、これを適用しない。

３　次の各号のいずれかに該当する場合は、従前の任期及び通算の任用年数又は再任回数は継続しないものとする。

一　昇格等により新たな職位に任用された場合

二　異なるキャンパスに異動した場合

三　大学を退職後改めて同一職位に任用された場合

四　契約教員として任用されていた者が本規程により任用された場合

４　前条第４項により任用された者の再任は、同条第１項の適用を受けるものとする。ただし、この再任は別表に定める通算の任用年数又は再任の回数には含まないものとし、前条第４項により任用されていた期間の任期は引き継がないものとする。

５　本規程により任用されていた者が臨床医学研究センター又は関連医療福祉施設へ異動又は出向した場合は、その間の期間は前条第１項に定める任期に含まないものとする。なお、当該期間を年単位で計算した場合の端数は切り上げるものとする。

（再任審査）

第６条　任期付専任教員の再任及び継続的在任資格の付与については、人事委員会において審査を行うものとする。

２　前項の人事委員会においては、次の事項を審査する。

（１）教育・研究活動に関する事項（教育、研究、学内業務、社会的活動、適性、出校実績、受託研究費等による大学経営への貢献）

（２）臨床活動に関する事項

（３）その他

３　第１項の審査を経た任期付専任教員の再任及び継続的在任資格付与の可否については、理事長がこれを決定する。

（運用）

第７条　この規程に定めのない事項は、人事委員会の議を経て理事長が決定する。

（所管部署）

第８条　この規程の所管部署を東京事務部人事部とする。

（その他）

第９条　業績が著しく優れている場合、任期の途中において昇格することがある。その場合の任期は、原則として昇格前の残任期間とする。

２　業績、人事考課、懲戒処分等により、その職位に適さないと法人が判断した場合は、任期の途中において降格することがある。降格の場合の任期は、原則として降格前の残任期間とする。

（改廃）

第１０条　この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附　則

１　この規程は、令和２年１０月１日から施行する。

２　この規程の施行をもって，平成１７年４月１日制定の「国際医療福祉大学教育職員の任期に関する規程」は廃止する。

別表　任期及び再任（第４条関係）

職位	任期	再任
教授	５年以内で個別に定める。	当該職位における通算の任用年数が１０年を超えない範囲内で再任を可とする。
准教授	３年以内で個別に定める。	当該職位における通算の任用年数が９年を超えない範囲内で再任を可とする。
講師		
助教		
助手		

別表　定年延長者の任期及び再任（第５条関係）

職位	任期	再任
教授	１年	４回を限度として再任を可とする。
准教授		
講師		
助教		
助手		

学校法人国際医療福祉大学教職員定年規程

（目的）

第１条　学校法人国際医療福祉大学に勤務する専任教職員の定年に関しては、この規程に定めるところによる。

（定年年齢）

第２条　教職員の定年は、次のとおりとする。

一　教育職員　満６５歳

二　事務職員　満６０歳

（退職の日）

第３条　定年により退職する日は、次の通りとする。

一　教育職員　定年に達した日の属する年度の末日とする。

二　事務職員　定年に達した日の翌日とする。

（定年の延長）

第４条　第２条の規定にかかわらず、定年時において心身健全であり、かつ代替者を見い出し難き者については、定年を延長するか嘱託として引き続き勤務させることがある。

（改正）

第５条　この規程の改正は、常任理事会が行う。

附　則

１　この規程は、平成７年４月１日から施行する。

２　第２条の規定にかかわらず、開学時から引き続いて勤務している者については経過措置として、平成１１年３月末日を退職の日とする。

附　則

この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

資料18

【教育上必要な機械器具、標本及び模型等の名称及び数を記載した書類】

No.	機器名称	メーカー	型式	数量
1	ﾃｰﾌﾞﾙﾄｯﾌﾟ遠心機4000	久保田商事	Model4000	15
2	ﾏｲｸﾛ冷却遠心機/ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ冷却遠心機	久保田商事	Model3700	10
3	薬用冷蔵ｼｮｰｹｰｽ	PHC	MPR-312DCN	10
4	超低温ﾌﾘｰｻﾞｰ	PHC	MDF-DU500ZHS1-PJ	3
5	卓上振とう恒温槽	ﾀｲﾃｯｸ	ﾊﾟｰｿﾅﾙ11-SDｾｯﾄ	16
6	恒温乾燥器	PHC	MOV-212F	5
7	逆浸透純水製造装置	ｱﾄﾞﾊﾞﾝﾃｯｸ東洋	RFV642HA	3
8	超音波ﾋﾟﾍﾟｯﾄ洗浄機	ｼｬｰﾌﾟﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	UT-55	4
9	ﾊﾟﾛﾒｯｸｽ気圧計 7612	ｱｽﾞﾜﾝ	6-6155-01	2
10	数取器 H-102	ｱｽﾞﾜﾝ	6-5663-01	100
11	写真現像装置一式 プリンター	ｷｬﾉﾝ	PIXUS IP100	1
12	ｽﾄｯﾌﾟｳｫｯﾁ SVAJ001 ﾌﾞﾗｯｸ	ｱｽﾞﾜﾝ	2-9869-01	40
13	ﾏｸﾞﾈﾁｯｸｽﾀｰﾗ	柴田科学	050660-66	27
14	卓上型Ph分析計	堀場ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞﾃｸﾉ	HORIBA LAQUA F-70 72S	10
15	上皿電子天秤 秤量確認(仮)42/120 0.01/0.1mg φ80	ﾒﾄﾗｰ	METTLER TOLEDO New Classic MS105DU	12
16	モバイルプロジェクター	ELMO		4
17	ﾏｲｸﾛ遠心機	久保田商事	ｾﾝﾄﾘｯｸ3300(KUBOTA)	4
18	ﾏﾙﾁｶﾞｽﾓﾆﾀｰ GX-2009TYPEA	ｱｽﾞﾜﾝ	1-6269-21	4
19	集塵機 182-30	ｱｽﾞﾜﾝ	1-6256-01	4
20	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ騒音計 TM-103	ｱｽﾞﾜﾝ	1-3460-02	4
21	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ照度計 LX-1108	ｱｽﾞﾜﾝ	1-9831-01	4
22	水質検査器 DOD+PH	ｱｽﾞﾜﾝ	2-5819-01	4
23	ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀ･ﾀﾞｲｵｰﾄﾞ実験回路	島津理化	KSC-3B	4
24	高性能ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾏﾙﾁﾒｰﾀｰ KT-2011	ｱｽﾞﾜﾝ	1-8717-01	16
25	病原菌・伝染病・寄生虫・小児ふん便	京都科学	C1+C2+C7+C31	1
26	人体寄生虫模型	京都科学	10種	1
27	人体解剖模型 男子A-150形	京都科学	11004-000	2
28	彩色骨格交連複製ﾓﾃﾞﾙ	京都科学	11802-000	2
29	ﾐﾆ人体解剖模型	京都科学	11638-000	2
30	採血･静注ｼｭﾐﾚｰﾀ ｼﾝｼﾞｮｰⅡ	京都科学	11267-300	10
31	ｼｽﾃﾑ生物顕微鏡	ｴﾋﾞﾃﾞﾝﾄ	CX33木箱不要	100
32	ｵｰﾙｲﾝﾜﾝ蛍光顕微鏡	ｷｰｴﾝｽ	BZ-X810	1

No.	機器名称	メーカー	型式	数量
33	ｼｽﾃﾑ生物顕微鏡(位相差)	ｴﾋﾞﾃﾞﾝﾄ	U-PCD2(位相差ｺﾝﾃﾞﾝｻ)+ﾚﾝｽﾞ BX43-32-PH*2	4
34	偏光顕微鏡	ｴﾋﾞﾃﾞﾝﾄ	CX31PN-OC-1	2
35	暗視野装置	ｴﾋﾞﾃﾞﾝﾄ	U-DCD	4
36	接眼測微計　接眼ミクロメータ	ｴﾋﾞﾃﾞﾝﾄ	U-OCM〇〇	5
37	滑走式ﾐｸﾛﾄｰﾑ	ｻｸﾗﾌｧｲﾝﾃｯｸ	REM-710-SB	3
38	替え刃式ﾄﾘﾐﾝｸﾞﾅｲﾌ+替刃	ﾌｪｻﾞｰ	F80P+130P+260P+替刃	10
39	ミクロトーム刀替刃	ﾌｪｻﾞｰ	N35	10
40	ﾊﾟﾗﾌｨﾝ熔融器	ｻｸﾗﾌｧｲﾝﾃｯｸ	PM-401-Ⅱ	1
41	ﾊﾟﾗﾌｨﾝ伸展器	ｻｸﾗﾌｧｲﾝﾃｯｸ	PS-53	10
42	自動包埋装置	ｻｸﾗﾌｧｲﾝﾃｯｸ	VIP6	2
43	常温・凍結切片作成用ｳﾙﾄﾗﾐｸﾛﾄｰﾑ	ﾗｲｶﾏｲｸﾛｼｽﾃﾑｽﾞ	EM-UC7	1
44	薄層ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	矢沢科学	5200-010　100-Aｾｯﾄ	3
45	四重極MS/MSｼｽﾃﾑ	サーモフィッシャー	Oribitrap Exploris 240 プロテオーム解析システム　一式	1
46	分光光度計	島津製作所	UV-1280	8
47	マキュレス血圧計	村中医療器	076-100-01	2
48	ﾄｰﾏ,ﾋﾞﾙｹﾙﾁｭｸﾙ計算盤,ﾌｯｸｽﾛｰｾﾞﾝﾀｰﾙ計算盤など各種	ｴﾙﾏ販売	03-101-1/03-202-1/03-303-1/03-404-1 4種セット	15
49	ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ遠心機	久保田商事	ｾﾝﾃｯｸ 3220	2
50	超高速液体クロマトグラフNexeraX2	島津製作所	Nexera　Lite	1
51	サーモボックス	ｻｰﾓﾆｸｽ	AI-M50E	25
52	ﾏｲｸﾛ冷却遠心機	久保田商事	3780/ﾛｰﾀ(AF-2724A/ﾛｰﾀ(AF-5004R)	2
53	卓上型ﾏｲｸﾛ冷却遠心機	久保田商事	3500/ﾛｰﾀ(RA-2024)	2
54	強制冷却ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ	平山製作所	HVA-110LB　3年保守込	2
55	ステンレス製滅菌缶	平山製作所	HV-110	2
56	ステンレス製滅菌籠	平山製作所	HV-110	2
57	乾熱滅菌器	ﾔﾏﾄ科学	SK601	2
58	卓上煮沸消毒器　AT-30	ｱｽﾞﾜﾝ	0-459-11	4
59	送風低温恒温器	ﾔﾏﾄ科学	DNE810	4
60	ｺﾛﾆｰｶｳﾝﾀｰﾗｲﾄ台DX+ﾊﾝﾃﾞｨｰｺﾛﾆｰｶｳﾝﾀｰ	ｱｽﾞﾜﾝ	2-7592-01+2-692-11	4

No.	機器名称	メーカー	型式	数量
61	微生物培養用 嫌気･微好気ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ	ｾﾝﾄﾗﾙ科学貿易	バグボックスAx	1
62	嫌気培養器	ﾋﾗｻﾜ	ANX-3	1
63	ヒラサワ　CPD-2702、テーハー式圧力調整器、	ﾋﾗｻﾜ	CPD-2702	1
64	水道直結型超純水製造装置	ﾒﾙｸ	Milli-Q　IQ 7005 water purification system＋50Lﾀﾝｸ	3
65	ｸｰﾙｲﾝｷｭﾍﾞｰﾀｰ　CN-25C	ｱｽﾞﾜﾝ	1-6684-01	2
66	ﾈｵｼｪｰｶｰ　NS-LR	ｱｽﾞﾜﾝ	2-7827-01	8
67	96穴　300μl　丸・平・V・U底	ﾜﾄｿﾝ	4845-96R + 4845-96U + 4845-96F + 4845-96V	1
68	ﾏｲｸﾛﾌﾟﾚｰﾄｳｵｯｼｬｰ	ﾊﾞｲｵﾃｯｸ	MW-96FR/PP	2
69	ﾏｲｸﾛﾌﾟﾚｰﾄ電動分注器（8連）	栄研化学	eLINE電子ピペッター	2
70	迅速同定装置　autoflex series	ﾌﾞﾙｶｰ	MALDIバイオタイパーsirius	1
71	理論回路実習装置	岩通計測	ITF-02B	4
72	ﾎﾟﾘｸﾞﾗﾌ	日本光電	PEG-1000	4
73	静脈採血注射モデル	高研	LM-028	12
74	臓器撮影装置	杉研商事	MPS-7	1
75	凍結ﾐｸﾛﾄｰﾑ(ｸﾘｵｽﾀｯﾄ)	ｻｸﾗﾌｧｲﾝﾃｯｸ	POLAR-Bベーシックタイプ	1
76	半自動回転式ﾐｸﾛﾄｰﾑ	大和光機工業	IVS-410	8
77	自動温度補正防水機能付臨床屈折計	ｱﾀｺﾞ	MASTER-SUR/Jα	5
78	医療用分光光度計	日立ﾊｲﾃｸ	7012型	4
79	電源一体型小型電気泳動装置	ｱﾄｰ	WSE-1020W/AE-7344	5
80	ﾘｯﾄﾏﾝ聴診器	ｽﾘｰｴﾑ	2201	10
81	紫斑計　（大川ｷｬﾝﾊﾟｽ20MLｼﾘﾝｼﾞ+ﾁｭｰﾌﾞ+30φﾛｰﾄを導入）	ﾆﾌﾟﾛ		1
82	全自動血液凝固測定装置	ｼｽﾒｯｸｽ	CA-1500	1
83	半自動血液凝固測定装置	ｼｽﾒｯｸｽ	CA101	10
84	全自動電解質分析装置	ｴｲｱﾝﾄﾞﾃｨｰ	EA07	1
85	遺伝子増幅用恒温槽ｻｰﾏﾙｻｲｸﾗｰ(ｸﾞﾗｼﾞｴﾝﾄ仕様)	ｱｽﾃｯｸ	G02、ｱｽﾃｯｸ PC-812、PC-818+サンプルホルダーTM-15	2
86	ｹﾞﾙ撮影装置ﾌﾟﾘﾝﾄｸﾞﾗﾌ	ｱﾄｰ	AE-6933FXES-U	3
87	遺伝子解析システム(次世代ｼｰｹﾝｻｰ) 据え付け料	イルミナ	iSeq 100	1
88	遺伝子解析システム（ナノポア） 解析システム	オックスフォードテグシス	MinION Mk1B　スターターパック Enhanced 解析システム	1
89	ﾘｱﾙﾀｲﾑPCR装置	ｱｼﾞﾚﾝﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞ	AG8830A　AriaMx リアルタイムPCRシステム(3カラー仕様)	2
90	ﾌﾞﾛｯｸｲﾝｷｭﾍﾞｰﾀｰ	ｱｽﾃｯｸ	BI-516H	2
91	UVｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	BIOSAN	UVC/T-M-AR	1
92	ﾋﾞｭｰﾎﾞｯｸｽ2	村上ｻｲｴﾝｽ	MK55101	8
93	ｺﾛﾅ 吸光ｸﾞﾚｰﾃｨﾝｸﾞﾏｲｸﾛﾌﾟﾚｰﾄﾘｰﾀﾞｰ	ｺﾛﾅ電気	SH-1200Lab	2

No.	機器名称	メーカー	型式	数量
94	自動血球洗浄遠心機	ｴｯﾍﾟﾝﾄﾞﾙﾌﾊｲﾏｯｸ	MC450	1
95	ﾏﾙﾁﾃﾚﾒｰﾀｰｼｽﾃﾑ	日本光電	WEB-9500	1
96	重心動揺計 ｸﾞﾗﾋﾞｺｰﾀﾞｰ	ｱﾆﾏ	GP-31	1
97	心機図検査装置　MES-1000	ﾌｸﾀﾞ電子		1
98	マスター負荷台	ﾌｸﾀﾞ電子		3
99	心電計 ｶﾙｼﾞｵﾌｧｯｸｽC	日本光電	ECG-1150	10
100	脳波計 ECG-1200ｼﾘｰｽﾞ ﾆｭｰﾛﾌｧｯｸｽ	日本光電	EEG-1260Next　ｶﾒﾗﾕﾆｯﾄ込み	2
101	呼吸機能測定装置 ﾏｲｸﾛｽﾊﾟｲﾛ	日本光電	HI-801	6
102	筋電図･誘発電位検査装置	日本光電	Neuropack X1　MEB-2312	1
103	ｲﾝﾌﾗｱｲ3000	日本光電		1
104	超音波診断装置	キャノンメディカル	Aplio a Verifia CUS-AA000/J5	2
105	ｾﾗﾋﾞｼﾞｮﾝ	ｾﾗﾋﾞｼﾞｮﾝ	ｾﾗﾋﾞｼﾞｮﾝ DC1	1
106	多項目自動血球計数装置	ｼｽﾒｯｸｽ	XT-1800i⇒XN450	1
107	ﾌﾛｰｻｲﾄﾒｰﾀｰ （ｾﾙｿｰﾀｰ）	日本ﾍﾞｸﾄﾝ･ﾃﾞｨｯｷﾝｿﾝ	BD FACSAria Fusion セルソーター 5レーザー18カラーACDU付き	1
108	デジタルPCR装置	thermofisher scientific	QuantStudio™ Absolute Q™ Digital PCR System, desktop	1
109	ディスカション顕微鏡（5人用）	エビデント	顕微鏡BX53LED＋デジタルカメラDP75	1
110	ディスカション顕微鏡モニター配信システム	エビデント		1
111	細胞検査士養成課程用顕微鏡 8台	エビデント	顕微鏡BX43LED	8
112	細胞検査士養成課程用顕微鏡 8台	ニコン	ECLIPSE Ci-L plus	8
113	細胞検査士養成課程用ディスカション顕微鏡（5人用）	エビデント	顕微鏡BX53LED＋デジタルカメラDP75	1
114	細胞検査士養成課程用ディスカション顕微鏡（3人用）	エビデント	顕微鏡BX53LED＋デジタルカメラDP75	1
115	顕微鏡（写真撮影用）＋写真撮影装置	エビデント	BX53ベース＋カメラDP23	1
116	実体顕微鏡	エビデント	SZX16	1
117	CO2インキュベーター	PHC	MCO-230AICUV	2
118	バイオクリーンベンチ	PHC	mcv-b161f-pj	3
119	バイオハザード対策用キャビネット	PHC	MHE-181AB3-PJ	3
120	Mupid®-2plus	タカラバイオ	BC-M-2PLUS	16

No.	機器名称	メーカー	型式	数量
121	ミニ遠心機 Mini6000KS	BMS	BSR-Mini6000KS	16
122	サーマルサイクラー	バイオラッド	S1000	2
123	ミクロトームアダプター	大和工機工業株式会社	OB-25	10
124	DNA濃度測定装置	Invitrogen	Qubit 4 Fluorometer	3
125	口腔・咽頭拭い液採取モデル	株式会社アヴィス	KY11426-000	4
126	(指導者用)点滴静注シミュレータ Vライン	京都科学	11388-000	1
127	FreeStyleリブレ2センサースターターパック (Reader①、センサー1枚入り②)	アボットジャパン	71533-72	1
128	吸引シミュレータ Qちゃん	京都科学	11229-000	1
129	小型吸引機 3WAY-750S-2	京都科学	12203-300	1
130	経管栄養ルートモデル	京都科学	11229-200	8
131	吸引実習用清潔器具セット3点セット	京都科学	12726-100	1
132	パルスオキシメータ サーフィンPO	小池メディカル	7-4841-01	1
133	気管吸引キットカテーテル付 緑	SBカワスミ	MD-33114	1
134	直腸肛門機能検査モデル(専用ダミーチューブ①)	京都科学	11460-000	8
135	経管栄養ルートモデル ※喀痰吸引とは別に用意	京都科学	11229-200	8
136	蛍光顕微鏡	Nikon	ECLIPSE NI-U	1
137	蛍光顕微鏡フィルター	Nikon	C-LED470	1

図書リスト・和書

資料19

番号	ISBN	書名	巻次	巻書名	版次	著編者	出版社	発行日
1	9784501557607	ヒトの耳機械の耳				リチャード・F.ライオン	東京電機大学出版局	2021.01
2	9784000297189	脳がゾクゾクする不思議				仲谷正史	岩波書店	2023.05
3	9784309254364	あなたがあなたであることの科学				デイヴィッド・J.リンデン	河出書房新社	2021.11
4	9784772695800	母性の科学				アビゲイル・タッカー	インターシフト	2023.09
5	9784314011860	夢を見るとき脳は				アントニオ・ザドラ	紀伊國屋書店	2021.09
6	9784274229404	看護・医療技術者のためのたのしい物理				中野正博	オーム社	2022.09
7	9784263223871	物理学				嶋津秀昭/中島章夫	医歯薬出版	2022.02
8	9784525054328	まるわかり!基礎物理			改訂2版	桑子研	南山堂	2021.03
9	9784525054229	まるわかり!基礎化学			改訂2版	松岡雅忠	南山堂	2021.07
10	9784065256824	タンデム質量分析法				藤井敏博	講談社	2021.10
11	9784315525717	最強に面白い!!人体と細胞					ニュートンプレス	2022.07
12	9784815730123	デジタル細胞生物学				スティーブ J.ロイル	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2021.03
13	9784758122467	決定版エクソソーム実験ガイド					羊土社	2020.10
14	9784802613965	体をつくり、機能を維持する生体物質事典				鈴木裕太	ソシム	2023.01
15	9784525131715	ほぼ2ページでギュッとまとめた生化学				田村隆明	南山堂	2023.06
16	9784758122597	フロントランナー直伝相分離解析プロトコール					羊土社	2022.07
17	9784879230829	記憶と学習を支える分子カムキナーゼⅡの発見				山内卓	三省堂書店	2021.03
18	9784758122559	メタゲノムデータ解析					羊土社	2021.12
19	9784152101594	ゲノム編集の世紀				ケヴィン・デイヴィス	早川書房	2022.11
20	9784758122672	RNA-Seqデータ解析			改訂版		羊土社	2023.10
21	9784758122450	バリアントデータ検索＆活用					羊土社	2020.10
22	9784758122535	ロングリードWET＆DRY解析ガイド					羊土社	2021.10
23	9784758122610	空間オミクス解析スタートアップ実践ガイド					羊土社	2023.01
24	9784339067637	セルプロセッシング工学			増補	高木睦	コロナ社	2022.01
25	9784260049306	体内時計の研究				本間研一/本間さと	医学書院	2022.10
26	9784907623609	寄生虫を守りたい				佐々木瑞希	dZERO	2023.06
27	9784296001484	予測脳				カリン・イエンセン	日経BP	2023.05
28	9784254102963	人間の許容・適応限界事典					朝倉書店	2022.11
29	9784758122658	ヒト生体試料・データ取扱い実践ハンドブック					羊土社	2023.08
30	9784750517650	人体の全貌を知れ				ダニエル・M.デイヴィス	亜紀書房	2022.10

31	9784260043052	Dr.ミカミの動画で学ぶ基礎医学	生命科学編			三上貴浩	医学書院	2021.03
32	9784784932405	カラー図解人体の正常構造と機能	1	呼吸器	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
33	9784784932412	カラー図解人体の正常構造と機能	2	循環器	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
34	9784784932429	カラー図解人体の正常構造と機能	3	消化管	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
35	9784784932436	カラー図解人体の正常構造と機能	4	肝・胆・膵	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
36	9784784932443	カラー図解人体の正常構造と機能	5	腎・泌尿器	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
37	9784784932450	カラー図解人体の正常構造と機能	6	生殖器	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
38	9784784932467	カラー図解人体の正常構造と機能	7	血液・免疫・内分泌	改訂第4版		日本医事新報社	2021.02
39	9784904419960	医療系学生のための解剖見学実習ノート				千田隆夫/小村一也	アドスリー	2020.10
40	9784907176617	ワークアウト解剖生理ブック				吉村和法	サイオ出版	2021.02
41	9784907176952	ワンポイント問題集解剖学				渡辺皓	サイオ出版	2021.01
42	9784315526271	完全人体図鑑				トーマス・O.マクラケン	ニュートンプレス	2022.11
43	9784651200484	人体のふしぎ				矢沢サイエンスオフィス	ワン・パブリッシング	2020.11
44	9784260050487	解剖学カラーアトラス			第9版	Johannes W.Rohen/横地千仭	医学書院	2023.02
45	9784780914733	解剖生理ポケットブックmini					学研メディカル秀潤社	2022.04
46	9784780914337	透かしてみるとミルミルわかる!!解剖学				金子仁久	学研メディカル秀潤社	2021.04
47	9784773061246	美しい人体図鑑			改訂版		笠倉出版社	2021.03
48	9784621306284	グラント解剖学カラーリングブック				Nicole R.Herring	丸善出版	2021.07
49	9784621305638	人体解剖カラーリングブック			補訂版	T.Alan Twietmeyer/Thomas McCracken	丸善出版	2020.11
50	9784297128685	コメディカルのための内臓・循環器・神経ポケットアトラス				飯島治之	技術評論社	2022.05
51	9784814004232	身体諸部分の用途について	2			ガレノス	京都大学学術出版会	2022.10
52	9784895907002	町田志樹の聴いて覚える解剖学	中枢・末梢神経編			町田志樹	三輪書店	2020.12
53	9784906852277	解剖生理学まとめドリル			第2版		宣広社	2021.01
54	9784262155746	マンガでわかる解剖生理学					池田書店	2021.05
55	9784498000445	イラスト解剖学			第10版	松村譲児	中外医学社	2021.04
56	9784524226931	3ステップ解剖生理学				開道貴信	南江堂	2022.10
57	9784525121631	なるほどなっとく!解剖生理学			改訂3版	多久和典子/多久和陽	南山堂	2023.08
58	9784525600822	解剖生理学			改訂2版	高野廣子	南山堂	2022.03
59	9784537219371	人体の全解剖図鑑			完全版	水嶋章陽	日本文芸社	2021.11
60	9784537218848	図解眠れなくなるほど面白い解剖学の話					日本文芸社	2021.06
61	9784595323294	人体の構造と機能			改訂版	坂井建雄	放送大学教育振興会	2022.03

62	9784758102506	Stay's Anatomy	神経・循環器編			町田志樹	羊土社	2020.11
63	9784758102513	Stay's Anatomy	臓器編			町田志樹	羊土社	2021.04
64	9784758102520	Stay's Anatomy	運動器編			町田志樹	羊土社	2021.08
65	9784498000391	解剖学イラスト事典			第4版	松村譲児	中外医学社	2023.08
66	9784621304594	ソボッタ解剖学アトラス	第1巻	全身解剖・筋骨格系		Friedrich Paulsen/Jens Waschke	エルゼビア・ジャパン	2021.01
67	9784621304617	ソボッタ解剖学アトラス	第2巻	体幹（内臓系）		Friedrich Paulsen/Jens Waschke	エルゼビア・ジャパン	2021.09
68	9784524230099	ネッター解剖学アトラス	+別冊学習の手引き・Bonus Plates		原書第7版	Frank H.Netter	エルゼビア・ジャパン	2022.01
69	9784524227648	人体解剖カラーアトラス				Peter H.Abrahams/Jonathan D.Spratt	エルゼビア・ジャパン	2021.01
70	9784524230143	組織細胞生物学				Abraham L.Kierszenbaum/Laura L.Tres	エルゼビア・ジャパン	2022.12
71	9784781314808	再生医療の細胞培養技術と産業展開			普及版		シーエムシー出版	2021.03
72	9784260041324	標準組織学各論			第6版	藤田尚男/藤田恒夫	医学書院	2022.03
73	9784910513171	イラストで学ぶ骨・関節・筋の解剖学				東華岳/林春樹	アドスリー	2023.10
74	9784752914075	ボディ・ナビゲーション			改訂第6版	Andrew Biel	医道の日本社	2023.01
75	9784522438442	そもそも人体運動器				菅本一臣	永岡書店	2022.03
76	9784788807549	運動器学ハンドブック				松尾拓哉	時潮社	2022.03
77	9784315525076	筋肉大図鑑					ニュートンプレス	2022.02
78	9784765318969	Thiel法だから動きがわかりやすい!筋骨格系の解剖アトラス	下肢編			一柳雅仁	金芳堂	2022.03
79	9784860346683	臨床神経解剖学				Estomih Mtui/Gregory Gruener	エルゼビア・ジャパン	2022.09
80	9784260050838	The Grasping Hand				Amit Gupta/Makoto Tamai	医学書院	2023.03
81	9784263732014	ムーア人体発生学			第2版	Keith L.Moore/T.V.N.Persaud	エルゼビア・ジャパン	2022.03
82	9784758121095	ひと目でわかるビジュアル人体発生学				山田重人/山口豊	羊土社	2022.11
83	9784910513119	56のクエスチョンでひも解くヒトのからだ				千田隆夫/山口瞬	アドスリー	2022.10
84	9784860437206	不定愁訴の統合生理学と商品開発				矢田幸博	エヌ・ティー・エス	2021.06
85	9784907176976	ワンポイント問題集生理学				内田勝雄/松本裕	サイオ出版	2021.07
86	9784816371318	生理学の基本としくみ				部谷祐紀	ナツメ社	2022.02
87	9784315527292	ヒトの体はこんなにすごい!人体の取扱説明書				ニュートン編集部	ニュートンプレス	2023.09
88	9784315525328	最強にわかる!!人体	病気編				ニュートンプレス	2022.04
89	9784315524666	最強に面白い!!人体	取扱説明書編				ニュートンプレス	2021.11
90	9784315525670	人体				ニュートン編集部	ニュートンプレス	2022.07
91	9784315526431	人体大図鑑プレミアム					ニュートンプレス	2022.12
92	9784758317917	集中講義生理学			第3版		メジカルビュー社	2022.03

93	9784779227806	ORGAN ROOMS					メディカルレビュー社	2023.07
94	9784896328561	イメカラ	免疫				メディックメディア	2021.11
95	9784764412392	Q&Aですらすらわかるホメオスタシスのしくみ				志内哲也	杏林書院	2023.08
96	9784260051200	イラストでまなぶ生理学			第4版	田中越郎	医学書院	2023.09
97	9784263240946	生理学実習NAVI			第3版		医歯薬出版	2023.01
98	9784752911937	生理学インパクト				原田晃	医道の日本社	2020.10
99	9784259547776	手を眺めると、生命の不思議が見えてくる				稲垣栄洋	家の光協会	2021.12
100	9784065250631	好きになる生理学			第2版	田中越郎	講談社	2021.10
101	9784798069692	ウソみたいな人体の話を大学の先生に解説してもらいました。				中尾篤典	秀和システム	2023.08
102	9784791630028	知識ゼロでも楽しく読める!人体のしくみ					西東社	2022.02
103	9784413232364	おもしろすぎる人体のひみつ				工藤孝文	青春出版社	2022.01
104	9784906852307	人体のしくみとはたらき要点整理&ドリル			第5版		宣広社	2022.10
105	9784023340299	カラダの不思議としくみ入門					朝日新聞出版	2021.06
106	9784023340961	今さら聞けない人体の超基本					朝日新聞出版	2022.12
107	9784784911721	新生理学			改訂第8版 フルカラー新装版	竹内昭博	日本医事新報社	2023.05
108	9784830602313	生理学テキスト			第9版	大地陸男	文光堂	2022.12
109	9784299029294	人体のふしぎ見るだけノート					宝島社	2022.06
110	9784758116664	今こそ学び直す!生理学・解剖学					羊土社	2021.08
111	9784844609025	生理人類学				安河内朗/岩永光一	理工図書	2020.11
112	9784839975319	循環器のしくみ					マイナビ出版	2021.06
113	9784839978082	呼吸器のしくみ					マイナビ出版	2022.05
114	9784152101402	BREATH				ジェームズ・ネスター	早川書房	2022.06
115	9784415329512	ぜんぶわかる消化器の事典					成美堂出版	2021.01
116	9784781316178	唾液による健康効果の最前線					シーエムシー出版	2021.09
117	9784254301243	咀嚼の事典			新装版		朝倉書店	2021.09
118	9784839972462	腎と泌尿器のしくみ					マイナビ出版	2021.02
119	9784867060438	脳とホルモンの行動学			第2版		西村書店	2023.03
120	9784845451791	新・アダムとイヴの科学				熊本悦明	ロングセラーズ	2023.08
121	9784314011853	ジェンダーと脳				ダフナ・ジョエル	紀伊國屋書店	2021.09
122	9784469269666	人はなぜ老いるのか				スー・アームストロング	大修館書店	2023.10
123	9784758121262	老化研究をはじめる前に読む本				高杉征樹	羊土社	2023.01

124	9784764412194	体温の「なぜ?」がわかる生理学				永島計	杏林書院	2021.04
125	9784046062529	世界一わかりやすい筋肉のつながり図鑑				きまたりょう	KADOKAWA	2023.10
126	9784315526578	文系のためのめっちゃやさしい筋肉					ニュートンプレス	2023.01
127	9784787825353	筋学を築き上げた人々				ミシェル・ファルドー	診断と治療社	2021.12
128	9784254690491	筋の科学事典			新装版		朝倉書店	2022.11
129	9784130634090	筋収縮の謎				杉晴夫	東京大学出版会	2021.03
130	9784867060186	ベアー コノーズ パラディーソ神経科学			改訂版	M.F.ベアー	西村書店	2021.01
131	9784140819425	ビジュアル・シンカーの脳				テンプル・グランディン	NHK出版	2023.07
132	9784478112663	ダマシオ教授の教養としての「意識」				アントニオ・ダマシオ	ダイヤモンド社	2022.08
133	9784315525991	脳大図鑑					ニュートンプレス	2022.09
134	9784315526424	文系のためのめっちゃやさしい睡眠					ニュートンプレス	2022.12
135	9784621307656	カールソン神経科学テキスト				Neil R.Carlson/Melissa A.Birkett	丸善出版	2022.12
136	9784000054737	自由エネルギー原理入門				乾敏郎	岩波書店	2021.11
137	9784314011839	バレット博士の脳科学教室7 1/2章				リサ・フェルドマン・バレット	紀伊國屋書店	2021.06
138	9784314011990	ミラーニューロン			新装版	ジャコモ・リゾラッティ	紀伊國屋書店	2023.05
139	9784814003808	タイミングの科学				乾信之	京都大学学術出版会	2022.01
140	9784065270516	生命知能と人工知能				高橋宏知	講談社	2022.01
141	9784065265154	脳と人工知能をつないだら、人間の能力はどこまで拡張できるのか				紺野大地	講談社	2021.12
142	9784627880818	脳はこうして学ぶ				スタニスラス・ドゥアンヌ	森北出版	2021.02
143	9784791774661	なぜ私は私であるのか				アニル・セス	青土社	2022.05
144	9784422410999	ひと目でわかる脳のしくみとはたらき図鑑					創元社	2022.06
145	9784152101358	脳の地図を書き換える				デイヴィッド・イーグルマン	早川書房	2022.05
146	9784826902359	意識はなぜ生まれたか				マイケル・グラツィアーノ	白揚社	2022.04
147	9784758122108	もっとよくわかる!脳神経科学			改訂版	工藤佳久	羊土社	2021.09
148	9784498328808	自律神経				榊原隆次/内田さえ	中外医学社	2022.04
149	9784339013658	聴覚				古川茂人	コロナ社	2021.04
150	9784839980979	生化学の基本					マイナビ出版	2023.06
151	9784263223802	生化学					医歯薬出版	2021.03
152	9784263455296	生化学実習			第2版		医歯薬出版	2023.04
153	9784759813999	生体分子と疾患					化学同人	2021.08
154	9784906514991	組織細胞化学	2023	3日間できわめる組織細胞化学の極意			学際企画	2023.07

155	9784866933184	基礎から学べる生化学・微生物学				北垣浩志	三恵社	2021.04
156	9784758122641	質量分析活用スタンダード					羊土社	2023.08
157	9784874923955	ラクトフェリン	2021・2023	2021ラクトフェリンと脳機能/2023ラクトフェリンの可能性を			アイ・ケイコーポレーション	2023.08
158	9784767962153	生体におけるリン脂質の性状と機能性					建帛社	2020.10
159	9784759820836	ホルモン全史				R.H.エプスタイン	化学同人	2022.08
160	9784794226020	運動しても痩せないのはなぜか				ハーマン・ポンツァー	草思社	2022.10
161	9784260041393	マークス臨床生化学				Michael Lieberman/Alisa Peet	医学書院	2020.09
162	9784524232871	ビジュアルパニーニ臨床生化学				Sankhavaram R.Panini	南江堂	2023.10
163	9784863995154	新図解表説薬理学・薬物治療学			第3版	菱沼滋	エムスリーエデュケーション	2022.03
164	9784274227141	マンガでわかる薬物動態学				大谷壽一	オーム社	2021.05
165	9784907176983	ステップアップ薬理学ノート					サイオ出版	2021.08
166	9784867490099	パワーアップ問題演習薬理学			新訂版 第3版	鈴木正彦	サイオ出版	2022.12
167	9784840753470	これからの薬物相互作用マネジメント			第2版	大野能之	じほう	2021.03
168	9784861740770	わかりやすい薬理学			第4版		ヌーヴェルヒロカワ	2020.11
169	9784861868481	薬理学			第3版	守屋文夫	ふくろう出版	2022.03
170	9784260051217	イラストでまなぶ薬理学			第4版	田中越郎	医学書院	2023.09
171	9784260041638	標準薬理学			第8版		医学書院	2021.03
172	9784263237762	薬理学			第4版	中嶋敏勝	医歯薬出版	2023.10
173	9784780914580	処方がわかる医療薬理学	2022-2023			中原保裕	学研メディカル秀潤社	2022.06
174	9784621306369	カッツング薬理学エッセンシャル				Bertram G.Katzung/Marieke Kruidering-Hall	丸善出版	2021.07
175	9784621308295	臨床薬物動態学			第5版	緒方宏泰/増原慶壮	丸善出版	2023.07
176	9784798503325	くすりとからだ				笹栗俊之	九州大学出版会	2022.03
177	9784065238103	休み時間の薬理学			第3版	丸山敬	講談社	2021.06
178	9784065260555	好きになる薬理学・薬物治療学				大井一弥	講談社	2022.03
179	9784798057965	薬局の現場ですぐに役立つ実践で学ぶ!薬物動態学				淺沼晋	秀和システム	2020.12
180	9784798057958	薬局の現場ですぐに役立つ速習!薬局の薬理学				淺沼晋	秀和システム	2020.11
181	9784883522774	わかりやすい薬理学			第17版	伊藤芳久/石毛久美子	創風社	2023.04
182	9784861633638	“善玉”としてのヒスタミン				谷内一彦	東北大学出版会	2022.02
183	9784810331837	健康食品・サプリメントと医薬品との相互作用事典	2021第2版				同文書院	2021.03
184	9784525721510	APPLIED PHARMACOMETRICS					南山堂	2021.10
185	9784525723910	BMs-Podによる薬物投与設計				尾田一貴	南山堂	2022.07

186	9784525140830	イラストで理解するかみくだき薬理学			改訂3版	町谷安紀	南山堂	2023.08
187	9784525778613	臨床に活かす薬物動態の強化書					南山堂	2022.08
188	9784296200405	相互作用が関与する薬の副作用としくみ				杉山正康	日経BP	2022.11
189	9784296112760	薬の相互作用としくみ			新版 第2版	杉山正康	日経BP	2022.09
190	9784595322617	疾病の回復を促進する薬			改訂版	櫻井隆	放送大学教育振興会	2021.03
191	9784866733067	アリエナイ毒性学事典					三才ブックス	2022.06
192	9784907176907	ワンポイント問題集病理学				岡田英吉	サイオ出版	2021.02
193	9784907176969	病理学			新訂版 第2版	岡田英吉	サイオ出版	2021.03
194	9784260045902	組織病理カラーアトラス			第3版	坂本穆彦/北川昌伸	医学書院	2021.05
195	9784260050425	標準病理学			第7版		医学書院	2023.03
196	9784263732038	解明病理学			第4版		医歯薬出版	2021.11
197	9784263731970	病理組織の見方と鑑別診断			第7版		医歯薬出版	2020.12
198	9784765318624	Dr.ヤンデルの病理トレイル				市原真	金芳堂	2021.04
199	9784765319003	剖検マクロ・ミクロ病理アトラス				藤田久美/八田和大	金芳堂	2022.03
200	9784065279533	医療系学生のための病理学			第5版		講談社	2022.11
201	9784796525107	はじめまして病理学				市原真	照林社	2021.12
202	9784906852291	なんくるないさ!病理学					宣広社	2021.11
203	9784524226542	わかりやすい病理学			改訂第7版		南江堂	2021.03
204	9784525151812	なるほどなっとく!病理学plus				小林正伸	南山堂	2022.01
205	9784830604874	病理診断に直結する切り出しのキモ					文光堂	2022.09
206	9784758122139	もっとよくわかる!線維化と疾患					羊土社	2023.10
207	9784758124027	病理所見の見かた、病態の考えかた				藏本純子	羊土社	2023.04
208	9784830604850	がんゲノム病理学					文光堂	2021.11
209	9784860438401	遺伝子治療開発研究ハンドブック			第2版		エヌ・ティー・エス	2023.04
210	9784815730253	遺伝カウンセリングロールプレイ				三宅秀彦	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2021.08
211	9784909508133	遺伝カウンセリングガイド					メディカルドゥ	2021.06
212	9784263223789	遺伝子・染色体検査学			第2版		医歯薬出版	2021.02
213	9784344942639	遺伝学的検査とわかりやすい疾患の説明				山下直秀/山下直秀	幻冬舎メディアコンサルティング	2023.04
214	9784779171055	遺伝子検査のモラル				田口淳一	彩流社	2023.03
215	9784785358730	ゲノム編集と医学・医療への応用					裳華房	2022.06
216	9784787824769	Prof.山本のマイクロアレイ染色体検査入門				山本俊至	診断と治療社	2021.11

217	9784787823670	臨床遺伝専門医テキスト	1	臨床遺伝学総論			診断と治療社	2021.07
218	9784787825148	臨床遺伝専門医テキスト	2	各論 1 臨床遺伝学 生殖・周産期領域			診断と治療社	2021.11
219	9784787825155	臨床遺伝専門医テキスト	3	各論 2 臨床遺伝学小児領域			診断と治療社	2021.11
220	9784787825162	臨床遺伝専門医テキスト	4	各論 3 臨床遺伝学 成人領域			診断と治療社	2021.12
221	9784787825179	臨床遺伝専門医テキスト	5	各論 4 臨床遺伝学腫瘍領域			診断と治療社	2021.12
222	9784524203697	遺伝を考える					日本医師会	2023.07
223	9784758121255	ゲノム・オデッセイ				Euan Angus Ashley	羊土社	2022.12
224	9784758122665	全ゲノム・エクソーム遺伝統計解析					羊土社	2023.09
225	9784871773621	病原微生物の世界				小熊惠二	あっぷる出版社	2022.12
226	9784867490013	ステップアップ微生物学ノート			第2版	西條政幸	サイオ出版	2021.12
227	9784861868696	臨床検査微生物学			第5版	近末久美子/下田健治	ふくろう出版	2022.12
228	9784990673994	腸内フローラと炎症					ヤクルト・バイオサイエンス研究財団	2021.08
229	9784260049290	ウォームアップ微生物学				中込治	医学書院	2022.03
230	9784334962494	超(スーパー)耐性菌				マット・マッカーシー	光文社	2021.06
231	9784787824592	腸内微生物叢最前線					診断と治療社	2021.01
232	9784525163433	イラストでわかる微生物学超入門			改訂3版	齋藤光正	南山堂	2023.03
233	9784525161217	臨床プレ/プロバイオティクス学入門				古賀泰裕/須藤信行	南山堂	2022.08
234	9784784911943	新微生物学			第2版	舘田一博/松本哲哉	日本医事新報社	2021.03
235	9784758122115	もっとよくわかる!腸内細菌叢			改訂版		羊土社	2022.11
236	9784758109758	感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学				増澤俊幸	羊土社	2020.10
237	9784000296960	ウイルスと人間			新版	山内一也	岩波書店	2020.09
238	9784833022750	イラストで見るウイルスあれこれ				竹上勉	北國新聞社	2022.11
239	9784622096009	免疫から哲学としての科学へ				矢倉英隆	みすず書房	2023.03
240	9784623095759	免疫をあやつる				楢崎雅司	ミネルヴァ書房	2023.08
241	9784815730819	エッセンシャル免疫学			第4版	ピーター パーラム	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023.08
242	9784260042383	標準免疫学			第4版		医学書院	2021.03
243	9784621308011	イラストレイテッド免疫学				Thao Doan/Fabio Lievano	丸善出版	2023.03
244	9784065218334	たたかう免疫				NHKスペシャル取材班	講談社	2021.01
245	9784862514677	安保徹の免疫学ノート				安保徹	三和書籍	2022.09
246	9784415330952	いちばんやさしい免疫学					成美堂出版	2022.04
247	9784498106079	医系免疫学			改訂16版	矢田純一	中外医学社	2021.11

248	9784254431261	食品免疫学事典					朝倉書店	2021.11
249	9784807909988	免疫			第6版	矢田純一	東京化学同人	2020.09
250	9784807920334	免疫学の基礎			第5版	辻勉	東京化学同人	2022.11
251	9784489023538	Dr.新妻免疫塾				新妻耕太	東京図書	2021.01
252	9784263223772	医動物学			第2版	平山謙二	医歯薬出版	2021.01
253	9784525173289	医動物学			改訂8版	吉田幸雄	南山堂	2023.02
254	9784525170202	図説人体寄生虫学			改訂10版	吉田幸雄	南山堂	2021.03
255	9784263223895	病態学/臨床検査医学総論			第3版		医歯薬出版	2023.02
256	9784780904437	300例で学ぶ読影レポートの流儀					Gakken	2023.01
257	9784055200554	レジデントのための画像診断アトラス					Gakken	2023.10
258	9784621304563	Point-of-Care超音波				Nilam J.Soni/Robert Arntfield	エルゼビア・ジャパン	2020.10
259	9784274225765	超音波画像AI診断					オーム社	2021.09
260	9784274225642	内視鏡画像AI					オーム社	2022.11
261	9784339072488	医用超音波工学の基礎				竹内真一/内田武吉	コロナ社	2021.03
262	9784339013436	生体組織の超音波計測				松川真美	コロナ社	2022.05
263	9784840753265	品質保証・精度管理教本					じほう	2020.11
264	9784840753067	臨床検査値ハンドブック			第4版		じほう	2022.03
265	9784758321167	全身DWIBSドライブスルー					メジカルビュー社	2022.09
266	9784758320740	造影検査学				杉森博行	メジカルビュー社	2022.12
267	9784758320283	臨床検査技師イエロー・ノート			第3版		メジカルビュー社	2021.01
268	9784758320276	臨床検査技師ブルー・ノート			3rd edition		メジカルビュー社	2021.03
269	9784815730796	救急画像診断ER Case Book					メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023.08
270	9784815730314	即戦力が身につく頭頸部の画像診断					メディカル・サイエンス・インターナショナル	2021.09
271	9784907909147	超音波の基礎と装置			新装版	甲子乃人	メディフレックス	2021.07
272	9784909888150	つながる!臨床検査				長尾哲彦	医学と看護社	2020.09
273	9784260049344	エコーの撮り方完全マスター			第2版		医学書院	2022.03
274	9784260049641	ジェネラリストと学ぶ総合画像診断					医学書院	2022.10
275	9784260050326	緊急度を見抜く!バイタルサインからの臨床推論				山内豊明	医学書院	2023.06
276	9784260049672	標準臨床検査医学			第5版		医学書院	2023.02
277	9784260050098	臨床検査データブック	2023-2024				医学書院	2023.01
278	9784263708293	看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック			第6版	奈良信雄	医歯薬出版	2022.12

279	9784263223796	検査総合管理学			第2版		医歯薬出版	2021.03
280	9784263229361	検体検査の品質・精度確保の基準の手引き				メディカル・テクノロジー編集委員会/宮地勇人	医歯薬出版	2020.09
281	9784263223857	生理機能検査学			第2版		医歯薬出版	2022.01
282	9784263229385	対比で読み解く超音波画像×病理組織像				若杉聡/市原真	医歯薬出版	2023.01
283	9784860031411	MRIシミュレータを用いた独習パルスシーケンス	先端編			巨瀬勝美/巨瀬亮一	医療科学社	2022.11
284	9784860031435	Pythonによる画像再構成と深層学習の基礎				堀拳輔/橋本雄幸	医療科学社	2023.04
285	9784860031350	診療画像技術学	2a	X線撮影技術学	第2版	森浩一/西尾誠示	医療科学社	2022.03
286	9784860031275	乳房エコーの実学			改訂新版	杉山高	医療科学社	2021.04
287	9784759820799	臨床検査技師をめざす人の基礎トレーニングドリル				岩本昌大/富永麻理	化学同人	2022.03
288	9784780904178	MRI安全性の考え方			第3版		学研メディカル秀潤社	2021.05
289	9784780913767	エビデンスに基づく検査データ活用マニュアル			改訂第3版		学研メディカル秀潤社	2020.09
290	9784780904550	画像でみかける偶発的所見のマネジメント	2022			陣崎雅弘/画像診断実行編集委員会	学研メディカル秀潤社	2022.09
291	9784307071239	画像診断ガイドライン	2021年版				金原出版	2021.09
292	9784765319478	イメージでわかる!医用超音波の新しい教科書 基礎原理と装置の「なぜ?どうして?」				山崎延夫	金芳堂	2023.04
293	9784765319195	クイズで学ぶ画像診断「1手詰」				木口貴雄/山路大輔	金芳堂	2022.08
294	9784796525794	とにかく使える検査値の見かた			第2版	西崎祐史/渡邊千登世	照林社	2023.03
295	9784867060445	すぐわかる救急ポータブル超音波診断入門				中山紫季	西村書店	2023.02
296	9784865198195	研修医・臨床検査技師のための乳腺・甲状腺検査の手引き					全日本病院出版会	2023.05
297	9784883787319	検査値の読み方・考え方			第3版		総合医学社	2021.06
298	9784498013827	DX時代の携帯エコー活用術				渡橋和政	中外医学社	2022.10
299	9784498013841	リアル画像で学ぶどこでもPOCUS携帯エコー				渡橋和政	中外医学社	2023.07
300	9784498166509	集中治療超音波画像診断テキスト					中外医学社	2023.03
301	9784524233199	今日の臨床検査	2023-2024				南江堂	2023.06
302	9784525210915	なるほどなっとく!臨床検査				浅野嘉延	南山堂	2021.11
303	9784525222611	型で覚える型で学ぶプライマリ・ケア医のための超音波POCUS					南山堂	2023.05
304	9784525211011	臨床検査を使いこなす					日本医師会	2021.07
305	9784784963928	POCUS症例集					日本医事新報社	2022.11
306	9784784963669	プライマリ・ケアに役立つRCPC				山田俊幸/小谷和彦	日本医事新報社	2022.10
307	9784784949670	レジデントのためのこれだけ検査値					日本医事新報社	2021.10
308	9784784924110	画像診断道場	胸部編			金井信恭	日本医事新報社	2023.01
309	9784784924172	画像診断道場	腹部編			西野徳之	日本医事新報社	2023.02

310	9784784924004	救急画像診断のロジック				長谷智也	日本医事新報社	2023.07
311	9784758116961	まず当ててみようPOCUS					羊土社	2023.04
312	9784758111942	画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン	3	何ひとつ見逃さないための読影のポイント!		扇和之/堀田昌利	羊土社	2023.01
313	9784758118958	検査値ドリル					羊土社	2021.03
314	9784908083686	レジデントのための心臓聴診法			第2版	伊賀幹二	シービーアール	2021.08
315	9784758319706	PCIで使い倒すIVUS徹底活用術			改訂第2版		メジカルビュー社	2020.11
316	9784758319768	今さら聞けない心臓カテーテル			第3版		メジカルビュー社	2021.10
317	9784758314497	心エコー図検査に役立つヒト心臓形態のすべて					メジカルビュー社	2022.02
318	9784758322010	心臓カテーテル介助スダンダードマニュアル					メジカルビュー社	2022.11
319	9784758319775	新今さら聞けない心エコー図			New Edition		メジカルビュー社	2022.04
320	9784260045841	心エコー読影ドリル					医学書院	2021.04
321	9784771905818	今日から始めよう!運動負荷試験				上嶋健治	克誠堂出版	2023.06
322	9784498137165	若手心エコーフェローが教える心エコーのみかた					中外医学社	2023.08
323	9784498137042	心エコーがうまくなりたければ心エコーレポートを書きなさい				福田大和	中外医学社	2021.02
324	9784524226917	心音ふしぎ探検				坂本二哉	南江堂	2021.06
325	9784784949434	レジデントのための心エコー教室					日本医事新報社	2021.02
326	9784830637667	典型画像を見て学ぶ心エコー図鑑					文光堂	2022.05
327	9784758107624	やさしくわかる心エコーの当て方・見かた				野間充	羊土社	2021.03
328	9784758113007	確実に身につく心臓カテーテル検査の基本とコツ			第3版		羊土社	2023.04
329	9784780914894	心電図ナースポケットブックmini				雀地洋平	Gakken	2022.11
330	9784758319782	今さら聞けない心電図			改訂第2版		メジカルビュー社	2022.03
331	9784421009750	プレホスピタル12誘導心電図読影講座				一色高明	メハーゲングループ	2023.05
332	9784426615406	モニター心電図がよくわかる本					ユーキャン学び出版	2023.10
333	9784260042932	もしも心電図で循環器を語るなら			第2版	香坂俊	医学書院	2021.06
334	9784260050128	心電図判読ドリル					医学書院	2022.09
335	9784260041584	不整脈心電図の読解トレーニング				George J.Klein	医学書院	2020.11
336	9784906394555	臨床心電図講義				岩井邦充	金沢医科大学出版局	2021.03
337	9784798064970	看護の現場ですぐに役立つ12誘導心電図のキホン				高橋健太郎	秀和システム	2022.07
338	9784796525817	とにかく使えるモニター心電図			第2版	徳野慎一	照林社	2023.02
339	9784796525343	心電図に関するナースのギモン				安達仁/村田誠	照林社	2021.06
340	9784796525848	読んで動ける心電図				冨田晴樹	照林社	2023.04

341	9784883787708	心電図ドリル			2色版	土居忠文/宮尾恵示	総合医学社	2022.11
342	9784498137141	さくさく読める心電図速読レッスン				上嶋健治	中外医学社	2023.01
343	9784498137127	そのPVCはどこから?				小竹康仁	中外医学社	2022.09
344	9784498137066	心電図の読み“型”教えます!	Season3			杉山裕章	中外医学社	2021.04
345	9784524226443	かげさんのイラストで学ぶ心電図と不整脈めも				かげ	南江堂	2021.02
346	9784524229710	ほぼ初めての心電図				村川裕二	南江堂	2021.07
347	9784524226023	恋する心電図教室				櫻本秀明	南江堂	2022.04
348	9784525505714	看護がわかルー心電図				白石拓人	南山堂	2022.11
349	9784784962822	すき間ドリル!あなたを鍛える心電図				杉山裕章	日本医事新報社	2021.05
350	9784990917814	実力心電図			改訂版		日本不整脈心電学会	2022.04
351	9784758107655	心電図の読み方やさしくやさしく教えます				小菅雅美	羊土社	2022.03
352	9784758107679	読み方だけは確実に身につく心電図				米山喜平	羊土社	2022.12
353	9784840475860	大動脈、腹部・下肢動脈エコーの攻略法				山本哲也	メディカ出版	2021.10
354	9784830637650	ひと目でわかる!血管エコー診断アトラス100					文光堂	2022.05
355	9784830637629	症候別に学ぶ血管エコーのアプローチ法					文光堂	2021.02
356	9784758118866	エキスパートの手元がみえる!血管エコー				八鍬恒芳/藤崎純	羊土社	2021.01
357	9784758318136	初めて握る人のための気管支鏡入門マニュアル			改訂第2版		メジカルビュー社	2021.03
358	9784260046909	末梢病変を捉える気管支鏡“枝読み”術			第2版	栗本典昭/森田克彦	医学書院	2021.08
359	9784498130586	こういうことだったのか!!肺エコー				恒石鉄兵/小尾口邦彦	中外医学社	2022.11
360	9784779223877	呼吸機能検査ハンドブック					日本呼吸器学会	2021.07
361	9784274226793	腹部超音波ポケットマニュアル			改訂2版		オーム社	2021.02
362	9784787825285	腹部エコーテクニックとその理論				金田智	ヌンク	2021.10
363	9784867190548	胆膵EUS教本			改訂第2版		へるす出版	2022.09
364	9784840479035	カテゴリーが劇的にわかる腹部超音波スクリーニング			改訂版	平井都始子/小川眞広	メディカ出版	2022.10
365	9784840475778	超音波検査にいかせる!腹部画像の読み方				平井都始子/山内哲司	メディカ出版	2021.09
366	9784260041560	下部消化管内視鏡診断アトラス					医学書院	2020.10
367	9784260041553	上部消化管内視鏡診断アトラス					医学書院	2020.10
368	9784260046503	百症例式					医学書院	2021.10
369	9784765319324	実践上、ここがポイント!人間ドックの上部消化管内視鏡検査					金芳堂	2023.02
370	9784765319140	全部のせ!LCI経鼻内視鏡よくばり完全マスターガイド				結城美佳/川田研郎	金芳堂	2022.09
371	9784787824295	見逃さない!LCI内視鏡診断アトラス				大澤博之	診断と治療社	2020.11

372	9784883784578	腹部超音波検査ドリル				土居忠文/上田彩未	総合医学社	2022.09
373	9784524241682	INTERVENTIONAL EUS					南江堂	2021.11
374	9784524249954	内視鏡スクリーニングPractice & Atlas				豊島治	南江堂	2021.03
375	9784525222710	エコーは心眼				藪中幸一	南山堂	2022.09
376	9784888753227	消化器内視鏡検査・周術期管理の標準化ハンドブック					日本メディカルセンター	2022.06
377	9784830637612	エコーは推理だ!				畠二郎	文光堂	2020.11
378	9784830621154	リスク層別化に基づく上部消化管内視鏡スクリーニング					文光堂	2022.10
379	9784758111959	3DCTで解剖から学ぶ腹部エコーの基本とコツ					羊土社	2023.05
380	9784758110730	Dr.平澤の上部消化管内視鏡診断セミナー	上巻			平澤俊明	羊土社	2022.11
381	9784758110754	Dr.平澤の上部消化管内視鏡診断セミナー	下巻			平澤俊明	羊土社	2022.11
382	9784758116541	できる!使いたくなる!腹部エコー					羊土社	2020.12
383	9784260050586	脳波で診る救命救急				Suzette M.LaRoche/Hiba Arif Haider	医学書院	2023.03
384	9784765319256	イラストレイテッド脳波1・2・3				飛松省三	金芳堂	2022.11
385	9784787824615	脳波判読オープンキャンパス				音成秀一郎/池田昭夫	診断と治療社	2021.03
386	9784525225421	ここに目をつける!脳波判読ナビ			改訂2版	飛松省三	南山堂	2021.04
387	9784781315751	非侵襲的検体検査の最前線			普及版		シーエムシー出版	2021.09
388	9784263226919	スタンダード検査血液学			第4版		医歯薬出版	2021.05
389	9784263223819	血液検査学			第2版	奈良信雄	医歯薬出版	2021.03
390	9784263223864	臨床化学検査学			第2版		医歯薬出版	2022.01
391	9784765318983	血算・凝固に強くなる実践レクチャー				萩原將太郎	金芳堂	2022.04
392	9784899852193	臨床血液学実習書				山下勉	神戸学院大学出版会	2022.03
393	9784883784622	3ステップでマスターする血算ドリル				樋口敬和	総合医学社	2023.07
394	9784498166400	POCTハンター				増井伸高	中外医学社	2022.06
395	9784498225282	時間軸で捉える血算				岡田定	中外医学社	2021.02
396	9784815730857	微生物プラチナアトラス			第2版	岡秀昭/佐々木雅一	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023.09
397	9784263731994	細胞診鑑別アトラス					医歯薬出版	2021.06
398	9784866933443	症例から学ぶ細胞診				餌取文昌	三恵社	2021.07
399	9784872597554	実践細胞診テキスト			改訂版	南雲サチ子	大阪大学出版会	2022.03
400	9784830604829	細胞診アトラス					文光堂	2021.04
401	9784899964445	根拠がわかる注射のための解剖学				佐藤達夫	インターメディカ	2021.07
402	9784621307915	輸血・移植検査技術教本			第2版		丸善出版	2023.01

403	9784840473385	救急の検査値これだけBOOK					メディカ出版	2021.05
404	9784840472609	救急検査ケースファイル				舩越拓	メディカ出版	2021.03
405	9784784966837	救急外来での検査値の読み方				薬師寺泰匡	日本医事新報社	2022.12
406	9784907095703	胃X線検診上部消化管検査必携テキスト					ぱーそん書房	2022.03
407	9784263223949	放射性同位元素検査技術学			第2版		医歯薬出版	2023.02
408	9784865770445	先進医療NAVIGATOR再生医療・細胞医療研究の新展開					日本医学出版	2021.03
409	9784839216658	看護学生のための臨床検査ドリル				林陸郎	メヂカルフレンド社	2020.12
410	9784426614751	検査値＆数式バイブル					ユーキャン学び出版	2023.02
411	9784780914375	検査値ナースポケットブックmini					学研メディカル秀潤社	2022.01
412	9784780914177	説明できる検体検査・生体検査					学研メディカル秀潤社	2021.06
413	9784796525206	検査ポイントブック					照林社	2021.02
414	9784415332635	パッと引けてしっかり使える検査値の読み方ポケット事典			第5版		成美堂出版	2023.05
415	9784883786800	看護に活かす検査値の読み方・考え方			第3版　ハンディ版		総合医学社	2021.07
416	9784883787326	看護に活かす検査値の読み方・考え方			第3版		総合医学社	2021.07
417	9784805887745	看護のための検査値の見かたポケットガイド					中央法規出版	2022.12
418	9784525504915	デキる看護師の検査値note					南山堂	2022.08
419	9784534059697	検査のしくみ・検査値の読み方			最新版	西崎泰弘	日本実業出版社	2022.12
420	9784840478243	こわくない・泣かさない赤ちゃんの検査ずかん				飯高絵里子	メディカ出版	2022.02
421	9784524228041	ビジュアル臨床血液形態学			改訂第4版	勝田逸郎	南江堂	2021.01
422	9784787825124	高齢者診療のための臨床検査ガイド					診断と治療社	2022.05
423	9784498125636	骨髄疾患診断アトラス			第2版	宮内潤/泉二登志子	中外医学社	2020.11
424	9784830604911	リンパ組織					文光堂	2023.04
425	9784830604935	骨髄組織病理学				伊藤雅文/中村直哉	文光堂	2023.07
426	9784307071291	胸部腫瘍画像・病理アトラス				立石宇貴秀	金原出版	2023.04
427	9784830604867	肺					文光堂	2022.04
428	9784830622601	縦隔腫瘍・胸膜腫瘍			第2版		文光堂	2022.04
429	9784765318495	臨床に役立つ消化器病理ギュッと1冊!まるごとBOOK				福嶋敬宜/池田恵理子	金芳堂	2021.01
430	9784758110785	臨床医が知っておきたい消化器病理の見かたのコツ			改訂版		羊土社	2023.04
431	9784307204613	臨床・病理食道癌取扱い規約			第12版		金原出版	2022.09
432	9784307204699	大腸がん診療における遺伝子関連検査等のガイダンス			第5版		金原出版	2023.03
433	9784307204262	臨床・病理胆道癌取扱い規約			第7版		金原出版	2021.03

434	9784830604904	内分泌臓器					文光堂	2023.04
435	9784816369858	イラストでわかる骨・筋肉・神経のしくみ事典				田中利和	ナツメ社	2021.03
436	9784784957934	リウマチ・運動器診療のための関節エコーPerfect Image			2版	岡野匡志	日本医事新報社	2023.09
437	9784784950669	臨床のための筋病理			第5版	埜中征哉/西野一三	日本医事新報社	2021.07
438	9784480843296	記憶は実在するか				ヴェロニカ・オキーン	筑摩書房	2023.08
439	9784260052528	神経病理インデックス			第2版	新井信隆	医学書院	2023.07
440	9784498328945	症例から学ぶ神経病理				小柳清光/池田修一	中外医学社	2023.05
441	9784498128750	カラーアトラス末梢神経の病理			第2版	岡伸幸	中外医学社	2021.04
442	9784910440026	感染症診断に役立つグラム染色			第3版	永田邦昭	シーニュ	2022.04
443	9784840755054	グラトレ				浦上宗治	じほう	2023.03
444	9784866515663	ウイルスVSヒト				ジョン・S.トレゴニング	文響社	2022.10
445	9784758123747	グラム染色診療ドリル				林俊誠	羊土社	2021.07
446	9784260049627	人体vsウイルス				NHKスペシャル「人体」取材班/坂元志歩	医学書院	2022.09
447	9784000297219	インフルエンザウイルスを発見した日本人				山内一也	岩波書店	2023.08
448	9784758123815	浅井塾直伝!できる小児腹部エコー					羊土社	2021.11
449	9784525289218	小児感染症の微生物検査の進め方					南山堂	2023.04
450	9784840479561	新生児の検査A to Z				河井昌彦	メディカ出版	2023.09
451	9784815730529	がんゲノムデータ解析					メディカル・サイエンス・インターナショナル	2022.08
452	9784815730727	がんゲノム医療やさしい系統講義					メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023.04
453	9784307102148	成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン			第3版		金原出版	2022.02
454	9784498008540	いそがしい医療従事者のための遺伝子バリアント評価法				藤田史郎/真砂勝泰	中外医学社	2022.08
455	9784055200455	皮膚病理用語辞典ベストアトラス				山元修	Gakken	2023.09
456	9784780904185	みき先生の皮膚病理診断ABC	1	表皮系病変	改訂第2版	泉美貴	学研メディカル秀潤社	2021.05
457	9784765319447	皮膚上皮系腫瘍 表皮角化細胞性腫瘍				真鍋俊明	金芳堂	2023.02
458	9784830634727	皮膚病理のすべて	2	炎症性皮膚疾患			文光堂	2020.10
459	9784830634734	皮膚病理のすべて	3	腫瘍性皮膚疾患			文光堂	2020.10
460	9784883787203	泌尿器病理診断アトラス				賀本敏行/都築豊徳	総合医学社	2021.09
461	9784498224605	臨床医のための腎病理読解ロジック	2	各論編		上野智敏	中外医学社	2021.03
462	9784498224865	臨床医のための腎病理読解ロジック	3	各論編		上野智敏	中外医学社	2023.06
463	9784779226571	泌尿器科・病理・放射線科前立腺癌取扱い規約			第5版		メディカルレビュー社	2022.05
464	9784830604836	精巣腫瘍病理アトラス					文光堂	2021.06

465	9784260049795	ヨコハマシステム準拠子宮内膜細胞診アトラス			第2版		医学書院	2022.06
466	9784758318174	治療戦略に役立つ臨床医・病理医のための乳腺病理の見かた・考え方					メジカルビュー社	2022.11
467	9784307050548	乳癌・胃癌HER2病理診断ガイドライン			第2版		金原出版	2021.04
468	9784521750019	乳腺病理パーフェクトアトラス				黒住昌史	中山書店	2023.06
469	9784830637636	ケースで考える乳腺画像診断戦略				戸崎光宏	文光堂	2021.11
470	9784833022873	乳がん病理標本写真集				岡田收司	北國新聞社出版局	2023.09
471	9784830604843	胎盤病理アトラス					文光堂	2021.10
472	9784758316408	新OCT・OCTA便利手帖					メジカルビュー社	2021.02
473	9784840480543	眼底写真撮影、OCT・OCTA検査のすべて				藤掛福美	メディカ出版	2023.04
474	9784260049054	OCTアトラス			第2版		医学書院	2022.08
475	9784895907750	マルチモーダルイメージングでとらえる広角眼底アトラス				大野京子/吉田武史	三輪書店	2023.04
476	9784784960200	眼底図譜			第7版	湯澤美都子/川村昭之	日本医事新報社	2021.04
477	9784761408190	聴覚情報処理検査〈APT〉マニュアル				小渕千絵	学苑社	2021.01
478	9784263223901	公衆衛生学	2023年版			照屋浩司/川村堅	医歯薬出版	2023.01
479	9784263223925	関係法規	2023年版				医歯薬出版	2023.03
480	9784263223932	チーム医療論/多職種連携・栄養学・薬理学・認知症					医歯薬出版	2023.03
481	9784263223918	医療安全管理学			第2版		医歯薬出版	2023.03
482	9784837929598	脳をフリーズさせない8つの方法				築山節	三笠書房	2023.10
483	9784791631025	知識ゼロでも楽しく読める!たんぱく質のしくみ					西東社	2021.10
484	9784260042727	CRCテキストブック			第4版		医学書院	2021.03
485	9784130634083	パラリンピックブレイン				中澤公孝	東京大学出版会	2021.02
486	9784905168706	1から学ぶスポーツ生理学			第3版	中里浩一	ナップ	2022.03
487	9784315523966	最強に面白い!!筋肉					ニュートンプレス	2021.07
488	9784782708026	運動生理学			第2版	小山勝弘	三共出版	2021.04
489	9784263226841	スタンダード細胞診テキスト			4版	水口, 國雄(1945-) / 東京都保健医療公社多摩がん検診センター	医歯薬出版	
490	9784815808952	細胞診断学入門 : 臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために			3版	越川, 卓 / 横井, 豊治 / 社本, 幹博	名古屋大学出版会	
491	9784263221587	必携細胞診カラー図鑑				水口, 國雄(1945-) / 石山, 功二	医歯薬出版	
492	9784260041966	細胞診セルフアセスメント			2版	坂本, 穆彦 / 都竹, 正文	医学書院	
493	9784263226902	染色法のすべて					医歯薬出版	
494	9784874021514	細胞診カラーアトラスサイトズーム : 設問式				千葉県細胞検査士会	松浪硝子工業/近代出版（制作発売）	
495	9784830604720	体腔液細胞診カラーアトラス : 診断へのアプローチ				北村, 隆司 / 松原, 美幸 / 磯崎, 岳夫 / 土屋, 眞一(1949-)	文光堂	

496	9784260009416	アトラス細胞診と病理診断				亀井, 敏昭 / 谷山, 清己	医学書院	
497	9784874022412	細胞診のすすめ方 : 基礎から学ぶ				西, 国広	松浪硝子工業/近代出版(制作発売)	
498	9784260037990	細胞診を学ぶ人のために			6版	坂本, 穆彦	医学書院	
499	9784884123901	液状化検体細胞診断マニュアル				畠, 榮 / 則松, 良明 / 亀井, 敏昭 / 金城, 満 / 佐々木, 寛	篠原出版新社	
500	9784263226834	細胞検査士細胞像試験問題集			2版	日本臨床細胞学会	医歯薬出版	

図書リスト・和書（電子）

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
1	9784501325107	9784501907709	表面筋電図（バイオメカニズム・ライブラリー）	バイオメカニズム学会	東京電機大学出版局	2006
2	9784501306304	9784501925307	心臓の電気現象 —心電図波形の成り立ち—	堀川, 宗之	東京電機大学出版局	1982
3	9784784941865		3D anatomy 新装版 —腹部エコー・CTを立体的に読む— 第2版	加藤, 高明	日本医事新報社	2003
4	9784274068225		遺伝統計学の基礎 —RIによる遺伝因子解析・遺伝子機能解析—	山田, 亮	オーム社	2010
5	9784784942831		捨てる心電図拾う心電図	村川, 裕二	日本医事新報社	2010
6	9784274208959		バイオメカニクス —機械工学と生物・医学の融合—	立石, 哲也	オーム社	2010
7	9784879623416		拡散MRI —ブラウン運動,拡散テンソルからq空間へ—	荒木, 力	学研メディカル秀潤社	2006
8	9784916166241		医科プロバイオティクス学	編集:古賀　泰裕(東海大感染症教授)	シナジー	2009
9	9784916166340		臨床粘膜免疫学	編集:清野宏	シナジー	2010
10	9784916166357		脳神経検査のグノーティ・セアウトン —この検査では,ここが見えない—(Part1)	小川　彰	シナジー	2010
11	9784916166364		脳神経検査のグノーティ・セアウトン —この検査では,ここが見えない—(Part2)	小川　彰	シナジー	2010
12	9784916166234		循環器検査のグノーティ・セアウトン —過信せず侮らず,謙虚で緻密な検査とは—	山科, 章	シナジー	2009
13	9784621086421		伊東毒性病理学	高橋, 道人	丸善出版	2013
14	9784784932054		骨学実習アトラス —写真と解説—	高井　省三	日本医事新報社	2010
15	9784784932009		解剖実習マニュアル —剖出の手順と観察のポイントを完全図解—	長戸　康和	日本医事新報社	2009
16	9784784942138		腹部画像の読み方がわかる本 第2版	加藤　高明	日本医事新報社	2009
17	9784860033705		C言語による画像再構成の基礎（画像再構成シリーズ）	橋本, 雄幸	医療科学社	2006
18	9784860033729		MRI画像再構成の基礎（画像再構成シリーズ）	篠原, 広行	医療科学社	2007
19	9784860033736		Excelによる画像再構成入門（画像再構成シリーズ）	篠原, 広行	医療科学社	2007
20	9784860034306		MRIとフーリエ変換	篠原, 広行	医療科学社	2012
21	9784860034399		逐次近似画像再構成の基礎（画像再構成シリーズ）	篠原, 広行	医療科学社	2013
22	9784765314275		手 —その機能と解剖— 改訂5版	上羽, 康夫	金芳堂	2010

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
23	9784274209864	9784274830938	遺伝子力 —ヒトを支える50の遺伝子—	システム薬学研究機構	オーム社	2011
24	9784839209131	9784839293840	心電図読み方ガイド	群馬県立心臓血管センター看護部	メヂカルフレンド社	2005
25	9784879622297		クイズMRI —Q&Aで学ぶMRIの最新知識—	荒木, 力	学研メディカル秀潤社	2000
26	9784879622211		はじめてのMRI 新版(画像診断別冊 . Key bookシリーズ)	荒木, 力	学研メディカル秀潤社	2000
27	9784895903523		在宅医療チームスタッフのための必携薬剤手帳!	松村, 真司	三輪書店	2010
28	9784860033880		最新腹部超音波検査の実践 —基礎から造影検査まで—(診療画像検査法)	金森, 勇雄	医療科学社	2008
29	9784900770904		MR検査の実践 全訂(診療画像検査法)	金森, 勇雄	医療科学社	2000
30	9784784941810		時間治療学 —投薬のタイミングと効果— 第2版	藤村, 昭夫	日本医事新報社	2014
31	9784883788729		診断に直結する検査値の読み方事典	池田, 均	総合医学社	2014
32	9784860034498		C言語による画像再構成入門 —フーリエ変換の基礎と応用—(画像再構成シリーズ)	篠原, 広行	医療科学社	2014
33			C言語による画像再構成入門 —トモシンセシスから3次元ラドン逆変換まで—(画像再構成シリーズ)	篠原, 広行	医療科学社	2014
34	9784897063362		必ず撮れる!心エコー —カラー写真とシェーマでみえる走査・描出・評価のポイント—(ビジュアル基本手技 7)	鈴木, 真事	羊土社	2008
35	9784897063355		写真とシェーマでみえる!腹部エコー —適切な診断のための走査と描出のコツ—(ビジュアル基本手技 6)	住野, 泰清	羊土社	2007
36	9784758106832		薬剤ごとの違いがわかるステロイドの使い分け —豊富な薬剤情報と症例 : steroid—	山本, 一彦	羊土社	2010
37	9784758106870		NSAIDsの選び方・使い方ハンドブック	佐野, 統	羊土社	2010
38	9784758120128		絵ときシグナル伝達入門 改訂版	服部, 成介	羊土社	2010
39	9784883788057		P波が判れば心電図は読める!	新, 博次	総合医学社	2010
40	9784274050091		マンガでわかる免疫学	河本, 宏	オーム社	2014
41	9784759813517	9784759827408	「左脳・右脳神話」の誤解を解く (DOJIN選書 51)	八田, 武志	化学同人	2013
42	9784759816624	9784759827491	つくられる偽りの記憶 —あなたの思い出は本物か?—(DOJIN選書 62)	越智, 啓太	化学同人	2014
43	9784759816631	9784759827507	情報を生み出す触覚の知性 —情報社会をいきるための感覚のリテラシー—(DOJIN選書 63)	渡邊, 淳司	化学同人	2014
44	9784326199457	9784326990986	ヒトは病気とともに進化した (シリーズ認知と文化 9)	太田, 博樹	勁草書房	2013

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
45	9784780908510		この画像を見たらほぼ決まり! —パターン認識からのアプローチ—(画像診断 Vol. 32, No. 4 臨時増刊号)	青木, 茂樹	学研メディカル秀潤社	2012
46	9784780909418		軟部腫瘤の画像診断 —よくみる疾患から稀な疾患まで—(画像診断 vol. 36, no. 11(増刊号))	福田, 国彦	学研メディカル秀潤社	2016
47	9784780904550		画像でみかける偶発的所見のマネジメント —あなたならどう書く?—(画像診断 Vol.42, No.11 増刊号)	陣崎雅弘	学研メディカル秀潤社	2022
48	9784840450058	9784840454018	画像を読み解け血管エコー典型画像集 —CT・MRI・血管造影にも強くなる! : WEB動画—(Vascular lab 別冊)	濱口, 浩敏	メディカ出版	2014
49	9784840429207	9784840454056	血管エコー達人養成講座 —動画で学ぶ本当は教えたくない検査テクニック—	久保田, 義則	メディカ出版	2009
50	9784521734828	9784521741468	実践ですぐに役立つ指標・検査値ガイド	道又　元裕	中山書店	2012
51	9784521737621	9784521741574	わかりやすい人体の構造と機能	塩田, 浩平	中山書店	2013
52	9784521737003	9784521741666	ゴロから覚える筋肉&神経	高橋, 仁美	中山書店	2013
53	9784895894272		そうなんだ!遺伝子検査と病気の疑問 —モヤモヤを解決する33—	櫻井, 晃洋	メディカルトリビューン	2013
54	9784771903739		筋弛緩薬 (For professional anesthesiologists)	岩崎, 寛	克誠堂出版	2010
55	9784785352240	9784785377076	医薬系のための生物学	丸山, 敬	裳華房	2013
56	9784785358501	9784785377168	脳 —分子・遺伝子・生理—(新・生命科学シリーズ)	石浦, 章一	裳華房	2011
57	9784758101912		次世代シークエンス解析スタンダード —NGSのポテンシャルを活かしきるWET&DRY—(実験医学 別冊)	二階堂, 愛	羊土社	2014
58	9784758120487		驚異のエピジェネティクス —遺伝子がすべてではない!?生命のプログラムの秘密 = Amazing epigenetics : genes are not all!? a mystery of program of life—	中尾, 光善	羊土社	2014
59	9784806714811		脳と人体探求	笹山, 雄一	築地書館	2014
60	9784621089439		幹細胞と再生医療 (サイエンス・パレット 026)	中辻, 憲夫	丸善出版	2015
61	9784339067484	9784339267488	ナノイムノセラピー —免疫を制御するナノメディシン—(※)	花方, 信孝	コロナ社	2015
62	9784758120579		あなたと私はどうして違う?体質と遺伝子のサイエンス —99.9%同じ設計図(ゲノム)から個性や病気が生じる秘密—	中尾, 光善	羊土社	2015
63	9784062577304		たんぱく質入門 —どう作られ、どうはたらくのか—(ブルーバックス B-1730)(※)	武村, 政春	講談社	2011
64	9784061398412		臨床免疫学 新版, 第3版 (※)	山田, 俊幸	講談社	2014
65	9784062577007		人体再生に挑む —再生医療の最前線—(ブルーバックス B-1700)(※)	東島, 和子	講談社	2010
66	9784062576628		老化はなぜ進むのか —遺伝子レベルで解明された巧妙なメカニズム—(ブルーバックス B1662)(※)	近藤, 祥司	講談社	2009

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
67	9784062577717		呼吸の極意 —心身を整える絶妙なしくみ—（ブルーバックス B-1771）（※）	永田, 晟	講談社	2012
68	9784061541573		好きになる生化学 —生体内で進み続ける化学反応—（好きになるシリーズ）（※）	田中, 越郎	講談社	2012
69	9784061541719		好きになる病理学ミニノート —楽しく覚えて、らくらく実力アップ!—（好きになるシリーズ）（※）	早川, 欽哉	講談社	2011
70	9784062577892		食欲の科学 —食べるだけでは満たされない絶妙で皮肉なしくみ—（ブルーバックス B-1789）（※）	櫻井, 武	講談社	2012
71	9784274068713	9784274800498	マンガでわかる基礎生理学	こやま, けいこ	オーム社	2011
72	9784860034795		圧縮センシングMRIの基礎（画像再構成シリーズ）	篠原, 広行	医療科学社	2016
73	9784883786282		アセスメントに役立つ!検査値ガイド	高木, 康	総合医学社	2016
74	9784906514762		補体学入門 —基礎から臨床・測定法まで—	北村, 肇	学際企画	2010
75	9784906514878		液状化細胞診(Cell prep[R])婦人科子宮頸部細胞診アトラス	冨田, 裕彦	学際企画	2015
76	9784758109338		薬剤師のための薬物療法に活かす検査値の読み方教えます! —検査値から病態を読み解き、実践で活かすためのアプローチ—	野口, 善令	羊土社	2016
77	9784758110624		画像強調内視鏡の診断ロジック —見えないものが観えてくる!—	斎藤, 豊	羊土社	2016
78	9784765317078		実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木, 明徳	金芳堂	2016
79	9784621301029		脳はいかにして数学を生みだすのか	武田, 暁	丸善出版	2016
80	9784840453103		Dr.石橋のミラクルキャッチ☆心電図 —「うさぎメソッド」でらくらく理解!—	石橋, 克彦	メディカ出版	2015
81	9784339078114	9784339278118	はじめての老化学・病理学 —人間科学のためのライフサイエンス入門—（※）	千葉, 卓哉	コロナ社	2016
82	9784758120258		臨床につながる解剖学イラストレイテッド	松村, 譲児	羊土社	2011
83	9784784966653		あなたも名医!腹部エコーの"みかた" —"見かた"と"診かた"のコツを伝授—（jmedmook 65）（※）	小川, 眞広	日本医事新報社	2019
84	9784871634489		心電図・心エコーコンパクトナビ —医学生・研修医必携—	一色, 高明	医学教育出版社	2010
85	9784871634625		画像解剖コンパクトナビ —医学生・研修医必携—	百島, 祐貴	医学教育出版社	2013
86	9784521736747	9784521734842	脳腫瘍（癌診療指針のための病理診断プラクティス）	青笹, 克之	中山書店	2012
87	9784521736754		癌診療指針のための病理診断プラクティス 骨・軟部腫瘍	青笹　克之	中山書店	2013
88	9784521736761		癌診療指針のための病理診断プラクティス 肝・胆・膵腫瘍	青笹　克之	中山書店	2014

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
89	9784883788385		ナースのための検査値ガイド —すぐにわかる!検査とケアのポイント—	中原, 一彦	総合医学社	2012
90	9784758120623		診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学	渡邉, 淳	羊土社	2017
91	9784871634700		解剖生理学step by step —intro workで知識が定着!—	坂井, 建雄	医学教育出版社	2016
92	9784758120807		免疫ペディア —101のイラストで免疫学・臨床免疫学に強くなる!—	熊ノ郷, 淳	羊土社	2017
93	9784758120821		脳神経ペディア —「解剖」と「機能」が見える・つながる事典 : カラー図解—	渡辺, 雅彦	羊土社	2017
94	9784621086148		プラクティカル解剖実習脳	千田, 隆夫	丸善出版	2012
95	9784840461382		心血管エコー用語・略語・数値スーパーリファレンス（US Lab）	西上　和宏	メディカ出版	2017
96	9784840461603		腹部超音波検査のあっ!?あれ何だっけ? —走査のポイントと測定・評価のコツ—（US Lab）	小川　眞広	メディカ出版	2017
97	9784781303406		体内時計の科学と産業応用（バイオテクノロジーシリーズ）	柴田, 重信	シーエムシー出版	2011
98	9784871634656		読んでわかる解剖生理学 —テキスト—	竹内, 修二	医学教育出版社	2014
99	9784871634663		解いてわかる解剖生理学 —問題集—	竹内, 修二	医学教育出版社	2014
100	9784871634632		生理学トレーニングノート	生理学TN編集委員会	医学教育出版社	2013
101	9784883786541		エキスパートの臨床知による検査値ハンドブック 第2版	中原, 一彦	総合医学社	2017
102	9784498140349		腹部エコー診断111ステップ	若杉, 聡	中外医学社	2014
103	9784498013742		膀胱（Pocket echo life support教育シリーズ . みるミルできるポケットエコー 1）	ヘルスケア人材育成協会	中外医学社	2016
104	9784944157648		脳内環境辞典	高橋, 良輔	メディカルドゥ	2017
105	9784883786565		しくみからマスターするDr.フルカワの心電図の読み方	古川, 哲史	総合医学社	2017
106	9784758109369		ライフステージや疾患背景から学ぶ臨床薬理学 —テーラーメイド薬物治療の基本知識と処方の実際—	大井, 一弥	羊土社	2017
107	9784840437011		やりなおしの検査値・パニック値対応 —疾患・場面別見逃してはいけない検査値はコレだ!—（Smart nurse Books 06）	前川, 芳明	メディカ出版	2011
108	9784254690460		運動生理学20講 第3版	勝田, 茂	朝倉書店	2015
109	9784765317399		解剖学 第11版（Minor textbook）	清木, 勘治	金芳堂	2018
110	9784326299263	9784326995868	利き脳論	坂野, 登	勁草書房	2017

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
111	9784784947225		消化管EUSパーフェクトガイド	藤城, 光弘	日本医事新報社	2017
112	9784784930692		臨床医のための免疫キーワード110 4版	矢田, 純一	日本医事新報社	2017
113	9784320057944	9784320993792	自己と他者を認識する脳のサーキット（ブレインサイエンス・レクチャー 4）	浅場, 明莉	共立出版	2017
114	9784840465007		再チャレ!心電図 —今さら聞けない先輩ナースも今度こそわかる：心電図の基礎と管理が超図解だから新人でもぐんぐんわかる—	田中, 喜美夫	メディカ出版	2018
115	9784784947300		レジデントのためのこれだけ心電図（※）	佐藤, 弘明	日本医事新報社	2018
116	9784784962372		緑内障を見逃さない —眼底・OCTの見かた—	富田, 剛司	日本医事新報社	2018
117	9784525258917		ジョーシキ!腎生検電顕ATLAS —城式common sense —（※）	城, 謙輔	南山堂	2016
118	9784525727314		もっとわかる薬物速度論 —添付文書の薬物動態パラメータを読み解く—（※）	加藤, 基浩	南山堂	2010
119	9784326299294	9784326996391	「次の一手」はどう決まるか —棋士の直観と脳科学—	中谷, 裕教	勁草書房	2018
120	9784840465243		波形の異常から考える —"どこに注目したらいいの?"迷子のための道案内—（12誘導心電図よみ方マスター基礎編）	栗田, 隆志	メディカ出版	2018
121	9784840465250		厳選50問に繰り返しチャレンジ! —"どこを見る?どう考える?"解説つき—（12誘導心電図よみ方マスタートレーニング編）	栗田, 隆志	メディカ出版	2018
122	9784758111874		画像診断に絶対強くなるツボをおさえる! —診断力に差がつくとっておきの知識を集めました—	扇, 和之	羊土社	2018
123	9784621302743		ベッドサイドの薬理学	笹栗, 俊之	丸善出版	2018
124	9784788515055		夢	北浜, 邦夫	新曜社	2016
125	9784320009301	9784320986220	神経美学 —美と芸術の脳科学—（共立スマートセレクション = Kyoritsu smart selection 30）	石津, 智大	共立出版	2019
126	9784062577182		小事典からだの手帖 —薬よりよく効く101話—新装版【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1718）（※）	高橋, 長雄	講談社	2011
127	9784062577908		脳からみた認知症 —不安を取り除き、介護の負担を軽くする—【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1790）（※）	伊古田, 俊夫	講談社	2012
128	9784062578127		からだの中の外界腸のふしぎ —最大の免疫器官にして第二のゲノム格納庫—【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1812）（※）	上野川, 修一	講談社	2013
129	9784062578202		リンパの科学 —第二の体液循環系のふしぎ—【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1820）（※）	加藤, 征治	講談社	2013
130	9784062578844		驚異の小器官耳の科学 —聞こえる仕組みから、めまい、耳掃除まで—【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1884）（※）	杉浦, 彩子	講談社	2014
131	9784062578967		新しい免疫入門 —自然免疫から自然炎症まで—【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1896）（※）	審良, 静男	講談社	2014
132	9784062579537		自分では気づかない、ココロの盲点 —本当の自分を知る練習問題80—完全版【スマホ・読上】（ブルーバックス B-1953）（※）	池谷, 裕二	講談社	2016

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
133	9784065020074		痛覚のふしぎ —脳で感知する痛みのメカニズム—【スマホ・読上】(ブルーバックス B-2007)(※)	伊藤, 誠二	講談社	2017
134	9784065020258		アルツハイマー病は「脳の糖尿病」—2つの「国民病」を結ぶ驚きのメカニズム—【スマホ・読上】(ブルーバックス B-2025)(※)	鬼頭, 昭三	講談社	2017
135	9784065020265		睡眠の科学 —なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか—改訂新版【スマホ・読上】(ブルーバックス B-2026)(※)	桜井, 武	講談社	2017
136	9784065020296		生命を支えるATPエネルギー —メカニズムから医療への応用まで—【スマホ・読上】(ブルーバックス B-2029)(※)	二井, 将光	講談社	2017
137	9784065020548		もうひとつの脳 —ニューロンを支配する陰の主役「グリア細胞」—【スマホ・読上】(ブルーバックス B-2054)(※)	R・ダグラス・フィールズ	講談社	2018
138	9784525775018		医薬品副作用アセスメント(※)	宇野, 勝次	南山堂	2018
139	9784865135015		遺伝するがん・しないがん —がんと遺伝の疑問に答える— 【スマホ・読上付】	仲田, 洋美	法研	2018
140	9784944157532		臨床・創薬利用が見えてきたmicroRNA(遺伝子医学MOOK 23)	黒田, 雅彦	メディカルドゥ	2012
141	9784944157549		最新生理活性脂質研究 —実験手法, 基礎的知識とその応用—(遺伝子医学MOOK 24)	青木, 淳賢	メディカルドゥ	2013
142	9784944157556		エピジェネティクスと病気(遺伝子医学MOOK 25)	中尾, 光善	メディカルドゥ	2013
143	9784944157570		iPS細胞を用いた難病研究 —臨床病態解明と創薬に向けた研究の最新知見—(遺伝子医学MOOK 27)	中畑, 龍俊	メディカルドゥ	2015
144	9784944157587		ますます臨床利用が進む遺伝子検査 —その現状と今後の展開そして課題—(遺伝子医学MOOK 28)	野村, 文夫	メディカルドゥ	2015
145	9784944157600		今、着実に実り始めた遺伝子治療 —最新研究と今後の展開—(遺伝子医学MOOK 30)	金田, 安史	メディカルドゥ	2016
146	9784944157730		細胞死研究の今 —疾患との関わり, 創薬に向けてのアプローチ—(遺伝子医学MOOK 別冊)	辻本, 賀英	メディカルドゥ	2013
147	9784944157716		細胞の3次元組織化 —その最先端技術と材料技術 : 再生医療とその支援分野(細胞研究,創薬研究)への応用と発展のために—(遺伝子医学MOOK 別冊)	田畑, 泰彦	メディカルドゥ	2014
148	9784944157815		薬物の消化管吸収予測研究の最前線(遺伝子医学MOOK 別冊)	山下, 伸二	メディカルドゥ	2010
149	9784944157655		最新精神・神経遺伝医学研究と遺伝カウンセリング(遺伝子医学MOOK . 最新遺伝医学研究と遺伝カウンセリング ; シリーズ2 別冊)	戸田, 達史	メディカルドゥ	2017
150	9784944157266		最新多因子遺伝性疾患研究と遺伝カウンセリング(遺伝子医学MOOK別冊 . 最新遺伝医学研究と遺伝カウンセリング シリーズ3)	櫻井, 晃洋	メディカルドゥ	2018
151	9784871634946		解剖トレーニングノート 第7版	竹内, 修二	医学教育出版社	2018
152	9784498136465		臨床心臓CT学 —基礎と実践マネージメント—	小山, 靖史	中外医学社	2016
153	9784498008502		自動家系図作成ソフト「f-tree」で学ぶ臨床遺伝学 —遺伝診療からゲノムコホート研究まで—	徳富, 智明	中外医学社	2016
154	9784582856071	9784256971505	iPS細胞 —世紀の発見が医療を変える—増補【スマホ・読上】(平凡社新書 607)(※)	八代, 嘉美	平凡社	2011

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
155	9784840465731		なんでやねん!根拠がわかる解剖学・生理学要点50	川畑, 龍史	メディカ出版	2018
156	9784758120890		FLASH薬理学	丸山, 敬	羊土社	2018
157	9784862510945		安保徹の免疫学講義	安保, 徹	三和書籍	2010
158	9784765317658		免疫学の入門 第8版	今西, 二郎	金芳堂	2018
159	9784840465892		産科の臨床検査ディクショナリー —読める生かせる説明できる! :「産婦人科診療ガイドライン産科編2017」に対応!—	関沢, 明彦	メディカ出版	2018
160	9784622087359		生存する意識 —植物状態の患者と対話する—	エイドリアン・オーウェン	みすず書房	2018
161	9784784948055		なぜ効く?どう違う?を理解し処方するための治療薬の臨床薬理データブック（※）	渡邉, 裕司	日本医事新報社	2018
162	9784498032033		気管支鏡ベストテクニック 改訂2版	浅野, 文祐	中外医学社	2017
163	9784621303658		ドラッグキャリア設計入門 —DDSからナノマシンまで—（※）	片岡, 一則	丸善出版	2019
164	9784254102772		昆虫の脳をつくる —君のパソコンに脳をつくってみよう—	神崎, 亮平	朝倉書店	2018
165	9784498076907		解剖学 改訂3版（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）	五味, 敏昭	中外医学社	2018
166	9784498037946		心電図ハンター 2: 失神・動悸/不整脈編 —心電図×非循環器医—	増井, 伸高	中外医学社	2018
167	9784422430263	9784422605098	「心は遺伝する」とどうして言えるのか —ふたご研究のロジックとその先へ—【スマホ・読上】（※）	安藤, 寿康	創元社	2017
168	9784525774813		ZERO→ONEスタートアップTDM —はじめての人もつまずいた人も理論より実践!バンコマイシンからはじめよう!—（※）	香川県病院薬剤師会香川県TDM委員会	南山堂	2019
169	9784840468695		眼科スゴ技OCT・OCTA —エキスパートの読影術で診断力アップ!—（眼科グラフィック :「視る」からはじまる眼科臨床専門誌 2019年別冊）	小椋, 祐一郎	メディカ出版	2019
170	9784840465335		下肢静脈エコーの攻略法 —web動画みて!マネて!いざ実践!—（US Lab 5）	山本, 哲也	メディカ出版	2018
171	9784840465618		腹部超音波検査のへぇ〜!!これそうなんだ! —用語・現象の原理を知って、検査にいかす!—（US Lab 7）	小川, 眞広	メディカ出版	2019
172	9784525723811		クリニカルファーマコメトリクス = Clinical Pharmacometrics（※）	辻, 泰弘	南山堂	2019
173	9784839215842		看護学生のための臨床検査 第2版（看護学生のためのよくわかるBOOKs）	林, 陸郎	メヂカルフレンド社	2015
174	9784860436155	9784860436162	筋肉研究最前線 —代謝メカニズム、栄養、老化・疾病予防、科学的トレーニング法—	森谷, 敏夫	エヌ・ティー・エス	2019
175	9784263229330		血管超音波テキスト 第2版	佐藤, 洋	医歯薬出版	2018
176	9784525222017		心電図読み方の極意 —エキスパートはここを見る—（※）	三田村, 秀雄	南山堂	2016

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
177	9784781306926		幹細胞医療の実用化技術と産業展望（バイオテクノロジーシリーズ）	江上, 美芽	シーエムシー出版	2013
178	9784759820102	9784759828764	人体、なんでそうなった? —余分な骨、使えない遺伝子、あえて危険を冒す脳—（※）	ネイサン・レンツ	化学同人	2019
179	9784784911677		新薬理学 フルカラー新装版 第7版（Qシリーズ）（※）	安原, 一	日本医事新報社	2019
180	9784840469166		領域横断チョイあてエコー活用術 —Point-of-Care超音波研究会認定—	山田, 博胤	メディカ出版	2019
181	9784840469289		北海道循環器病院の心エコーカンファレンス —私たちが信頼される心エコー技師に変わったワケ—（US Lab 8）	柴田, 正慶	メディカ出版	2019
182	9784758122412		脂質解析ハンドブック —脂質分子の正しい理解と取扱い・データ取得の技術—（実験医学 別冊）	新井, 洋由	羊土社	2019
183	9784758120999		決定版阻害剤・活性化剤ハンドブック —作用点、生理機能を理解して目的の薬剤が選べる実践的データ集—決定版	秋山, 徹	羊土社	2019
184	9784758110686		胆膵EUSセミナー —CT+シェーマ+動画と合わせてわかる手技の基本から治療まで—	肱岡, 範	羊土社	2019
185	9784765317979		本邦初!!目からウロコ!パワーレス大腸内視鏡挿入法マスターガイド	結城, 美佳	金芳堂	2019
186	9784525776015		医療現場のための薬物相互作用リテラシー（※）	大野　能之	南山堂	2019
187	9784525225810		脳波の行間を読むデジタル脳波判読術 —コツとピットフォール—（※）	飛松　省三	南山堂	2019
188	9784065165720		カラー図解人体誕生 —からだはこうして造られる—（ブルーバックス B-2112）（※）	山科　正平	講談社	2019
189	9784840471879		栄養療法にすぐ活かせるイラストホルモン入門 —内分泌のふしぎがみるみるわかる!—	川崎　英二	メディカ出版	2020
190	9784840471909		ほんまかいな!根拠がわかる解剖学・生理学要点39	川畑　龍史	メディカ出版	2019
191	9784758122443		ゲノム編集実験スタンダード —完全版—（実験医学 別冊）	山本　卓	羊土社	2019
192	9784784948802		菌も病気も染め分けろ!（グラム染色道場 2）（※）	山本　剛	日本医事新報社	2020
193	9784784957507		気管支鏡所見 —見方・読み方・考え方—（※）	土田　敬明	日本医事新報社	2020
194	9784498076563		生理学 3版（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）	黒沢, 美枝子	中外医学社	2012
195	9784498136212		心臓カテーテル室スタッフマニュアル 改訂第2版	平山, 篤志	中外医学社	2013
196	9784498037922		心電図のはじめかた	杉山, 裕章	中外医学社	2017
197	9784498037908		心電図ハンター 1 —心電図×非循環器医—	増井, 伸高	中外医学社	2016
198	9784498041806		水浸法による無痛大腸内視鏡挿入マニュアル	後藤, 利夫	中外医学社	2016

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
199	9784498031777		肺癌の画像診断と病理 第2版	櫛橋, 民生	中外医学社	2012
200	9784765318105		臨床が変わる!画像・病理対比へのいざない「肝臓」	大村卓味	金芳堂	2020
201	9784758118729		忙しい人のための代謝学 —ミトコンドリアがわかれば代謝がわかる—	田中, 文彦	羊土社	2020
202	9784758120920		ゼロから実践する遺伝統計学セミナー —疾患とゲノムを結びつける—	岡田, 随象	羊土社	2020
203	9784862438317		生体のしくみ標準テキスト —新しい解剖生理—第3版【動画付】	高松, 研	医学映像教育センター	2020
204	9784525222215		検診で使える!心電図自動診断とのつきあい方（※）	関口　守衛	南山堂	2020
205	9784339072389	9784339272383	診療放射線技師を目指す学生のための医用超音波論（※）	佐々木　博	コロナ社	2015
206	9784339072396	9784339272390	診療放射線技師を目指す学生のための医用磁気共鳴イメージング論（※）	佐々木　博	コロナ社	2015
207	9784784944323		カール先生の大腸内視鏡挿入術 —〈Non-loop法〉の挿入理論とテクニック—改訂第2版（※）	軽部, 友明	日本医事新報社	2020
208	9784765318181		Thiel法だから動きがわかりやすい!筋骨格系の解剖アトラス 上肢編【動画付】	一柳, 雅仁	金芳堂	2020
209	9784758107488		そうだったのか!絶対わかる心エコー —見てイメージできる判読・計測・評価のコツ—	岩倉　克臣	羊土社	2012
210	9784274220708	9784274804328	Common Diseaseの病態生理と薬物治療（※）	システム薬学研究機構	オーム社	2019
211	9784840468848		ハイパーソノグラファーK 1 —エコーのWeb動画が見られる!—（※）	山田, 博胤	メディカ出版	2020
212	9784832610538		医ダニ学図鑑 —見える分類と疫学—	高田　伸弘	北隆館	2019
213	9784865136685		病院で受ける検査がわかる本 5訂版	高木 康	法研	2020
214	9784622088844		脳のネットワーク	オラフ・スポーンズ	みすず書房	2020
215	9784784957927		リウマチ・運動器診療のための関節エコーPerfect Image —動画で見る撮像手技・病態理解・関節穿刺のすべて—（※）	岡野, 匡志	日本医事新報社	2020
216	9784758122399		オルガノイド実験スタンダード —決定版：開発者直伝!珠玉のプロトコール集—（実験医学 別冊）	佐藤, 俊朗	羊土社	2019
217	9784501333508	9784501981402	多点表面筋電図（バイオメカニズム・ライブラリー）	バイオメカニズム学会	東京電機大学出版局	2019
218	9784525258016		ジョーシキ!腎病理診断エッセンシャル（※）	城　謙輔	南山堂	2020
219	9784525783716		薬のうごきを「みえる化」する　一目で伝わるADME図鑑（※）	高村　徳人	南山堂	2020
220	9784525140717		エース薬理学（※）	金井　好克	南山堂	2020

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
221	9784326750559	9784326999132	フランシス・クリック —遺伝暗号を発見した男—	マット・リドレー	勁草書房	2015
222	9784771905146	9784771960541	心電図プロの見方が面白いほど見える本 —スキ間で極意・学習編!!—	上嶋, 健治	克誠堂出版	2019
223	9784771905283	9784771960640	所見は1つとは限らない!複数所見の心電図33問 —スキ間で極意・問題編2!!—	上嶋, 健治	克誠堂出版	2020
224	9784788515451	9784788590298	虐待が脳を変える —脳科学者からのメッセージ—	友田, 明美	新曜社	2018
225	9784909508065		ミトコンドリアと病気（遺伝子医学MOOK 35）	村山　圭	メディカルドゥ	2020
226	9784860436711	9784860436728	ダイレクトリプログラミング —再生医療の新展開—	鈴木, 淳史	エヌ・ティー・エス	2020
227	9784781308159		In vitro毒性・動態評価の最前線（バイオテクノロジーシリーズ）	小島, 肇夫	シーエムシー出版	2013
228	9784254102901		錯視のしくみ —イラストレイテッド—（※）	北岡, 明佳	朝倉書店	2019
229	9784254340310		トキシコロジー 第3版	日本毒性学会教育委員会	朝倉書店	2018
230	9784274225901	9784274804878	LC/MS,LC/MS/MSにおけるスペクトル解析（※）	日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会	オーム社	2020
231	9784758122078		もっとよくわかる!エピジェネティクス —環境に応じて細胞の個性を生むプログラム—（実験医学 別冊）	鵜木, 元香	羊土社	2020
232	9784758120982		脳神経科学がわかる、好きになる	桜井, 武	羊土社	2020
233	9784752931249	9784752911975	人の生きた筋膜の構造 —内視鏡検査を通して示される細胞外マトリックスと細胞—【動画付】	Jean-Claude Guimberteau	医道の日本社	2018
234	9784320057975	9784320999398	大脳基底核 —意思と行動の狭間にある神経路—（ブレインサイエンス・レクチャー 7）	苅部, 冬紀	共立出版	2019
235	9784758122467		決定版エクソソーム実験ガイド —世界に通用するプロトコールで高精度なデータを得る!—（実験医学 . 最強のステップUPシリーズ 別冊）	吉岡, 祐亮	羊土社	2020
236	9784758109758		感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学	増澤, 俊幸	羊土社	2020
237	9784622089261		ウイルスの世紀 —なぜ繰り返し出現するのか—	山内, 一也	みすず書房	2020
238	9784765318495		臨床に役立つ消化器病理ギュッと1冊!まるごとBOOK	福嶋敬宜	金芳堂	2020
239	9784839972196		生理学の基本 新版（運動・からだ図解）	中島 雅美	マイナビ出版	2020
240	9784320057982	9784320999619	前頭葉のしくみ —からだ・心・社会をつなぐネットワーク—（ブレインサイエンス・レクチャー 8）	虫明, 元	共立出版	2019
241	9784758118866		エキスパートの手元がみえる!血管エコー —解剖・正常像で身につく走査テクニックと検査手順、報告書作成まで—	八鍬, 恒芳	羊土社	2021
242	9784521747675	9784521747682	離島発とって隠岐のエコーで変わる外来診療 —当てれば見える、見えるとわかる、わかるから面白い—【動画付】	白石, 吉彦	中山書店	2019

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
243	9784130634083	9784130691147	パラリンピックブレイン	中澤, 公孝	東京大学出版会	2021
244	9784274226793	9784274805486	腹部超音波ポケットマニュアル 改訂2版（※）	川地, 俊明	オーム社	2021
245	9784758118958		検査値ドリル ―基礎・応用問題から鍛える、診断につながるポイントを見抜く力―	神田, 善伸	羊土社	2021
246	9784758121002		ていねいな化学 ―生理学・生化学につながる―	白戸, 亮吉	羊土社	2020
247	9784758121101		ていねいな生物学 ―生理学・生化学につながる―	白戸, 亮吉	羊土社	2021
248	9784765318624		Dr.ヤンデルの病理トレイル ―「病理」と「病理医」と「病理の仕事」を徹底的に言語化してみました―	市原, 真	金芳堂	2021
249	9784784960200		カラーアトラス眼底図譜 第7版（※）	湯沢, 美都子	日本医事新報社	2021
250	9784840473385		救急の検査値これだけBOOK ―ディクショナリーで基礎固め、ケーススタディでトレーニング―（Emer-log 2021年春季増刊(通巻425号)）	鈴木, 裕之	メディカ出版	2021
251	9784758102513		Stay's Anatomy 臓器編 ―99%が理解できた解剖学オンライン講義―	町田, 志樹	羊土社	2021
252	9784758107624		やさしくわかる心エコーの当て方・見かた	野間, 充	羊土社	2021
253	9784758101905		今すぐ始めるゲノム編集（実験医学．最強のステップUPシリーズ 別冊）	山本　卓	羊土社	2014
254	9784758101967		フローサイトメトリーもっと幅広く使いこなせる! ―マルチカラー解析も、ソーティングも、もう悩まない!―新版（実験医学　最強のステップUPシリーズ 別冊）	中内　啓光	羊土社	2016
255	9784758120616		あなたの細胞培養、大丈夫ですか?! ―ラボの事例から学ぶ結果を出せる「培養力」―	中村　幸夫	羊土社	2015
256	9784758120845		はじめの一歩の病理学 第2版	深山　正久	羊土社	2017
257	9784525054328		まるわかり!基礎物理 改訂2版（教養基礎シリーズ）（※）	時政 孝行	南山堂	2021
258	9784274227141	9784274805820	マンガでわかる薬物動態学（※）	大谷, 壽一	オーム社	2021
259	9784784962822		すき間ドリル!あなたを鍛える心電図 ―Dr.ヒロがやさしく丁寧に解説します―（※）	杉山, 裕章	日本医事新報社	2021
260	9784758102506		Stay's Anatomy 神経・循環器編 ―99%が理解できた解剖学オンライン講義―	町田, 志樹	羊土社	2020
261	9784883787319		検査値の読み方・考え方 ―専門医からのアドバイス― 第3版	西崎, 統	総合医学社	2021
262	9784840472609		救急検査ケースファイル ―clinical prediction ruleのオモテウラ―（Emer-log 別冊）	舩越, 拓	メディカ出版	2021
263	9784758123747		グラム染色診療ドリル ―解いてわかる!菌推定のためのポイントと抗菌薬選択の根拠―	林, 俊誠	羊土社	2021
264	9784840475778		超音波検査にいかせる!腹部画像の読み方 ―「この画像、すごいね!」と言われる検査報告書とは?：精査依頼がきても安心―	平井, 都始子	メディカ出版	2021

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
265	9784758102520		Stay's Anatomy 運動器編 —99%が理解できた解剖学オンライン講義—	町田, 志樹	羊土社	2021
266	9784758122108		もっとよくわかる!脳神経科学 —やっぱり脳はとってもスゴイのだ!—改訂版(実験医学 別冊)	工藤, 佳久	羊土社	2021
267	9784525054229		まるわかり!基礎化学 改訂2版(教養基礎シリーズ)(※)	田中 永一郎	南山堂	2021
268	9784307050487	9784307850483	Next Step心電図を読んで心エコーを究める (※)	中島　哲	金原出版	2015
269	9784758120722		はじめの一歩の生化学・分子生物学 第3版	前野　正夫	羊土社	2016
270	9784758122535		ロングリードWET&DRY解析ガイド —シークエンスをもっと自由に! : リピート配列から構造変異、ダイレクトRNA、de novoアセンブリまで、研究の可能性をグンと広げる応用自在な最新技術 : どこでも、誰でも、今日	荒川, 和晴	羊土社	2021
271	9784758123815		浅井塾直伝!できる小児腹部エコー —描出・診断・治療まで「いい塩梅」の活用術—	浅井, 宣美	羊土社	2021
272	9784784949670		レジデントのためのこれだけ検査値 (※)	三井田, 孝	日本医事新報社	2021
273	9784840475860		大動脈、腹部・下肢動脈エコーの攻略法 —web動画みて!マネて!いざ実践! : 職人技伝授!—(US Lab 9)	山本, 哲也	メディカ出版	2021
274	9784872594447		みんなの体をまもる免疫学のはなし —対話で学ぶ役立つ講義—(阪大リーブル)	坂野上淳	大阪大学出版会	2017
275	9784525210915		なるほどなっとく!臨床検査 (※)	浅野 嘉延	南山堂	2021
276	9784525110802		組織学 改訂20版 (※)	阿部和厚	南山堂	2019
277	9784525151812		なるほどなっとく!病理学plus —病態形成の機序と各器官の疾病の特徴— (※)	小林 正伸	南山堂	2022
278	9784525100537		解剖学講義 改訂3版 (※)	伊藤　隆	南山堂	2012
279	9784525151621		なるほどなっとく!病理学 —病態形成の基本的な仕組み—改訂2版 (※)	小林, 正伸	南山堂	2019
280	9784525170202		図説人体寄生虫学 改訂10版 (※)	吉田, 幸雄	南山堂	2021
281	9784254431261		食品免疫学事典	日本食品免疫学会	朝倉書店	2021
282	9784339072488	9784339272482	医用超音波工学の基礎 —資格試験の受験から新技術の入り口まで— (※)	竹内, 真一	コロナ社	2021
283	9784487813001		iPS細胞の研究室 —体のしくみから研究の未来まで—	京都大学iPS細胞研究所国際広報室	東京書籍	2020
284	9784840478243		こわくない・泣かさない赤ちゃんの検査ずかん —デキる先パイの思考回路、まるみえスキャン—(with NEO . るるNEO 別冊)	飯高, 絵里子	メディカ出版	2022
285	9784758106092		心電図の読み方パーフェクトマニュアル —理論と波形パターンで徹底トレーニング!—	渡辺　重行	羊土社	2006
286	9784307071093	9784307871099	胆嚢・胆管 (超音波の学校 1) (※)	関根　智紀	金原出版	2018

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
287	9784307150705	9784307850704	よくわかる脳波判読 第3版（※）	音成　龍司	金原出版	2014
288	9784758121187		QUICK生理学・解剖学 ―人体の構造と機能・病態生理―	松尾, 理	羊土社	2022
289	9784765318969		Thiel法だから動きがわかりやすい!筋骨格系の解剖アトラス 下肢編	一柳, 雅仁	金芳堂	2022
290	9784781309484		再生医療の細胞培養技術と産業展開（バイオテクノロジーシリーズ）	紀ノ岡　正博	シーエムシー出版	2014
291	9784781310527		非侵襲的検体検査の最前線 ―唾液検査・呼気検査を中心に―（バイオテクノロジーシリーズ）	槻木　恵一	シーエムシー出版	2015
292	9784525101008		日本人体解剖学 改訂20版 上巻　解剖学総論・骨格系・筋系・神経系（※）	金子丑之助	南山堂	2020
293	9784525101107		日本人体解剖学 改訂20版 下巻　循環器系・内臓学・感覚器系（※）	金子丑之助	南山堂	2020
294	9784863540392		iPS細胞が再生医療の扉を開く（Superサイエンス）	升井, 伸治	シーアンドアール研究所	2009
295	9784758107655		心電図の読み方やさしくやさしく教えます	小菅, 雅美	羊土社	2022
296	9784765319003		剖検マクロ・ミクロ病理アトラス ―天理よろづ相談所病院CPCより―	藤田, 久美	金芳堂	2022
297	9784765318983		血算・凝固に強くなる実践レクチャー ―イラスト図解で納得!臨床力UP!―	萩原, 將太郎	金芳堂	2022
298	9784799324073		世にも美しい人体図鑑	スティーブ・パーカー	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2018
299	9784758106863		絶対わかる　抗菌薬はじめの一歩 ―一目でわかる重要ポイントと演習問題で使い方の基本をマスター―	矢野　晴美	羊土社	2010
300	9784758319768		今さら聞けない心臓カテーテル 第3版（※）	濱嵜, 裕司	メジカルビュー社	2021
301	9784758319782		今さら聞けない心電図 第2版（※）	池田, 隆徳	メジカルビュー社	2022
302	9784758319775		新今さら聞けない心エコー図 New edition（※）	田中, 秀和	メジカルビュー社	2022
303	9784758316149		頭頸部画像診断の勘ドコロNEO（※）	浮洲, 龍太郎	メジカルビュー社	2020
304	9784758300988		集中講義生化学 ―カラーイラストで学ぶ―改訂2版（※）	鈴木, 敬一郎	メジカルビュー社	2017
305	9784758300964		集中講義薬理学 ―カラーイラストで学ぶ―改訂2版（※）	渡邊, 康裕	メジカルビュー社	2015
306	9784758300971		集中講義病理学 ―カラーイラストで学ぶ―改訂2版（※）	清水, 道生	メジカルビュー社	2016
307	9784758319706		PCIで使い倒すIVUS徹底活用術 改訂第2版（※）	本江, 純子	メジカルビュー社	2020
308	9784758316408		新OCT・OCTA便利手帖（※）	白神, 史雄	メジカルビュー社	2021

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
309	9784498037748		マンガで学ぶ心電図&不整脈	池田, 隆徳	中外医学社	2010
310	9784861633638		“善玉”としてのヒスタミン —花粉症から薬の作用を考える—	谷内 一彦	東北大学出版会	2022
311	9784758101936		論文だけではわからないゲノム編集成功の秘訣Q&A —TALEN、CRISPR/Cas9の極意—（実験医学 別冊）	山本　卓	羊土社	2015
312	9784758101950		初めてでもできる!超解像イメージング —STED、PALM、STORM、SIM、顕微鏡システムの選定から撮影のコツと撮像例まで—（実験医学 別冊　最強のステップUPシリーズ）	岡田　康志	羊土社	2016
313	9784758316378		新OCT・OCTA読影トレーニング = Self-training for interpretation of OCT/OCTA, Updated（※）	白神, 史雄	メジカルビュー社	2019
314	9784758319546		FFRスタンダードマニュアル —PCIのための虚血評価—第2版（※）	田中, 信大	メジカルビュー社	2019
315	9784758316088		ユキティの「なぜ?」からはじめる救急MRI（※）	熊坂, 由紀子	メジカルビュー社	2019
316	9784758319577		これから始める心臓カテーテル検査 改訂第2版（※）	矢嶋, 純二	メジカルビュー社	2019
317	9784758319621		これから始める血管エコー —描出のコツと再現性を高めるためのテクニック—改訂第2版（※）	種村, 正	メジカルビュー社	2020
318	9784758314152		これから始める心エコー —echocardiography—（※）	芦原, 京美	メジカルビュー社	2014
319	9784758303873		こんなに役立つ肺エコー —救急ICUから一般外来・在宅まで—（※）	鈴木, 昭広	メジカルビュー社	2015
320	9784758315876		これから始める腹部エコー —abdominal ultrasound—（※）	丸山, 憲一	メジカルビュー社	2015
321	9784758122597		フロントランナー直伝 —相分離解析プロトコール：今すぐ実験したくなる、論文にはないコツや技—（実験医学．最強のステップUPシリーズ 別冊）	加藤, 昌人	羊土社	2022
322	9784765319195		読影のキホンが身につく必修手筋101 —クイズで学ぶ画像診断「1手詰」—	木口, 貴雄	金芳堂	2022
323	9784274216411	9784274807862	LC/MS,LC/MS/MSの基礎と応用（※）	中村　洋	オーム社	2014
324	9784862514677		安保徹の免疫学ノート —世界一わかりやすい健康免疫学—	安保徹	三和書籍	2022
325	9784525723910		BMs-Podによる薬物投与設計 —今すぐできる!わかる!あらゆるTDMのための実践ガイド—（※）	尾田, 一貴	南山堂	2022
326	9784525778613		臨床に活かす薬物動態の強化書（※）	辻, 泰弘	南山堂	2022
327	9784750514505		意識はいつ生まれるのか —脳の謎に挑む統合情報理論—【スマホ・読上】（※）	マルチェッロ・マッスィミーニ	亜紀書房	2015
328	9784765319140		全部のせ!LCI経鼻内視鏡よくばり完全マスターガイド —挿入・観察のコツから診断・治療まで全部まとめちゃいました—	結城美佳	金芳堂	2022
329	9784405093522		世界一やさしい!からだ図鑑	松本　佐保姫	新星出版社	2018
330	9784525727512		塩とメダカとくすりのうごき。—水槽図でイメージする薬物動態の本—（※）	福岡 憲泰	南山堂	2022

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
331	9784525504915		デキる看護師の検査値note —NsCan—（※）	酒井 博崇	南山堂	2022
332	9784422410999	9784422607979	ひと目でわかる脳のしくみとはたらき図鑑（イラスト授業シリーズ）	小野, 良平	創元社	2022
333	9784274221095	9784274808357	MR撮像技術学 改訂3版（放射線技術学シリーズ）（※）	笠井, 俊文	オーム社	2017
334	9784422410951	9784422606620	ひと目でわかる体のしくみとはたらき図鑑（イラスト授業シリーズ）	大橋　順	創元社	2017
335	9784274229404	9784274808159	看護・医療技術者のためのたのしい物理（※）	中野, 正博	オーム社	2022
336	9784254102963		人間の許容・適応限界事典	村木, 里志	朝倉書店	2022
337	9784758107679		読み方だけは確実に身につく心電図	米山, 喜平	羊土社	2022
338	9784758111942		画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン　3	扇　和之	羊土社	2022
339	9784758121255		ゲノム・オデッセイ —診断のつかない患者を救う、ある医師によるゲノム医療の記録—	Euan Angus Ashley	羊土社	2022
340	9784758122115		もっとよくわかる!腸内細菌叢 —″もう1つの臓器″を知り、健康・疾患を制御する!—改訂版（実験医学 別冊）	福田, 真嗣	羊土社	2022
341	9784758122610		空間オミクス解析スタートアップ実践ガイド —最新機器の特徴と目的に合った選び方、データ解析と応用例を学び、シングルセル解析の一歩その先へ!—（実験医学 最強のステップUPシリーズ 別冊）	鈴木　穣	羊土社	2022
342	9784274225642	9784274808425	内視鏡画像AI（医療AIとディープラーニングシリーズ）（※）	森, 健策	オーム社	2022
343	9784535984479		脳を通って私が生まれるとき【スマホ・読上】（※）	兼本, 浩祐	日本評論社	2016
344	9784839965525		からだと病気のしくみ —オールカラー—（運動・からだ図解）	田中, 文彦	マイナビ出版	2018
345	9784839972479		消化器のしくみ —オールカラー—（運動・からだ図解）	山田, 篤生	マイナビ出版	2020
346	9784339067637	9784339267631	セルプロセッシング工学 —抗体医薬から再生医療まで—増補（※）	高木, 睦	コロナ社	2022
347	9784765319256		イラストレイテッド脳波1・2・3 —波形の診かた、考え方—	飛松, 省三	金芳堂	2022
348	9784000054737	9784007105739	自由エネルギー原理入門 —知覚・行動・コミュニケーションの計算理論—（※）	乾, 敏郎	岩波書店	2021
349	9784525162337		わかる!身につく!病原体・感染・免疫 改訂3版（※）	藤本秀士	南山堂	2017
350	9784830604720		体腔液細胞診カラーアトラス —診断へのアプローチ—	土屋　眞一	文光堂	2012
351	9784830642241		コメディカルのための疾患・画像ファイル —臨床技術に活かす画像所見リファレンス—	鈴木　正行	文光堂	2010
352	9784621308011		イラストレイテッド免疫学（リッピンコットシリーズ）（※）	Thao Doan	丸善出版	2023

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
353	9784525163433		イラストでわかる微生物学超入門 —病原微生物の感染のしくみ—改訂3版（※）	齋藤 光正	南山堂	2023
354	9784525173289		医動物学 改訂8版（※）	吉田 幸雄	南山堂	2023
355	9784895907750		マルチモーダルイメージングでとらえる広角眼底アトラス	大野　京子	三輪書店	2023
356	9784839972462		腎と泌尿器のしくみ（運動・からだ図解）	東間　紘	マイナビ出版	2021
357	9784839975319		循環器のしくみ（運動・からだ図解）	阿古潤哉	マイナビ出版	2021
358	9784254102949		図説視覚の事典	日本視覚学会	朝倉書店	2022
359	9784758110778		上部消化管内視鏡診断の基本とコツ —内視鏡検査の「実際どうする?」をエキスパートがすべて解決—	滝沢, 耕平	羊土社	2023
360	9784758110785		臨床医が知っておきたい消化器病理の見かたのコツ —病理像+内視鏡・CT・MRIで一目でわかる!—改訂版	福嶋, 敬宜	羊土社	2023
361	9784779171055	9784779162794	遺伝子検査のモラル（フィギュール彩 2-7）	田口 淳一	彩流社	2023
362	9784779171055	9784779162794	遺伝子検査のモラル【スマホ・読上】(フィギュール彩 2-7)（※）	田口, 淳一	彩流社	2023
363	9784758113007		確実に身につく心臓カテーテル検査の基本とコツ —冠動脈造影所見+シェーマで、血管の走行と病変が読める!—第3版	中川, 義久	羊土社	2023
364	9784765319478		イメージでわかる!医用超音波の新しい教科書 基礎原理と装置の「なぜ?どうして?」	山崎　延夫	金芳堂	2023
365	9784525222611		型で覚える型で学ぶプライマリ・ケア医のための超音波(POCUS)（※）	上松 東宏	南山堂	2023
366	9784758321167		全身DWIBSドライブスルー（※）	片平, 和博	メジカルビュー社	2022
367	9784758322010		心臓カテーテル介助スタンダードマニュアル（※）	真壁, 伸	メジカルビュー社	2022
368	9784799322451		脳と心【スマホ・読上】(ビッグクエスチョンズ)（※）	リチャード・レスタック	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2018
369	9784780904178	9784059885795	MRI安全性の考え方 第3版	日本磁気共鳴医学会 安全性評価委員会	株式会社Gakken	2021
370	9784830604904		内分泌臓器（非腫瘍性疾患病理アトラス）	亀山香織	文光堂	2023
371	9784830604911		リンパ組織（非腫瘍性疾患病理アトラス）	佐藤康晴	文光堂	2023
372	9784840480543		眼底写真撮影、OCT・OCTA検査のすべて —「どうやって撮る?」「なぜそう写る?」がまるわかり! : 広角、自発蛍光、FA・IA、前眼部OCTまで完全網羅—(眼科ケア 2022年春季増刊(通巻221号))	藤掛, 福美	メディカ出版	2023
373	9784525289218		小児感染症の微生物検査の進め方 —エキスパートはこう考える—（※）	堀越 裕歩	南山堂	2023
374	9784767962153		生体におけるリン脂質の性状と機能性（※）	機能油脂懇話会	建帛社	2020

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
375	9784758122641		決定版　質量分析活用スタンダード（実験医学 別冊）	馬場　健史	羊土社	2023
376	9784787824769	9784787880062	Prof.山本のマイクロアレイ染色体検査入門（※）	山本　俊至	診断と治療社	2021
377	9784787823670	9784787880611	臨床遺伝学総論（臨床遺伝専門医テキスト 1）（※）	臨床遺伝専門医制度委員会	診断と治療社	2021
378	9784787825148	9784787880628	各論1　臨床遺伝学生殖・周産期領域（臨床遺伝専門医テキスト 2）	臨床遺伝専門医制度委員会	診断と治療社	2021
379	9784787825155	9784787880635	各論2　臨床遺伝学小児領域（臨床遺伝専門医テキスト 3）（※）	臨床遺伝専門医制度委員会	診断と治療社	2021
380	9784787825162	9784787880642	各論3　臨床遺伝学成人領域（臨床遺伝専門医テキスト 4）（※）	臨床遺伝専門医制度委員会	診断と治療社	2021
381	9784787825179	9784787880659	各論4　臨床遺伝学腫瘍領域（臨床遺伝専門医テキスト 5）（※）	臨床遺伝専門医制度委員会	診断と治療社	2021
382	9784883784622		3ステップでマスターする 血算ドリル	樋口 敬和	総合医学社	2023
383	9784622096009		免疫から哲学としての科学へ	矢倉, 英隆	みすず書房	2023
384	9784621308295		臨床薬物動態学 ―薬物治療の適正化のために―第5版（※）	緒方, 宏泰	丸善出版	2023
385	9784263708293		看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第6版	奈良 信雄	医歯薬出版	2022
386	9784830604935		骨髄組織病理学 ―骨髄標本の見方と考え方―	伊藤　雅文	文光堂	2023
387	9784525131715		ほぼ2ページでギュッとまとめた生化学（※）	田村 隆明	南山堂	2023
388	9784525121631		なるほどなっとく!解剖生理学 改訂3版（※）	多久和 典子	南山堂	2023
389	9784525140830		イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂3版（※）	町谷 安紀	南山堂	2023
390	9784758122658		ヒト生体試料・データ取扱い実践ハンドブック ―適切なサンプル・データ取得からバイオバンク利活用、法規制まで、必須知識と標準フローをこの1冊に凝縮―（実験医学 別冊）	日本生物資源産業利用協議会	羊土社	2023
391	9784787821720	9784787880871	骨・軟部腫瘍 ―臨床・画像・病理―改訂第2版（※）	大塚　隆信	診断と治療社	2015
392	9784840479561		新生児の検査A to Z ―目的・基準値・進め方がわかる―（with NEO 2023年秋季増刊）	河井, 昌彦	メディカ出版	2023
393	9784498137165		若手心エコーフェローが教える心エコーのみかた	鍵山, 暢之	中外医学社	2023
394	9784521750019	9784521750446	乳腺病理パーフェクトアトラス = Perfect atlas of breast pathology	黒住, 昌史	中山書店	2023
395	9784498037861		心電図のみかた,考えかた　応用編	杉山　裕章	中外医学社	2014
396	9784480069641		まんが 人体の不思議（ちくま新書 1256）（※）	茨木 保	筑摩書房	2017

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
397	9784480071019		脳の誕生 ―発生・発達・進化の謎を解く―【スマホ・読上】(ちくま新書 1297)（※）	大隅 典子	筑摩書房	2017
398	9784758122139		もっとよくわかる!線維化と疾患 ―炎症・慢性疾患の初期からはじまるダイナミックな過程をたどる―(実験医学 別冊)	菅波, 孝祥	羊土社	2023
399	9784758122665		全ゲノム・エクソーム遺伝統計解析 ―Python, Rで実践して身につく,未知の遺伝要因の探索と疾患リスク予測―(実験医学 別冊)	田宮, 元	羊土社	2023
400	9784263266731		高次脳機能障害ポケットマニュアル 第4版	原 寛美	医歯薬出版	2023

図書リスト・視覚教材

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
1	9784862433800		一般検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 1)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
2	9784862433817		血液学検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 2)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
3	9784862433824		血液生化学検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 3)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
4	9784862433831		代謝・内分泌検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 4)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2009
5	9784862433848		臓器機能検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 5)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2011
6	9784862433855		微生物学的検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 6)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2011
7	9784862433862		免疫血清検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 7)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
8	9784862433879		病理検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 8)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
9	9784862433886		生理機能検査 Ⅰ 脳波検査・筋電図検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 9)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2010
10	9784862433893		生理機能検査 Ⅱ 呼吸機能検査・心機能検査【動画】(目で見る臨床検査 第2版 10)(※)	猪狩　淳	医学映像教育センター	2011
11	9784862437655		人間の存在【動画】(生体のしくみ vol.1)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2017
12	9784862437662		細胞からヒトへ【動画】(生体のしくみ vol.2)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2017
13	9784862437679		神経系のしくみ 1【動画】(生体のしくみ vol.3)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2017
14	9784862437686		神経系のしくみ 2【動画】(生体のしくみ vol.4)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2017
15	9784862437693		神経系のしくみ 3【動画】(生体のしくみ vol.5)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018
16	9784862437709		感覚のしくみ【動画】(生体のしくみ vol.6)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2017
17	9784862437716		身体運動のしくみ 1【動画】(生体のしくみ vol.7)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018
18	9784862437723		身体運動のしくみ 2【動画】(生体のしくみ vol.8)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018
19	9784862437730		血液のしくみ【動画】(生体のしくみ vol.9)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018
20	9784862437747		循環のしくみ 1【動画】(生体のしくみ vol.10)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018

番号	ISBN/ISSN	電子版ISBN	書名	著編者	出版社	発行年
21	9784862437754		循環のしくみ 2【動画】(生体のしくみ 第3版 vol.11)(※)	医学映像教育センター	医学映像教育センター	2018
22	9784862437761		呼吸のしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.12)(※)		医学映像教育センター	2019
23	9784862437778		消化吸収のしくみ 1【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.13)(※)		医学映像教育センター	2019
24	9784862437785		消化吸収のしくみ 2【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.14)(※)		医学映像教育センター	2019
25	9784862437792		代謝のしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.15)(※)		医学映像教育センター	2019
26	9784862437808		排泄のしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.16)(※)		医学映像教育センター	
27	9784862437815		ホルモンのしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.17)(※)		医学映像教育センター	2019
28	9784862437822		ホメオスタシスのしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.18)(※)		医学映像教育センター	
29	9784862437839		防御のしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.19)(※)		医学映像教育センター	
30	9784862437846		生殖のしくみ【動画】(生体のしくみ 第3版 Vol.20)(※)		医学映像教育センター	

図書リスト・洋書

番号	書名	ISBN	EISBN	出版社	発行日	著編者	言語
1	Larone's Medically Important Fungi : A Guide to Identification	9781683674405	9781683674412	ASM Press	2023/08/01	Westblade, Lars F.;Burd, Eileen M.;Lockhart, Shawn R.;Procop, Gary W.	English
2	Revenge of the Microbes : How Bacterial Resistance Is Undermining the Antibiotic Miracle	9781683670087	9781683670094	ASM Press	2023/04/11	Wilson, Brenda A.;Ho, Brian T.	English
3	Descriptions of Medical Fungi	9781800622326	9781800622340	CAB International	2023/01/30	Kidd, Sarah;Halliday, Catriona;Ellis, David	English
4	ROC Analysis for Classification and Prediction in Practice	9781482233704	9781482233711	CRC Press LLC	2023/12/31	Nakas, Christos T.;Bantis, Leonidas E.;Gatsonis, Constantine A.	English
5	Berne and Levy Physiology E-Book : Berne and Levy Physiology E-Book	9780323847902	9780323847926	Elsevier	2023/03/28	Koeppen, Bruce M.;Stanton, Bruce A.;Hall, Julianne M.;Swiatecka-	English
6	Clinical Arrhythmology and Electrophysiology E-Book : A Companion to Braunwald's Heart Disease	9780323881821	9780323881838	Elsevier	2023/09/06	Issa, Ziad;Miller, John M.;Zipes, Douglas P.	English
7	Clinical Biochemistry - E-Book : An Illustrated Colour Text	9780323880572	9780323881661	Elsevier	2023/08/31	Murphy, Michael;Srivastava, Rajeev;Deans, Kevin	English
8	Gastrointestinal and Liver Pathology E-Book : A Volume in the Series: Foundations in Diagnostic Pathology	9780323527941	9780323531689	Elsevier	2023/02/15	Srivastava, Amitabh;Allende, Daniela S.;Goldblum, John	English
9	Murray's Basic Medical Microbiology : Foundations and Cases	9780323878104	9780323878111	Elsevier	2023/03/15	Murray, Patrick R.	English
10	Steroids in the Laboratory and Clinical Practice	9780128181249	9780128181256	Elsevier	2023/08/03	Honour, John William	English
11	Tutorials in Clinical Chemistry	9780128229491	9780128229187	Elsevier	2023/10/27	Hashim, Ibrahim A.	English
12	A Clinical Guide to Inositols	9780323916738	9780323985550	Elsevier Science & Technology	2023/01/17	Unfer, Vittorio;Dewailly, Didier	English
13	Advances in Clinical Chemistry	9780443192883	9780443192890	Elsevier Science & Technology	2023/06/01	Makowski, Gregory S.	English
14	Advances in Immunology	9780443193309	9780443193316	Elsevier Science & Technology	2023/07/18	Alt, Frederick W.;Murphy, Kenneth	English
15	Advances in Parasitology	9780323989510	9780323989527	Elsevier Science & Technology	2023/01/26	Stothard, Russell;Rollinson, David	English
16	Angiotensin : From the Kidney to Coronavirus	9780323996181	9780323996198	Elsevier Science & Technology	2023/02/24	Pilowsky, Paul M.	English
17	Antimicrobial Dressings : The Wound Care Applications	9780323950749	9780323950756	Elsevier Science & Technology	2023/03/20	Khan, Raju;Gowri, Sorna	English
18	Antioxidants	9780443157684	9780443157691	Elsevier Science & Technology	2023/01/27	Litwack, Gerald	English
19	Artificial Intelligence in Tissue and Organ Regeneration	9780443184987	9780443184994	Elsevier Science & Technology	2023/08/31	Sharma, Chandra P.;Chandy, Thomas;Thomas, Vinoy	English
20	Bone Cell Biomechanics, Mechanobiology and Bone Diseases	9780323961233	9780323994842	Elsevier Science & Technology	2023/09/09	Qian, Airong;Hu, Lifang	English
21	Cases in Laboratory Genetics and Genomics (LGG) Practice	9780323996228	9780323996235	Elsevier Science & Technology	2023/06/10	Li, Xia	English
22	Circadian System	9780443131837	9780443131844	Elsevier Science & Technology	2023/09/11	Donev, Rossen	English
23	Economic Evaluation in Genomic and Precision Medicine	9780128133828	9780128133941	Elsevier Science & Technology	2023/04/24	Mitropoulou, Christina;Wordsworth, Sarah;Buchanan	English
24	Epigenetics in Health and Disease	9780443186691	9780443186707	Elsevier Science & Technology	2023/04/05	Singh, Vijai;Mani, Indra	English
25	Formulation of Monoclonal Antibody Therapies : From Lab to Market	9780128233658	9780128234280	Elsevier Science & Technology	2023/05/23	Elkordy, Amal Ali	English
26	G Protein-Coupled Receptors - Part B	9780323994347	9780323994354	Elsevier Science & Technology	2023/01/25	Shukla, Arun K.	English
27	Gene-Environment Interactions in Birth Defects and Developmental Disorders	9780128201572	9780128201633	Elsevier Science & Technology	2023/01/27	Lipinski, Robert J.;Krauss, Robert S.	English
28	Global Perspectives on the Transmission of Zoonotic RNA Viruses from Wild Animal Species to Humans : Zoonotic, Epizootic, and Anthropogenic Viral Pathogens	9780443132674	9780443132698	Elsevier Science & Technology	2023/05/25	Nandi, Jayashree Seema	English
29	Gut Microbiota : Interactive Effects on Nutrition and Health	9780323913874	9780323913898	Elsevier Science & Technology	2023/06/22	Ishiguro, Edward;Haskey, Natasha;Campbell, Kristina	English

30	Hormones and Epigenetics	9780443158186	9780443158193	Elsevier Science & Technology	2023/03/02	Litwack, Gerald	English
31	Imaging in Virus Research	9780443158148	9780443158155	Elsevier Science & Technology	2023/07/25	Finke, Stefan;Ushakov, Dmitry	English
32	Joint and Bone : From Bench to Bedside	9780323919388	9780323983303	Elsevier Science & Technology	2023/02/02	Jiang, Deming;El-Hashash, Ahmed;Jiang, Deming;El-	English
33	Meiosis in Development and Disease	9780128201565	9780128201626	Elsevier Science & Technology	2023/01/11	Cole, Francesca	English
34	Microbiome Therapeutics : Personalized Therapy Beyond Conventional Approaches	9780323993364	9780323993371	Elsevier Science & Technology	2023/05/19	Chauhan, Nar Singh;Kumar, Suneel	English
35	MicroRNA in Regenerative Medicine	9780128207192	9780128207222	Elsevier Science & Technology	2023/05/12	Sen, Chandan K.	English
36	Modifications and Targeting of Protein Termini Part A	9780443157721	9780443157738	Elsevier Science & Technology	2023/05/24	Arnesen, Thomas	English
37	Modulation of Oxidative Stress : Biochemical, Physiological and Pharmacological Aspects	9780443192470	9780443192487	Elsevier Science & Technology	2023/08/07	Saso, Luciano;Giuffre, Alessandro;Valacchi	English
38	Ophthalmic Pathology : The Evolution of Modern Concepts	9780323957885	9780323957892	Elsevier Science & Technology	2023/03/29	Margo, Curtis E.	English
39	Principles of Gender-Specific Medicine : Sex and Gender-Specific Biology in the Postgenomic Era	9780323885348	9780323958271	Elsevier Science & Technology	2023/04/05	Legato J, Marianne	English
40	Receptor Endocytosis and Signalling in Health and Disease - Part B	9780323955591	9780323955607	Elsevier Science & Technology	2023/02/22	Mani, Indra;Singh, Vijai	English
41	Resident Stem Cells and Regenerative Therapy : Sources and Clinical Applications	9780443152894	9780443152900	Elsevier Science & Technology	2023/09/07	Coeli dos Santos Goldenberg, Regina;Campos de Carvalho, Antonio	English
42	Sex, Gender, and Epigenetics : From Molecule to Bedside	9780128239377	9780128239384	Elsevier Science & Technology	2023/05/24	Legato J, Marianne;Feldberg, Dov;Glezerman, Marek	English
43	Stem Cell in Medicine	9780443134111	9780443134128	Elsevier Science & Technology	2023/08/31	Higuchi, Akon;Zhou, Yinghong;Chiou, Shih-Hwa	English
44	Stem Cell Laboratory Techniques : A Guide for Researchers and Students	9780128237298	9780128237304	Elsevier Science & Technology	2023/05/31	Subbiah, Suresh Kumar;Higuchi, Akon;Mok, Pooi Ling	English
45	The Cardiovascular Glycocalyx in Health and Disease	9780443191596	9780443191602	Elsevier Science & Technology	2023/04/11	Fancher, Ibra S.;Chignalia, Andreia Z.	English
46	The Eye	9780323999878	9780323983167	Elsevier Science & Technology	2023/04/03	Taher, Eman E.;Elalfy, Mohamed	English
47	The Immunological Synapse - Part B	9780443191633	9780443191640	Elsevier Science & Technology	2023/07/11	Thomas, Clément;Galluzzi, Lorenzo	English
48	Transcription and Translation in Health and Disease	9780323995214	9780323995221	Elsevier Science & Technology	2023/02/02	Garg, Manoj;Sethi, Gautam;Pandey, Amit Kumar	English
49	Wnt Signaling in Development and Disease	9780128201671	9780128201640	Elsevier Science & Technology	2023/03/23	Yamaguchi, Terry P.;Willert, Karl	English
50	Clinical Biochemistry : A Laboratory Guide	9789814968751	9781000988949	Jenny Stanford Publishing	2023/10/01	Devi, Rooma;Chauhan, Aman;Kharb, Simmi;Pundir,	English
51	The Gut Microbiota in Health and Disease	9781119904755	9781119904762	John Wiley & Sons, Incorporated	2023/09/12	Srivastava, Nimmy;Ibrahim, Salam A.;Chattopadhyay	English
52	Short Course in Medical Terminology	9781284272680	9781284272697	Jones & Bartlett Learning, LLC	2023/04/06	Nath, Judi L.	English
53	Central Nervous System Pathologies in Hereditary Tumor Syndromes	9798886976205	9798886977479	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/04/10		English
54	Parasitology: Risks and Challenges for Health and Sustainability	9798886978063	9798886978247	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/06/10	Upadhyay, Sushil Kumar	English
55	Precision Medicine: Where Are We and Where Are We Going?	9798886976168	9798886977424	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/05/09	Kansal, Rina	English

56	Signaling Pathways of the Immune System	9798886976038	9798886976816	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/03/16	Demir, Kenan	English
57	The Biochemical Guide to Hormones	9798886974928	9798886975345	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/02/15	Aebisher, David	English
58	The Medical Biology Guide to Proteins	9798886979107	9798891130241	Nova Science Publishers, Incorporated	2023/09/15	Aebisher, David	English
59	How to Request a Test: a Clinician's Guide to the Interpretation and Evaluation of Medical Tests	9780192866615	9780192691835	Oxford University Press, Incorporated	2023/03/15	Boyles, Tom	English
60	Atlas of Sinonasal Tract Pathology	9789811973147	9789811973154	Springer	2023/03/02	Jain, Deepali;Bishop, Justin A.	English
61	Basic and Advanced Laboratory Techniques in Histopathology and Cytology	9789811966156	9789811966163	Springer	2023/01/02	Dey, Pranab	English
62	Calcium Phosphate Nanocoatings for Bone Regeneration	9789819955053	9789819955060	Springer	2023/09/12	Choi, Andy H.;Ben-Nissan, Besim	English
63	Cartilage: from Biology to Biofabrication	9789819924516	9789819924523	Springer	2023/07/12	Baghaban Eslaminejad, Mohamadreza;Hosseini, Samaneh	English
64	Clinical Metabolomics Applications in Genetic Diseases	9789819951611	9789819951628	Springer	2023/10/02	Abdel Rahman, Anas M.	English
65	Extracellular Vesicles in Cardiovascular and Metabolic Diseases	9789819914425	9789819914432	Springer	2023/08/22	Xiao, Junjie	English
66	Nutraceuticals and Functional Foods in Immunomodulators	9789811925061	9789811925078	Springer	2023/01/02	Kesharwani, Rajesh K.;Keservani, Raj K.;Sharma, Anil K.	English
67	Pathobiology of Parasitic Protozoa: Dynamics and Dimensions	9789811982248	9789811982255	Springer	2023/02/01	Mukherjee, Budhaditya;Bhattacharya, Arijit;Mukhopadhya	English
68	Rodent Transplant Medicine	9789811961106	9789811961113	Springer	2023/01/02	Gong, Weihua	English
69	Statistical Methods in Human Genetics	9789819932191	9789819932207	Springer	2023/10/11	Mukhopadhyay, Indranil;Majumder, Partha Pratim	English
70	Textbook of Microbiology and Immunology	9789811933141	9789811933158	Springer	2023/03/17	Parija, Subhash Chandra	English
71	The MicroRNA Quantum Code Book	9789811985850	9789811985867	Springer	2023/01/02	Fujii, Yoichi Robertus	English
72	Advances in Molecular Pathology	9783031261626	9783031261633	Springer International Publishing AG	2023/05/29	Simon, Felipe;Bernabeu, Carmelo	English
73	Biochemistry and Cell Biology of Ageing: Part IV, Clinical Science	9783031265754	9783031265761	Springer International Publishing AG	2023/04/30	Harris, J. Robin;Korolchuk, Viktor I.	English
74	Biomaterials and Tissue Engineering	9783031358319	9783031358326	Springer International Publishing AG	2023/08/26	Gunduz, Oguzhan;Egles, Christophe;Pérez, Román A.;Ficai	English
75	Bioprocess and Analytics Development for Virus-Based Advanced Therapeutics and Medicinal Products (ATMPs)	9783031284885	9783031284892	Springer International Publishing AG	2023/09/15	Gautam, Saurabh;Chiramel, Abhilash I.;Pach, Roland	English
76	Cardiac Mechanobiology in Physiology and Disease	9783031239649	9783031239656	Springer International Publishing AG	2023/05/21	Hecker, Markus;Duncker, Dirk J.	English
77	Cell Biology and Translational Medicine, Volume 18 : Tissue Differentiation, Repair in Health and Disease	9783031284236	9783031284243	Springer International Publishing AG	2023/03/23	Turksen, Kursad	English
78	Cellular Physiology and Metabolism of Physical Exercise : Topical Clinical Issues	9783031271915	9783031271922	Springer International Publishing AG	2023/08/30	Luzi, Livio	English
79	Getting to Know Your Cells	9783031301452	9783031301469	Springer International Publishing AG	2023/06/21	Saucedo, Leslie;Jost, Maria	English
80	History of Arbovirology: Memories from the Field : Volume I: Personal Reflections	9783031219986	9783031219993	Springer International Publishing AG	2023/05/09	Vasilakis, Nikos;Kramer, Laura D.	English
81	Human Chromosome Atlas : Introduction to Diagnostics of Structural Aberrations	9783031105876	9783031105883	Springer International Publishing AG	2023/03/01	Behrend, Claudia;Karimzad Hagh, Javad;Mehdipour	English
82	Lassa Fever: Epidemiology, Immunology, Diagnostics, and Therapeutics	9783031358067	9783031358074	Springer International Publishing AG	2023/09/09	Garry, Robert	English
83	Liu's Principles and Practice of Laboratory Mouse Operations : A Surgical Atlas	9783030745004	9783030745011	Springer International Publishing AG	2023/08/16	Liu, Pengxuan;Liu, Don	English
84	Normal Cytology : An Illustrated, Practical Guide	9783031203350	9783031203367	Springer International Publishing AG	2023/01/02	Lew, Madelyn;Pang, Judy;Pantanowitz, Liron	English
85	Sleep and Clocks in Aging and Longevity	9783031224676	9783031224683	Springer International Publishing AG	2023/03/07	Jagota, Anita	English

86	The Bethesda System for Reporting Thyroid Cytopathology : Definitions, Criteria, and Explanatory Notes	9783031280450	9783031280467	Springer International Publishing AG	2023/06/30	Ali, Syed Z.;VanderLaan, Paul A.	English
87	The Milan System for Reporting Salivary Gland Cytopathology	9783031266614	9783031266621	Springer International Publishing AG	2023/06/27	Faquin, William C.;Rossi, Esther Diana;Baloch, Zubair;Barkan, Gü	English
88	The Renin Angiotensin System in Cancer, Lung, Liver and Infectious Diseases	9783031236204	9783031236211	Springer International Publishing AG	2023/03/15	Bhullar, Sukhwinder K.;Tappia, Paramjit S.;Dhalla, Naranjan	English
89	The Secret Lives of Transcription Factors : In Heterochromatin Regulation	9783031290275	9783031290299	Springer International Publishing AG	2023/04/26	Li, Willis X.;Silver-Morse, Louise	English
90	Artificial Intelligence in Medical Virology	9789819903689	9789819903696	Springer Singapore Pte. Limited	2023/05/06	Moy Chatterjee, Jyotir;Saxena, Shailendra K.	English
91	Cardiovascular Applications of Stem Cells	9789819907212	9789819907229	Springer Singapore Pte. Limited	2023/05/18	Haider, Khawaja H.	English
92	Hepatitis e Virus	9789819913039	9789819913046	Springer Singapore Pte. Limited	2023/08/30	Wang, Youchun	English
93	Pseudotyped Viruses	9789819901128	9789819901135	Springer Singapore Pte. Limited	2023/04/16	Wang, Youchun	English
94	Stem Cell and Non-Stem Cell Components of Breast Milk	9789819906468	9789819906475	Springer Singapore Pte. Limited	2023/07/29	Somasundaram, Indumathi;Kaingade, Pankaj;Bhonde, Ramesh	English
95	Handbook of Cell and Gene Therapy : From Proof-Of-Concept Through Manufacturing to Commercialization	9781032257976	9781000864250	Taylor & Francis Group	2023/03/17	Aranha, Hazel;Vega-Mercado, Humberto	English
96	Regenerative Medicine : Unlocking Patient Access and Commercial Potential	9781032432960	9781000884890	Taylor & Francis Group	2023/05/01	Qiu, Tingting;Toumi, Mondher	English
97	Textbook of Ion Channels : Three Volume Set	9781032424286	9781003820239	Taylor & Francis Group	2023/07/06	Zheng, Ji'e;Trudeau, Matthew C.	English
98	Virus Detection	9780367618018	9781000868302	Taylor & Francis Group	2023/05/03	Wick, Charles H.	English
99	Change And Challenge In Human Structure - Sixty Years On: From Cutting And Counting, Through Mathematics, Mechanics, Molecules And Modelling, To Brain And Behaviour!	9789811262920	9789811262937	World Scientific Publishing Company	2023/05/22	Charles Oxnard	English
100	Prostasin In Human Health And Disease	9789811268144	9789811268151	World Scientific Publishing Company	2023/02/17	Li-mei Chen	English

資料20

キャリア支援セミナー
Basic 2024

① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析

② ビジネスマナーを身に付けよう

③ 履歴書・エントリーシート／自己 PR 対策

④ 選ばれるための面接対策

国際医療福祉大学

学籍番号	名前

国際医療福祉大学

目次

はじめに…… 1
学生の就職活動に関する心得…… 2

✧ **就職活動ガイド**
- キャリア支援センターについて…… 5
- IUHW キャリアサポートについて…… 7
- 各種事務手続き…… 11
- 個人情報の取り扱いについて…… 13

✧ **テキスト**

① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析
- ■ 就職活動の進め方…… 15
- ■ 自己分析・応募先分析…… 16
- ■ 求人票を見てみよう…… 19
- ■ 【参考】求人申込票…… 20

② ビジネスマナーを身に付けよう
- ■ 好印象を与えるマナーの基本…… 22
- ■ 言葉づかいの確認…… 24
- ■ 電話・メール・手紙のマナー…… 25
- ■ オンラインのマナー…… 29
- ■ 就職活動の場面では…… 30
- ■ 【参考】お礼状例文…… 32

③ 履歴書・エントリーシート／自己PR対策
- ■ 履歴書・エントリーシートの書き方…… 34
- ■ 大学履歴書・自己紹介書見本…… 36・37
- ■ 志望動機の書き方…… 38
- ■ 自己PR対策…… 40

④ 選ばれるための面接対策
- ■ 就職試験の面接とは…… 44
- ■ 面接の種類…… 45
- ■ 面接のポイントと対策…… 46
- ■ 自己分析をもとに話す内容を考えてみよう…… 50

✧ **資料・ワークシート**
- 【見本】履歴書・自己紹介書…… 56
- 【自己分析シート 1】自分の価値観を見つけよう…… 57
- 【応募先分析シート】病院・施設・企業 …… 58・59
- 【志望動機シート】…… 60
- 【自己分析シート 2】アピールポイントを見つけよう…… 61
- 【PREP 法練習シート】自己 PR を書いてみよう …… 62
- 【面接評価シート】…… 63

おわりに …… 64

キャリア支援センターについて

- 学生一人ひとりが満足できるキャリアを支援するため、キャリア支援センターを設置しています

◇就職・進学等キャリア支援体制

学科教員	キャリア支援センター
担任やチューター、ゼミ担当教員による、学生の希望や特性に応じた個別指導 専門職としてのサポート	就職・進路に関する情報提供 専任のキャリアコンサルタントによる、進路相談や実践的なサポート

就職・進学など進路に関する相談や質問は、学科の担当教員または、キャリア支援センターにお問い合わせください。

◇キャリア支援センターが行う各種サポート

サポート	内容
就職ガイダンス	就職活動の進め方、事務手続き 3・4年次(薬学部は5年次)に適宜実施しています。
キャリア支援セミナー	自己分析・応募先分析／ビジネスマナー／ 履歴書・エントリーシート対策／面接対策
就職試験対策	小論文／グループディスカッション／筆記試験
個別相談	進路相談／履歴書作成／模擬面接／小論文指導

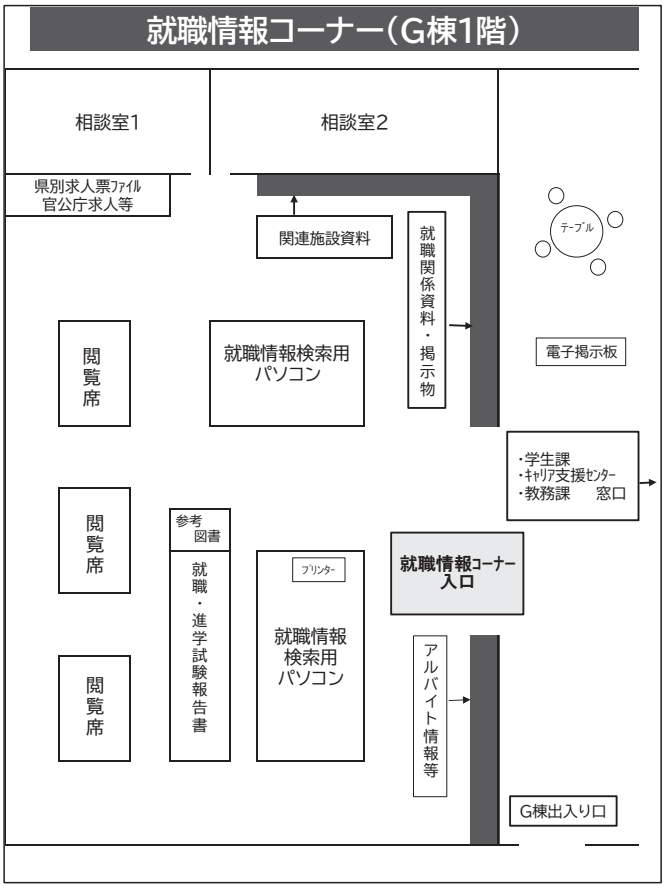
詳しくは、キャリア支援センター ホームページをご覧ください。

https://career.g.iuhw.ac.jp/

◆就職情報コーナー
・場所:G棟1階
・利用時間:平日および授業日 9:00～17:00



◇就職情報コーナー(利用時間 平日・授業日 9:00～17:00) ＊相談業務は平日のみ



【就職情報コーナーの資料】

- 求人票ファイル
- 就職・進学試験報告書ファイル
- 過去5年間の就職実績
- 本学関連施設資料
- 官公庁関係資料
- 各種イベント案内
- インターンシップ情報

【就職・進路に関する書類申請・届出について】

就職・進路に関する書類申請は学生課・教務課窓口で、報告等はWEBで受付けています。

【教務課窓口】成績証明書、卒業見込み証明書
【学生課窓口】健康診断書、推薦書、インターンシップ届
【オンライン】 進路希望登録、就職試験報告
進路決定届



資料21

2024年度版

キャリア支援ハンドブック

CAREER SUPPORT HANDBOOK

保護者編

国際医療福祉大学

目次

学長挨拶 1

Ⅰ 国際医療福祉大学におけるキャリア支援について 4

1. 就職・キャリアに関する情報提供

2. 「IUHW キャリアサポート」（就職支援システム）による支援

3. 就職ガイダンス・キャリア支援セミナーの開催

4. 個別相談

5. ハローワークとの提携

6. 就職支援資料冊子の作成・配布

Ⅱ 就職・キャリアに関する情報提供について ..... 5・6

【就職情報コーナー】

1. 場所、利用時間について

2. 常設の設備、資料等について

3. 求人票、就職・進学試験報告書、就職先情報ファイルの閲覧について

4. 関連施設情報コーナー

5. 参考図書

【IUHWキャリアサポート】本学学生専用就職支援システム

1. 情報の閲覧について

2. 個別相談予約について

3. 登録手続きについて

Ⅲ キャリア支援内容について 7

1. 学科別キャリア支援セミナー

2. 個別相談

Ⅳ 就職活動スケジュール ..... 8・9

Ⅴ 就職に関する事務手続きについて……10・11

1.「進路希望」（求職票）の登録

2.「入社試験情報」（就職・進学試験報告）の登録

3.「進路決定届」の登録

4.「推薦書」の発行

5.「内定辞退願」について

6.その他

Ⅵ 保護者の方へのお願い……12・13

1.学生の精神的支えとなってください

2.就職活動資金を援助してください

3.学生の意見や考えをよく聞いてください

4.選択肢の広がるようなアドバイスをしてください

5.学生の主体的な行動を応援してください

6.周囲と比較しないでください

7.学業成績のみで、就職できる・できないを判断しないでください

8.キャリア支援センターの利用を勧めてください

9.新聞を読み、情報収集するようアドバイスをしてください

10.ハローワークでも求人情報等が得られることをお伝えください

Ⅶ 国際医療福祉大学・高邦会グループへの就職について……14

Ⅷ 国際医療福祉大学大学院への進学について……15

国際医療福祉大学

キャリア支援ハンドブック【保護者編】

2023年12月1日　発行

発行　国際医療福祉大学
編集　国際医療福祉大学　学生課キャリア支援センター
〒324-8501　栃木県大田原市北金丸2600-1
TEL：0287-24-3003（学生課）

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）
目　次

（１） 新設組織の概要

① 新設組織の概要［名称，入学定員（編入定員），収容定員，所在地］ ---- 2

② 新設組織の特色 ---- 2

（２） 人材需要の社会的な動向

① 新設組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析 ---- 4

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析 ---- 6

③ 新設組織の主な学生募集地域 ---- 8

④ 既設組織の定員充足の状況 ---- 9

（３） 学生の確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標 ---- 10

イ 新設組織における取組とその目標 ---- 16

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，新設組織での入学者の見込み数 ---- 18

② 競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性 ---- 22

イ 競合校の入学志願動向等 ---- 35

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等 ---- 39

エ 学生納付金等の金額設定の理由 ---- 41

③ 先行事例分析 ---- 41

④ 学生確保に関するアンケート調査 ---- 42

⑤ 人材需要に関するアンケート 調査等 ---- 47

（４） 新設組織の定員設定の理由 ---- 53

学生の確保の見通し等を記載した書類

（1） 新設組織の概要

①新設組織の概要［名称，入学定員（編入定員），収容定員，所在地］

新設組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地（教育研究を行うキャンパス）
国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科	８０	－	３２０	栃木県大田原市北金丸 2600-1

②新設組織の特色

〇新設組織の特色及び養成する人材像

本学の教育理念、教育目的に則り、幅広く質の高い知識と技能、及び態度を備え、高い倫理観・探究心・向上心を持った医療人を養成する。それらの能力を生かし病院や検査センター、研究施設、そして、在宅医療などの医療現場で多様な求めや変化に応え活躍できる臨床検査技師の養成を目指す。

また、地域における医療等の現状と課題について理解し、チーム医療に携わり活躍できる医療人としての見識を早くから身につけるために、医学科、看護学科、薬学科等の学生とともに学ぶ関連職種連携教育を実施する。さらに、自らの世界観を育むとともに広い見識を持つため、海外研修や語学教育を通じて国際性を養う。これらにより、栃木県及び隣接する周辺地域はもとより、全国又は世界において活躍・貢献できる人材の養成を目指す。

加えて、臨床検査技師として多方面で活躍できるよう、新設組織では、専門領域に応じた資格の取得につながるカリキュラムを取り入れ、キャリア選択の幅を広げている。具体的には、希望する学生に対して、「細胞検査士」「遺伝子分析科学認定士」「医用質量分析認定士」などの資格取得につながる科目を開講して、専門の教員によるサポートを行う。また近年、世間の関心を集める「生殖補助医療」に関する授業を学部教育に取り入れ、卒業後の「胚培養士」資格の取得を視野に入れた教育を実践する。

以上の特色あるカリキュラムにより、社会的ニーズに応え、医療現場において活躍できる、専門的な知見と高度な技能を有した臨床検査技師の養成を目指す。

〇新設組織開設後の当該組織と関連する本学の既設組織の予定

医療福祉の総合大学である本学は、設置する全ての学部等において、所在地域及びその近隣地域からの医療福祉専門職に係る社会的需要に応え、医療福祉人材の地域偏在解消及び医療提供体制の確保に資することを社会に対する責任の一つと考える。

したがって、保健医療学部医学検査学科開設後も既設組織が所在する各地域の広域的な臨床検査技師の需要に応え続けることとしており、下記の２つのキャンパスにある既設の医学検査学科の改組を行う予定はない。

学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地（教育研究を行うキャンパス）
成田保健医療学部 医学検査学科	８０	－	３２０	千葉県成田市公津の杜 4-3
福岡保健医療学部 医学検査学科	８０	－	３２０	福岡県大川市榎津 137-1

また、栃木県大田原キャンパスには、医療福祉に関連する以下の既設組織が設置されているが、これらの学科についても改組等を行う予定はない。

学部・学科名	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地（教育研究を行うキャンパス）
保健医療学部	５３５	－	2,１４０	栃木県大田原市北金丸 2600-1
看護学科	１１５	－	４６０	
理学療法学科	１００	－	４００	
作業療法学科	８０	－	３２０	
言語聴覚学科	８０	－	３２０	
視機能療法学科	５０	－	２００	
放射線・情報科学科	１１０	－	４４０	
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	１４０	5	５７０	
薬学部 薬学科	１８０	－	1,０８０	

（2） 人材需要の社会的な動向

①新設組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析

令和 4 年度版厚生労働白書において、2040 年に医療・福祉分野の就業者数は 974 万人（総就業者数の 16%）と推計されている。他方、医療・介護サービスの 2018 年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた 2040 年の医療・福祉分野の就業者数は 1,070 万人（総就業者数の 18～20%）が必要となると推計されており、96 万人の差が生じているとの報告がなされた。この不足する 96 万人の中には医療福祉領域の専門職も含まれており、以前より多くの医療福祉職種の地域偏在、業態偏在が課題とされる中で、地域医療や地域包括ケアシステムを担う人材をそれぞれの地域の実態に合わせて養成することは重要であるといえる。

次に栃木県の実態について記述する。厚生労働省の令和 2 年度医療施設静態調査によると、大田原キャンパスが所在する栃木県において 2020 年の人口 10 万人あたりの臨床検査技師数は病院で 40.82 人、診療所で 8.79 人であり、全国平均の病院 43.73 人、診療所 9.97 人に比較していずれも低値にとどまっている。とりわけ注目すべきことは、2017 年から 2020 年にかけて、人口 10 万人あたりの医療機関における臨床検査技師数が全国平均では 52.77 人から 53.71 人とやや増加傾向であるに対し、栃木県は 54.71 人から 49.61 人と減少していることである。このことから、栃木県では臨床検査技師が不足しており、少なくとも近年は減少傾向にあるといえる。（資料１）

加えて、厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」によると、主として臨床検査技師が担っている特定健康診断業務について、2021 年の対象者数及び受診者数(受診率)をみると、栃木県の対象者数(人口に占める対象者の割合)は 857 千人(45.6%)、うち受診者数（受診率）が 484 千人（56.5%）であった。一方全国の対象者数は 53,802 千人（43.8%)、うち受診者数は 30,240 千人（56.2%）であった。栃木県においては全国に比べても対象者数の割合が多く、健康に対する意識は高いことがわかる。（資料２）

また、国立社会保障・人口問題研究所の 2023 年公表資料「日本の将来推計人口」及び「日本の地域別将来推計人口」によると、栃木県の 65 歳以上人口の割合は、新設組織の開設予定年である 2025 年に 31.2%（約 582 千人)、2030 年に 32.6%（約 587 千人)、2040 年には 36.9%（約 612 千人）と推計される。全国では、2025 年 29.6%、2030 年 30.8%、2040 年には 34.8%であるため、栃木県においては高齢化のスピードは全国よりも早いことがわかる。さらに、この公表資料では、今後も全国的かつ長期的に高齢化が進行し 65 歳以上人口の割合が増加傾向にあることが述べられている。（資料３）

すなわち、栃木県は全国に比べても 65 歳以上人口の割合が高いだけでなく、健康意識も高いため、今後、臨床検査技師が中心的役割を担っている特定健康診断業務や医療機関における各種検査業務は確実に増加すると考えられるものの、栃木県内ではそれに見合う臨床検査技師数の増加が見込めないのが現状であるといえる。

適切な治療の提供及び予防医学の観点から病気の早期発見及び早期治療を行うことが必要であり、そのためには臨床検査業務を担う臨床検査技師の確保は必要不可欠である。にもかかわらず、臨床検査技師数の減少が見られる栃木県においては、修業年限3年、入学定員も20名と少ない専門学校の栃木県立衛生福祉大学校の1校のみであり、4年制の養成施設はなく、人材供給の面で課題を抱えているのが現状である。(近隣地域の臨床検査技師養成学校は以下表のとおり)

◆北関東及び東北地域の臨床検査技師養成学校

学校名	所在地	設置者・学校種	修業年限	入学定員
栃木県立衛生福祉大学校	栃木県	公立専門学校	3年制	20名
つくば国際大学	茨城県	私立大学	4年制	80名
群馬パース大学	群馬県	私立大学	4年制	60名
群馬医療福祉大学	群馬県	私立大学	4年制	40名
福島県立医科大学	福島県	公立大学	4年制	40名
筑波大学	茨城県	国立大学	4年制	37名
群馬大学	群馬県	国立大学	4年制	40名
東北大学	宮城県	国立大学	4年制	37名
弘前大学	青森県	国立大学	4年制	40名

一方、臨床検査技師自体の役割についても変化が見られる。近年、医師の働き方改革などとも関連して、「医師の業務のタスク・シフト/シェア」を進めていくうえで、現行制度の下でも実施可能な業務が厚生労働省の検討会において選定された※。このタスク・シフト/シェアの推進に関連して、今後も臨床検査技師による業務の範囲は確実に広がると想定される。そのため、より広がる業務範囲をカバーできる臨床検査技師の必要性が着実に高まることが見込まれる。

加えて現代では、医師の知識と経験のみに基づき触診・診察していた時代と異なり、まずは患者の細かなデータを取得し、その解析に基づき治療方針を立てることが主流である。したがって、臨床検査等の重要性が高まっており、それを行う臨床検査技師の需要も増すものと考える。そのため、高度な専門的知識や技術を体系的に学ぶことのできる4年制臨床検査技師養成の意義及び必要性は大きいものといえる。

※「法令改正を行いタスク・シフト/シェアを推進する業務」が分別され、2021年10月から臨床検査等の業務を含んだ「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が施行されている。これらには、心臓・血管カテーテル検査装置の操作・持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定、血液製剤の洗浄・分割、血液細胞(幹細胞など)・胚細胞に関する操作、救急救命処置の場における補助行為の実施、細胞診や超音波検査等の検査所見の記載、造影超音波検査のための操作、生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本などの所見報告書の作成、病理診断における手術検体等の切り出しや画像解析システムの操作、誘発電位検査、直腸肛門機能検査などの専門的かつ高度な知識と技術を要する検査も含まれる。

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析

中央教育審議会の第 175 回（2023 年 10 月 25 日）大学分科会の議題（２）「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」の関連データ集にて、全国における 18 歳人口の将来推計が示されている。

それによると、2023 年現在の全国における 18 歳人口は約 112 万人（総務省統計局調べ）であるが、本学の保健医療学部医学検査学科の開設時にあたる 2025 年には約 109 万人（2023 年比 97.3%）に、そして開設から 10 年後の 2034 年は約 102 万（同 91.1%）へと、徐々に減少すると予測されている。（18 歳人口の推移は表１のとおり）

表１．全国における 18 歳人口の将来推計【単位：万人】

年	2023	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
計	112	109	110	109	108	108	106	104	104	102	102
指数(%)	100.0	97.3	98.2	97.3	96.4	96.4	94.6	92.9	92.9	91.1	91.1

※中央審議会大学分科会（第 175 回）資料を参照し本学で編集した
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/index.htm
※指数は 2023 年を 100%とした際の比率（当該年 18 歳人口計/2023 年 18 歳人口計）を記載

また、リクルート進学総研の「マーケットリポート Vol.109（2023 年２月号)」にて、保健医療学部医学検査学科の主たる学生募集地域である北関東（茨城県・栃木県・群馬県）及び東北（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）地域の 18 歳人口の調査結果が報告された。

これによると、北関東地域における 18 歳人口は、2023 年現在 61,863 人であり、2025 年に 60,700 人（2023 年比 98.1%、以下同じ。)、2034 年には 52,331 人(同 84.6%)になり、１年あたり平均で約 840 人ずつ減少すると予測されている。

東北地域においても同様に、2023 年現在 75,379 人、2025 年に 73,013 人（同 96.9%)、2034 年には 63,247 人（同 83.9%）になり、１年あたり平均で約 980 人ずつ減少すると予測される。（学生募集地域の 18 歳人口の推移は表２のとおり）

表２．学生募集地域における 18 歳人口の将来推計【単位：人】

地域	年	2023	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
北関東	人数	61,863	60,700	60,209	59,436	58,597	57,094	55,597	54,919	53,598	53,611	52,331
	指数(%)	100	98.1	97.3	96.1	94.7	92.3	89.9	88.8	86.6	86.7	84.6
東北	人数	75,379	73,013	72,013	70,749	68,816	68,461	66,576	65,266	65,444	63,794	63,247
	指数(%)	100	96.9	95.5	93.9	91.3	90.8	88.3	86.6	86.8	84.6	83.9

※リクルート進学総研の「マーケットリポート Vol.109（2023 年２月号)」を参照し本学で編集した
※指数は 2023 年を 100%とした際の比率（各年 18 歳人口計/2023 年 18 歳人口計）を記載

以上のとおり、全国及び学生募集地域における 18 歳人口は年々少しずつ減少する傾向にある。一方、学校基本調査によると、2023 年現在の 18 歳人口約 112 万人のうち約 63 万人（約 56.2%）が大学に進学している。また、前掲の大学分科会資料では、17 年後の 2040 年における高校卒業後の大学進学率の予測が 59.61%と示され、今後も上昇傾向であることが述べられている。

これらのデータをもとに、2025 年から 2034 年までの高校卒業後の大学進学者数（2023 年比）を推測すると、全国では 2025 年に約 61.7 万人（約 97.9%）、2034 年には約 59.6 万人（約 94.6%）となった。

また、大田原キャンパスの学生募集地域のうち北関東地域についてみると、2025 年が約 3.3 万人（2023 年比：約 98.2%、以下同じ。）、2034 年が約 2.8 万人（同約 85.0%）となり、東北地域では、2025 年が約 3.2 万人（同約 97.4%）、2034 年が約 2.8 万人（同約 86.3%）となった。（詳細は表 3 のとおり）

したがって、2034 年にかけても進学率の微増傾向が続き、進学者数が 2023 年比でも 85%～95%程度を維持していることを鑑みると、少なくとも今後 10 年以上にわたって 18 歳人口の減少幅は学生募集活動をさまたげるほどの支障はないと考える。

表 3．2025 年以降の 18 歳人口における進学者数の推移予測

	年	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
全国	進学者数	61.7 万人	62.5 万人	62.1 万人	61.8 万人	62.0 万人	61.1 万人	60.1 万人	60.3 万人	59.4 万人	59.6 万人
	進学率	56.6%	56.8%	57.0%	57.2%	57.4%	57.6%	57.8%	58.0%	58.2%	58.4%
	2023 年比	97.9%	99.2%	98.6%	98.1%	98.4%	96.9%	95.4%	95.7%	94.2%	94.6%
北関東	進学者数	33,321 人	33,064 人	32,653 人	32,204 人	31,391 人	30,580 人	30,219 人	29,504 人	29,522 人	28,829 人
	進学率	54.89%	54.92%	54.94%	54.96%	54.98%	55.00%	55.02%	55.05%	55.07%	55.09%
	2023 年比	98.2%	97.4%	96.2%	94.9%	92.5%	90.1%	89.1%	86.9%	87.0%	85.0%
東北	進学者数	32,567 人	32,202 人	31,717 人	30,928 人	30,846 人	30,072 人	29,554 人	29,708 人	29,032 人	28,854 人
	進学率	44.60%	44.72%	44.83%	44.94%	45.06%	45.17%	45.28%	45.40%	45.51%	45.62%
	2023 年比	97.3%	96.3%	94.8%	92.4%	92.2%	89.9%	88.3%	88.8%	86.8%	86.2%

※進学者数及び進学率は、リクルート進学総研「マーケットリポート Vol.109（2023 年 2 月号）」及び「中央審議会大学分科会（第 175 回）資料」を参照し本学で編集した

※進学率の上昇値は［(2040 年進学率－2023 年進学率）/17］で算出した次の値を用いる。
全国=0.2 ポイント、北関東=0.02 ポイント、東北=0.11 ポイント

※2023 年比（各年進学者数/2023 年進学者数）は、2023 年進学者数に占める各年進学者数の割合を示す

上述した大学進学者推移をもとに、新設組織「医学検査学科」に近接する学問分野を持つ大田原キャンパス既設組織「視機能療法学科」及び「放射線・情報科学科」の志願者数をみてみる。

まず、2023 年 4 月入学生選抜試験では、両学科の合計入学定員数 160 人に対して、志

願者数 832 人、志願倍率 5.20 倍であった。文部科学省中央教育審議会データ集による進学率をもとに推測すると、2025 年度では志願者数は約 817 人、志願倍率は約 5.11 倍、2034 年度には同約 707 人、約 4.42 倍程度になるものと見込まれる。（志願者の推移は表４のとおり）

さらに、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」では、2023 年度入学者における全国保健系学部（医学部を除く）の志願倍率は 4.22 倍であると報告がなされている。前述のとおり、本学の志願倍率は 5.20 倍であり、全国平均よりも高水準となっている。これは、保健系学部が国家資格に結びついていることから安定的な志願者確保が見込まれること、そうした中においても、本学の医療福祉に特化した教育が社会から理解され、信頼されていること、が理由であると考えられる。

このように、新設組織と近接する学問分野を持つ大田原キャンパス既設組織においては、18 歳人口が減少する中ではあるが、10 年後の 2034 年度においても、前述の 4.22 倍を上回る志願倍率が見込まれるため、新設組織でも堅調に定員を充足できるものと考える。

表４．本学大田原キャンパス視機能療法学科及び放射線・情報科学科の志願者推移予測

実施年度	2023	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
志願者数	832	817	811	801	790	770	750	741	723	724	707
志願倍率	5.20	5.11	5.07	5.00	4.93	4.81	4.69	4.63	4.52	4.52	4.42

※2025 年度以降の志願者数は、2023 年度の志願者数に、表３で示した北関東地域の「2023 年比」を乗算して求めた

③ 新設組織の主な学生募集地域

新設組織「保健医療学部医学検査学科」においても、大田原キャンパスに設置する全ての既設組織と同様に、北関東（茨城県・栃木県・群馬県）及び東北（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）を主な学生募集地域としている。

別紙１のとおり、大田原キャンパス既設組織における 2023 年４月入学者の出身高校所在地別の構成比（上位５都道府県）は、栃木県 42.2%（369 人）、茨城県 17.5%（153 人）、福島県 14.9%（130 人）、岩手県 3.2%（28 人）、群馬県 2.9%（25 人）、合計 80.6%（705 人）が北関東及び東北地域の出身者で占められている。また、出身地別の構成比率においても、長年にわたって大きな変動はなく、引き続き栃木県を中心とした近隣地域の出身者が主な入学者になるものと考える。

以上の実績をふまえて、本学入学者が多い地域で、（３）①アで後述する学生募集活動を計画的に行うこととしており、さらにこれまでも安定して入学定員を充足し続けている実績があることから、新設組織の学生募集地域を北関東及び東北地域に設定することは妥当であるといえる。

④ 既設組織の定員充足の状況

別紙２のとおり、2018 年度から 2023 年度までの５年間において、大田原キャンパスを含む本学の全てのキャンパスの既設組織が収容定員充足率概ね 100％を確保している。

医学検査学科を新設する大田原キャンパスの既設組織８学科（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科、医療福祉・マネジメント学科、薬学科）の直近 2023 年度入学試験においては、入学定員 855 人に対し、志願者総数 3,290 人（倍率：約 3.85 倍)、入学者総数 874 人（充足率：約 102％）であった。

また、前述（２）②のとおり、将来的に全国の 18 歳人口は減少傾向であるが、同時に大学進学率は上昇傾向にある。そのため、少なくとも 2034 年までは 18 歳人口の減少幅は学生募集活動に大きく支障を及ぼすほどにはないと考える。加えて、国家資格に結びついている保健系学部は多系統の学部より志願倍率が安定しており、18 歳人口の減少が更に進んだとしても比較的その影響が少ないと思われる。

したがって、（３）①アで後述する学生確保に関して、確かな実績のある広報及び募集活動をとおして、入学試験において適正な競争が担保できる十分な志願者数の確保ができ、今後も定員相当数の入学者数の確保が可能であると考える。

（3）学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

本学では、学生募集の取組として、各種学生募集イベントの開催、高等学校への訪問や様々な情報媒体を活用して次のとおり実施している。（オープンキャンパス及び地方説明会の実績は別紙３のとおり）

１）各種学生募集イベント

本学は医療福祉系分野の大学であるため、オープンキャンパスなどの各種イベントにおいても医療専門職の資格取得を目指す参加者が大部分を占めている。資格取得については、実習参加を含む特長的なカリキュラムのもと学修を進めることを説明し、参加者が専門教育及び大学生活を具体的にイメージできるよう工夫している。

さらに、イベントで得られた要望をフィードバックし、学科教員及び在学生とも密に連携しながら、模擬授業や学科説明会・相談会を実施するなど、十分な理解のうえ入学できるよう充実を図っている。

学生募集イベント参加者の多くは、本学に興味関心を持つ者であり、ある程度自らの進路について理解している。それでも参加者が入学前と後で大学生活にギャップを感じることがないよう細心の注意を払い、教育環境を始めとした大学の空気感を伝えつつ、これらの取組を通じて志願者数の確実な増加につなげることを目標とする。

○オープンキャンパス

コロナが拡大していた期間を除いて、例年３～８月にかけて、４～５回程度のオープンキャンパスを実施している。オープンキャンパスでは、高校生とその保護者に対して、大学・学科説明や進学・入試相談、受験対策講座、各種展示、キャンパスツアーや個別相談などのイベントをとおして、本学の特色や学生生活についての理解に繋げている。

2022 年度に実施したオープンキャンパスの参加者数は、大田原キャンパス 5,519 人（2,851 組）、成田キャンパス 3,320 人（1,840 組）であった。大田原キャンパスにおいては、栃木県北部にあり、アクセスは必ずしも良いとはいえないものの、県内及び近隣地域から多くの参加者が来ている。今後もオープンキャンパス参加者数の維持に向けて継続的に取り組む予定であり、大田原キャンパスでは 6,000 人、成田キャンパスでは 4,000 人の参加者数を目指す。

本学における既設組織のなかで、保健医療学部医学検査学科と最も近接する学科である大田原キャンパス「視機能療法学科」「放射線・情報科学科」及び、成田キャンパス「放射線・情報科学科」「医学検査学科」のオープンキャンパスに関する取組について記述する。

（大田原キャンパス）

2022 年度に実施した本学大田原キャンパスのオープンキャンパスの参加者数は 5,519 人であった。そのうち 2023 年 4 月入学生選抜試験の受験対象者数（高校 3 年生及び既卒者）は 1,070 人、受験者数が 691 人、受験率（受験者数/受験対象者数）は 64.6%、入学者数が 525 人、入学率（入学者数/受験対象者数）は 49.1%であった。

また、新設組織と近接する学問分野を持つ既設組織についてみると、視機能療法学科の参加者数は 78 人、そのうち受験対象者数が 41 人、受験者数は 34 人（受験率：82.9%）、入学者数は 31 人（入学率：75.6%）であった。また、放射線・情報科学科の参加者数は 318 人、そのうち受験対象者数 159 人、受験者数は 105 人（同 66.0%）、入学者数は 56 人（同 35.2%）であった。

さらに、2023 年 4 月入学生選抜試験において、視機能療法学科の受験者数は 106 人、放射線・情報科学科の受験者数は 720 人であった。この人数は 2022 年度オープンキャンパス参加者数のうち視機能療法学科の受験者数 34 人の 3.1 倍、放射線・情報科学科の受験者数 105 人の 6.9 倍であり、したがってオープンキャンパスに参加していない視機能療法学科及び放射線・情報科学科の志願者が相当数いることが分かる。

◆大田原キャンパス　オープンキャンパス参加者の受験・入学状況

2022 年度オープンキャンパス			2023 年 4 月入学生選抜試験	
学科	参加者数	参加者のうち高校 3 年生及び既卒者数	受験者数	入学者数
参加者数（全体）	5,519 人	1,070 人	691 人	525 人
視機能療法学科	78 人	41 人	34 人	31 人
放射線・情報科学科	318 人	159 人	105 人	56 人

（成田キャンパス）

2022 年度に実施した本学成田キャンパス（医学部除く）のオープンキャンパスの参加者数は 3,320 人であった。そのうち 2023 年 4 月入学生選抜試験の受験対象者数は 1,148 人、受験者数が 571 人（受験率：49.7%）、入学者数が 222 人（入学率：19.3%）であった。

新設組織と近接する学問分野を持つ既設組織についてみると、医学検査学科の参加者数は 399 人、そのうち受験対象者数が 177 人、受験者数は 104 人（同 58.7%）、入学者数は 47 人（同 26.6%）であった。

さらに、2023 年 4 月入学生選抜試験において、医学検査学科の受験者数は 457 人であった。この人数は 2022 年度オープンキャンパス参加者数のうち医学検査学科の受験

者数 104 人の 4.4 倍であり、したがってオープンキャンパスに参加していない医学検査学科及び放射線・情報科学科の志願者が相当数いることが分かる。

◆成田キャンパス　オープンキャンパス参加者の受験・入学状況

2022 年度オープンキャンパス（医学部除く）			2023 年 4 月入学生選抜試験	
学科	参加者数	参加者のうち高校 3 年生及び既卒者数	受験者数	入学者数
参加者数（全体）	3,320 人	1,148 人	571 人	222 人
医学検査学科	399 人	177 人	104 人	47 人

以上のとおり、本学ではオープンキャンパス等への参加から実際に入学するまでの間、一人一人の情報を一元的に管理し、入学者数予測の精度向上につなげる体制を構築していること、分野が医療福祉系に限定されていることから進路分析が行いやすい利点があること、などからオープンキャンパス等を経て実際に入学するコアな人数をある程度正確に予測している。このため、オープンキャンパス等の広報活動を通じて、入学試験において適正な競争が担保できる十分な志願者を確保すること及びその結果として入学定員確保を最低限の目標としている。

○学外進学イベント

１月～３月にかけて、進学関連企業が開催する進学イベントに参加し、主に新３年生を対象に関東圏を中心とした様々な地域において、大学全体の概要説明及び進学相談などを行っている。本イベントでは、医療福祉専門職を目指す高校生（新３年生）に対して、医療福祉系大学への進学や大学での学修などについて、具体的にイメージできるよう説明を行う。

○地方会場での個別相談及び説明会（大田原キャンパスのみ実施）

５月～７月にかけて、（３）②アで後述する地方入学試験会場を設置する主要都市５か所を中心に、高校生及びその保護者を対象とした個別相談及び説明会を実施している。説明会は学科ごとに開催し、各会場では学科教員１～２名及び職員３～４名が、各キャンパスの同じ学問分野の学科も含めて総合的に説明を行い、オンライン相談なども含めて参加者のニーズに合わせて柔軟に対応している。ちなみに、2022 年度に実施した大田原キャンパス既設組織の説明会には 139 名の参加者があり、そのうち 111 名が３年生及び既卒者であった。

説明会の開催については、直接校高校生や保護者からの意見を聞くことができる機

会であり、実施内容の充実を図りながら、現在と同程度の開催回数を維持しつつ、参加者数を増加させることとしている。

２）高等学校への訪問

本学では、高等学校長などの経験者を、主に学生募集や高等学校などへの訪問を担当する専任職員として採用している。担当職員は、高等学校や予備校等とのパイプ役として密接に情報交換を行っている。

現在、青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県・静岡県を担当する 19 人の職員がおり、大田原キャンパスで 11 人、成田キャンパスで３人、小田原キャンパスで３人、東京赤坂キャンパスで２人が活動している。彼らは募集活動として、高等学校を訪問するだけでなく高大連携事業や本学教員による出張授業など、関係を強化する取組の推進にもかかわっている。

高等学校への訪問は、１年間を５つの期間に分け、各時期に応じた目的のもと、計画的に入学試験の案内、イベント案内などを行っている。2023 年度においては、それぞれのキャンパスの学生募集地域である関東・東北・甲信越地域に所在する高等学校を中心に、Ⅰ期～Ⅴ期で延べ 3,392 校（大田原 2,785 校、成田 607 校）へ訪問を実施している。年々訪問校数を増やしており、今後も同地域を中心に訪問を実施する予定である。

加えて、これらの訪問には学科教員も同行し、学科の３つのポリシーやカリキュラムなどに関して具体的に説明することとしており、まずは本学に興味や関心を持ってもらい、出願の機会につなげるよう尽力している。このように、本学では多数の高等学校への訪問を通じて、進路指導教員などとの強固な信頼関係を築いており、これらが安定的な学生募集に繋がっているものと考えている。

以上のとおり、高等学校への訪問は、本学の各種イベントへの参加がない高校生を含み、幅広く本学の活動について発信し知ってもらう、いわゆる広報的な要素をもつ機会である。引き続き計画的かつ精力的な訪問を行い現在の訪問校数を維持すると同時に、徐々に訪問校数を拡充して志願者数のさらなる確保を目標としている。

◆高等学校訪問スケジュール

実施時期	目的	配付資料
Ⅰ期（５月～６月）	新年度挨拶 パンフレット配布 ６月オープンキャンパスの案内	新年度パンフレット イベント案内
Ⅱ期（７月～８月）	大学及び学科、入学試験説明 志願者調査 ８月オープンキャンパスの案内	学生募集要項 イベント案内
Ⅲ期（９月～10 月）	入学試験説明・アドバイス 志願者調査	入学試験ガイド 本学赤本
Ⅳ期（11 月～12 月）	高等学校教員に入学試験結果の説明 出願御礼及び出願促進の依頼	入学試験カレンダー イベント案内
Ⅴ期（２月～３月）	出願御礼 ３月オープンキャンパスの案内	イベント案内

３）情報媒体の活用

○本学ウェブサイト・SNS 等の活用

本学ウェブサイトにおいて、受験生及び保護者向けに、オープンキャンパス等の各種イベント情報や、入学試験の情報などを集約した特設ページを設けている（WEB サイト URL：https://admissions.iuhw.ac.jp/index.html）。

特設ページをはじめとして大学ウェブサイトは、受験生が本学の情報を得る要になるため、特にイベント及び入学試験の概要や各種日程等に関する情報の充実に加え、各医療福祉専門職の職種理解を深めるための情報を発信するなど、常に新しい情報を更新するよう努めている。

また、X（旧 Twitter）や Instagram などの SNS を活用した情報発信も行っている。オープンキャンパスやガイダンスなどの学生募集に関するイベント情報、入学試験の日程や出願スケジュールなどを積極的に発信している。

加えて、大学内での学生の様子や、入学式・卒業式、学園祭など行事の雰囲気が伝わるよう写真やショート動画を YouTube などに多く投稿し、受験生や保護者が本学での学生生活について、具体的なイメージを持つことができるよう努めている。なお、2023 年度における本学ウェブサイトのアクセス数及び、SNS 登録者数・情報配信数は以下のとおりである。

◆ウェブサイトのアクセス数※　（集計期間：2023 年４月～2024 年１月）

大田原キャンパス：1,169,829 件、約 3,205 件/１日（2022 年度：1,309,500 件）

成田キャンパス　：1,949,574 件、約 5,341 件/１日（2022 年度：2,192,982 件）

※本学はウェブサイトのアクセス数を Google Analytics により取得しているが、2022 年７月にアクセス数の集計方法において仕様変更がなされた。このため、前年度よ

りアクセス数が減少しているものと推測される。また、合計 300 万件（1 日あたり約 8,200 件）を超えるアクセス数があることは、本学に対する関心の高さを表すものと考える。

SNS においては、多くの「いいね」数を集め特に反応が良い投稿（オープンキャンパス、学園祭や卒業式・入学式などの各種イベントや行事の様子、授業風景やサークル活動など大学生活が垣間見える写真など）を中心に、1 週間に 1 回以上の投稿を目標として積極的に発信している。また、入学試験やイベント情報の案内は、出願・試験日及び受付開始日の 1 か月半前を目安に告知を行い、受験生や保護者に興味関心を持ってもらえるよう努めている。

◆SNS の登録者数・情報配信数

【X（旧 Twitter)】

大田原キャンパス：登録者数 3,615 人、総投稿数 1,904 件

成田キャンパス　：登録者数 1,694 人、総投稿数 578 件

【Instagram】

大田原キャンパス：登録者数 1,373 人、総投稿数 425 件

ウェブサイトや SNS は受験生が進学先を知るための重要な情報源となっているため、引き続き内容に工夫を行い、コンテンツの充実を図って、アクセス数の向上に努めることとしたい。

○パンフレット

パンフレットでは、各学科のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー及び特長、入試日程、入学試験の概要等に関する情報等について限られた紙面の中でわかりやすくまとめる。パンフレットは、本学に対するすべての資料請求者及び全国の高等学校、主要予備校、学習塾等に配布している。また、本学ウェブサイト内でもデジタルパンフレットとして閲覧できるようにしている。

○受験雑誌・新聞広告

受験雑誌により、各学科の特長、入試日程、入学試験の概要等に関する情報を周知している。また、新聞広告を一社に限定せず、様々な新聞社に掲載している。そこでは、各学科の進学説明会等と連動し、各職種の職業理解、将来性、本学の教育の特長について理解が深まるような内容を掲載している。

これらの大学情報が一元化された媒体によって、主に受験生の保護者や家族などを対象に幅広く広報を行うことで、受験生が本学を知るきっかけを作ることを目標とする。紙媒体から電子媒体に移行しつつあるが、未だ紙媒体からの情報で本学進学を決めたとの声もあることから、当面の間は現状を維持してパンフレット・受験雑誌・新聞広告を活用する予定である。

イ　新設組織における取組とその目標

新設組織「保健医療学部医学検査学科」においても、前述ア（既設組織における取組とその目標）と同様の取組を次のとおり実施予定である。今までの広報活動（各種学生募集イベント、高等学校への訪問、ウェブサイト/SNS 及びパンフレットでの紹介）などを振り返りながら、とりわけオープンキャンパスに注力して、学生募集活動に取り組むこととしている。

１）各種学生募集イベント（2024 年度予定）

〇オープンキャンパス・学内説明会

大田原キャンパスでは、３月～10 月にかけて９回のオープンキャンパス、５月～11 月にかけて８回の学内説明会を開催予定である。新設組織に就任予定の教員陣が、学科の特長、教育内容及び３つのポリシー（アドミッション、ディプロマ、カリキュラム）を丁寧に説明する。加えて、長年にわたって大学病院などの医療機関で臨床検査技師として勤めている教員が、臨床検査技師の臨床現場における役割や検査業務をはじめとした全般的な業務内容を丁寧に説明する。

これらの取組により、参加者が新設組織の養成する人材像を具体的にイメージできるように努め、本学への受験及び入学の機会につなげることを目標とする。

〇学外進学イベント

１月～３月にかけて、８回ほど進学関連企業が開催する進学イベントに参加し、学科の概要説明及び進学相談などを行う。本イベントは、開催時期から高校３年生に進級する者を主な対象と想定している。そのため、特に本学の入試制度や学修内容に関する内容を充実させて、受験及び進学の具体的なイメージにつなげて、志願者及び入学者の確保することを目標とする。

〇地方会場での説明会

４月～７月にかけて、11 県 17 か所（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、新潟県、長野県）で実施を予定している。各会場では、学科教員１～２名及び職員３～４名がオンライン相談なども含めて対応し新設組織の紹介などを行う。

〇オンライン説明会

新設組織の紹介に特化したオンライン説明会を実施している。2023年11月から2024年2月までに8回開催しており、合計で77人の高校2年生の参加があった。今後も定期的に説明会を開催予定であり、既に医学検査学科に興味関心を寄せている高校生を含む者に対して、幅広く学科や教育内容などの説明や紹介を行う。

２）高等学校への訪問

前述アと同様の計画で、学科教員及び専任職員による高等学校の訪問を予定している。高等学校への訪問は、各種イベントへの参加のない高校生に対しても広く情報を発信できる機会であるため、2023年度よりも訪問校数を増やして、新設学科の説明や紹介、入学試験の案内、イベント案内など精力的に行う。これにより、本学に興味や関心を持ってもらい、出願の機会に結びつけることを目標とする。

３）情報媒体の活用

〇本学ウェブサイト・SNS等の活用

新設の医学検査学科に関する特設ウェブサイトを作成しており、新設学科の情報やや教育内容などを積極的に発信している。また、新設学科のイメージにつながるよう、既設の医学検査学科（成田・大川）の紹介動画をYouTubeなどに掲載している。

また、X（旧Twitter）やInstagramなどのSNSを活用して、オープンキャンパスやガイダンスなどの学生募集に関するイベント情報、入学試験の日程や出願スケジュールなどを発信していく。また、新設学科と関連性の高いイベントなどを多く発信して、他学科志望の高校生にも関心を持ってもらうよう努める。加えて、過去の投稿からキャンパス風景や学内の様子の記事に対する反応が高いため、医学検査学科の設備などが導入されるタイミングなどで随時情報発信を行う。

以上の取組をとおして、新設学科の学生募集のためのPR活動を実施する。

学生募集活動に関する以上の取組を本学既設の医学検査学科（成田、大川）をはじめとした医学科、薬学科、看護学科など、多様な学科で培ったノウハウや積み上げてきた実績をふまえて計画的かつ効果的に行っていく。これにより、入学試験において適正な競争が担保できる十分な志願者を確保すること及びその結果として入学定員確保を最低限の目標としている。

ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく，新設組織での入学者の見込み数

入学後の調査により、イベント参加者における受験者数及び入学者数を結びつけることができる「オープンキャンパス」及び「地方説明会」の実績をもとに、新設組織での入学者の見込み数を以下のとおり求めた。

なお、新設組織での入学者の見込み数を計算するために用いる数値は、新設組織を設置する大田原キャンパスでのイベント実績をもとに算出している。

〇オープンキャンパス

（大田原キャンパス）

2022 年度オープンキャンパスにおける大田原キャンパス既設組織「視機能療法学科」「放射線・情報科学科」の実績をもとに、新設組織で見込まれる入学者数を計算する。まず、両学科の合計入学定員数 160 人に対して、2.48 倍である 396 人の参加者があった。そのうち受験対象者数は 200 人（受験対象者率＝受験対象者数/参加者数：50.5%）、受験者数は 139 人（受験率：69.5%）、入学者数は 87 人（入学率：62.6%）であった。これらの倍率及び割合を新設組織の入学定員などに当てはめると、新設組織で見込まれる入学者数は 44 人ほどになるものと推計できる。計算式及び計算過程は以下のとおりである。（表 1 参照）

計算式

ⅰ参加者見込数＝新設組織の入学定員（80）×既設 2 組織の参加倍率（2.48）
ⅱ受験対象者見込数＝ⅰ×既設 2 組織の受験対象者率（50.5%）
ⅲ受験者見込数＝ⅱ×既設 2 組織の受験率（69.5%）
ⅳ入学者見込数＝ⅲ×既設 2 組織の入学率（62.6%）

上述した計算式に当てはめると次のとおりである。

ⅰ参加者見込数　　80 人×2.48 倍＝198 人
ⅱ受験対象者見込数　198 人×50.5%＝100 人
ⅲ受験者見込数　　100 人×69.5%＝ 70 人
ⅳ入学者見込数　　70 人×62.6%＝ 44 人

以上のとおり、オープンキャンパスをとおして、新設組織の入学者を最低でも「44 人」は確保できるものと見込んでいる。また、この入学者の見込数は、前述ア（既設組織における取組とその目標）で示した、成田キャンパス既設組織「医学検査学科」の 2022 年度オープンキャンパスを通じた 2023 年 4 月入学者実績 47 人とも近しいことから、本学の傾向及び実績に沿ったものであると考える。（表 2 参照）

表１．オープンキャンパスをとおして新設組織で見込まれる入学者数等の推計

	A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/C	E/D
項目	入学定員	参加者数	Bのうち受験対象者数	Cのうち受験者数	Dのうち入学者数	参加倍率	受験対象者率	受験率	入学率
単位	【人】	【人】	【人】	【人】	【人】	【倍】	【%】	【%】	【%】
①視機能療法学科	50	78	41	34	31	1.56	52.6	82.9	91.2
②放射線・情報科学科	110	318	159	105	56	2.89	50.0	66.0	53.3
合計(①～②)	160	396	200	139	87	2.48	50.5	69.5	62.6
医学検査学科(見込数)	80	198	100	70	44				

表２．保健医療学部医学検査学科の入学者見込数と成田保健医療学部医学検査学科のオープンキャンパスを通じた実績の比較

オープンキャンパス				入学生選抜試験	
学部・学科	入学定員	参加者数	参加者のうち受験対象者数	受験者数	入学者数
保健医療学部 医学検査学科(見込数)	80 人	198 人	100 人	70 人	44 人
成田保健医療学部 医学検査学科(実績)	80 人	399 人	177 人	104 人	47 人

※成田保健医療学部医学検査学科の実績は 2022 年度オープンキャンパス及び 2023 年４月入学生選抜試験の実績を記載する

○地方説明会

2022 年度地方説明会における大田原キャンパス既設組織「視機能療法学科」「放射線・情報科学科」の実績をもとに、新設組織で見込まれる入学者数を計算する。

まず、両学科の合計入学定員数 160 人に対して、0.16 倍である 25 人の参加者があった。そのうち受験対象者数は 17 人（受験対象者率：68.0%)、受験者数は 16 人（受験率：94.1%)、入学者数は 8 人（入学率：50.0%）であった。これらの倍率及び割合を新設組織の入学定員などに当てはめると、新設組織で見込まれる入学者数は４人ほどになるものと推計する。計算式及び計算過程は以下のとおりである。(表３参照)

計算式

ⅰ参加者見込数＝新設組織の入学定員（80）×既設２組織の参加倍率（0.16）

ⅱ受験対象者見込数＝ⅰ×既設２組織の受験対象者率（68.0%）

ⅲ受験者見込数＝ⅱ×既設２組織の受験率（94.1%）

ⅳ入学者見込数＝ⅲ×既設２組織の入学率（50.0%）

上述した計算式に当てはめると次のとおりである。

ⅰ参加者見込数　　80 人×0.16 倍＝13 人
ⅱ受験対象者見込数　13 人×68.0%＝ 9 人
ⅲ受験者見込数　　9 人×94.1%＝ 8 人
ⅳ入学者見込数　　8 人×50.0%＝ 4 人

以上のとおり、地方説明会をとおして、新設組織の入学者を最低でも「4 人」は確保できるものと見込んでいる。

表３．地方説明会をとおして新設組織で見込まれる入学者数等の推計

	A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/C	E/D
項目	入学定員	参加者数	B のうち受験対象者数	C のうち受験者数	D のうち入学者数	参加倍率	受験対象者率	受験率	入学率
単位	【人】	【人】	【人】	【人】	【人】	【倍】	【%】	【%】	【%】
①視機能療法学科	50	6	6	6	6	0.12	100.0	100.0	100.0
②放射線・情報科学科	110	19	11	10	2	0.17	57.9	90.9	20.0
合計(①～②)	160	25	17	16	8	0.16	68.0	94.1	50.0
医学検査学科(見込数)	80	13	9	8	4				

以上を踏まえて、オープンキャンパス及び地方説明会を通じて、最低でも入学者を「48 人」確保できるものと見込んでいる。

なお、前述ア（既設組織における取組とその目標）のとおり、本学のオープンキャンパス又は地方説明会に参加していない受験者が相当数いる。2023 年 4 月入学生選抜試験において、保健医療学部の受験者総数は 1,916 人であり、学生募集イベントに参加した受験者 506 人の約 3.8 倍であった。また、視機能療法学科の受験者総数は 106 人で、学生募集イベントに参加した受験者 40 人の 2.7 倍であった。放射線・情報科学科においては受験者総数 720 人であり、学生募集イベントに参加した受験者 115 人の 6.3 倍に及んでいる。（表 4 参照）

上述した保健医療学部の受験者傾向を踏まえると、新設組織における受験者総数は学生募集イベントに参加した受験者 78 人の 3.8 倍である 295 人ほどになるものと見込むことができる。これに後述する学生確保に関するアンケート調査（41 頁）の結果を合わせると、十分な受験者数及び入学定員相当数である 80 人の入学者を確保できるものと考える。

表４．新設組織「保健医療学部医学検査学科」における受験者総数の推計

	A	B	A/B
学部・学科	受験者総数	学生募集イベントに参加した受験者数	倍率
保健医療学部	1,916 人	506 人	3.8 倍
視機能療法学科	106 人	40 人	2.7 倍
放射線・情報科学科	720 人	115 人	6.3 倍
医学検査学科(見込数)	295 人	78 人	

※医学検査学科(見込数)受験者総数＝医学検査学科(見込数)学生募集イベントに参加した受験者数(78)×保健医療学部倍率(3.8)で求めた。

② 競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性

○競合校の選定理由

新設組織「保健医療学部医学検査学科」の設置予定地である本学大田原キャンパスは栃木県北部の大田原市に設置されており、受験者は北関東及び東北地域出身の者が多い傾向にある（別紙１）。これより、主たる学生募集地域を北関東及び東北地域と想定し、この地域内に在る同じ学校種・設置者の学校を競合校とする。

まず、北関東地域においては、「つくば国際大学（茨城県）」「群馬パース大学（群馬県）」「群馬医療福祉大学（群馬県）」が新設組織と学問分野に類似性を持ち、同じく臨床検査技師を養成する学科を設置する。このうち、定員規模及び学力層が同程度と思われる「つくば国際大学」及び「群馬パース大学」の２校をいわゆる「競合校」とする（「群馬医療福祉大学」は 2021 年設置で未完成のため競合校としていない）。

次に、東北地域においては、「福島県立医科大学（福島県）」「東北大学（宮城県）」「弘前大学（青森県）」が新設組織と学問分野に類似性を持つ学科を設置するが、本学とは設置者が異なる国公立大学であるため競合校とはしていない。

以上の理由より、「保健医療学部医学検査学科」の競合校として、「つくば国際大学」及び「群馬パース大学」の２校を挙げる。なお、本学では既に臨床検査技師を養成する成田保健医療学部医学検査学科（千葉県）及び福岡保健医療学部医学検査学科（福岡県）があり、それらを含めて比較を以下の表に示す。

◆競合校比較

	つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	群馬パース大学 医療技術学部 検査技術学科	国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科
学校種	大学	大学	大学	大学
設置者	私立	私立	私立	私立
定員規模				
入学定員(人)	80	60	80	80
収容定員(人)	320	240	320	320
所在地	茨城県土浦市	群馬県高崎市	千葉県成田市	福岡県大川市
学問分野	保健系 臨床検査技師養成学科	保健系 臨床検査技師養成学科	保健系 臨床検査技師養成学科	保健系 臨床検査技師養成学科
学力層(偏差値)	37.5	42.5	42.5	40.0
他学部・学科の入学定員(人)	看護学科:80 理学療法学科:80 保健栄養学科:40 診療放射線学科:80 医療技術学科:40	看護学科:80 理学療法学科:60 作業療法学科:30 言語聴覚学科:30 放射線学科:70 臨床工学学科:50	医学科:140 看護学科:100 理学療法学科:80 作業療法学科:40 言語聴覚学科:40 放射線･情報科学科:50 薬学科:120	看護学科:60 理学療法学科:50 作業療法学科:30 薬学科:120

※入学定員、収容定員：各学校ホームページ、学生募集要項を参照
※学問分野：学校基本調査「学科系統分類表」を参照（2024.1 現在）
※学力層：河合塾調べ（2023.12 現在）　https://www.keinet.ne.jp/

〇競合校との比較分析

・教育内容と方法

本学は、従前より実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学として関連医療施設及び福祉施設を有し、少人数制での細やかな教育を実践している。加えて、語り合う体験を通して、様々な人々が共に生きる社会を学生に実感させること、英語による医療コミュニケーションの実践など大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨床実習を一体化させることなどにより国際性を有した医療人として成長を促す教育にも取り組んでいる。

さらには、多職種連携・協働やチーム医療・チームケアの一層の成熟を目指して、本学では従前より関連医療施設等と医学部・看護学部・保健医療学部などと連携した独自のカリキュラムを構築し、いわゆる関連職種連携教育を取り入れた教育研究活動に取り組んでいる。具体的には、施設見学、講義、グループワーク、臨床実習を通して学部・学科の垣根を越えたチームで実践しながら学年ごとに学びを深めていき、チーム医療の一翼を担える医療人を目指している。

本学既設組織の医学検査学科［福岡保健医療学部医学検査学科（2013 年設置)、成田保健医療学部医学検査学科（2016 年設置)］は、ともに長年の経験に基づいた確かな教育実績を有している。開設から現在に至るまでの着実な教育実績及び前述の専門職教育の特色を生かしつつ、医学検査の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、関連職種連携論、関連職種連携ワークや関連職種連携実習等といった本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムを通して対人援助職としての医療人教育を行っている。さらに、本学の先進設備を備えた関連医療施設及び多彩な福祉施設における臨床実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな臨床検査技師を養成する全人教育を行っている。

そのうえで、新設組織「保健医療学部医学検査学科」は、次のような特長を有して、教育に取り組んでいく。

ⅰ県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科

ⅱ充実した医療福祉施設を併設

ⅲ臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアにも対応した先進医療を学べる環境

ⅳチーム医療・チームケアに対応した教育

ⅴ将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定

ⅵ専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応

（ⅰ県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科）

まず、栃木県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科という点である。臨床検査技師の国家試験受験資格取得という点においては、専修学校（専門課程）での取得も可能である。しかし、専修学校（専門課程）と 4 年制大学においては、選択科目を含めた科目履修という学びの面や卒業後の選択肢のバリエーションという就職面に大きな違いがある。

大学の選択科目の中には、一見すると専門領域とは結び付きにくい科目も含まれる。しかし、そのような学問を修めることは物事の多様な見方を可能にし、患者に接する際には他者の立場になって考えることを可能にする。それは将来、思慮深い人間的な深みや厚みとなって現れてくる。また、専門領域に関連する科目や語学などは、臨床検査技師として臨床現場で働く上でも重要となる最新の知識とスキルを身につけることができ、国際的な視野を涵養することができる。さらに本学では、社会的ニーズに応じて、数理・データサイエンス・AI 教育やチーム医療・チームケアに関する科目を必修化している。

これらをデータリテラシーや我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、関連職種連携論などの授業を通じて学び、実践に役立つ知識、問題解決能力、医療人としての常識や教養を幅広く身につけることが可能である。

（ⅱ充実した医療福祉施設を併設）

次に、充実した医療福祉施設を併設しており、特に複数の大学附属病院などを有している点は競合校より優れる点である。

大田原キャンパスに隣接する那須塩原市及び矢板市に大学附属病院として、それぞれ国際医療福祉大学病院（408 床）及び国際医療福祉大学塩谷病院（240 床）を有している。このうち国際医療福祉大学病院では、2013 年には栃木県内で初めて手術支援ロボット「ダビンチ」を、2014 年には栃木県県北地域で初めて PET-CT を導入し、地域中核病院として質の高い医療を提供してきた。栃木県のみならず広く関東地方北部や東北地方南部から、多くの来院者を迎える中核的な総合病院となっている。

また、キャンパス内に障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、栃木県で唯一の児童心理治療施設、認定こども園、アジア有数の言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、多様なミッションを担う医療福祉施設を併設している。

これらの施設は、栃木県県北地域の基幹医療施設として地域医療に貢献するとともに保健・医療・福祉の一大ゾーンを形成している。さらに大田原キャンパス、国際医療福祉大学病院及び国際医療福祉大学塩谷病院の他にも全国に 4 つの大学キャンパス及び 4 つの大学附属病院を有し、関連職種連携を推進し医療に対する社会的ニーズに応える人材の育成と教育を展開している。キャンパス内に有する様々な保健・医療・福祉施設での学修をとおして、臨床検査技師としての活躍の場を具体的にイメージできる

ように、臨床現場において必要な知識を実践的に学ぶ理想的な教育環境が整っている。

また、医療現場では多くの新規検査が導入されている一方で DX によってマニュアル作業がオートメーションに移行し、細かく煩雑な人為的作業は大きく削減しつつある。今後、オートメーション作業を管理し、複雑な表現を交えたコミュニケーションが求められる現場において機械化できない部分を担う臨床検査技師の専門性は高まるものと考えられる。

さらに、近い将来、オートメーション作業を管理する AI の管理が臨床検査技師の業務になるともいわれており、AI を活用できるコミュニケーション力が高い臨床検査技師が求められると考えられる。

このような中にあって、本学には、栃木県内にある国際医療福祉大学病院をはじめ、全国に 6 つの附属病院において、DX を積極的に取り入れた検査体制を有しており、先進の教育・研究と充実した臨床実習を行える環境が整っている。

（ⅲ臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェア等に対応した先進医療を学べる環境）

「医師の業務のタスク・シフト/シェア」の推進などに関連して、前述のように臨床検査技師等の業務を含んだ「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が、2021 年 10 月から施行されている。

近年では医療現場において最先端技術の開発、導入が急速に進んでいる。新興感染症や再興感染症に対応できる微生物検査の開発、がんや成人病の発病や薬効を左右する個人差を解明してオーダーメイド治療を可能にする遺伝子検査が期待されており、病理診断においてもリキッド・バイオプシーなどの技術革新が望まれている。再生・免疫分野の細胞療法や生殖補助療法、あるいは生理検査や生理画像検査においても検出力を高め、より診断・治療の精度を高める工夫が日々なされている。大学教育ではこれらの先進的な内容に、積極的に対応して教育を実施する必要がある。

本学では臨床検査技師として必要な、最先端の微生物検査、遺伝子検査、病理検査、血液・臨床化学検査、各種生理機能検査、超音波検査や MRI 検査・内視鏡検査などを実践臨床の現場で系統立てて学べる環境を用意している。本学附属病院や関連医療施設やセンターでは最先端の医療機器を導入済みで長年にわたる豊富な診療実績を有している。本学がこれまでに設置し発展させてきた福岡保健医療学部医学検査学科（福岡県大川市）、成田保健医療学部医学検査学科（千葉県成田市）との相互的協力関係を構築しつつ、我が国有数の医療福祉の総合大学としての特性を活かし、豊富な多職種との連携に取り組むこととしている。中でも放射線・情報科学科と協力し、種々な画像診断・治療分野（MRI、超音波、内視鏡など）における最新機器へのアプローチとエキスパートの協力を得て教育を行うこととしている。

以上のような環境を活かして、臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェア等の時代の変化に対応した先進医療を学べ、国内外で活躍できる臨床検査技師の育成が可能で

あり、このような点においても優位性があると考える。

（ⅳチーム医療・チームケアに対応した教育）

タスク・シフト/シェアの円滑な実施にあたっては、具体的な役割分担・連携の在り方、導入方法などの個別論点を整理する必要がある。そのため、今まで以上にチーム医療・チームケアの理解が必要であり、大学教育においても重要性が増している。

これらに対応した教育として、本学では従前より独自のカリキュラム「関連職種連携教育（IPE：Interprofessional Education）」を学年進行で構築している。これによって、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の臨床現場に不可欠の「チーム医療・チームケア」を段階的に学ぶ機会や環境を整えている。

具体的には、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師など医療チームを構成する職種に加えて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、介護福祉士などのリハビリテーションを中心とする職種を目指す学生らが共に学びあうことにより、学生時代に「チーム医療・チームケア」を学修することになる。このような充実した多職種との連携教育は我が校の伝統であり、競合校のみならず全国的にも優れているといえる。

なお、関連職種連携教育の進め方は以下のとおりである。

１年次に、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を開講し、本学が養成する医療福祉専門職の職域や職務について、実際に資格を有する教員が授業を行い、チーム医療・チームケアの概要を学修する。

２年次は、「関連職種連携論」により、各職種の共通用語である「国際生活機能分類（ICF）」の活用方法を始めとした、チーム医療・チームケアの実践に必須となる知識などを学修したうえで、実例をとおして様々な患者に対するチームによる介入方法や自立支援の方法を学ぶ。

３年次は、「関連職種連携ワーク」により、各学科の学生から構成される少人数制グループで、模擬症例をもとに患者と家族へのアプローチ方法をチューター教員の指導のもと検討する。そして、グループワークの成果を学内報告会で発表し、第三者からの評価や第三者への説明を通じて、学生が主体的に学びや気づきを得る教育を行う。

４年次には、選択科目として「関連職種連携実習」を開講する。本学附属病院や関連施設に加えて、本学のチーム医療・チームケア教育に理解をいただいた地域の基幹病院にて、キャンパスの垣根を越えて 11 学科 11 職種を目指す学生による混成チームを作り、１週間ほどの実習を行う。ちなみに、2022 年度は 13 チーム、127 名の学生が９か所の病院・施設で実習を行い、2023 年度においては更に規模を拡大して、18 チーム、167 名の学生が 14 か所の病院・施設で実習を行った。

実習では、実際にケースカンファレンスへの参加や、患者に対するアプローチ方法を検討して、チームでアセスメントサマリー・総合サービス計画の作成と評価を実施する。

実習後は学内報告会で実習指導者及び教員、他チームの学生を前に発表を行う。

また、関連職種連携教育に関する一連の科目群において、２種類のアンケート（RIPLS：Readiness for Interprofessional Learning Scale／IEPS：Interdisciplinary Education Perception Scale）を実施する。本アンケートは、受講者に授業の教育効果の認識（前者）、自職種に対する認識（後者）を調査するものであり、これらのアンケート結果をもとに、関連職種連携教育に関する会議体（臨床教育委員会）にて、教育効果が高まるよう議論及び検討を行っている。

（ｖ将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定）

進路として臨床検査技師の資格取得にとどまらず、卒業後のキャリアアップにつながる、様々な選択科目のオプションを設定した点である。臨床検査技師国家試験の受験資格に加え、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士など複数の資格取得を学生の希望に応じて目指すことが可能なカリキュラム編成を行うとともに、卒業後の胚培養士資格の取得を視野に入れた幅広い専門的な選択科目を用意している。

例えば、近年、我が国は社会的要因による晩婚化・晩産化が進み、少子化が進んでいる。その対策の 1 つとして不妊治療が保険適用となったことに加え、地方自治体から患者に対して助成金が交付されるなど、以前に比べると治療を受けやすい状況となっている。このような社会的要請に的確に対応しつつ、今後、臨床検査技師が不妊治療において各種検査を行うのみならず、胚培養技術を習熟することにより、少子化が進む我が国の生殖補助医療に深く貢献できる機会が増えると考えられる。

本学では 2005（平成 17）年に我が国で初めて胚培養士養成のための大学院保健医療学専攻修士課程を開設するとともに、生殖医療分野において豊富な実績を有する関連医療機関を有している。本学が地域において医療の知識や技術、倫理観を備えた胚培養士（エンブリオロジスト）を学部及び大学院での学びをとおして養成することの意義は大きい。さらに、胚培養士となった場合においても、キャリアアップを支える環境が整っているといえる。

このように臨床検査技師が卒業後においても社会の変化に対応して自らの能力をアップデートできる体制を整えている点で競合校にはない強みといえる。いずれの資格取得も決して容易な道ではないが、本学ではできるだけ学生の希望に沿った学びの支援を行いたいと考えている。

（ⅵ専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応）

資格取得を目指す授業科目の設定に加えて、特に低学年においては幅広い教養と豊かな人間性を涵養するための多彩な総合教育科目を用意している。約２週間海外の医療機関などで実習を行う「海外保健福祉事情」や、英語のみならず幅広い外国語教育科目などの選択科目を提供し、国際的なコミュニケーション能力の向上にも注力してい

る。一方、高学年においては、「先端臨床検査技術学」で先端医学の進歩を学び、「臨床検査研究論」、「卒業研究」を通して、研究へのモチベーションを高めるプログラムを用意している。本学は、卒業後も大学院への入学を通じて臨床検査学の研鑽に励む学生への対応として、大学院医療福祉学研究科に臨床検査学修士課程及び博士課程を既に開設している。2023 年度の大学院進学者は修士課程 19 名（うち本学卒業者 16 名)、博士課程４名（同３名）であり、充実した研究施設の下で研究を継続できる伝統と環境は、生涯にわたる臨床検査技師としてのキャリアアップの醸成に貢献できる。

このような国際性と専門性の強化及び継続教育は本学の教育理念に基づくものであるが、臨床検査技師が長期にわたり自らのキャリアを維持しつつ、社会に貢献するために欠かせないものである。これらの点についても競合校にはない強みといえる。

競合校の教育内容と方法の概要は（資料４）のとおり。

以上をまとめると、新設組織「保健医療学部医学検査学科」は、既設の医学検査学科（千葉県成田市、福岡県大川市）で積み上げてきた、確かな専門職教育の実績及び特色があり、それを生かして医学検査の基礎から臨床応用までの講義、実習及び演習を有機的に取り入れたカリキュラムを編成している。

さらに、特に医学部や薬学部を有する医療系の総合大学という強みを生かし、先進医療を学修する授業や卒業後のキャリアアップにつながる授業などを設定している。それにより、従来のカリキュラムを発展させ、社会的な動向及び要請に応えた教育を展開し実践する予定である。これに加えて、臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアに対応した臨床現場に直結した先進的な新しい技術を積極的に学修し、臨床能力の向上と現場への還元をめざした専門教育を目指している。本学では、複数の大学附属病院と多彩な関連医療福祉施設を有しており、それらの施設の臨床経験豊かな教職員のサポートを常に受けられる体制が構築されていることも特長といえる。

また、本学独自のカリキュラム「関連職種連携教育」により、学年進行でチーム医療・チームケアを学修する環境を整えている。臨床現場において必要な知識技術を修得するため、前述の本学附属病院をはじめとした多彩な関連医療福祉施設での実践的な学びをとおして、学修する環境を整えている点は本学の優れている点といえる。

新設組織「保健医療学部医学検査学科」においては、これまでに築きあげてきた本学独自の臨床検査技師養成カリキュラムによる教育に加えて、社会からの要請に積極的に耳を傾けて時世時節に応じた臨床現場と直結した専門職教育の実践を予定しており、これらは比較的優位な点であると考えられる。

・入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）

本学では、志願者の多様なニーズに沿った入学試験を実施するため、併願制入試である特待奨学生特別選抜及び一般選抜前期において地方試験会場の充実を図り、また一般選抜前期においては試験日自由選択制を設けている。

試験会場はキャンパス所在地に加えて、東北、関東、中部（長野県・静岡県）、中国（山口県）、九州の５つの地方で展開しており、特待奨学生特別選抜では計 14 会場、一般選抜前期では３日間の試験日で計 23 会場において受験が可能である（以下表参照）。加えて、一般選抜前期では、同一の入試区分の中で試験日を３日間に亘って設けており最大３日程の受験が可能である。

競合校の試験日と地方試験会場の取組を見てみると、つくば国際大学及び群馬パース大学ともに一般選抜の試験日は１日間のみで設定しており、地方試験会場の数については、つくば国際大学が２会場、群馬パース大学が７会場であった。したがって、本学では居住地やスケジュールの影響を極力取り除きつつ、多くの志願者にとって幅広く受験機会を提供している。

このような本学の取組は、優秀な人材に専門教育の機会を幅広く提供し、優れた医療人材の育成に資するという本学の方針によるものである。将来、医療福祉の専門職を志す者に対して広く門戸を開き、志願者が受験機会を最大限に活用できる、いわば志願者本位の取組であるといえる。

新設組織「保健医療学部医学検査学科」においても、同様の取組を行うこととしており、志願者のニーズを考えた入試制度を整えている点は競合校に対する優位性と考える。

◆試験会場比較

大学名	入試区分	試験会場
国際医療福祉大学	特待奨学生特別選抜	仙台、郡山、大田原、水戸、高崎、成田、東京、小田原、福岡、大川、佐賀、大分、鹿児島、沖縄
	一般選抜前期	盛岡、仙台、郡山、大田原、水戸、高崎、成田、東京、長野、横浜、小田原、静岡、山口、北九州、福岡、大川、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
つくば国際大学	一般選抜（1 期・2 期）	土浦、東京
群馬パース大学	一般選抜（前期）	高崎、大宮、宇都宮、仙台、長野、新潟、富山

※下線のある地域は各大学の全入試区分の受験が可能

※本学の一般選抜前期は日程によって、試験実施会場が異なる。詳細は（資料５）参照

・学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

新設組織「保健医療学部医学検査学科」は、既設の医学検査学科（千葉県成田市）と同様に、学生納付金を初年度 155 万円、4 年間総額 614 万円で設定している。この金額は、関東及び東北地域にある新設組織と学問分野に類似性のある学科（課程）を設置する私立大学 17 校のうち最も低廉である（表 1 参照)。また、競合校の奨学制度などの修学支援の内容は（資料 6 ）のとおりである。

本学では、独自の奨学制度等として新設組織においても 4 つの給付型と 1 つの貸与型の学費支援制度を用意している。まず、給付型の制度として、具体的には、入学試験で優秀な成績を収めた合格者（特待奨学生）への制度、成績優秀な在学生への制度、卒業生に父母若しくは兄弟姉妹又は在学生に兄弟姉妹がいる者への制度、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携した制度、を用意して学生の経済的負担の軽減に力を注いでいる。また、災害など不測の事態による家計急変者に対する貸与型の学費支援制度を設けて、学生が学業を継続できるよう体制を整えている。

とりわけ、特待奨学生奨学金制度の区分 S で採用された場合、在学期間の 4 年間において授業料 100%相当額が給付されるため、負担すべき学費総額は 254 万円となる。

これは国公立大学の新設組織と学問分野に類似性のある学科における 4 年間の学費総額約 242 万円と同程度の金額である。また、関東地域の新設組織と学問分野に類似性のある学科を設置する私立専門学校の平均学費 367.6 万円より 113 万円ほど低く、各私立専門学校の学費総額と比較しても低い金額である。(表 2 参照)

さらに本学の特長として、特待奨学生の選抜を 3 つの入試区分で実施していること、また在学生に対する奨学制度として、本学が独自に実施する制度及び企業と連携した制度を用意していること、があげられる。

以上のとおり、本学新設組織の学費は、主たる学生募集地域と想定する関東及び東北地域にある新設組織と学問分野に類似性のある学科（課程）を設置する私立大学 16 校と比較して最も低廉である。これに加えて、特待奨学生及び在学生に対する奨学金制度を複数用意し、経済的な負担の軽減措置を講じている。したがって、本学新設組織の学生納付金及び奨学制度に関する取組は、競合校との比較優位点であると考える。

表１．関東・東北地域の新設組織と学問分野に類似性のある学科（課程）を設置する私立大学の学生納付金

大学名	所在地	学費総額(千円)	初年度学費(千円)	入学定員充足率(%)
国際医療福祉大学	千葉県	6,140	1,550	101.3
千葉科学大学★	千葉県	6,155	1,745	42.5
東邦大学	千葉県	6,318	1,632	111.0
麻布大学	東京都	6,400	1,750	148.8
桐蔭横浜大学★	神奈川県	6,421	1,600	72.5
日本医療科学大学	埼玉県	6,500	1,800	93.8
つくば国際大学	茨城県	6,500	1,850	67.5
群馬医療福祉大学	群馬県	6,500	1,850	80.0
群馬パース大学	群馬県	6,550	1,750	108.3
埼玉医科大学	埼玉県	6,600	1,800	65.7
女子栄養大学★	埼玉県	6,767	1,898	106.0
文京学院大学	東京都	6,768	1,902	80.0
東京工科大学	東京都	6,778	1,900	108.8
杏林大学	東京都	6,850	1,900	110.8
帝京大学	東京都	6,967	1,939	129.0
北里大学	神奈川県	7,050	1,800	102.9
順天堂大学	千葉県	7,090	1,750	101.8

※表は各大学ホームページの掲載情報（2024 年 2 月 1 日閲覧）をもとに作成

※入学定員充足率（2023 年度入学者数/入学定員）

※★のある大学は学科内に臨床検査技師の受験資格に関する専攻科又はコースを設置する大学

※東邦大学は理学部の化学科、生物学科、生物分子科学科、生命圏環境科学科に臨床検査技師課程を設置して臨床検査技師の養成を行う。学費総額は理学部を参照、入学定員充足率は上記学科の 2023 年度入学者数合計を入学定員合計で除して算出する。

表２．関東地域の新設組織と学問分野に類似性のある学科を設置する専門学校の学費

No	学校名	設置者	所在地	修業年限	入学定員	学費総額
①	栃木県立衛生福祉大学校※	公立	栃木県	3 年制	20 名	129 万円
②	東京医学技術専門学校	私立	東京都	3 年制	各 40 名	昼）345 万円 夜）300 万円
③	昭和医療技術専門学校	私立	東京都	3 年制	40 名	380 万円
④	専門学校東洋公衆衛生学院	私立	東京都	3 年制	40 名	382 万円
⑤	東京電子専門学校	私立	東京都	3 年制	80 名	405 万円
⑥	湘央医学技術専門学校	私立	神奈川県	3 年制	80 名	387 万円
⑦	国際医療専門学校	私立	埼玉県	3 年制	80 名	368 万円
⑧	西武学園医学技術専門学校	私立	埼玉県	3 年制	70 名	374 万円
	私立専門学校（②～⑧）　平均学費（３年間）				367.6 万円	

※表は各学校ホームページの掲載情報（2024 年 2 月 9 日閲覧）をもとに作成

※東北地域には臨床検査技師養成学科を有する専門学校はないため載せていない。

・就職支援の内容

臨床検査技師は医療現場で欠かせない医療専門職であり、国家試験に合格すれば、就職は難しくないといえる。しかしながら、本人と就職先とのマッチングには様々な条件が必要とされるため、本学では丁寧な就職支援活動に取り組んでいる。

その結果、既設の医学検査学科（成田保健医療学部医学検査学科、福岡保健医療学部医学検査学科）では、過去5年間（成田保健医療学部医学検査学科は4年間）連続で就職希望者の就職率100%につなげている。加えて、各地に所在する本学附属病院及び関連病院並びに関連施設においても多くの就職希望者を受け入れている。

また、本学は各キャンパスに届いた就職求人情報を一つのデータベースに集約し共有して、WEBサイト上から閲覧できるようにしている。進路の選択肢を多く用意することで、学生が希望に合った進路の選択及び実現ができる環境を整えている。2022年度においては、本学に届いた臨床検査技師に関する求人件数は682件におよび、臨床検査技師という職種自体への需要はもちろんのこと、本学が養成する臨床検査技師に対する人材需要の強さを示していると考える。

各キャンパス間の連携にとどまらず、大学附属病院をはじめ本学グループの医療福祉機関と共同して行う一連の就職支援は、新設組織「保健医療学部医学検査学科」においても実施予定であり、競合校との比較優位点であると考える。

本学の就職支援の具体的な取組内容は以下のとおりである。

（就職活動を支援する専属部署の設置と取組）

就職活動を支援する専属部署として、「キャリア支援センター」を設置している。

保健医療学部医学検査学科を新設予定である大田原キャンパスにおいては、キャリア支援センターにキャリアコンサルタントの国家資格を有した専門職員を配置して就職支援体制を強化している。専門職員は、予約制の個別相談枠を設定して、学生の希望に応じ対面及びオンラインにて、面接指導及び履歴書・エントリーシートの添削指導などを行っている。

これ加えて、就職情報コーナーを設置して、就職に関する各種情報を集約し、開室時間中は自由に閲覧することできるよう整備している。この就職情報コーナーは、学生間の情報交換、コミュニケーションの場としての役割も果たしている。

このように、国家資格を有した専門職員によるサポート体制に加えて、学生間での情報交換及びコミュニケーションの場を整備している点は本学の優位点といえる。

（全学的な就職支援体制の構築）

本学では学科教員から構成される就職委員会と学生課が連携し、積極的な情報収集ときめ細やかな情報共有を図り全学的な就職支援体制を構築している。

情報共有は各キャンパスの垣根を越えて実施している。各キャンパスの同学問分野の学科間では、就職担当教職員がオンライン会議システムなどを活用して、求人情報、就職内定情報など各キャンパスの取組状況を話し合い常に情報を共有している。

また、同じ学問分野を持つ学科間にとどまらず、5キャンパス合同（大田原キャンパス、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパス）による情報交換も積極的に行っている。

このように全学的な就職支援体制を構築することで、広域の就職関連情報や人材需要動向を収集することができ、学生の希望に沿った学生本位の就職指導が可能になる。キャンパスを多地域に展開している強みを生かして、広域の情報を収集し行う就職支援は、競合校に優っている点と考える。

（本学独自テキストの活用）

本学では、学生及び就職担当教員に本学独自テキストの「キャリア支援セミナーBasic（資料７）」を配付し、学科の予定にあわせた年次計画のもと、自己分析、マナー講習、履歴書作成、面接指導に関する必修セミナーを実施している。

これに加えて、就職活動の心構え、求人情報の収集方法、就職内定までのスケジュールなどを説明すると共に、社会人としての成長を見据えた就職活動の在り方を伝えている。保護者には「キャリア支援ハンドブック（資料８）」を配付して、医療系職種の就職活動の情報や依頼・留意事項を伝えている。

以上のとおり、学科間で支援内容に差が生じないよう、各学科の予定を考慮して各種セミナーを開催し、学生全員が受講できる均等の機会を確保している。また、保護者とも協働した就職支援を実施していることは、本学の優っている点と考える。

（WEB サイトを活用した就職支援の実施）

本学に届いた求人情報は、求人票を受領した各キャンパスの就職担当者により、就職支援システム（IUHW キャリアサポート、以下同じ）で随時最新の情報へ更新を行っている。学生は IUHW キャリアサポートをとおして、どのキャンパスに届いた求人情報であっても学生は閲覧することが可能となっている。

求人情報の他にも、就職活動を経験した学生が、卒業時にまとめた就職活動の留意点、試験や面接の内容等に関する報告書や、病院見学・インターンシップの情報及び企業等の募集要項などの資料も掲載している。なお、病院見学・インターンシップの情報及び企業等の募集要項などの資料については、WEB 上だけでなく紙媒体でも閲覧できるよう各キャンパスで管理している。

以上のとおり、WEB サイトをとおして、学内外から全国的な求人情報などの就職関連情報を閲覧できるよう整備にしている点は、学生の利便性確保に重きをおいた本学の優っている点と考える。

・取得できる資格

本学及び各競合校において、臨床検査技師以外で在学中及び卒業後に取得を目指すことができる資格の一覧を以下の表に示す。

◆資格一覧

大学名	国際医療福祉大学 保健医療学部	つくば国際大学	群馬パース大学
在学中に取得を目指すことができる資格 ※臨床検査技師を除く	遺伝子分析科学認定士(初級) 細胞検査士 医用質量分析認定士	遺伝子分析科学認定士(初級) 第2種ME技術実力検定試験 医療情報基礎知識検定試験 医療情報技師 危険物取扱者試験(甲種) 毒物劇物取扱者試験	遺伝子分析科学認定士(初級)
卒業後に取得を目指すことができる資格 ※実務経験等を要するもの	胚培養士	胚培養士 超音波検査士 認定輸血検査技師 日本糖尿病療養指導士 細胞検査士 国際細胞検査士 消化器内視鏡技師 NST専門療法士 認定臨床化学者 骨髄検査技師	胚培養士

※臨床検査技師の他に取得できる受験資格及び卒業後に実務を経験した後に取得を目指すことができる資格を記載。各種資格は、各大学のWEBページに記載のあるものを一覧にした。

※胚培養士は、日本卵子学会の「胚培養士」、日本臨床エンブリオロジスト学会の「認定臨床エンブリオロジスト」の両資格の意として用いる。

新設組織「保健医療学部医学検査学科」では、希望する学生が在学中に「遺伝子分析科学認定士（初級)」「細胞検査士」「医用質量分析認定士」、卒業後に「胚培養士」の資格取得を目指すことができるようカリキュラムを編成する。

遺伝子分析科学認定士については、「遺伝子分析科学演習I、II」の2科目を3年次後期から4年次前期に選択科目として開講し、6月の資格試験まで手厚くサポートを行う。本授業は、一級遺伝子分析科学認定士の資格を所有する専任の教員が講義し、遺伝子分析及び遺伝子検査技術に関する専門知識及び高度な技術を教授する。

次いで細胞検査士については、在学中に取得が可能となるよう、少人数制の「細胞検査士養成コース」を設置し、細胞検査士の資格を有する専任の教員によって、専門的かつきめ細やかな指導を行う。本養成課程において、学生は1年次後期から3年次後期にかけて５つの授業を受講し、細胞検査に関する知識・技術を、講義・演習・実習を通して段階的

に学修する。基礎から専門的内容までを包括的に学ぶことによって、臨床で必須になる知識及び技能を修得し、現場で活躍できる人材の養成を目指す。

医用質量分析認定士については、4 年次前期の選択科目に「臨床検査質量分析学演習」を開講して、9 月の資格試験を想定して手厚くサポートを行う。本授業は、臨床検査技師として長年の臨床経験を有する専任の教員が行い、質量分析技術の関連知識（先天代謝異常症の診断、医薬品の TDM、薬物中毒診断、臨床化学、臨床微生物等）を幅広く教授する。

胚培養士については、認定試験の受験資格に生殖補助医療に関する臨床実務経験を要する。そのため、本学では卒業後の実務経験に先立ち、学部教育に生殖補助医療に関する授業を取り入れ選択科目として開講する。まず、2 年次後期に「生殖補助医療胚培養学」を開講し、講義をとおして基礎生殖生物学や生命倫理など生殖補助医療の基礎知識を学修する。そして、4 年次前期に「生殖補助医療胚培養学演習」を開講し、演習をとおして胚培養に必要とされる基礎的な技術の修得を目指す。これらの授業は、本学附属病院で実際に不妊治療を行う専門医師及び胚培養士と共同して行い、臨床現場における取組も含めた内容を展開する。

以上のとおり、本学新設組織においては、学生の希望に応じて「胚培養士」や「細胞検査士」などの活躍の機会を広げうる資格及び、「医用質量分析認定士」や「遺伝子分析科学認定士」などの確かな知識技術の修得を認定する資格の取得につながるカリキュラムを編成する。これらの資格は後述の人材需要アンケート（48 頁）においても、事業者が学生に対して臨床検査技師に加えて取得を期待する資格として多いものであった。なお「細胞検査士」については、比較した 2 校においては資格取得を目指せるカリキュラムとしては編成されていない。

いずれの資格取得も容易な道ではないが、本学では医療福祉の総合大学であることの強みを最大限に生かして、学生の学びを支援することとしている。そして、それぞれの資格に係る専門知識及び技術を有し、実際に臨床現場で活躍する教員陣によって系統的に授業を展開する。単なる資格取得に留まらず、臨床現場での実践をも想定した専門性を高める。それにより将来のキャリアプランを描いている学生のニーズに的確にこたえる授業を提供している点は本学の最大の特長であると考える。

これらの資格取得に係るカリキュラム編成や支援内容は、新設組織「保健医療学部医学検査学科」の優位性であると考える。

イ　競合校の入学志願動向等

（本学及び競合校が設置する臨床検査技師養成学科の入学志願状況）

本学既設の成田保健医療学部医学検査学科、福岡保健医療学部医学検査学科については、2021 年度から 2023 年度までの 3 年間における志願倍率平均は前者が 6.5 倍、後者が 4.0 倍である。また、定員充足率は前者が 106.3%、後者が 105.0%であった。直

近の 2023 年度では、前者は入学定員の約 5.8 倍である 460 人の志願者、後者は約 3.3 倍である 260 人の志願者があり、定員充足率は前者 101.3%であり、後者 103.8%であった。本学では、毎年それぞれの学科で安定して志願者及び入学者の確保ができている。

つくば国際大学医療保健学部臨床検査学科については、2023 年度までの過去 3 年間における志願倍率平均は 2.2 倍、定員充足率平均は 80.0%であった。また、直近の 2023 年度では、入学定員の約 2 倍である 161 人の志願者があった。毎年、定員数を超える志願者数を確保できているが、入学者数は減少傾向にあり過去 2 年間は定員割れが続き、2023 年度の入学定員充足率は 67.5%である。

群馬パース大学医療技術学部検査技術学科については、2023 年度までの過去 3 年間における志願倍率平均は 5.8 倍、定員充足率は 115.0%であった。直近の 2023 年度では、入学定員の約 5.0 倍である 298 人の志願者があり、定員充足率は 108.3%であった。毎年、志願者及び入学者を着実に確保している。

以上のとおり、比較した各大学において志願者数は年々減少傾向にある。しかしながら、志願倍率は各大学で幅は見受けられるものの、どの大学も入学定員を超える志願者数を確保し続けている。このことから、4 年制大学臨床検査技師養成学科に対する受験生の継続的な興味関心の高さを伺うことができ、今後も安定的に志願者を確保できるものと考える。

表 1．各大学の臨床検査技師養成学科の過去 3 年間の入学志願状況【単位：人】

学校名/学部等	入学年度	入学定員	志願者数	志願倍率(倍)	合格者数	入学者数	定員充足率(%)
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科	2023	80	460	5.8	138	81	101.3
	2022	80	496	6.2	156	87	108.8
	2021	80	607	7.6	175	87	108.8
	平均	80	521	6.5	156	85	106.3
国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科	2023	80	260	3.3	161	83	103.8
	2022	80	334	4.2	142	87	108.8
	2021	80	374	4.7	154	84	105.0
	平均	80	322	4.0	152	84	105.0
つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	2023	80	161	2.0	99	54	67.5
	2022	80	173	2.2	97	55	68.7
	2021	80	215	2.7	134	85	106.3
	平均	80	183	2.2	110	64	80.0
群馬パース大学 医療技術学部 検査技術学科	2023	60	298	5.0	111	65	108.3
	2022	60	376	6.3	121	77	128.3
	2021	60	377	6.3	148	65	108.3
	平均	60	350	5.8	127	69	115.0

※入学定員、入学者数：各学校ホームページ、学生募集要項を参照

※志願倍率（志願者数/入学定員）、定員充足率（入学者数/入学定員）

※志願者数、合格者数：旺文社調べ（2024.1 現在）　https://passnavi.obunsha.co.jp/

（保健系学部と本学及び競合校が設置する保健系学科の入学志願状況）

日本私立学校振興・共済事業団「令和５年度私立大学・短期大学等入学志願動向」にて、私立大学が設置する保健系学部の志願状況が報告されている。これによると、2023年４月入学生選抜試験においては、志願倍率が 4.2 倍、定員充足率が 96.7%であった。

つまり、保健系学部については、受験生の根強い人気と関心を集めており、比較的に志願者も確保しやすい学部といえる。これを踏まえて、本学保健医療学部及び競合校が設置する保健系学科全体における 2023 年４月入学生選抜試験の入学志願状況をみてみる。（表２参照）

新設組織を設置する本学保健医療学部（栃木県大田原市）には、６つの保健系学科（看護学科・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・視機能療法学科・放射線・情報科学科）があり入学定員総数は 535 人である。この定員 535 人に対して、志願者数 1,948 人（倍率：3.6 倍）、入学者数 551 人（充足率：102.9%）であった。

つくば国際大学は、６つの保健系学科（医療技術学科・臨床検査学科・診療放射線学科・理学療法学科・看護学科・保健栄養学科）を設置し、入学定員総数は 400 人である。この定員 400 人に対して、志願者数 935 人（倍率：2.3 倍）、入学者数 311 人（充足率：77.7%）であった。

群馬パース大学は、７つの保健系学科（看護学科・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・検査技術学科・放射線学科・臨床工学科）を設置し、入学定員総数は 380 人である。この定員 380 人に対して、志願者数 1,957 人（倍率：5.1 倍）、入学者数 421 人（充足率：110.7%）であった。

表２．2023 年４月入学生選抜試験の入学志願状況【単位：人】

学校名/学部等	学科数	入学定員	志願者数	志願倍率（倍）	合格者数	入学者数	定員充足率（%）
保健系学部	－	40,720	171,927	4.2	80,009	39,414	96.7
国際医療福祉大学 保健医療学部	6	535	1,948	3.6	929	551	102.9
つくば国際大学	6	400	935	2.3	540	311	77.7
群馬パース大学	7	380	1,957	5.1	769	421	110.7

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」参照

※各大学の情報はホームページ掲載情報を参照（2024.1 現在）

※志願倍率（入学定員/志願者数）、定員充足率（入学者数/入学定員）

上述のとおり、保健系学部は比較的に志願者数が多い学部である。そのため、本学保健医療学部及び群馬パース大学においては定員充足率 100%を達成しており、安定して定員相当数の入学者を確保できている。

一方、つくば国際大学は志願倍率及び定員充足率が全国保健系学部より下回り定員割れをしている。文部科学省「令和５年度年度学校基本調査」によると、つくば国際大

学が所在する茨城県において、2023 年 3 月高校卒業者数は 12,783 人であった。同じ北関東地域の栃木県が 7,276 人、群馬県が 6,767 人であることから、茨城県は大学志願者となり得る高校卒業者数が多いことがわかる。（表 3 参照）

しかしながら、この 12,783 人のうち 11,036 人（86.3%）は茨城県外の私立大学に進学し、残りの 1,747 人（13.7%）が茨城県内の私立大学に進学している。栃木県及び群馬県が県内進学率 27.7%、県外進学率が 72.3%であることから、茨城県においては県内進学率が極めて低いといえる。加えて、他県からの進学者数（流入者）も栃木県が 1,945 人、群馬県が 1,977 人であるのに対して、茨城県は 644 人であり、他 2 県の 3 分の 1 ほどと少ない状況であった。

以上をまとめると、茨城県においては志願者となる高校卒業者の母数は大きいものの県外への流出者数が多く、同時に他県からの流入者数が少ないことから、学生確保が難しい地域であるといえる。したがって、つくば国際大学の定員割れは地域的な要因によるところが大きいため、保健系学部全体の入学志願状況と異なる傾向になったものと考える。また、栃木県に所在する本学保健医療学部及び、群馬県に所在する群馬パース大学の学生募集活動に対しても、所在地域が異なるため影響も少ないものと考える。

以上を踏まえたうえで、本学新設組織「保健医療学部医学検査学科」は、既設の医学検査学科で培ってきた教育実績及び学生確保のノウハウをもとに教育及び学生募集を実施していく。これに加えて、（3）②アで述べたとおり、社会的ニーズに応じた最先端医療及びチーム医療・チームケアなどに対応した知識技術を学修できること、低廉な学生納付金の設定と充実した奨学制度を用意していること、が強みである。確かな実績と経験に基づく取組を続けることで定員充足が可能であると考える。

なお、保健医療学部医学検査学科を新設した場合、成田保健医療学部医学検査学科と志願者層が重なることが懸念されるが、成田キャンパスでは主として交通アクセスのよい千葉県、東京都からの志願者が多いため、大きく影響はないと考えている。

表 3．北関東地域の 2023 年 3 月高校卒業者における進学状況【単位：人】

	茨城県	栃木県	群馬県	北関東(平均)
高校卒業者数	12,783	7,276	6,767	8,942
うち県内大学への進学者数	1,747	2,019	1,873	1,880
うち県外大学への進学者数	11,036	5,257	4,894	7,062
他県からの進学者数	644	1,945	1,977	1,522
流出入差数	▲10,392	▲3,312	▲2,917	▲5,540
県内進学率(%)	13.7	27.7	27.7	21.0
県外進学率(%)	86.3	72.3	72.3	79.0

※文部科学省「令和 5 年度年度学校基本調査」参照

※流出入差（他県からの進学者数－うち県外大学への進学者数)、県内進学率（うち県内大学への進学者数/高校卒業者数)、県外進学率（うち県外大学への進学者数/高校卒業者数）

ウ　新設組織において定員を充足できる根拠等

競合校のうち、つくば国際大学は医療保健学部に 6 学科を有しているにもかかわらず、定員未充足である。一般的に保健系学部は下記分析のとおり、比較的志願者が集まりやすい学部である。それにもかかわらず、定員割れが続いているのは、前述イ（競合校の入学志願動向等）のとおり大学の所在する地域的な要因が影響しているのではないかと推測している。

（保健系学部についての分析）

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、私立大学が設置する保健系学部は、2023 年度時点で全国に 272 学部あり、志願者数（倍率）は 171,927 人（4.22 倍）、入学者数（充足率）は 39,414 人（96.7%）と報告がなされた。

保健系学部の中で臨床検査技師養成学科が属する学部群については、2023 年度時点で全国に 117 学部あり、志願者数（倍率）は 98,933 人（4.16 倍）、入学者数（充足率）は 23,077 人（97.0%）であった。（表 1 参照）

上記 2 つの学部群については、2021 年度から 2023 年度の 3 年間において、それぞれ志願者数は年々減少傾向にあるものの志願倍率は 4 倍以上を維持し続けている。また、定員充足率も約 90%後半と高い水準を維持している。このことから、学生が強い関心を持つ学問分野であり、継続的な志願者及び入学者確保が可能といえる。

以上のとおり、保健系学部及び臨床検査技師養成学科が属する学部においては、全国的に十分な志願者及び入学者を確保できていることから、今後も安定的かつ継続的な学生確保が可能と考える。

（北関東及び東北地域についての分析）

加えて、前掲「私立大学・短期大学等入学志願動向」において、私立大学の入学状況の報告がなされた。これによると、直近 2023 年 4 月入学生選抜試験において、北関東地域（茨城県・栃木県・群馬県）は、私立大学が 24 校あり、入学定員総数 10,408 人に対して、志願者総数（倍率）が 39,295 人（3.78 倍）、入学者総数（充足率）が 10,145 人（97.4%）であった。

一方、東北地域（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）は、私立大学が 34 校あり、入学定員総数 13,525 人に対して、志願者総数（倍率）が 41,262 人（3.05 倍）、入学者総数（充足率）が 12,571 人（92.9%）であった。（表 2 参照）

また、2021 年度から 2023 年度までの 3 年間の北関東及び東北地域における志願倍率及び定員充足率まで広げてみても、志願倍率は 3 倍を上回っている。さらに入学定員充足率についても、この 3 年間両地域において 90%を超えて維持し続けていることから、引き続き多くの私立大学で入学定員相当数の入学者を確保できるものと考える。

したがって、保健系学部という学部系統の観点から全国的に十分な志願者数及び入学者数を確保できていること、同時に本学を含む北関東及び東北地域に所在する私立大学においても、十分な志願者数を確保し入学定員充足率も 90%を超えて維持している。このことから、北関東地域に所在する保健系学部である本学新設の医学検査学科においても定員充足できるものと考える。

表１．全国の私立大学保健系学部及び臨床検査技師養成学部の志願者・入学者動向

学部名	入学年度	学部数	入学定員（人）	入学者数（人）	志願者数（人）	志願倍率（倍）	定員充足率（%）
保健系学部	2023	272	40,720	39,414	171,927	4.22	96.7
	2022	266	39,729	39,444	184,961	4.66	99.2
	2021	254	38,143	38,130	188,155	4.93	99.9
臨床検査技師養成学科が属する学部	2023	117	23,782	23,077	98,933	4.16	97.0
	2022	115	23,166	23,085	106,095	4.58	99.6
	2021	112	22,355	22,472	113,009	5.06	100.5

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」参照
※保健系学部に属する学部の中から、臨床検査技師養成学科が属する学部を抜粋
対象：保健医療学部、医療保健学部、医療技術学部、医療科学部、医療学部、保健科学部、健康医療科学部、その他（看護学、リハビリテーション学、栄養学及び福祉学系の学部を除く）
※志願倍率（入学定員/志願者数）、定員充足率（入学者数/入学定員）

表２．北関東・東北地域の私立大学の入学状況【単位：人】

地域	入学年度	学校数	入学定員	入学者数	志願者数	志願倍率（倍）	定員充足率（%）
北関東	2023	24	10,408	10,145	39,295	3.78	97.4
	2022	25	11,638	11,579	47,582	4.09	99.4
	2021	24	11,518	12,043	50,644	4.40	104.5
東北	2023	34	13,525	12,571	41,262	3.05	92.9
	2022	33	13,381	13,136	45,647	3.41	98.1
	2021	33	13,476	13,266	43,444	3.22	98.4

※入学定員は日本私立学校振興・共済事業団「令和５年度私立大学・短期大学等入学志願動向」参照
※北関東＝茨城県、栃木県、群馬県
※東北＝青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

エ　学生納付金等の金額設定の理由

本学においては、学生・保護者の負担軽減を図り、学生が安心して勉学に打ち込めるよう、学生納付金の金額抑制や独自の奨学金制度による学費の減免措置等を講じている。

既設の成田保健医療学部医学検査学科は、学生納付金の 4 年間総額を 614 万円とする。これは関東並びに東北地域の臨床検査技師養成学科を有する私立大学及び文部科学大臣指定医療技術者養成の私立大学、計 24 校の平均学費 655.3 万円より 41 万円ほど低く、また関東及び東北地域にある養成学科を有する私立大学 17 校のうち最も低い金額である。これはできる限り低廉な負担で教育機会を提供するという本学の考えによるものであり、新設する保健医療学部医学検査学科においても、学生負担を抑制する考えを堅持して、成田保健医療学部医学検査学科と同様に学生納付金を初年度で 155 万円、4 年間総額で 614 万円とする。（資料９）

【学生納付金】　（単位：千円）

学年	入学金	授業料	実験実習費	施設設備費	年度合計
初年度	300	900	50	300	1,550
2 年次以降	－	900	250	300	1,450

4 年間総額
6,140

※細胞検査士養成コースを選択する場合は別途費用負担がある。

上記に加え、学生が安心して勉学に打ち込めるように、本学独自の経済的サポートを多数用意しており、全学的に実施している「特待奨学生特別選抜」による学費の減免措置を始め本学独自の多様な奨学金制度を設けている。また、大田原キャンパスでは学生寮として「若草寮」を設けている。当該学生寮の活用や各種の奨学金制度などを通じ、志がありながら経済面で困難を抱えている学生に対する支援に着実に取り組んでいる。

③ 先行事例分析

該当なし

④ 学生確保に関するアンケート調査

保健医療学部医学検査学科の新設計画について、受験対象者［高校２年生（2023 年度現在)］に志願及び入学意向に関するアンケート調査を以下のとおり実施した。

（アンケート概要）

これまで三種類のアンケートを実施している。いずれのアンケートにも設問で工夫しており、回答者に重複はない。

ⅰ高等学校向けアンケート（以下「ⅰアンケート」という）

過去５年間（2018 年４月～2023 年４月）の入学生選抜試験において、本学の保健医療学部、医療福祉学部、薬学部又は成田保健医療学部医学検査学科に１名以上の志願者があった高等学校の中から 284 学校を選び対象とした。左記の高等学校には、あらかじめ学生募集に係る専任職員が訪問し、アンケートの趣旨を丁寧に説明したうえで大学案内リーフレット及び調査票（WEB アンケート及びマークシートアンケート）を渡し、アンケート調査への協力を依頼している。

◆対象地域：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県
◆実施時期：2023 年 11 月 20 日～2024 年１月 31 日
◆質問内容：WEB アンケート（資料 10)、マークシートアンケート（資料 11）のとおり
◆回答件数：21,596 件［発送件数 35,667 件（回答率 60.5%)］
◆回　　答：(資料 12)（資料 13）のとおり

ⅱ学生募集イベント参加者及び資料請求者など医学検査学科に関心がある者に対するメールアンケート（以下「ⅱアンケート」という）※

2023 年度に本学のオープンキャンパスなど学生募集イベントに参加した者及び資料請求者の中で、高校２年生 12,222 人を対象に新設学科の概要及び調査票（Google フォーム）をメール送付し、アンケート調査を実施した。

※調査票に「高校２年生であるかの確認」及び「ⅰアンケートに未回答であるかの確認」を入れており、ⅰアンケートの回答者とは重複していない。

◆実施時期：2023 年 11 月 18 日～2024 年１月 10 日
◆質問内容：(資料 14）のとおり
◆回答件数：302 件［送付件数 12,222 件（回答率 2.5%)］
◆回　　答：(資料 15）のとおり

ⅲオンライン説明会参加者向けアンケート（以下「ⅲアンケート」という）※

2023年11月から2024年2月までに、合計8回開催した高校2年生向け新設学科オンライン説明会の参加者77人（延べ92人）を対象にアンケート調査を実施した。

※調査票に、「ⅰアンケート及びⅱアンケートに未回答であるかの確認」を入れており、ⅰアンケート及びⅱアンケートの回答者とは重複していない。

◆実施時期：2023年11月23日～2024年2月28日
（説明会開催日：11/23、2/2、2/9、2/16、2/22、2/26、2/27、2/28）

◆質問内容：（資料16）のとおり

◆回答件数：18件（回答率23.3%）

◆回　　答：（資料17）のとおり

（アンケート調査の結果）

ⅰアンケートの質問6、ⅱアンケート及びⅲアンケートの質問7において「本学医学検査学科を受験し合格した場合の入学意向」について尋ねている。

その結果、本学医学検査学科を第一志望として受験を希望する者のうち、合格した場合の入学意向はⅰアンケートでは76人、ⅱアンケートでは21人、ⅲアンケートでは5人であり、合計で102人の本学を第一志望とする入学希望者がいることが分かった。

入学希望者の志望動機を尋ねると最も多い回答が「興味・関心のある学問分野で臨床検査技師の受験資格が可能だから」、続いて「検査業務及び健診業務に携わりたいから」となっており、受験生自らの臨床検査技師への明確な将来ビジョンの下、医学検査学科を志望していることが伺える。

また、第二志望で「入学したい」又は「上位志望校が不合格の場合に入学したい」と回答した者が3つのアンケートを合計すると178人いる。本学既設学科（成田）と同程度の入学辞退者（辞退率41.3%）がいたとしても104人ほどの入学者を見込むことができるため、先ほどの本学を第一志望とする入学希望者102人と合わせると206人の入学希望者がいるものと考えられる。

（各アンケートの内容の分析）

各アンケートでは、文科省設置の手引きに準拠して、以下の質問を設定し順を追って回答を求めている。（資料 12）（資料 13）（資料 15）（資料 17）

・進路（進学、就職等）
・学校種（大学、短大、専門学校、その他）
・設置主体（国公立、私立、国公私立）
・分野（医学検査含む保健医療、医歯薬、看護、医療福祉、その他）
・新設学科への志望（第一、第二、第三、受験せず）
・合格した場合の入学の意向（入学、上位行不合格の場合のみ入学、入学せず）

ｉ高等学校向けアンケートでは、回答方法が、QR コードによるインターネットでの回答（ｉ－１）、マークシート用紙へ記入による回答（ｉ－２）の２種類で依頼した。

医学検査学科に関する集計結果をまとめると以下のとおりである。質問順に徐々に絞り込みをかけており、全て内数となっている。

ｉ－１アンケートでは、合格した場合の入学の意向は 37 人（回答結果①）及び 21 人（回答結果②）であり、合計 58 人である。

ｉ－１ QR コードによる回答結果の概要

質問	内容	回答結果①	回答結果②
1	進路	進学　12,725	－
2	学校種	大学　11,222	－
3	設置主体	私立　3,358	国公私立　3,096
4	分野	保健医療　561	保健医療　605
5	新設学科への志望	第一志望　42	第一志望　23
6	合格した場合の入学の意向	入学　37	入学　21

（注）質問３で「私立」または「国公私立」の選択肢を用意し、一つだけ回答を求めている。これは、高校２年生段階では進路が明確に定まっていないことを考慮したものである。したがって、回答結果の集計で質問③以下は分けて集計している。（以下のアンケートで同様）

ｉ－２アンケートでは、合格した場合の入学の意向は 12 人（回答結果①）及び６人（回答結果②）であり、合計 18 人である。

ｉ－２マークシートによる回答結果の概要

質問	内容	回答結果①	回答結果②
1	進路	進学　7,082	－
2	学校種	大学　6.071	－
3	設置主体	私立　1,893	国公私立　1,674
4	分野	保健医療　359	保健医療　384
5	新設学科への志望	第一志望　13	第一志望　8
6	合格した場合の入学の意向	入学　12	入学　6

ⅱ学生募集イベント参加者及び資料請求者など医学検査学科に関心がある者に対するメールアンケートの集計結果は以下のとおりである。これによると、合格した場合の入学の意向は 11 人（回答結果①）及び 10 人（回答結果②）であり、合計 21 人である。

ⅱアンケートの回答結果の概要

質問	内容	回答結果①	回答結果②
1	進路	進学　290	－
2	学校種	大学　285	－
3	設置主体	私立　115	国公私立　123
4	分野	保健医療　88	保健医療　95
5	新設学科への志望	第一志望　11	第一志望　11
6	合格した場合の入学の意向	入学　11	入学　10

（注）実際のアンケートにおける質問番号は上記表とは異なる。（下記ⅲアンケートも同じ）

ⅲオンライン説明会参加者向けアンケートの集計結果は以下のとおりである。これによると、合格した場合の入学の意向は４人（回答結果①）及び１人（回答結果②）であり、合計５人である。

ⅲアンケートの回答結果の概要

質問	内容	回答結果①	回答結果②
1	進路	進学 15	－
2	学校種	大学 15	－
3	設置主体	私立 7	国公私立 5
4	分野	保健医療 7	保健医療 5
5	新設学科への志望	第一志望 4	第一志望 1
6	合格した場合の入学の意向	入学 4	入学 1

以上３つのアンケートの結果、本学の新設組織「医学検査学科」を第一志望とする入学希望者は合計で 102 人いることが分かった。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

新設組織「保健医療学部医学検査学科」で養成する人材が社会の需要を踏まえたものであることを検証するため、以下のとおりアンケート調査を実施した。

◆対象地域：

保健医療学部医学検査学科が養成する人材の主な就職先地域と想定される関東地域及び東北地域の 13 都県を抽出した。

①栃木県、②茨城県、③群馬県、④埼玉県、⑤千葉県、⑥東京都、⑦神奈川県
⑧青森県、⑨秋田県、⑩岩手県、⑪山形県、⑫宮城県、⑬福島県

◆実施時期：2023 年 11 月 1 日～12 月 25 日

◆対象事業者：

直近 3 年間（2020 年度～2022 年度）に、本学卒業生の就職実績がある事業者及び本学大田原キャンパスに求人票送付実績がある事業者のなかで、臨床検査技師が在籍している可能性のある 1,500 事業者を選び対象とした。

◆調査方法：

上記 1,500 事業者に対し、以下案内を郵送して WEB（Google フォーム）上でのアンケート調査への協力を依頼した。なお、なりすまし回答等を防止するため、アンケートの回答には、「人材需要に関するアンケートの実施について」に記載されたパスワードの入力を必要としている。

ⅰ 本学が構想中の保健医療学部医学検査学科リーフレット（資料 9）
ⅱ 国際医療福祉大学新設「保健医療学部医学検査学科(仮称)」開設計画に係る人材需要に関するアンケートの実施について（資料 18）

◆質問内容：（資料 19）のとおり。

◆回答件数：329 件［発送件数 1,500 件（回答率 21.9%）］

◆回　　答：（資料 20）のとおり。

◆結果の分析

新設する学科「保健医療学部医学検査学科」が養成する人材の主な就職先地域と想定される関東地域及び東北地域に所在する 1,500 事業者に対して、「養成する人材の需要に関するアンケート」を実施し、329 事業者（21.9%）から回答が得られた。本アンケートの回答をもとに、臨床検査技師の充足状況及び採用意向などは次のとおりであった。

（ｉ臨床検査技師の充足状況について）

質問４「貴施設・貴機関における臨床検査技師の充足状況についてお答えください。」について、以下の回答が得られた。

質問４　内訳（N=329 件）

・大きく不足している	25 件	7.5%
・やや不足している	117 件	35.5%
・適度に充足している	138 件	41.9%
・過剰である	4 件	1.2%
・わからない	45 件	13.6%
計	329 件	100.0%

関東地域及び東北地域に所在する事業者において、臨床検査技師数が「大きく不足している」又は「やや不足している」と回答したのは 142 事業者、地域別では関東地域が 93 事業者、東北地域が 49 事業者であった。

一方、「適度に充足している」又は「過剰である」と回答した事業者も 142 事業者であり、「不足している」の回答と同数であった。つまり、約半数の事業者が臨床検査技師数の不足を感じているといえる。（表１のとおり）

また、回答のあった 329 事業者における今後５年間に採用を予定する臨床検査技師の平均人数は、１年間あたり 558 人（５年間で 2,790 人）であった。しかしながら、北関東及び東北地域の臨床検査技師養成学校（４頁表参照）の入学定員総数は 394 名であるため、これらの地域内では少なくとも今後５年間においては毎年 160 人程度の臨床検査技師人材の不足が見込まれる。

本学大田原キャンパスにおける卒業生の約半数が、毎年、北関東及び東北地域にある医療機関などを中心に就職しており、この傾向は新設学科においても同様なものと考えている（2022 年度卒業生の 56.7%が同地域に就職している）。

したがって、新設学科の定員 80 人のうち、40 人ほどが北関東及び東北地域に就職するものと推測されるため、学科新設の計画は同地域の臨床検査技師の需要を踏まえたものと考える。

表１．事業者の所在地域別に見た臨床検査技師の充足状況【単位：事業者】

回答数	①大きく不足している	②やや不足している	①+② 小計	③適度に充足している	④過剰である	③+④ 小計	⑤わからない	①～⑤ 合計
関東	8	85	93	107	4	111	39	243
東北	17	32	49	31	0	31	6	86
総計	25	117	－	138	4	－	45	329

表２．今後５年間に採用を予定する臨床検査技師の１年間あたりの平均人数

【単位：人】

実人数	１人	２人	３人	４人	５人以上	計	５年間の合計
関東	61	74	66	28	185	414	2,070
東北	30	28	39	12	35	144	720
合計	91	102	105	40	220	558	2,790

（ii 保健医療学部医学検査学科が養成する人材に対するニーズなどについて）

新設学科が養成する人材の社会的ニーズ（質問７）及び、臨床検査技師に加えて、取得を期待する資格（質問 10）をアンケート調査し、以下の結果が得られた。

質問７　内訳（N=329 件）

・ニーズは極めて高い　91 件　27.6%
・ニーズはある程度高い　159 件　48.3%
・ニーズは高くない　13 件　3.9%
・どちらともいえない　66 件　20.0%
計　329 件　100.0%

質問 10　内訳　※複数回答可能

（資格のパーセントは、回答した事業者 329 者に占める割合）

・細胞検査士　192 件　58.3%
・遺伝子分析科学認定士　76 件　23.1%
・医用質量分析認定士　45 件　13.6%
・胚培養士　33 件　10.0%
・食品衛生管理者　35 件　10.6%
・食品衛生監視員　15 件　4.5%
・健康食品管理士　18 件　5.4%
・その他　19 件　5.7%
・特になし　76 件　23.1%

これによると、新設学科が養成する人材について、「ニーズは極めて高い」と回答したのが 91 事業者（27.6%）、「ニーズはある程度高い」と回答したのが 159 事業者（48.3%）であり、計 250（75.9%）の事業者から前向きな回答を得ることができた。

また、臨床検査技師に加えて取得を期待する資格では、「細胞検査士」が最も多く 192 件（58.3%）、次いで「遺伝子分析科学認定士」の 76 件（23.1%）であった。そして、概ね 10%台で「医用質量分析認定士」「胚培養士」「食品衛生管理者」が、概ね５%台で「食品衛生監視員」及び「健康食品管理士」が、続く結果であった。

質問７の結果から、新設学科が養成する臨床検査技師に対する社会的ニーズは非常に高いといえる。また栃木県臨床検査技師会からも設置要望書を受けており、地域的な期待及び需要も高いと考える。（資料 21）

加えて、（３）②アで述べたとおり、本学では学生の希望に応じて「細胞検査士」などの各種資格の取得を目指すことができる授業を展開する。これにより、質問 10 の結果にも即した、社会的及び地域的なニーズに積極的に応えた教育を実施する。

（ⅲ臨床検査技師の採用意向について）

質問８「国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」を卒業した臨床検査技師を採用したいと思われますか。」及び、質問９「質問８で『採用したい』または『採用を検討したい』と回答された方は採用可能と思われる人数をお答えください。」について、以下の回答が得られた。

質問８　内訳（N=329 件）

・採用したい	93 件	28.2%
・採用を検討したい	115 件	34.9%
・採用しない	34 件	10.3%
・わからない	87 件	26.4%
計	329 件	100.0%

質問９　内訳（N=208 件）

・１人	122 件（122 人）	58.6%
・２人	39 件（ 78 人）	18.7%
・３人以上	40 件（120 人）	19.2%
・未定	7 件（ － 人）	3.3%
計	208 件	100.0%

新設学科が養成する臨床検査技師を「採用したい」又は「採用を検討したい」と回答したのは 208 事業者（63.2%）であり、６割を超える事業者から採用について前向きな回答を得た。採用可能となるのが、５年後の 2029 年であるにもかかわらず、採用意欲が高いのは、今後の医療需要の高まり及び人材のひっ迫を念頭におい

たものと考えられる。

また、採用意向を臨床検査技師の充足状況別にみてみると、「適度に充足している」と回答した 138 事業者においても、「採用したい」又は「採用を検討したい」と、採用に対して前向きな回答が６割ほどを占める結果であった。(下表のとおり)

上述の「採用したい」又は「採用を検討したい」と回答した 208 事業者の採用可能な人数については、122 事業者が１人（122 人)、39 事業者が２人（78 人)、40 事業者が３人以上（120 人)、７者が未定との回答であった。

回答結果を求人数に置き換えると、最低でも 320 人分の臨床検査技師に対する求人を見込むことができると考える。保健医療学部医学検査学科の入学定員は 80 人であるため、これを大きく上回る４倍に及ぶ求人数から、本学が養成する臨床検査技師に対する期待と需要の高さをみてとることができる。

●臨床検査技師の充足状況別に見た採用意向

項目		採用したい	採用を検討したい	採用しない	わからない	計
回答事業者数	大きく不足している	19	5	0	1	25
	やや不足している	52	45	2	18	117
	適度に充足している	21	62	6	49	138
	過剰である	0	1	0	3	4
	わからない	1	2	26	16	45
	合計	93	115	34	87	329
割合（%）	大きく不足している	76.0	20.0	0.0	4.0	100.0
	やや不足している	44.4	38.5	1.7	15.4	100.0
	適度に充足している	15.2	44.9	4.3	35.5	100.0
	過剰である	0.0	25.0	0.0	75.0	100.0
	わからない	2.2	4.4	57.8	35.6	100.0
	合計	28.3	35.0	10.3	26.4	100.0

※割合（%）は各項目の回答数を各項目の合計で除して算出した

加えて、質問６「貴施設・貴機関が今後５年間に採用を予定する臨床検査技師の平均人数をお答えください。」の回答をもとに、事業者の所在地域別で今後５年間の臨床検査技師の採用予定人数を集計した結果を以下の表に示す。

これによると、今後５年間の採用予定を０人以外と回答した事業者は、関東地域で 164 事業者、東北地域で 67 事業者、合計 231 事業者であった。

また、今後５年間に採用を予定する平均人数（５年間の総人数）についてみると、関東地域は 414 人 (2,070 人)、東北地域は 144 人 (720 人)、合計 558 人 (2,790 人) であった。つまり、最低でも単年度で 558 人、５年間の合計で 2,790 人の求人数を見込むことができる。

上述のとおり、アンケートに回答した事業者の７割ほどが採用を予定しているこ

と、また継続的な求人数も見込むことができることから、今後も臨床検査技師に対する安定した需要を見込むことができると考える。

●事業者の所在地域別に見た今後5年間に採用を予定する臨床検査技師の1年間あたりの平均人数

回答事業者数	1人	2人	3人	4人	5人以上	計	0人以外の回答割合
関東	61	37	22	7	37	164	67.5%
東北	30	14	13	3	7	67	77.9%
合計	91	51	35	10	44	231	70.2%

実人数	1人	2人	3人	4人	5人以上	計	5年間の合計
関東	61人	74人	66人	28人	185人	414人	2,070人
東北	30人	28人	39人	12人	35人	144人	720人
合計	91人	102人	105人	40人	220人	558人	2,790人

以上より、保健医療学部医学検査学科の新設計画は、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であると確信する。

（4）新設組織の定員設定の理由

前述のとおり、栃木県内における臨床検査技師の数は、人口 10 万人当たりの人数で見ると需要に供給が追い付いていない恐れがあり、今後の新規人材の育成が急務である。栃木県内の養成所としては、入学定員 20 名の 3 年制の専門学校が 1 校あるのみであり、今後の拡充も予定されていない。高齢化の進展とあいまって、栃木県内だけでなく東北地域においても臨床検査技師の需要は十分にある。

一方、18 歳人口の減少及び進学率の増加などの要素を考慮しつつも、安定した就職につながる保健系学部への進学希望には根強いものがあるといえる。こうした中、今回の医学検査学科新設計画に対する高校 2 年生アンケートを見ると、少なくとも 100 名以上の志願者が見込まれている。適正な入学試験倍率を維持し入学生の学力を担保する意味からも 100 名以内の定員設定とする必要がある。

本学では既設の医学検査学科（大川、成田）においていずれも 80 名の定員で運用しており、講義や学外実習及び就職支援において 80 名規模での学科運営のノウハウを有している。また、指定規則では 40 名で一クラスであることから最も学習効率の良い（つまり最も学費を安く設定できる）2 クラス 80 名とすることが妥当であること、同じ北関東の競合校においても 60～80 名で運営されており、志願倍率も平均 4 倍程度を確保していること、以上の理由により入学定員を 80 名と設定したものである。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目　次

別紙 1　新設組織が置かれる本学大田原キャンパスへの入学状況 …… 2

別紙 2　既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） …… 3

別紙 3　既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績 …… 28

資料 1　医療機関勤務の臨床検査技師数の推移について …… 29

資料 2　栃木県と近隣地域における特定健康診断の受診状況 …… 30

資料 3　栃木県の65歳以上人口の推移 …… 31

資料 4　競合校の教育内容と方法の概要 …… 32

資料 5　2024年度試験会場（国際医療福祉大学） …… 36

資料 6　競合校の奨学制度の概要 …… 38

資料 7　キャリア支援セミナーBasic …… 40

資料 8　キャリア支援ハンドブック …… 43

資料 9　保健医療学部医学検査学科リーフレット …… 47

資料 10　ⅰ-1高等学校向けアンケート（QRコード）調査票 …… 49

資料 11　ⅰ-2高等学校向けアンケート（マークシート）調査票 …… 53

資料 12　ⅰ-1高等学校向けアンケート（QRコード）結果 …… 57

資料 13　ⅰ-2高等学校向けアンケート（マークシート）結果 …… 58

資料 14　ⅱ学生募集イベント参加者及び資料請求者など医学検査学科に関心がある者に対するメールアンケート調査票 …… 59

資料 15　ⅱ学生募集イベント参加者及び資料請求者など医学検査学科に関心がある者に対するメールアンケート結果 …… 68

資料 16　ⅲオンライン説明会参加者向けアンケート調査票 …… 69

資料 17　ⅲオンライン説明会参加者向けアンケート結果 …… 78

資料 18　国際医療福祉大学新設「保健医療学部医学検査学科」開設計画に係る人材需要に関するアンケートの実施について …… 79

資料 19　人材需要に関するアンケート調査票 …… 80

資料 20　人材需要に関するアンケート結果 …… 83

資料 21　栃木県臨床検査技師会　要望書 …… 87

新設組織が置かれる本学大田原キャンパスへの入学状況

別紙１

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	栃木県	369人	42.2%
2	茨城県	153人	17.5%
3	福島県	130人	14.9%
4	岩手県	28人	3.2%
5	群馬県	25人	2.9%
	全　　体	874人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	関東(埼玉、千葉、東京、神奈川を除く)	104.56%	99.49%	97.47%

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	保健系学部（大学）	99.97%	99.28%	96.79%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－１

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	43人	48人	55人	53人	41人	48人
		受験者数	42人	48人	54人	53人	41人	48人
		合格者数	26人	24人	25人	26人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	43人	48人	55人	53人	41人	48人
		受験者数	42人	48人	54人	53人	41人	48人
		合格者数	26人	24人	25人	26人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		26人	23人	25人	25人	25人	25人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	41人	41人	56人	56人	34人	46人
		受験者数	41人	41人	56人	56人	34人	46人
		合格者数	34人	36人	44人	45人	31人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	41人	41人	56人	56人	34人	46人
		受験者数	41人	41人	56人	56人	34人	46人
		合格者数	34人	36人	44人	45人	31人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		34人	36人	44人	45人	31人	38人
一般選抜	募集人数		43人	43人	43人	43人	43人	43人
	延べ人数	志願者数	201人	236人	334人	265人	162人	240人
		受験者数	196人	232人	328人	247人	153人	231人
		合格者数	70人	85人	72人	47人	77人	70人
		うち追加合格者数	3人	0人	11人	4人	5人	5人
		辞退者数	46人	58人	48人	33人	45人	46人
	実人数	志願者数	85人	117人	82人	75人	53人	82人
		受験者数	82人	116人	79人	69人	50人	79人
		合格者数	40人	59人	23人	19人	36人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	44人	19人	15人	22人	26人
	入学者数		24人	27人	24人	14人	32人	24人
共通テスト利用入試	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	78人	97人	132人	78人	61人	89人
		受験者数	78人	97人	132人	78人	61人	89人
		合格者数	30人	45人	26人	13人	25人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	40人	24人	12人	24人	25人
	実人数	志願者数	56人	77人	99人	58人	49人	68人
		受験者数	56人	77人	99人	58人	49人	68人
		合格者数	22人	37人	18人	9人	23人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	32人	18人	8人	22人	20人
	入学者数		4人	5人	2人	1人	1人	3人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	137人	176人	137人	156人	124人	146人
		受験者数	136人	172人	136人	154人	123人	144人
		合格者数	67人	70人	67人	72人	80人	71人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	36人	42人	42人	38人	51人	42人
	実人数	志願者数	95人	112人	95人	107人	80人	98人
		受験者数	94人	109人	94人	107人	79人	97人
		合格者数	47人	40人	45人	44人	48人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	20人	24人	23人	27人	24人
	入学者数		31人	28人	25人	34人	29人	29人
合計	募集人数		115人	115人	115人	115人	115人	115人
	延べ人数	志願者数	500人	598人	714人	608人	422人	568人
		受験者数	493人	590人	706人	588人	412人	558人
		合格者数	227人	260人	234人	203人	238人	232人
		うち追加合格者数	3人	0人	12人	4人	5人	5人
		辞退者数	108人	141人	114人	84人	120人	113人
	実人数	志願者数	320人	395人	387人	349人	257人	342人
		受験者数	315人	391人	382人	343人	253人	337人
		合格者数	169人	196人	155人	143人	163人	165人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	75人	97人	61人	47人	71人	70人
	入学者数		119人	119人	120人	119人	118人	119人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	115人	115人	115人	115人	115人	115人
入学定員充足率	1.03	1.03	1.04	1.03	1.03	1.03
歩留率	0.70	0.61	0.77	0.83	0.72	0.73

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成29年度収容増（15名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－２

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	72人	60人	69人	45人	53人	60人
		受験者数	72人	60人	69人	45人	53人	60人
		合格者数	26人	23人	29人	21人	31人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	72人	60人	69人	45人	53人	60人
		受験者数	72人	60人	69人	45人	53人	60人
		合格者数	26人	23人	29人	21人	31人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		26人	23人	29人	20人	31人	26人
学校推薦型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	44人	45人	42人	45人	41人	43人
		受験者数	44人	45人	42人	45人	41人	43人
		合格者数	30人	34人	36人	42人	37人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	44人	45人	42人	45人	41人	43人
		受験者数	44人	45人	42人	45人	41人	43人
		合格者数	30人	34人	36人	42人	37人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	1人	1人
	入学者数		30人	33人	35人	41人	36人	35人
一般選抜	募集人数		41人	41人	41人	41人	41人	41人
	延べ人数	志願者数	156人	153人	167人	144人	131人	150人
		受験者数	154人	152人	166人	144人	130人	149人
		合格者数	40人	53人	34人	28人	38人	39人
		うち追加合格者数	2人	6人	6人	0人	4人	4人
		辞退者数	20人	32人	17人	15人	21人	21人
	実人数	志願者数	53人	72人	45人	27人	23人	44人
		受験者数	51人	71人	45人	27人	23人	43人
		合格者数	21人	33人	11人	10人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	22人	4人	5人	9人	10人
	入学者数		20人	21人	17人	13人	17人	18人
共通テスト利用入試	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	78人	79人	75人	62人	47人	68人
		受験者数	78人	79人	75人	62人	47人	68人
		合格者数	33人	35人	21人	14人	13人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	26人	20人	13人	13人	20人
	実人数	志願者数	64人	63人	55人	45人	31人	52人
		受験者数	64人	63人	55人	45人	31人	52人
		合格者数	27人	29人	15人	9人	8人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	21人	14人	8人	8人	15人
	入学者数		6人	9人	1人	1人	0人	3人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	111人	128人	113人	100人	92人	109人
		受験者数	110人	128人	111人	99人	90人	108人
		合格者数	42人	43人	41人	50人	36人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	29人	21人	21人	18人	22人
	実人数	志願者数	69人	78人	74人	56人	65人	68人
		受験者数	68人	78人	73人	56人	63人	68人
		合格者数	23人	18人	22人	22人	24人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	11人	9人	6人	10人	9人
	入学者数		22人	14人	20人	29人	18人	21人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	461人	465人	466人	396人	364人	430人
		受験者数	458人	464人	463人	395人	361人	428人
		合格者数	171人	188人	161人	155人	155人	166人
		うち追加合格者数	2人	6人	7人	0人	4人	4人
		辞退者数	67人	88人	59人	51人	53人	64人
	実人数	志願者数	302人	318人	285人	218人	213人	267人
		受験者数	299人	317人	284人	218人	211人	266人
		合格者数	127人	137人	113人	104人	115人	119人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	43人	55人	28人	21人	28人	35人
	入学者数		104人	100人	102人	104人	102人	102人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	1.04	1.00	1.02	1.04	1.02	1.02
歩留率	0.82	0.73	0.90	1.00	0.89	0.87

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成29年度収容定員増（20名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－３

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	16人	16人	16人	16人	15人
	延べ人数	志願者数	32人	30人	37人	31人	25人	31人
		受験者数	32人	29人	37人	31人	25人	31人
		合格者数	23人	22人	27人	28人	24人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	32人	30人	37人	31人	25人	31人
		受験者数	32人	29人	37人	31人	25人	31人
		合格者数	23人	22人	27人	28人	24人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
	入学者数		23人	22人	24人	28人	24人	24人
学校推薦型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	29人	34人	40人	34人	42人	36人
		受験者数	29人	34人	40人	34人	42人	36人
		合格者数	25人	34人	38人	34人	41人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	3人	0人	1人
		辞退者数	1人	3人	1人	4人	4人	3人
	実人数	志願者数	29人	34人	40人	34人	42人	36人
		受験者数	29人	34人	40人	34人	42人	36人
		合格者数	25人	34人	38人	34人	41人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	1人	4人	4人	3人
	入学者数		24人	31人	37人	30人	37人	32人
一般選抜	募集人数		26人	26人	26人	26人	26人	26人
	延べ人数	志願者数	44人	51人	52人	34人	32人	43人
		受験者数	43人	51人	52人	33人	32人	42人
		合格者数	26人	24人	15人	14人	18人	19人
		うち追加合格者数	4人	0人	2人	2人	4人	2人
		辞退者数	12人	13人	8人	5人	14人	10人
	実人数	志願者数	20人	20人	16人	4人	10人	14人
		受験者数	19人	20人	16人	4人	10人	14人
		合格者数	13人	12人	7人	0人	7人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	9人	5人	0人	7人	6人
	入学者数		14人	11人	7人	9人	4人	9人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	6人	6人	6人	6人	7人
	延べ人数	志願者数	20人	30人	17人	17人	18人	20人
		受験者数	20人	30人	17人	17人	18人	20人
		合格者数	14人	20人	8人	7人	9人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
		辞退者数	11人	16人	7人	6人	8人	10人
	実人数	志願者数	19人	24人	17人	12人	15人	17人
		受験者数	19人	24人	17人	12人	15人	17人
		合格者数	9人	18人	8人	4人	7人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	14人	7人	4人	7人	8人
	入学者数		3人	4人	1人	1人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	50人	73人	71人	47人	51人	58人
		受験者数	50人	73人	71人	46人	51人	58人
		合格者数	31人	26人	22人	32人	32人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		辞退者数	13人	13人	10人	18人	16人	14人
	実人数	志願者数	42人	58人	60人	43人	48人	50人
		受験者数	42人	58人	60人	42人	48人	50人
		合格者数	14人	13人	18人	17人	18人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	6人	7人	9人	6人
	入学者数		18人	13人	12人	14人	16人	15人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	175人	218人	217人	163人	168人	188人
		受験者数	174人	217人	217人	161人	168人	187人
		合格者数	119人	126人	110人	115人	124人	119人
		うち追加合格者数	4人	0人	2人	8人	5人	4人
		辞退者数	37人	45人	29人	33人	42人	37人
	実人数	志願者数	142人	166人	170人	124人	140人	148人
		受験者数	141人	165人	170人	123人	140人	148人
		合格者数	84人	99人	98人	83人	97人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	31人	22人	15人	27人	23人
	入学者数		82人	81人	81人	82人	82人	82人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.03	1.01	1.01	1.03	1.03	1.02
歩留率	0.98	0.82	0.83	0.99	0.85	0.89

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－４

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	33人	28人	31人	32人	23人	29人
		受験者数	32人	28人	30人	32人	23人	29人
		合格者数	22人	23人	24人	24人	21人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	33人	28人	31人	32人	23人	29人
		受験者数	32人	28人	30人	32人	23人	29人
		合格者数	22人	23人	24人	24人	21人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	1人
	入学者数		22人	22人	23人	24人	20人	22人
学校推薦型選抜	募集人数		21人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	31人	37人	31人	42人	33人	35人
		受験者数	31人	37人	31人	42人	33人	35人
		合格者数	30人	37人	31人	39人	33人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
		辞退者数	1人	0人	3人	5人	1人	2人
	実人数	志願者数	31人	37人	31人	42人	33人	35人
		受験者数	31人	37人	31人	42人	33人	35人
		合格者数	30人	37人	31人	39人	33人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	3人	5人	1人	2人
	入学者数		29人	37人	28人	34人	32人	32人
一般選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	34人	29人	41人	17人	39人	32人
		受験者数	32人	29人	41人	16人	39人	31人
		合格者数	24人	25人	12人	12人	25人	20人
		うち追加合格者数	4人	0人	0人	1人	5人	2人
		辞退者数	11人	14人	8人	8人	14人	11人
	実人数	志願者数	18人	9人	9人	3人	6人	9人
		受験者数	17人	9人	9人	2人	6人	9人
		合格者数	14人	8人	0人	2人	3人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	0人	1人	2人	3人
	入学者数		13人	11人	4人	4人	11人	9人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	30人	22人	15人	14人	14人	19人
		受験者数	30人	22人	15人	14人	14人	19人
		合格者数	20人	22人	9人	7人	9人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	16人	6人	6人	8人	11人
	実人数	志願者数	19人	16人	11人	10人	7人	13人
		受験者数	19人	16人	11人	10人	7人	13人
		合格者数	15人	16人	7人	5人	5人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	11人	5人	4人	5人	8人
	入学者数		1人	6人	3人	1人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	63人	72人	59人	69人	43人	61人
		受験者数	62人	72人	59人	68人	40人	60人
		合格者数	29人	26人	39人	26人	32人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	8人	0人	12人	4人
		辞退者数	14人	15人	16人	9人	13人	13人
	実人数	志願者数	44人	48人	50人	58人	32人	46人
		受験者数	43人	48人	50人	57人	31人	46人
		合格者数	11人	12人	17人	15人	7人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	4人	4人	1人	3人
	入学者数		15人	11人	23人	17人	19人	17人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	191人	188人	177人	174人	152人	176人
		受験者数	187人	188人	176人	172人	149人	174人
		合格者数	125人	133人	115人	108人	120人	120人
		うち追加合格者数	4人	0人	9人	1人	19人	7人
		辞退者数	45人	46人	34人	28人	37人	38人
	実人数	志願者数	145人	138人	132人	145人	101人	132人
		受験者数	142人	138人	131人	143人	100人	131人
		合格者数	92人	96人	79人	85人	69人	84人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	22人	13人	14人	10人	17人
	入学者数		80人	87人	81人	80人	83人	82人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.00	1.09	1.01	1.00	1.04	1.03
歩留率	0.87	0.91	1.03	0.94	1.20	0.99

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－５

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		6人	6人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	14人	19人	25人	12人	13人	17人
		受験者数	13人	19人	25人	12人	12人	16人
		合格者数	13人	15人	14人	10人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	14人	19人	25人	12人	13人	17人
		受験者数	13人	19人	25人	12人	12人	16人
		合格者数	13人	15人	14人	10人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		12人	13人	14人	10人	11人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		18人	21人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	20人	25人	38人	37人	32人	30人
		受験者数	20人	25人	38人	37人	32人	30人
		合格者数	20人	25人	34人	36人	31人	29人
		うち追加合格者数	0人	5人	0人	5人	7人	3人
		辞退者数	2人	2人	5人	5人	5人	4人
	実人数	志願者数	20人	25人	38人	37人	32人	30人
		受験者数	20人	25人	38人	37人	32人	30人
		合格者数	20人	25人	34人	36人	31人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	5人	5人	5人	4人
	入学者数		18人	23人	29人	31人	26人	25人
一般選抜	募集人数		14人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	29人	25人	41人	10人	19人	25人
		受験者数	28人	25人	41人	10人	19人	25人
		合格者数	25人	15人	9人	7人	13人	14人
		うち追加合格者数	5人	0人	0人	0人	2人	1人
		辞退者数	13人	9人	8人	3人	8人	8人
	実人数	志願者数	20人	6人	6人	2人	7人	8人
		受験者数	19人	6人	6人	2人	7人	8人
		合格者数	15人	4人	2人	1人	5人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	3人	2人	1人	4人	4人
	入学者数		12人	6人	1人	4人	5人	6人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	15人	11人	15人	5人	10人	11人
		受験者数	15人	9人	15人	5人	10人	11人
		合格者数	13人	6人	4人	4人	3人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	4人	4人	3人	2人	5人
	実人数	志願者数	13人	5人	11人	2人	7人	8人
		受験者数	13人	3人	11人	2人	7人	7人
		合格者数	11人	2人	3人	2人	2人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	1人	3人	2人	1人	3人
	入学者数		1人	2人	0人	1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	32人	39人	48人	29人	34人	36人
		受験者数	32人	39人	48人	28人	33人	36人
		合格者数	16人	22人	9人	11人	12人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	12人	1人	3人	4人	5人
	実人数	志願者数	31人	33人	41人	28人	32人	33人
		受験者数	31人	33人	41人	28人	31人	33人
		合格者数	8人	8人	8人	9人	9人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	1人	3人	2人
	入学者数		9人	10人	8人	8人	8人	9人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	110人	119人	167人	93人	108人	119人
		受験者数	108人	117人	167人	92人	106人	118人
		合格者数	87人	83人	70人	68人	70人	76人
		うち追加合格者数	5人	5人	0人	5人	9人	5人
		辞退者数	35人	29人	18人	14人	19人	23人
	実人数	志願者数	98人	88人	121人	81人	91人	96人
		受験者数	96人	86人	121人	81人	89人	95人
		合格者数	67人	54人	61人	58人	58人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	10人	10人	9人	13人	13人
	入学者数		52人	54人	52人	54人	51人	53人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	1.04	1.08	1.04	1.08	1.02	1.05
歩留率	0.78	1.00	0.85	0.93	0.88	0.89

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成29年度収容定員増（10名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－６

大学学部学科等名：国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	30人	52人	47人	44人	44人	43人
		受験者数	30人	52人	47人	44人	44人	43人
		合格者数	8人	11人	15人	12人	11人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	30人	52人	47人	44人	44人	43人
		受験者数	30人	52人	47人	44人	44人	43人
		合格者数	8人	11人	15人	12人	11人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		8人	10人	14人	12人	11人	11人
学校推薦型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	36人	36人	39人	42人	51人	41人
		受験者数	36人	36人	39人	42人	51人	41人
		合格者数	25人	24人	28人	29人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	36人	36人	39人	42人	51人	41人
		受験者数	36人	36人	39人	42人	51人	41人
		合格者数	25人	24人	28人	29人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		25人	24人	28人	29人	30人	27人
一般選抜	募集人数		48人	48人	48人	48人	48人	48人
	延べ人数	志願者数	237人	275人	451人	333人	344人	328人
		受験者数	232人	269人	443人	320人	336人	320人
		合格者数	92人	92人	71人	75人	86人	83人
		うち追加合格者数	15人	0人	6人	7人	4人	6人
		辞退者数	47人	51人	41人	36人	47人	44人
	実人数	志願者数	99人	95人	84人	72人	76人	85人
		受験者数	94人	91人	81人	66人	72人	81人
		合格者数	56人	48人	22人	29人	37人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	35人	27人	15人	17人	23人	23人
	入学者数		45人	41人	30人	39人	39人	39人
共通テスト利用入試	募集人数		32人	22人	22人	22人	22人	24人
	延べ人数	志願者数	137人	168人	182人	168人	139人	159人
		受験者数	137人	168人	181人	165人	137人	158人
		合格者数	61人	64人	29人	30人	37人	44人
		うち追加合格者数	2人	0人	1人	5人	0人	2人
		辞退者数	53人	53人	25人	23人	34人	38人
	実人数	志願者数	126人	110人	127人	106人	102人	114人
		受験者数	126人	110人	126人	105人	101人	114人
		合格者数	55人	48人	25人	19人	27人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	48人	39人	22人	14人	25人	30人
	入学者数		8人	11人	4人	7人	3人	7人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	129人	175人	158人	142人	156人	152人
		受験者数	129人	175人	155人	140人	152人	150人
		合格者数	70人	70人	70人	70人	58人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	36人	39人	31人	42人	26人	35人
	実人数	志願者数	101人	89人	91人	75人	81人	87人
		受験者数	101人	89人	89人	75人	78人	86人
		合格者数	61人	34人	40人	34人	37人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	19人	17人	19人	15人	20人
	入学者数		34人	31人	39人	28人	32人	33人
合計	募集人数		120人	110人	110人	110人	110人	112人
	延べ人数	志願者数	569人	706人	877人	729人	734人	723人
		受験者数	564人	700人	865人	711人	720人	712人
		合格者数	256人	261人	213人	216人	222人	234人
		うち追加合格者数	17人	0人	7人	12人	4人	8人
		辞退者数	136人	144人	98人	101人	107人	117人
	実人数	志願者数	392人	382人	388人	339人	354人	371人
		受験者数	387人	378人	382人	332人	346人	365人
		合格者数	205人	165人	130人	123人	142人	153人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	112人	86人	55人	50人	63人	73人
	入学者数		120人	117人	115人	115人	115人	116人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	120人	110人	110人	110人	110人	112人
入学定員充足率	1.00	1.06	1.05	1.05	1.05	1.04
歩留率	0.59	0.71	0.88	0.93	0.81	0.78

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成29年度収容定員増（20名）
令和2年度収容定員減（△10名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－７

大学学部学科等名：国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	20人	30人	30人	30人	26人
	延べ人数	志願者数	33人	49人	37人	44人	28人	38人
		受験者数	32人	48人	37人	44人	28人	38人
		合格者数	32人	48人	36人	44人	27人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	33人	49人	37人	44人	28人	38人
		受験者数	32人	48人	37人	44人	28人	38人
		合格者数	32人	48人	36人	44人	27人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	3人	2人	2人
	入学者数		31人	47人	35人	41人	25人	36人
学校推薦型選抜	募集人数		52人	52人	52人	52人	52人	52人
	延べ人数	志願者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		受験者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		合格者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		うち追加合格者数	5人	3人	12人	0人	1人	4人
		辞退者数	0人	1人	4人	0人	4人	2人
	実人数	志願者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		受験者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		合格者数	48人	43人	54人	55人	69人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	4人	0人	4人	2人
	入学者数		48人	42人	50人	55人	65人	52人
一般選抜	募集人数		35人	35人	25人	25人	25人	29人
	延べ人数	志願者数	66人	64人	78人	71人	68人	69人
		受験者数	64人	64人	78人	70人	67人	69人
		合格者数	51人	56人	58人	49人	54人	54人
		うち追加合格者数	5人	16人	15人	9人	18人	13人
		辞退者数	28人	32人	37人	26人	30人	31人
	実人数	志願者数	26人	37人	29人	18人	17人	25人
		受験者数	25人	37人	29人	18人	17人	25人
		合格者数	24人	34人	23人	18人	17人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	25人	17人	13人	11人	16人
	入学者数		23人	24人	21人	23人	24人	23人
共通テスト利用入試	募集人数		18人	18人	18人	18人	18人	18人
	延べ人数	志願者数	55人	40人	37人	40人	35人	41人
		受験者数	55人	40人	36人	40人	34人	41人
		合格者数	54人	39人	30人	35人	33人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	48人	28人	25人	31人	30人	32人
	実人数	志願者数	39人	34人	29人	30人	26人	32人
		受験者数	39人	34人	28人	30人	26人	31人
		合格者数	39人	33人	22人	27人	25人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	23人	19人	24人	23人	24人
	入学者数		6人	11人	5人	4人	3人	6人
その他の特別選抜	募集人数		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	96人	97人	82人	85人	56人	83人
		受験者数	95人	95人	82人	84人	55人	82人
		合格者数	68人	63人	55人	38人	31人	51人
		うち追加合格者数	19人	17人	11人	2人	6人	11人
		辞退者数	33人	37人	24人	18人	14人	25人
	実人数	志願者数	81人	80人	66人	74人	49人	70人
		受験者数	80人	78人	66人	74人	48人	69人
		合格者数	35人	30人	30人	29人	20人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	14人	9人	12人	6人	10人
	入学者数		35人	26人	31人	20人	17人	26人
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	140人
	延べ人数	志願者数	298人	293人	288人	295人	256人	286人
		受験者数	294人	290人	287人	293人	253人	283人
		合格者数	253人	249人	233人	221人	214人	234人
		うち追加合格者数	29人	36人	38人	11人	25人	28人
		辞退者数	110人	99人	91人	78人	80人	92人
	実人数	志願者数	227人	243人	215人	221人	189人	219人
		受験者数	224人	240人	214人	221人	188人	217人
		合格者数	178人	188人	165人	173人	158人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	64人	50人	52人	46人	54人
	入学者数		143人	150人	142人	143人	134人	142人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.02	1.07	1.01	1.02	0.96	1.02
歩留率	0.80	0.80	0.86	0.83	0.85	0.83

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成30年度収容定員減（△20名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－８

大学学部学科等名：国際医療福祉大学薬学部薬学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	25人	21人	26人	32人	39人	29人
		受験者数	24人	21人	26人	32人	39人	28人
		合格者数	9人	11人	14人	18人	16人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	25人	21人	26人	32人	39人	29人
		受験者数	24人	21人	26人	32人	39人	28人
		合格者数	9人	11人	14人	18人	16人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
	入学者数		9人	11人	14人	17人	14人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	33人	42人	41人	46人	54人	43人
		受験者数	33人	42人	41人	46人	53人	43人
		合格者数	26人	36人	32人	34人	38人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	3人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	33人	42人	41人	46人	54人	43人
		受験者数	33人	42人	41人	46人	53人	43人
		合格者数	26人	36人	32人	34人	38人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	3人	0人	0人	1人
	入学者数		26人	35人	29人	34人	38人	32人
一般選抜	募集人数		55人	55人	55人	55人	55人	55人
	延べ人数	志願者数	373人	348人	465人	477人	450人	423人
		受験者数	359人	338人	449人	457人	432人	407人
		合格者数	143人	172人	100人	177人	190人	156人
		うち追加合格者数	16人	9人	0人	30人	22人	15人
		辞退者数	76人	114人	67人	117人	118人	98人
	実人数	志願者数	190人	182人	179人	193人	179人	185人
		受験者数	182人	175人	169人	185人	173人	177人
		合格者数	94人	116人	69人	110人	115人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	61人	88人	51人	92人	87人	76人
	入学者数		67人	58人	33人	60人	72人	58人
共通テスト利用入試	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	195人	200人	191人	225人	192人	201人
		受験者数	195人	197人	190人	222人	189人	199人
		合格者数	53人	64人	55人	56人	66人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	3人	1人
		辞退者数	49人	59人	48人	49人	59人	53人
	実人数	志願者数	178人	170人	166人	197人	167人	176人
		受験者数	178人	168人	165人	194人	164人	174人
		合格者数	50人	55人	47人	51人	56人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	47人	50人	40人	46人	49人	46人
	入学者数		4人	5人	7人	7人	7人	6人
その他の特別選抜	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	364人	386人	316人	343人	351人	352人
		受験者数	356人	380人	316人	340人	344人	347人
		合格者数	218人	231人	211人	187人	179人	205人
		うち追加合格者数	3人	2人	0人	3人	3人	2人
		辞退者数	138人	158人	106人	116人	121人	128人
	実人数	志願者数	358人	304人	267人	295人	296人	304人
		受験者数	350人	299人	267人	293人	291人	300人
		合格者数	218人	177人	172人	155人	151人	175人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	138人	116人	77人	93人	98人	104人
	入学者数		80人	73人	105人	71人	58人	77人
合計	募集人数		180人	180人	180人	180人	180人	180人
	延べ人数	志願者数	990人	997人	1039人	1123人	1086人	1047人
		受験者数	967人	978人	1022人	1097人	1057人	1024人
		合格者数	449人	514人	412人	472人	489人	467人
		うち追加合格者数	19人	11人	0人	34人	28人	18人
		辞退者数	263人	332人	224人	283人	300人	280人
	実人数	志願者数	784人	719人	679人	763人	735人	736人
		受験者数	767人	705人	668人	750人	720人	722人
		合格者数	397人	395人	334人	368人	376人	374人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	246人	255人	171人	232人	236人	228人
	入学者数		186人	182人	188人	189人	189人	187人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
入学定員充足率	1.03	1.01	1.04	1.05	1.05	1.04
歩留率	0.47	0.46	0.56	0.51	0.50	0.50

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－９

大学学部学科等名：国際医療福祉大学医学部医学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	募集人数		105人	105人	105人	105人	105人	105人
	延べ人数	志願者数	2948人	2887人	2881人	3009人	3027人	2950人
		受験者数	2856人	2798人	2793人	2938人	2931人	2863人
		合格者数	318人	347人	354人	362人	367人	350人
		うち追加合格者数	93人	98人	74人	84人	67人	83人
		辞退者数	206人	239人	238人	260人	261人	241人
	実人数	志願者数	2948人	2887人	2881人	3009人	3027人	2950人
		受験者数	2856人	2798人	2793人	2938人	2931人	2863人
		合格者数	318人	347人	354人	362人	367人	350人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	206人	239人	238人	260人	261人	241人
	入学者数		112人	108人	116人	102人	106人	109人
共通テスト利用入試	募集人数		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	1082人	972人	740人	829人	921人	909人
		受験者数	1053人	949人	719人	809人	906人	887人
		合格者数	36人	41人	30人	33人	48人	38人
		うち追加合格者数	6人	11人	0人	2人	3人	4人
		辞退者数	29人	32人	29人	26人	37人	31人
	実人数	志願者数	1082人	972人	740人	829人	921人	909人
		受験者数	1053人	949人	719人	809人	906人	887人
		合格者数	36人	41人	30人	33人	48人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	32人	29人	26人	37人	31人
	入学者数		7人	9人	1人	7人	11人	7人
その他の特別選抜	募集人数		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	162人	142人	113人	176人	178人	154人
		受験者数	149人	135人	108人	166人	162人	144人
		合格者数	21人	25人	27人	32人	31人	27人
		うち追加合格者数	0人	2人	2人	4人	5人	3人
		辞退者数	0人	2人	4人	1人	6人	3人
	実人数	志願者数	162人	142人	113人	176人	178人	154人
		受験者数	149人	135人	108人	166人	162人	144人
		合格者数	21人	25人	27人	32人	31人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	4人	1人	6人	3人
	入学者数		21人	23人	23人	31人	25人	25人
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	140人
	延べ人数	志願者数	4192人	4001人	3734人	4014人	4126人	4013人
		受験者数	4058人	3882人	3620人	3913人	3999人	3894人
		合格者数	375人	413人	411人	427人	446人	414人
		うち追加合格者数	99人	111人	76人	90人	75人	90人
		辞退者数	235人	273人	271人	287人	304人	274人
	実人数	志願者数	4192人	4001人	3734人	4014人	4126人	4013人
		受験者数	4058人	3882人	3620人	3913人	3999人	3894人
		合格者数	375人	413人	411人	427人	446人	414人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	235人	273人	271人	287人	304人	274人
	入学者数		140人	140人	140人	140人	142人	140人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.01	1.00
歩留率	0.37	0.34	0.34	0.33	0.32	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		32人	32人	32人	32人	32人	32人
	延べ人数	志願者数	92人	92人	78人	101人	63人	85人
		受験者数	92人	92人	78人	101人	62人	85人
		合格者数	48人	43人	45人	46人	49人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	92人	92人	78人	101人	63人	85人
		受験者数	92人	92人	78人	101人	62人	85人
		合格者数	48人	43人	45人	46人	49人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	2人	0人	1人
	入学者数		47人	42人	45人	44人	49人	45人
一般選抜	募集人数		42人	42人	42人	42人	42人	42人
	延べ人数	志願者数	496人	432人	530人	589人	457人	501人
		受験者数	475人	418人	506人	572人	447人	484人
		合格者数	76人	93人	81人	78人	62人	78人
		うち追加合格者数	21人	24人	17人	27人	6人	19人
		辞退者数	38人	49人	45人	37人	33人	40人
	実人数	志願者数	186人	161人	135人	125人	88人	139人
		受験者数	175人	155人	124人	120人	86人	132人
		合格者数	48人	47人	34人	25人	18人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	29人	22人	18人	16人	22人
	入学者数		38人	44人	36人	41人	29人	38人
共通テスト利用入試	募集人数		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	198人	160人	152人	146人	108人	153人
		受験者数	198人	159人	151人	145人	106人	152人
		合格者数	35人	35人	31人	20人	20人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	32人	29人	20人	19人	26人
	実人数	志願者数	171人	136人	117人	124人	92人	128人
		受験者数	171人	136人	116人	123人	90人	127人
		合格者数	33人	31人	28人	20人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	28人	26人	20人	17人	24人
	入学者数		3人	3人	2人	0人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	241人	219人	188人	244人	202人	219人
		受験者数	241人	217人	186人	238人	201人	217人
		合格者数	54人	56人	59人	71人	60人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	37人	34人	48人	37人	37人
	実人数	志願者数	188人	155人	134人	174人	146人	159人
		受験者数	188人	154人	132人	171人	146人	158人
		合格者数	49人	36人	42人	57人	40人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	22人	26人	38人	21人	27人
	入学者数		24人	19人	25人	23人	23人	23人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	1027人	903人	948人	1080人	830人	958人
		受験者数	1006人	886人	921人	1056人	816人	937人
		合格者数	213人	227人	216人	215人	191人	212人
		うち追加合格者数	21人	24人	17人	27人	6人	19人
		辞退者数	101人	119人	108人	107人	89人	105人
	実人数	志願者数	637人	544人	464人	524人	389人	512人
		受験者数	626人	537人	450人	515人	384人	502人
		合格者数	178人	157人	149人	148人	124人	151人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	84人	80人	74人	78人	54人	74人
	入学者数		112人	108人	108人	108人	102人	108人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	1.12	1.08	1.08	1.08	1.02	1.08
歩留率	0.63	0.69	0.72	0.73	0.82	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	52人	53人	73人	60人	55人	59人
		受験者数	52人	53人	73人	60人	55人	59人
		合格者数	33人	34人	38人	34人	37人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	52人	53人	73人	60人	54人	58人
		受験者数	52人	53人	73人	60人	54人	58人
		合格者数	33人	34人	38人	34人	37人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	1人	1人	1人
	入学者数		32人	34人	36人	33人	36人	34人
一般選抜	募集人数		33人	33人	33人	33人	33人	33人
	延べ人数	志願者数	192人	253人	335人	300人	268人	270人
		受験者数	190人	247人	330人	287人	262人	263人
		合格者数	49人	66人	48人	59人	49人	54人
		うち追加合格者数	6人	14人	4人	7人	1人	6人
		辞退者数	18人	31人	21人	25人	22人	23人
	実人数	志願者数	54人	77人	51人	44人	40人	53人
		受験者数	53人	75人	49人	40人	38人	51人
		合格者数	23人	29人	12人	14人	13人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	23人	7人	11人	10人	13人
	入学者数		31人	35人	27人	34人	27人	31人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	85人	136人	102人	95人	78人	99人
		受験者数	85人	136人	101人	92人	78人	98人
		合格者数	27人	28人	14人	12人	13人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	22人	13人	11人	12人	16人
	実人数	志願者数	75人	115人	78人	77人	62人	81人
		受験者数	75人	115人	77人	74人	62人	81人
		合格者数	26人	25人	11人	11人	13人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	19人	10人	10人	12人	14人
	入学者数		5人	6人	1人	1人	1人	3人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	115人	143人	125人	128人	101人	122人
		受験者数	113人	141人	124人	127人	100人	121人
		合格者数	33人	34人	36人	36人	37人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	22人	13人	17人	15人	16人
	実人数	志願者数	75人	89人	83人	79人	74人	80人
		受験者数	73人	88人	83人	79人	74人	79人
		合格者数	22人	19人	26人	24人	30人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	10人	6人	8人	9人	8人
	入学者数		18人	12人	23人	19人	22人	19人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	444人	585人	635人	583人	502人	550人
		受験者数	440人	577人	628人	566人	495人	541人
		合格者数	142人	162人	136人	141人	136人	143人
		うち追加合格者数	6人	14人	4人	7人	1人	6人
		辞退者数	56人	75人	49人	54人	50人	57人
	実人数	志願者数	256人	334人	285人	260人	230人	273人
		受験者数	253人	331人	282人	253人	228人	269人
		合格者数	104人	107人	87人	83人	93人	95人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	41人	52人	25人	30人	32人	36人
	入学者数		86人	87人	87人	87人	86人	87人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.08	1.09	1.09	1.09	1.08	1.08
歩留率	0.83	0.81	1.00	1.05	0.92	0.92

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	22人	30人	22人	25人	32人	26人
		受験者数	22人	30人	22人	25人	32人	26人
		合格者数	20人	21人	18人	23人	30人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	5人	1人
		辞退者数	2人	1人	2人	5人	3人	3人
	実人数	志願者数	22人	30人	22人	25人	32人	26人
		受験者数	22人	30人	22人	25人	32人	26人
		合格者数	20人	21人	18人	23人	29人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	5人	3人	3人
	入学者数		18人	20人	16人	18人	27人	20人
一般選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	58人	45人	73人	56人	52人	57人
		受験者数	55人	45人	71人	48人	48人	53人
		合格者数	19人	15人	26人	21人	6人	17人
		うち追加合格者数	1人	4人	3人	1人	1人	2人
		辞退者数	9人	9人	11人	11人	4人	9人
	実人数	志願者数	17人	12人	15人	6人	8人	12人
		受験者数	16人	12人	14人	5人	8人	11人
		合格者数	8人	5人	6人	3人	1人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	4人	1人	3人	0人	3人
	入学者数		10人	6人	15人	10人	2人	9人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	29人	25人	23人	17人	14人	22人
		受験者数	29人	25人	23人	16人	14人	21人
		合格者数	9人	15人	11人	6人	2人	9人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	10人	11人	6人	1人	7人
	実人数	志願者数	26人	21人	20人	13人	11人	18人
		受験者数	26人	21人	20人	12人	11人	18人
		合格者数	9人	13人	8人	3人	2人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	8人	8人	3人	1人	5人
	入学者数		3人	5人	0人	0人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	51人	48人	37人	32人	37人	41人
		受験者数	51人	47人	36人	31人	36人	40人
		合格者数	19人	19人	25人	22人	20人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	8人	13人	8人	7人	8人
	実人数	志願者数	38人	32人	24人	27人	36人	31人
		受験者数	38人	31人	23人	26人	35人	31人
		合格者数	13人	12人	8人	11人	15人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	3人	2人	1人	3人	2人
	入学者数		14人	11人	12人	14人	13人	13人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	160人	148人	155人	130人	135人	146人
		受験者数	157人	147人	152人	120人	130人	141人
		合格者数	67人	70人	80人	72人	58人	69人
		うち追加合格者数	1人	6人	5人	3人	6人	4人
		辞退者数	22人	28人	37人	30人	15人	26人
	実人数	志願者数	103人	95人	81人	71人	87人	87人
		受験者数	102人	94人	79人	68人	86人	86人
		合格者数	50人	51人	40人	40人	47人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	16人	13人	12人	7人	13人
	入学者数		45人	42人	43人	42人	43人	43人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.13	1.05	1.08	1.05	1.08	1.08
歩留率	0.90	0.82	1.08	1.05	0.91	0.95

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	29人	40人	33人	26人	37人	33人
		受験者数	29人	40人	33人	26人	36人	33人
		合格者数	21人	20人	22人	24人	30人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	4人	1人	1人
		辞退者数	3人	0人	3人	4人	1人	2人
	実人数	志願者数	29人	40人	33人	26人	37人	33人
		受験者数	29人	40人	33人	26人	36人	33人
		合格者数	21人	20人	22人	24人	29人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	3人	4人	1人	2人
	入学者数		18人	20人	19人	20人	29人	21人
一般選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	60人	42人	49人	39人	56人	49人
		受験者数	59人	42人	49人	39人	55人	49人
		合格者数	18人	14人	20人	13人	5人	14人
		うち追加合格者数	1人	2人	5人	3人	2人	3人
		辞退者数	7人	7人	10人	8人	1人	7人
	実人数	志願者数	8人	5人	8人	5人	6人	6人
		受験者数	8人	5人	8人	5人	6人	6人
		合格者数	4人	0人	5人	3人	1人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	2人	3人	0人	1人
	入学者数		11人	7人	10人	5人	4人	7人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	31人	23人	18人	18人	12人	20人
		受験者数	31人	23人	18人	18人	12人	20人
		合格者数	12人	12人	8人	6人	3人	8人
		うち追加合格者数	0人	1人	2人	0人	0人	1人
		辞退者数	10人	7人	6人	6人	3人	6人
	実人数	志願者数	20人	19人	13人	12人	7人	14人
		受験者数	20人	19人	13人	12人	7人	14人
		合格者数	9人	10人	6人	5人	1人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	6人	4人	5人	1人	5人
	入学者数		2人	5人	2人	0人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	58人	61人	36人	34人	53人	48人
		受験者数	58人	61人	35人	34人	51人	48人
		合格者数	20人	21人	23人	26人	16人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
		辞退者数	9人	10人	11人	10人	6人	9人
	実人数	志願者数	37人	35人	29人	27人	41人	34人
		受験者数	37人	35人	28人	27人	40人	33人
		合格者数	9人	8人	9人	11人	10人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	1人	4人	2人	3人
	入学者数		11人	11人	12人	16人	10人	12人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	178人	166人	136人	117人	158人	151人
		受験者数	177人	166人	135人	117人	154人	150人
		合格者数	71人	67人	73人	69人	54人	67人
		うち追加合格者数	1人	3人	10人	7人	3人	5人
		辞退者数	29人	24人	30人	28人	11人	24人
	実人数	志願者数	94人	99人	83人	70人	91人	87人
		受験者数	94人	99人	82人	70人	89人	87人
		合格者数	43人	38人	42人	43人	41人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	10人	10人	16人	4人	11人
	入学者数		42人	43人	43人	41人	43人	42人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.05	1.08	1.08	1.03	1.08	1.06
歩留率	0.98	1.13	1.02	0.95	1.05	1.03

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田保健医療学部放射線・情報科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数			0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数		0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数		0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数		0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数			0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数			15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数		27人	74人	56人	54人	53人
		受験者数		27人	74人	56人	54人	53人
		合格者数		16人	15人	15人	16人	16人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数		27人	74人	56人	53人	53人
		受験者数		27人	74人	56人	53人	53人
		合格者数		16人	15人	15人	16人	16人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	1人	2人	0人	1人
	入学者数			16人	14人	13人	16人	15人
一般選抜	募集人数			22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数		344人	421人	365人	295人	356人
		受験者数		340人	412人	358人	289人	350人
		合格者数		40人	43人	23人	42人	37人
		うち追加合格者数		9人	5人	0人	16人	8人
		辞退者数		19人	20人	9人	20人	17人
	実人数	志願者数		107人	81人	59人	45人	73人
		受験者数		106人	78人	56人	44人	71人
		合格者数		19人	19人	7人	12人	14人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		10人	13人	4人	10人	9人
	入学者数			21人	23人	14人	22人	20人
共通テスト利用入試	募集人数			8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数		171人	135人	140人	104人	138人
		受験者数		170人	132人	138人	104人	136人
		合格者数		19人	19人	10人	13人	15人
		うち追加合格者数		0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数		16人	16人	9人	13人	14人
	実人数	志願者数		122人	94人	93人	74人	96人
		受験者数		121人	91人	93人	74人	95人
		合格者数		14人	16人	8人	10人	12人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		11人	14人	7人	10人	11人
	入学者数			3人	3人	1人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数			5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数		145人	136人	133人	122人	134人
		受験者数		145人	134人	130人	120人	132人
		合格者数		33人	31人	37人	30人	33人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		19人	17人	10人	14人	15人
	実人数	志願者数		67人	74人	68人	65人	69人
		受験者数		67人	73人	68人	64人	68人
		合格者数		15人	19人	21人	19人	19人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		6人	10人	5人	8人	7人
	入学者数			14人	14人	27人	16人	18人
合計	募集人数			50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数		687人	766人	694人	575人	681人
		受験者数		682人	752人	682人	567人	671人
		合格者数		108人	108人	85人	101人	101人
		うち追加合格者数		9人	6人	0人	16人	8人
		辞退者数		54人	54人	30人	47人	46人
	実人数	志願者数		323人	323人	276人	237人	290人
		受験者数		321人	316人	273人	235人	286人
		合格者数		64人	69人	51人	57人	60人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		27人	38人	18人	28人	28人
	入学者数			54人	54人	55人	54人	54人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員		50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率		1.08	1.08	1.10	1.08	1.09
歩留率		0.84	0.78	1.08	0.95	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和2年度開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	57人	45人	66人	41人	63人	54人
		受験者数	57人	45人	66人	41人	63人	54人
		合格者数	39人	35人	37人	36人	35人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
	実人数	志願者数	57人	45人	66人	41人	63人	54人
		受験者数	57人	45人	66人	41人	63人	54人
		合格者数	39人	35人	37人	36人	35人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
	入学者数		37人	34人	36人	35人	32人	35人
一般選抜	募集人数		31人	31人	31人	31人	31人	31人
	延べ人数	志願者数	299人	208人	279人	234人	207人	245人
		受験者数	296人	204人	270人	231人	205人	241人
		合格者数	65人	69人	72人	51人	48人	61人
		うち追加合格者数	15人	5人	12人	0人	6人	8人
		辞退者数	36人	37人	40人	35人	27人	35人
	実人数	志願者数	122人	96人	82人	81人	50人	86人
		受験者数	120人	93人	80人	81人	49人	85人
		合格者数	38人	45人	38人	24人	25人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	28人	28人	17人	17人	23人
	入学者数		29人	32人	32人	16人	21人	26人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	135人	107人	124人	100人	85人	110人
		受験者数	135人	107人	124人	100人	85人	110人
		合格者数	29人	36人	21人	10人	14人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	34人	19人	10人	13人	20人
	実人数	志願者数	123人	95人	106人	90人	72人	97人
		受験者数	123人	95人	106人	90人	72人	97人
		合格者数	25人	35人	20人	9人	12人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	33人	18人	9人	11人	18人
	入学者数		5人	2人	2人	0人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	158人	133人	138人	121人	105人	131人
		受験者数	155人	128人	135人	120人	104人	128人
		合格者数	36人	42人	45人	59人	41人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	24人	28人	23人	14人	22人
	実人数	志願者数	124人	102人	109人	95人	91人	104人
		受験者数	121人	98人	106人	95人	90人	102人
		合格者数	30人	29人	35人	51人	35人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	15人	18人	16人	11人	15人
	入学者数		15人	18人	17人	36人	27人	23人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	649人	493人	607人	496人	460人	541人
		受験者数	643人	484人	595人	492人	457人	534人
		合格者数	169人	182人	175人	156人	138人	164人
		うち追加合格者数	15人	5人	14人	0人	6人	8人
		辞退者数	83人	96人	88人	69人	57人	79人
	実人数	志願者数	426人	338人	363人	307人	276人	342人
		受験者数	421人	331人	358人	307人	274人	338人
		合格者数	132人	144人	130人	120人	107人	127人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	65人	77人	65人	43人	42人	58人
	入学者数		86人	86人	87人	87人	81人	85人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.08	1.08	1.09	1.09	1.01	1.07
歩留率	0.65	0.60	0.67	0.73	0.76	0.68

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	11人	23人	22人	20人	18人	19人
		受験者数	10人	23人	22人	19人	17人	18人
		合格者数	7人	6人	11人	14人	13人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	11人	23人	22人	20人	18人	19人
		受験者数	10人	23人	22人	19人	17人	18人
		合格者数	7人	6人	11人	14人	13人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
	入学者数		7人	6人	9人	13人	13人	10人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	11人	15人	15人	10人	19人	14人
		受験者数	11人	15人	14人	10人	19人	14人
		合格者数	9人	9人	14人	10人	18人	12人
		うち追加合格者数	2人	2人	4人	0人	0人	2人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	11人	15人	15人	10人	19人	14人
		受験者数	11人	15人	14人	10人	19人	14人
		合格者数	8人	9人	14人	10人	18人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		9人	9人	14人	9人	18人	12人
一般選抜	募集人数		19人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	111人	88人	102人	88人	92人	96人
		受験者数	103人	85人	98人	81人	85人	90人
		合格者数	28人	31人	37人	35人	34人	33人
		うち追加合格者数	5人	0人	2人	0人	4人	2人
		辞退者数	12人	13人	24人	16人	20人	17人
	実人数	志願者数	58人	42人	39人	27人	32人	40人
		受験者数	52人	41人	35人	24人	29人	36人
		合格者数	20人	20人	23人	22人	23人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	9人	15人	13人	14人	12人
	入学者数		16人	18人	13人	19人	14人	16人
共通テスト利用入試	募集人数		8人	12人	12人	12人	12人	11人
	延べ人数	志願者数	82人	55人	52人	64人	39人	58人
		受験者数	81人	55人	51人	63人	38人	58人
		合格者数	20人	12人	23人	46人	26人	25人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
		辞退者数	15人	11人	21人	38人	17人	20人
	実人数	志願者数	66人	48人	44人	60人	34人	50人
		受験者数	65人	48人	43人	59人	33人	50人
		合格者数	19人	10人	20人	43人	24人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	9人	18人	35人	16人	18人
	入学者数		5人	1人	2人	8人	9人	5人
その他の特別選抜	募集人数		13人	8人	8人	8人	8人	9人
	延べ人数	志願者数	96人	63人	55人	38人	44人	59人
		受験者数	96人	62人	51人	37人	42人	58人
		合格者数	43人	52人	34人	27人	20人	35人
		うち追加合格者数	0人	10人	4人	4人	0人	4人
		辞退者数	16人	24人	10人	7人	13人	14人
	実人数	志願者数	51人	56人	47人	32人	34人	44人
		受験者数	51人	55人	43人	32人	32人	43人
		合格者数	29人	41人	26人	21人	15人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	17人	8人	3人	9人	9人
	入学者数		27人	28人	24人	20人	7人	21人
合計	募集人数		60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	志願者数	311人	244人	246人	220人	212人	247人
		受験者数	301人	240人	236人	210人	201人	238人
		合格者数	107人	110人	119人	132人	111人	116人
		うち追加合格者数	8人	12人	10人	4人	5人	8人
		辞退者数	43人	48人	57人	63人	50人	52人
	実人数	志願者数	197人	184人	167人	149人	137人	167人
		受験者数	189人	182人	157人	144人	130人	160人
		合格者数	83人	86人	94人	110人	93人	93人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	35人	43人	53人	39人	41人
	入学者数		64人	62人	62人	69人	61人	64人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.07	1.03	1.03	1.15	1.02	1.06
歩留率	0.77	0.72	0.66	0.63	0.66	0.69

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	8人	17人	18人	10人	16人	14人
		受験者数	8人	17人	18人	10人	16人	14人
		合格者数	8人	16人	18人	10人	16人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	8人	17人	18人	10人	16人	14人
		受験者数	8人	17人	18人	10人	16人	14人
		合格者数	8人	16人	18人	10人	16人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		8人	16人	18人	10人	15人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		受験者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		合格者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		うち追加合格者数	3人	0人	2人	4人	2人	2人
		辞退者数	0人	1人	0人	2人	2人	1人
	実人数	志願者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		受験者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		合格者数	17人	23人	17人	17人	21人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	2人	2人	1人
	入学者数		17人	22人	17人	15人	19人	18人
一般選抜	募集人数		11人	14人	14人	14人	14人	13人
	延べ人数	志願者数	30人	24人	37人	32人	28人	30人
		受験者数	29人	23人	35人	31人	28人	29人
		合格者数	21人	19人	24人	29人	23人	23人
		うち追加合格者数	3人	2人	1人	8人	6人	4人
		辞退者数	7人	7人	12人	17人	13人	11人
	実人数	志願者数	14人	13人	11人	8人	9人	11人
		受験者数	13人	13人	9人	8人	9人	10人
		合格者数	11人	13人	6人	8人	9人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	5人	5人	5人	5人
	入学者数		14人	12人	12人	12人	10人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		6人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	22人	24人	20人	22人	21人	22人
		受験者数	22人	24人	20人	22人	20人	22人
		合格者数	20人	11人	20人	22人	20人	19人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	9人	16人	20人	18人	15人
	実人数	志願者数	14人	19人	19人	18人	18人	18人
		受験者数	14人	19人	19人	18人	17人	17人
		合格者数	9人	9人	19人	18人	17人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	7人	15人	17人	15人	12人
	入学者数		6人	2人	4人	2人	2人	3人
その他の特別選抜	募集人数		13人	8人	8人	8人	8人	9人
	延べ人数	志願者数	52人	29人	30人	26人	25人	32人
		受験者数	51人	29人	30人	26人	25人	32人
		合格者数	41人	19人	28人	24人	23人	27人
		うち追加合格者数	13人	0人	9人	9人	9人	8人
		辞退者数	20人	9人	15人	13人	9人	13人
	実人数	志願者数	33人	18人	24人	17人	22人	23人
		受験者数	32人	18人	24人	17人	22人	23人
		合格者数	19人	9人	13人	8人	11人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	2人	4人	1人	2人	3人
	入学者数		21人	10人	13人	11人	14人	14人
合計	募集人数		60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	志願者数	129人	117人	122人	107人	111人	117人
		受験者数	127人	116人	120人	106人	110人	116人
		合格者数	107人	88人	107人	102人	103人	101人
		うち追加合格者数	20人	2人	12人	21人	17人	14人
		辞退者数	41人	26人	43人	52人	43人	41人
	実人数	志願者数	86人	90人	89人	70人	86人	84人
		受験者数	84人	90人	87人	70人	85人	83人
		合格者数	64人	70人	73人	61人	74人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	14人	24人	25人	25人	21人
	入学者数		66人	62人	64人	50人	60人	60人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.10	1.03	1.07	0.83	1.00	1.01
歩留率	1.03	0.89	0.88	0.82	0.81	0.88

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	81人	87人	67人	50人	48人	67人
		受験者数	80人	86人	66人	50人	48人	66人
		合格者数	24人	26人	25人	25人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	81人	87人	67人	50人	48人	67人
		受験者数	80人	86人	66人	50人	48人	66人
		合格者数	24人	26人	25人	25人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		24人	26人	25人	25人	25人	25人
学校推薦型選抜	募集人数		18人	18人	18人	18人	18人	18人
	延べ人数	志願者数	35人	32人	33人	29人	23人	30人
		受験者数	35人	32人	33人	29人	23人	30人
		合格者数	18人	18人	19人	25人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	35人	32人	33人	29人	23人	30人
		受験者数	35人	32人	33人	29人	23人	30人
		合格者数	18人	18人	19人	25人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		18人	18人	19人	25人	19人	20人
一般選抜	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	353人	289人	365人	370人	297人	335人
		受験者数	340人	278人	358人	362人	288人	325人
		合格者数	73人	76人	83人	78人	75人	77人
		うち追加合格者数	3人	10人	13人	15人	9人	10人
		辞退者数	42人	41人	54人	51人	46人	47人
	実人数	志願者数	137人	117人	90人	95人	54人	99人
		受験者数	134人	110人	89人	88人	51人	94人
		合格者数	45人	47人	34人	38人	23人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	26人	27人	25人	17人	25人
	入学者数		31人	35人	29人	27人	29人	30人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	137人	111人	111人	125人	69人	111人
		受験者数	137人	110人	111人	125人	69人	110人
		合格者数	35人	35人	26人	26人	23人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
		辞退者数	33人	33人	24人	24人	20人	27人
	実人数	志願者数	120人	98人	93人	104人	59人	95人
		受験者数	120人	97人	93人	104人	59人	95人
		合格者数	32人	33人	22人	24人	21人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	31人	20人	22人	18人	24人
	入学者数		2人	2人	2人	2人	3人	2人
その他の特別選抜	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	140人	154人	105人	149人	112人	132人
		受験者数	136人	151人	102人	143人	107人	128人
		合格者数	28人	29人	30人	40人	39人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	23人	18人	32人	33人	24人
	実人数	志願者数	105人	104人	80人	101人	80人	94人
		受験者数	101人	102人	77人	97人	76人	91人
		合格者数	24人	20人	22人	31人	28人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	14人	11人	24人	23人	17人
	入学者数		12人	6人	12人	8人	6人	9人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	746人	673人	681人	723人	549人	674人
		受験者数	728人	657人	670人	709人	535人	660人
		合格者数	178人	184人	183人	194人	183人	184人
		うち追加合格者数	3人	10人	13人	16人	10人	10人
		辞退者数	91人	97人	96人	107人	101人	98人
	実人数	志願者数	478人	438人	363人	379人	264人	384人
		受験者数	470人	427人	358人	368人	257人	376人
		合格者数	143人	144人	122人	143人	118人	134人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	75人	71人	58人	71人	60人	67人
	入学者数		87人	87人	87人	87人	82人	86人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.09	1.09	1.09	1.09	1.03	1.08
歩留率	0.61	0.60	0.71	0.61	0.69	0.65

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	43人	51人	44人	44人	52人	47人
		受験者数	43人	51人	44人	44人	52人	47人
		合格者数	13人	14人	18人	20人	30人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	43人	51人	44人	44人	52人	47人
		受験者数	43人	51人	44人	44人	52人	47人
		合格者数	13人	14人	18人	20人	30人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		13人	14人	18人	20人	30人	19人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	47人	37人	46人	35人	35人	40人
		受験者数	47人	37人	46人	35人	35人	40人
		合格者数	28人	28人	35人	34人	28人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	1人	3人	2人
	実人数	志願者数	46人	37人	46人	35人	35人	40人
		受験者数	46人	37人	46人	35人	35人	40人
		合格者数	28人	28人	35人	34人	28人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	1人	3人	2人
	入学者数		27人	26人	31人	33人	25人	28人
一般選抜	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	142人	136人	203人	178人	119人	156人
		受験者数	137人	133人	195人	173人	116人	151人
		合格者数	36人	56人	51人	33人	41人	43人
		うち追加合格者数	0人	12人	14人	1人	0人	5人
		辞退者数	14人	26人	28人	20人	22人	22人
	実人数	志願者数	48人	47人	42人	39人	27人	41人
		受験者数	45人	46人	41人	39人	26人	39人
		合格者数	18人	30人	23人	14人	10人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	18人	16人	11人	5人	12人
	入学者数		22人	30人	23人	13人	19人	21人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	67人	78人	71人	51人	39人	61人
		受験者数	67人	78人	71人	51人	39人	61人
		合格者数	20人	20人	11人	10人	23人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	15人	10人	10人	21人	14人
	実人数	志願者数	59人	61人	54人	35人	28人	47人
		受験者数	59人	61人	54人	35人	28人	47人
		合格者数	19人	16人	11人	9人	16人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	12人	10人	9人	14人	12人
	入学者数		5人	5人	1人	0人	2人	3人
その他の特別選抜	募集人数		9人	9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数	89人	104人	85人	91人	66人	87人
		受験者数	88人	101人	79人	89人	65人	84人
		合格者数	31人	29人	29人	41人	25人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	17人	17人	20人	12人	15人
	実人数	志願者数	66人	66人	58人	57人	51人	60人
		受験者数	65人	64人	54人	56人	50人	58人
		合格者数	23人	17人	16人	19人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	6人	7人	3人	4人	5人
	入学者数		20人	12人	12人	21人	13人	16人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	388人	406人	449人	399人	311人	391人
		受験者数	382人	400人	435人	392人	307人	383人
		合格者数	128人	147人	144人	138人	147人	141人
		うち追加合格者数	0人	12人	15人	1人	0人	6人
		辞退者数	41人	60人	59人	51人	58人	54人
	実人数	志願者数	262人	262人	244人	210人	193人	234人
		受験者数	258人	259人	239人	209人	191人	231人
		合格者数	101人	105人	103人	96人	99人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	38人	37人	24人	26人	31人
	入学者数		87人	87人	85人	87人	89人	87人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.09	1.09	1.06	1.09	1.11	1.09
歩留率	0.86	0.83	0.83	0.91	0.90	0.86

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
平成29年度収容定員増（40名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	18人	17人	21人	25人	19人	20人
		受験者数	17人	17人	21人	25人	19人	20人
		合格者数	6人	13人	17人	21人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	18人	17人	21人	25人	19人	20人
		受験者数	17人	17人	21人	25人	19人	20人
		合格者数	6人	13人	17人	21人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		5人	11人	16人	20人	18人	14人
学校推薦型選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	18人	16人	8人	16人	11人	14人
		受験者数	18人	16人	8人	16人	11人	14人
		合格者数	13人	13人	7人	16人	11人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	4人	1人
		辞退者数	1人	1人	1人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	18人	16人	8人	16人	11人	14人
		受験者数	18人	16人	8人	16人	11人	14人
		合格者数	13人	13人	7人	16人	11人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	2人	1人	1人
	入学者数		12人	12人	6人	14人	10人	11人
一般選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	38人	39人	44人	28人	18人	33人
		受験者数	37人	35人	42人	26人	13人	31人
		合格者数	31人	24人	23人	4人	6人	18人
		うち追加合格者数	5人	6人	3人	0人	2人	3人
		辞退者数	19人	10人	13人	3人	2人	9人
	実人数	志願者数	16人	18人	3人	4人	4人	9人
		受験者数	15人	18人	3人	4人	3人	9人
		合格者数	8人	11人	2人	2人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	2人	1人	1人	0人	2人
	入学者数		12人	14人	10人	1人	4人	8人
共通テスト利用入試	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	17人	12人	13人	9人	13人	13人
		受験者数	17人	12人	13人	9人	13人	13人
		合格者数	10人	10人	5人	3人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	8人	10人	5人	2人	5人	6人
	実人数	志願者数	15人	9人	10人	5人	9人	10人
		受験者数	15人	9人	10人	5人	9人	10人
		合格者数	8人	5人	3人	3人	5人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	5人	3人	2人	5人	4人
	入学者数		2人	0人	0人	1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	33人	42人	33人	33人	28人	34人
		受験者数	31人	42人	32人	32人	26人	33人
		合格者数	29人	22人	31人	11人	24人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	8人	0人	12人	4人
		辞退者数	17人	17人	21人	4人	11人	14人
	実人数	志願者数	23人	30人	22人	29人	19人	25人
		受験者数	21人	30人	21人	28人	17人	23人
		合格者数	13人	7人	9人	5人	8人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	3人	0人	3人	3人
	入学者数		12人	5人	10人	7人	13人	9人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	124人	126人	119人	111人	89人	114人
		受験者数	120人	122人	116人	108人	82人	110人
		合格者数	89人	82人	83人	55人	65人	75人
		うち追加合格者数	5人	6人	11人	1人	18人	8人
		辞退者数	46人	40人	41人	12人	19人	32人
	実人数	志願者数	90人	90人	64人	79人	62人	77人
		受験者数	86人	90人	63人	78人	59人	75人
		合格者数	48人	49人	38人	47人	44人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	14人	9人	6人	9人	11人
	入学者数		43人	42人	42人	43人	46人	43人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.08	1.05	1.05	1.08	1.15	1.08
歩留率	0.90	0.86	1.11	0.91	1.05	0.96

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学福岡保健医療学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数						5人	5人
	延べ人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					6人	6人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					6人	6人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						6人	6人
学校推薦型選抜	募集人数						10人	10人
	延べ人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						7人	7人
一般選抜	募集人数						35人	35人
	延べ人数	志願者数					111人	111人
		受験者数					102人	102人
		合格者数					66人	66人
		うち追加合格者数					8人	8人
		辞退者数					33人	33人
	実人数	志願者数					52人	52人
		受験者数					49人	49人
		合格者数					42人	42人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					23人	23人
	入学者数						33人	33人
共通テスト利用入試	募集人数						7人	7人
	延べ人数	志願者数					26人	26人
		受験者数					26人	26人
		合格者数					24人	24人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					23人	23人
	実人数	志願者数					25人	25人
		受験者数					25人	25人
		合格者数					23人	23人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					22人	22人
	入学者数						1人	1人
その他の特別選抜	募集人数						3人	3人
	延べ人数	志願者数					68人	68人
		受験者数					68人	68人
		合格者数					52人	52人
		うち追加合格者数					1人	1人
		辞退者数					37人	37人
	実人数	志願者数					65人	65人
		受験者数					65人	65人
		合格者数					49人	49人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					34人	34人
	入学者数						15人	15人
合計	募集人数						60人	60人
	延べ人数	志願者数					219人	219人
		受験者数					210人	210人
		合格者数					155人	155人
		うち追加合格者数					9人	9人
		辞退者数					93人	93人
	実人数	志願者数					156人	156人
		受験者数					153人	153人
		合格者数					127人	127人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					79人	79人
	入学者数						62人	62人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員					60人	60人
入学定員充足率					1.03	1.03
歩留率					0.49	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和5年度開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	4人	4人	4人	3人	4人
	延べ人数	志願者数	15人	7人	11人	14人	7人	11人
		受験者数	15人	7人	11人	14人	7人	11人
		合格者数	6人	4人	4人	4人	4人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	15人	7人	11人	14人	7人	11人
		受験者数	15人	7人	11人	14人	7人	11人
		合格者数	6人	4人	4人	4人	4人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		6人	4人	4人	4人	3人	4人
学校推薦型選抜	募集人数		30人	20人	20人	20人	13人	21人
	延べ人数	志願者数	35人	36人	39人	48人	27人	37人
		受験者数	35人	36人	39人	48人	27人	37人
		合格者数	34人	33人	33人	42人	26人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	3人	1人	1人
	実人数	志願者数	35人	36人	39人	48人	27人	37人
		受験者数	35人	36人	39人	48人	27人	37人
		合格者数	34人	33人	33人	42人	26人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	3人	1人	1人
	入学者数		34人	32人	32人	39人	25人	32人
一般選抜	募集人数		30人	22人	22人	22人	20人	23人
	延べ人数	志願者数	65人	92人	81人	73人	62人	75人
		受験者数	65人	92人	80人	73人	60人	74人
		合格者数	48人	26人	23人	18人	24人	28人
		うち追加合格者数	2人	0人	3人	0人	0人	1人
		辞退者数	26人	15人	15人	10人	14人	16人
	実人数	志願者数	31人	34人	23人	15人	23人	25人
		受験者数	31人	34人	23人	15人	23人	25人
		合格者数	28人	18人	10人	8人	15人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	13人	4人	6人	7人	9人
	入学者数		22人	11人	8人	8人	10人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	34人	38人	23人	26人	22人	29人
		受験者数	34人	38人	23人	26人	22人	29人
		合格者数	31人	11人	11人	5人	9人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	10人	9人	5人	8人	11人
	実人数	志願者数	34人	31人	20人	20人	18人	25人
		受験者数	34人	31人	20人	20人	18人	25人
		合格者数	31人	10人	8人	3人	6人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	9人	6人	3人	5人	10人
	入学者数		6人	1人	2人	0人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	90人	77人	59人	54人	52人	66人
		受験者数	90人	77人	59人	54人	51人	66人
		合格者数	49人	32人	28人	19人	22人	30人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	16人	13人	5人	5人	12人
	実人数	志願者数	84人	65人	59人	50人	44人	60人
		受験者数	84人	65人	59人	50人	43人	60人
		合格者数	43人	26人	26人	19人	19人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	12人	11人	5人	3人	10人
	入学者数		26人	16人	15人	14人	17人	18人
合計	募集人数		80人	60人	60人	60人	50人	62人
	延べ人数	志願者数	239人	250人	213人	215人	170人	217人
		受験者数	239人	250人	212人	215人	167人	217人
		合格者数	168人	106人	99人	88人	85人	109人
		うち追加合格者数	3人	0人	3人	0人	0人	1人
		辞退者数	74人	42人	38人	23人	29人	41人
	実人数	志願者数	199人	173人	152人	147人	119人	158人
		受験者数	199人	173人	152人	147人	118人	158人
		合格者数	142人	91人	81人	76人	70人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	35人	22人	17人	17人	30人
	入学者数		94人	64人	61人	65人	56人	68人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	60人	60人	60人	50人	62人
入学定員充足率	1.18	1.07	1.02	1.08	1.12	1.09
歩留率	0.66	0.70	0.75	0.86	0.80	0.75

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和2年度収容定員減（△20名）
令和5年度収容定員減（△10名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	3人	6人
	延べ人数	志願者数	6人	5人	11人	7人	5人	7人
		受験者数	6人	5人	11人	7人	5人	7人
		合格者数	5人	5人	11人	7人	5人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	6人	5人	11人	7人	5人	7人
		受験者数	6人	5人	11人	7人	5人	7人
		合格者数	5人	5人	11人	7人	5人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		5人	5人	10人	7人	5人	6人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	7人	12人
	延べ人数	志願者数	20人	21人	16人	20人	17人	19人
		受験者数	20人	21人	16人	20人	17人	19人
		合格者数	19人	20人	16人	20人	17人	18人
		うち追加合格者数	5人	0人	0人	5人	0人	2人
		辞退者数	0人	0人	0人	3人	2人	1人
	実人数	志願者数	20人	21人	16人	20人	17人	19人
		受験者数	20人	21人	16人	20人	17人	19人
		合格者数	19人	20人	16人	20人	17人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	3人	2人	1人
	入学者数		19人	20人	16人	17人	15人	17人
一般選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	20人	23人	27人	25人	14人	22人
		受験者数	20人	23人	27人	25人	13人	22人
		合格者数	17人	12人	13人	22人	11人	15人
		うち追加合格者数	2人	0人	0人	5人	0人	1人
		辞退者数	11人	12人	8人	15人	9人	11人
	実人数	志願者数	14人	13人	9人	12人	8人	11人
		受験者数	14人	13人	9人	12人	8人	11人
		合格者数	13人	8人	5人	12人	6人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	8人	3人	7人	4人	6人
	入学者数		6人	0人	5人	7人	2人	4人
共通テスト利用入試	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	4人	12人	7人	8人	5人	7人
		受験者数	4人	12人	7人	8人	5人	7人
		合格者数	4人	7人	6人	6人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	6人	5人	6人	5人	5人
	実人数	志願者数	2人	11人	7人	7人	4人	6人
		受験者数	2人	11人	7人	7人	4人	6人
		合格者数	2人	7人	6人	4人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	6人	5人	4人	4人	4人
	入学者数		1人	1人	1人	0人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	38人	29人	40人	30人	26人	33人
		受験者数	38人	29人	40人	30人	25人	32人
		合格者数	17人	21人	21人	23人	13人	19人
		うち追加合格者数	0人	1人	0人	4人	0人	1人
		辞退者数	8人	7人	13人	14人	7人	10人
	実人数	志願者数	37人	26人	39人	28人	25人	31人
		受験者数	37人	26人	39人	28人	24人	31人
		合格者数	14人	10人	19人	16人	11人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	11人	7人	6人	6人
	入学者数		9人	14人	8人	9人	6人	9人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	30人	38人
	延べ人数	志願者数	88人	90人	101人	90人	67人	87人
		受験者数	88人	90人	101人	90人	65人	87人
		合格者数	62人	65人	67人	78人	51人	65人
		うち追加合格者数	7人	1人	0人	14人	0人	4人
		辞退者数	22人	25人	27人	38人	23人	27人
	実人数	志願者数	79人	76人	82人	74人	59人	74人
		受験者数	79人	76人	82人	74人	58人	74人
		合格者数	53人	50人	57人	59人	43人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	17人	20人	21人	16人	18人
	入学者数		40人	40人	40人	40人	28人	38人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	30人	38人
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	0.93	0.99
歩留率	0.75	0.80	0.70	0.68	0.65	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和5年度収容定員減（△10名）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	4人	4人	4人	6人
	延べ人数	志願者数	18人	12人	23人	12人	16人	16人
		受験者数	18人	11人	23人	12人	16人	16人
		合格者数	9人	8人	4人	4人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	18人	12人	23人	12人	16人	16人
		受験者数	18人	11人	23人	12人	16人	16人
		合格者数	9人	8人	4人	4人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	0人	1人
	入学者数		9人	7人	2人	4人	4人	5人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	14人	18人	18人	18人	16人
	延べ人数	志願者数	37人	38人	39人	44人	27人	37人
		受験者数	37人	38人	39人	44人	27人	37人
		合格者数	33人	34人	33人	36人	23人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	3人	3人	1人	3人
	実人数	志願者数	37人	38人	39人	44人	27人	37人
		受験者数	37人	38人	39人	44人	27人	37人
		合格者数	33人	34人	33人	36人	23人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	3人	3人	1人	3人
	入学者数		29人	32人	30人	33人	22人	29人
一般選抜	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	92人	146人	143人	126人	111人	124人
		受験者数	87人	144人	141人	124人	109人	121人
		合格者数	34人	45人	54人	49人	58人	48人
		うち追加合格者数	4人	4人	0人	0人	1人	2人
		辞退者数	21人	23人	27人	27人	37人	27人
	実人数	志願者数	53人	64人	52人	38人	36人	49人
		受験者数	51人	62人	51人	37人	36人	47人
		合格者数	25人	27人	24人	20人	26人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	15人	15人	13人	21人	16人
	入学者数		13人	22人	27人	22人	21人	21人
共通テスト利用入試	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	37人	52人	67人	52人	30人	48人
		受験者数	37人	52人	67人	52人	30人	48人
		合格者数	15人	26人	19人	8人	28人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	17人	17人	4人	26人	15人
	実人数	志願者数	37人	46人	55人	45人	19人	40人
		受験者数	37人	46人	55人	45人	19人	40人
		合格者数	15人	24人	15人	6人	18人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	16人	13人	3人	17人	12人
	入学者数		3人	9人	2人	4人	2人	4人
その他の特別選抜	募集人数		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	96人	122人	102人	100人	76人	99人
		受験者数	96人	121人	102人	99人	76人	99人
		合格者数	56人	51人	44人	45人	48人	49人
		うち追加合格者数	2人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	28人	24人	21人	21人	14人	22人
	実人数	志願者数	90人	99人	90人	82人	72人	87人
		受験者数	90人	99人	90人	82人	72人	87人
		合格者数	51人	41人	37人	37人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	19人	14人	15人	11人	17人
	入学者数		28人	27人	23人	24人	34人	27人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	280人	370人	374人	334人	260人	324人
		受験者数	275人	366人	372人	331人	258人	320人
		合格者数	147人	164人	154人	142人	161人	154人
		うち追加合格者数	6人	6人	0人	0人	1人	3人
		辞退者数	65人	67人	70人	55人	78人	67人
	実人数	志願者数	235人	259人	259人	221人	170人	229人
		受験者数	233人	256人	258人	220人	170人	227人
		合格者数	133人	134人	113人	103人	114人	119人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	53人	47人	34人	50人	49人
	入学者数		82人	97人	84人	87人	83人	87人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.03	1.21	1.05	1.09	1.04	1.08
歩留率	0.62	0.72	0.74	0.84	0.73	0.73

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：国際医療福祉大学福岡薬学部薬学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数			5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数		17人	24人	17人	29人	22人
		受験者数		16人	24人	17人	29人	22人
		合格者数		5人	6人	5人	7人	6人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		17人	24人	17人	29人	22人
		受験者数		16人	24人	17人	29人	22人
		合格者数		5人	6人	5人	7人	6人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数			5人	6人	5人	7人	6人
学校推薦型選抜	募集人数			20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数		18人	34人	38人	37人	32人
		受験者数		18人	34人	38人	37人	32人
		合格者数		11人	17人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		18人	34人	38人	37人	32人
		受験者数		18人	34人	38人	37人	32人
		合格者数		11人	17人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数			11人	17人	19人	20人	17人
一般選抜	募集人数			40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数		597人	535人	535人	449人	529人
		受験者数		580人	522人	524人	430人	514人
		合格者数		168人	122人	126人	109人	131人
		うち追加合格者数		17人	1人	9人	2人	7人
		辞退者数		87人	70人	74人	68人	75人
	実人数	志願者数		167人	124人	170人	110人	143人
		受験者数		158人	117人	167人	102人	136人
		合格者数		81人	52人	75人	57人	66人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		54人	37人	53人	40人	46人
	入学者数			81人	52人	52人	41人	57人
共通テスト利用入試	募集人数			20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数		224人	137人	154人	124人	160人
		受験者数		223人	136人	154人	124人	159人
		合格者数		40人	35人	23人	28人	32人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		39人	31人	21人	27人	30人
	実人数	志願者数		198人	127人	139人	107人	143人
		受験者数		197人	126人	139人	107人	142人
		合格者数		35人	32人	22人	27人	29人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		34人	30人	20人	26人	28人
	入学者数			1人	4人	2人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数			35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	志願者数		411人	340人	353人	346人	363人
		受験者数		405人	338人	347人	334人	356人
		合格者数		167人	159人	184人	162人	168人
		うち追加合格者数		6人	1人	2人	3人	3人
		辞退者数		134人	115人	133人	108人	123人
	実人数	志願者数		331人	289人	306人	295人	305人
		受験者数		326人	287人	301人	285人	300人
		合格者数		131人	138人	157人	138人	141人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		102人	96人	110人	91人	100人
	入学者数			33人	44人	51人	54人	46人
合計	募集人数			120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数		1267人	1070人	1097人	985人	1105人
		受験者数		1242人	1054人	1080人	954人	1083人
		合格者数		391人	339人	357人	326人	353人
		うち追加合格者数		23人	2人	11人	5人	10人
		辞退者数		260人	216人	228人	203人	227人
	実人数	志願者数		731人	598人	670人	578人	644人
		受験者数		715人	588人	662人	560人	631人
		合格者数		263人	245人	278人	249人	259人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		190人	163人	183人	157人	173人
	入学者数			131人	123人	129人	123人	127人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員		120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率		1.09	1.03	1.08	1.03	1.05
歩留率		0.50	0.50	0.46	0.49	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和2年度開設

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：保健医療学部・医療福祉学部・薬学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	2,328人	5,519人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、在学生との懇談、個別相談、入試解説、構内案内などを実施している。(R3開催分はコロナ禍により構内案内のみ実施) R4年度入試対象（R3開催）：計６回開催（3/6.6/6.8/21.8/22.9/5.10/2） R5年度入試対象（R4開催）：計６回開催（3/26.6/5.7/31.8/11.8/21.9/23） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 新設組織と近接する学問分野を持つ「視機能療法学科」「放射線・情報科学科」のR4開催実績をもとに入学者の見込数を計算した。(計算過程の詳細は本文17頁を参照のこと) R4においては、両学科の合計入学定員160人に対し、参加者数は396人(参加倍率：2.48倍)であった。そのうち受験対象者数は200人(受験対象者率：50.5%)、受験者数は139人(受験率：69.5%)、入学者数は87人(入学率：62.6%)であった。 以上で示した倍率及び割合に新設組織の入学定員などを当てはめると、オープンキャンパスをとおして新設組織で見込まれる入学者数は最低でも「44人」になるものと推計できる。 ③うち受験対象者数の基準 参加者等総数のうち、高校３年生及び既卒者の人数を受験対象者数としてカウントした。
うち受験対象者数(b)	717人	1,070人	
うち受験者数(c)	511人	691人	
うち入学者数(d)	391人	525人	
（受験率 c/b）	71.3%	64.6%	
（入学率 d/b）	54.5%	49.1%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：成田看護学部・成田保健医療学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	2,432人	3,320人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、在学生との懇談、個別相談、入試解説、構内案内などを実施している。 R4年度入試対象（R3開催）：計４回開催（3/21.6/6.8/1.9/19） R5年度入試対象（R4開催）：計４回開催（3/20.6/4.8/7.8/20） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 新設組織と同じ学問分野を持つ「成田保健医療学部医学検査学科」のR4開催実績は次のとおりである。入学定員80人に対し参加者数は399人であった。そのうち受験対象者数は177人、受験者数は104人、入学者数は47人であった。 したがって、「保健医療学部・医療福祉学部・薬学部のオープンキャンパス」で計算した見込まれる入学者数「44人」については、成田保健医療学部医学検査学科の実績と比較しても大きくかけ離れていないことから、本学の傾向及び実績に沿ったものであると考える。 ③うち受験対象者数の基準 参加者等総数のうち、高校３年生及び既卒者の人数を受験対象者数としてカウントした。
うち受験対象者数(b)	990人	1,148人	
うち受験者数(c)	460人	571人	
うち入学者数(d)	230人	222人	
（受験率 c/b）	46.5%	49.7%	
（入学率 d/b）	23.2%	19.3%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：保健医療学部・医療福祉学部・薬学部のの地方会場説明会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	185人	139人	①取組概要 地方入学試験会場を設置する主要都市を中心に、受験希望者及びその保護者を対象として説明会を開催している。学部学科の紹介、入試制度の説明やオンライン相談などを行っている。 R4年度入試対象（R3開催）：計９回開催（5/23.6/20.6/27.7/10.7/18.7/25.8/13.9/4.9/12） R5年度入試対象（R4開催）：計12回開催（6/11.6/17.6/18.6/26.7/10.7/16.7/17.7/24.8/5.8/6.9/4.9/17） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 新設組織と近接する学問分野を持つ「視機能療法学科」「放射線・情報科学科」のR4開催実績をもとに入学者の見込数を計算した。(計算過程の詳細は本文18頁を参照のこと) R4においては、両学科の合計入学定員160人に対し、参加者数は25人(0.16倍)であった。そのうち受験対象者数は17人(68.0%)、受験者数は16人(94.1%)、入学者数は８人(50.0%)であった。 以上で示した倍率及び割合に新設組織の入学定員などを当てはめると、地方説明会をとおして新設組織で見込まれる入学者数は最低でも「４人」になるものと推計できる。 ③うち受験対象者数の基準 参加者等総数のうち、高校３年生及び既卒者の人数を受験対象者数としてカウントした
うち受験対象者数(b)	158人	111人	
うち受験者数(c)	76人	80人	
うち入学者数(d)	59人	59人	
（受験率 c/b）	48.1%	72.1%	
（入学率 d/b）	37.3%	53.2%	

医療機関勤務の臨床検査技師数の推移について

臨床検査技師数の推移

	地域	2017	2020
1	全国	54,960	55,170
2	福島	890	873
3	茨城	1,056	1,019
4	栃木	855	789
5	群馬	918	878

人口10万人当たりに臨床検査技師数（病院）

	地域	2017	2020
1	全国	43.38	43.73
2	福島	47.28	47.63
3	茨城	36.51	35.56
4	栃木	43.66	40.82
5	群馬	46.81	45.28

人口10万人当たりに臨床検査技師数（診療所）

	地域	2017	2020
1	全国	9.40	9.97
2	福島	6.57	8.95
3	茨城	6.43	8.88
4	栃木	11.04	8.79
5	群馬	9.39	9.22

人口10万人当たりに臨床検査技師数（医療機関）

	地域	2017	2020
1	全国	52.77	53.71
2	福島	53.85	56.57
3	茨城	42.95	44.44
4	栃木	54.71	49.61
5	群馬	56.20	54.49

出所：医療施設（静態・動態）調査
（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html）
出所：総務省「人口推計（国勢調査）」
（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html）

栃木県と近隣地域における特定健康診断の受診状況（2021年調査）

地域		対象者数（千人）	人口に占める対象者の割合（%）	受診者数（千人）	受診率（%）
1	全国	53,802	43.8	30,240	56.2
2	福島県	831	46.2	468	56.3
3	茨城県	1,260	45.2	691	54.8
4	栃木県	857	45.6	484	56.5
5	群馬県	849	45.5	475	55.9

出所：厚生労働省　特定健康診査・特定保健指導に関するデータ
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03092.html

栃木県の65歳以上人口の推移

	全国		栃木県	
年	65歳以上人口（千人）	割合（%）	65歳以上人口（千人）	割合（%）
2020年	36,027	28.6	562	29.1
2025年	36,529	29.6	582	31.2
2030年	36,962	30.8	587	32.6
2035年	37,732	32.3	593	34.2
2040年	39,285	34.8	612	36.9

※割合（%）は総人口/65歳以上人口で算出

出所：国立社会保障・人口問題研究所「令和5年日本の将来推計人口」及び「日本の地域別将来推計人口」を参考に本学で編集した

競合校の教育内容と方法の概要

◆つくば国際大学

つくば国際大学医療保健学部臨床検査学科は、“体系化された高度な専門知識と臨床実践能力を備え、かつ、高い倫理観と人の心と温かさがわかる人間性豊かな臨床検査技師を育成する。また、研究を通して臨床検査学分野の学術の発展に寄与する”ことを教育目標とする。

本目標を達成するため、大学設置基準における教育課程の編成方針及び臨床検査技師養成指導要領に基づき、教育課程を“基礎科目、専門基礎科目、専門科目”から構成し体系的に編成する。各科目の教育内容は以下のとおりとしている。

（基礎科目）

“専門分野の枠を超えて共通に求められている知識・思考方法等の知的な技法を修得させるとともに、人間としての在り方・生き方に関する洞察力や現実を正しく理解する力を涵養する。”

（専門基礎科目）

“臨床検査技師として専門科目を学ぶ上で必要な科目群（人体の構造と機能や疾病との関連を学習する基礎医学科目群、チーム医療への参画を踏まえた幅広い分野の知識を学習する保健医療科目群、医療工学と情報科学を学習する医用工学科目群）に分類編成”して専門分野科目群の学習につなげる。

（専門科目）

“基礎専門科目の知識を踏まえて実際の臨床医学および臨床検査業務を行う上で必要な科目群（臨床医学・検査総論科目群、患者の病理組織・血液・尿などの検体検査関連科目群、免疫・輸血・遺伝子および微生物関連科目群、生理機能検査・画像検査などヒト検査関連科目群）”について学習する。

特色ある教育として、初年次教育を充実させるため、正規カリキュラム科目として病院見学などを取り入れた「医療保健学セミナー」の開講、専門基礎科目の学習に円滑に移行できるよう「生物学」の必修科目化、少人数教育及び演習・実験・実習における双方向授業の実施、が実践されている。

また、学外臨床（地）実習では、3 年次に 7 科目（臨床検査総論実習、病理検査学実習、生理機能検査学実習、臨床化学実習、血液検査学実習、微生物学実習、免疫検査学実習）の学内実習を履修した後に、これら 7 科目について病院施設で実習を行う体制をとる。

加えて、3 年次に「チーム医療論」を必修科目として開講し、チーム医療に対応した教育を実施する。学生が、“チーム医療とは、様々な医療従事者がお互いに連携・分担し、それ

ぞれの高度で専門的な知識と技術を生かし、患者中心の医療を実現しようとする医療環境モデルの一つである。将来チーム医療を実践するために様々な医療従事職種の内容やチーム医療に対する関わり方などについて具体的に学習する。”ことを目的とする。

授業は全８回で構成されており、臨床検査技師を始めとした、当該大学が養成する医療専門職の資格を有する教員や、その他に医師及び薬剤師等の資格を有する教員によって、各職種の業務や役割等について講義を行う。“チーム医療の本質と多職種の役割とコミュニケーション能力の必要性を理解”することで、“チーム医療における臨床検査技師の必要性を学習し、チーム医療に参画できる資質を身につけること”を目標とする。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページの掲載情報を参照し記載している。

・つくば国際大学（2023 年 12 月 12 日閲覧）https://www.ktt.ac.jp/tiu/

◆群馬パース大学

群馬パース大学医療技術学部検査技術学科は、“生命の尊厳を理解し、思いやりの心を持つとともに高い倫理観を備え、臨床検査分野において健康や医療に関する専門知識と最新技術を学び、科学的根拠に基づく適切な判断”ができ、“生命科学や検査技術学分野”への貢献と“実践的な診療支援ができる質の高い臨床検査技師”の養成を目標とする。

そして、医療の現場で生じる様々な要素を要因・背景とする、千差万別の課題や問題に的確・柔軟に対応できるよう、“実践的な高度な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断能力と問題解決能力を培うこと”を目的に教育を行う。そのために、授業科目を“教養科目群、共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群”に分けて開設し、体系的に教育課程を編成する。各科目の教育内容は以下のとおりとしている。

（教養科目群）

“社会人としての教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につける”ための科目。“人と社会及び自然の理解”及び“情報と言語の理解”に大別される。

（共通基盤科目群）

“初年次において大学での学習に対する準備状態を整え、専門領域の学習への関心と意欲を高めるための科目”及び“チーム医療に関する意識を高めるための科目”

（専門基礎科目群）

医療技術専門職を養成するために展開される“専門領域の理論、技能の習得のための学術的基盤となる科目”

（専門科目群）

“専門領域とそれに関連する理論、技能を学ぶ科目”及び“さらに高い実践力を獲得するため、臨地実習の科目”

特色ある教育として、チーム医療とキャリアデザインに関する教育が挙げられる。

具体的には、PBL（問題解決型学習）教育及びアクティブ・ラーニングを取り入れて、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上を図り、チームワークの難しさ、リーダーシップ、自ら考え解決する力を養成する。

チーム医療に関する教育として、2年次に「多職種理解と連携」を必修科目として開講する。学生が、“医療は複数の職種がそれぞれの専門性を全うし、かつ相互に協力し合って行われて人間を守る行為であるというチーム医療論を理解する。”ことを目的に、当該大学が養成する医療専門職種を中心に、その専門性について全15回の講義を行う。

そして、学生が各医療専門職の職務と職域を説明でき、具体的な仕事内容を理解したうえで専門職による連携について考え、チーム医療の重要性を学ぶことを到達目標とする。

また、15回のうち5回を各学科が養成する医療専門職種に関連する専門資格等の学習に充てている。臨床検査学科においては臨床検査技師の専門資格及びその役割として、栄養サポートチーム（NST：Nutrition Support Team）、インフェクションコントロールドクター

（ICD：Infection Control Doctor)、細胞検査士、胚培養士及び治験を例示して、臨床検査技師の職務及び職域の深い理解につながる教育を実践する。

加えて、学部教育に「胚培養士」の基礎知識になる、受精卵（胚）発生のメカニズムや顕微授精などの実践技術を学ぶ科目の導入、在学中に「遺伝子分析化学認定士」の取得を目指せるよう資格を有する教員によるサポートを行う。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページの掲載情報を参照し記載している。

・群馬パース大学（2023 年 12 月 13 日閲覧）https://www.paz.ac.jp/

入試日程

入試区分	学部名	入学試験日		試験地	出願期間［消印有効］	合格発表日	入学手続締切日［消印有効］
総合型選抜 ＜専願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2023年 10月14日(土)		大田原	2023年9月20日(水)～ 2023年10月4日(水)	2023年 11月1日(水) 13:00	2023年11月9日(木)
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			東　京			
	小田原保健医療学部			小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部			大　川			
学校推薦型選抜［公募制/指定校制］ 帰国生徒特別選抜 ＜専願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2023年 11月18日(土)		大田原	2023年11月1日(水)～ 2023年11月9日(木)	2023年 12月1日(金) 13:00	2023年12月12日(火)
	成田看護学部 成田保健医療学部			成　田			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			東　京			
	小田原保健医療学部			小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部			大　川			
特待奨学生特別選抜 ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 福岡薬学部	2023年 12月16日(土)		仙　台・郡　山 大田原・水　戸 高　崎・成　田 東　京・小田原 福　岡・大　川 佐　賀・大　分 鹿児島・沖　縄	2023年11月28日(火)～ 2023年12月7日(木)	2023年 12月25日(月) 13:00	一括納入方式 / 分割納入方式 2024年1月9日(火) 二段階納入方式 〈1次手続〉 2024年1月9日(火) 〈2次手続〉 2024年3月11日(月)
一般選抜前期 ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 福岡薬学部	日程A	2024年 1月28日(日)	盛　岡・仙　台・大田原 水　戸・高　崎・成　田 東　京・横　浜・小田原 静　岡・山　口・福　岡 大　川・佐　賀・熊　本 大　分・鹿児島・沖　縄	2023年12月19日(火)～ 2024年1月16日(火)	2024年 2月7日(水) 13:00	一括納入方式 / 分割納入方式 2024年2月15日(木) 二段階納入方式 〈1次手続〉 2024年2月15日(木) 〈2次手続〉 2024年3月11日(月)
		日程B	2024年 1月29日(月)	仙　台・大田原・水　戸 高　崎・成　田・東　京 横　浜・小田原・静　岡 福　岡・大　川			
		日程C	2024年 1月30日(火)	郡　山・大田原・成　田 東　京・長　野・小田原 北九州・福　岡・大　川 長　崎・宮　崎			
大学入学共通テスト利用選抜 ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 福岡薬学部	個別学力検査等は実施しません ＜大学入学共通テスト＞ 2024年1月13日(土)・1月14日(日)			2023年12月19日(火)～ 2024年1月16日(火)	2024年 2月12日(月) 13:00	一括納入方式 / 分割納入方式 2024年2月20日(火) 二段階納入方式 〈1次手続〉 2024年2月20日(火) 〈2次手続〉 2024年3月11日(月)

※ 成田看護学部、成田保健医療学部では、総合型選抜を実施しません。

※ 特待奨学生特別選抜、一般選抜前期、大学入学共通テスト利用選抜では入学手続に伴う学生納付金の納入方式として、「一括納入方式」のほかに「分割納入方式」または「二段階納入方式」を選択することもできます。詳細はP.14、P.18～21および「入学手続要項」を確認してください。

入試区分	学部名	入学試験日	試験地	出願期間［消印有効］	合格発表日	入学手続締切日［消印有効］
一般選抜後期 ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2024年 3月2日㈯	大田原	2024年2月13日㈫～ 2024年2月22日㈭	2024年 3月8日㈮ 13:00	2024年3月14日㈭
	成田看護学部 成田保健医療学部		成　田			
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部		東　京			
	小田原保健医療学部		小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部		大　川			
社会人特別選抜 ［11月］ ＜専願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2023年 11月18日㈯	大田原	2023年11月1日㈬～ 2023年11月9日㈭	2023年 12月1日㈮ 13:00	2023年12月12日㈫
	成田看護学部 成田保健医療学部		成　田			
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部		東　京			
	小田原保健医療学部		小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部		大　川			
社会人特別選抜 ［1月］ ＜専願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2024年 1月31日㈬	大田原	2023年12月19日㈫～ 2024年1月11日㈭	2024年 2月7日㈬ 13:00	2024年2月15日㈭
	成田看護学部 成田保健医療学部		成　田			
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部		東　京			
	小田原保健医療学部		小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部		大　川			
留学生特別選抜 ［11月］ ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2023年 11月18日㈯	大田原	2023年11月1日㈬～ 2023年11月9日㈭	2023年 12月1日㈮ 13:00	2023年12月12日㈫
	成田看護学部 成田保健医療学部		成　田			
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部		東　京			
	小田原保健医療学部		小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部		大　川			
留学生特別選抜 ［1月］ ＜併願制＞	保健医療学部 医療福祉学部 薬学部	2024年 1月31日㈬	大田原	2023年12月19日㈫～ 2024年1月11日㈭	2024年 2月7日㈬ 13:00	2024年2月15日㈭
	成田看護学部 成田保健医療学部		成　田			
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部		東　京			
	小田原保健医療学部		小田原			
	福岡保健医療学部 福岡薬学部		大　川			

競合校の奨学制度の概要

（つくば国際大学）

つくば国際大学は、２つの給付型の学生支援制度を用意している。１つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、２つ目は罹災や家計が急変し学費支弁が困難になった者に対する制度、を設けている。

（群馬パース大学）

群馬パース大学は、３つの給付型と１つの貸与型の学費支援制度を用意している。１つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、２つ目は学生支援機構などの貸与型奨学金制度を利用する在学生に対する制度、３つ目は兄弟姉妹が在学中又は卒業者にいる学生に対する制度、を設けている。

奨学制度・修学支援比較

大学名	制度名	内容
国際医療福祉大学	特待奨学生奨学金(給付)	特待奨学生特別選抜、一般選抜前期、大学入学共通テスト利用選抜における成績上位合格者 ➡授業料の全額又は一部相当額の奨学金を在学期間中の4年間(薬学部は6年間)給付 区分S：授業料100%相当額、区分A：授業料50%相当額、 区分B：授業料30%相当額
	年間成績優秀賞(給付)	前年度の成績が優秀な者。各学科2年次以上の学年から各1名 ➡授業料の最大50%を給付(特待奨学生奨学金の区分S・Aの者は除く)
	在学生卒業生子息子女兄弟姉妹進学支援奨学金(給付)	卒業生の子息子女や兄弟姉妹又は在学生の兄弟姉妹である者若しくは兄弟姉妹が同じ年度に入学する者 (兄弟姉妹が同じ年度に入学する場合、対象者は入学者のうち1名) ➡入学金の50%相当額を給付
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)奨学金(給付)	全学部2年次以上の成績優秀者を対象に、年間5～6名を新規採用 ➡年間60万円～180万円を給付
	学生支援基金奨学金(貸与)	学生納付金負担者の不慮の事故などに伴う家計急変者 ➡年間の学生納付金以内の額を貸与
つくば国際大学	入試特待制度(給付)	一般選抜(1期・2期)及び大学入学共通テスト利用入試(1期・2期・3期)において成績優秀な合格者 ➡1年次の前期授業料から30万円を減免
	経済的支援制度(給付)	大規模災害に罹災又は主たる学費負担者の失職、死亡等で家計が急変し、学費支弁が困難になった者 ➡授業料の半額又は1/4額を免除
群馬パース大学	特待生奨学金(給付)	一般選抜(前期)の第一志望学科の合格者のうち、成績優秀かつ経済的理由により修学困難な者 ➡授業料の全額又は一部相当額の奨学金を最大4年間給付 区分S：授業料等を全額免除、区分A：後期授業料等を全額免除 区分B：入学年度の後期授業料等を全額免除 ※主たる家計支持者1名の年間収入が以下に該当する学生は除く ・給与所得者は、源泉徴収票支払金額が841万円以下 ・給与所得以外の者は、確定申告等所得金額が355万円以下
	神戸奨学金(給付)	日本学生支援機構等の奨学金貸与を受ける2～4年次在籍者の内、各学科から原則1名以内 ➡後期授業料から30万円を免除 ※主たる家計支持者1名の年間収入が以下に該当する学生は除く ・給与所得者は、源泉徴収票支払金額が841万円以下 ・給与所得以外の者は、確定申告等所得金額が355万円以下
	兄弟姉妹奨学金(給付)	卒業者を含め、2名目以上の兄弟姉妹が在籍する者または、同時に兄弟姉妹が入学した者 ➡1年次の後期授業料から10万円免除(特待生奨学金受給者を除く)
	ほたか奨学金制度(貸与)	看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を養成する学部の在学者 ➡貸与月額は4～7万円(別途入学時に10万円貸与)、貸与期間は2年～4年・6年から選択 ※卒業後に群馬パース病院・介護老人保健施設武尊荘に入職し所定期間勤務した場合は返済免除

※各大学のホームページ、大学案内、学生募集要項をもとに作成

キャリア支援セミナー
Basic 2024

① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析

② ビジネスマナーを身に付けよう

③ 履歴書・エントリーシート／自己 PR 対策

④ 選ばれるための面接対策

国際医療福祉大学

学籍番号	名前

国際医療福祉大学

目次

はじめに…… 1
学生の就職活動に関する心得…… 2

✧ **就職活動ガイド**
- キャリア支援センターについて…… 5
- IUHW キャリアサポートについて…… 7
- 各種事務手続き…… 11
- 個人情報の取り扱いについて…… 13

✧ **テキスト**

① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析
- ■ 就職活動の進め方…… 15
- ■ 自己分析・応募先分析…… 16
- ■ 求人票を見てみよう…… 19
- ■ 【参考】求人申込票…… 20

② ビジネスマナーを身に付けよう
- ■ 好印象を与えるマナーの基本…… 22
- ■ 言葉づかいの確認…… 24
- ■ 電話・メール・手紙のマナー…… 25
- ■ オンラインのマナー…… 29
- ■ 就職活動の場面では…… 30
- ■ 【参考】お礼状例文…… 32

③ 履歴書・エントリーシート／自己PR対策
- ■ 履歴書・エントリーシートの書き方…… 34
- ■ 大学履歴書・自己紹介書見本…… 36・37
- ■ 志望動機の書き方…… 38
- ■ 自己PR対策…… 40

④ 選ばれるための面接対策
- ■ 就職試験の面接とは…… 44
- ■ 面接の種類…… 45
- ■ 面接のポイントと対策…… 46
- ■ 自己分析をもとに話す内容を考えてみよう…… 50

✧ **資料・ワークシート**
- 【見本】履歴書・自己紹介書…… 56
- 【自己分析シート 1】自分の価値観を見つけよう…… 57
- 【応募先分析シート】病院・施設・企業 …… 58・59
- 【志望動機シート】…… 60
- 【自己分析シート 2】アピールポイントを見つけよう…… 61
- 【PREP 法練習シート】自己 PR を書いてみよう …… 62
- 【面接評価シート】…… 63

おわりに …… 64

キャリア支援センターについて

- 学生一人ひとりが満足できるキャリアを支援するため、キャリア支援センターを設置しています

◇就職・進学等キャリア支援体制

学科教員	キャリア支援センター
担任やチューター、ゼミ担当教員による、学生の希望や特性に応じた個別指導 専門職としてのサポート	就職・進路に関する情報提供 専任のキャリアコンサルタントによる、進路相談や実践的なサポート

就職・進学など進路に関する相談や質問は、学科の担当教員または、キャリア支援センターにお問い合わせください。

◇キャリア支援センターが行う各種サポート

サポート	内容
就職ガイダンス	就職活動の進め方、事務手続き 3・4年次(薬学部は5年次)に適宜実施しています。
キャリア支援セミナー	自己分析・応募先分析／ビジネスマナー／ 履歴書・エントリーシート対策／面接対策
就職試験対策	小論文／グループディスカッション／筆記試験
個別相談	進路相談／履歴書作成／模擬面接／小論文指導

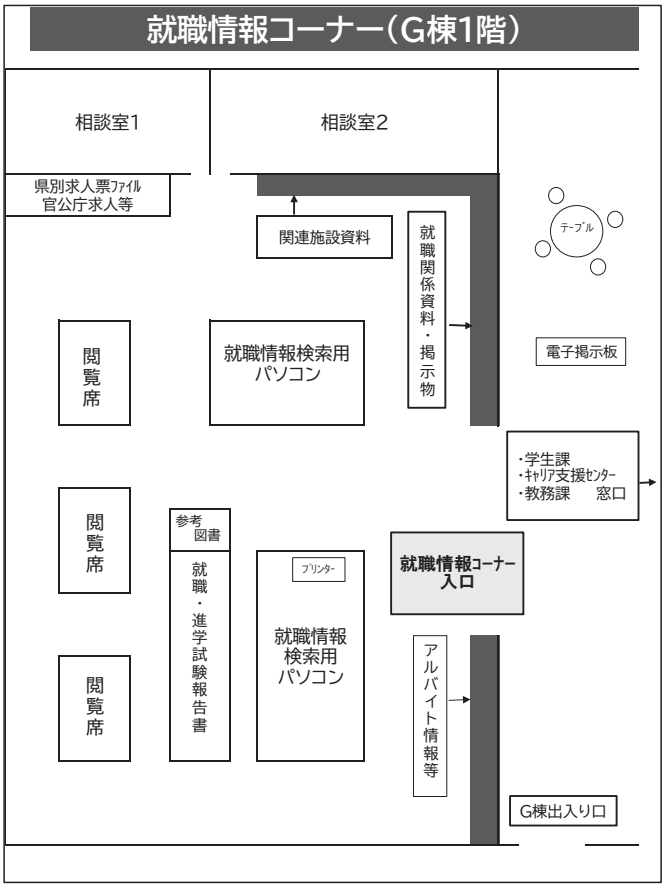
詳しくは、キャリア支援センター ホームページをご覧ください。

https://career.g.iuhw.ac.jp/

◆就職情報コーナー
・場所：G棟1階
・利用時間：平日および授業日 9:00～17:00



◇就職情報コーナー(利用時間 平日・授業日 9:00～17:00) ＊相談業務は平日のみ



【就職情報コーナーの資料】

- 求人票ファイル
- 就職・進学試験報告書ファイル
- 過去5年間の就職実績
- 本学関連施設資料
- 官公庁関係資料
- 各種イベント案内
- インターンシップ情報

【就職・進路に関する書類申請・届出について】

就職・進路に関する書類申請は学生課・教務課窓口で、報告等はWEBで受付けています。

【教務課窓口】成績証明書、卒業見込み証明書
【学生課窓口】健康診断書、推薦書、インターンシップ届
【オンライン】 進路希望登録、就職試験報告
進路決定届



【資料8】

2024年度版

キャリア支援ハンドブック

CAREER SUPPORT HANDBOOK

保護者編

国際医療福祉大学

目次

学長挨拶 1

Ⅰ 国際医療福祉大学におけるキャリア支援について 4

1. 就職・キャリアに関する情報提供

2. 「IUHW キャリアサポート」（就職支援システム）による支援

3. 就職ガイダンス・キャリア支援セミナーの開催

4. 個別相談

5. ハローワークとの提携

6. 就職支援資料冊子の作成・配布

Ⅱ 就職・キャリアに関する情報提供について ..... 5・6

【就職情報コーナー】

1. 場所、利用時間について

2. 常設の設備、資料等について

3. 求人票、就職・進学試験報告書、就職先情報ファイルの閲覧について

4. 関連施設情報コーナー

5. 参考図書

【IUHWキャリアサポート】本学学生専用就職支援システム

1. 情報の閲覧について

2. 個別相談予約について

3. 登録手続きについて

Ⅲ キャリア支援内容について 7

1. 学科別キャリア支援セミナー

2. 個別相談

Ⅳ 就職活動スケジュール ..... 8・9

Ⅴ 就職に関する事務手続きについて……10・11

1.「進路希望」（求職票）の登録

2.「入社試験情報」（就職・進学試験報告）の登録

3.「進路決定届」の登録

4.「推薦書」の発行

5.「内定辞退願」について

6.その他

Ⅵ 保護者の方へのお願い……12・13

1.学生の精神的支えとなってください

2.就職活動資金を援助してください

3.学生の意見や考えをよく聞いてください

4.選択肢の広がるようなアドバイスをしてください

5.学生の主体的な行動を応援してください

6.周囲と比較しないでください

7.学業成績のみで、就職できる・できないを判断しないでください

8.キャリア支援センターの利用を勧めてください

9.新聞を読み、情報収集するようアドバイスをしてください

10.ハローワークでも求人情報等が得られることをお伝えください

Ⅶ 国際医療福祉大学・高邦会グループへの就職について……14

Ⅷ 国際医療福祉大学大学院への進学について……15

国際医療福祉大学

キャリア支援ハンドブック【保護者編】

2023年12月1日　発行

発行　国際医療福祉大学
編集　国際医療福祉大学　学生課キャリア支援センター
〒324-8501　栃木県大田原市北金丸2600-1
TEL：0287-24-3003（学生課）

学生納付金（参考）　※本学成田キャンパス医学検査学科の学生納付金は以下のとおりです

学 年	入学金	授業料	実験実習費	施設設備費	年度合計	4年間合計
初年度	30万円	90万円	5万円	36万円	161万円	614万円
2年次以降	ー	90万円	25万円	36万円	151万円	

＊本学の他学科同様、特待奨学生をはじめ、本学独自の奨学金制度も用意しています。

特待奨学生制度（参考）成田キャンパス医学検査学科の特待奨学生制度（2024年度入試）

特待奨学生の種類	奨学金給付額（4年間合計）	学生納付金（4年間合計）	
		奨学金給付前	奨学金給付後
特待奨学生S　授業料 100％ 相当額給付	360万円	614万円	⇨ 254万円
特待奨学生A　授業料 50％ 相当額給付	180万円		⇨ 434万円
特待奨学生B　授業料 30％ 相当額給付	108万円		⇨ 506万円

特待奨学生特別選抜、一般選抜前期、大学入学共通テスト利用選抜の成績上位合格者を対象に、授業料の全額または一部に相当する額を奨学金として在学期間中の４年間給付します。奨学金返還の義務は一切ありません。特待奨学生Sは国公立大学と同程度の学生納付金※で進学できます。特待奨学生AまたはBでも、他の私立大学に比べ学生納付金の負担は大幅に軽減されます。　※国立大学の学生納付金標準額（2023年度）：4年間 約242万円

附属病院　※栃木県以外



国際医療福祉大学三田病院
〈291床〉東京都港区



国際医療福祉大学成田病院
〈642床〉千葉県成田市



国際医療福祉大学市川病院
〈260床〉千葉県市川市



国際医療福祉大学熱海病院
〈269床〉静岡県熱海市

学生寮　〈大田原キャンパスから自転車で約20分〉

学生寮（若草寮）は大田原市街地に位置し156室あります（全室個室）。玄関はオートロックで入出場を入寮生のカードで管理する安心のセキュリティです。共用のキッチンがあるので自炊もでき、生活に必要な環境が整っているので安心して暮らせます。また、新たな学生寮（150～200室）の建設も計画しています。



若草寮



本学は5つのキャンパスに10学部26学科を設置しています

大田原キャンパス　栃木県大田原市北金丸2600-1
■保健医療学部　看護学科／理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚学科／視機能療法学科／放射線・情報科学科　■医療福祉学部　医療福祉・マネジメント学科　■薬学部　薬学科（6年制）

成田キャンパス　千葉県成田市公津の杜4-3
■医学部 医学科 ■成田看護学部 看護学科 ■成田保健医療学部　医学検査学科／理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚学科／放射線・情報科学科
■成田薬学部 薬学科（6年制）※2024年4月開設

東京赤坂キャンパス　東京都港区赤坂4-1-26
■赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科／医療マネジメント学科

小田原キャンパス　神奈川県小田原市城山1-2-25
■小田原保健医療学部 看護学科／理学療法学科／作業療法学科

大川キャンパス　福岡県大川市榎津137-1
■福岡保健医療学部　医学検査学科／看護学科／理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚学科 ■福岡薬学部 薬学科（6年制）

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。
国際医療福祉大学
お問い合わせ 大田原キャンパス入試広報室
TEL.0287-24-3210
●E-mail kouhou@iuhw.ac.jp
●URL　https://www.iuhw.ac.jp/

国際医療福祉大学

検査・分析のエキスパート
臨床検査技師を養成

2025年4月 大田原キャンパスに 医学検査学科（仮称）開設予定

（設置構想中）









大田原キャンパス（栃木県）

※掲載内容は予定であり、今後変更になる可能性があります

2025年4月 大田原キャンパスに
臨床検査技師を養成する
医学検査学科の設置を構想しています

国際医療福祉大学は2025年4月、大田原キャンパス（栃木県大田原市）に医学検査学科を開設する予定（設置構想中）です。大川（福岡県大川市）、成田（千葉県成田市）両キャンパスに続く、本学として3番目の医学検査学科であり、東北地方および栃木県下の4年制私立大学で臨床検査技師を養成する唯一の学科となる見込みです。

1995年に誕生した大田原キャンパスには現在、保健医療学部、医療福祉学部、薬学部（6年制）の3学部8学科の学生約3,900人（大学院生を含む）が学んでおり、約2万人の卒業生が医療福祉の現場を中心に活躍しています。日本初の医療福祉の総合大学として大田原の地に開学した本学創立30周年の節目の年に新設をめざす医学検査学科では、最先端の検査技術とチーム医療・チームケアに貢献できる人間性を備えた、国内外で活躍できる臨床検査技師を養成します。また、細胞検査士等認定試験の受験資格の取得も視野に入れた魅力あるカリキュラムを構想しています。同じキャンパスにある3学部8学科と連携しながら、高度な知識と技術を学び、医療を支えるエキスパートとして羽ばたいてみませんか。

大田原キャンパス 医学検査学科の概要

学部学科名称	保健医療学部 医学検査学科（仮称）
開学時期	2025年4月
設置予定地	栃木県大田原市北金丸2600-1（大田原キャンパス内）
修業年限	4年
入学定員	80名
収容定員	320名
取得可能資格	臨床検査技師 国家試験受験資格

※その他在学中にめざせる資格として、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士、食品衛生管理者、食品衛生監視員、健康食品管理士等を計画しています。



診断・治療に不可欠な「検査のプロ」

臨床検査技師は「検査のプロ」です。医療機関や人間ドックを含む健診施設で行われる血液や心電図などの検査、さらには、脳波、超音波（エコー）などの検査を担当しており、病気の早期発見や、医師の的確な診断・治療を支える大事な役割を果たしています。新型コロナウイルスの感染拡大時には、PCR検査に対応し、医療の最前線で活躍したのは記憶に新しいところです。

本学にはすでに大川、成田両キャンパスに医学検査学科があります。新型コロナの流行当初、横浜に入港したクルーズ船や成田の検疫所から要請を受け、本学は日本で最初の大規模なPCR検査体制を整えましたが、その中心になったのは臨床検査技師です。未曽有の事態に「チーム医療」をいち早く実践し、新型コロナウイルス感染拡大阻止の初動対応に大きく貢献しました。

最先端技術を駆使した将来の医療現場でも活躍が期待されています。オーダーメイドの治療を可能にする遺伝子検査では、発病や薬効を左右する個人差の解明を担います。一方、医薬品業界で新薬の有効性や安全性を確認するための治験の進行をサポートしたり、最新の検査機器を導入したい医療機関への説明に携わったりするなど、活躍の場は多岐にわたっています。

細胞診検査



遺伝子検査



超音波（エコー）検査



微生物検査



大田原・医学検査学科の特長

実践的な教育を展開
臨床経験豊富な専任教員を配し、臨床検査の基礎から高度先進医療技術まで、実践的な教育を展開します。大田原キャンパスに建設する医学検査学科の新棟には学内実習のための最新設備を整えます。

複数の資格取得が可能
臨床検査技師国家試験の受験資格に加え、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士など複数の資格を取得できるカリキュラムを設定。幅広い資格の取得をめざします。

実績に基づく国家試験対策
本学の国家試験合格率は全国トップクラス。対策講義や特別補修、模擬試験、手厚い個別指導など、定評のある国試対策のノウハウを生かし、大田原の医学検査学科でも全員合格をめざします。

専門を生かした就職先へ
成田・大川キャンパスの医学検査学科では毎年就職率100%を実現、大田原でも100%をめざします。就職先は大学病院、ゲノム医学研究所、企業の検査機関など、専門を生かした多彩な場所で活躍できます。

充実したカリキュラム

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
生命科学の専門家として臨床検査に必須の基礎的医学知識を学修	専門知識・技術の科目に加え、海外研修やチーム医療・チームケアを学修	医学検査に関連する実験・実習で、実践的な知識・技術を修得	進路に合わせた科目も選択可能。卒業研究や国家試験対策に重点的に取り組む

特色ある授業

遺伝子検査学
必修科目の遺伝子検査学に加え、「遺伝子分析科学認定士」の資格取得に向けたカリキュラムを設定、在学中の資格取得をめざします。分子生物学分野の科目を充実させ、基礎医学研究に対応できる知識を学びます。

臨床検査質量分析学演習
国内の臨床検査技師の教育機関ではほぼ未導入の質量分析装置を用いた講義・実習を予定しており、在学中に「医用質量分析認定士」の資格取得をめざします。

関連職種連携教育
さまざまな医療福祉専門職が協働して最善の治療を行う「チーム医療・チームケア」。学部学科を横断したチームで、附属病院や関連施設で臨床実習を行う独自の関連職種連携教育は、本学の強みです。

海外研修
学術交流協定を結ぶ25か国・地域の50大学・機関で10日から2週間の海外研修を実施します（大田原キャンパスは選択科目）。海外の医療福祉を体験できる貴重な機会として、毎年多くの学生が参加しています。

学生の声

成田キャンパス 医学検査学科4年 **佐藤 怜**さん

3年次は週に4〜5回の実習があります。国際医療福祉大学には最新の医療機器が導入されており、臨床に近い環境で学べます。実習によって知識が定着するのはもちろん、勉強が楽しくなります。また、「生理検査学実習」や「超音波検査学実習」では患者さん本人の身体を対象として検査を行います。被検者の負担を低減する工夫や安心感を与える声かけなど実践的な技能も磨けました。

大川キャンパス 医学検査学科4年 **荒木 美優**さん

臓器を顕微鏡で観察する「解剖組織学実習」は、座学で臓器の構造や役割を学んだ上での実習ですが、実際に顕微鏡で見たときには、「私たちの体内でこんなにも小さなものが働いてくれているのか」ととても感動しました。臨床検査技師はあまり知られていない職業かもしれませんが、多くの人が知っている検査のほとんどを行う重要な役割を担うので、誇りを持って勉強しています。

大田原キャンパスの設備

医療福祉施設を併設
教育・医療・福祉が一体となった理想的な教育環境

図書館
蔵書数は10万冊以上

那須アスリーナ
体育館や武道場、弓道場を整備

カフェテリア棟
1Fは食堂と売店、2Fはカフェテリア

キャンパス近隣の附属病院（実習施設）

国際医療福祉大学病院
〈408床〉栃木県那須塩原市
49の診療科と15のセンター。実習生のためのシミュレーション施設を整備

国際医療福祉大学 塩谷病院
〈240床〉栃木県矢板市
27の診療科。栃木県地域災害拠点病院、DMAT 指定病院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

【高校2年生対象】国際医療福祉大学(栃木県大田原キャンパス)
「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

学校法人国際医療福祉大学では、2025年4月に臨床検査技師を養成する「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」(栃木県大田原市)の開設を計画しています。

このアンケート調査は新学科設置構想の基礎資料とするため、高校2年生の皆さんの進学に関する率直な考えをお聞きするものです。国際医療福祉大学では医療専門職の養成にあたり、文系・理系を問わず幅広く人材を求めています。P3-4に記載の「設置の理念と養成する人材像」「国際医療福祉大学の理念と教育目標」「アドミッションポリシー」や別紙・医学検査学科リーフレットをご参照の上、ご回答ください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

なお、回答いただいた内容は統計資料として上記の目的にのみ使用します。個人が特定される形で使用することは一切ありません。

●以下の QR コードを読み取り、GoogleForms からアンケートにお答えください。回答時間は 3 分ほどです。

●GoogleForms の質問内容を以下に記載します。ご参照ください。
↓

※まず最初に高等学校の所在県を選んでいただきます。

【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。

○ 進学を検討している　　○ 進学を検討していない（就職、未定など）

【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか。
以下の項目からあてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)。

○ 大学(専門職大学を含む)に進学　　○ 短期大学(専門職短期大学を含む)に進学
○ 専門学校・専修学校に進学　　○ その他

【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか。
次の選択肢から一つだけ選択してください。

○ 国公立　　○ 私立　　○ 国公立および私立

【質問４】あなたが進学したい、もしくは興味のある学問分野としてあてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。なお、現時点で「学問分野」を決めていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定して回答してください。

分　野	選択欄
1. 医学・歯学・薬学系	○
2. 保健医療系(理学療法/作業療法/言語聴覚/医学検査など)	○
3. 看護系	○
4. 医療福祉学・介護福祉学系	○
5. 社会学・社会福祉学系	○
6. 家政学系	○
7. 工学系	○
8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)	○
9. 農学系	○
10. 芸術系	○
11. 体育系	○
12. 商学・経済学系	○
13. 法学・政治学系	○
14. 教育学・保育学系	○
15. 文学・史学・哲学系	○
16. その他	○

（裏面に続く）

◆ここからは「医学検査学科（仮称）」のリーフレットおよび P3～4 に記載の情報や最終ページの「参考資料：他大学の類似学科」をご覧いただいた上で回答してください。

【質問５】あなたは国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）が開設された場合、受験を希望しますか。
次の選択肢から一つだけ選択してください。

○ 第一志望として受験したい　　○ 第二志望として受験したい
○ 第三志望以降として受験したい　　○ 受験しない

【質問６】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）を受験し、合格した場合の入学意向について、次の選択肢から一つだけ選択してください。

○ 入学したい
○ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい
○ 入学しない （理由）

【質問７】あなたが、国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）に「入学したい」または「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい」と思った理由は何ですか。**あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください（複数回答可）**。

○ 興味・関心のある学問分野でめざす国家試験の受験資格の取得が可能だから
○ これからの医療分野で、ますます必要とされる健診業務に役立つ業務に取り組みたいから
○ 病気の早期発見等に重要な役割を担う検査業務に携わりたいから
○ 国際医療福祉大学のもつ理念(「共に生きる社会の実現」など)に共感できるから
○ 学べる内容やカリキュラムが良さそうだから
○ 学修サポート体制が充実してそうだから
○ 医療福祉の総合大学であり、「チーム医療・チームケア」が学べるから
○ 医療福祉の国家試験合格率ですでに高い実績を上げている大学だから
○ 就職において毎年高い実績を上げている大学だから
○ グループとして多くの医療福祉施設を運営しており、実習環境が充実しているから
○ 国際性を目指した大学であり、国際交流が活発だから
○ キャンパスの校舎・施設環境が充実していそうだから
○ 学費設定や特待奨学生制度等、学費面での負担軽減が期待できるから
○ 自宅から通学可能だから(キャンパスの立地が自分に適しているから)
○ その他

質問内容は以上です。
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先
国際医療福祉大学大田原キャンパス
入試広報室（担当：石田、川上）
TEL：0287-24-3200
E-mail：kouhou@iuhw.ac.jp

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

【高校２年生対象】国際医療福祉大学（栃木県大田原キャンパス）

「保健医療学部　医学検査学科（仮称）」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

＜補足情報＞

P1～2 のアンケートにご回答いただくにあたり、この学科の理念や養成したい人材像、アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）、他大学の類似学科情報を以下に記します。
別に配布しているカラーリーフレットと共に、アンケートにお答えいただく際の参考にしてください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

＜保健医療学部　医学検査学科（仮称）の設置の理念と養成する人材像＞

国際医療福祉大学 保健医療学部は、 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学 の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

その保健医療学部に新たに設置する医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身につけるとともに、高度先進医療に対応する能力ならびに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、先端の検査技術とチーム医療・チームケアに貢献できる人間性を備えた、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

＜国際医療福祉大学の理念と教育目標＞

国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という３つの基本理念と、この理念を実現するための７つの教育理念（人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営）を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行う。

＜アドミッションポリシー＞

本学は、建学の精神である「共に生きる社会の実現」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、日々進化する保健・医療・福祉分野の需要に対応できる指導的な人材の育成を実現すべく、学生、社会人、留学生、帰国生徒に対して学修の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。本学が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

＜本学が入学者に求める要件＞

1. 知識･技能

幅広い教養と視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける人。なお、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し学びを深めるために、入学までに身につけていることが望ましい内容は以下のとおりである。

【国語】物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語によるコミュニケーション能力
【地理歴史・公民】多様な文化や歴史、価値観、生活背景を持つ他者を理解するために必要な基礎知識
【数学】論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能
【理科】自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学（物理、化学、生物）に関する基礎知識
【英語】国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション能力

2. 思考力･判断力･表現力

●これからの時代の保健・医療・福祉分野を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲や課題を発見し解決する能力を有していること。

●保健・医療・福祉分野における情報科学技術の高度化、専門化及び国際化に対応するため、幅広い関心と好奇心を持って努力を継続できる人であること。

●学業・社会貢献・技術・文化・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、本学で修得した技術をもとに、将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人であること。

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

●本学の基本理念及び教育理念を十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を持つ人であること。

●あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる人であること。

●本学での学びを生かし、将来、母国あるいは国際社会において、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人であること。

■医学検査学科

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人

2. 医学検査学科の入学者に求める要件

1)知識･技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。

2)思考力･判断力･表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。

3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志と責任感を有していること。

＜参考資料:他大学の類似学科＞

都道府県	所在市	大学名	学部名	学科名	養成職種	定員
茨城県	土浦市	つくば国際大学	医療保健学部	臨床検査学科	臨床検査技師	80
群馬県	高崎市	群馬パース大学	医療技術学部	検査技術学科	臨床検査技師	60

本件に関するお問い合わせ先
国際医療福祉大学大田原キャンパス
入試広報室（担当：石田、川上）
TEL：0287-24-3200
E-mail：kouhou@iuhw.ac.jp

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

【資料11】

【高校2年生対象】国際医療福祉大学(栃木県大田原キャンパス)
「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

学校法人国際医療福祉大学では、2025年4月に臨床検査技師を養成する「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」(栃木県大田原市)の開設を計画しています。

このアンケート調査は新学科設置構想の基礎資料とするため、高校2年生の皆さんの進学に関する率直な考えをお聞きするものです。国際医療福祉大学では医療専門職の養成にあたり、文系・理系を問わず幅広く人材を求めています。P3-4 に記載の「設置の理念と養成する人材像」「国際医療福祉大学の理念と教育目標」「アドミッションポリシー」や別紙・医学検査学科リーフレットをご参照の上、ご回答ください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

なお、回答いただいた内容は統計資料として上記の目的にのみ使用します。個人が特定される形で使用することは一切ありません。

※該当する項目のチェック欄(□)をチェックしてください(☑)。
鉛筆で濃く記入するか、ボールペンや水性ペンなど黒いインクのペンを使用してください。

【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。

□ 1. 進学を検討している　　□ 2. 進学を検討していない（就職、未定など）

【質問２】以降は、**【質問１】**で「1. 進学を検討している」にチェック（☑）をつけた方のみ、お答えください。

【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか。
以下の項目から<u>あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)</u>。

□ 1. 大学(専門職大学を含む)に進学　□ 2. 短期大学(専門職短期大学を含む)に進学
□ 3. 専門学校・専修学校に進学　□ 4. その他

【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか。
次の選択肢から<u>一つだけ選択</u>してください。

□ 1. 国公立　□ 2. 私立　□ 3. 国公立および私立

【質問４】あなたが進学したい、もしくは興味のある学問分野として<u>あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)</u>。なお、現時点で「学問分野」を決めていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定して回答してください。

分　野	選択欄
1. 医学・歯学・薬学系	□
2. 保健医療系(理学療法/作業療法/言語聴覚/医学検査など)	□
3. 看護系	□
4. 医療福祉学・介護福祉学系	□
5. 社会学・社会福祉学系	□
6. 家政学系	□
7. 工学系	□
8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)	□
9. 農学系	□
10. 芸術系	□
11. 体育系	□
12. 商学・経済学系	□
13. 法学・政治学系	□
14. 教育学・保育学系	□
15. 文学・史学・哲学系	□
16. その他	□

（裏面に続く）

◆ここからは「医学検査学科（仮称）」のリーフレットおよび P3～4 に記載の情報や最終ページの「参考資料：他大学の類似学科」をご覧いただいた上で回答してください。

【質問５】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）が開設された場合、受験を希望しますか。次の選択肢から**一つだけ選択**してください。

☐ 1. 第一志望として受験したい　　☐ 2. 第二志望として受験したい
☐ 3. 第三志望以降として受験したい　　☐ 4. 受験しない

※「4. 受験しない」を選択された方は本アンケートの回答は終了です。

【質問６】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）を受験し、合格した場合の入学意向について次の選択肢から**一つだけ選択**してください。

☐ 1. 入学したい
☐ 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい
☐ 3. 入学しない
〔理由：　　〕

※「3. 入学しない」を選択された方は本アンケートの回答は終了です。

【質問７】あなたが、国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）に「入学をしたい」または「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい」と思った理由は何ですか。**あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください（複数回答可）**。

☐ 1. 興味・関心のある学問分野でめざす国家試験の受験資格の取得が可能だから
☐ 2. これからの医療分野で、ますます必要とされる健診業務に役立つ業務に取り組みたいから
☐ 3. 病気の早期発見等に重要な役割を担う検査業務に携わりたいから
☐ 4. 国際医療福祉大学のもつ理念（「共に生きる社会の実現」など）に共感できるから
☐ 5. 学べる内容やカリキュラムが良さそうだから
☐ 6. 学修サポート体制が充実してそうだから
☐ 7. 医療福祉の総合大学であり、「チーム医療・チームケア」が学べるから
☐ 8. 医療福祉の国家試験合格率ですでに高い実績を上げている大学だから
☐ 9. 就職において毎年高い実績を上げている大学だから
☐ 10. グループとして多くの医療福祉施設を運営しており、実習環境が充実しているから
☐ 11. 国際性を目指した大学であり、国際交流が活発だから
☐ 12. キャンパスの校舎・施設環境が充実していそうだから
☐ 13. 学費設定や特待奨学生制度等、学費面での負担軽減が期待できるから
☐ 14. 自宅から通学可能だから（キャンパスの立地が自分に適しているから）
☐ 15. その他

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本件に関するお問い合わせ先
国際医療福祉大学大田原キャンパス
入試広報室（担当：石田、川上）
TEL：0287-24-3200
E-mail：kouhou@iuhw.ac.jp

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

【高校２年生対象】国際医療福祉大学（栃木県大田原キャンパス）

「保健医療学部　医学検査学科（仮称）」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

＜補足情報＞

P1～2 のアンケートにご回答いただくにあたり、この学科の理念や養成したい人材像、アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）、他大学の類似学科情報を以下に記します。
別に配布しているカラーリーフレットと共に、アンケートにお答えいただく際の参考にしてください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

＜保健医療学部　医学検査学科（仮称）の設置の理念と養成する人材像＞

国際医療福祉大学 保健医療学部は、 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学 の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

その保健医療学部に新たに設置する医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身につけるとともに、高度先進医療に対応する能力ならびに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、先端の検査技術とチーム医療・チームケアに貢献できる人間性を備えた、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

＜国際医療福祉大学の理念と教育目標＞

国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という３つの基本理念と、この理念を実現するための７つの教育理念（人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営）を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行う。

＜アドミッションポリシー＞

本学は、建学の精神である「共に生きる社会の実現」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、日々進化する保健・医療・福祉分野の需要に対応できる指導的な人材の育成を実現すべく、学生、社会人、留学生、帰国生徒に対して学修の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。本学が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

＜本学が入学者に求める要件＞

1. 知識･技能

幅広い教養と視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける人。なお、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し学びを深めるために、入学までに身につけていることが望ましい内容は以下のとおりである。

【国語】物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語によるコミュニケーション能力
【地理歴史・公民】多様な文化や歴史、価値観、生活背景を持つ他者を理解するために必要な基礎知識
【数学】論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能
【理科】自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学（物理、化学、生物）に関する基礎知識
【英語】国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション能力

2. 思考力･判断力･表現力

●これからの時代の保健・医療・福祉分野を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲や課題を発見し解決する能力を有していること。

●保健・医療・福祉分野における情報科学技術の高度化、専門化及び国際化に対応するため、幅広い関心と好奇心を持って努力を継続できる人であること。

●学業・社会貢献・技術・文化・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、本学で修得した技術をもとに、将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人であること。

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

●本学の基本理念及び教育理念を十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を持つ人であること。

●あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる人であること。

●本学での学びを生かし、将来、母国あるいは国際社会において、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人であること。

■医学検査学科

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人

2. 医学検査学科の入学者に求める要件

1)知識･技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。

2)思考力･判断力･表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。

3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

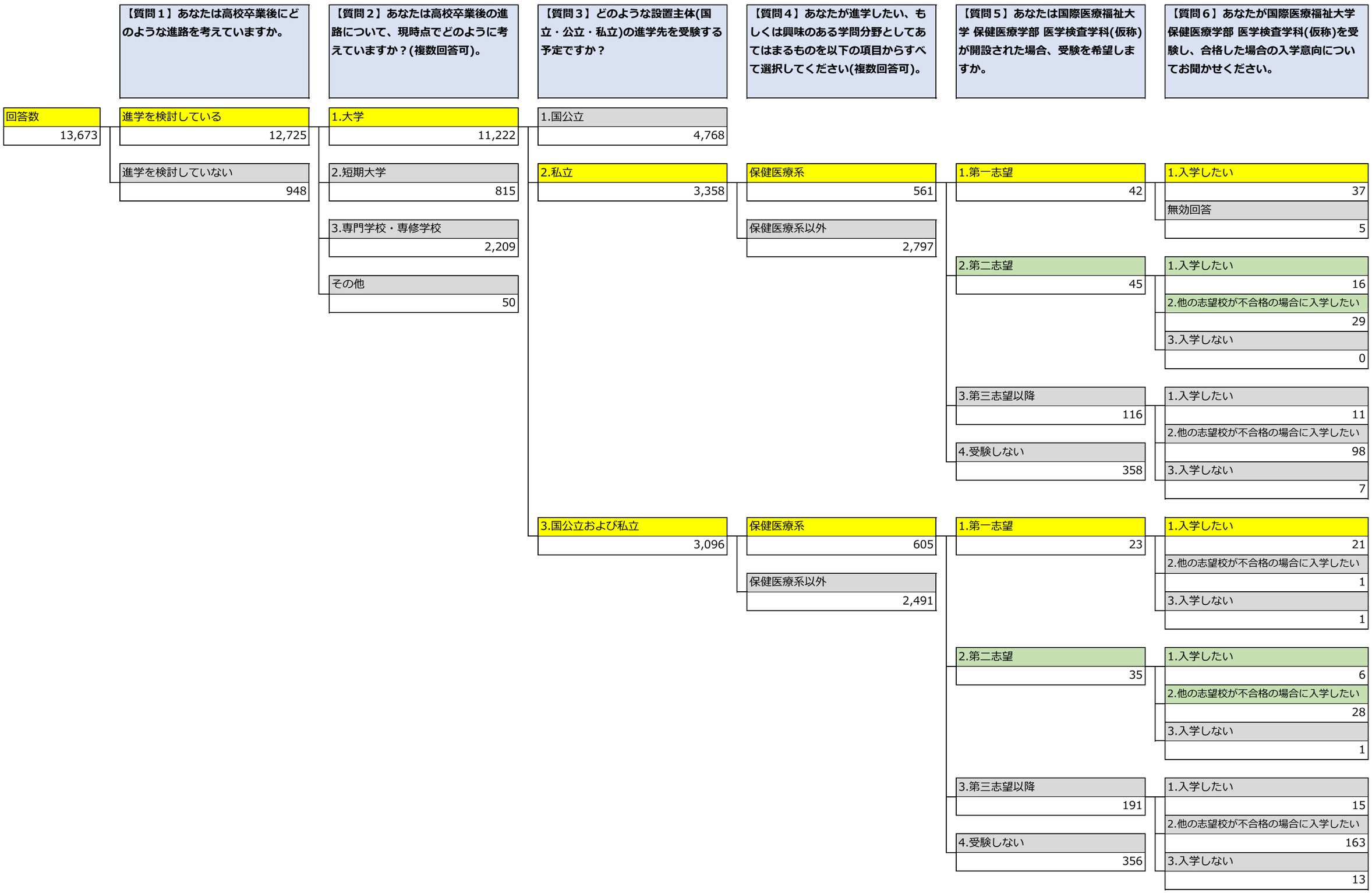
本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志と責任感を有していること。

＜参考資料:他大学の類似学科＞

都道府県	所在市	大学名	学部名	学科名	養成職種	定員
茨城県	土浦市	つくば国際大学	医療保健学部	臨床検査学科	臨床検査技師	80
群馬県	高崎市	群馬パース大学	医療技術学部	検査技術学科	臨床検査技師	60

本件に関するお問い合わせ先
国際医療福祉大学大田原キャンパス
入試広報室（担当：石田、川上）
TEL：0287-24-3200
E-mail：kouhou@iuhw.ac.jp

ｉ－１　高等学校向けアンケート（QRコード）



ｉ－２　高等学校向けアンケート（マークシート）

【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。	【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか？（複数回答可）	【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか？	【質問４】あなたが進学したい、もしくは興味のある学問分野としてあてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。	【質問５】あなたは国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。	【質問６】あなたが国際医療福祉大学保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。	件数
回答数						7,923
進学を検討している	1.大学	1.国公立				2,414
		2.私立	保健医療系	1.第一志望	1.入学したい	12
					無効回答	1
				2.第二志望	1.入学したい	8
					2.他の志望校が不合格の場合に入学したい	19
					3.入学しない	1
				3.第三志望以降	1.入学したい	4
					2.他の志望校が不合格の場合に入学したい	57
					3.入学しない	4
				4.受験しない		253
			保健医療系以外			1,534
		3.国公立および私立	保健医療系	1.第一志望	1.入学したい	6
					2.他の志望校が不合格の場合に入学したい	2
					3.入学しない	0
				2.第二志望	1.入学したい	6
					2.他の志望校が不合格の場合に入学したい	24
					3.入学しない	1
				3.第三志望以降	1.入学したい	4
					2.他の志望校が不合格の場合に入学したい	72
					3.入学しない	3
				4.受験しない		266
			保健医療系以外			1,290
		無回答				90
	2.短期大学					467
	3.専門学校・専修学校					1,485
	4.その他					69
進学を検討していない						541
無回答						300

【高校２年生対象】国際医療福祉大学（栃木県大田原キャンパス）「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

学校法人国際医療福祉大学では、２０２５年４月に臨床検査技師を養成する「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」(栃木県大田原市)の開設を計画しています。

このアンケート調査は新学科設置構想の基礎資料とするため、高校２年生の皆さんの進学に関する率直な考えをお聞きするものです。国際医療福祉大学では医療専門職の養成にあたり、文系・理系を問わず幅広く人材を求めています。配布資料中の「設置の理念と養成する人材像」「国際医療福祉大学の理念と教育目標」「アドミッションポリシー」や別紙・医学検査学科リーフレットをご参照の上、ご回答ください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

なお、回答いただいた内容は統計資料として上記の目的にのみ使用します。個人が特定される形で使用することは一切ありません。そのため、回答にあたって、皆さんのメールアドレスを自動収集していません。

ご回答いただいた方の中から抽選で100名様に、**三色ボールペン**を進呈しますので、ご希望の方は、アンケートの最後にメールアドレスをご登録ください。

※高校や他のイベントで、すでにこのアンケートにお答えいただいている場合は回答しないでください。また、このアンケートにお答えいただいた後、高校などで同じアンケートが実施された場合も、回答しないようにお願いします。

* 必須の質問です

1。　あなたは高校2年生ですか？ *

1 つだけマークしてください。

- ◯ はい
- ◯ いいえ　　質問 *15* にスキップします

2。　在籍している高校で、すでに同じアンケートにお答えいただいていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ◯ はい　　質問 *15* にスキップします
- ◯ いいえ

3。 あなたの高校はどの都道府県にありますか？ *
お選びください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 北海道
- ◯ 青森県
- ◯ 岩手県
- ◯ 宮城県
- ◯ 秋田県
- ◯ 山形県
- ◯ 福島県
- ◯ 茨城県
- ◯ 栃木県
- ◯ 群馬県
- ◯ 埼玉県
- ◯ 千葉県
- ◯ 東京都
- ◯ 神奈川県
- ◯ 新潟県
- ◯ 富山県
- ◯ 石川県
- ◯ 福井県
- ◯ 山梨県
- ◯ 長野県
- ◯ 岐阜県
- ◯ 静岡県
- ◯ 愛知県
- ◯ 三重県
- ◯ 滋賀県
- ◯ 京都府
- ◯ 大阪府
- ◯ 兵庫県
- ◯ 奈良県
- ◯ 和歌山県

- ◯ 鳥取県
- ◯ 島根県
- ◯ 岡山県
- ◯ 広島県
- ◯ 山口県
- ◯ 徳島県
- ◯ 香川県
- ◯ 愛媛県
- ◯ 高知県
- ◯ 福岡県
- ◯ 佐賀県
- ◯ 長崎県
- ◯ 熊本県
- ◯ 大分県
- ◯ 宮崎県
- ◯ 鹿児島県
- ◯ 沖縄県
- ◯ その他、海外の学校等

4。 【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。 *

1 つだけマークしてください。

- ◯ 進学を検討している
- ◯ 進学を検討していない（就職、未定など）　　質問 *15* にスキップします

5。 【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか？ *

※以下の項目から<u>あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)</u>。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1.大学(専門職大学を含む)に進学
- ☐ 2.短期大学(専門職短期大学を含む)に進学
- ☐ 3.専門学校・専修学校に進学
- ☐ その他: _____

6。 【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか？ *

※次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.国公立
- ◯ 2.私立
- ◯ 3.国公立および私立

7。 【質問４】あなたは**「保健医療系」**の学問分野に進学したいと考えているか、もしくは興味がありますか？ *

※「 **臨床検査技師** 」や、**リハビリテーション関係の職業**に興味がある人は「保健医療系」に該当します。

1 つだけマークしてください。

- ◯ ある
- ◯ ない　　質問 9 にスキップします

8。 【質問５】「保健医療系」以外で、あなたが進学したいと考えているか、もしくは興味のある学問分野がある場合は、あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。 *

※他に考えている学問分野がない場合は、「16.特になし」を選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 2. 医学・歯学・薬学系
- [ ] 3. 看護系
- [ ] 4. 医療福祉学・介護福祉学系
- [ ] 5. 社会学・社会福祉学系
- [ ] 6. 家政学系
- [ ] 7. 工学系
- [ ] 8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)
- [ ] 9. 農学系
- [ ] 10. 芸術系
- [ ] 11. 体育系
- [ ] 12. 商学・経済学系
- [ ] 13. 法学・政治学系
- [ ] 14. 教育学・保育学系
- [ ] 15. 文学・史学・哲学系
- [ ] 16.特になし
- [ ] その他: _____

質問 *10* にスキップします

9。 【質問５】あなたが進学したいと考えているか、もしくは興味のある学問分野として、あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。 *
なお、現時点で「学問分野」を決めていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定して回答してください。

※興味がある分野を全て選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 1. 保健医療系(理学療法/作業療法/言語聴覚/医学検査など)
- [ ] 2. 医学・歯学・薬学系
- [ ] 3. 看護系
- [ ] 4. 医療福祉学・介護福祉学系
- [ ] 5. 社会学・社会福祉学系
- [ ] 6. 家政学系
- [ ] 7. 工学系
- [ ] 8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)
- [ ] 9. 農学系
- [ ] 10. 芸術系
- [ ] 11. 体育系
- [ ] 12. 商学・経済学系
- [ ] 13. 法学・政治学系
- [ ] 14. 教育学・保育学系
- [ ] 15. 文学・史学・哲学系
- [ ] その他: _____

ここからは「医学検査学科（仮称）」のリーフレット、およびこの学科の補足情報をご覧いただいた上で、回答してください。
※上記リンクからご覧いただけます。

10。 【質問６】あなたは国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.第一志望として受験したい
- ◯ 2.第二志望として受験したい　　質問 *12* にスキップします
- ◯ 3.第三志望以降として受験したい　　質問 *12* にスキップします
- ◯ 4.受験しない　　質問 *15* にスキップします

11。 【質問７】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.入学したい　　質問 *13* にスキップします
- ◯ 2.入学しない　　質問 *14* にスキップします

12。 【質問７】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.入学したい
- ◯ 2.志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい
- ◯ 3.入学しない　　質問 *14* にスキップします

最後の質問です。

13。 【質問８】あなたが、国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)に「入学したい」または「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい」と思った理由は何ですか。 *

※ あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 1.興味・関心のある学問分野でめざす国家試験の受験資格の取得が可能だから
- [ ] 2.これからの医療分野で、ますます必要とされる健診業務に役立つ業務に取り組みたいから
- [ ] 3.病気の早期発見等に重要な役割を担う検査業務に携わりたいから
- [ ] 4.国際医療福祉大学のもつ理念(「共に生きる社会の実現」など)に共感できるから
- [ ] 5.学べる内容やカリキュラムが良さそうだから
- [ ] 6.学修サポート体制が充実してそうだから
- [ ] 7.医療福祉の総合大学であり、「チーム医療・チームケア」が学べるから
- [ ] 8.医療福祉の国家試験合格率ですでに高い実績を上げている大学だから
- [ ] 9.就職において毎年高い実績を上げている大学だから
- [ ] 10.グループとして多くの医療福祉施設を運営しており、実習環境が充実しているから
- [ ] 11.国際性を目指した大学であり、国際交流が活発だから
- [ ] 12.キャンパスの校舎・施設環境が充実していそうだから
- [ ] 13.学費設定や特待奨学生制度等、学費面での負担軽減が期待できるから
- [ ] 14.自宅から通学可能だから(キャンパスの立地が自分に適しているから)
- [ ] その他: _____

質問 *15* にスキップします

14。 「入学しない」理由をお聞かせください。 *

_____

_____

_____

_____

_____

卒業後の進路に関する質問は以上で終了です。

ご回答いただいた方の中から抽選で100名様に、**三色ボールペン**を進呈しています。
ご希望の方は、以下にメールアドレスを記入してください。

15。 ※当選した場合、このメールアドレスに送付宛先をお聞きするメールをお送りします。

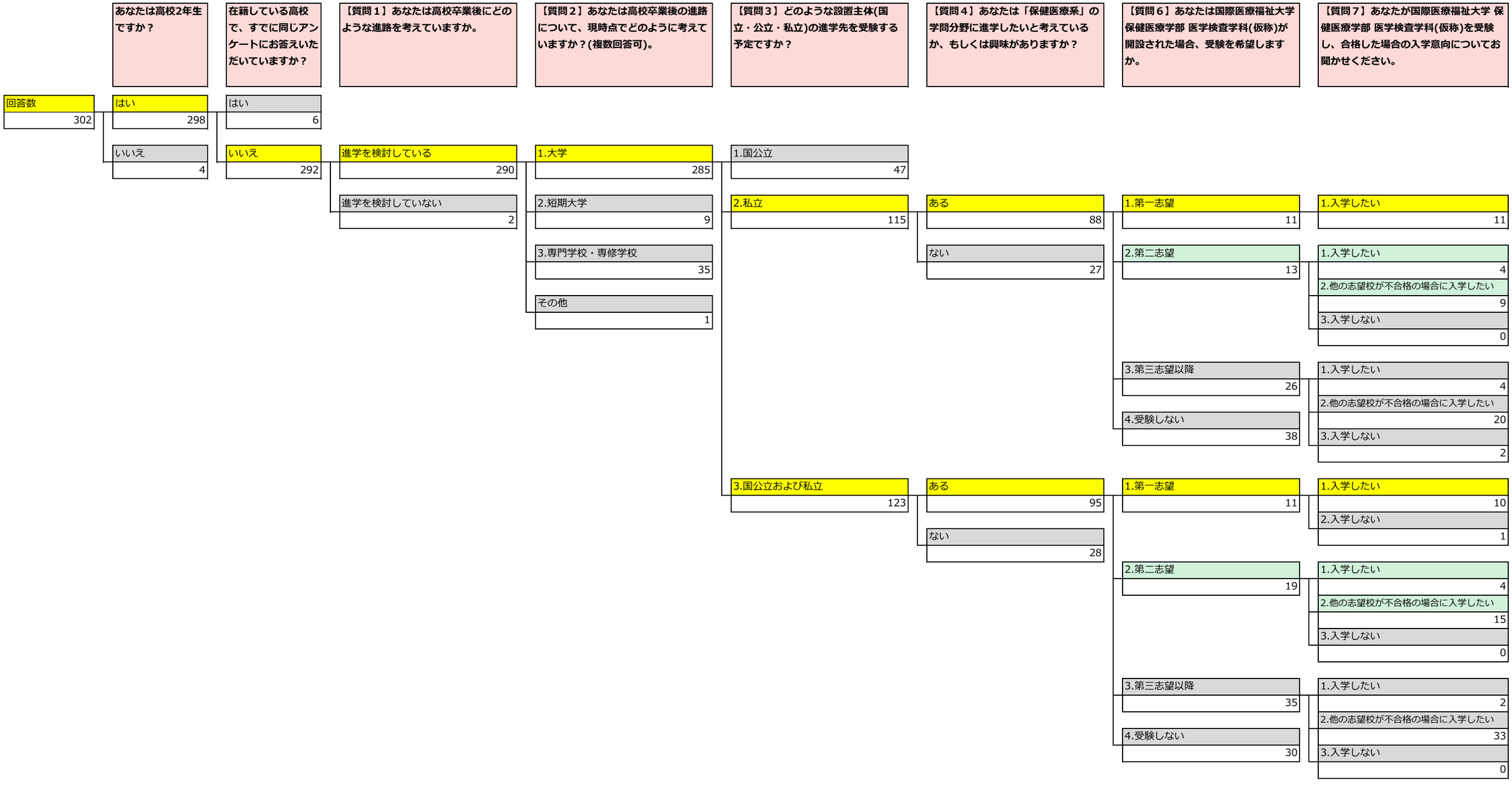
_____

最後に下の送信ボタンをクリックしてください。
ご回答、どうもありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

ii　学生募集イベント参加者及び資料請求者など医学検査学科に関心がある者に対するメールアンケート



国際医療福祉大学（栃木県大田原キャンパス）「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」開設計画に係る卒業後の進路に関するアンケート

学校法人国際医療福祉大学では、２０２５年４月に臨床検査技師を養成する「保健医療学部　医学検査学科(仮称)」(栃木県大田原市)の開設を計画しています。

このアンケート調査は新学科設置構想の基礎資料とするため、高校２年生の皆さんの進学に関する率直な考えをお聞きするものです。国際医療福祉大学では医療専門職の養成にあたり、文系・理系を問わず幅広く人材を求めています。配布資料中の「設置の理念と養成する人材像」「国際医療福祉大学の理念と教育目標」「アドミッションポリシー」や別紙・医学検査学科リーフレットをご参照の上、ご回答ください。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

なお、回答いただいた内容は統計資料として上記の目的にのみ使用します。個人が特定される形で使用することは一切ありません。そのため、回答にあたって、皆さんのメールアドレスを自動収集していません。

ご回答いただいた方全員に、**４色ボールペン**を進呈しますので、ご希望の方は、アンケートの最後にメールアドレスをご登録ください。

※このアンケートにお答えいただいた後、高校などで同じアンケートが実施された場合は、回答しないようにお願いします。

* 必須の質問です

1。　あなたは高校2年生ですか？ *

1 つだけマークしてください。

- ◯ はい
- ◯ いいえ　　質問 *15* にスキップします

2。　在籍している高校で、すでに同じアンケートにお答えいただいていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ◯ はい　　質問 *15* にスキップします
- ◯ いいえ

3。 あなたの高校はどの都道府県にありますか？ *
お選びください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 北海道
- ◯ 青森県
- ◯ 岩手県
- ◯ 宮城県
- ◯ 秋田県
- ◯ 山形県
- ◯ 福島県
- ◯ 茨城県
- ◯ 栃木県
- ◯ 群馬県
- ◯ 埼玉県
- ◯ 千葉県
- ◯ 東京都
- ◯ 神奈川県
- ◯ 新潟県
- ◯ 富山県
- ◯ 石川県
- ◯ 福井県
- ◯ 山梨県
- ◯ 長野県
- ◯ 岐阜県
- ◯ 静岡県
- ◯ 愛知県
- ◯ 三重県
- ◯ 滋賀県
- ◯ 京都府
- ◯ 大阪府
- ◯ 兵庫県
- ◯ 奈良県
- ◯ 和歌山県

- [ ] 鳥取県
- [ ] 島根県
- [ ] 岡山県
- [ ] 広島県
- [ ] 山口県
- [ ] 徳島県
- [ ] 香川県
- [ ] 愛媛県
- [ ] 高知県
- [ ] 福岡県
- [ ] 佐賀県
- [ ] 長崎県
- [ ] 熊本県
- [ ] 大分県
- [ ] 宮崎県
- [ ] 鹿児島県
- [ ] 沖縄県
- [ ] その他、海外の学校等

4。 【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。 *

1 つだけマークしてください。

- [ ] 進学を検討している
- [ ] 進学を検討していない（就職、未定など）　　質問 *15* にスキップします

5。 【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか？ *

※以下の項目からあてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 1.大学(専門職大学を含む)に進学
- [ ] 2.短期大学(専門職短期大学を含む)に進学
- [ ] 3.専門学校・専修学校に進学
- [ ] その他: _____

6。 【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか？ *

※次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.国公立
- ◯ 2.私立
- ◯ 3.国公立および私立

7。 【質問４】あなたは**「保健医療系」**の学問分野に進学したいと考えているか、もしくは興味がありますか？ *

※「 **臨床検査技師** 」や、**リハビリテーション関係の職業**に興味がある人は「保健医療系」に該当します。

1 つだけマークしてください。

- ◯ ある
- ◯ ない　　質問 9 にスキップします

8。 【質問５】「保健医療系」以外で、あなたが進学したいと考えているか、もしくは興味のある学問分野がある場合は、あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。 *

※他に考えている学問分野がない場合は、「16.特になし」を選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 2. 医学・歯学・薬学系
- [ ] 3. 看護系
- [ ] 4. 医療福祉学・介護福祉学系
- [ ] 5. 社会学・社会福祉学系
- [ ] 6. 家政学系
- [ ] 7. 工学系
- [ ] 8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)
- [ ] 9. 農学系
- [ ] 10. 芸術系
- [ ] 11. 体育系
- [ ] 12. 商学・経済学系
- [ ] 13. 法学・政治学系
- [ ] 14. 教育学・保育学系
- [ ] 15. 文学・史学・哲学系
- [ ] 16.特になし
- [ ] その他: _____

質問 *10* にスキップします

9。 【質問５】あなたが進学したいと考えているか、もしくは興味のある学問分野として、あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。 *
なお、現時点で「学問分野」を決めていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定して回答してください。

※興味がある分野を全て選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 1. 保健医療系(理学療法/作業療法/言語聴覚/医学検査など)
- [ ] 2. 医学・歯学・薬学系
- [ ] 3. 看護系
- [ ] 4. 医療福祉学・介護福祉学系
- [ ] 5. 社会学・社会福祉学系
- [ ] 6. 家政学系
- [ ] 7. 工学系
- [ ] 8. 理学系(数学・物理・化学・生物・地学)
- [ ] 9. 農学系
- [ ] 10. 芸術系
- [ ] 11. 体育系
- [ ] 12. 商学・経済学系
- [ ] 13. 法学・政治学系
- [ ] 14. 教育学・保育学系
- [ ] 15. 文学・史学・哲学系
- [ ] その他: _____

ここからは「医学検査学科（仮称）」のリーフレット、およびこの学科の補足情報をご覧いただいた上で、回答してください。
※上記リンクからご覧いただけます。

10。 【質問６】あなたは国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1.第一志望として受験したい
- ◯ 2.第二志望として受験したい　　質問 *12* にスキップします
- ◯ 3.第三志望以降として受験したい　　質問 *12* にスキップします
- ◯ 4.受験しない　　質問 *15* にスキップします

11。 【質問７】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 1.入学したい　　質問 *13* にスキップします
- 2.入学しない　　質問 *14* にスキップします

12。 【質問７】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。 *

※ 次の選択肢から一つだけ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 1.入学したい
- 2.志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい
- 3.入学しない　　質問 *14* にスキップします

最後の質問です。

13。 【質問８】あなたが、国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)に「入学したい」または「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したい」と思った理由は何ですか。 *

※ あてはまるものを以下の項目からすべて選択してください(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 1.興味・関心のある学問分野でめざす国家試験の受験資格の取得が可能だから
- [ ] 2.これからの医療分野で、ますます必要とされる健診業務に役立つ業務に取り組みたいから
- [ ] 3.病気の早期発見等に重要な役割を担う検査業務に携わりたいから
- [ ] 4.国際医療福祉大学のもつ理念(「共に生きる社会の実現」など)に共感できるから
- [ ] 5.学べる内容やカリキュラムが良さそうだから
- [ ] 6.学修サポート体制が充実してそうだから
- [ ] 7.医療福祉の総合大学であり、「チーム医療・チームケア」が学べるから
- [ ] 8.医療福祉の国家試験合格率ですでに高い実績を上げている大学だから
- [ ] 9.就職において毎年高い実績を上げている大学だから
- [ ] 10.グループとして多くの医療福祉施設を運営しており、実習環境が充実しているから
- [ ] 11.国際性を目指した大学であり、国際交流が活発だから
- [ ] 12.キャンパスの校舎・施設環境が充実していそうだから
- [ ] 13.学費設定や特待奨学生制度等、学費面での負担軽減が期待できるから
- [ ] 14.自宅から通学可能だから(キャンパスの立地が自分に適しているから)
- [ ] その他: _____

質問 *15* にスキップします

14。 「入学しない」理由をお聞かせください。 *

_____

_____

_____

_____

_____

卒業後の進路に関する質問は以上で終了です。

ご回答いただいた方の中から抽選で100名様に、**三色ボールペン**を進呈しています。
ご希望の方は、以下にメールアドレスを記入してください。

15。 ※当選した場合、このメールアドレスに送付宛先をお聞きするメールをお送りします。

_____

最後に下の送信ボタンをクリックしてください。
ご回答、どうもありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

iii　オンライン説明会参加者向けアンケート

回答数	あなたは高校2年生ですか？	在籍している高校で、すでに同じアンケートにお答えいただいていますか？	【質問１】あなたは高校卒業後にどのような進路を考えていますか。	【質問２】あなたは高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか？(複数回答可)。	【質問３】どのような設置主体(国立・公立・私立)の進学先を受験する予定ですか？	【質問４】あなたは「保健医療系」の学問分野に進学したいと考えているか、もしくは興味がありますか？	【質問６】あなたは国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。	【質問７】あなたが国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向についてお聞かせください。
18	はい 18	はい 3						
	いいえ 0	いいえ 15	進学を検討している 15	1.大学 15	1.国公立 3			
			進学を検討していない 0	2.短期大学 1	2.私立 7	ある 7	1.第一志望 4	1.入学したい 4
				3.専門学校・専修学校 1		ない 0	2.第二志望 3	1.入学したい 1
				その他 0				2.他の志望校が不合格の場合に入学したい 2
							3.第三志望以降 0	3.入学しない 0
							4.受験しない 0	
					3.国公立および私立 5	ある 5	1.第一志望 1	1.入学したい 1
						ない 0	2.第二志望 2	1.入学したい 0
								2.他の志望校が不合格の場合に入学したい 2
								3.入学しない 0
							3.第三志望以降 2	1.入学したい 0
								2.他の志望校が不合格の場合に入学したい 2
							4.受験しない 0	3.入学しない 0

2023 年 11 月吉日

関係施設長　　様
採用御担当者　様

【資料18】

国際医療福祉大学
学長　鈴木　康裕
（公印省略）

国際医療福祉大学　新設「保健医療学部 医学検査学科(仮称)」開設計画に係る
人材需要に関するアンケートの実施について（ご依頼）

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本学の教育にご理解賜り、厚く御礼申し上げます。

現在本学では 2025 年 4 月栃木県大田原市の大田原キャンパスに「保健医療学部 医学検査学科(仮称)」を開設する準備を進めています。

つきましては文部科学省の新設学科設置に関する手引きに則り、人材需要に関するアンケートを実施させていただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

本学は医療福祉専門職の養成とその地位向上を志し 1995 年に開学した医療福祉の総合大学です。建学の精神である『共に生きる社会』を実現するべく医療福祉の各分野で指導者となりうる人材育成をめざし邁進してまいりました。現在 5 キャンパスに 10 学部 26 学科を有し、大学院生を含めると約 1 万人の学生が学び、これまでに卒業生として輩出した 3 万人超の医療人は国内外で幅広く活躍しています。

臨床検査技師教育については病気の早期発見、正確な診断に不可欠な臨床検査技師を養成・輩出するため 2005 年に福岡県大川市に「医学検査学科」を、2016 年には千葉県成田市にも「医学検査学科」を開設し、チーム医療・チームケアの一員として「高い検査技術と研究能力を持ち、高度先進医療を支える次世代の臨床検査技師」の養成に尽力してきました。

3 つ目の医学検査学科ができる大田原キャンパスは 3 学部 8 学科を有し、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、放射線･情報科学科、視機能療法学科、医療福祉・マネジメント学科、薬学科に合わせて約 4,000 名の学生が学んでいます。

本学がこれまでに先行する 2 つの医学検査学科で培ってきた教育手法やカリキュラムに加え、関東地区の豊富な本学関連施設を活用することで、栃木県大田原市の新たな医学検査学科では「東日本全域の臨床検査技師養成拠点」となることを目標としています。

別添の要領をご確認いただき、アンケート回答についてご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本アンケートにつきましては、集計結果の公表を予定しております。

敬　具

■アンケートの回答方法:以下①か②のいずれかの方法で 12/25 までにご回答ください。

①URL または QR コードにアクセスし、アンケートにご回答ください。

※本学大田原キャンパスホームページ「トピックス」からも本アンケートにご回答いただく事ができます。

※回答にはパスワードが必要です。⇒【パスワード：iuhw3000】

≪URL≫	≪QR コード≫
https://forms.gle/jwksV7B1qpvUqRTW8	

②同封いたしますアンケート用紙に回答をご記入いただき、下記の宛先まで FAX でお送りください。

本件に関するお問い合わせ先
国際医療福祉大学　大田原キャンパス学生課（担当：和久井、半田）
TEL：0287-24-3003／FAX:0287-24-3140／E-mail：shuushoku@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（仮称）開設計画に係る 人材需要に関するアンケート

学校法人国際医療福祉大学では、2025年4月に臨床検査技師を養成する「保健医療学部 医学検査学科（仮称）」（栃木県大田原市）の開設を計画しています。 このアンケート調査は新学科設置構想の基礎資料とするため、各施設様の人材需要に関する率直な考えをお聞きするものです。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

なお、回答いただいた内容は統計資料として上記の目的にのみ使用します。各施設様が特定される形で使用することは一切ありません。

質問１　貴施設・貴機関の所在地をお答えください。

①栃木県、②茨城県、③群馬県、④埼玉県、⑤千葉県、⑥東京都、⑦神奈川県、⑧青森県、⑨秋田県、⑩岩手県、⑪山形県、⑫宮城県、⑬福島県

質問２　貴施設・貴機関の主たる事業種別をお答えください。

①病院・診療所、②社会福祉施設、③臨床検査センター、④検診センター、⑤保健所、⑥地方自治体、⑦一般企業、⑧その他（自由記載）

質問３　貴施設・貴機関に在籍されている臨床検査技師の人数をお答えください。

①０人、②１人～５人、③６人～10人、④11人～15人、⑤16人～20人、⑥21人～25人、⑦26人～30人、⑧31人以上

質問４　貴施設・貴機関における臨床検査技師の充足状況についてお答えください。

①大きく不足している、②やや不足している、③適度に充足している、④過剰である、⑤わからない

質問５　貴施設・貴機関が過去５年間に採用した臨床検査技師の平均人数をお答えください。

①０人、②１人、③２人、④３人、⑤４人、⑥５人以上

質問６　貴施設・貴機関が今後５年間に採用を予定する臨床検査技師の平均人数をお答えください。

①０人、②１人、③２人、④３人、⑤４人、⑥５人以上

質問７　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」が育成する人材は、社会的ニーズが高いと思われますか。

①ニーズは極めて高い、②ニーズはある程度高い、③ニーズは高くない

④どちらともいえない

質問８　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」を卒業した臨床検査技師を採用したいと思われますか。

①採用したい、②採用を検討したい、③採用しない、④わからない

質問９　質問８で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答された方は、採用可能と思われる人数をお答えください。

①１人、②２人、③３人以上

質問10　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」について臨床検査技師に加えて取得を期待される資格をお答えください。（複数回答可）

①細胞検査士、②遺伝子分析科学認定士、③医用質量分析認定士、

④胚培養士、⑤食品衛生管理者、⑥食品衛生監視員、⑦健康食品管理士、

⑧その他（自由記載）

質問11　新卒生を採用する際に、求める能力のうち優先度の高いものを３つお答えください。

①主体性（進んで物事に取り組む力）

②協調性（協働するためのコミュニケーション力）

③責任感（自覚と責任ある態度・行動力）

④影響力（他人に働きかけ巻き込む力）

⑤実行力（目標を設定し行動する力）

⑥課題発見力（現状を分析し、課題を明確にする力）

⑦計画力（課題解決のためのプロセスを明らかにし、準備する力）
⑧創造力（新しい価値を生み出す力）
⑨発信力（意見を分かり易く伝える力）
⑩傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
⑪柔軟性（機転を効かせて行動や分析などをする力）
⑫規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
⑬その他（自由記載）

質問12　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」に対して、ご意見やご要望などがありましたらご自由にお書きください。

保健医療学部医学検査学科が養成する人材の需要に関するアンケート

質問１　貴施設・貴機関の所在地をお答えください。

回答	回答数	割合
栃木県	46	13.9%
茨城県	30	9.1%
群馬県	16	4.8%
埼玉県	31	9.4%
千葉県	38	11.5%
東京都	39	11.8%
神奈川県	43	13.0%
青森県	9	2.7%
秋田県	7	2.1%
岩手県	9	2.7%
山形県	17	5.1%
宮城県	16	4.8%
福島県	28	8.5%
合計	329	100.0%

質問２　貴施設・貴機関の主たる事業種別をお答えください。

回答	回答数	割合
病院・診療所	265	80.5%
社会福祉施設	2	0.6%
臨床検査センター	7	2.1%
検診センター	13	3.9%
保健所	0	0.0%
地方自治体	28	8.5%
一般企業	6	1.8%
その他	8	2.4%
合計	329	100.0%

質問３　貴施設・貴機関に在籍されている臨床検査技師の人数をお答えください。

回答	回答数	割合
０人	55	16.7%
１人～５人	79	24.0%
６人～10人	56	17.0%
11人～15人	20	6.0%
16人～20人	20	6.0%
21人～25人	19	5.7%
26人～30人	17	5.1%
31人以上	63	19.1%
合計	329	100.0%

質問４　貴施設・貴機関における臨床検査技師の充足状況についてお答えください。

回答	回答数	割合
大きく不足している	25	7.5%
やや不足している	117	35.5%
適度に充足している	138	41.9%
過剰である	4	1.2%
わからない	45	13.6%
合計	329	100.0%

質問５　貴施設・貴機関が過去５年間に採用した臨床検査技師の平均人数をお答えください。

回答	回答数	割合
０人	80	24.3%
１人	82	24.9%
２人	56	17.0%
３人	35	10.6%
４人	13	3.9%
５人以上	63	19.1%
合計	329	100.0%

質問６　貴施設・貴機関が今後５年間に採用を予定する臨床検査技師の平均人数をお答えください。

回答	回答数	割合
０人	98	29.7%
１人	91	27.6%
２人	51	15.5%
３人	35	10.6%
４人	10	3.0%
５人以上	44	13.3%
合計	329	100.0%

質問７　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」が育成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。

回答	回答数	割合
ニーズは極めて高い	91	27.6%
ニーズはある程度高い	159	48.3%
ニーズは高くない	13	3.9%
どちらともいえない	66	20.0%
合計	329	100.0%

質問８　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」を卒業した臨床検査技師を採用したいと思われますか。

回答	回答数	割合
採用したい	93	28.2%
採用を検討したい	115	34.9%
採用しない	34	10.3%
わからない	87	26.4%
合計	329	100.0%

質問９　質問８で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答された方は採用可能と思われる人数をお答えください。

回答	回答数	実人数	割合
１人	122	122	58.6%
２人	39	78	18.7%
３人以上	40	120	19.2%
未定	7		3.3%
合計	208	320	100.0%

採用したい

回答	回答数	実人数	割合
１人	37	37	39.7%
２人	22	44	23.6%
３人以上	32	96	34.4%
未定	2		2.1%
合計	93	177	100.0%

採用を検討したい

回答	回答数	実人数	割合
１人	85	85	73.9%
２人	17	34	14.7%
３人以上	8	24	6.9%
未定	5		4.3%
合計	115	143	100.0%

質問10　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」について臨床検査技師に加えて取得を期待される資格をお答えください。（複数回答可）

回答	回答数	割合
細胞検査士	192	58.3%
遺伝子分析科学認定士	76	23.1%
医用質量分析認定士	45	13.6%
胚培養士	33	10.0%
食品衛生管理者	35	10.6%
食品衛生監視員	15	4.5%
健康食品管理士	18	5.4%
その他	19	5.7%
特になし	76	23.1%

※割合はアンケート回答した329事業者に占める割合

質問11　新卒生を採用する際に求める能力のうち優先度の高いものを３つお答えください。

回答	回答数	割合
主体性	187	56.8%
協調性	293	89.0%
責任感	183	55.6%
影響力	4	1.2%
実行力	48	14.5%
課題発見力	20	6.0%
計画力	17	5.1%
創造力	6	1.8%
発信力	10	3.0%
傾聴力	50	15.1%
柔軟性	69	20.9%
規律性	95	28.8%
その他	4	1.2%
特になし	1	0.3%

※割合はアンケート回答した329事業者に占める割合

質問12　国際医療福祉大学が設置構想中の「保健医療学部医学検査学科（仮称）」に対してご意見やご要望などがありましたらご自由にお書きください。

省略

【資料21】

栃臨技発第２２号
令和６年２月１４日

学校法人　国際医療福祉大学
理事長　高木　邦格　様

一般社団法人　栃木県臨床検査技師会
会長　内田 雄二

国際医療福祉大学医学検査学科新設について（要望）

日頃より栃木県臨床検査技師会の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、貴学は医療福祉専門職の育成とその地位向上を志し、平成７年度に日本初の医療福祉の総合大学として開設されました。

現在では、栃木県内の大田原キャンパスだけでも保健医療学部及び医療福祉学部、薬学部合わせて3,790名の学生が学ぶキャンパスとなり、さまざまな学修・研究施設の整備に加え、キャンパス内に６つの医療福祉施設を併設するなど教育環境の充実に努め、数多くの医療従事者を栃木県内に輩出されているものと承知しております。

そのような中、今般、貴学におかれましては、大田原キャンパスに栃木県初となる４年制大学臨床検査技師養成学科を令和７年度に新設する構想があると伺いました。

臨床検査技師養成学科の新設により、本会に所属する会員の資質向上につながるだけでなく、この地域における安定的な臨床検査技師の養成等、臨床検査技師を取り巻く様々な課題解決に貢献していただけるものと大いに期待しております。

つきましては、是非とも大田原市での臨床検査技師養成学科新設を実現くださるよう、強く要望いたします。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	スズキ　ヤスヒロ 鈴木　康裕 ＜令和4年4月＞		博士 (医学)		国際医療福祉大学　学長 （令和4.4～令和7.3）

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（保健医療学部医学検査学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職（就任年月）	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
1	基 （主専）	教授 （学科長）	フジマキ　シンイチ 藤巻　慎一 ＜令和7年4月＞		博士 （医学） 博士 （情報科学）		関連職種連携論	○	2後	2	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科開設準備委員会 教授 （令6.4）	○	○	○	学科会	5日	
							生化学実習	○	1後	1	1							
							血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	○	2前	2	1							
							血液検査学実習	○	3前	2	1							
							臨床化学検査学実習	○	2後	2	1							
							医療安全管理学演習	○	2後	2	1							
							臨地実習	○	3後	11	1							
							卒業研究	○	4前	4	1							
							臨床検査研究論	○	3前	2	1							
							臨床検査管理総論	○	1前	2	1							
							客観的臨床能力試験	○	3後	1	1							
2	基 （主専）	教授	オサダ　マコト 長田　誠 ＜令和7年4月＞		博士 （医学）		遺伝学	○	1前	1	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科開設準備委員会 教授 （令6.4）	○	○	○	学科会	5日	
							医用工学・情報概論	○	1前	2	1							
							医用工学・情報実習	○	1後	1	1							
							遺伝子検査学	○	1後	2	1							
							遺伝子検査学実習	○	2前	1	1							
							超音波・MRI検査学	○	2後	2	1							
							超音波・MRI検査学実習	○	2後	1	1							
							臨地実習	○	3後	11	1							
							卒業研究	○	4前	4	1							
							医科分子生物学		1・2・3後	1	1							
							客観的臨床能力試験	○	3後	1	1							
							遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	○	3後	1	1							
							遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	○	4前	1	1							
3	基 （主専）	教授	クボタ　ノリコ 久保田　紀子 ＜令和7年4月＞		博士 （工学）		関連職種連携実習	○	4前	1	1	長野県立こども病院 臨床検査科科長 （平5.4）			○	学科会	5日	
							微生物検査学実習	○	3前	2	1							
							医療安全管理学演習	○	2後	2	1							
							精度管理学	○	3前	1	1							
							臨床検査特論Ⅰ（応用）	○	3後	2	1							
							臨地実習	○	3後	11	1							
							卒業研究	○	4前	4	1							
							臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	○	3前	1	1							
							臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	○	4前	2	1							
							客観的臨床能力試験	○	3後	1	1							
							臨床検査質量分析学演習	○	4前	1	1							

4	基 (主専)	教授	ナカザト　ヨシマサ 中里　宜正 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		病理学 病理検査学 病理検査学実習 細胞診断学実習 臨地実習 卒業研究 入門細胞診断学演習 細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎） 細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎） 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1後 2前 3前 2後 3後 4前 1後 2前 2後 3前 3後	2 2 2 1 11 4 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学病院 教授 (令4.12)			○	学科会	5日	
5	基 (主専)	准教授	アオキ　ユウジ 青木　裕志 ＜令和8年4月＞		修士 (危機管理学)		組織学演習 病理検査学実習 細胞診断学実習 臨地実習 卒業研究 客観的臨床能力試験 細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎） 細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎） 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 3前 2後 3後 4前 3後 2前 2後 3前 3後	1 2 1 11 4 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	順天堂大学 大学院 課長補佐 (平元.4)			○	学科会	5日	
6	基 (主専)	准教授	オカヤマ(タナカ) カオリ 岡山(田中) 香里 ＜令和7年4月＞		博士 (保健学)		組織学演習 病理検査学実習 細胞診断学 細胞診断学実習 臨地実習 卒業研究 客観的臨床能力試験 入門細胞診断学演習 細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎） 細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎） 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 3前 2前 2後 3後 4前 3後 1後 2前 2後 3前 3後	1 2 1 1 11 4 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	群馬パース大学 保健科学部 准教授 (平28.4)			○	学科会	5日	
7	基 (主専)	准教授	モリ　コウタロウ 森　幸太郎 ＜令和8年4月＞		博士 (医学)		遺伝子検査学実習 微生物検査学Ⅰ（細菌） 微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌） 微生物検査学実習 免疫検査学実習 臨地実習 卒業研究 客観的臨床能力試験 遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎） 遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 2前 2後 3前 2後 3後 4前 3後 3後 4前	1 2 2 2 1 11 4 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国立国際医療研究センター ゲノム医療研究推進室長 (令2.8)			○	学科会	5日	

8	基 (主専)	准教授	ヤマザキ　マドカ 山﨑　まどか ＜令和8年4月＞		博士 (保健学)		海外保健福祉事情 検査機器学・情報システム学総論 生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系） 生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能） 生理検査学実習 先進臨床検査技術学 臨床検査特論Ⅱ（発展） 臨地実習 卒業研究 客観的臨床能力試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 2前 2前 2後 3前 3前 4前 3後 4前 3後	2 2 2 2 3 2 4 11 4 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	高知学園大学 健康科学部 准教授 (令6.4)			○	学科会	5日	
9	基 (主専)	講師	オガサワラ　アツシ 小笠原　篤 ＜令和7年4月＞		博士 (医療科学)		関連職種連携ワーク 血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用） 血液検査学実習 一般検査学 一般検査学実習 微生物検査学実習 免疫検査学 免疫検査学実習 臨地実習 卒業研究 臨床検査基礎演習 客観的臨床能力試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3前 2後 3前 1後 2前 3前 2前 2後 3後 4前 1後 3後	1 2 2 2 1 2 1 1 11 4 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	静岡医療科学専門大学校 副学科長 (令2.4)			○	学科会	5日	
10	基 (主専)	助教	ホソダ　ヒロキ 細田　裕貴 ＜令和7年4月＞		修士 (医科学)		組織学演習 生化学実習 医用工学・情報実習 一般検査学実習 臨床化学検査学実習 遺伝子検査学実習 医動物学演習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理検査学実習 超音波・MRI検査学実習 医療安全管理学演習 臨地実習 臨床検査基礎演習 遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎） 遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 1後 1後 2前 2後 2前 2前 2後 3前 3前 2後 2後 3後 1後 3後 4前	1 1 1 1 2 1 1 1 2 3 1 2 11 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	豊仁会 三井病院 臨床検査技師 (平30.4)			○	学科会	5日	

11	基 (主専)	助教	オクダ　リョウ 奥田　亮 ＜令和7年4月＞		修士 (保健医療科学)		病理検査学実習 細胞診断学実習 血液検査学実習 微生物検査学実習 臨地実習 入門細胞診断学演習 細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎） 細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎） 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用） 臨床検査質量分析学演習 生殖補助医療胚培養学演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3前 2後 3前 3前 3後 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4前	2 1 2 2 11 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学病院 臨床検査技師 (平28.4)			○	学科会	5日	
12	その他	教授 (学部長)	ニイダ　タカヒロ 新井田　孝裕 ＜令和7年4月＞		医学博士		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報- 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- 関連職種連携実習	○ ○ ○ ○	1後 1後 1前 4前	1 1 1 1	1 1 1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 教授 (平14.4)	○		○	学科会 学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 「基（主専）」
13	その他	教授	イイジマ　ノリオ 飯島　典生 ＜令和7年4月＞		博士 (理学)		解剖学Ⅰ（総論） 解剖学Ⅱ（各論）	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 教授 (平29.4)		○				国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 「基（主専）」
14	その他	教授	イケダ　シュンヤ 池田　俊也 ＜令和8年4月＞		博士 (医学)		リスクマネジメント論		2後	2	1	国際医療福祉大学 大学院 教授 (平30.4)						
15	その他	教授	イケマツ　ミネオ 池松　峰男 ＜令和7年4月＞		修士 (英語学)		英語医療通訳入門１（Primary） 英語医療通訳入門２（Basic） 英語講読１（Primary） 英語講読２（Basic） 英語ＣＡＬＬ１（Primary） 英語ＣＡＬＬ２（Basic） 英語リスニング１（Primary） 英語リスニング２（Basic）	 ○ ○ ○ ○ 	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 教授 (令4.4)	○	○	○	学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
16	その他	教授	イシイ　シンイチロウ 石井　慎一郎 ＜令和7年4月＞		博士 (保健医療学)		人間工学 福祉支援工学概論		1・2・3・4後 1・2前	2 2	1 1	国際医療福祉大学 大学院 教授 (平30.4)						

17	その他	教授	ウラノ　トモヒコ 浦野　友彦 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		老年学	○	1前	1	1	国際医療福祉大学 医学部 医学科 教授 (平29.2)	○					国際医療福祉大学 医学部 医学科 「基（主専）」
18	その他	教授	カトウ　ナオコ 加藤　尚子 ＜令和7年4月＞		博士 (ﾋｭｰﾏﾝ・ｹｱ科学)		文化人類学 医療管理学		1・2・3・4前 1・2前	2 2	1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 教授 (平10.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
19	その他	教授	クボ　アキラ 久保　晃 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		健康科学理論		1・2・3・4後	1	1	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科 教授 (令5.4)	○		○	学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科 「基（主専）」
20	その他	教授	ゴトウ　タダノブ 後藤　純信 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		国際医療福祉論		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 医学部 医学科 教授 (平29.4)	○					国際医療福祉大学 医学部 医学科 「基（主専）」
21	その他	教授	シマオ　ダイスケ 島雄　大介 ＜令和9年4月＞		博士 (学術)		循環動態画像診断学	○	3前	1	1	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科 教授 (令5.1)			○	学科会		国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 「基（主専）」
22	その他	教授	シマダ　ナオキ 島田　直樹 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		統計学 疫学・保健医療統計学 公衆衛生学 臨床検査統計学	 ○ ○	1・2・3・4後 1後 2前 2前	2 2 2 2	1 1 2 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 教授 (H24.4)	○					国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 「基（主専）」
23	その他	教授	スガマ　ヒデナガ 洲鎌　秀永 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		生理学 臨床医学概論	○ ○	1後 2後	1 1	1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 (令3.4)	○		○	学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 「基（主専）」
24	その他	教授	セイミヤ　マサノリ 清宮　正徳 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質） 臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン） 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習	○ ○ ○ ○	1後 2前 2後 3前	2 2 2 2	1 1 1 1	国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 教授 (平28.4)	○					国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 「基（主専）」

25	その他	教授	タカハシ　カズオ 髙橋　和郎 ＜令和7年4月＞		医学博士		小児科学 微生物と病気		1・2・3後 1・2後	1 2	1 1	国際医療福祉大学 医学部 医学科 教授 (平29.4)						国際医療福祉大学 医学部 医学科 「基（主専）」
26	その他	教授	ツジ　ミノル 辻　稔 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		病態薬理学	○	1後	1	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 教授 (平18.4)	○	○	○	学科会 学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」
27	その他	教授	ニシダ　ユウスケ 西田　裕介 ＜令和7年4月＞		博士 (保健医療学)		医学／医療史		1・2・3・4後	2	1	国際医療福祉大学 成田保健医療学部 理学療法学科 教授 (平28.4)	○					国際医療福祉大学 成田保健医療学部 理学療法学科 「基（主専）」
28	その他	教授	ハシモト　ミツヤス 橋本　光康 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		地球環境論 メディカルマナー入門 総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う 総合講義（現代社会をどう見るか） 持続可能な発展 関連職種連携論 関連職種連携ワーク	 ○ ○	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 2後 3前	2 2 1 1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 教授 (平8.4)	○	○	○	学科会		国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 「基（主専）」
29	その他	教授	ハネダ　アキヒロ 羽田　明浩 ＜令和7年4月＞		博士 (経営学)		組織運営管理論		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 医療マネジメント学科 教授 (平30.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 医療マネジメント学科 「基（主専）」
30	その他	教授	ハヤシ　カズミ 林　和美 ＜令和7年4月＞		修士 (福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ)		生きがい論 社会福祉学		1・2・3・4後 1・2前	2 2	1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 教授 (平18.4)	○		○	学科会 学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
31	その他	教授	ハヤシ　ケイコ 林　圭子 ＜令和7年4月＞		修士 (医科学)		看護論		1後	2	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科 教授 (平30.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科 「基（主専）」
32	その他	教授	マエダ　マサハル 前田　眞治 ＜令和7年4月＞		医学博士		リハビリテーション概論 内科学 リハビリテーション医学	 ○ ○	1・2前 2前 1後	2 1 1	1 1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科 教授 (平17.4)						

33	その他	教授	マツウラ　ヨシユキ 松浦　能行 ＜令和7年4月＞		博士 (理学)		物理学		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 教授 (令3.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」
34	その他	教授	モリカワ　シンゴ 森川　伸吾 ＜令和7年4月＞		修士 (法学)		法学 日本国憲法 法と道徳・倫理		1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2	1 2 1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 (令6.4)							
35	その他	教授	ヤナギダ　カオル 柳田　薫 ＜令和8年4月＞		医学博士		生殖補助医療胚培養学 生殖補助医療胚培養学演習	○ ○	2後 4前	1 1	1 1	国際医療福祉大学 大学院 教授 (平16.4)							
36	その他	教授	ヤマモト　ナオキ 山本　直樹 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		精神医学		1・2・3後	1	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 教授 (令3.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」
37	その他	特任教授	ムラカミ　マサミ 村上　正巳 ＜令和7年4月＞		医学博士		臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質） 臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	○ ○	1後 2前	2 2	1 1	国際医療福祉大学病院 特任教授 (令6.4)							
38	その他	特任教授	ヤマモト　ヒデヤ 山本　秀也 ＜令和7年4月＞		哲学士		アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論		1・2・3・4後 1・2・3・4前	2 2	1 1	国際医療福祉大学 総合教育センター 特任教授 (令2.4)							
39	その他	准教授	イシカワ　トオル 石川　徹 ＜令和7年4月＞		修士 (工学)		コンピュータの基礎 データリテラシー 医療データサイエンスⅠ（DS基礎） 医療データサイエンスⅡ（AI基礎） 電子カルテシステム入門	 ○ 	1・2・3・4後 1前 2・3・4前 2・3・4後 2後	2 1 1 1 1	2 1 1 1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 准教授 (平19.4)		○					国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
40	その他	准教授	カトウ　ヨシノリ 加藤　芳徳 ＜令和7年4月＞		博士 (薬学)		分析化学	○	1後	1	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 准教授 (平22.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」

41	その他	准教授	ノムラ　ダイスケ 野村　大輔 ＜令和7年4月＞		博士 (理学)		数学		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 准教授 (令2.4)		○	○	学科会		国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 「基（主専）」
42	その他	准教授	フクイ　ユズル 福井　譲 ＜令和7年4月＞		博士 (学術)		人間学 歴史学 日本近現代史 海外保健福祉事情 郷土論～栃木学～ スペイン語入門 スペイン語基礎 中国語入門 中国語基礎 韓国語入門 韓国語基礎	 ○ 	1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 准教授 (平26.4)	○	○	○	学部長・学科長会議		国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 「基（主専）」
43	その他	准教授	ミツヤマ　ナホコ 光山　奈保子 ＜令和7年4月＞		博士 (学術)		日本政治経済論 福祉経済学 世界の経済 経済の仕組み 経済の歴史		1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 総合教育センター 准教授 (平30.4)						
44	その他	准教授	ヤマナカ　マサタカ 山中　将敬 ＜令和7年4月＞		博士 (薬学)		生化学	○	1前	1	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 准教授 (平22.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」
45	その他	准教授	ワタナベ　ミヨコ 渡邉　観世子 ＜令和8年4月＞		博士 (健康科学)		レクリエーション概論		2後	1	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授 (平18.4)		○	○	学科会		国際医療福祉大学 医療福祉学部 理学療法学科 「基（主専）」
46	その他	講師	アラカワ　リョウコ 荒川　涼子 ＜令和7年4月＞		短期大学卒		手話入門		1・2・3・4前	2	2	国際医療福祉大学 非常勤講師 (令5.4)						
47	その他	講師	アンドウ　カオリ 安藤　香織 ＜令和7年4月＞		MA in Applied Linguistics and TESOL (英国)		英語講読３（Intermediate） 英語講読４（Advanced） 英語ライティング１（Primary） 英語ライティング２（Basic）		2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 1 1	1 1 1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 講師 (令4.4)						

48	その他	講師	オオゾノ　ヤスフミ 大園　康文 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		死生学-死を通して生を考える-		1・2・3・4前	2	1	目白大学 教授 (令3.4)						
49	その他	講師	ナガイ　ノリコ 永射　紀子 ＜令和7年4月＞		修士 (教育学)		作文・読解Ⅰ（入門） 文法・語彙Ⅰ（入門） 日本語基礎Ⅰ（初級） 日本語基礎Ⅱ（初級）		1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2前後 1・2前後	1 1 3 3	1 1 1 1	国際医療福祉大学 留学生別科 講師 (令2.4)						
50	その他	講師	オノセ　ヨシユキ 小野瀬　善行 ＜令和7年4月＞		修士 (教育学)		教育学		1・2・3・4後	2	1	宇都宮大学 准教授 (平27.10)						
51	その他	講師	カナヤ　タカユキ 金谷　貴行 ＜令和7年4月＞		博士 (薬学)		化学	○	1後	2	1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 講師 (平23.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 「基（主専）」
52	その他	講師	カミコマキ　ノリヒロ 上小牧　憲寛 ＜令和8年4月＞		医学士		救急医学		2・3後	1	1	国際医療福祉大学病院 講師 (平31.9)						
53	その他	講師	カンナリ　ユウト 金成　祐人 ＜令和7年4月＞		修士 (哲学)		哲学 倫理学		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	帝京大学 講師 (令2.4)						
54	その他	講師	サトウ　シン 佐藤　伸 ＜令和7年4月＞		文学士		マスメディア論		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 広報部 (令3.10)						
55	その他	講師	サワヤ　ヨウヘイ 沢谷　洋平 ＜令和7年4月＞		博士 (保健医療学)		医療福祉教養講義		1・2・3・4後	1	1	国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 講師 (平31.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 「基（主専）」
56	その他	講師	ジョージ　C. コータ George C. Cota(幸多) ＜令和7年4月＞		MA in Asian Studies (米国)		英語会話１（Primary） 英語会話２（Basic） 英語会話３（Intermediate） 英語会話４（Advanced） 上級英語会話１（発展） 上級英語会話２（総合）		1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 1 1 1 1	9 8 1 1 1 1	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 講師 (平14.4)						

57	その他	講師	ショウジ　ヨシマサ 東海林　良昌 ＜令和7年4月＞		修士 （文学）		宗教学		1・2・3・4後	2	1	浄土宗雲上寺 住職 （平8.4）							
58	その他	講師	スズキ　ユウカ 鈴木　優花 ＜令和7年4月＞		修士 （哲学）		ドイツ語入門 ドイツ語基礎		1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	2 2	国際医療福祉大学 非常勤講師 （令4.4）							
59	その他	講師	テツカ　シュウイチ 手塚　修一 ＜令和7年4月＞		博士 （医学）		臨床神経学		1・2・3後	1	1	国際医療福祉大学 医学部 医学科 講師 （平31.4）							
60	その他	講師	ナカムラ　テツヤ 中村　哲也 ＜令和7年4月＞		修士 （医療福祉学）		ボランティア論 ボランティアコーディネート論 ボランティア実践		1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後	2 2 1	1 1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 講師 （令6.4）			○	学科会		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
61	その他	講師	ナカノ　シンヤ 中野　真也 ＜令和7年4月＞		博士 （心理学）		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 心理学科 講師 （令4.10）		○				国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 心理学科 「基（主専）」
62	その他	講師	タナカ　アズミ 田中　あず見 ＜令和7年4月＞		修士 （臨床心理学）		心理学 コミュニケーション概論		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	2 2	国際医療福祉大学 非常勤講師 （平29.4）							
63	その他	講師	テイ　アンクン 鄭　安君 ＜令和7年4月＞		博士 （国際学）		社会学		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 非常勤講師 （平30.4）							
64	その他	講師	ナカムラ　ミサオ 中村　みさお ＜令和7年4月＞		修士 （食品栄養学）		食と人間 臨床栄養学	○	1・2後 1後	1 1	1 1	国際医療福祉大学 非常勤講師 （平31.9）							
65	その他	講師	フジ　アカリ 藤　朱里 ＜令和7年4月＞		修士 （教育学）		教育方法論		1・2・3・4前	2	1	国際医療福祉大学 非常勤講師 （令5.4）							
66	その他	講師	フジタ　チアキ 藤田　千亜紀 ＜令和7年4月＞		高等学校卒		手話入門		1・2・3・4前	2	2	国際医療福祉大学 非常勤講師 （令6.4）							

67	その他	講師	マツオカ　ユウイチ 松岡　勇一 ＜令和7年4月＞		MA in Teaching English as a Second Language (米国)		医学英語１（Primary） 医学英語２（Basic） 資格英語１（Primary） 資格英語２（Basic） 基礎英文法１（Primary） 基礎英文法２（Basic）		1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 2	文教大学 非常勤講師 (平31.4)						
68	その他	講師	ミネオ　キミナリ 峰尾　公也 ＜令和7年4月＞		博士 (文学)		フランス語入門 フランス語基礎		1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	2 2	早稲田大学 非常勤講師 (令5.4)						
69	その他	講師	モリタ　シュウイチ 森田　秀一 ＜令和7年4月＞		修士 (武道･ｽﾎﾟｰﾂ)		健康科学実践		1・2・3・4前	1	1	帝京大学 助教 (令3.4)						
70	その他	講師	ヤマウチ　タダシ 山内　則史 ＜令和7年4月＞		文学士		文学論 演劇論		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 1	1 1	読売新聞社 (昭63.4)						
71	その他	講師	ワタベ　フミコ 渡部　文子 ＜令和7年4月＞		修士 (ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学)		聖書英語１（Primary） 聖書英語２（Basic）		1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	1 1	国際医療福祉大学 非常勤講師 (平12.4)						
72	その他	助教	イソ　レイコ 礒　玲子 ＜令和7年4月＞		博士 (医療福祉学)		ケアマネジメント論		1・2前	1	1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 助教 (令5.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
73	その他	助教	キムラ　ジュン 木村　潤 ＜令和7年4月＞		修士 (社会福祉学)		ケースワーク論 保健医療福祉制度論	○	1・2後 1前	1 2	1 1	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 助教 (令2.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科 「基（主専）」
74	その他	助教	ヤナギムラ　ユウ 柳村　裕 ＜令和7年4月＞		博士 (学術)		作文・読解Ⅱ（応用） 作文・読解Ⅲ（完成） 文法・語彙Ⅱ（応用） 文法・語彙Ⅲ（完成） 発表・討論Ⅰ（応用） 発表・討論Ⅱ（完成） 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙		1・2・3・4前後 1・2・3・4後 1・2・3・4前後 1・2・3・4後 1・2・3・4前後 1・2・3・4後 1・2・3・4前後 1・2・3・4前後	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 留学生別科 助教 (令3.4)						

75	その他	助教	ヤマグチ　ツヨシ 山口　剛史 ＜令和7年4月＞		博士 (理学)		生物学		1・2・3・4前	2	2	国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科 助教 (平28.10)						
76	その他	助教	ヤマシタ　ナツミ 山下　夏美 ＜令和7年4月＞		博士 (臨床心理学)		臨床心理学概論		1・2後	2	1	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 心理学科 助教 (令5.4)			○	学科会		国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部 心理学科 「基（主専）」

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況										
職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　　計	備　　考
教　授	博　士	人	人	人	1人	2人	1人	人	4人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	3人	人	1人	人	人	4人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	2人	人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	4人	1人	3人	1人	人	9人	
	修　士	人	2人	人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

審査意見への対応を記載した書類（ 7 月）

（目次）保健医療学部　医学検査学科

1. 既設の医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科において，大学設置基準第 10 条に定める基幹教員数のうち，半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため，適切に改めること。(是正事項)・・・・・・2

2. 既設の赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科において，大学設置基準第 10 条に定める基幹教員数を満たしていないことに加えて，基幹教員数のうち，半数以上は原則として教授とする規定も満たしていないため，適切に改めること。（是正事項)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

（是正事項）保健医療学部　医学検査学科

1.既設の医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科において，大学設置基準第 10 条に定める基幹教員数のうち，半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため，適切に改めること。

（対応）

審査意見を踏まえ、再度確認を行ったところ、基幹教員数の記載に一部誤りがあった。

医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科については、准教授の教授への昇格（令和 7 年 4 月 1 日付け）について反映せずに、准教授として計上していた。その結果、教授数が基準数の半数以上に満たない事態が生じたところである。

ついては、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の基幹教員数について下表のとおり修正する。

【基本計画書（5 頁)】　（人）

<table>
<tr><th>新（補正後）</th><th>旧（当初申請時）</th></tr>
<tr><td>○医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科
（人）
<table>
<tr><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr>
<tr><td>8
（8）</td><td>7
（7）</td><td>8
（8）</td><td>7
（7）</td><td>３０
（３０）</td></tr>
</table></td><td>○医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科
(人)
<table>
<tr><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr>
<tr><td>7
（7）</td><td>8
（8）</td><td>8
（8）</td><td>7
（7）</td><td>３０
（３０）</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

※詳細な基幹教員数等の内訳は、「13.新旧対照表（7 月)」参照

（是正事項）保健医療学部　医学検査学科

2.既設の赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科において、大学設置基準第 10 条に定める基幹教員数を満たしていないことに加えて、基幹教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定も満たしていないため、適切に改めること。

（対応）

審査意見を踏まえ、再度確認を行ったところ、基幹教員数の記載に一部誤りがあった。

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科については、基幹教員の要件に適合している教授（1 人）が教授数に計上されていなかったこと、また、准教授（1 人）について、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科に計上すべきところを小田原保健医療学部作業療法学科に計上していたことが判明した。

ついては、記載誤りのあった当該２学科について、下表のとおり修正する。

【基本計画書（9頁・10 頁)】　（人）

新（補正後）

○赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
医療マネジメント学科

教授	准教授	講師	助教	計
7 （7）	4 （4）	2 （2）	1 （1）	１４ （１４）

○小田原保健医療学部作業療法学科

教授	准教授	講師	助教	計
4 （4）	2 （2）	4 （4）	3 （3）	１３ （１３）

旧（当初申請時）

○赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
医療マネジメント学科

教授	准教授	講師	助教	計
6 （6）	3 （3）	2 （2）	1 （1）	１２ （１２）

○小田原保健医療学部作業療法学科

教授	准教授	講師	助教	計
4 （4）	3 （3）	4 （4）	3 （3）	１４ （１４）

※詳細な基幹教員数等の内訳は、「13.新旧対照表（7 月)」参照